

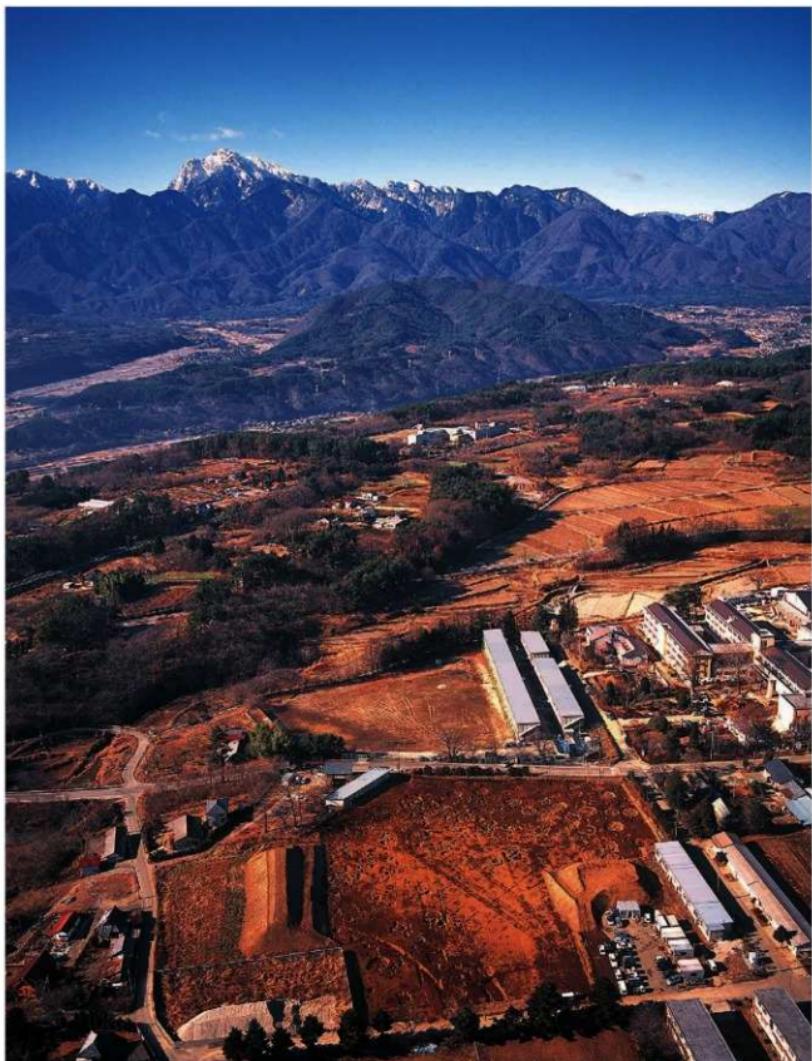
# 原町農業高校前遺跡（第2次）

— 岐北地区総合学科高校整備(北杜高校グランド整備)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

2005. 3

山梨県教育委員会





遺跡の東上空より西方の南アルプス・釜無川方面を望む

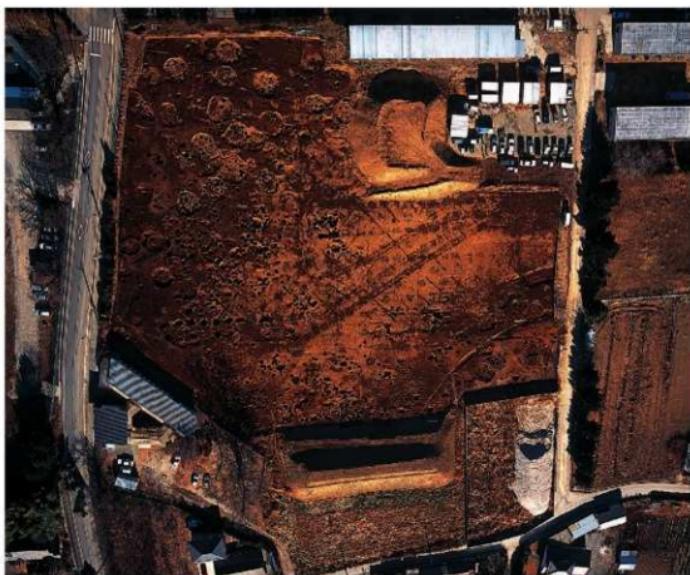
巻頭図版 2



遺跡の南上空より北方のハケ岳方面を望む



49号住居跡発掘の様子

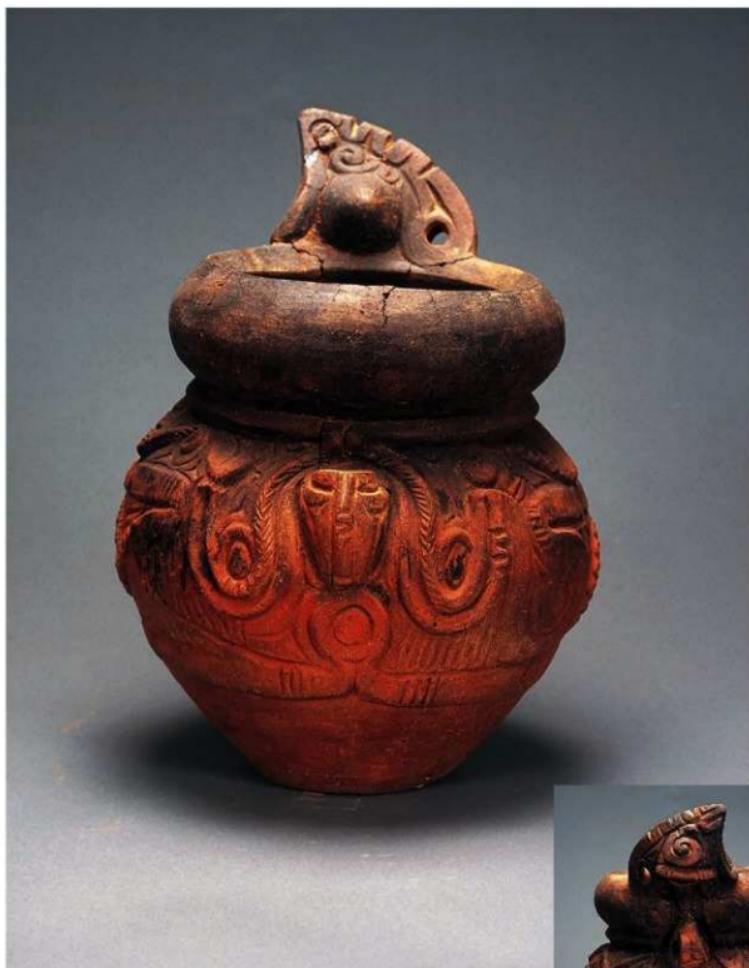


真上から見た調査区域全景（上が北方向）



有孔鉗付土器出土状態（5号住居跡）

卷頭圖版 4



56号住居跡出土人面装飾付土器





129号土坑出土人面裝飾付土器（背面）



129号土坑出土人面裝飾

卷頭圖版 6



5号住居跡出土土器



22号住居跡出土土器



39号住居跡出土土器

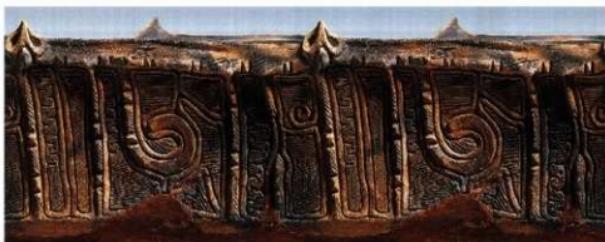


49号住居跡出土土器

卷頭図版 8



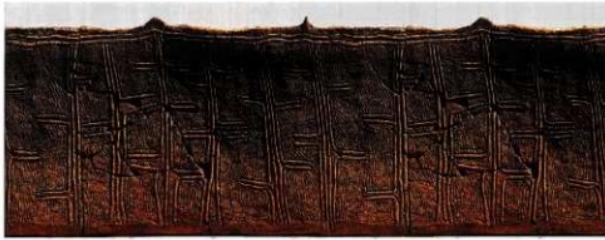
8号住居-1の土器展開写真



7号住居-6の土器展開写真



48号住居-1の土器展開写真



49号住居-2の土器展開写真



49号住居－3の土器展開写真



55号住居－1の土器展開写真



77号住居－1の土器展開写真



95号住居－2の土器展開写真





土偶（89号住居-70）



土偶（7号住居-16）



人面裝飾（38号住居—28）



土偶（95号住居—74）



土偶（搅乱—91）



土偶（34号住居—44）



49号住居跡の土器出土状態（西側から）



49号住居跡の土器出土状態（北側から）



77号住居跡出土土器



遺跡出土の匙形土製品

後列 左：77号住居跡 右：16号住居跡

二列目 左：189号土坑 中央：43号住居跡 右：83号住居跡

前列 19号住居跡

# 序

峡北地区総合学科高校（北杜高校）整備に伴う原町農業高校前遺跡の発掘調査は、2000（平成12）年度から2002（平成14）年度にかけて、3次にわたり実施してまいりました。本書はその第2次となる2001（平成13）年度に行った、北杜高校グランド整備事業に伴う発掘調査報告書であります。

原町農業高校前遺跡は北杜市長坂町に所在し、八ヶ岳南麓の標高約620mの尾根上を中心にして立地しております。周辺には縄文時代の長坂上条遺跡、酒呑場遺跡、縄文・平安時代の柳坪遺跡など、県内でも学史的に著名な遺跡が数多く所在し、歴史性豊かな地域であります。

今次の調査は約14,000m<sup>2</sup>を対象に行い、縄文時代中期の住居跡や土坑、平安時代の住居跡などを検出する等、多くの成果が得られました。特に、縄文時代では中期中葉から末葉にかけての住居跡99軒を検出し、本遺跡が当該期の大規模集落であったことが判明いたしました。縄文時代、本地域では中期に遺跡数が増加し、最盛期を迎ますが、まさにその時期の集落遺跡ということになります。

また、これらの遺構群からは、多くの土器や石器のほか土偶などの土製品も出土しております。土器は人面装飾など多種多様な装飾を施した土器や、有孔鍔付土器など本地域の特色を色濃く反映したものが数多く出土し、当該期の土器研究に貴重な資料を提供すると同時に、その個性的な造形美も高く評価されるものであります。石器は打製石斧、磨石、凹石など植物質食料との関わりが指摘されるものが多く出土し、当時の生業を考える上で欠くことのできない資料となりましょう。土偶は90点以上出土し、その数は八ヶ岳南麓の当該期集落遺跡では多いといえ、土偶祭祀や本遺跡の集落の性格を考える上で注目されます。

本報告書が多くの方々の地域研究、学習資料としてご利用いただければ、幸甚であります。

最後となりましたが、調査に当たってご協力いただいた関係者や関係機関、並びに調査や整理作業に従事された方々に、心より御礼を申し上げます。

2005年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 渡辺 誠

## 例　　言

1. 本書は2001（平成13）年度に行った山梨県北杜市長坂町塚川177外に所在する原町農業高校前遺跡（第2次）の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、岐北地区総合学科高校整備（グランド整備事業）に伴うものであり、山梨県教育委員会学校施設課との協議に基づいて、山梨県埋蔵文化財センターが調査を実施したものである。
3. 発掘調査および出土品の整理は山梨県埋蔵文化財センターが行い、米田明訓、大柴鉄也、浅川一郎、三田村美彦、正木季洋が担当した。
4. 本報告書の編集および執筆は、三田村美彦が担当した。土器についてはその一部を小川忠博写真事務所に委託して、実測用写真を撮影し、これより実測図をおこした。石器についてはその実測からトレース、観察表作成まで、株式会社アルカ、株式会社シン技術コンサルに委託した。遺跡の全体図は、株式会社アイサーへの委託による写真測量からおこしたものであるが、他は当センターの測量による。測量基準点については昭和測量株式会社に委託した。
5. 遺跡における遺構等の写真については、米田明訓、大柴鉄也、浅川一郎、三田村美彦、正木季洋が担当した。なお、遺跡の鳥瞰写真等、航空写真については株式会社アイサーに委託した。また、土器、土製品の写真是小川忠博写真事務所、フォトショッピムコヤマに、石器の写真是株式会社アルカ、株式会社シン技術コンサルに委託した。
6. 本報告書に関わる記録図面、写真、出土遺物等は山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。
7. 発掘調査や整理作業にあたっては以下の諸氏、諸機関のご教示・ご協力を賜った。記して感謝を表する。  
(順不動、所属、敬称略)  
会田 進、雨宮正樹、伊藤公明、鵜飼幸雄、間間俊明、小坂英文、角張淳一、河西 学、柳原功一、  
小林公明、小林謙一、後藤和民、佐野 隆、芹沢 昇、長沢宏昌、渡邊泰彦、村松佳幸、長谷川誠、  
山下孝治、宮沢公雄、平野 修、保阪太一、室伏 徹、山田竹文、北杜高等学校、旧長坂町教育委員会

## 凡　　例

1. 遺構・遺物図面の縮尺は以下のとおりである。  
遺構 住居跡、掘立柱建物跡1/60、住居内各施設（炉、埋甕、ピット内及び周辺の遺物出土状況）の微細図1/30、土坑1/40、溝状遺構1/100  
遺物 土器実測図、器台形土器（復元）1/6、土器拓影図、器台形土器（破片）、土製石匙、耳飾、有孔薄円盤1/3、土偶、土製円盤1/2、小型剥片石器類2/3、小型磨製石斧1/2、打製石斧、磨製石斧、粗製石匙、削器、敲石、小型磨石器類、大型磨石器類1/4
2. 調査区は国土座標軸によって設定しており、全体図におけるグリッド名と別に付した数値は座標線の数値である。よって、南北のグリッド線、図中の北印は真北を示す。
3. 遺構挿図中に用いた網点 [ ] は焼土範囲を示す。また、●は遺物を示し、明朝体の番号がそれぞれの遺物図版の番号と対応している。番号の左側に漢字の土が付されるものは土偶、円が付されるものは土製円盤、大が付されるものは大型磨石器類を示す。番号のみは土器、器台形土器、耳飾、匙形土製品、有孔薄円盤、大型磨石器類以外の石器を示す。重複した住居の遺物分布で7-1と表示された場合、7は住居番号を、1が遺物図版の遺物番号を示す。住居跡ピット内、あるいはその周辺に付したゴシック体の数字はピット番号を示し、土層断面図内のゴシック体の数字は、層位を示す。
4. 遺構断面図中のレベルポイント部分にあたる数字は標高（単位はm）を示す。
5. 遺物挿図中、土偶のスクリーントーンは欠損した部分を示す。土器類の断面に黒く塗りつぶしてあるものは須恵器を示し、土器類の器体においてスクリーントーンは黒色処理された範囲を示す。
6. 土偶側面図は原則右側を図化しているが、残存状況に応じて左側を図化したものがあり、その場合図示した。

# 本文目次

## 第Ⅰ章 調査の概要

第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査経過	1
第3節 調査組織	3
第4節 調査の方法	3

## 第Ⅱ章 遺跡の環境と概要

第1節 地理的環境	4
第2節 周辺の遺跡	4
第3節 遺跡の概要	8
（1）第2次調査について	8
（2）基本層序	9

## 第Ⅲ章 検出された遺構と遺物

第1節 住居跡	10
第2節 掘立柱建物跡	56
第3節 溝状遺構	57
第4節 土坑	57
遺構挿図	58
土坑一覧表	181
遺物挿図	189
遺物観察表	395

## 第Ⅳ章 考 察

第1節 繩文時代の土器様相	472
第2節 繩文時代集落の変遷	477
第3節 平安時代集落の変遷	481

附図 原町農業高校前遺跡（グランド部分）遺構全体図



# 第Ⅰ章 調査の概要

## 第1節 調査に至る経緯

北杜市長坂町法沢・塙川にある原町農業高校前遺跡は、峠北地区総合学科高校（北杜高校）整備事業に伴い、これまで3次にわたる発掘調査が実施されている（第1図）。第1次は北杜高校校舎建設に伴う発掘調査として平成12年度に行ない、平成13年度に山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第210集として報告書を刊行している。第3次は北杜高校弓道場・グランド整備に伴う発掘調査として平成14年度に行い、平成15年度に山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第219集として報告書を刊行した。

第2次となる今回の調査は、北杜高校の新設グランドとして整備される峠北農業高等学校の果樹園・飼料園として利用されていた区域が対象となった。平成11年8月18日～8月27日に行われた試掘調査の結果、対象区域内で繩文・平安時代の遺構・遺物が検出されたことから、学校施設課、学術文化財課、埋蔵文化財センターの三者による協議を行い、平成13年度に本調査を実施することになった。調査対象面積は約14,000m<sup>2</sup>となる。

平成13年4月20日には、営繕課、学校施設課、峠北農業高等学校、学術文化財課、埋蔵文化財センターにより現地で協議を行い、本調査対象区域内の作物等の撤去時期や工事計画に沿った調査が行われるよう検討がなされ、同年5月28日から本調査を開始した。

## 第2節 調査経過

### 平成11年度

平成11年8月18日 試掘調査開始。

平成11年8月27日 試掘調査終了。

### 平成13年度

平成13年5月28日 発掘調査開始。

平成13年6月6日 原町農業高校前遺跡（グランド部分）発掘通知を県教育委員会教育長へ提出。

平成13年10月13日 遺跡現地説明会を実施。

平成13年12月19日 原町農業高校前遺跡（グランド部分）発掘調査終了。

平成13年12月21日 遺物発見通知を長坂警察署に提出。

平成14年1月7日 基礎的整理作業開始。

平成14年3月26日 基礎的整理作業終了。

### 平成14年度

平成14年6月3日 本格的整理作業開始。

平成15年3月20日 本格的整理作業終了。

### 平成15年度

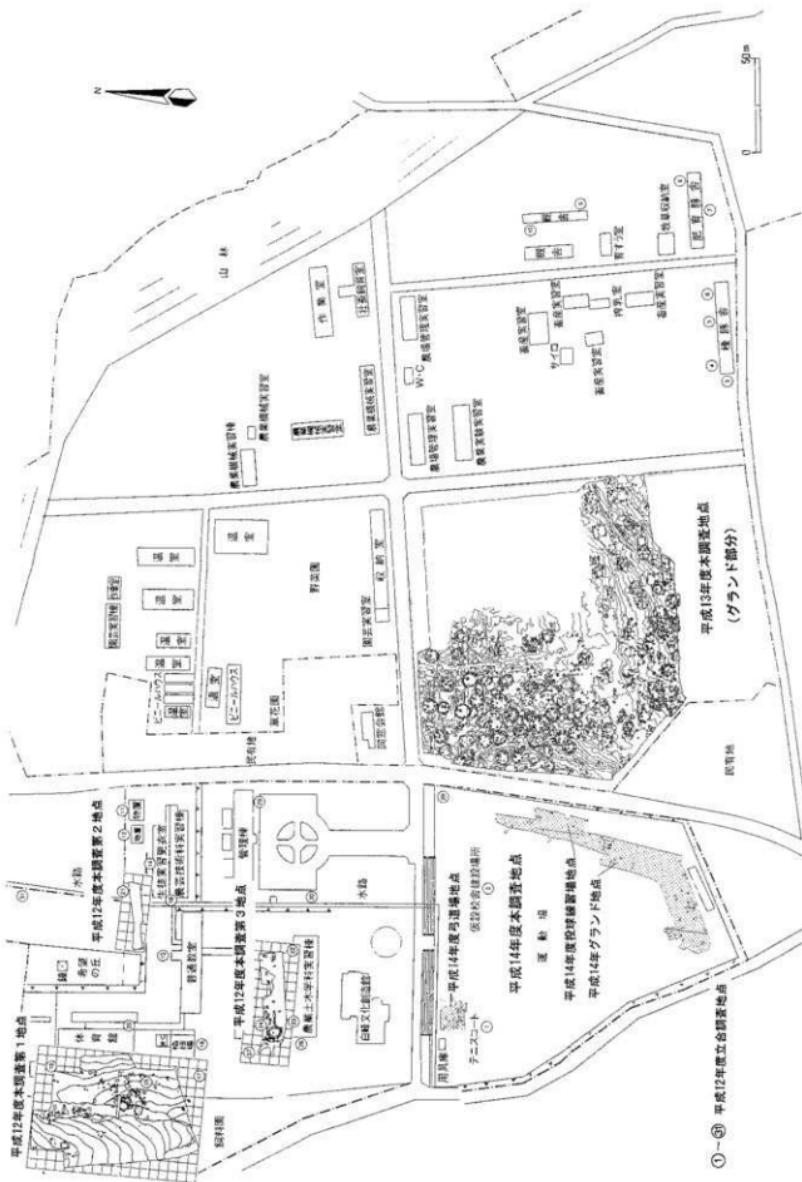
平成15年6月2日 本格的整理作業開始。

平成16年3月23日 本格的整理作業終了。

### 平成16年度

平成16年5月7日 残務整理作業開始。

平成16年7月28日 残務整理作業終了。



第1図 本調査及び立合調査地点位置図 ( $S=1/2500$ )

### 第3節 調査組織

平成13年度

調査主体	山梨県教育委員会
調査機関	山梨県埋蔵文化財センター
調査担当	米田明訓 大柴鉄也 浅川一郎 三田村美彦 正木季洋 (7/2~)
発掘作業員	浅川たみ子 阿部恵子 石渡節子 井上町子 大法正悟 小沢よし江 小野一光 小野幸江 片山和恵 上村ゆき江 川住たまみ 河手栄子 河手寿子 功刀正彦 功刀とよ子 功刀 謙 小林加正 小林八千子 斎藤重信 斎藤玲子 清水貞子 清水千三 鈴木節夫 平美与恵 高嶋 稔 高橋純子 田中利美 田中玲子 千野あやめ 中込久子 中込政吉 中島律子 長沼欽一 中村広勇 中山たけの 西川優子 羽中田弘 早川みどり 原 稔 日向たまの 平鶴純一 平鶴弘子 藤原喜美子 藤原照世 保坂秀蘭 皆川禮子 三井幸子 八巻久子 和田 茂
整理作業員	荒川公子 荒川奈津江 石渡節子 大法正悟 川住たまみ 河手寿子 斎藤玲子 平美与恵 田中真理 早川みどり 藤巻公恵 藤巻ひさ江 保坂秀蘭

平成14年度

調査担当	米田明訓 三田村美彦
整理作業員	石坂恵理 石渡節子 大法正悟 河手寿子 斎藤玲子 清水千三 平美与恵 高嶋 稔 早川みどり 原 稔 榎口昭子 藤井品子 保坂秀蘭 中村広勇 望月祐子

平成15年度

調査担当	米田明訓 三田村美彦
整理作業員	石坂恵理 石渡節子 川住たまみ 清水千三 志村君子 高嶋 稔 早川紀子 早川みどり 樋口久子 藤井品子 保坂秀蘭 中込二三子 中村広勇 野沢喜美 望月祐子 矢崎美央

平成16年度

調査担当	三田村美彦
整理作業員	高嶋 稔

### 第4節 調査の方法

調査は試掘調査の結果に基づき、調査区を設定した（第2図）。調査区設定後、重機により耕作土など表土を除去し、引き続き遺構確認面直上から人力による掘り下げを行い、遺構の検出に努めた。その後、各遺構の精査を行った。なお、調査区北東側約5,400m<sup>2</sup>の空白区域は、基本層序第V層となるハードローム層下まで削平されおり、遺構、遺物は検出されなかった。

グリッドの設定は、調査対象区域全体を覆うようにして、南北方向をX軸、東西方向をY軸とする国土座標系に合わせた5mメッシュを設定した。X軸（北から南）方向にA・B・C・・・のアルファベットを、Y軸（西から東）方向1・2・3・・・の算用数字を付した。X軸、Y軸の座標値は第2図に記したとおりである。グリッドの名称はグリッド設定図（第2図）北西隅から東へA-1・A-2・・・となる。

遺物の記録、取り上げは、遺構確認面に到達するまでは各グリッドごとに一括して取り上げ、遺構内出土の遺物に関しては平板測量及びレベル測量により取り上げた。遺構図及び、遺物微細図は平板及び簡易やり方を適宜選択して実施した。

## 第Ⅱ章 遺跡の環境と概要

### 第1節 地理的環境

原町農業高校前遺跡は、山梨県北西部の八ヶ岳南麓、北杜市長坂町渋沢・塚川の県立北杜高等学校敷地内に所在する（第3図）。

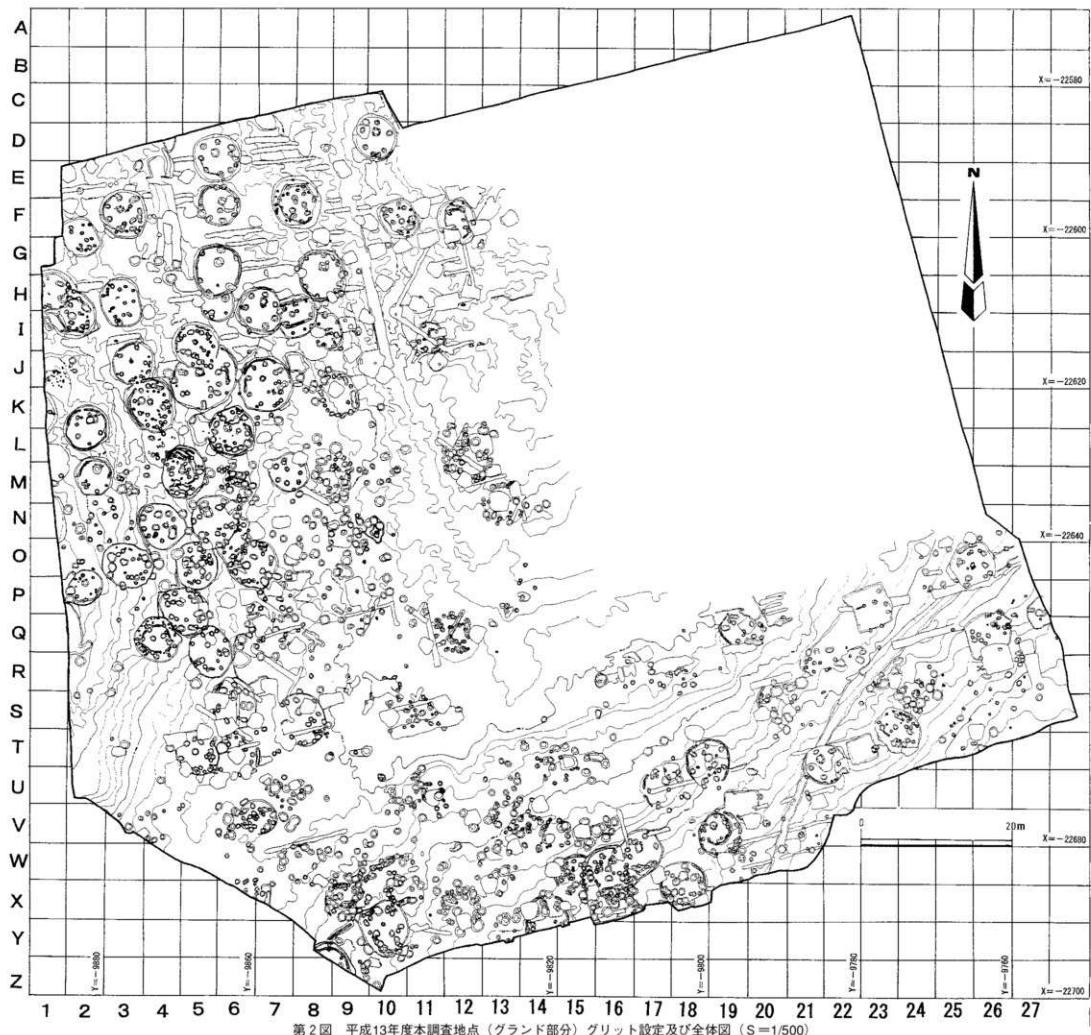
八ヶ岳南麓は、第四期洪積世の古八ヶ岳期に大規模な山体崩壊で発生した、垂崎岩屑流によって形成されたとされ、西側は釜無川の浸食、東側は塩川とその支流である須玉川の浸食を受けて、急崖を形成しており、「七里岩」と呼ばれている。地形的には標高1,200m以上の急峻な地形の山体部、広大な山麓緩斜面部、幅の狭い垂崎台地部の三つの部分に分けることができ（河西他1989）、遺跡の所在する長坂町は山麓緩斜面部に位置する。

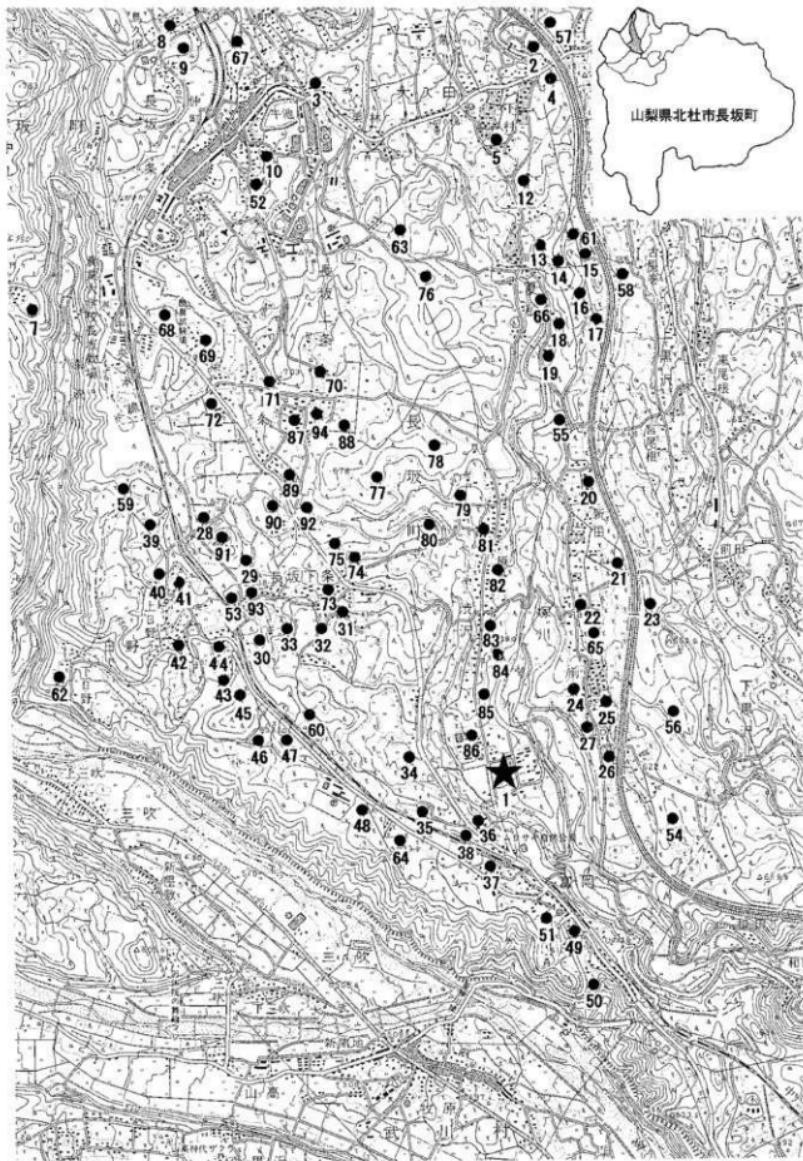
八ヶ岳南麓の山麓緩斜面部には多くの湧水池が点在し、それらを源とする中小河川による浸食作用で、尾根と低地部が東西に交互に連続する景観がみられる。本遺跡はそのような南北に長く延びた尾根上を中心展開し、その東側を鳩川が、西側を宮川が南流している。第2次調査の行われた区域は尾根の南端部に近く、舌状に広がる尾根上のはば中央付近となり、標高は620m前後を測る。

### 第2節 周辺の遺跡

八ヶ岳南麓には、国指定史跡として著名な縄文時代の金生遺跡をはじめ数多くの遺跡が存在し、本遺跡の所在する長坂町でも、200箇所以上に及ぶ遺跡が確認されている。ここでは本遺跡の主たる構造、遺物の確認された時代を含む縄文～平安時代の発掘調査された遺跡を中心に概観してみたい（第3図・第1表）。

本遺跡から北西に約2.5kmの地点には史学的に著名な、長坂上条遺跡（72）が所在する。1940（昭和15）年史前学研究所の大山柏氏を中心に調査が行われ、配石造構とともに当地域では類例の少ない縄文時代後・晚期の土器、石器、土偶、耳飾などが出土し、多大な成果を上げると同時に、本県における学術的調査の草分け的な遺跡として特筆される。長坂上条遺跡の北側の尾根上、現山梨県酪農試験場敷地内には前期～中期を主たる時期とする大規模集落、酒呑場遺跡（68）が立地する。1994（平成6）年から2001（平成13）年にかけて数次にわたる調査が行われ、200軒以上の住居跡や、6000基近い土坑などが検出され、本県の縄文集落の調査としては积迦堂遺跡群に次ぐ大規模なものとなる。これらの構造からは、早期～後期にかけての土器・石器を中心に大量の遺物が出土した。注目されるものとして、前期諸磯式期の漆塗り土器、中期全般にわたる土器群、土偶、土鈴などの土製品、翡翠製大珠、翡翠玉未製品、蚊歎状垂飾などの装身具類などが挙げられ、遺跡の学術的価値は今後の縄文時代研究において欠くことのできないものとなろう。また、古墳時代前期の住居跡も15軒検出され、当該期の集落としても注目される。中央道本線及び中央道長坂インターチェンジ建設に先立って1973（昭和48）年、1984（昭和59）年調査された柳坪遺跡（2）では、縄文時代中期、弥生時代中期、古墳時代前期・後期、平安時代の構造、遺物が検出されている。このうち、縄文時代では中期後葉曾利式期の集落が調査され、出土した土器は曾利式土器の編年構築に貢献し、その資料的価値は高い。平安時代では遺跡中央部に広がる谷と50軒近くに及ぶ住居跡や掘立柱建物跡等が検出され、斎串などの木製品や、則天文字を記した墨書き土器が出土している。柳坪遺跡の南側には、1998（平成10）年～1999（平成11）年に調査された石原田北遺跡が所在する。柳坪遺跡同様、縄文・平安時代の集落跡が主となる遺跡で、縄文時代では前期諸磯式期と中期新道式期～藤内式期にかけての住居跡が検出されている。平安時代では10世紀代と11世紀後半～12世紀初頭にかけての住居跡が検出された。頭無遺跡（20）は1973（昭和48）年中央道本線建設に先立って調査され、縄文時代中期と古墳時代前期の遺構が検出された。縄文時代では中期後葉曾利式期に帰属する住居跡15軒のほか配石造構などが検出された。このうち、住居から出土した多くの土器群は柳坪遺跡例同様、曾利式土器の編年構築に用いられ重要である。北村遺跡（93）は広域農道整備に先立ち、1994（平成6）年～1995（平成7）年にかけて調査され、古墳時代前期の方形周溝墓6基が検出された。墳丘がほぼ完全な状態で検出された貴重な事例となる。龍角西遺跡（75）





第3図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (S=1/25,000)

は1997（平成9）年、1998（平成10）年に発掘調査が行われ、古墳時代前期末～中期の住居跡10軒、平安時代の住居跡7軒、掘立柱建物跡6棟などが検出された。1991（平成3）年に調査された龍角遺跡（74）でも古墳時代中期の住居跡が検出されている。龍角西遺跡や龍角遺跡で検出された古墳時代前期末～中期の集落は、八ヶ岳南麓において調査事例が少ないだけに、当該期の集落研究や土器編年において貴重な事例を提示したといえる。

第1表 周辺の遺跡分布一覧

番号	遺跡名	時期	番号	遺跡名	時期	番号	遺跡名	時期
1	原町農業高校前遺跡	縄・平	33	植松氏屋敷跡	中	65	下村遺跡	縄・平・中
2	柳坪遺跡	縄・弥・古・平	34	下屋敷遺跡	縄	66	治朗田遺跡	古・平
3	曲田遺跡	縄・平	35	清水頭遺跡	縄・古・奈・平	67	大林遺跡	縄・平
4	石原田北遺跡	縄・平・中	36	向原遺跡	平	68	酒呑場遺跡	縄・古・平・中
5	石原田南遺跡	縄・平	37	三ツ墓古墳3	古	69	酒呑場東遺跡	縄・弥・平
6	西糸東遺跡	縄・平	38	三ツ墓古墳1	古	70	東村A遺跡	縄・奈・平・中
7	中丸跡	戦	39	昭和堤北遺跡	縄	71	中村遺跡	古・平・中
8	後平遺跡	縄・平	40	池ノ平A遺跡	縄・奈・平	72	長坂上条遺跡	縄・弥・平
9	高松遺跡	縄	41	向井丹下屋敷跡	中	73	沢尻遺跡	縄
10	上町遺跡	縄・奈	42	池ノ平B遺跡	縄	74	龍角遺跡	縄・古・平・中
11	東村B遺跡	古・平・中	43	上日野遺跡	縄	75	龍角西遺跡	縄・弥・古・平・中
12	白山神社前遺跡	縄・平	44	田中氏屋敷跡	中	76	段道遺跡	縄
13	上の屋敷遺跡	縄・平・中	45	上日野A遺跡	縄・平	77	西村遺跡	古・平・中
14	大々神十三塚遺跡	縄・平・中	46	上日野B遺跡	縄・平	78	大久保遺跡	縄・中
15	大々神A遺跡	平	47	上日野C遺跡	縄・平	79	寺前遺跡	縄・平・中
16	大々神B遺跡	古・平	48	姥久保遺跡	古	80	西屋敷遺跡	古
17	頭無A遺跡	平	49	日野原遺跡	中	81	沢沢・上町遺跡	縄
18	桙木遺跡	弥・古	50	上日野原遺跡	縄・平・中	82	原町北遺跡	古・平
19	坂川・柳坪遺跡	縄	51	富岡遺跡	中	83	原町遺跡	古・平
20	頭無遺跡	縄	52	上町南遺跡	縄	84	上久保北遺跡	中
21	新田遺跡	縄	53	西久保遺跡	縄	85	上久保遺跡	縄
22	坂川の土塁	中・戦	54	競馬場遺跡	縄・平	86	下原遺跡	縄
23	坂川十三塚	中	55	古屋敷遺跡	縄	87	和田遺跡	弥・古
24	官久保遺跡	縄	56	泥里西遺跡	縄	88	鍋田遺跡	平
25	下村南遺跡	縄	57	境原遺跡	縄・弥・平	89	藤塚遺跡	縄
26	泥里西遺跡	縄・平	58	天王塚古墳	古	90	北村東遺跡	縄・古
27	勝見遺跡	縄・平	59	池ノ平北遺跡	縄・平	91	北村北遺跡	縄・平
28	反田遺跡	縄・平・中	60	清水頭遺跡	縄・平	92	長坂上条・藤塚	不明
29	三井氏屋敷跡	中	61	治朗田北遺跡	平	93	北村遺跡	縄・古・平
30	新居遺跡	縄・平・中	62	下日野遺跡	縄	94	中反遺跡	縄・平
31	相吉氏屋敷跡	中	63	池ノ堀遺跡	縄・平			
32	相吉遺跡	奈・平	64	三ツ墓古墳2	古			

### 第3節 遺跡の概要

#### (1) 第2次調査について（第2図）

第2次となる今回の調査対象面積は約14,000m<sup>2</sup>となるが、調査区北東側約5,400m<sup>2</sup>の区域は、基本層序第V層となるハードローム層下まで削平を受けており、何も検出されていない。遺構・遺物が検出された調査区北西から南側にかけても、溝状や方形を呈す擾乱が多く確認されると同時に、調査区中央から南側にかけては基本層序IV層となるソフトローム層まで削平を受けており、当該地区から検出された住居跡などの遺構は、壁が残存しないものが多くみられる。これに対し、調査区西側は西側へ傾斜する地形となり、傾斜地であった土地を平坦にするための盛土（峠北農業高等学校果樹園造成などに関わって行われたと考えられる）がなされていたために、基本層序II層となる黒褐色土層まで残存し、遺構の状態は良好で、多くの遺物が出土している。

今回の調査で検出された遺構と遺物は、その大部分が縄文時代と平安時代に帰属する。縄文時代の遺構は、住居跡99軒、土坑422基が検出され、削平を受けた調査区北東側を除きほぼ全域に分布し、調査区北西と南側では調査区外にまでその分布域が広がる様相を呈している。住居跡は中期中葉から中期末葉に比定されるものが検出された。土坑も時期決定の目安となる土器が出土したものは、中期中葉沼沢式期から後期初頭に比定され、

住居跡とほぼ同時期に帰属されるものと考えられる。出土遺物は土器、土製品、石器など、長さ50cm×幅34cm×深さ25cmを測るプラスチックの整理箱で約500箱ほど出土した。土器は中期中葉猪沢式から後期初頭称名寺式まで、各型式がほぼ間断なく出土しており、人面装飾をはじめとする多種多様な装飾を施した深鉢を中心には、浅鉢・鉢・有孔銅付土器・釣手土器などが出土している。土製品では、土偶、器台形土器、土製円盤、有孔薄円盤、匙形土製品・耳飾などがみられ、土偶(92点)や器台形土器(36点)の出土量の多さは注目されよう。石器は石鎌・石錐・石匙・楔形石器・磨製石斧・打製石斧・粗製石匙・削器・磨石・凹石・石皿などが出土しているが、打製石斧・磨石・凹石といった植物質食料との関連が指摘される石器が多く出土する傾向が看取される。

上記のことから今回の調査では、縄文時代中期中葉から中期末葉にかけての集落が検出されたこととなり、遺構や遺物の時期や検出状況を考慮すると、本遺跡は同じ長坂町に所在する酒呑場遺跡などとともに、八ヶ岳南麓地域の大規模集落のひとつとして評価できるものである。

平安時代の遺構は、住居跡3軒となり、いずれも調査区南東側で検出されている。その時期は、出土した土器などから9世紀半ばから10世紀初めに比定され、小規模ながら本遺跡が当該期の集落跡であることも判明した。出土遺物は土師器の壺、皿(甲斐型土器や内面が黒色処理されたもの)、甕、須恵器の壺、甕など長さ50cm×幅34cm×深さ25cmを測るプラスチックの整理箱で2箱ほど出土した。

この他、遺物が出土せず時期不明となる掘立柱建物跡が調査区南東側で2棟検出されているが、そのピット内の覆土は平安時代住居の覆土と近似する黒褐色土となることや、長軸方向を住居跡とほぼ同じくする点を考慮すると、これら2棟の掘立柱建物跡も平安時代に帰属する可能性がある。また、時期不明の溝状遺構が同じく調査区南東側で1条検出されているが、平安時代住居跡と覆土が近似しているという点では掘立柱建物跡と同様でその帰属時期の指標となるが、出土遺物も縄文土器の小片が出土したにすぎず、詳細な時期は判然としない。

## (2) 基本層序(第29図21号住居跡南北セクション)

前述したように、今回の調査では傾斜地であった旧地形に盛土がなされた調査区西側の保存状態が最も良好であったため、ここで検出された縄文時代中期中葉に比定される21号住居跡南北セクションを基本層序として提示する。

I層 表土層 傾斜地であった旧地形を平坦にするため用いられた盛土である。II層 黒褐色土層。III層 暗褐色土層 本遺跡の平安時代遺構確認面となり、縄文時代遺物包含層となる。IV層 所謂ソフトローム層で、本層の直上が縄文時代遺構確認面となる。V層 ハードローム層。

## 第Ⅲ章 検出された遺構と遺物

### 第1節 住居跡

今回の調査では102軒の住居跡が検出された。このうち、99軒が縄文時代に、3軒が平安時代に比定される。

#### 1号住居跡（第4図）

【位置】F-1・2、G-1・2グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、焼土、炭化物の粒子を混入。2層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】南北に長い楕円形を呈し、長軸5.42m、短軸4.71mを測る。

【壁・周溝】壁は東側で20cm、西側で11cm、北側で18cmを測り、南側は緩やかに立ち上がる。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-20cm、P2-18cm、P3-42cm、P4-46cm、P5-72cm、P6-34cm、P7-27cmとなる。

【炉】住居のはば中央で検出された。土器の底部（第127図1）を埋設した、埋壺炉となる。1層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。2層暗褐色土層ローム、焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】P8は深度44cmを測り断面がフ拉斯コ状となることから、貯蔵穴の可能性がある。また、P9は直径約50cm、深度21cmを測る土坑で、坑底から有孔飼付土器（第127図1）が出土している。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向が看取される。北側の壁際、住居の出入り口と想定される箇所で、ほぼ完形の石皿（第341図1）が床面直上から逆位で出土している。また、P9で出土した有孔飼付土器と同一の破片がP9周辺から炉にかけての床面直上から出土し、炉体となる土器底部と同一個体となる可能性があり、注目される。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 2号住居跡（第5図）

【位置】E-3、F-2・3グリッドで検出された。

【重複】重複なし。住居北側で、テラス状となる箇所が認められると同時に柱穴が切り合って検出されていることから、改築が行われた可能性を有す。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物の粒子を混入。2層褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒を多量に混入。炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】南北に長い楕円形を呈し、長軸6.65m、短軸6.05mを測る。

【壁・周溝】壁は東側で49cm、西側で38cm、南側で22cm、北側で40cmを測る。周溝は、南側の出入り口部と考えられる箇所を除き検出された。幅12~36cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-42cm、P2-63cm、P3-38cm、P4-26cm、P5-68cm、P6-45cm、P7-34cm、P8-36cm、P9-63cm、P10-73cm、P11-62cm、P12-54cm、P13-40cm、P14-41cm、P15-56cm、P16-27cm、P17-45cm、P18-63cm、P19-59cm、P20-55cm、P21-60cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。扁平な石を敷いた石囲炉で、石囲の規模は108×95cmとなる。石囲に用いられた石の内、東端の楕円を呈するもの（第341図4）は敲打痕が面的に認められ、炉に据え付けた石器として機能していた可能性がある。1層暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】P22は直経77cm、深度20cmを測るクライ状を呈すピットで、その形態から柱穴以外の用途が考えられ、検出された位置から出入り口の施設に関係する可能性がある。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向が看取される。このうち、P 9 からは深鉢（第128図5）が横位に出土した。また耳栓（第128図12）が北壁周辺で出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 3号住居跡（第6図）

【位置】E-5・6、F-5・6グリッドで検出された。

【重複】住居南壁で7号土坑と、東壁で324号土坑と重複している。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗黄褐色土層ローム粒を多量に混入。炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】東西5.6m、南北5.64mを測り、ほぼ円形を呈す。炉の東側床面が搅乱を受けている。

【壁・周溝】壁は東側で10cm、北側で18cmを測るが、西～南側にかけてほとんど残存していない。周溝は全周する。幅8～40cm、深さ5～15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-67cm、P 2-75cm、P 3-46cm、P 4-85cm、P 5-30cm、P 6-73cm、P 7-47cmとなる。

【炉】住居中央よりやや南側で地床炉が、住居中央よりやや北側で石囲炉が検出された。地床炉は52×46cmの楕円形を呈し、深さ8cmを測る。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入。石囲炉は方形を呈し、東側の石は搅乱で消失している。石囲の規模は南北98cmとなる。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】住居南壁際では埋甕が検出された。埋甕には口縁部から底部まで残存する深鉢（第129図1）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土はロームブロックを混入する暗褐色土層となる。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向が看取される。このうち、埋甕とほぼ対称の北壁際には伏甕（第129図4）が検出された。伏甕には深鉢の胴部上半が用いられ、床面に口縁部が接するように出土した。また、（第129図5）が約2.5mほど南で検出された6号住居で出土した土器（第135図1）との接合関係が確認できた。

【時期】縄文時代中期後葉。

### 4号住居跡（第7・8図）

【位置】D-5・6、E-5・6グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒を多量に混入。炭化物、焼土粒を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒子を混入。4層黄褐色土層ロームブロックを多量に混入。

【形状・規模】東西6.55m、南北6.58mを測り、ほぼ円形を呈す。

【壁・周溝】壁は東側で35cm、西側で29cm、南側で40cm、北側で34cmを測る。周溝は南側の出入り口部と考えられる箇所とその対称の北壁部分を除き検出された。幅10～30cm、深さ10～15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-73cm、P 2-38cm、P 3-80cm、P 4-35cm、P 5-74cm、P 6-87cm、P 7-45cm、P 8-77cm、P 9-81cm、P 10-90cm、P 11-42cm、P 12-70cm、P 13-51cm、P 14-79cm、P 15-82cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で地床炉が検出された。ただ、炉の下端には溝状の落ち込みがみられ、周辺には礫が散在して出土していることから、石囲炉であった可能性を有す。地床炉は121×95cmの楕円形を呈し、深さ10cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】全体としては散在して出土する傾向が看取されるが、P 15の底面付近で土偶の下半身（第279図4）、有孔薄円盤（第130図13）、櫛形文が施された深鉢底部（第130図1）が、板状の礫と共に出土している点が特筆される。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 5号住居跡（第9・10図）

【位置】E-7・8、F-7・8グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層褐色土層炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化粒子を混入。4層褐色土層ロームブロック混入。5層黄褐色土層ロームブロックを多量に混入。6層黄褐色土層ロームブロックを多量に混入。7層黒褐色土層ローム粒子を多量に混入。8層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。

【形状・規模】南北に長い楕円形となり、東西6.6m、南北7.45mを測る。

【壁・周溝】本住居の壁際には南側の出入り口と考えられる箇所を除き、幅50~100cmを測るテラス状の遺構が検出され、その内側を周溝が巡り床面となる構造となる。よって壁はその断面が階段状となる部分が多い。壁高は東側で54cm、西側で32cm、南側で46cm、北側で48cmを測る。周溝は南側の出入り口と考えられる箇所と南西の一部を除き検出され、幅12~30cm、深さ8~20cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-58cm、P2-53cm、P3-58cm、P4-37cm、P5-60cm、P6-32cm、P7-53cm、P8-66cm、P9-47cm、P10-45cm、P11-68cm、P12-67cm、P13-46cm、P14-68cm、P15-38cm、P16-54cm、P17-58cmとなる。また、壁際のテラス状となる部分には径8~20cm、深さ10~20cmを測る小型のピットが多数検出されている。

【炉】住居中央よりやや北側で埋甕炉が検出された。壠方は108×65cmの楕円形を呈し、深さ34cmを測る。埋設された土器（第131図1）は口縁部から胴部上半まで残存する。覆土は1層黒褐色土層焼土粒子を混入。2層黒褐色土層焼土粒子を多量に混入。3層暗褐色土層焼けたロームブロックを混入。4層暗褐色土層焼けたロームブロックを混入。また、炉の南側に50×45cm、深さ18センチを測るピットが検出された。覆土は黒褐色土層で焼土粒子を混入する。

【その他の施設】P18は絶80×70cm、深さ51cmを測るピットで、断面が袋状を呈することから、貯蔵穴の可能性がある。また、P17は底面から約10cm浮いた状態で、ほぼ完形の有孔鉢付土器と深鉢形土器（第131図7・8）が横位に出土した。覆土は1層黒褐色土層ローム粒子を僅かに混入。2層暗褐色土層ローム粒子を混入。3層褐色土層ローム粒子を混入。P12からは2/3ほど残存する浅鉢形土器（第132図11）が出土している。覆土は1層黒褐色土層ロームブロックを混入。2層黄褐色土層多量のロームブロックを混入。3層暗褐色土層多量のロームブロックを混入。

【遺物出土状況】炉を中心として、比較的多くの遺物が出土している。特筆すべきものは前述したP17で出土した有孔鉢付土器の他、完形でコップ形（第132図21）を呈す小型土器や、内面底部に黒色の漆状付着物が認められる小型土器（第132図18）が炉の周辺で床面から10cmほど浮いたレベルで出土している。また、埋甕炉の直上で胴下半を欠損した深鉢形土器（第131図3）が横位に出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 6号住居跡（第11・12図）

【位置】G-5・6、H-5・6グリッドで検出された。

【重複】住居南側で9号住居跡と重複し、本住居が新しい。

【覆土】1層黒褐色土層ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒、炭化物、焼土粒を混入。3層暗褐色土層ローム粒、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】東西6.5m、南北7.36mを測り、南側の出入口と想定される部分が若干突出するようになり、隅丸五角形のような形状を呈す。

【壁・周溝】壁は東側で10cm、北側で18cmを測るが、西~南側にかけてほとんど残存していない。周溝はほぼ

全周する。幅8~30cm、深さ7~20cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-43cm、P 2-67cm、P 3-102cm、P 4-108cm、P 5-91cm、P 6-71cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出され、炉の北側縁辺には礫が巡る。132×130cmの不整円形を呈し、深さ18cmを測る。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】住居南壁際では埋甕が検出された。埋甕には口縁部が若干欠損するものの、以下底部まで残存する把手付鉢形土器（第135図3）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土はロームブロックを混入する暗褐色土層となる。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向が看取される。P 2の上面では複数の礫が環状に巡るように出土した。経は約40cmを測る。また、深鉢（第135図1）は約2.5mほど南で検出された3号住居で出土した土器との接合関係が確認できた。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 7号住居跡（第13・14図）

【位置】G-1、H-1、I-1グリッドで検出された。

【重複】住居南側で8号住居と重複し、本住居が新しい。また、住居の北西部分は調査区外となり、未調査である。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、焼土、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入2層より色調が明るい。4層暗黄褐色土層ロームブロック混入。

【形状・規模】住居北西側が調査区外となり、南側が8号住居と重複しているため、その規模は判然としない。ただ、残存する壁やピット等の配置からその形状は、円形を呈すものと想定される。

【壁・周溝】残存する壁高は東側で50cm、南西側で30cm、北側で38cmを測る。周溝は東壁際で検出され、幅10~25cm、深さ8~20cmを測る。

【ピット】本住居と8号住居は重複しているため、両住居のピットを一括して記載する。深度はP 1-54cm、P 2-33cm、P 3-18cm、P 4-60cm、P 5-33cm、P 6-64cm、P 7-39cm、P 8-66cm、P 9-49cm、P 10-56cm、P 11-20cm、P 12-67cm、P 13-57cm、P 14-61cm、P 15-52cm、P 16-56cm、P 17-81cm、P 18-52cm、P 19-53cm、P 20-52cm、P 21-70cm、P 22-68cm、P 23-30cm、P 24-97cm、P 25-43cm、P 26-53cm、P 27-63cm、P 28-42cm、P 29-59cm、P 30-53cm、P 31-31cm、P 32-27cm、P 33-67cm、P 34-60cm、P 35-55cm、P 36-56cmとなる。

【炉】10~30cm前後の礫が炉の北側を除き検出されていることから、石圓炉であったと思われる。堀方は112×66cmの楕円形を呈し、深さ12cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】P 10は経88×75cm、深さ56cmを測るピットで、壁が一部オーバーハングしていることから貯蔵穴の可能性がある。また、底面から約10cm浮いた状態で、底部を欠損するものの、ほぼ完形の小型深鉢形土器（第138図6）や、大型土器片（第138図3）などが出土している。なお、P 10はその検出された位置から重複する8号住居へ帰属する可能性を有している。

【遺物出土状況】炉を中心として比較的多くの遺物が出土し、土製品では土偶8点、器台4点が出土し、その点数の多さは注目される。住居のほぼ中央の覆土上層からは、上半身が残存する土偶（第281図16）が出土し、住居南側ではほぼ完形の器台（第136図12）が床面から10cmほど浮いた状態で出土している。また、特筆すべきものとして、炉周辺の遺物出土状況が挙げられる。まず、炉の直上で2/3ほど残存する深鉢（第136図1）が横位に出土し、土器の内部から土偶の足の部分（第280図13）が出土した。また、炉の南側縁辺では背面を欠損する土偶胴体破片（第280図11）が出土した。炉石として用いられた角柱状の石器は8号土坑から出土したものと接合している（第342図7）。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 8号住居跡（第13・14図）

【位置】H-1・2、I-1・2グリッドで検出された。

【重複】住居北側で7号住居と重複し、本住居が旧い。また西側で24号土坑と重複している。

【覆土】1層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒を混入。3層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。4層黄褐色土層ローム粒子を混入。

【形状・規模】東西6.1m、南北6.25mを測り、ほぼ円形を呈す。

【壁・周溝】壁高は東側で72cm、西側で39cm、南側で54cm、北側で13cmを測る。周溝は西壁際と、主柱穴を巡るように検出され、幅12~30cm、深さ10~28cmを測る。壁はその下端と主柱穴を巡る周溝の間でテラス状となる。

【ピット】本住居と7号住居は重複しているため、両住居のピットを一括して7号住居跡で記載する。

【炉】住居のはば中央で検出されたが、南側半分はP37に切られている。鉢形土器（第138図15）を埋設した埋甕炉となり、堀方は楕円形を呈すものと思われる。深さ8cmを測る。覆土は1層暗黄褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。2層P37覆土暗褐色土層ローム、炭化物粒を混入。

【その他の施設】P37は経107×97cm、深さ45cmを測るピットで炉を切っていることから、本住居より新しい土坑と考えられる。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向が看取される。ただ、炉の北東ではほぼ完形の小型深鉢形土器（第138図1）が、住居南側では覆土中から小型土器（第138図2）や土偶（第282図18）などが出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 9号住居跡（第15図）

【位置】H-5・6、I-5・6グリッドで検出された。

【重複】住居北側で6号住居と重複し、本住居が旧い。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒を混入。

【形状・規模】本住居は北側が6号住居と重複し、西壁際は一部攪乱を受けているため、その規模や形状は判然としない。残存するプランから類推するとその形状は円形を呈する可能性がある。東西4.6mを測る。

【壁・周溝】本住居は全体として残存状況が悪く、壁高は東側で5cm、西側で6cm、南側で10cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-36cm、P2-68cm、P3-45cm、P4-46cm、P5-42cm、P6-42cmとなる。

【炉】焼土、炭化物の散布や掘込み等、積極的に炉と判断できるようなものは確認されていない。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく散在して出土している。唯一の個体資料で本住居の時期決定資料である（第140図1）はP6の東側床面直上から出土した。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 10号住居跡（第15・16図）

【位置】H-6・7、I-6・7グリッドで検出された。

【重複】住居東側で11号住居跡と重複し、本住居が新しい。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層ローム粒、炭化物粒を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒を多量に混入。4層暗褐色土層ロームブロックを多量に混入。

【形状・規模】北東壁の一部が攪乱を受けているが、東西6.4m、南北6.5mを測り、ほぼ円形を呈す。

【壁・周溝】壁高は東側で17cm、西側で23cm、南側で30cm、北側で24cmを測る。周溝は北東壁際を除きほぼ全

周する。幅16~54cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~90cm、P 2~70cm、P 3~22cm、P 4~96cm、P 5~79cm、P 6~96cm、P 7~84cm、P 8~72cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出され、長さ40~10cm程の礫を巡らした石圍炉となる。炉の南側では扁平な礫と小型の礫を用いて、一部敷石状となる。134×94cmの隅丸方形となり、深さ18cmを測る。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】床面から10~15cm程浮いた状態で比較的多くの遺物が出土している。注目されるのは、P 6で底部のみ欠損した把手鉢形土器（第141図4）が、胴部半身まで埋まった状態で若干斜位に出土したことであろう。検出されたP 6は炉の東側約1mに位置し、土器は胴部上半が床面から露出するような状況で出土したことを考慮すると、住居出入口部にみられる埋甕とは異なるものであろう。P 6覆土1層暗褐色土層ロームブロックを多量に混入。2層黄褐色土層ローム粒子を混入。3層暗褐色土層ローム粒子を混入。4層暗褐色土層3層より色調が暗い。ローム粒子を混入。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 11号住居跡（第17図）

【位置】H-7・8、I-7・8グリッドで検出された。

【重複】住居西側で10号住居跡と重複し、本住居が旧い。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗横褐色土層ローム粒を多量に混入。

【形状・規模】本住居は東西5.2m、南北5.6mを測る楕円状を呈すが、その内側に東西4.72m、南北3.28mを測る隅丸長方形の落ち込みが検出された。これが2軒の重複なのか、1軒の住居内における施設であるのか住居断面等遺構の観察や遺物の出土状況からは、積極的に判断できるデータは得られなかった。

【壁・周溝】上記したように住居内に長方形を呈す落ち込みが検出されたため、南北の壁際はテラス状となる。西側は10号住居に切られ判然としないが、東側の壁は階段状となる。壁高は東側で上段まで30cm、下段まで50cm、西側で上段まで17cm、下段まで38cm、南側で上段まで27cm、下段まで50cm、北側で上段まで20cm、下段まで36cmを測る。周溝は外形の楕円プランでは東~南壁まで検出され、幅10~22cm、深さ5cmを測る。内側の長方形プランでは東、南壁の一部を除き検出され、幅15~35cm、深さ5~12cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~61cm、P 2~62cm、P 3~50cm、P 4~69cm、P 5~65cm、P 6~21cm、P 7~70cm、P 8~51cm、P 9~65cm、P 10~32cmとなる。

【炉】住居中央よりやや西側で検出された。堀方は68×60cmの楕円形を呈し、深さ17cmを測る地床炉となる。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】P 11は経104×72cm、深さ57cmを測るピットで、壁が一部オーバーハングしていることから貯蔵穴の可能性がある。底面からは、20cmほど浮いたレベルで磨石、敲石などが出土している。P 12は経60×50cm、深さ9cmを測るタライ状を呈すピットである。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく藤内式~井戸尻式期の土器が散在して出土している。その多くが床面から10~20cmほど浮いた状態で出土している。P 5からは底面から20cmほど浮いた状態で石皿（第342図8）の破片が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 12号住居跡（第18図）

【位置】J-1・2、K-1グリッドで検出された。

【重複】347~351号土坑と重複しており、いずれも本住居の床面下から検出されていることから、本住居が新しい。

【覆土】 遺構確認の段階で石圓炉や、敷石に用いられたと思われる板状の礫が検出され、覆土は残存していない。

【形状・規模】 本住居は前述したように、石圓炉や敷石に用いられたと思われる板状の礫が検出され、中期末～後期初頭の土器が出土していることから本来は敷石住居であったと推測される。礫の分布状況から柄鏡形を呈すものと考えられるが、住居西側が調査区外となり、規模は不明である。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 ピットの深度は床面を精査したがP 1のみで、深度は34cmを測る。また347号土坑もその可能性がある。深度は34cmを測る。

【炉】 東西70×南北64cmの方形を呈する石圓炉となるが、南側は部分的に礫が検出されていない。深さは10cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 全体として遺物は少なく散在して出土している。炉内からは釣手土器の釣手部分の破片（第144図3）と考えられるものが出土し、張出部と考えられる住居南側では石棒の破片（第351図67）が出土している。

【時期】 繩文時代中期末。

#### 13号住居跡（第19図）

【位置】 I-3・4、J-3・4グリッドで検出された。

【重複】 住居西側で14号住居と、南側で19号住居が重複し、本住居はいずれの住居よりも旧い。

【覆土】 1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗黄褐色土層ローム、焼土、炭化物粒を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒子を混入。

【形状・規模】 東西5.9m、南北5.6mを測り、ほぼ円形を呈す。

【壁・周溝】 壁は住居西側ではほぼ全面にわたり削平を受け、南側で19号住居と重複していることから、残存状況が悪い。残存状況の良い東側は緩やかに傾斜する壁となる。東側で40cm、西側で10cm、北側で32cmを測る。周溝南壁際を除き、ほぼ全周する。東側では一部主柱穴を巡るように検出された箇所もみられる。幅12～30cm、深さ10～31cmを測る。また、経15～30cm深さ150cm前後の小型ピットが周溝と重複するように、検出されている。

【ピット】 ピットの深度はP 1-66cm、P 2-56cm、P 3-51cm、P 4-61cm、P 5-68cm、P 6-76cm、P 7-75cm、P 8-23cm、P 9-42cmとなる。

【炉】 住居の中央より若干北側で検出された。胴部のみ残存する深鉢形土器（第145図2）が埋設され、北側を除き板状の礫が巡る石圓埋甕炉となる。深さ19cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、ローム粒子を混入。2層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土している。

【時期】 繩文時代中期中葉。

#### 14号住居跡（第20図）

【位置】 J-3、K-3グリッドで検出された。

【重複】 13号住居と重複しており、本住居床面下から13号住居は検出された。

【覆土】 遺構確認の段階で石圓炉が検出され、覆土は残存していない。

【形状・規模】 本住居は前述したように、石圓炉が検出されたほか、板状を呈す礫などが比較的まとまっているのみで、プランや形状を判断するのは難しい。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】検出されていない。

【炉】東西58×南北60cmの方形を呈する石圓炉となるが、南側は部分的に礫が検出されていない。深さは14cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく散在して出土している。炉内からは加曾利E式系の破片（第146図4）が出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 15号住居跡（第20図）

【位置】H-2・3、I-2・3グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】本住居は東西5.1m、南北6.6mを測る楕円状を呈すが、柱穴などの検出状況を考慮すると南北方向は縮小する可能性がある。

【壁・周溝】壁高は東側で18cm、西側で13cm、南側で27cm、北側で12cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-38cm、P2-22cm、P3-47cm、P4-20cm、P5-46cm、P6-63cm、P7-58cm、P8-50cm、P9-24cm、P10-46cm、P11-83cm、P12-26cm、P13-22cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。堀方は84×58cmの楕円形を呈し、深さ8cmを測り、北側に礫を配す。覆土は1層赤褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】P14は経45cm、深さ56cmを測るピットで、底面が一部ハンギングしていることから貯蔵穴の可能性がある。底面から20cmほど浮いたレベルで打製石斧が出土している。P15は経78×65cm、深さ10cmを測るタライ状を呈すピットである。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく散在して出土している。その多くが床面から10cmほど浮いた状態で出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 16号住居跡（第21・22図）

【位置】I-4・5、J-4・5グリッドで検出された。

【重複】住居南側で18、23号住居跡と重複し、18号住居とは本住居が旧く、23号住居とは本住居が新しい。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗黃褐色土層ローム粒を多量に混入。

【形状・規模】東西6.2m、南北6.4mを測る楕円状を呈す。

【壁・周溝】本住居は18号住居と重複している南側では壁は検出されていない。壁高は東側で60cm、西側で48cm、北側49cmを測る。周溝は外形の楕円プランでは東、西壁で部分的に検出されており、幅10~30cm、深さ5~10cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-76cm、P2-82cm、P3-78cm、P4-75cm、P5-50cm、P6-75cm、P7-67cm、P8-55cm、P9-122cm、P10-62cm、P11-56cm、P12-63cm、P13-54cm、P14-44cm、P15-70cm、P16-59cm、P17-30cm、P18-55cm、となる。また、北壁際を中心として経10~30cm、深さ10~15cmを測る小型のピットが検出されている。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。堀方は98×72cmを測り北側に若干突出し五角形のホームベース状を呈す。その内側を堀方と同様に礫が五角形状に巡る。礫は大型のもの間に小型の礫を一部充填するように配されており、なかには磨石や打製石斧などの石器が用いられるものがある。また、炉の中央には深鉢の底部（第148図9）が埋設されていた。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。2層暗黃褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【その他の施設】 P19は経45×43cm、深さ61cmを測るビットで、壁が一部オーバーハングしていることから貯蔵穴の可能性がある。P20~25は深さ10~15を測るタライ状を呈すビットである。

【遺物出土状況】 底部穿孔を含む4点の深鉢など（第148図1・4・6・7）、全体として遺物は床面から10~20cm浮いた状態で出土する傾向がある。このうち、3点（第148図1・4・6）は深鉢の破片とともに炉の南側から近接して出土した。P9からは覆土上面から器台の破片（第148図11）が出土し、P11の覆土上面からは土偶の足の部分（第282図22）や匙形土製品（第148図12）が出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉。

#### 17号住居跡（第23図）

【位置】 G-8・9、H-8・9グリッドで検出された。

【重複】 住居東側で10、11号土坑と重複している。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】 東西6.1m、南北6.9mを測る楕円形となるが、南側の埋甕が検出された出入口と想定される部分が若干突出する。

【壁・周溝】 壁は東側で37cm、北側で27cmを測るが、西~南側にかけては削平を受けており、5~10cm程しか残存していない。周溝は南壁際の埋甕が検出された箇所を除き、全周する。幅15~28cm、深さ5~38cmを測る。

【ビット】 ビットの深度はP1-73cm、P2-44cm、P3-36cm、P4-85cm、P5-104cm、P6-22cm、P7-96cm、P8-55cm、P9-82cmとなる。P10は深さ51cmを測るビットだが検出された位置から、本住居に伴うものではないと考えられる。

【炉】 住居中央より北側で検出され、124×92cmの長方形を呈す石囲炉となるが、北東隅の礫が外れ床面に横位に検出されている。深さ50cmを測り、覆土は1層で黒褐色土層ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 住居南壁際では埋甕が検出された。埋甕には口縁部を欠損する深鉢（第149図2）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土はロームブロックを混入する暗褐色土層となる。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土している。

【時期】 縄文時代中期後葉。

#### 18号住居跡（第24・25図）

【位置】 J-5・6、K-5・6グリッドで検出された。

【重複】 住居東側で23号住居と、西側では23号土坑と、北側で16号住居と重複している。23号土坑との新旧関係は本住居が新しく、16、23号住居が旧い。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒、炭化物を混入。

【形状・規模】 16、23住居と重複しているため、北から東側にかけての壁が存在せず、明確なプランは不明。東西方向は東側で検出した周溝を参考とすると8.0mを測る。また、南側の埋甕が検出された出入口と想定される部分が若干突出する。また、本住居では埋甕が2基検出されており、主柱穴となるビットが重複して検出されていることを考慮すると改築を行った可能性がある。

【壁・周溝】 壁は西側で11cm、南側で39cmを測るが、北~東側にかけては16、23住居と重複しているため残存していない。周溝は南壁際の埋甕が検出された箇所と16号住居と重複する北側を除き、ほぼ検出された。幅10~40cm、深さ8~28cmを測る。

【ビット】 ビットはP1~16までは16号住居と重複し、その帰属には検討を要する。また、他のビットも23号住居とその帰属を検討する必要がある。深度はP1-79cm、P2-79cm、P3-23cm、P4-88cm、P5-45cm、P6-75cm、P7-75cm、P8-82cm、P9-67cm、P10-76cm、P11-80cm、P12-61cm、P13-86cm、P14-70cm、P15-64cm、P16-24cmとなる。

【炉】住居中央より北側で検出された。近接して2ヶ所から検出され、北側の炉は東西100cm、南北90cm、深さ20cmを測る方形の堀方を持ち、周囲には礫が散在することから、石窓炉であったと考えられる。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を多量に混入する。南側は堀方を持たない地床炉となる。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が2基検出された。南側の埋甕には胴下半を欠損する深鉢（第150図2）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層でロームブロックを混入する暗褐色土層。北側の埋甕には胴下半が残存する（第150図9）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層でロームブロックを混入する暗褐色土層。P17、P18は深さ15cmのタライ状を呈すピットである。P19は深さ75cmを測り、壁がオーバーハングしていることから貯蔵穴であろう。P20は深さ94cmを測るピットで、検出された位置から23号住居に帰属するものであろう。

【遺物出土状況】比較的多くの遺物が出土しているが、散在して出土する傾向にある。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 19号住居跡（第26・27図）

【位置】J-3・4、K-3・4、L-4グリッドで検出された。

【重複】住居北側で13号住居と、南側で31号住居と重複している。13、31号住居との新旧関係は本住居が新しい。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、焼土、炭化物粒子を混入。2層暗黄褐色土層ローム粒、炭化物を混入。3層暗黄褐色土層2層より明るい。ローム粒を多量に混入。

【形状・規模】東西6.4m、南北7.4mを測る梢円形となるが、住居北側で周溝が2重に巡る点や、主柱穴と考えられるピットの検出状況を考慮すると改築を行った可能性がある。

【壁・周溝】壁は東側で56cm、西側で37cm、南側で52cm、北側で26cmを測る。周溝は南壁の一部を除き、検出され、前述したように北側では2重に巡る。幅10~36cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-53cm、P2-52cm、P3-25cm、P4-35cm、P5-45cm、P6-25cm、P7-55cm、P8-32cm、P9-30cm、P10-29cm、P11-54cm、P12-26cm、P13-27cm、P14-61cm、P15-65cm、P16-38cm、P17-71cm、P18-28cm、P19-52cm、P20-42cm、P21-49cm、P22-68cm、P23-56cm、P24-43cm、となる。

【炉】住居中央より若干北側で検出された。73×73cmのほぼ方形を呈す堀方を持ち、深さは20cmを測る。南側を除き小型の礫が巡り、石窓炉となる。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を多量に混入する。

【その他の施設】P25は深さ55cm、P27は深さ64cmを測るピットで壁がオーバーハングしていることから貯蔵穴であろう。P26は深さ33cmを測るタライ状のピットとなる。

【遺物出土状況】比較的多くの遺物が出土しているが、覆土上層から井戸尻式期の土器が出土し、床面付近から藤内式土器が出土する傾向がみられる。また、いずれも覆土中からの出土であるが、土偶9点、有孔薄円盤1点、器台2点、匙形土製品1点、小型土器1点と各種の土製品が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 20号住居跡（第28図）

【位置】K-1・2、L-1・2グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム粒、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】東西6.4m、南北6.0mを測る梢円形となる。

【壁・周溝】壁は東側で30cm、西側で15cm、南側で8cm、北側で26cmを測る。周溝は部分的に検出されない箇所がみられるものの、ほぼ全周する。幅10~28cm、深さ5~14cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-27cm、P2-68cm、P3-20cm、P4-88cm、P5-33cm、P6-69cm、P

7~90cmとなる。

【炉】住居中央より北側で検出され、110×100cmの方形を呈す石窯炉となる。このうち、東、西、北に設置された礫は板状の角礫を用いているが、南側の礫は細長い円礫を用いており、意図的に南側の礫のみ異なったものを使っている。深さは35cmを測り、覆土は1層で黒褐色土層ローム粒子を混入する。また、石窯炉の南側に掘込みを持たない地床炉が検出されている。

【その他の施設】P 8は石窯炉に切られており、その北東で検出された。100×100cm、深さ21cmを測るクライ状の土坑だが、底面から焼土が検出されている点や石窯炉に切られていることを考慮すると、旧いがの可能性を有す。

【遺物出土状況】全体として住居北半で出土する傾向がある。

【時期】縄文時代中期後葉。

## 21号住居跡（第29図）

【位置】K-1、L-1グリッドで検出された。

【重複】住居東壁際で集石遺構が検出されている。集石遺構は本住居跡確認面より10cmほど上面の、主として縄文中期末葉の遺物を包含する層で確認されていることから、本住居より新しい。

【覆土】本住居はその大部分が西側調査区外となるが、残存状況が良好なため本遺跡の基本層序を兼ねている。

I~III層が基本層序で、1層が本住居の覆土となる。暗褐色土層ローム粒を混入。

【形状・規模】本住居はその大部分が西側調査区外となり、不明。

【壁・周溝】壁は東側で50cmを測る。周溝は東壁際の調査範囲から検出された。幅10~28cm、深さ5~10cmを測る。

【ピット】15cm以上の深度を測るピットはP 1で、その深度はP 1~58cmとなる。なお、本ピットからは、その上層からほぼ完全な深鉢形土器（第150図1）が斜位に出土していることから、柱穴以外の用途も考慮する必要があろう。

【炉】検出されていない。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】上記したP 1での深鉢形土器以外遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

## 22号住居跡（第29・30図）

【位置】F-10・11、G-10・11グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層黒褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。3層暗褐色土層2層より色調が明るい。ローム、炭化粒子を混入。4層褐色土層ロームブロック混入。5層黒褐色土層ロームブロックを多量に混入。

【形状・規模】南北に長い楕円状を呈し、東西4.85m、南北5.6mを測る。

【壁・周溝】本住居の壁際には南側を除き、幅40~70cmを測るテラス状の遺構が巡り床面となる構造となる。よって壁は南側を除きその断面が階段状となる。壁高は東側で35cm、西側で21cm、南側で38cm、北側で37cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~55cm、P 2~40cm、P 3~50cm、P 4~65cm、P 5~51cm、P 6~65cm、P 7~34cm、P 8~58cm、P 9~49cm、P 10~45cm、P 11~54cm、P 12~45cm、P 13~53cm、P 14~54cm、P 15~43cm、P 16~45cmとなる。このうち、P 4、5、11、13は壁が一部ハングしていることから、貯蔵穴の可能性も有す。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。堀方は50×54cmの不定形で、西側を除き礫が検出されていること

から、石閉炉の可能性がある。深さ15cmを測る。覆土は1層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。

【その他の施設】 P 17~20は断面が袋状を呈することから、貯蔵穴の可能性がある。このうち、P 20では底面から70cmほど浮いたレベルで小型で完形の有孔付土器（第160図23）が逆位で出土したほか、完形の小型深鉢（第159図16）や大型深鉢の胴下半部（第159図20）などがほぼ同レベルで出土し、底部付近では凹石や20cm大の角礫が出土している。各ピットの深度は、P 17~58cm、P 18~87cm、P 19~56cm、P 20~94cmとなる。

【遺物出土状況】 炉の周辺を中心として多くの土器が床面から10~20cm前後浮いた状態で出土している。特筆すべきものは、炉の南東側で口縁部が床面に接した状態（逆位）ではなく完形の深鉢（第157図1）が出土した。また、炉の直上で胴下半を欠損した深鉢形土器（第158図2）が横位に出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉。

### 23号住居跡（第24図）

【位置】 I-6、J-6、K-6グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で16号住居と、西側で18号住居と重複している。16、18号住居との新旧関係は出土土器から本住居が最も古い。

【覆土】 本住居の覆土は18号住居覆土2層に相当する。なお、断面観察で18号住居の壁は明確に検出されていない。

【形状・規模】 住居北側で16号住居と、西側で18号住居と重複しているため不明。

【壁・周溝】 壁は残存する東側で46cmを測る。周溝は東壁で検出され、幅10~15cm、深さ5~10cmを測る。

【ピット】 18号住居と重複しているため、18号住居の項で一括して記載した。

【炉】 18号住居P 9の西側で検出された焼土が本住居に伴う炉と考えられる。70×58cmの楕円状を呈すが、掘込みはない。18号住居に切られていたため、炉の形態も不明。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 土器が散在して出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉。

### 24号住居跡（第30図）

【位置】 I-11グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で13号土坑と、東側で14、15号土坑と重複している。これら土坑との新旧関係は出土土器から本住居が新しい。

【覆土】 住居全体が、削平をうけており、覆土はほとんど残存していない。1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】 上記したとおり、本住居は削平と溝状の擾乱を受け住居の残存状況は悪く不明な部分が多いが、南北4.4mを測り、円形を呈すものと思われる。東西は西壁が判然としないため、不明。

【壁・周溝】 壁は残存する東側18cm、南壁10cm、北壁8cmを測る。周溝は南壁際で検出され、幅20~30cm、深さ10cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1-67cm、P 2-68cm、P 3-62cmとなる。

【炉】 住居中央より北側で検出された。東~南側にかけての約1/2が擾乱で破壊され規模は不明だが、西~北側にかけては礫が方形に巡ることから、石閉炉になろう。なお、擾乱の底部から炉に用いられたと考えられる礫が検出されている。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 住居南側床面で土器が散在して出土している。

【時期】 縄文時代中期後葉。

### 25号住居跡（第31図）

【位置】G-12グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】住居全体が、削平をうけており、覆土は残存していない。

【形状・規模】上記したとおり、本住居は全面的に削平を受け住居の残存状況は悪く不明。

【壁・周溝】検出されなかった。

【ピット】ピットの深度はP 1-24cm、P 2-28cm、P 3-48cm、P 4-45cmとなる。

【炉】削平を受けているため残存状況は悪いが、70×65cmの方形の堀方をもち、東側で課が巡ることから、石囲炉であった可能性がある。深さ18cmを測り、覆土は1層暗褐色土層焼土粒子を多量に混入。

【その他の施設】埋甕が検出された。埋甕には底部と口縁部を欠損する深鉢（第163図2）が用いられ、正位に埋設されていた。口縁部の欠損は削平による可能性が高い。埋甕内覆土は1層でロームブロックを混入する暗褐色土層。2層は堀方覆土。暗黄褐色土層ローム粒子を多量に混入。P 5-51cmは深さ13cmを測るタライ状を呈す土坑である。

【遺物出土状況】住居南側床面で土器が僅かに出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

### 26号住居跡（第31図）

【位置】F-11・12、G-12グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】南壁が2ヶ所で攪乱を受けているが、南北に長い楕円状を呈すと思われ、東西4.8m、南北5.6mを測る。

【壁・周溝】本住居の壁際には南側を除き、幅70~90cmを測るテラス状の遺構と幅10~28cm、深さ10~15cmを測る周溝が巡り床面となる構造となる。よって壁は南側を除きその断面が階段状となる。壁高は東側で39cm、西側で8cm、南側で18cm、北側で18cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-148cm、P 2-53cm、P 3-43cm、P 4-71cm、P 5-37cm、P 6-70cm、P 7-72cm、P 8-32cm、P 9-31cm、P 10-63cm、P 11-52cmとなる。また、経10~30cm、深さ10~15cmを測る小型のピットが、南北壁際を中心に検出された。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。掘込みがほとんど確認されず、100×90cmの不定形の範囲に赤化した火床面が検出された。

【その他の施設】P 12は1/2以上攪乱を受けているが、深さ45cmを測り断面が袋状を呈することから、貯蔵穴の可能性がある。P 13も1/2以上攪乱を受けており、残存する地点での深さは10cmとなる。

【遺物出土状況】炉の周辺を中心として土器が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 27号住居跡（第32図）

【位置】C-9・10、D-9・10グリッドで検出された。

【重複】住居北西で16号土坑と重複し、本住居が新しい。

【覆土】全面的に削平を受けており、ほとんど覆土は残存していない。1層暗褐色土層ローム粒、炭化物を混入。

【形状・規模】南北6m、東西は西壁が削平され検出できず不明だが、円形を基調としたプランとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で11cm、南側で4cm、北側で19cmを測る。周溝は南壁際の埋甕が検出された箇所と西側の削平と攪乱を受けた箇所を除き、ほぼ検出された。幅15~30cm、深さ8~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1 -73cm、P 2 -57cm、P 3 -87cm、P 4 -70cm、P 5 -58cm、P 6 -64cm、P 7 -20cm、P 8 -21cmとなる。

【炉】住居中央より北側で検出された。東西110cm、南北110cm、深さ45cmを測る石囲炉で、覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を多量に混入する。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部と底部を欠損した把手付鉢形土器（第166図1）が用いられ、正位に埋設されていた。土器の東西南側には縄が巡っており、特殊な事例となろう。埋甕内覆土は1層黒褐色土層ローム粒子を混入。堀方覆土は暗褐色土層ローム粒子を混入。

【遺物出土状況】土偶の脇下半部（第285図41）が覆土中から出土しているが、全体として遺物は少なく、散在して出土する傾向にある。

【時期】縄文時代中期後葉。

## 28号住居跡（第33・34図）

【位置】J - 6・7、K - 6・7グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層黒褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。3層暗褐色土層。ローム粒子を多量に混入。

【形状・規模】南北に長い楕円状を呈し、東西7.3m、南北7.6mを測る。

【壁・周溝】壁高は東側で31cm、西側で32cm、南側で33cm、北側で43cmを測る。周溝は部分的に途切れながら検出された。幅10~25cm、深さ5~25cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1 -59cm、P 2 -15cm、P 3 -63cm、P 4 -62cm、P 5 -62cm、P 6 -20cm、P 7 -15cm、P 8 -77cm、P 9 -75cm、P 10 -73cm、P 11 -69cm、P 12 -71cm、P 13 -54cm、P 14 -61cm、P 15 -46cm、P 16 -68cm、P 17 -74cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。堀方は南北100cm、東西90cmの不定形を測り、その内側に中型の縄を円形に巡らし、小型の縄や石皿の破片（第343図14）をその周辺に充填した石囲炉となる。深さ15cmを測る。覆土は1層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】炉の周辺から出土する傾向があり、井戸尻式から曾利I式まで混在して出土している。炉の南西側ではほぼ完形の器台（第167図3）が床面直上から出土したほか、P15の底部付近からは、粗製石匙（第318図556）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

## 29号住居跡（第34・35図）

【位置】K - 1・2、L - 1・2グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム粒、炭化物を混入。

【形状・規模】南北5.2m、東西5.3m。

【壁・周溝】壁は東側で51cm、西側で30cm、南側で41cm、北側で23cmを測る。周溝は南壁際と、西～東壁にかけて検出された。幅18~40cm、深さ10~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1 -25cm、P 2 -39cm、P 3 -46cm、P 4 -37cm、P 5 -38cm、P 6 -32cm、P 7 -40cm、P 8 -41cmとなる。

【炉】住居中央より北側で検出された。近接して2ヶ所から検出され、北側の炉は東西110cm、南北115cm、深さ33cmを測る堀方を持ち、炉の北東には板状の縄などが出土地していていることから、本来は石囲炉であったと考えられるが、住居を廃棄する際に故意に壊された可能性がある。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を多量に混

入する。南側は堀方を持たない地床炉で、径60cmの円形を呈す。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部と底部を欠損した深鉢（第168図11）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。堀方覆土は黄褐色土層ローム粒子を混入。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく、散在して出土する傾向にあるが、埋甕の直上からほぼ完形の深鉢（第168図1）と板状の礫が出土した。

【時期】縄文時代中期後葉。

### 30号住居跡（第36図）

【位置】L-7・8、M-7・8グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】全面的に削平を受けており、覆土の残存状況は悪い。1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】東、西、南壁際で攪乱を受けており判然としない箇所があるが東西5.0m、南北5.1mを測り、円形に近いプランとなろう。

【壁・周溝】壁高は東側で19cm、西側で11cm、南側で15cm、北側で7cmを測る。周溝は南西壁際で一部検出された。幅5~20cm、深さ5~10cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-44cm、P2-88cm、P3-75cm、P4-34cm、P5-72cm、P6-79cm、P7-80cm、P8-22cm、P9-73cm、P10-33cmとなる。

【炉】住居中央よりやや北側で検出された。堀方は南北66cm、東西60cmの不定形を測り、横長の礫を巡らし、小型の礫をその周辺に一部充填した石窯炉となる。深さ10cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】P11~P14は深さ10cm前後を測り、断面がタライ状となる土坑である。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく、散在して出土する傾向にある。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 31号住居跡（第36図）

【位置】L-3・4、M-5グリッドで検出された。

【重複】住居北側を19号住居と、南東側を32号住居と重複し、新旧関係は本住居が最も古い。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。2層暗黄褐色土層ローム粒を混入。

【形状・規模】19、32号住居と重複し判然としない。東西5.0mを測る。

【壁・周溝】壁高は東側で25cm、西側で8cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-51cm、P2-51cm、P3-51cm、P4-46cm、P5-64cm、P6-56cm、P7-47cm、P8-67cm、P9-40cm、P10-76cm、P11-40cmとなる。

【炉】堀方は南北60cm、東西70cmの楕円形状を呈し、東側に長さ40cmを測る大型の円礫が検出された。深さ10cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土粒子を混入。

【その他の施設】なし。

【遺物出土状況】全体として遺物は少なく、床面から10cmほど浮いた状態で散在して出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 32号住居跡（第37・38図）

【位置】L-4・5、M-4・5グリッドで検出された。

【重複】住居北西で31号住居と重複し、38号住居は本住居床面下から検出された。新旧関係は本住居が最も新しい。

【覆土】1層擾乱層。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗褐色土層2層より色調がやや明るい。ローム、炭化物粒子を混入。本層は38号住居の覆土となる。

【形状・規模】東西5.9mを測るが、南北は38号住居と重複しているため、その形状は判然としない。

【壁・周溝】壁は東側で52cm、西側で22cm、南側で46cm、北側で50cmを測る。周溝は埋甕の検出された南壁際を除き、検出された。幅10~15cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】本住居と38号住居は重複しているため、両住居のピットを一括して記載する。深度はP1~54cm、P2~47cm、P3~28cm、P4~67cm、P5~48cm、P6~67cm、P7~59cm、P8~32cm、P9~67cm、P10~56cm、P11~61cm、P12~73cm、P13~30cm、P14~70cm、P15~32cm、P16~55cm、P17~47cm、P18~26cm、P19~47cm、P20~25cm、P21~49cm、P22~50cm、P23~67cm、P24~31cm、P25~68cm、P26~52cm、P27~94cm、P28~73cm、P29~46cm、P30~43cm、P31~62cm、P32~63cm、P33~64cm、P34~59cm、P35~34cm、P36~24cm、P37~65cm、P38~58cm、P39~22cm、P40~21cm、P41~70cmとなる。

【炉】住居のはば中央で検出された。炉は方形を呈する石開炉で、大型の礫で四方を囲むが、コーナー部分には小型の礫を充填している。また、炉内西側から凹石(91)が出土している。東西88cm、南北92cm、深さ36cmを測る。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入する。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕(P43)が検出された。埋甕には底部を欠損した深鉢(第171図1)が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。堀方覆土は2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。P44~46は壁がオーバーハングしており貯蔵穴の可能性がある。このうち、P44は埋甕の東側で検出され深さ48cmを測る。上面には板状の礫が重なって検出された。P46は深さ62cmを測り、本住居の炉に切られており、38号住居に伴うものであろう。P45は深さ84cmを測り、覆土中層から凹石が出土している。検出された位置から32号、38号のどちらに伴う遺構か判然としない。P42は深さ70cmを測る大型のピットで、本住居に伴う遺構か判然としない。P47は深さ16cmをはかる断面がタライ状となるピットである。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向にある。

【時期】绳文時代中期後葉。

### 33号住居跡（第39・40図）

【位置】K-5・6、L-5・6グリッドで検出された。

【重複】住居北西で28号土坑と重複し、本住居が旧い。また、柱穴が切り合って検出されていることから本住居は改築された可能性がある。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

【形状・規模】西壁際で一部擾乱を受けているが、東西6.4m、南北6.5mを測り、円形に近いプランとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で29cm、西側で9cm、南側で27cm、北側で19cmを測る。周溝は全周し、幅15~40cm、深さ15~40cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1~72cm、P2~21cm、P3~47cm、P4~45cm、P5~17cm、P6~52cm、P7~31cm、P8~30cm、P9~44cm、P10~77cm、P11~47cm、P12~43cm、P13~64cm、P14~34cm、P15~26cm、P16~55cm、P17~59cm、P18~50cm、P19~72cm、P20~19cm、P21~58cm、P22~53cm、P23~63cm、P24~27cm、P25~55cm、P26~54cm、P27~54cm、P34~59cm、となる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。炉は方形を呈する石開炉で、大型で板状の礫を横位に設置し四方を囲む。コーナー部分には小型の礫を充填している。東西90cm、南北120cm、深さ18cmを測る。覆土は1層で黒褐色土層焼土粒子を混入する。また、石開炉の南北両側に焼土が分布している。掘込みは認められないが、住居の改築を考慮すると炉の可能性がある。

【その他の施設】 P 28～32は壁がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性がある。深度はP 28～73cm、P 29～46cm、P 30～43cm、P 31～62cm、P 32～63cmとなる。P 33は南北100cm、深さ64cmを測る大型のビットで、炉と近接しているため柱穴以外の性格を考慮すべきであろう。本住居に伴う遺構か判然としない。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土する傾向にある。

【時期】 縄文時代中期中葉～後葉。

### 34号住居跡（第41・42図）

【位置】 P - 4・5、Q - 4・5グリッドで検出された。

【重複】 住居南西側で49号住居と、南で48号住居と、南東で69号土坑と重複している。これらの遺構で本住居が最も新しい。また、柱穴が切り合って検出されていることから本住居は改築された可能性が有る。

【覆土】 1層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。

【形状・規模】 本住居は上記した遺構と重複し、一部攪乱も受けているため正確な形状や規模が判然としない。残存する箇所では東西6.8m、南北5.8mを測る。

【壁・周溝】 壁高は東側で28cm、西側で18cm、北側で22cmを測る。南側は48号住居と重複のため残存しない。周溝は北側では検出されず、他の箇所では部分的に途切れながら検出された。幅10～35cm、深さ5～18cmを測る。

【ビット】 ビットの深度はP 1～27cm、P 2～55cm、P 3～56cm、P 4～65cm、P 5～29cm、P 6～20cm、P 7～78cm、P 8～42cm、P 9～37cm、P 10～40cm、P 11～50cm、P 12～28cm、P 13～38cm、P 14～42cm、P 15～65cm、P 16～38cm、P 17～33cm、P 18～54cm、P 19～54cm、P 20～50cm、P 21～30cm、P 22～75cm、P 23～76cm、P 24～56cm、P 25～51cm、P 26～44cm、P 27～73cmとなる。

【炉】 住居中央より北側で検出された。堀方は南北128cm、東西130cmの不定形を測り、東側には板状の礫が横位に検出されており、本来はこのような礫が四方を巡る石囲炉であった可能性がある。深さ20cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、ローム粒子を混入。

【その他の施設】 なし。P 26、27は本住居に伴うものか判然としない。P 27からは土偶の足、腕部（第285図43）が出土している。深さはP 26～54cm、P 27～54cmとなる。

【遺物出土状況】 P 14、18からは口縁部から脛下半まで残存する土器（第173図2・1）が横位に出土した。また、P 14の西、住居壁際では土偶の顔面部分（第285図44）が出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉～後葉。

### 35号住居跡（第42図）

【位置】 I - 6・7、J - 6・7、グリッドで検出された。

【重複】 住居西側で23号住居と、南側で28号住居、25号土坑と重複している。本住居は時期決定遺物が少ないため、23号住居、25号土坑との新旧関係は判然としない。28号住居と本住居では、本住居が古い。

【覆土】 1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒を混入。

【形状・規模】 23、28号住居と重複し判然としない。

【壁・周溝】 壁高は北側で19cm、東側で41cmを測る。周溝は検出されていない。

【ビット】 ビットの深度はP 1～18cm、P 2～15cmとなる。

【炉】 検出されていない。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 全体として遺物は少なく、土器は中期に比定されるものが混在して出土している。器台（第175図2）、石皿（第344図21）などが出土している。

【時期】 縄文時代中期。

### 36号住居跡（第43図）

【位置】 I-8・9グリッドで検出された。

【重複】 住居西側で11号住居と重複している可能性があるが、削平を受け壁が残存していないため判然としない。新旧関係は本住居が新しい。

【覆土】 1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 住居西半分が削平を受け壁が残存しないため、形状や規模は判然としない。南北4.8mを測る。

【壁・周溝】 壁は東側で10cm、北側で25cmを測る。周溝は南東壁際で検出された。幅18~30cm、深さ6~14cmを測る。

【ピット】 ピットの深度は、P1-18cm、P2-15cm、P3-57cm、P4-57cm、P5-27cm、P6-20cm、P7-58cm、P8-70cm、P9-64cm、P10-28cmとなる。

【炉】 住居の中央より北側で検出された。炉は東西75cm、南北120cm、深さ30cmを測る。覆土は1層で暗褐色土層焼土粒子を混入する。

【その他の施設】 住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部から胴下半まで残存する深鉢（第176図2）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。掘方覆土は2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土する傾向にあり、加曾利E式系の大型深鉢（第176図1）の破片が炉の周辺から出土している。また、炉内からはほぼ完形の粗製石匙（第323図779）が出土している。

【時期】 繩文時代中期後葉。

### 37号住居跡（第44図）

【位置】 M-1、N-1グリッドで検出された。

【重複】 住居西側で32号土坑と重複しており、本住居が古い。

【覆土】 本住居はその大部分が西側調査区外となるが、残存状況が良好なため本遺跡の基本層序を兼ねている。I~III層が基本層序で、1~3層が本住居の覆土となる。1層暗褐色土層炭化物、焼土、ローム粒を混入。2層暗褐色土層ローム粒子を混入。3層暗褐色土層炭化物ローム粒を混入。

【形状・規模】 本住居はその大部分が西側調査区外となり、不明。

【壁・周溝】 壁は東側で33cmを測る。周溝は東壁際の調査範囲からはほぼ検出された。幅12~40cm、深さ5~14cmを測る。

【ピット】 ピットの深度は、P1-85cm、P2-81cm、P3-33cmとなる。

【炉】 検出されていない。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 土偶頭部（第286図45）や把手付鉢形土器（第177図1）などが、住居南側から出土しているが全体として遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】 繩文時代中期後葉。

### 38号住居跡（第37・38図）

【位置】 L-4・5、M-4・5グリッドで検出された。

【重複】 住居北西で31号住居と重複し、本住居は32号住居床面下から検出された。新旧関係は31号住居より新しく、32号住居より古い。

【覆土】 32号住の項で記載。

【形状・規模】 32号住居床面下から検出されたため、壁が残存しておらずその形状は判然としない。本住居に伴うと考えられる周溝を参考にすると、東西約4.5m、南北約4.6mを測る。

【壁・周溝】 壁は残存しない。周溝は全周すると思われる。幅15~40cm、深さ5~15cmを測る。

【ビット】32号住居の項で記載。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西110cm、南北135cm、深さ18cmを測る壠方で、大型の礫が壠方内に散在していることから、本来は石窯炉の可能性を有す。覆土は1層で黒褐色土層焼土、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】壁がオーバーハングしており貯蔵穴の可能性があるP45、46は本住居に伴う可能性がある。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向にある。このうち、器台（第179図3）がP7の上面で出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

### 39号住居跡（第45～47図）

【位置】O-3・4、P-3・4グリッドで検出された。

【重複】住居南側で309号土坑と重複しているが、土坑から時期決定遺物が出土していないため、新旧関係は不明。

【覆土】1層黒褐色土層焼土、ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層焼土、ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西5.5m、南北7.0mを測り、楕円形を呈する。

【壁・周溝】壁は東側で34cm、西側で40cm、南側で65cm、北側で34cmを測る。周溝は検出されていない。

【ビット】ビットの深度はP1-60cm、P2-71cm、P3-38cm、P4-17cm、P5-23cm、P6-40cm、P7-30cm、P8-70cm、P9-53cm、P10-21cm、P11-65cm、P12-49cm、P13-15cm、P14-24cm、P15-22cm、P16-52cm、P17-52cm、P18-27cmとなる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西48cm、南北55cm、深さ27cmを測り、東西南側には礫を配し、北側には円盤状の器台（第182図25）の破片を設置する。また、炉の底部付近には抽象文の深鉢形土器の胴部破片（第183図31）が埋設されていた。覆土は1層黒褐色土層焼土、ローム粒子を多量に混入。2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【その他の施設】P19-22は壁がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性がある。深度はP19-97cm、P20-74cm、P21-40cm、P22-53cmとなる。ただし、P19、21、22はその規模や検出された位置から柱穴の可能性も有す。P23-26はいずれも経100cm以上を測るビットで、深度はP23-47cm、P24-24cm、P25-8cm、P26-12cmとなる。深度の浅いものは住居周辺に同規模の土坑が検出されていることから、本住居に伴わない可能性がある。

【遺物出土状況】炉周辺を中心として、覆土中から多くの遺物が出土した。その主たるものは土器で、覆土上面では人面装飾のある突起（第182図28）など井戸尻式期の土器が、覆土中層から床面付近では藤内式期の土器が出土する傾向が看取される。また、土偶5点、器台3点（内1点は炉出土）など、土製品も多く出土し注目される。このうち、器台（第182図26）には41号住居と接合関係を有するものがある。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 40号住居跡（第47・48図）

【位置】N-3・4・5、O-4グリッドで検出された。

【重複】住居北側で32号土坑と重複し、本住居が旧い。

【覆土】1層暗褐色土層焼土、ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西6.2m、南北5.4mを測る不整円形を呈する。

【壁・周溝】壁は東側で22cm、西側で9cm、南側で23cm、北側で12cmを測る。周溝は検出されていない。

【ビット】ビットの深度はP1-15cm、P2-18cm、P3-51cm、P4-16cm、P5-46cm、P6-16cm、P7-15cm、P8-57cm、P9-52cm、P10-27cmとなる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西75cm、南北82cm、深さ20cmを測り、扁平な礫を配す。ま

た、炉内には胴下半を欠損する深鉢形土器（第184図3）が埋設されていた。覆土は1層暗褐色土層炭化物粒子を多量に混入。2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【その他の施設】P11～14はいずれも経100cm以上を測るピットで、深度はP11～19cm、P12～30cm、P13～36cm、P14～43cmとなる。その規模や検出された位置から柱穴以外の用途も考慮されるピットである。深度の浅いものは住居周辺に同規模の土坑が検出されていることから、本住居に伴わない可能性がある。

【遺物出土状況】炉の西側で、3個体分の大型土器の破片（第184図1・2・4）が集中して出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 41号住居跡（第48図）

【位置】J-8・9、K-8・9グリッドで検出された。

【重複】住居北側で3基の土坑と重複しているが、土坑から時期決定遺物が出土していないため、新旧関係は不明。

【覆土】全面的に削平を受けており、覆土はほとんど残存していない。

【形状・規模】南北6.6mを測る。東西は削平を受け壁が残存しておらず、判然としない。形状はピットの並びから楕円形となろう。

【壁・周溝】壁は東側で14cm、西側で40cm、北側で3cmを測る。他の箇所で壁は残存しない。周溝は西側を除き、ほぼ検出された。幅10～30cm、深さ5～15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-61cm、P2-58cm、P3-61cm、P4-50cm、P5-70cm、P6-65cm、P7-27cm、P8-32cm、P9-63cm、P10-59cm、P11-70cm、P12-66cm、P13-57cm、P14-58cm、P15-73cmとなる。

【炉】検出されていない。住居の中央よりやや北側が攪乱を受けていることから、攪乱で消失したものと考えられる。

【その他の施設】P16～22は壁がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性がある。深度はP16-75cm、P17-102cm、P18-67cm、P19-87cm、P20-50cm、P21-79cm、P22-70cmとなる。ただ、その規模や検出された位置から、柱穴の可能性や本住居に伴わない単独の土坑の可能性も有す。P24は経100cm以上を測るピットで、深度は24cmを測る。住居周辺に同規模の土坑が検出されていることから、本住居に伴わない可能性を有す。

【遺物出土状況】住居東壁際では完形でミニチュアの浅鉢（8）が出土した。また、P17の底部付近からは欠損した台石（第344図25）や角柱状の石器（第344図26）が、P19、P22の底部付近からは鉢形土器（第185図1・2）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 42号住居跡（第49図）

【位置】L-8・9、M-8・9グリッドで検出された。

【重複】図中のピットには、時期決定遺物が出土していないため新旧関係が判然としないものがあるが、本住居に伴わないものが含まれていると考えられる。

【覆土】全面的に削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】削平を受け壁が残存しておらず、判然としない。形状はピットの並びから類推すると、円形に近い形態となろう。

【壁・周溝】全面的に削平を受けており、壁、周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-12cm、P2-15cm、P3-76cm、P4-47cm、P5-50cm、P6-50cm、P7-50cm、P8-53cm、P9-44cm、P10-57cm、P11-61cm、P12-18cm、P13-38cmとなる。このうち、P1・2は攪乱内から検出されていることから、本来はより深いピットであったと思われる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西45cm、南北50cm、深さ28cmを測る堀方に胴部下半を欠損した深鉢形土器（第186図3）が埋設されていた。覆土は1層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。2層黒褐色土層焼土粒子を多量に混入。また、周辺にはP-13~15などのピットが検出されたほか、P-32のような5cmほどの深度しかない土坑が検出されており、これらの遺構は炉に関わる施設の可能性を有する。深度はP14~17cm、P15~15cmを測る。

【その他の施設】P16~18は壁がオーバーハングしており、貯藏穴の可能性がある。深度はP16~52cm、P17~52cm、P18~27cmとなる。このうち、P16からは坑底付近から石皿の破片（第345図27）や、大型深鉢の破片（第186図1）が出土した。P19~31はいずれも経100cm以上を測るピットで、深度はP19~36cm、P20~42cm、P21~68cm、P22~20cm、P23~45cm、P24~56cm、P25~72cm、P26~52cm、P27~56cm、P28~54cm、P29~36cm、P30~59cm、P31~19cmとなる。これらのピットには住居周辺に同規模の土坑が検出されていることから、本住居に伴わないものが含まれる。このうち、P20からは曾利Ⅲ~IV式期の壺型を呈す土器（第186図2）が坑底付近から横位に出土しており、本住居には伴わない土坑である。P21からは、上面から大型で扁平な礫が、P22では坑底付近から磨製石斧（第324図814）が、P25では坑底から約20cm浮いた状態で縦長の石匙（第324図805）が出土した。

【遺物出土状況】上記したとおり、覆土が残っていないため、炉及び、ピット内からしか遺物は出土していない。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 43号住居跡（第49・50図）

【位置】O-6・7、P-6・7グリッドで検出された。

【重複】住居北で50号住居と重複し、本住居が新しい。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層黄褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【形状・規模】東西6.85m、南北6.35mを測り、梢円形に近いプランとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で32.8cm、西側で20.4cm、南側で25cm、北側で27cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-72cm、P2-64cm、P3-34cm、P4-25cm、P5-61cm、P6-23cm、P7-45cm、P8-65cm、P9-48cm、P10-34cm、P11-17cm、P12-31cm、P13-38cm、P14-51cm、P15-56cm、P16-37cm、P17-66cm、P18-56cm、P19-90cm、P20-55cm、P21-73cm、P22-53cm、P23-35cmとなる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。炉は東西130cm、南北70cm、深さ12cmを測る不整形の堀方を持つ。覆土は1層暗褐色土層焼土粒子を混入する。2層黒褐色土層焼土、ローム粒子を混入。炉の直上やその周辺からは角柱状を呈す石器（第345図28）や礫などが纏まって出土し、本来は石圓炉であった可能性がある。

【その他の施設】P24~28は経100cm前後をはかるピットで、深度はP24-51cm、P25-73cm、P26-70cm、P27-85cm、P28-51cmとなる。これらのピットには住居周辺に同規模の土坑が検出されていることから、本住居に伴わないものが含まれよう。なお、P19は壁が一部オーバーハングしており、貯藏穴の可能性も有す。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向にあるが、ピット内での出土状況に特筆すべきものがある。P7では底部から10cmほど浮いたレベルで底部を欠損した小型の深鉢（第187図9）が、長径40cmを測る扁平な円礫などとともに出土した。P19ではその確認面で小型土器（第188図27）が、底部付近で石皿（第345図29）と、台部に2個一対の円形の透かしが施された完形の器台（第187図10）が扁平な礫などと出土した。P26では底面から約10cmほど浮いた状態で、完形で円盤状の器台（第187図13）と石皿（第351図64）が出土した。このほか、匙形土製品（第188図28）が住居西壁際で出土している。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 44号住居跡（第51図）

【位置】O・P-2グリッドで検出された。

【重複】住居西側で34、38、41号土坑と重複しているが、各土坑から遺物が出土せず土層の観察からも新旧関係は判然としない。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層炭化物、焼土粒を混入。3層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西4.3m、南北4.5mを測り、円形に近いプランとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で47cm、西側で15cm、南側で36cm、北側で15cmを測る。周溝は南東壁際で検出された。幅10~30cm、深さ6~14cmを測る。

【ピット】ピットの深度は、P1-67cm、P2-38cm、P3-31cm、P4-50cm、P5-64cm、P6-42cm、P7-16cm、P8-31cm、P9-39cmとなる。

【炉】住居のほぼ中央で地床炉が、やや北側で石窯炉が検出された。地床炉は東西50cm、南北45cmの円形を呈し、堀込みは認められない。石窯炉は東西100cm、南北105cm、深さ44cmを測る。大型で板状の礫が方形に設置され、コーナー部分には小型の礫を配する。覆土は1層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入する。2層黒褐色土層炭化物を多量に混入。3層黄褐色土層ローム、焼土粒を混入。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部と底部を欠損する深鉢（第189図3）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム粒子を混入。堀方覆土は2層暗黄褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向にあるが、埋甕と対称の位置にある北壁際床面直上で伏甕が出土した。伏甕は胴下半を欠損した深鉢（第189図4）が用いられている。炉の周辺では炭化した木材が、また覆土上面では加曾利E IV式の深鉢破片（第189図7）が出土しているが、本住居の上層に堆積した、中期末の包含層に帰属されるものであろう。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 45号住居跡（第52図）

【位置】I・J-12、13グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平や搅乱を受けており判然としないが、周溝が残存する箇所で南北6.4mを測る。

【壁・周溝】壁は残存していない。周溝は残存する箇所で幅10~40cm、深さ6~10cmを測る。

【ピット】ピットの深度は、P1-70cm、P2-63cm、P3-68cm、P4-75cm、P5-51cmとなる。

【炉】住居のやや北側で検出された。一部搅乱を受けており規模は判然としないが、焼土を埋むるように礫が検出され、石窯炉であった可能性がある。

【その他の施設】住居南側で埋甕が検出された。ただ、半分以上搅乱を受けており残存状況は悪い。埋甕には深鉢の胴部（第192図2）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム粒子を混入。

【遺物出土状況】削平と搅乱により残存状況が悪く、遺物は炉周辺にわずかに散布する程度である。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 46号住居跡（第53・54図）

【位置】M・N-5、6グリッドで検出された。

【重複】住居南側で50号住居と、東壁で49号土坑と、北壁で58号土坑と重複している。新旧関係は50号住居、49号土坑より本住居が新しく、58号土坑では遺物が出土しておらず新旧関係は不明。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒子を混入。

【形状・規模】東西6.5m、南北7.1mを測る。形状は南側を50号住居と重複して判然としないが、6号住居同様埋甕の検出された部分が若干突出する形状となるか。

【壁・周溝】壁は東側で60cm、西側で27cm、南側で8cm、北側で17cmを測る。周溝は南東壁際で検出された。幅10~40cm、深さ8~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1~25cm、P2~32cm、P3~57cm、P4~65cm、P5~42cm、P6~54cm、P7~76cm、P8~54cm、P9~95cm、P10~33cm、P11~56cm、P12~76cm、P13~22cm、P14~48cm、P15~71cm、P16~65cm、P17~56cm、P18~47cm、P19~18cm、P20~27cm、P21~39cm、P22~18cmとなる。このうち、P1~3、P14~22は重複する50号住居の柱穴の可能性を有す。

【炉】住居の北側で石閉炉が検出された。石閉炉は東西108cm、南北114cm、深さ35cmを測る。大型で板状の礫が方形に設置され、コーナー部分には小型の礫を配する。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層黒褐色土層ローム、焼土粒を混入。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部と底部を欠損する深鉢（第191図3）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層黒褐色土層ローム粒子を混入。堀方覆土は2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【遺物出土状況】炉の周辺で出土する傾向がみられるが、全体として出土量は少ない。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 47号住居跡（第54図）

【位置】O~4・5、P~4・5グリッドで検出された。

【重複】住居北西で42号土坑と重複し、本住居が旧い。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西5.6m、南北6.3mを測り、梢円形に近いプランとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で28cm、西側で12cm、南側で22cm、北側で10cmを測る。周溝は北、東壁で部分的に検出された。幅10~40cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1~68cm、P2~20cm、P3~49cm、P4~27cm、P5~66cm、P6~39cm、P7~48cm、P8~34cm、P9~34cm、P10~48cm、P11~74cm、P12~42cm、P13~32cm、P14~74cm、P15~57cm、P16~50cmとなる。

【炉】住居の中央より北側で検出された。東西68cm、南北85cm、深さ30cmを測り、南側を除き、礫が配される。このうち、東側の礫は石棒状の石器（第346図32）である。覆土は1層黒褐色土層焼土、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】P17~20は経100cm前後をはかるピットで深度はP17~66cm、P18~56cm、P19~90cm、P20~55cmとなる。これらのピットには住居周辺に同規模の土坑が検出されている点や、住居内での位置から、本住居に伴わないものが含まれよう。

【遺物出土状況】全体として散在して出土する傾向にあるが、ピット内での出土状況に特筆すべきものがある。

P4では底部から10cmほど浮いたレベルではほぼ完形の石皿（第345図31）が、P5ではその確認面で鉢形土器の破片（第193図1）が、P6では確認面で口縁部を欠いた小型深鉢（第193図2）が斜位に出土した。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 48号住居跡（第55・56図）

【位置】Q・R~5・6グリッドで検出された。

【重複】住居北側で34号住居と重複している。新旧関係は34号住居が本住居より新しい。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黄褐色土層ローム粒子を混入。

【形状・規模】東西6m、南北は34号住居と重複しているため不明。形状は北側が34号住居と重複して判然しないが、楕円形に近いものとなろう。

【壁・周溝】壁は東側で25cm、西側で13cm、南側で16cmを測る。周溝は南西壁際で検出された。幅10~28cm、深さ5~28cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~17cm、P 2~53cm、P 3~28cm、P 4~30cm、P 5~28cm、P 6~28cm、P 7~35cm、P 8~40cm、P 9~57cm、P 10~62cm、P 11~62cm、P 12~62cm、P 13~84cm、P 14~51cm、P 15~66cm、P 16~66cm、P 17~84cm、P 18~56cm、P 19~41cm、P 20~67cm、P 21~45cm、P 22~43cm、P 23~43cm、P 24~70cmとなる。

【炉】住居の北側で検出された。東西86cm、南北70cm、深さ15cmを測る地床炉となる。覆土は1層赤褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】P 24は壁が一部オーバーハングしており、貯蔵穴の可能性を有す。

【遺物出土状況】全体として散在して出土しているが、遺構確認面では井戸尻式土器（第195図2）が、床面直上付近では藤内式土器（第194図1）が出土する傾向がみられる。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 49号住居跡（第57・58図）

【位置】Q・R-3・4グリッドで検出された。

【重複】住居東側で34号住居と接している。新旧関係は34号住居が本住居より新しい。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、焼土粒子を混入炭化物粒子を多量に混入。3層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。4層暗黄褐色土層色調が3層よりやや暗いローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西5.7m、南北6.2mを測る。楕円形に近い形状となろう。

【壁・周溝】本住居の壁は床面から緩やかに立ち上がる。壁は東側で82cm、西側で53cm、南側で84cm、北側で48cmを測る。周溝は南側を除き検出された。幅14~35cm、深さ10~20cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~43cm、P 2~54cm、P 3~64cm、P 4~38cm、P 5~52cm、P 6~70cm、P 7~27cm、P 8~65cm、P 9~33cm、P 10~49cm、P 11~72cm、P 12~20cm、P 13~32cm、P 14~23cm、P 15~45cm、P 16~20cm、P 17~65cm、P 18~40cm、P 19~28cm、P 20~49cm、P 21~52cm、P 22~38cm、P 23~46cm、P 24~20cm、P 25~21cm、P 26~58cmとなる。また、本住居では緩やかに立ち上がる壁に経10~30cm、深さ5~15cmを測る小型のピットが多数検出されている。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西50cm、南北52cm、深さ18cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】本住居は今回の調査で最も多くの遺物を出土した。その主たるものは土器であるが、ミニチュアも含め形状が伺える個体は約30個体となる。また、土製品も土偶10点、器台4点、有孔薄円盤1点を数え、石器も打製石斧（約70点）を中心に多量に出土している。その大半が覆土中からの出土となり、覆土上層では井戸尻式土器（第197図1）が、床面付近では藤内式土器（第198図2）が出土する傾向が看取される。なお、住居内ピット等からの出土はみられない。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 50号住居跡（第59図）

【位置】N・O-6グリッドで検出された。

【重複】住居北側で46号住居と、南側で43号住居と重複している。新旧関係はいずれの住居より本住居が古いと考えられる。

【覆土】 1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 東西5.9m、南北は43、46号住居と重複しているため不明。形状も43、46号住居と重複して判然としないが、ピットの並びを考慮すると円形に近いものとなろう。

【壁・周溝】 壁は東側で28cm、西側で4cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】 ピットは、P 1～28までで、P 9～16は43号住居、P 17～28は46号住居でその深度を記載しており、当該住居に伴うピットの可能性を有している。P 1～17cm、P 2～20cm、P 3～45cm、P 4～50cm、P 5～92cm、P 6～62cm、P 7～86cm、P 8～70cmとなる。

【炉】 東西60cm、南北85cm、深さ10cmを測る地床炉となり、炉の中央を46号住居の周溝が縦断している。覆土は1層赤褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土している。

【時期】 繩文時代中期中葉～後葉。

#### 51号住居跡（第59・60図）

【位置】 R・S-5・6グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 本住居は全面的に削平と搅乱を受けており、覆土は殆ど残存していない。1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 上記したように全面的に削平と搅乱を受けており、形状、規模は判然としない。残存する箇所で判断すると、南北6.6mを測り、形状は梢円形に近い形状となるか。

【壁・周溝】 壁は東側で18cm、南側で5cm、北側で5cmを測る。周溝は西側の一部と搅乱南側を除き検出された。幅14～38cm、深さ8～15cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1～88cm、P 2～98cm、P 3～81cm、P 4～83cm、P 5～66cm、P 6～104cm、P 7～102cm、P 8～83cm、P 9～83cm、P 10～46cm、となる。

【炉】 住居の中央より北側で検出された。搅乱を受け残存していない東側を除き礫が巡る。南北135cm、深さ28cmを測り、炉の南側には底部を欠損した小型深鉢が斜位に埋設されていた。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。3層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。4層暗黄褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 P 11は深さ5cmを測り、断面がタライ状を呈す土坑である。

【遺物出土状況】 本住居は残存状況がよくないため、遺物は少なく、散在して出土している。このうち、P 8の北側床面から完形で小型の磨製石斧（第328図989・990・991）が3点出土した。このうち2点は重なり合って出土した。

【時期】 繩文時代中期後葉。

#### 52号住居跡（第60・61図）

【位置】 T・U-4・5グリッドで検出された。

【重複】 住居南東側で54号住居と接している。新旧関係は54号住居が本住居より新しい。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 東西南の壁際が搅乱を受けており、その規模は判然としない。残存する箇所で東西5.2mを測る。形状は梢円形に近いものとなろうか。

【壁・周溝】 壁は東側で25cm、西側で6cm、南側で18cm、北側で14cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】 ピットの深度はP 1～47cm、P 2～31cm、P 3～66cm、P 4～55cm、P 5～37cm、P 6～33cm、P

7-62cm、P 8-64cm、P 9-63cm、P 10-36cm、P 11-28cm、P 12-35cm、P 13-76cm、P 14-63cm、P 15-73cm、P 16-55cm、P 17-78cm、P 18-49cm、P 19-39cm、P 20-67cm、P 21-62cm、P 22-56cmとなる。このうち、P 1~9は重複する54号住居に伴うピットの可能性を有す。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。東西90cm、南北92cm、深さ20cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】本住居からは散在して出土する傾向がみられる。このうち、炉の直上では小型深鉢（第205図2）や、大型の突起を持つ深鉢（第205図1）などが出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 53号住居跡（第61・62図）

【位置】S・T-7、8グリッドで検出された。

【重複】南東壁際で88号土坑と重複しているが、土坑から時期決定できる遺物が出土しておらず、新旧関係は不明。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は1層のみ残存。暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】本住居の西側が搅乱を受けており判然としないが、残存する箇所で判断すると、南北7.2mを測り、形状は梢円形となるか。

【壁・周溝】壁は東側で11cm、南側で9cm、北側で8cmを測る。周溝は搅乱を受けた西側を除き検出された。幅16~38cm、深さ10~18cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-77cm、P 2-71cm、P 3-47cm、P 4-23cm、P 5-75cm、P 6-32cm、P 7-15cm、P 8-48cm、P 9-56cm、P 10-70cm、P 11-60cm、P 12-77cm、P 13-18cm、P 14-21cm、P 15-15cm、P 16-89cm、P 17-79cm、P 18-76cm、P 19-56cmとなる。

【炉】住居の北側で検出された。東側が搅乱で残存していない。南北160cm、深さ32cmを測り、梢円に近い形状を呈す。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部を欠損する把手付鉢形土器（第206図2）が用いられ、正面に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。堀方覆土は2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【遺物出土状況】出土量は少なく散在して出土している。このうち、P 12の覆土上層からは底部を欠損した把手付鉢形土器（第206図1）が出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 54号住居跡（第62・63図）

【位置】T-6、7・U-6グリッドで検出された。

【重複】住居西側で52号住居と重複し、新旧関係は本住居が新しい。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】本住居は全面的に削平を受けており、不明。

【壁・周溝】壁は南側の一部を除き残存していない。壁高は12cmを測る。周溝も南壁際でしか検出されていない。幅10~20cm、深さ5~14cmを測る。

【ピット】ピットはP 1-27までで、P 1~9は重複する52号住居に伴うピットの可能性を有し、その深度は52号住居の項で記載した。P 10-59cm、P 11-19cm、P 12-28cm、P 13-19cm、P 14-22cm、P 15-68cm、P 16-17cm、P 17-85cm、P 18-66cm、P 19-95cm、P 20-79cm、P 21-21cm、P 22-33cm、P 23-20cm、P 24-73cm、P 25-25cm、P 26-44cm、P 27-60cm、P 28-22cmとなる。

【炉】住居の北側で検出された。東西158cm、南北150cm、深さ43cmを測り、隅丸方形に近い形状を呈す。炉内

からは土器の破片や小型の礫がまとめて出土し、北東コーナー部分には胴部のみ残存する小型の連弧文系土器（第207図4）が正位に検出された。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】住居南壁際で埋甕が検出された。埋甕には口縁部と底部を欠損する深鉢（第207図1）が用いられ、正位に埋設されていた。埋甕内覆土は1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。堀方覆土は3層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【遺物出土状況】炉内やその周辺で出土する傾向がみられるが、全体として出土量は少ない。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 55号住居跡（第64図）

【位置】U・V-6・7グリッドで検出された。

【重複】住居南西側で59号住居と重複している。新旧関係は59号住居が本住居より新しい。

【覆土】住居全体が削平を受けており、覆土は殆ど残存していない。1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】住居全体が削平を受けており、その規模は判然としない。検出された周溝での計測では東西5.0m、南北4.7mを測る。形状は円形に近いものとなろう。

【壁・周溝】壁は検出されていない。周溝はほぼ全周する。幅10~25cm、深さ5~18cmを測る。

【ピット】ピットはP 1~23までで、深度はP 1~49cm、P 2~64cm、P 3~44cm、P 4~21cm、P 5~57cm、P 6~27cm、P 7~58cm、P 8~62cm、P 9~52cm、P 10~53cm、P 11~23cm、P 12~60cm、P 13~55cm、P 14~62cm、P 15~58cm、P 16~49cm、P 17~66cm、P 18~37cm、P 19~67cm、P 20~25cm、P 21~36cm、P 22~43cm、P 23~25cmとなる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。炉の東側には扁平な蝶が検出され、東西90cm、深さ10cmを測るが、P 16、20~22と重複しその形状は判然としない。覆土は焼土がわずかに散布する程度。

【その他の施設】P 23は住居北東際で検出されたピットで、大型深鉢の胴部（第209図2）が正位に出土していることから、他住居の炉の可能性を有す。ただ、焼土は検出されておらず判然としない。

【遺物出土状況】散在して出土する傾向にある。P 15からはほぼ完形の深鉢（第209図1）が底面から約20cm浮いた状態で横位に出土し、P 1の上面からは小型土器（第209図4）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 56号住居跡（第65図）

【位置】W-7・8グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】住居全体が削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】住居全体が削平を受けており、その規模は判然としない。検出されたピットの配置を考慮するとその形状は円形に近いものとなろう。

【壁・周溝】壁は検出されていない。

【ピット】ピットはP 1~15までで、深度はP 1~72cm、P 2~41cm、P 3~56cm、P 4~60cm、P 5~75cm、P 6~46cm、P 7~54cm、P 8~32cm、P 9~27cm、P 10~58cm、P 11~44cm、P 12~20cm、P 13~44cm、P 14~21cm、P 15~63cmとなる。

【炉】住居の中央より北側で検出された。東西76cm、南北60cm、深さ20cmを測り隅丸方形に近い形状となる。炉の南側には帯状に焼土が検出されている。覆土は1層黒褐色土層ローム、焼土、炭化物粒子を混入。2層黄褐色土層焼土、ローム粒子を混入。

【その他の施設】P 1は住居北東際で検出されたピットで、西壁が一部オーバーハングする断面形となり、貯蔵穴としての性格も考えられるが、後述するように人面装飾付深鉢が出土しており、祭祀的な要素の強い遺構で

ある。

【遺物出土状況】 全体として遺物は少なく、散在して出土する傾向にあるが、特筆すべき点として前述したP 1から、人面装飾付深鉢（第210図1）が底面から約20cm浮いた状態で横位に出土した。土器は底部の一部を故意に打ち欠いている他は人面装飾の先端部を除きほぼ完存している。また、ビットの覆土は1層で、大型のロームブロックを含んだ暗褐色土となり、人為的な埋め戻しを想起させる堆積を示している。

【時期】 繩文時代中期中葉。

#### 57号住居跡（第63図）

【位置】 W・X-6・7グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 住居全体が削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】 住居南半分は調査区外となり、加えて住居全体が削平を受けていることから、その規模や形状は判然としない。

【壁・周溝】 壁は検出されていない。周溝は住居東側で検出された。幅12~42cm、深さ5~21cmを測る。

【ビット】 ビットはP 1~13までで、深度はP 1~25cm、P 2~53cm、P 3~48cm、P 4~20cm、P 5~31cm、P 6~61cm、P 7~55cm、P 8~38cm、P 9~18cm、P 10~33cm、P 11~54cm、P 12~20cm、P 13~79cmとなる。

【炉】 東西90cm、南北90cm、深さ5cmを測り円形に近い形状となる。覆土は焼土がわずかに散布する程度。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 全体として遺物は少なく、散在して出土する傾向にある。

【時期】 繩文時代中期。

#### 58号住居跡（第66図）

【位置】 N・O-8グリッドで検出された。

【重複】 住居南西側で60号住居と重複している。新旧関係は60号住居が本住居より新しい。

【覆土】 住居全体が削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】 住居全体が削平を受けており、その規模は判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ビット】 ビットはP 1~20までで、一部60号住居と重複するが、ここで一括して記載する。深度はP 1~65cm、P 2~25cm、P 3~35cm、P 4~34cm、P 5~35cm、P 6~15cm、P 7~46cm、P 8~30cm、P 9~47cm、P 10~51cm、P 11~39cm、P 12~83cm、P 13~61cm、P 14~101cm、P 15~49cm、P 16~16cm、P 17~47cm、P 18~45cm、P 19~35cm、P 20~16cmとなる。

【炉】 東西110cm、南北100cm深さ5cmを測る。覆土は焼土がわずかに散布する程度。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 遺物は少なく、散在して出土する傾向にある。

【時期】 繩文時代中期中葉。

#### 59号住居跡（第64図）

【位置】 V-6グリッドで検出された。

【重複】 住居南東側で56号住居と重複している。新旧関係は56号住居が本住居より古い。

【覆土】 住居全体が削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】 住居全体が削平を受けており、その規模は判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ビット】 ビットはP 1～9までで、深度はP 1-46cm、P 2-57cm、P 3-30cm、P 4-28cm、P 5-44cm、P 6-15cm、P 7-56cm、P 8-46cm、P 9-16cmとなる。

【炉】 住居の中央よりやや北側で検出された。東西90cm、南北130cm、深さ20cmを測る不整形で、P 9と重複している。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉。

#### 60号住居跡（第66図）

【位置】 N-8・9グリッドで検出された。

【重複】 住居南東側で58号住居と重複している。新旧関係は58号住居が本住居より新しい。

【覆土】 住居全体が削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】 住居全体が削平を受けており、その規模は判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ビット】 58号住居と重複していることから、58号住居で一括して記載した。

【炉】 東西42cm、南北50cm深さ8cmを測る。覆土は焼土がわずかに散布する程度。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 住居全体が削平を受けており、ビットからの出土遺物のみとなる。P 16からは井戸尻式土器片（第214図1）が、P 17からは曾利II式に比定される土器片（第214図3）が出土しており、いずれかは本住居に伴わない単独の土坑として捉えられよう。

【時期】 縄文時代中期。

#### 61号住居跡（第67図）

【位置】 X・Y-9・10グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で63号住居と重複している可能性がある。ただ、63号住居は削平を受け、プラン不明のため判然としない。重複ていれば本住居が古い。また、南側で104号土坑と、西側で103号土坑と重複している。このうち、103号土坑は本住居より新しい。104号土坑は時期不明のため新旧関係は不明。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入、2層より色調が明るい。4層暗黄褐色土層ロームブロック、炭化物を混入。

【形状・規模】 東西6.1m、南北7.3mを測る。梢円形に近い形状となろう。

【壁・周溝】 壁高は東側で29cm、西側で37cm、北側で55cm、南側で27cmを測る。周溝は検出されていない。

【ビット】 ビットの深度はP 1-18cm、P 2-21cm、P 3-38cm、P 4-65cm、P 5-41cm、P 6-53cm、P 7-61cm、P 8-62cm、P 9-69cm、P 10-64cm、P 11-48cm、P 12-36cm、P 13-63cm、P 14-17cm、P 15-53cm、P 16-28cm、P 17-18cm、P 18-22cm、P 19-46cm、P 20-45cm、P 21-68cm、P 22-26cm、P 23-55cm、P 24-66cm、P 25-54cm、P 26-42cm、P 27-17cm、P 28-54cm、P 29-61cm、P 30-78cm、P 31-39cm、P 32-66cm、P 33-60cm、P 34-42cm、P 35-66cm、P 36-19cmとなる。

【炉】 20～40cm前後の扁平な礫が炉の周囲を巡る石囲炉となる。炉周辺の床面には焼土が散布している。東西61cm、南北73cmを測り、深さ18cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】 P 37は経78×70cm、深さ82cmを測るビットで、壁が一部オーバーハングしていることから貯蔵穴の可能性がある。

【遺物出土状況】 全体として散在して出土している。このうち覆土中ではあるが、住居南側の壁際で小型土偶（第289図64）が出土し、P 9の底部付近からは深鉢（第215図1）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 62号住居跡（第68図）

【位置】X-8・9グリッドで検出された。

【重複】住居北側で65号住居と重複している。新旧関係は本住居が古い可能性がある。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受けていることから判然としないが、検出された周溝から類推すると円形となるか。

【壁・周溝】壁は検出されていない。周溝は住居西から北側にかけて検出された。幅15~35cm、深さ8~15cmを測る。

【ピット】本住居と65号住居は重複しているため、両住居のピットを一括して記載する。深度はP1-53cm、P2-51cm、P3-33cm、P4-47cm、P5-28cm、P6-53cm、P7-38cm、P8-21cm、P9-32cm、P10-39cm、P11-51cm、P12-46cm、P13-32cm、P14-32cm、P15-41cm、P16-19cm、P17-48cm、P18-54cm、P19-24cm、P20-24cm、P21-23cm、P22-35cm、P23-49cm、P24-48cm、P25-58cm、P26-49cm、P27-54cm、P28-53cm、P29-60cm、P30-24cm、P31-61cm、P32-51cm、P33-43cm、P34-32cm、P35-56cm、P36-19cm、P37-57cm、P38-39cm、P39-73cm、P40-55cm、P41-71cm、P42-38cm、P43-68cm、P44-63cm、P45-50cm、P46-54cmとなる。

【炉】南北100cm、深さ8cmを測る。覆土は焼土がわずかに散布する程度。

【その他の施設】住居に伴う遺構が判然としないが、南側でピットが東西方向約435cmにわたって10基連続して検出された。ピットの深さは40~60cmを測る。遺物は出土していない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土する傾向にあり、ピットからの出土が主となる。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 63号住居跡（第69図）

【位置】W-X-9・10グリッドで検出された。

【重複】住居南側で61号住居と、西側で100号土坑と重複している可能性がある。ただ、本住居は削平を受け、プラン不明のため判然としない。重複しているれば本住居は61号住居より古く、100号土坑より新しい。

【覆土】全面的に削平を受けており、残存していない。

【形状・規模】全面的に削平を受けており、形状、規模は判然としない。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-33cm、P2-40cm、P3-29cm、P4-20cm、P5-55cm、P6-35cm、P7-16cm、P8-54cm、P9-24cm、P10-57cm、P11-52cm、P12-88cm、P13-60cm、P14-20cm、P15-27cm、P16-23cm、P17-41cm、P18-17cm、P19-38cm、P20-18cm、P21-40cm、P22-26cm、P23-56cm、P24-20cm、P25-56cm、P26-42cm、P27-16cm、P28-26cm、P29-25cm、P30-25cm、P31-39cm、P32-40cm、P33-40cm、P34-59cm、P35-22cm、P36-74cm、P37-19cmとなる。なお、本住居はそのプランが不明のため、これらピットの全てが本住居に伴うものであるか判然としない。

【炉】東西100cm、南北218cmを測り、深さ52cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土する傾向にある。炉内から出土した深鉢（第218図1）が本住居の時期決定遺物となる。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 64号住居跡（第69図）

【位置】 U・V-10・11グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 全面的に削平を受けており、残存していない。

【形状・規模】 全面的に削平を受けており、形状、規模は判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 ピットの深度はP 1-93cm、P 2-81cm、P 3-35cm、P 4-56cm、P 5-53cm、P 6-27cm、P 7-50cm、P 8-83cm、P 9-25cm、P 10-99cm、P 11-27cm、P 12-40cm、P 13-37cm、P 14-39cm、P 15-29cm、P 16-43cm、P 17-22cm、P 18-25cm、P 19-38cm、P 20-34cm、P 21-35cm、P 22-55cm、P 23-79cm、P 24-43cm、P 25-38cm、P 26-26cm、P 27-41cm、P 28-50cm、P 29-35cm、P 30-54cm、P 31-20cm、P 32-26cm、P 33-28cmとなる。なお、本住居はそのプランが不明のため、これらピットの全てが本住居に伴うものであるか判然としない。

【炉】 炉の北東部分は搅乱を受け、完存していない。東西65cm、南北44cmを測り、深さ14cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】 P 8は南側壁がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性を有す。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土する傾向にあり、ピットからの出土が主となる。このうち、P 1からは、その底部より完形の小型土器（第219図9）と長さ15cmを測る大型の粗製石匙（第330図1076）が出土し、注目される。

【時期】 繩文時代中期中葉。

#### 65号住居跡（第68図）

【位置】 W-8・9グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で62号住居と重複している。新旧関係は本住居が新しい可能性がある。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 削平を受けていることから判然としないが、検出されたピットから類推すると円形となるか。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 本住居と62号住居は重複しているため、62号住居の項で一括して記載する。

【炉】 P 46の上面で検出された。東西60cm、南北40cm、深さ10cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入。2層P 46の覆土。黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】 住居北東から南東にかけてピットが著しく重複していることから、本住居に伴わない単独の土坑となるものも存在しよう。ただ、その明確な区分は困難である。

【遺物出土状況】 遺物は少なく、散在して出土する傾向にあり、削平を受けていることからピットからの出土が主となる。P 6からは曾利V式の大型破片（第220図4）が、P 7からはほぼ完形の小型深鉢（第220図1）が横位に出土し、その下からは、加曾利E式系の底部破片が出土している。これらの遺物が、本住居時期決定の指標になろう。

【時期】 繩文時代中期後葉。

#### 66号住居跡（第70図）

【位置】 P・Q-7・8グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 削平を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 ピットの深度はP 1-67cm、P 2-60cm、P 3-15cm、P 4-26cm、P 5-14cm、P 6-68cm、P

7-33cm、P 8-18cm、P 9-29cm、P 10-54cm、P 11-48cm、P 12-72cm、P 13-23cm、P 14-24cm、P 15-60cm、P 16-54cm、P 17-17cm、P 18-15cm、P 19-60cm、P 20-15cm、P 21-15cm、P 22-166cm、P 23-41cm、P 24-16cm、P 25-15cm、P 26-18cmとなる。なお、本住居はそのプランが不明のため、これらピットの全てが本住居に伴うものであるか判然としない。

【炉】炉の西側は搅乱を受け、完存していない。東西60cm、深さ4cmを測り、焼土が散布する程度となる。

【その他の施設】前述したように本住居に伴わない単独の土坑となるものも存在しよう。ただ、その明確な区分は困難である。

【遺物出土状況】遺物は土器が僅かに出土しているが、その時期を決定できるほどのものは出土していない。

【時期】縄文時代中期。

#### 67号住居跡（第71図）

【位置】P・Q-11・12グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP 1-69cm、P 2-35cm、P 3-21cm、P 4-26cm、P 5-68cm、P 6-55cm、P 7-41cm、P 8-49cm、P 9-74cm、P 10-62cm、P 11-68cm、P 12-64cm、P 13-83cm、P 14-49cm、P 15-80cm、P 16-45cm、P 17-77cm、P 18-44cm、P 19-41cm、P 20-50cm、P 21-47cm、P 22-66cm、P 23-56cm、P 24-42cm、P 25-34cm、P 26-63cm、P 27-39cm、P 28-39cm、P 29-43cm、P 30-37cm、P 31-37cm、P 32-63cm、P 33-46cm、P 34-45cm、P 35-55cm、P 36-22cm、P 37-35cm、P 38-46cm、P 39-57cm、P 40-22cm、P 41-64cmとなる。このうち、P 16、P 18はその検出された位置から本住居に伴うピットではなく、単独の土坑として捉えられよう

【炉】南北95cm、深さ15cmを測る。東側は搅乱を受け判然としないが、西、南、北側では礫が巡ることから、石囲炉であったと考えられる。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入。

【その他の施設】P 1、P 13など、壁の一部がオーバーハングしているものは貯蔵穴の可能性がある。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物はピットからの出土が主となる。P 1の上面からは小型土器（第222図12）が、P 2からは、底面から約10cm浮いた状態で浅鉢形土器（第222図3）が、P 9、P 13からはいざれも底部付近から深鉢（第222図2・1）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 68号住居跡（第72図）

【位置】S-10・11グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平と搅乱を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平、搅乱を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP 1-29cm、P 2-(13)cm、P 3-(22)cm、P 4-49cm、P 5-28cm、P 6-(51)cm、P 7-29cm、P 8-50cm、P 9-36cm、P 10-64cm、P 11-(45)cm、P 12-20cm、P 13-16cm、P 14-51cm、P 15-47cm、P 16-24cm、P 17-56cm、P 18-48cm、P 19-69cm、P 20-72cm、P 21-31cm、P 22-46cmとなる。このうち、P 23はその検出された位置から本住居に伴うピットではなく、単独の土坑として捉えられよう。なお、( ) 内で示した数値は搅乱の底面から測定した深度となる。

【炉】東西85cm、南北78cm、深さ18cmを測る。東側から西側の一部には礫が巡っており、本来は石囲炉であつ

た可能性がある。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】遺物は土器が僅かに出土しているが、その時期を決定できるほどのものは出土していない。

【時期】縄文時代中期。

#### 69号住居跡（第73図）

【位置】X・Y-11・12グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平と擾乱を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平、擾乱を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP 1-58cm、P 2-52cm、P 3-48cm、P 4-50cm、P 5-27cm、P 6-50cm、P 7-34cm、P 8-45cm、P 9-21cm、P 10-36cm、P 11-62cm、P 12-51cm、P 13-55cm、P 14-59cm、P 15-80cm、P 16-68cm、P 17-31cm、P 18-23cm、P 19-16cm、P 20-40cm、P 21-58cm、P 22-16cm、P 23-28cm、P 24-18cm、P 25-40cm、P 26-39cm、P 27-38cm、P 28-53cm、P 29-30cm、P 30-14cmとなる。このうち、P 9、P 18、P 19、P 30はその検出された位置から本住居に伴うピットではなく、単独の土坑として捉えられよう。

【炉】東西60cm、南北55cm、深さ10cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物はピットからの出土が主となる。P 1の上面からほぼ完形の器台（第224図12）が逆位に出土し、注目される。また、P 20からは、底面から約10cm浮いた状態で深鉢形土器（第224図1）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 70号住居跡（第72図）

【位置】Y・Z-8・9グリッドで検出された。

【重複】住居南側で108号土坑と重複し、本住居が旧い。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】楕円形に近い形状となろう。住居の2/3以上が調査区外となることから、その形状は判然としない。検出された箇所で南北6.3mを測る。

【壁・周溝】壁高は東側で21cm、北側で28cm、南側で24cmを測る。周溝は二重に巡る。幅18~28cm、深さ3~24cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-26cm、P 2-55cm、P 3-55cm、P 4-28cm、P 5-61cm、P 6-64cm、P 7-35cm、P 8-75cm、P 9-66cm、P 10-30cm、P 11-38cm、P 12-26cm、P 13-21cm、P 14-25cm、となる。このうち、P 12~14はその検出された位置から本住居に伴うピットではなく、単独の土坑として捉えられる。

【炉】調査区内では検出されていない。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】全体として散在して出土しているが、覆土上層からは井戸尻式土器（第225図1）や石棒（第346図36）が出土し、床面付近からは、藤内式土器（第225図3）が出土している。また、P 5の北側の床面から小型の有孔鰐付土器（第225図8）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

### 71号住居跡（第74図）

【位置】 U・V-13・14グリッドで検出された。

【重複】 住居東側で72号住居と重複しており、本住居が新しいと思われる。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 削平を受け不明。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 本住居は72号住居と重複し、72号住居が80号住居と重複していることから、関連するピットを一括して記載する。P 1-51cm、P 2-60cm、P 3-18cm、P 4-31cm、P 5-22cm、P 6-37cm、P 7-25cm、P 8-29cm、P 9-44cm、P 10-74cm、P 11-50cm、P 12-23cm、P 13-24cm、P 14-54cm、P 15-29cm、P 16-15cm、P 17-34cm、P 18-32cm、P 19-87cm、P 20-19cm、P 21-64cm、P 22-29cm、P 23-28cm、P 24-72cm、P 25-26cm、P 26-22cm、P 27-53cm、P 28-82cm、P 29-27cm、P 30-23cm、P 31-61cm、P 32-85cm、P 33-16cm、P 34-20cm、P 35-68cm、P 36-52cm、P 37-61cm、P 38-28cm、P 39-34cm、P 40-17cm、P 41-59cm、P 42-58cm、P 43-72cm、P 44-59cm、P 45-30cm、P 46-16cm、P 47-27cm、P 48-21cm、P 49-16cm、P 50-25cm、P 51-51cm、P 52-29cm、P 53-44cm、P 54-28cm、P 55-49cm、P 56-26cmとなる。なお、本住居及び72号、80号の各住居はいずれもそのプランが不明のため、これらピットの全てが住居に伴うものであるか判然としない。

【炉】 東西61cm、南北71cm、深さ7cmを測る。覆土は焼土が散布する程度となる。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なくピットからの出土が主となる。P 1の上面からは台部を欠損した無文の小型深鉢（第226図1）が斜位に出土している。

【時期】 繩文時代中期。

### 72号住居跡（第74図）

【位置】 V・W-13・14グリッドで検出された。

【重複】 住居西側で71号住居と、東側で80号住居が重複しており、本住居が最も古いと考えられる。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受け不明。

【形状・規模】 削平を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 71号住居で一括して記載してある。

【炉】 東西41cm、南北42cm、深さ3cmを測る。覆土は焼土が散布する程度となる。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なくピットからの出土が主となる。P 24では底面から10cm浮いた状態で浅鉢（第227図3）が、P 25ではその上面から台部を欠損した器台（第227図1）が、出土している。

【時期】 繩文時代中期中葉。

### 73号住居跡（第75図）

【位置】 V・W-12・13グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 本住居は全面的に削平と擾乱を受けしており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 削平、擾乱を受け不明。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 ピットの深度はP 1-33cm、P 2-50cm、P 3-47cm、P 4-41cm、P 5-45cm、P 6-50cm、P

7-45cm、P 8-48cm、P 9-30cm、P 10-34cm、P 11-40cm、P 12-21cm、P 13-33cm、P 14-44cm、P 15-63cm、P 16-31cm、P 17-41cm、P 18-52cm、P 19-45cmとなる。

【炉】東西55cm、南北62cm、深さ5cmを測る。覆土は焼土が散布する程度。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物はピットからの出土が主となる。P 1の上面からは深鉢の破片が出土し、P 2からは2個体分の深鉢の破片がそれぞれ横位（第228図4）、逆位（第228図3）に出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 74号住居跡（第75図）

【位置】T・U-14・15グリッドで検出された。

【重複】P 22は本住居の炉の下から検出されていることから、本住居より古い単独の土坑として捉えられる。

【覆土】本住居は全面的に削平と擾乱を受けしており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平、擾乱を受け不明。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP 1-36cm、P 2-16cm、P 3-43cm、P 4-45cm、P 5-92cm、P 6-48cm、P 7-59cm、P 8-欠番、P 9-21cm、P 10-20cm、P 11-36cm、P 12-20cm、P 13-27cm、P 14-19cm、P 15-47cm、P 16-30cm、P 17-21cm、P 18-25cm、P 19-16cm、P 20-26cm、P 21-51cm、P 22-58cmとなる。このうち、P 2、P 4-8はその検出された位置から本住居に伴うピットではなく、単独の土坑として捉えられよう。

【炉】東西54cm、南北68cm、深さ3cmを測る。覆土は焼土が散布する程度。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、ピットからの出土が主となる。P 1の南側上面から完形の小型の鉢形土器（第229図2）が出土している。また、P 2の底部付近からは凹石が出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 75号住居跡（第76図）

【位置】X・Y-14・15グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けおり、覆土は部分的にしか残存していない。1層で暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】本住居は削平を受け、南側は調査区外となることから、その規模や形状は判然としない。周溝が検出された箇所で判断すると、東西6.2mを測る。

【壁・周溝】壁は東側の一部で検出されたのみ。壁高7cmを測る。周溝は擾乱を受けた箇所を除き検出された。幅15-30cm、深さ6-18cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-80cm、P 2-56cm、P 3-89cm、P 4-77cm、P 5-68cm、P 6-59cm、P 7-52cm、P 8-41cm、P 9-27cm、P 10-31cm、P 11-（30）cm、P 12-21cm、P 13-23cm、P 14-16cm、P 15-20cm、P 16-69cm、P 17-17cmとなる。なお、（ ）内で示した数値は擾乱の底面から測定した深度となる。

【炉】住居の北側で検出された。東西235cm、南北275cm、深さ22cmを測り、隅丸長方形を呈し、東西の際から部分的に礫が検出され、本来は石圓炉であった可能性がある。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】出土量は少なく散在して出土している。このうち、P 1 の底面付近から土偶の足部（第289図65）が出土した。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 76号住居跡（第77～80図）

【位置】W・X-15・16グリッドで検出された。

【重複】住居東側で78号住居と、西側で88号住居と、南側で77号住居が重複しており、本住居が最も旧いと思われる。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】重複が著しく判然としない。

【壁・周溝】壁は遺構の重複や削平で部分的にしか検出されていない。東側で11cm、西側で20cm、北側で25cmを測る。周溝は西～北壁側で検出された。幅13～24cm、深さ5～26cmを測る。

【ピット】ピットの深度は、P 1-61cm、P 2-60cm、P 3-90cm、P 4-109cm、P 5-69cm、P 6-50cm、P 7-71cm、P 8-76cm、P 9-30cm、P 10-24cm、P 11-42cm、P 12-56cm、P 13-27cm、P 14-76cm、P 15-96cm、P 16-25cm、P 17-16cm、P 18-68cm、P 19-81cm、P 20-86cm、P 21-58cm、P 22-76cm、P 23-76cm、P 24-60cm、P 25-26cm、P 26-38cm、P 27-60cm、P 28-77cm、P 29-64cm、P 30-70cm、P 31-68cm、P 32-25cm、P 33-33cm、P 34-42cm、P 35-20cm、P 36-40cm、P 37-100cm、P 38-21cm、P 39-26cm、P 40-22cm、P 41-62cm、P 42-27cm、P 43-50cmとなる。なお、本住居は77、78、88号住居と重複していることから、上記したピットのなかには重複関係にある住居に帰属するものが含まれていると考えられる。

【炉】2基検出されており、北側のものはパネル文や抽象文が描かれた口縁部と胴下半を欠損した円筒状の深鉢（第231図1）が埋設された埋甕炉となる。掘方は東西65cm、南北60cm、深さ20cmを測る。1層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。南側のものは、掘方底部に火床面が確認されたことから炉と捉えたもので、東西118cm、南北98cm、深さ12cmを測る。1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

【その他の施設】P 2、6、7は壁が一部オーバーハングしていることから、貯蔵穴の可能性がある。

【遺物出土状況】遺物は散在して出土する傾向にある。このうち、P 5の東側床面直上では小型の台付鉢形土器（第232図13）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 77号住居跡（第77～80図）

【位置】W・X-15・16グリッドで検出された。

【重複】住居北側で76号住居と、南側で81号住居が重複しており、本住居は76号住居より新しく、81号住居より旧いと思われる。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。

【形状・規模】住居南側約1/2が調査区外となる点や、遺構の重複が著しいため、判然としない。

【壁・周溝】壁は全面的に削平を受け、検出されていない。周溝は西～北壁側で部分的に検出された。幅15～35cm、深さ5～16cmを測る。

【ピット】ピットの深度は、P 1-73cm、P 2-54cm、P 3-75cm、P 4-78cm、P 5-16cm、P 6-53cm、P 7-70cm、P 8-25cm、P 9-53cm、P 10-64cm、P 11-15cm、P 12-75cm、P 13-45cm、P 14-75cm、P 15-47cm、P 16-57cm、P 17-21cm、P 18-68cm、P 19-53cm、P 20-76cm、P 21-16cm、P 22-61cmとなる。なお、本住居は76、81号住居と重複していることから、上記したピットのなかには重複関係にある

住居に帰属するものが含まれていると考えられる。

【炉】住居北側で検出された。扁平な礫が巡り、炉のほぼ中央には胴下半を欠損した円筒状の深鉢（第233図6）が埋設されていた。また、炉南側で炉石下から焼土と若干の掘込みが確認され、その検出状況から旧い炉の可能性がある。掘方は東西160cm、南北220cm、深さは北側の石圍炉が13cm、古い炉と考えられる掘込みが20cmを測る。1層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒子を混入。4層暗褐色土層炭化物、焼土粒子を混入。5層暗褐色土層色調が2層よりやや明るい。ローム、炭化物粒子を混入。本層は本住居に切られているピットの覆土となる。

【その他の施設】P12は壁が一部オーバーハングしていることから、貯蔵穴の可能性がある。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物はピット内から出土するものが多い。P1では北側の底部壁際から胴下半を欠損した深鉢（第233図2）が斜位に出土、P2では底部から約10cm浮いた状態ではほぼ完形の深鉢（第233図1）が破損した状態で出土した。また、炉の上面で釣手土器の胴部破片（第233図9）が、住居北側の覆土中からは匙形土製品（第233図15）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 78号住居跡（第81図）

【位置】V・W-16・17グリッドで検出された。

【重複】住居西側で76号住居と重複しており、本住居が新しいと考えられる。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平、搅乱を受け判然としないが、検出された周溝から判断すると東西5.5m、南北5.8mを測り、円あるいは梢円形を呈するものと思われる。

【壁・周溝】検出されていない。壁高は北側で5cm、西側で3cmを測る。周溝は住居南西側を除き検出され、幅13~25cm、深さ3~14cmを測る。

【ピット】ピットはP19までだが、P1、3、4、7~9は重複する76号住居でその深度を記載してある。P2~35cm、P5~56cm、P6~39cm、P10~30cm、P11~15cm、P12~16cm、P13~37cm、P14~20cm、P15~26cm、P16~45cm、P17~31cm、P18~72cm、P19~53cmとなる。

【炉】東西98cm、南北110cm、深さ14cmを測り、北から北西コーナーまで礫が巡る。南側縁辺周辺では焼土が散布する。1層黒褐色土層炭化物、焼土粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、焼土粒子を混入。3層本層は炉に切られたピットの覆土である。黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく土器片が散在して出土している。

【時期】縄文時代中期。

#### 79号住居跡（第81図）

【位置】X・Y-13グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存していない。

【形状・規模】本住居は削平を受け、規模や形状は不明。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1~15cm、P2~55cm、P3~44cm、P4~32cm、P5~52cm、P6~36cm、P7~19cm、P8~18cm、P9~47cm、P10~16cmとなる。

【炉】東西60cm、南北53cmを測り、掘込みはほとんど確認されず、焼土が散布する程度。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】出土量は少なく散在して出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 80号住居跡（第74図）

【位置】V・W-14・15グリッドで検出された。

【重複】住居西側で72号住居と重複しており、本住居が新しいと考えられる。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受けていることから判然としない。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】71号住居で一括して記載してある。

【炉】東西48cm、南北64cm、深さ5cmを測る。覆土は焼土が散布する程度となる。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なくピットからの出土が主となる。P35では底面から15cm浮いた状態で凹石（第346図37）が、P53では底面から10cm浮いた状態で礫とともに、石皿の破片2点（第347図41・42）が、P56では底面から10cm浮いた状態で、深鉢形土器の胴部下半（第236図1）が、出土している。

【時期】縄文時代中期。

#### 81号住居跡（第77～80図）

【位置】X-16・17グリッドで検出された。

【重複】住居北側で77号住居と重複しており、本住居が新しいと考えられる。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】住居の大半が調査区外となるため、不明。

【壁・周溝】壁は北側で18cmを測る。周溝は北側で部分的に検出された。幅20cm、深さ23cmを測る。

【ピット】ピットの深度は、P1-18cm、P2-18cm、P3-59cm、P4-74cm、P5-51cmとなる。なお、本住居は77号住居と重複していることから、上記したピットのなかには重複関係にある77号住居に帰属するものが含まれている可能性がある。

【炉】検出されていない。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】住居の大半が調査区外となり、全体的に削平も受けていることから出土遺物は少ない。

【時期】縄文時代中期。

#### 82号住居跡（第82図）

【位置】L・M-11・12グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受け不明。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-116cm、P2-48cm、P3-72cm、P4-43cm、P5-63cm、P6-60cm、P7-24cm、P8-49cm、P9-36cm、P10-43cm、P11-91cm、P12-56cm、P13-63cm、P14-58cm、P15-40cm、P16-60cm、P17-50cm、P18-55cm、P19-54cm、P20-23cm、P21-20cm、P22-83cm、P23-16cm、P24-54cm、P25-83cm、P26-55cm、P27-56cm、P28-44cm、P29-48cm、P30-70cm、P31-22cm、P32-29cm、P33-51cmとなる。なお、本住居はそのプランが不明のため、これらピットの全てが住居に伴うものであるか判然としない。

【炉】炉の東西は搅乱を受け残存せずそのプランは不明。南北110cm、深さ15cmを測る。北側には扁平な礫が検出された。1層暗褐色土層焼土、ローム粒子を混入。2層赤褐色土層焼土粒子を多量に混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、炉やピットからの出土が主となる。炉からはくの字に屈曲する深鉢の口縁部の破片（第238図2）が、P11の上面からも深鉢の破片（第238図11）が、P8からは鉢形土器（第238図3）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉～後葉。

#### 83号住居跡（第83・84図）

【位置】X・Y-17・18グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、焼土粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東西6.3m、南北6.25mを測る。円形に近い形状となろう。

【壁・周溝】壁は東側で16cm、西側で28cm、南側で10cm、北側で19cmを測る。周溝は搅乱を受けた箇所を除き検出された。幅12~25cm、深さ5~18cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-81cm、P2-45cm、P3-73cm、P4-86cm、P5-73cm、P6-73cm、P7-64cm、P8-45cm、P9-69cm、P10-74cm、P11-39cm、P12-41cm、P13-62cm、P14-40cm、P15-52cm、P16-16cm、P17-65cm、P18-51cm、P19-89cm、P20-39cm、P21-30cm、P22-40cm、P23-74cm、P24-19cm、P25-20cm、P26-58cmとなる。

【炉】住居の中央より北側で検出された。炉の南西端からは扁平な礫が数点出土した。東西122cm、南北130cm、深さ23cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。

【その他の施設】住居南壁際のP12で胴下半から底部まで残存する鉢（第239図4）が正位に出土した。検出された位置から残存状況は悪いが埋葬の可能性がある。P12覆土1層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。

【遺物出土状況】本住居からは比較的多くの遺物が覆土中から出土している。また、炉内から多くの土器片が出土し、P1からは底面から20cmほど浮いて石棒（第347図43）が、P12の北側上面では土偶顎部（第289図67）が、P5からは縦位に半裁された土偶胴部（第290図68）が出土した。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 84号住居跡（第85図）

【位置】T・U-18、19グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は殆ど残存しない。1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

【形状・規模】東西5.9m、南北は削平を受け不明。円形に近い形状となろう。

【壁・周溝】壁は削平を受け残存しない。周溝は南側を除き検出された。幅13~34cm、深さ5~21cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP1-76cm、P2-36cm、P3-53cm、P4-71cm、P5-55cm、P6-37cm、P7-65cm、P8-61cm、P9-74cm、P10-60cm、P11-42cm、P12-25cm、P13-56cm、P14-54cm、P15-18cm、P16-32cm、P17-43cm、P18-27cm、P19-59cm、P20-15cm、P21-41cm、P22-19cm、P23-23cm、P24-40cm、P25-41cmとなる。

【炉】住居の中央よりやや北側で検出された。炉内には拳大程の礫が散在して出土している。東西120cm、南北118cm、深さ14cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】本住居からは比較的多くの遺物が戸を中心とし出土している。また、P 5内からは扁平な蝶とともに円石等が底面から10cm程浮いた状態で出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 85号住居跡（第84図）

【位置】U・V-17、18グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受け不明。

【壁・周溝】壁は削平を受け残存しない。周溝は西側で部分的に検出された。幅15~30cm、深さ5~15cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-53cm、P 2-41cm、P 3-48cm、P 4-50cm、P 5-64cm、P 6-46cm、P 7-57cm、P 8-26cm、P 9-60cm、P 10-60cm、P 11-53cm、P 12-68cm、P 13-67cm、P 14-60cm、P 15-47cm、P 16-23cmとなる。

【炉】南北118cm、深さ34cmを測る。炉東側は搅乱及びP 12に切られ判然としない。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土している。また、P 4内からは土偶の胴部（第290図69）が出土している。

【時期】縄文時代中期。

#### 86号住居跡（第86図）

【位置】U・V-19・20グリッドで検出された。

【重複】87号住居と重複しており本住居が新しい。

【覆土】1層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

【形状・規模】東西4.7m、南北3.88mを測る、長方形を呈す。

【壁・周溝】壁は東側で19cm、西側で22cm、南側で5cm、北側で20cmを測る。周溝は搅乱と竈の南側を除き検出された。幅15~30cm、深さ5~20cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1-20cm、P 2-30cmとなる。

【竈】住居東壁で検出され、竈の構築材と考えられるものは殆ど残存せず、わずかに蝶が散布する程度。掘方は東西100cm、南北90cm、深さ15cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。住居の覆土。2層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。3層赤褐色土層多量の焼土粒子を混入。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】竈周辺から土器師の壺、甕、須恵器の壺などが出土している。

【時期】平安時代期9世紀中葉。

#### 87号住居跡（第87図）

【位置】V・W-18・19グリッドで検出された。

【重複】住居東側で86号住居と重複し、本住居が旧い。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は殆ど残存しない。1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

【形状・規模】本住居は、炉や周溝の検出状況から同心円状に2軒の住居が重複していると考えられ、外側の

住居を87A号住居、内側の住居を87B号住居と呼称する。いずれも壁の残存しない箇所は周溝からの測定値で、87A号住居は東西6.2m、南北5.8mを測り、楕円形を呈す。87B号住居は東西4.1m、南北3.9mを測り、円形に近い形状を呈す。

【壁・周溝】87A号住居の壁は東側で5cm、西側で6cm、北側で21cmを測る。周溝は搅乱を受けた箇所を除きほぼ検出された。幅20~38cm、深さ5~16cmを測る。87B号住居の壁は検出されていない。周溝は北側を除き検出された。幅10~35cm、深さ5~18cmを測る。

【ピット】87A、87B両住居のピットを一括して記載する。P 1~53cm、P 2~52cm、P 3~66cm、P 4~60cm、P 5~56cm、P 6~57cm、P 7~57cm、P 8~51cm、P 9~55cm、P 10~44cm、P 11~25cm、P 12~22cm、P 13~27cm、P 14~27cm、P 15~30cm、P 16~15cm、P 17~38cm、P 18~35cm、P 19~58cm、P 20~26cm、P 21~62cm、P 22~40cm、P 23~48cm、P 24~21cm、P 25~16cmとなる。このうち、P 25は検出された位置から本住居には伴わないピットとなろう。

【炉】住居の中央より北側で2基検出され、東側を除き石囲を持つ炉が87B号住居、その南側で石囲に切られるように若干の掘込みと火床面を検出したものが87A号住居の炉となろう。石囲を持つ87B号住居の炉は東西105cm、南北125cm、深さ30cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。3層暗黄褐色土層ローム粒子を多量に混入。87A号住居の炉は東西60cm、南北75cm、深さ3cmを測る。炉南側には扁平な礫が検出された。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】時期を決定する遺物が少なく判然としないが、住居や炉の形態、検出状況を考慮するといずれも縄文時代中期後葉に比定され、87A号住居跡が87B号住居跡より旧いと考えられる。

#### 88号住居跡（第88図）

【位置】W・X-14、15グリッドで検出された。

【重複】住居東側で76号住居と重複しており、本住居が新しい。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は殆ど残存しない。

【形状・規模】削平を受け不明。

【壁・周溝】壁は削平を受け残存しない。周溝は北から西側にかけて検出された。幅10~25cm、深さ5~13cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1~49cm、P 2~15cm、P 3~48cm、P 4~52cm、P 5~65cm、P 6~62cm、P 7~35cm、P 8~44cm、P 9~18の深度は76号住居で記載。P 19~26cm、P 20~22cm、P 21~48cm、P 22~22cm、P 23~56cm、P 24~59cm、P 25~20cm、P 26~17cm、P 27~16cmとなる。このうち、P 7はその検出状況から本住居に伴わない土坑として捉えられる。

【炉】東西75cm、南北100cm、深さ23cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、ピットを中心に出土している。P 1からは底部を欠いた波状口縁の深鉢（第244図1）が、P 3・5からは器台（第244図3）が出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 89号住居跡（第89図）

【位置】P・Q-19、20グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層黒色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム

粒子を混入。

【形状・規模】 住居南、北側が搅乱を受け判然としない。

【壁・周溝】 壁は北側で19cm、南側で5cmを測る。周溝は北から西側、南東で検出された。幅20~42cm、深さ5~14cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1-51cm、P 2-25cm、P 3-50cm、P 4-61cm、P 5-72cm、P 6-70cm、P 7-61cm、P 8-45cm、P 9-61cm、P 10-59cm、P 11-70cm、P 12-63cm、P 13-44cm、P 14-64cm、P 15-69cm、P 16-64cm、P 17-58cm、P 18-66cm、P 19-55cm、P 20-64cm、P 21-72cmとなる。

【炉】 住居の北側で検出されたが、搅乱で半分以上欠失し、規模や形状は不明。深さは残存する箇所で3cmを測る。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 搅乱を受けていることから遺物は少なく、散在して出土する傾向にあるが、ピットを中心として注目すべきものがある。住居北側の覆土上層から出土した土偶上半身と、P 6の底部から出土した足部を欠く土偶下半身が接合し、同一個体（第290図70）であることが判明した。そのレベル差は91cm、直線距離で約4m離れて出土している。P 4からは長さ85cmを測る大型の扁平な礎が立てかけるように出土している。また、P 17からは猪沢式土器（第245図4）が出土しており、本住居に伴わない単独の土坑として捉えられる。

【時期】 繩文時代中期中葉～後葉。

#### 90号住居跡（第90図）

【位置】 R・S-20、21グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は殆ど残存しない。

【形状・規模】 全面的に削平を受け、不明。

【壁・周溝】 壁は残存していない。周溝は北西側で部分的に検出された。幅18~32cm、深さ8~13cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1-58cm、P 2-53cm、P 3-55cm、P 4-78cm、P 5-46cm、P 6-63cm、P 7-83cm、P 8-48cm、P 9-55cm、P 10-60cm、P 11-67cm、P 12-77cm、P 13-53cm、P 14-40cm、P 15-30cm、P 16-45cm、P 17-72cm、P 18-36cm、P 19-52cm、P 20-64cmとなる。

【炉】 東西148cm、南北168cm、深さ45cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 検出されていない。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なく、炉、ピットを中心として出土する傾向にある。炉からはその上層から中層にかけて、土器片とともに土偶胴部（第291図71）や土鉢？（第246図13）と思われる土製品が出土している。また、P 2からは底面から約20cm浮いた状態で台部を有すほぼ完形の器台（第246図1）が逆位に出土している。

【時期】 繩文時代中期後葉。

#### 91号住居跡（第88図）

【位置】 V・W-19・20グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で87A号住居と重複しており、本住居が新しい。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 全面的に削平を受け、不明。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ピット】 ピットの深度はP 1-55cm、P 2-37cm、P 3-20cm、P 4-16cm、P 5-17cm、P 6-44cmとなる。P 7~10の深度は87号住居で記載した。

【炉】東西82cm、南北94cm、深さ18cmを測り、炉の南北縁辺からは礫が検出された。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】住居南側で埋甕が検出された。埋甕に用いられた土器は深鉢（第249図1）で、正位に埋設されていた。底部と胴上半が欠損し、底部の欠損は人為的なものと考えられるが、胴上半の欠損は後世の削平によるものであろう。埋甕の掘方深度は20cm、覆土は1層暗褐色土層ローム粒子を混入。埋甕内覆土は暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【遺物出土状況】削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】縄文時代中期後葉。

#### 92号住居跡（第91図）

【位置】P・Q-22、23グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】1層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。2層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。

3層暗褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。4層暗黄褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。I～VI層は竈の覆土となる。

【形状・規模】東西5.15m、南北5.5mを測り、長方形を呈す。

【壁・周溝】壁は東側で33cm、西側で41cm、南側で36cm、北側で43cmを測る。周溝は北東コーナー、竈の南側を除き検出された。幅15～36cm、深さ5～18cmを測る。

【ピット】ピットの深度はP 1～5cm、P 2～46cm、P 3～10cm、P 4～15cm、P 5～72cm、P 6～35cm、P 7～20cm、P 8～15cm、P 9～48cm、P 10～43cm、P 11～32cm、P 12～20cm、P 13～18cmとなる。

【竈】住居東壁で検出され、竈の構築材と考えられる礫が竈の南側から南東コーナー付近で検出された。掘方は東西100cm、南北130cm、深さ22cmを測る。覆土はI層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。II層ロームブロック、III層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。IV層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。V層赤褐色土層焼土を主体とする層。VI層黒褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。

【その他の施設】竈の南側のP 11の底面から焼土が検出され、周辺からは土師器、須恵器、竈の構築材と考えられる礫や粘土が出土しており、南東コーナー付近には何らかの施設が想定される。また、西壁のはば中央から東に向かって小規模な溝状構造が検出され、間仕切りに関係する施設の可能性がある。

【遺物出土状況】竈の周辺から南東コーナー付近にかけて土師器の壺、甕、須恵器の壺などがまとまって出土している。

【時期】平安時代（9世紀後半）。

#### 93号住居跡（第92図）

【位置】M・N-13、14グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けおり、覆土は残存しない。

【形状・規模】全面的に削平を受け、不明。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP 1～26cm、P 2～46cm、P 3～62cm、P 4～31cm、P 5～21cm、P 6～30cm、P 7～29cm、P 8～38cm、P 9～48cm、P 10～50cm、P 11～36cm、P 12～35cm、P 13～21cm、P 14～35cm、P 15～15cm、P 16～18cm、P 17～23cm、P 18～23cm、P 19～15cm、P 20～21cmとなる。

【炉】検出されていない。恐らく擾乱で消失したものと考えられる。

【その他の施設】検出されていない。P 3、4は壁の一部がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性を有す。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土している。

【時期】 縄文時代中期後葉。

#### 94号住居跡（第92図）

【位置】 T-22、23グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。3層黒褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。4層暗黄褐色土層ローム、炭化物、焼土粒子を混入。I～VI層は竈の覆土となる。

【形状・規模】 東西3.5m、南北3.6mを測り、長方形を呈す。

【壁・周溝】 壁は東側で31cm、西側で28cm、南側で20cm、北側で14cmを測る。周溝は南東コーナーから南壁を除き検出された。幅14～22cm、深さ5～12cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1-8cm、P 2-17cm、P 3-19cmとなる。

【竈】 住居東壁で検出され、土師器や竈の構築材と考えられる礫、粘土などが検出された。掘方は東西115cm、南北99cm、深さ22cmを測る。覆土はI層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。II層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。III層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。IV層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。V層灰白色粘土層、竈の構築材として用いられた粘土と思われる。【その他の施設】 竈の南側のP 1、3はその深度や規模から柱穴とは考えられず、南東コーナーから南壁には何らかの施設が想定される。

【遺物出土状況】 竈の周辺から南東コーナー付近にかけて土師器の壺、甕、須恵器の壺などが出土しているほか、礫が散在して出土する傾向がある。

【時期】 平安時代9世紀後半。

#### 95号住居跡（第93・94図）

【位置】 S・T-23・24グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 1層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。2層黒褐色土層炭化物粒子を多量に混入、ローム、焼土粒子を混入。3層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。4層暗黄褐色土層ローム粒子を多量に混入、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 東西5.18m、南北6.65mを測り、楕円形を呈す。

【壁・周溝】 壁はなだらかに立ち上がり、周溝が二重に巡る部分ではテラス状となる。壁高は東側で63cm、西側で58cm、南側で42cm、北側で77cmを測る。周溝は擾乱を受けた箇所を除きほぼ検出され、前述したように二重に巡る箇所が認められる。幅10～28cm、深さ4～13cmを測る。

【ピット】 ピットの深度はP 1-45cm、P 2-58cm、P 3-29cm、P 4-51cm、P 5-34cm、P 6-87cm、P 7-24cm、P 8-62cm、P 9-35cm、P 10-22cm、P 11-63cm、P 12-33cm、P 13-24cm、P 14-57cm、P 15-27cm、P 16-41cm、P 17-32cm、P 18-18cm、P 19-19cm、P 20-21cm、P 21-73cm、P 22-52cm、P 23-30cm、P 24-28cm、P 25-42cm、P 26-68cm、P 27-95cm、P 28-61cm、P 29-59cm、P 30-65cm、P 31-19cm、P 32-31cm、P 33-98cm、P 34-16cm、P 35-24cmとなる。このほか、周溝内に深度10cm前後を測る小ピットが検出されている。

【炉】 住居の中央よりやや北側で検出された。口縁部から胴上半までの深鉢（第252図3）が正位に埋設された埋甕炉で、東西45cm、南北50cm、深さ18cmを測る。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗黄褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。3層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】 P 5、25、26、34は壁の一部がオーバーハングしており、貯蔵穴の可能性を有す。

【遺物出土状況】 本住居からは比較的多くの遺物が覆土中から出土している。このうち、覆土上層からは井戸尻式期の土偶顔部（第291図74）や土器（第252図4）が、覆土中～下層からは洛沢式期の土器（第252図2）が出土する傾向が看取される。

【時期】 繩文時代中期中葉。

#### 96号住居跡（第95図）

【位置】 T・U-21・22グリッドで検出された。

【重複】 住居北側で1号溝状造構と重複しており、本住居が旧い。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けしており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 全面的に削平を受けその規模は判然としないが、周溝の検出状況から形状は円形を呈すと考えられる。

【壁・周溝】 壁は南西側で部分的に検出され、壁高は5cmを測る。周溝は北東側を除きほぼ検出された。幅15～32cm、深さ4～17cmを測る。

【ビット】 ビットの深度はP 1-61cm、P 2-56cm、P 3-75cm、P 4-67cm、P 5-29cm、P 6-68cm、P 7-62cmとなる。

【炉】 住居の中央より北側で検出された。掘方は方形を呈し、東西113cm、南北112cm、深さ34cmを測り、北側を除き炉の縁辺には礫が検出され、コの字状に配置されている。覆土は1層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。3層暗褐色土層焼土粒子を多量に混入。炭化物、ローム粒子を混入。

【その他の施設】 住居南側で埋甕が検出された。埋甕に用いられた土器は深鉢（第255図1）で、底部が欠損し正位に埋設されていた。埋甕内から礫が1点出土した。埋甕の掘方深度は17cm、覆土は1層埋甕内覆土暗褐色土層ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム、炭化物粒子を混入。

【遺物出土状況】 削平を受けていることから遺物は少なく、散在して出土している。このうち炉内からは小型の深鉢（第255図2）が、住居北側の周溝上からは台付の器台（第255図3）が出土している。

【時期】 繩文時代中期後葉。

#### 97号住居跡（第96図）

【位置】 O・P-25・26グリッドで検出された。

【重複】 1号溝状造構、1号掘立柱建物跡と重複し、本住居が旧い。

【覆土】 1層黒褐色土層焼土、ローム、炭化物粒子を混入。2層暗褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。3層暗褐色土層2層色調よりやや明るい。ローム、炭化物粒子を混入。4層暗黄褐色土層ローム粒子を多量に混入、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 1号溝状造構との重複や搅乱により不明。

【壁・周溝】 壁高は東側で36cm、西側で50cm、北側で44cmを測る。周溝は西、南壁で検出された。幅14～45cm、深さ5～13cmを測る。

【ビット】 ビットの深度はP 1-55cm、P 2-41cm、P 3-24cm、P 4-6cm、P 5-48cm、P 6-30cm、P 7-33cm、P 8-51cm、P 9-54cm、P 10-24cm、P 11-63cm、P 12-10cm、P 13-23cm、P 14-39cm、P 15-27cm、P 16-45cm、P 17-29cm、P 18-65cm、P 19-19cm、P 20-58cmとなる。このうち、P 17-19は1号掘立柱建物跡の柱穴の可能性がある。

【炉】 東西65cm、南北90cm、深さ25cmを測る不整円形の掘方で、北側を鋭角にした5角形に礫を配した石閉炉が検出された。南側には深度24cmを測るビットが検出されている。また、石閉炉北東側の礫の下からは深鉢の底部（第253図1）が正位に出土したことから、当初埋甕炉であったものを石閉炉に造り替えた可能性がある。

る。覆土は1層暗灰褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物粒子を混入する。3層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。4層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】P18は壁の一部がオーバーハングしており、本住居貯蔵穴の可能性も有す。

【遺物出土状況】本住居からの遺物は少なく、主に覆土中から散在して出土している。

【時期】縄文時代中期中葉。

#### 98号住居跡（第97図）

【位置】Q・R-21・22グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は東側半分が削平を受けており、覆土は殆ど残存しない。1層黒褐色土層焼土、ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】東半分が削平を受けその規模は判然としない。

【壁・周溝】壁は西側で検出され、壁高は20cmを測る。周溝は検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-60cm、P2-27cm、P3-23cm、P4-51cm、P5-24cm、P6-29cm、P7-28cm、P8-51cm、P9-16cm、P10-35cm、P11-62cm、P12-7cmとなる。

【炉】住居の北側で検出された。方形を呈す石囲炉で東西85cm、南北90cm、深さ34cmを測る。東西北側の礫は扁平なものを用いるのに対し、南側の礫は柱状のものを用いている。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。3層暗黄褐色土層炭化物、ローム粒子を混入。

【その他の施設】住居P9、10はその検出された位置から単独の土坑の可能性がある。

【遺物出土状況】遺物は少なく、散在して出土しており、時期を決定できるものがない。

【時期】石囲炉の形態から縄文時代中期後葉の住居と考えられる。

#### 99号住居跡（第97図）

【位置】S・T-25・26グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受け不明。

【壁・周溝】検出されていない。

【ピット】ピットの深度はP1-33cm、P2-32cm、P3-22cm、P4-25cm、P5-21cm、P6-33cm、P7-25cm、P8-30cmとなる。

【炉】東側が搅乱を受け形状や規模は判然としない。覆土は1層赤褐色土層多量の焼土粒子を混入。炭化物、ローム粒子を混入する。

【その他の施設】検出されていない。

【遺物出土状況】遺物は縄文時代中期と考えられる土器片が数片出土したのみ。

【時期】縄文時代中期。

#### 100号住居跡（第98図）

【位置】V・W-21グリッドで検出された。

【重複】なし。

【覆土】本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】削平を受け不明。

【壁・周溝】 壁は検出されていない。周溝はP 4の西側で僅かに検出された。幅16cm、深さ10cmを測る。

【ビット】 ビットの深度はP 1-44cm、P 2-50cm、P 3-40cm、P 4-52cm、P 5-19cm、P 6-45cmとなる。

【炉】 東西75cm、南北85cm、深さ10cmを測る。覆土は1層黒褐色土層焼土、炭化物、ローム粒子を混入する。2層暗褐色土層ローム粒子を多量に混入。炭化物粒子を混入。

【その他の施設】 住居南側で土器底部（第254図2）が正位に検出された。若干の掘込みも確認され、埋甕の可能性を有すが、残存状況が悪く、断定できない。

【遺物出土状況】 遺物は縄文時代中期と考えられる土器片が数片出土したのみ。

【時期】 縄文時代中期。

#### 101号住居跡（第98図）

【位置】 P・Q-9・10グリッドで検出された。

【重複】 148~150、223号土坑と重複している可能性があるが、本住居のプランや時期が判然としないためその新旧関係は不明。

【覆土】 本住居は全面的に削平を受けており、覆土は残存しない。

【形状・規模】 削平を受け不明。

【壁・周溝】 検出されていない。

【ビット】 ビットの深度はP 1-50cm、P 2-32cm、P 3-27cm、P 4-26cm、P 5-50cm、P 6-28cm、P 7-39cm、P 8-37cm、P 9-25cmとなる。

【炉】 西側が搅乱を受け、その規模、形状は判然としない。深さ10cmを測る。覆土は1層赤褐色土層焼土層。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 遺物は縄文時代中期と考えられる土器片が数片出土したのみ。固化しうるものはない。

【時期】 縄文時代中期。

#### 102号住居跡（第99・100図）

【位置】 Q・R-25・26グリッドで検出された。

【重複】 なし。

【覆土】 1層暗褐色土層。2層色調が1層よりやや明るい。ローム、炭化物粒子を混入。

【形状・規模】 南側が搅乱を受けており形状は不明。東西6mを測る。

【壁・周溝】 壁高は東側で11cm、西側で18cm、北側で26cmを測る。周溝は検出されていない。

【ビット】 ビットの深度はP 1-44cm、P 2-27cm、P 3-23cm、P 4-33cm、P 5-70cm、P 6-52cm、P 7-45cm、P 8-15cm、P 9-22cm、P 10-22cm、P 11-47cm、P 12-45cm、P 13-19cm、P 14-15cm、P 15-54cm、P 16-19cm、P 17-32cm、P 18-8cm、P 19-30cm、P 20-58cmとなる。

【炉】 東西82cm、南北108cm、深さ16cmを測り、楕円形を呈す地床炉である。1層赤褐色土層焼土層。

【その他の施設】 なし。

【遺物出土状況】 本住居からは覆土中から土偶（第292図78・79）、耳栓（第258図12）など土製品や土器など比較的多くの遺物が出土している。

【時期】 縄文時代中期中葉。

## 第2節 掘立柱建物跡

### 1号掘立柱建物跡（第101図）

【位置】 N・O・P-24・25・26グリッドで検出された。

【重複】 1号溝状遺構、97号住居と重複しており、97号住居は本建物跡より旧い。1号溝状遺構との新旧関係

は判然としない。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム粒子を混入。

【形状】 長方形

【規模】 (桁行m×梁間m) 5間 (11.1m) × 2間 (4.9m)

【柱穴】 柱穴は16本検出されている。平面は円形を呈し、規模は径50~80cm、深さ30~70cmを測る。

【出土遺物】 出土していない。

【時期】 柱穴の覆土が平安時代住居と近似する黒褐色土層となり、長軸方向もほぼ一致することから、当該期の可能性を有す。

#### 2号掘立柱建物跡 (第100図)

【位置】 S・R-24グリッドで検出された。

【重複】 1号溝状造構縄文時代の土坑と重複しており、本建物跡が新しい。

【覆土】 1層黒褐色土層ローム粒子を混入。

【形状】 長方形

【規模】 (桁行m×梁間m) 2間 (4.85m) × 1間 (2.7m)

【柱穴】 柱穴は6本検出されている。平面は円形を呈し、規模は径50~80cm、深さ30~50cmを測る。

【出土遺物】 出土していない。

【時期】 柱穴の覆土が平安時代住居覆土と近似する黒褐色土層となり、長軸方向もほぼ一致することから、当該期の可能性を有す。

### 第3節 溝状遺構

#### 1号溝状遺構 (第102図)

【位置】 O-26, P-24・25, Q-23・24, R-22・23, S-22, T-21・22, U-21, V-20・21, W-20グリッドで南北方向に検出され、両方向とも調査区外へ続いている。

【重複】 1号掘立柱建物跡、96・97号住居、190・191・437号土坑と重複している。新旧関係は本遺構から時期を決定する遺物が出土していないため判然としないが、断面での覆土の観察から96・97号住居、190・191・437号土坑より本遺構が新しいと考えられる。1号掘立柱建物跡とは覆土が近似しており、新旧関係は判然としない。

【規模】 現長54m、最大幅2.3m、最深度0.44mを測る。

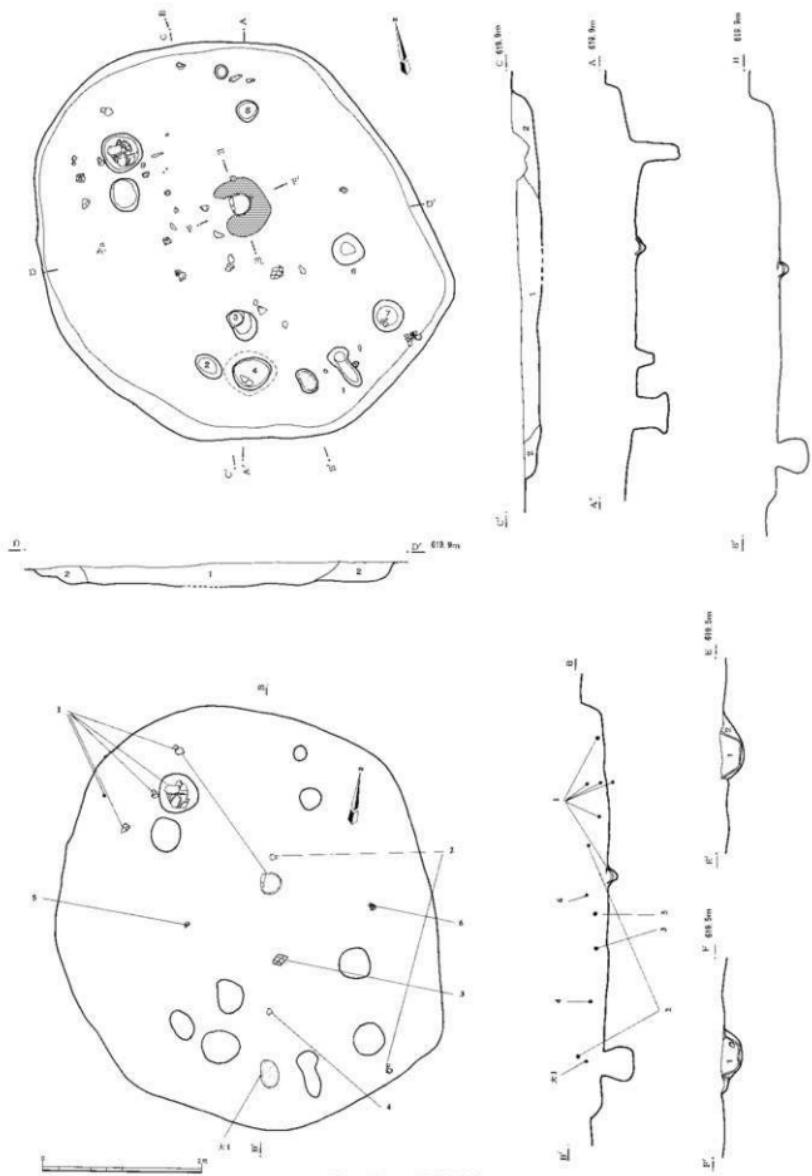
【覆土】 1層黒褐色土層ローム粒子を混入。2層暗褐色土層ローム粒子を混入。3層暗黄褐色土層ローム粒子を混入。

【出土遺物】 純文土器片が出土しているが図示し得るものはない。

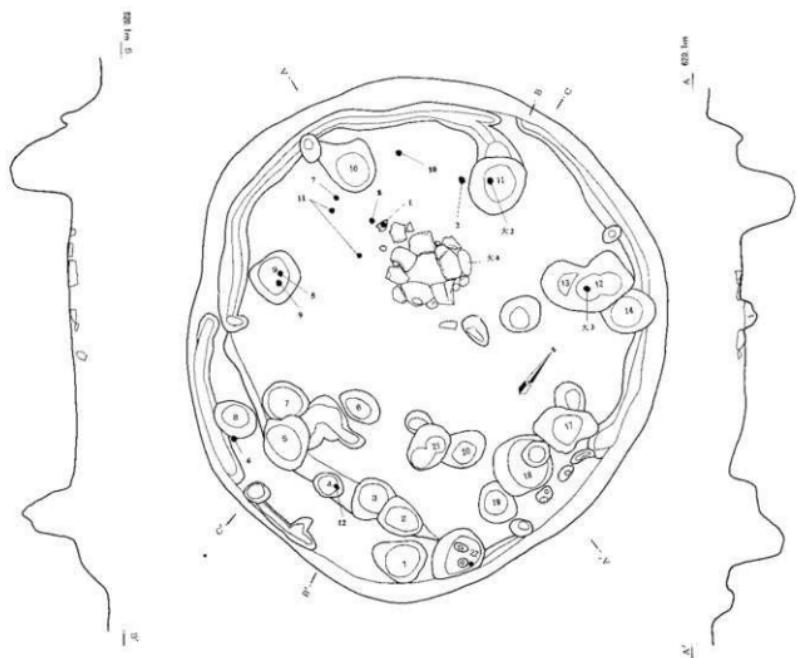
【時期】 覆土が平安時代住居と近似する黒褐色土層となることから、ある程度の指標とはなるが、詳細は不明。

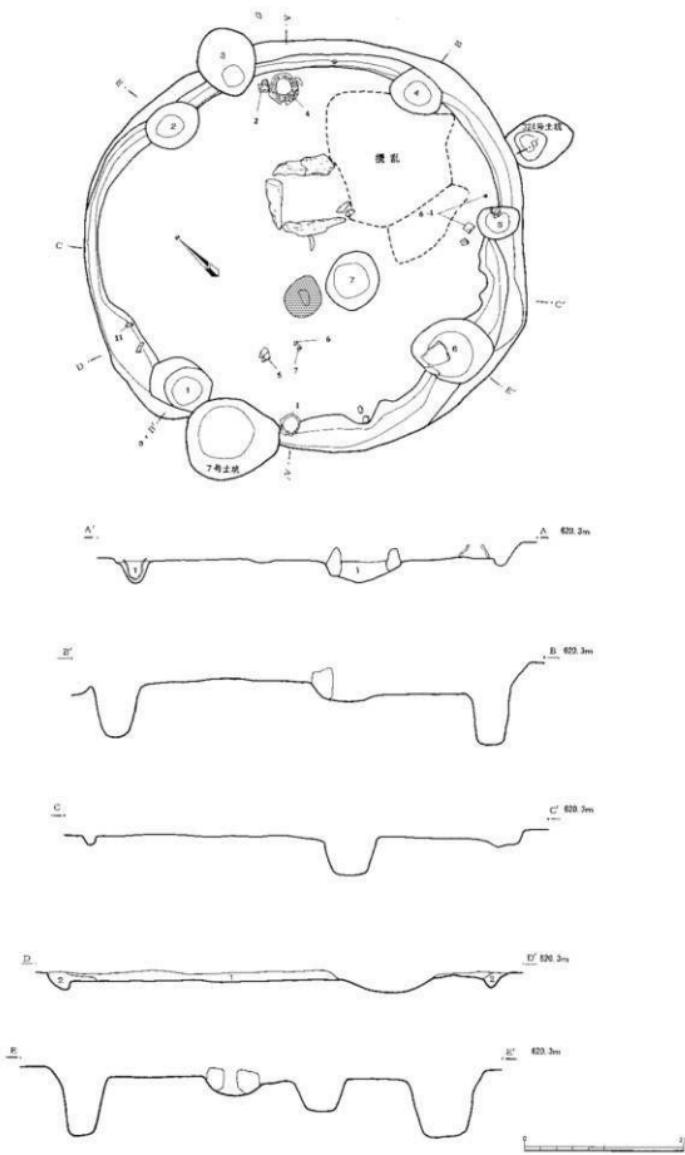
### 第4節 土 坑 (第103~126図)

今回の調査で検出された土坑はナンバーを付けたものだけで442基となるが、住居に伴うビットとして捉えたものにも単独の土坑となる可能性を有するものがあり、実際の総数はより多くなると考えられる。これらの詳細なデータに関しては一覧表(第2表)を参照されたい。

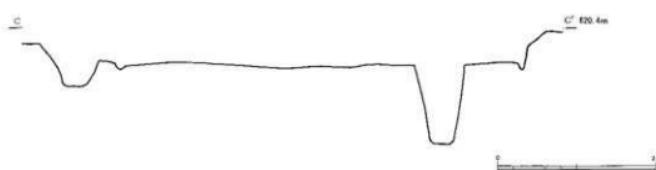
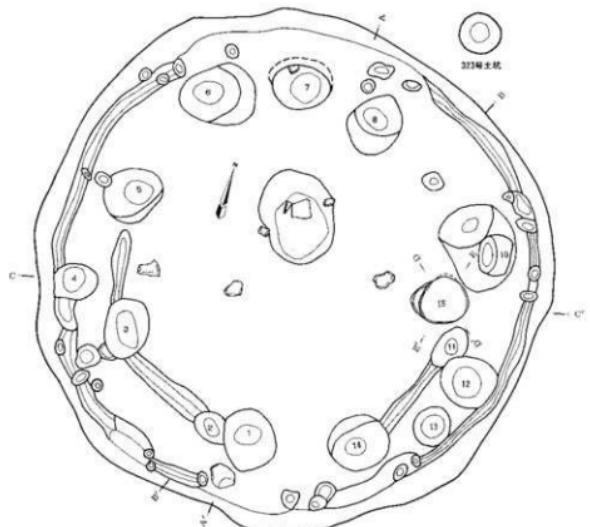


第4図 1号住居跡

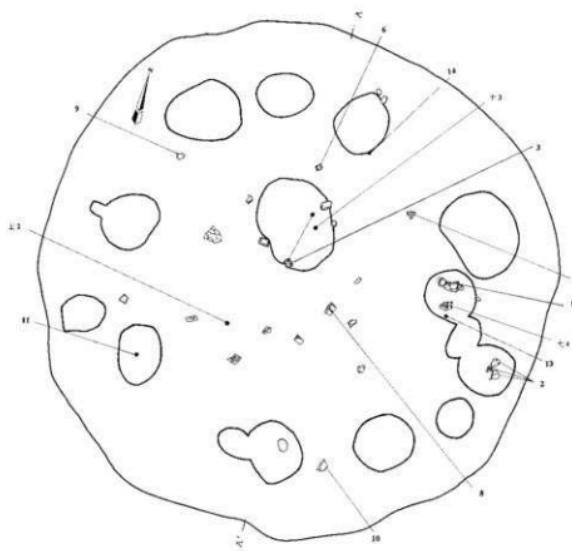
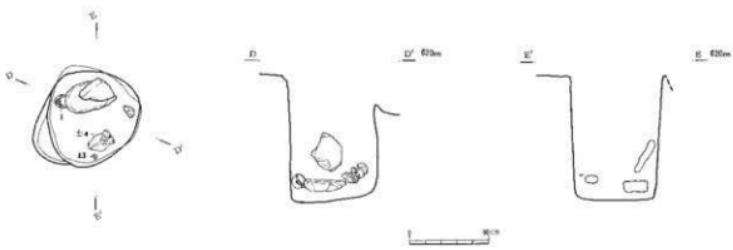


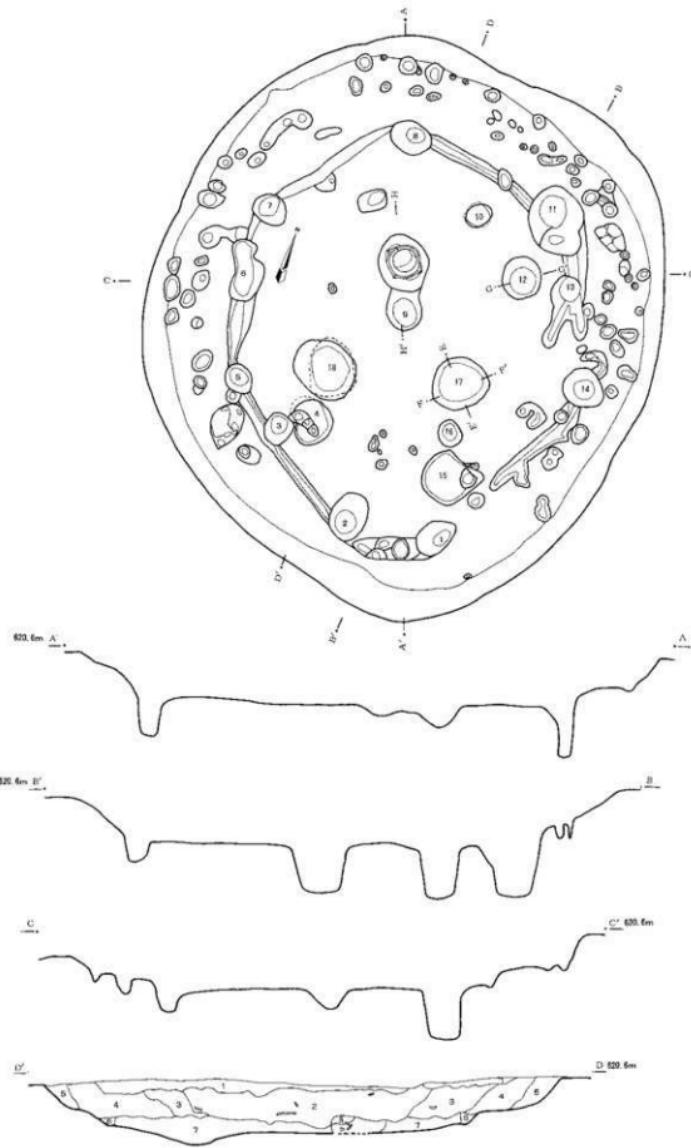


第6図 3号住居跡

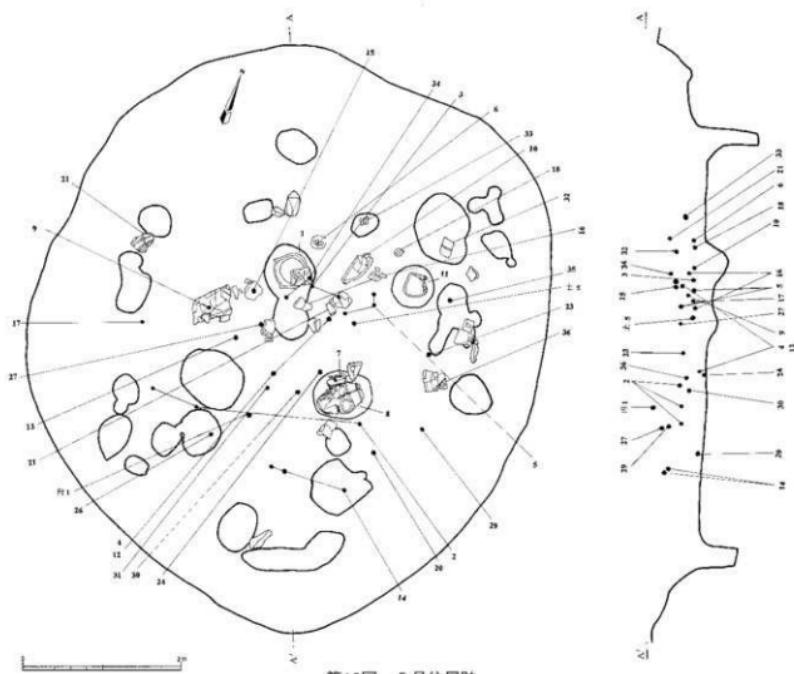
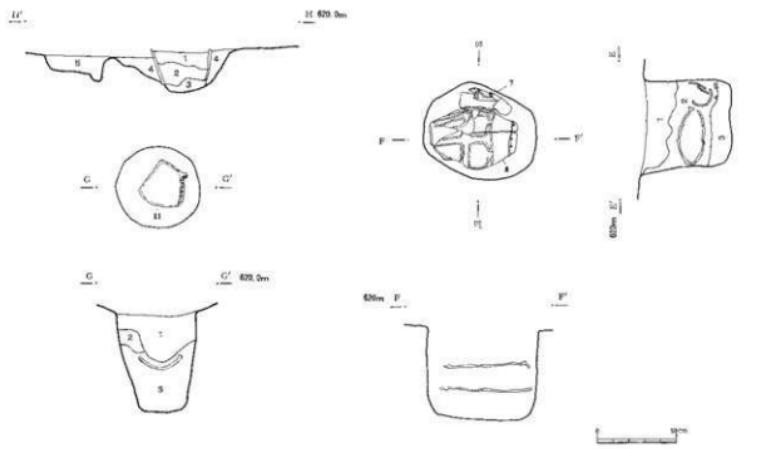


第7図 4号住居跡

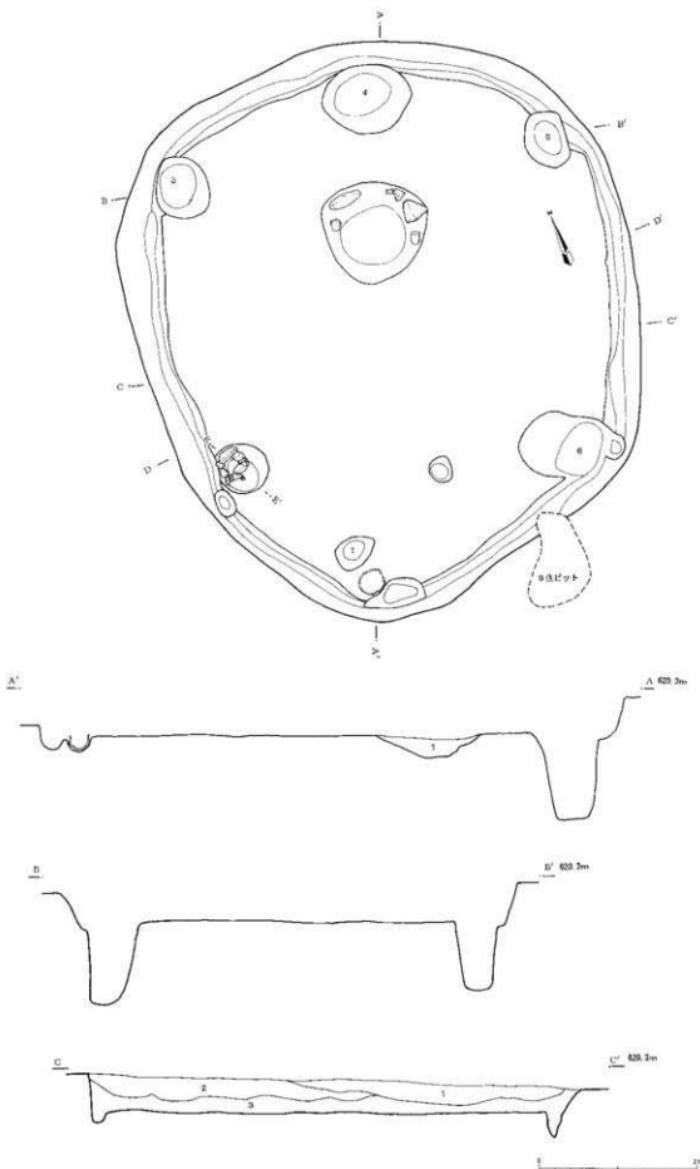




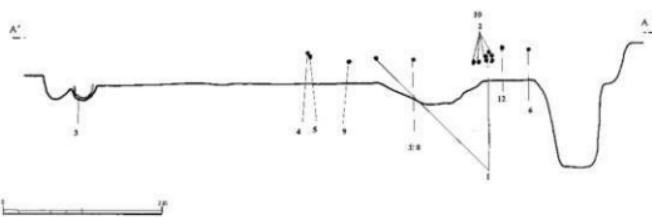
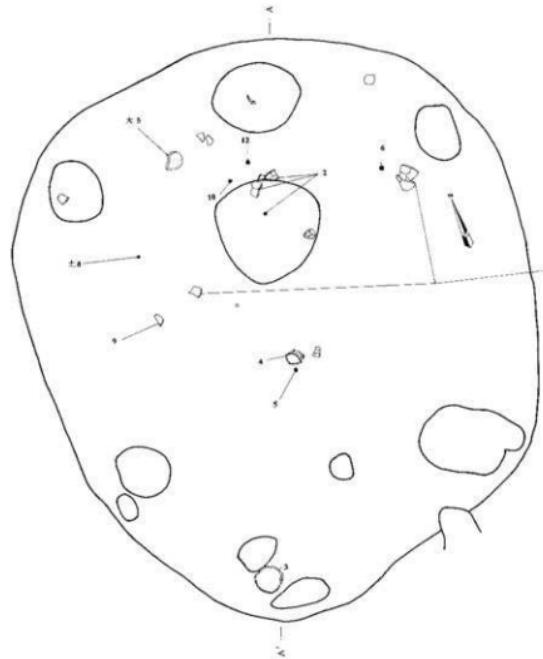
第9図 5号住居跡



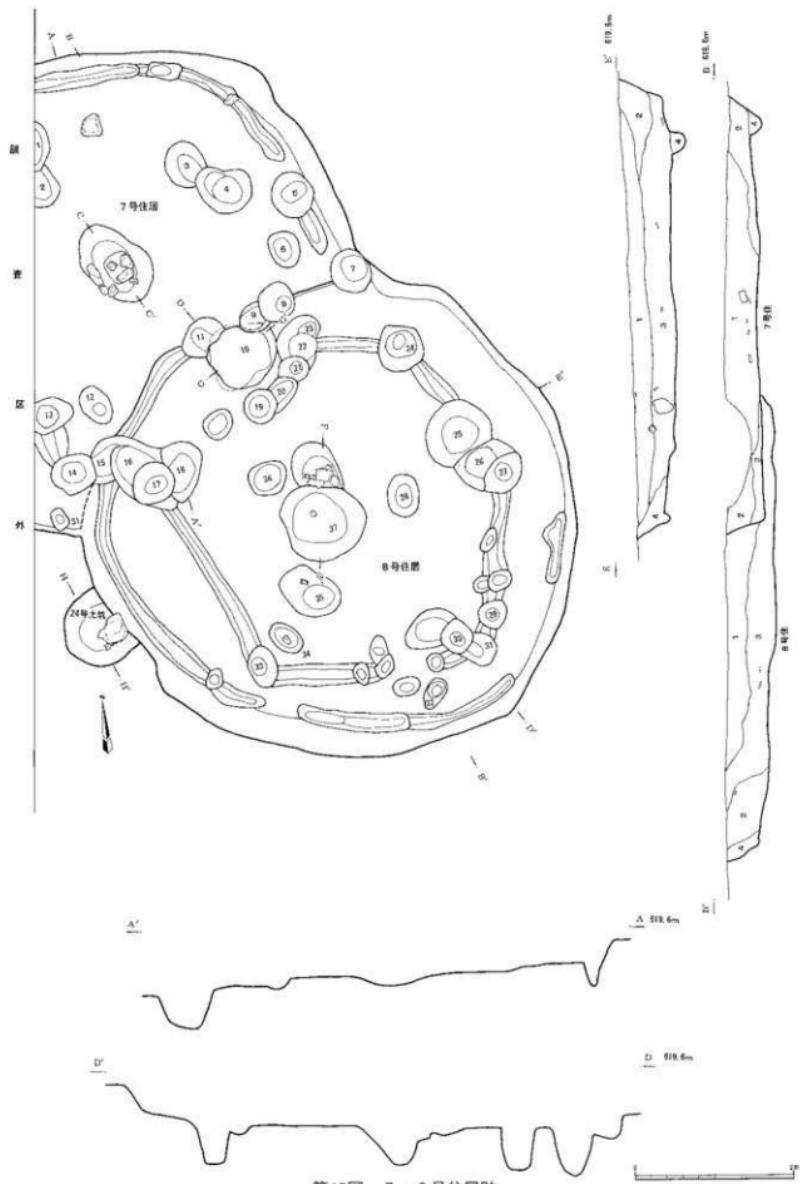
第10図 5号住居跡



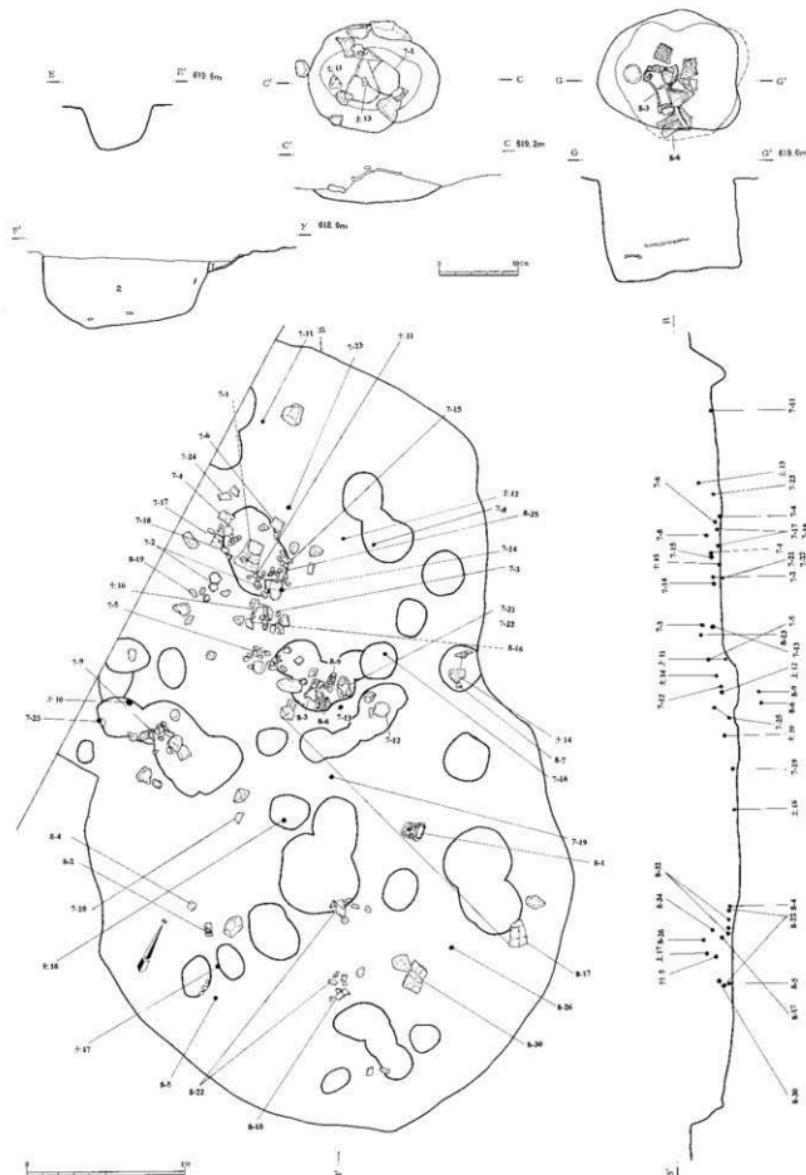
第11図 6号住居跡



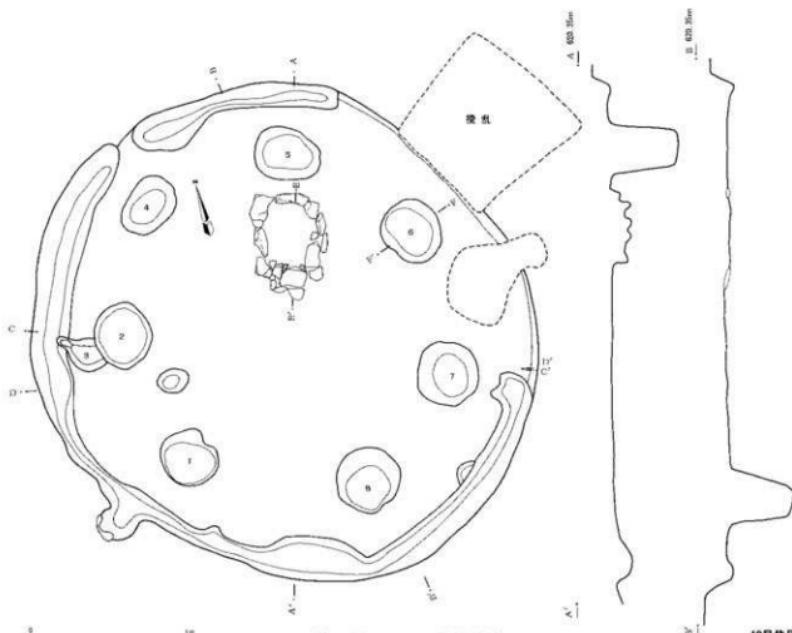
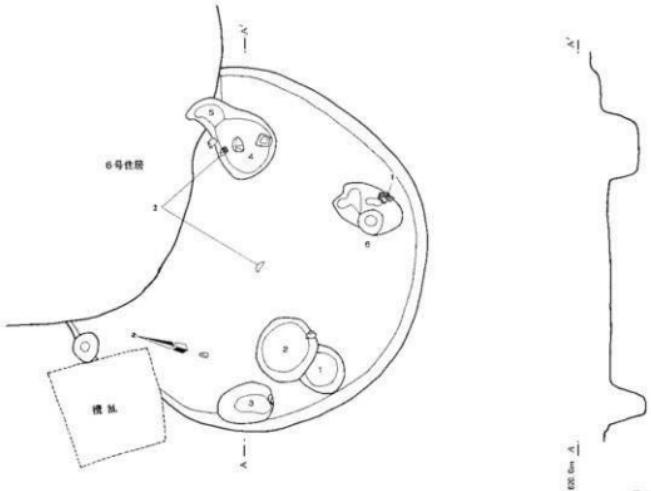
第12図 6号住居跡



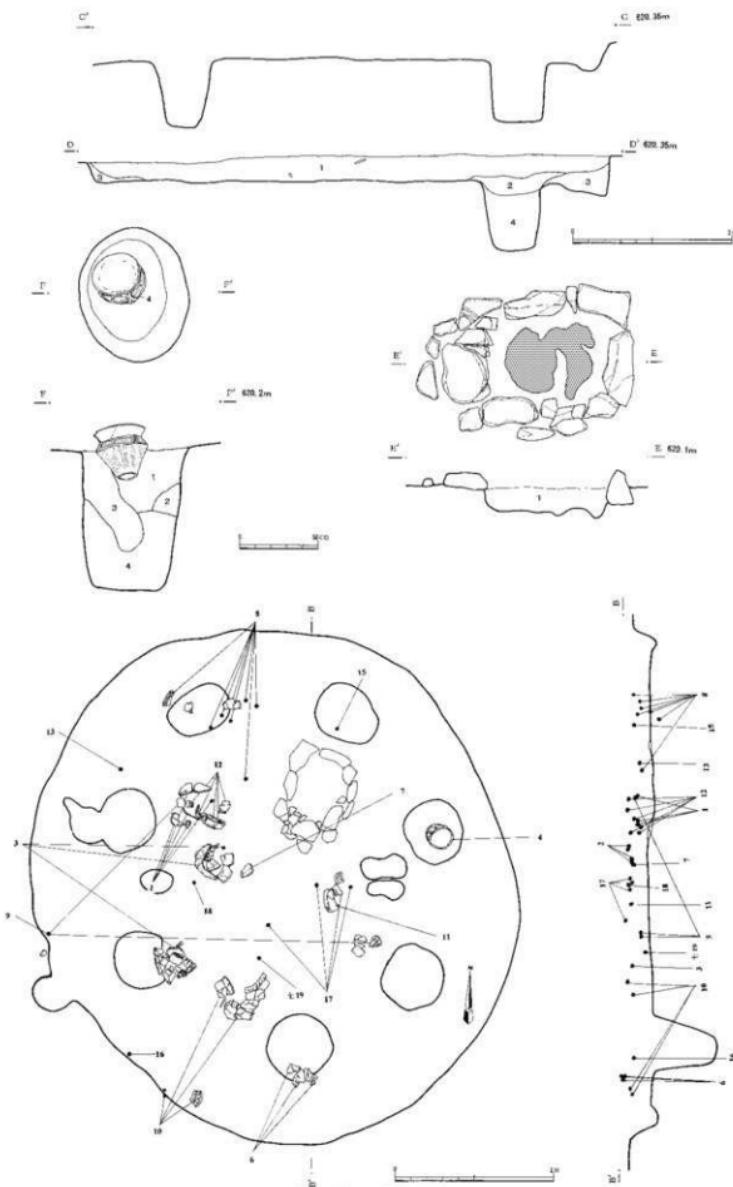
第13図 7・8号住居跡



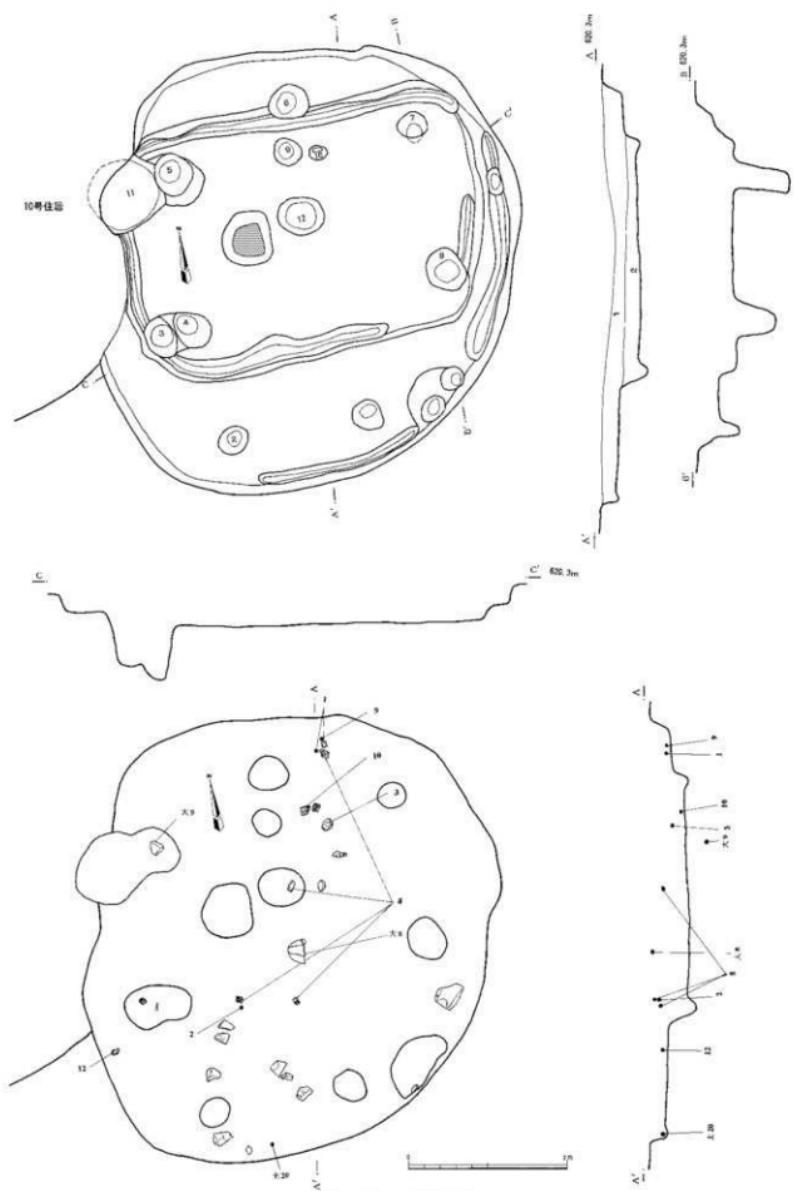
第14図 7・8号住居跡



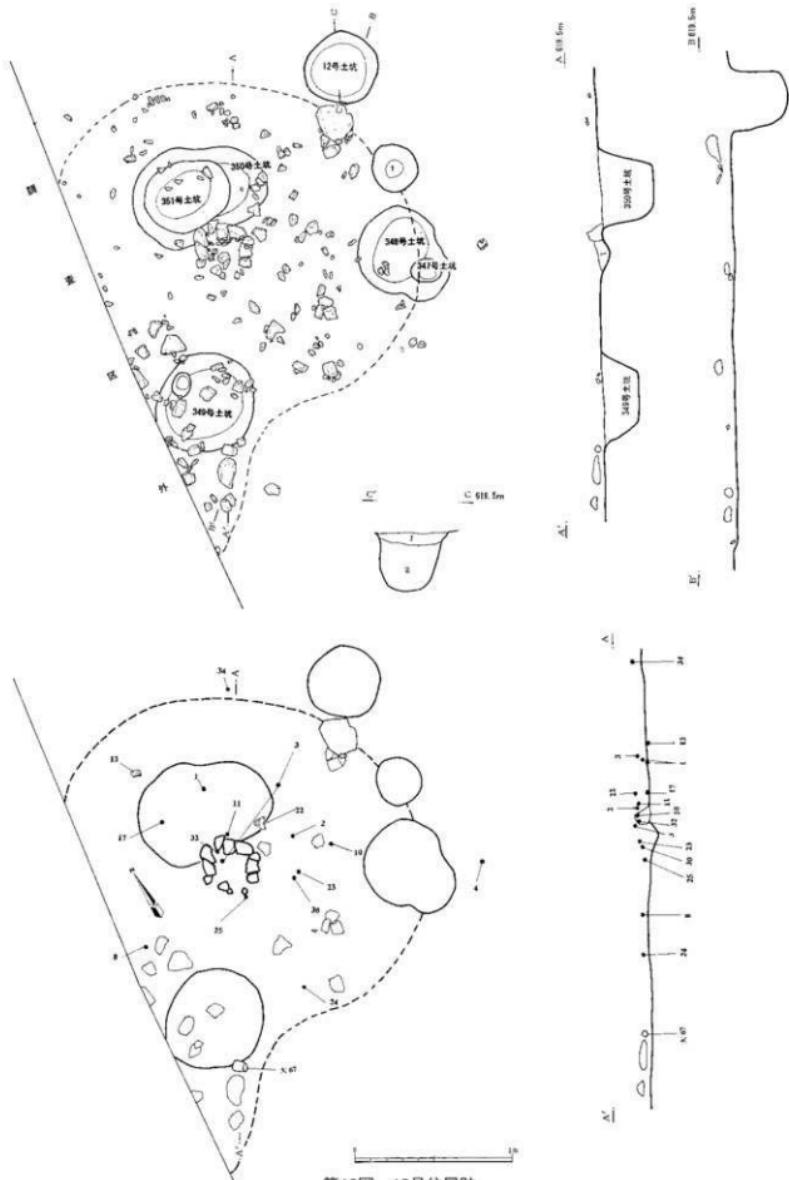
第15図 9・10号住居跡

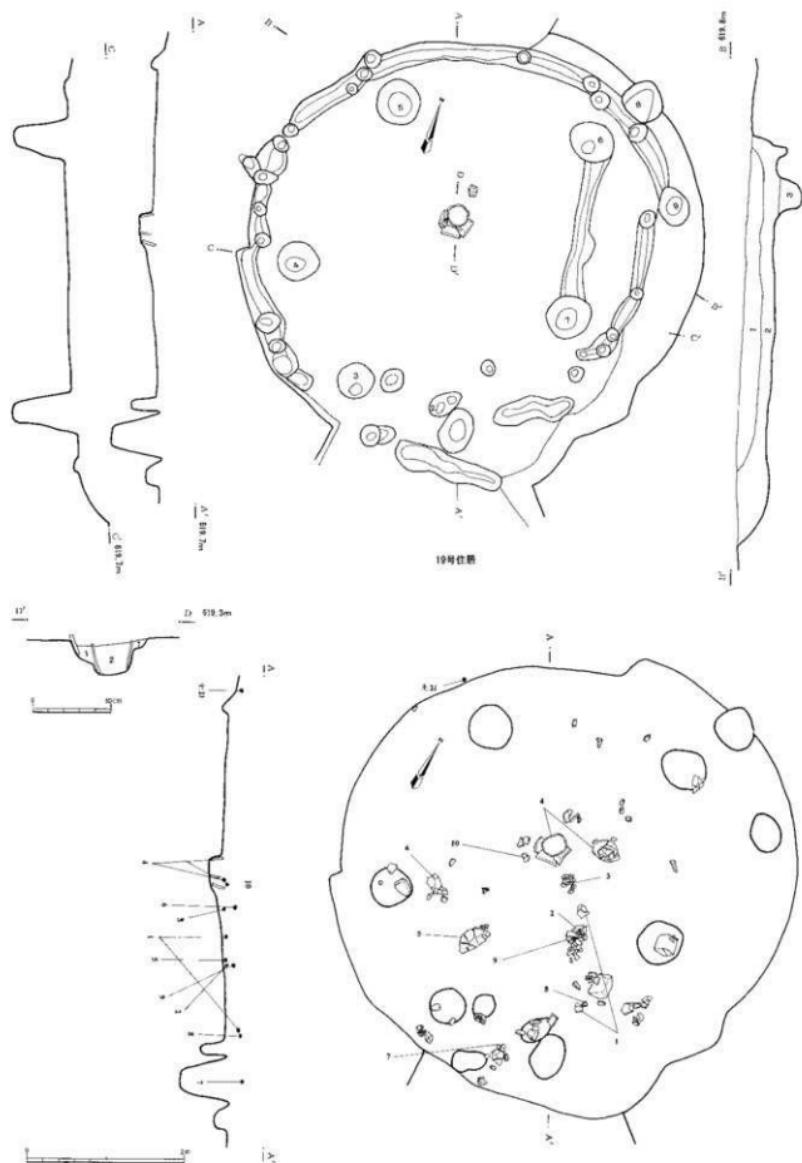


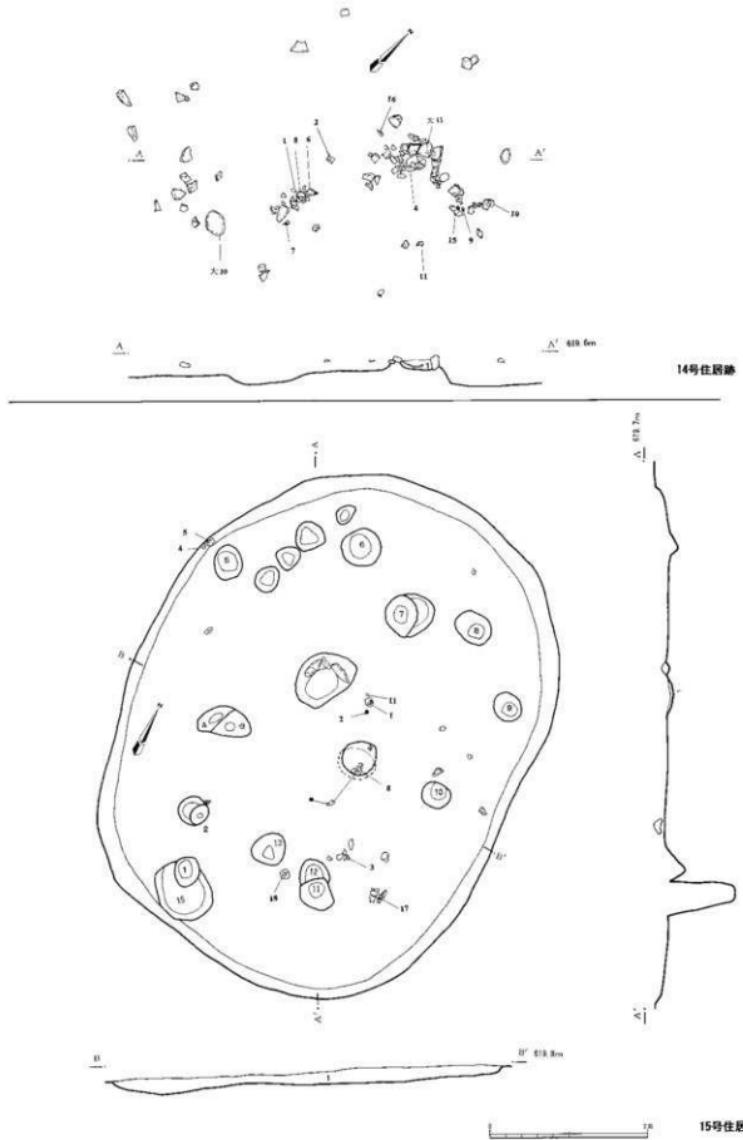
第16図 10号住居跡



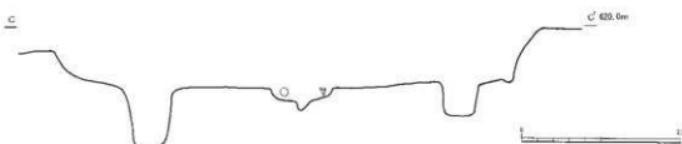
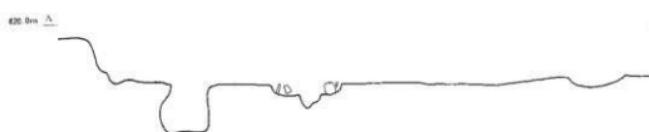
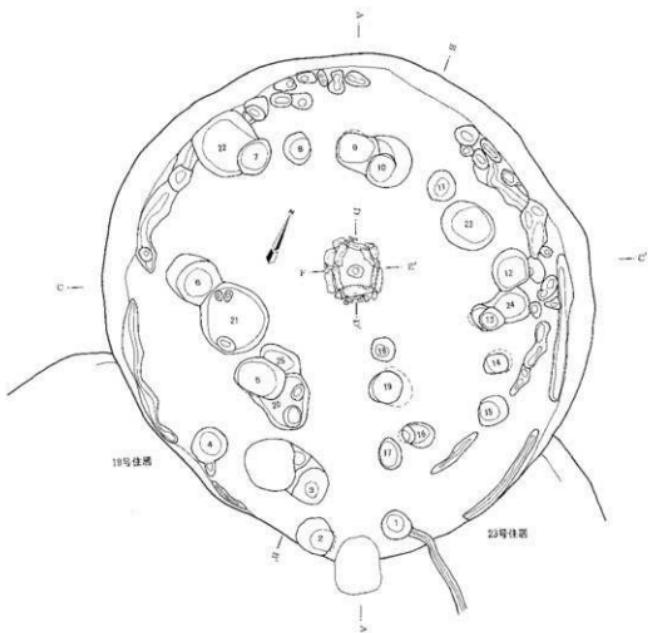
第17図 11号住居跡



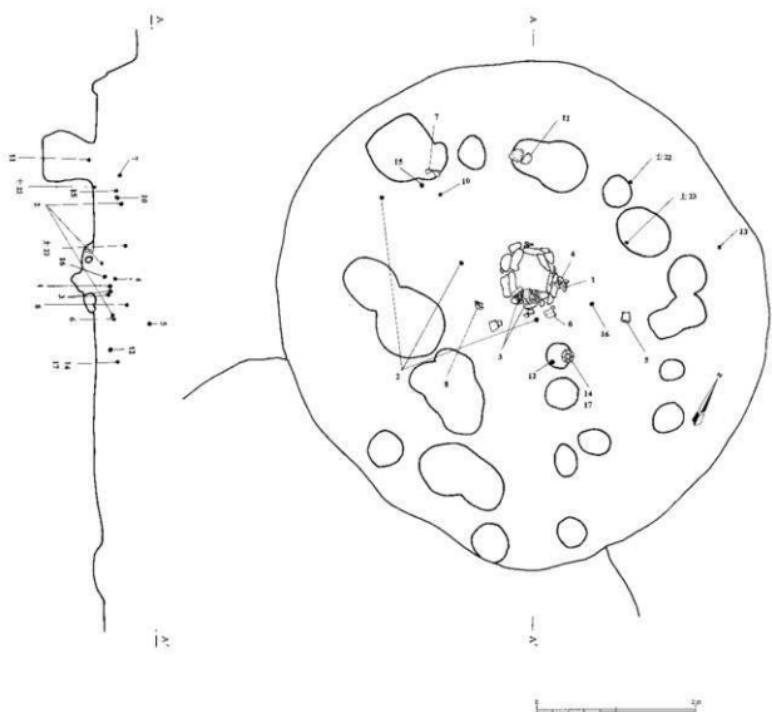
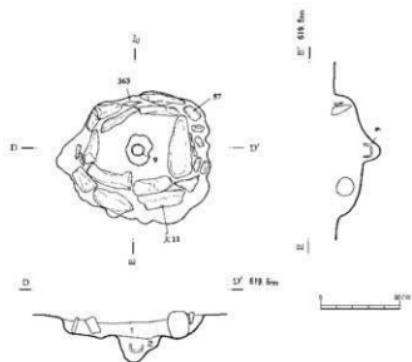




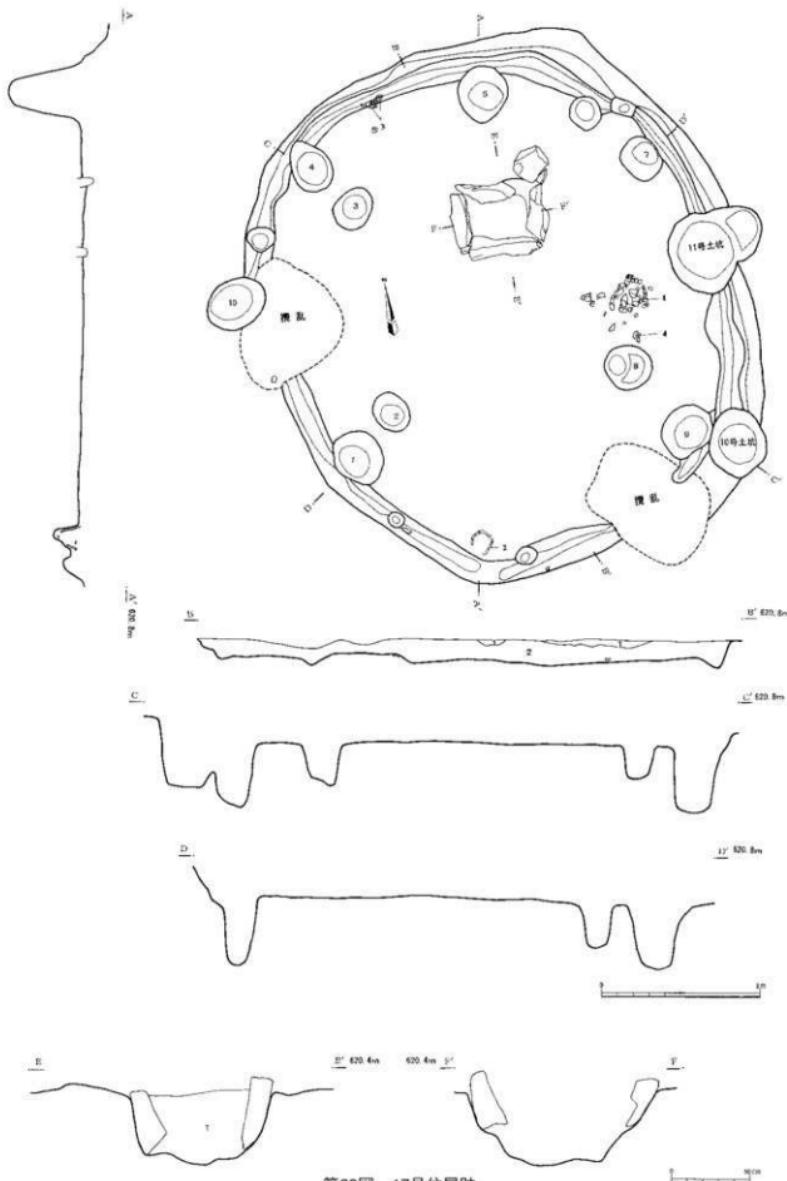
第20図 14・15号住居跡



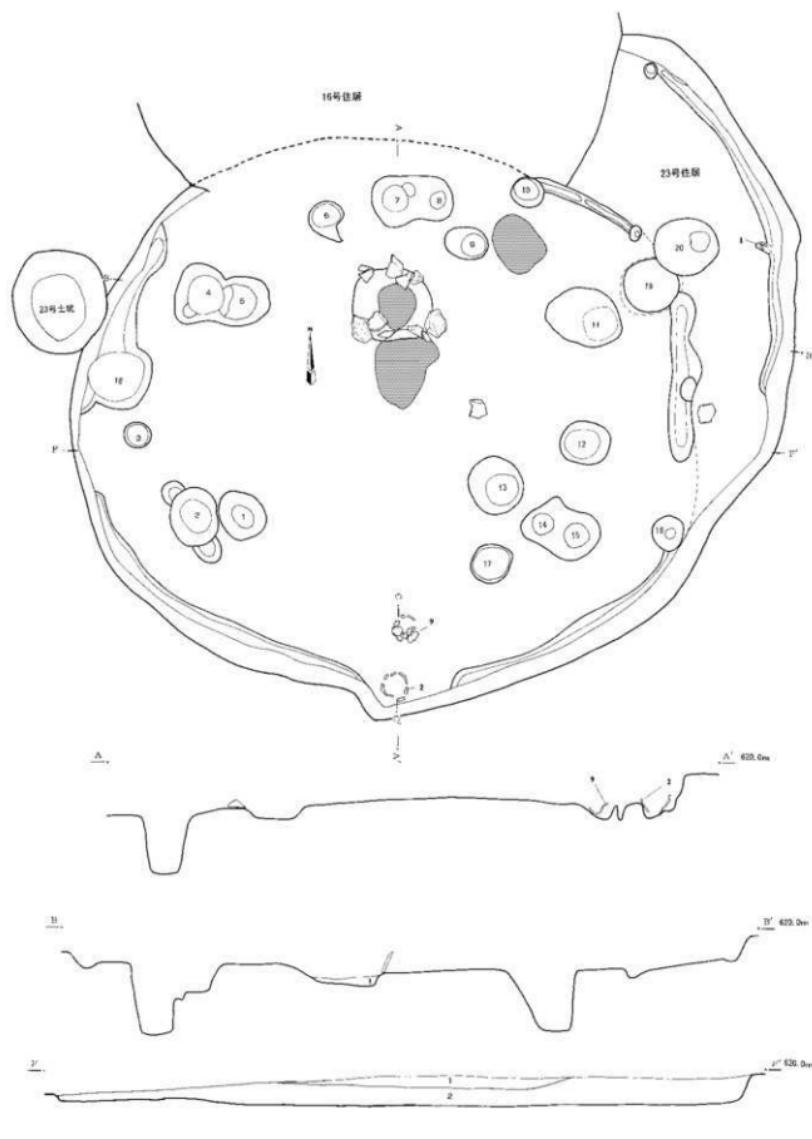
第21図 16号住居跡



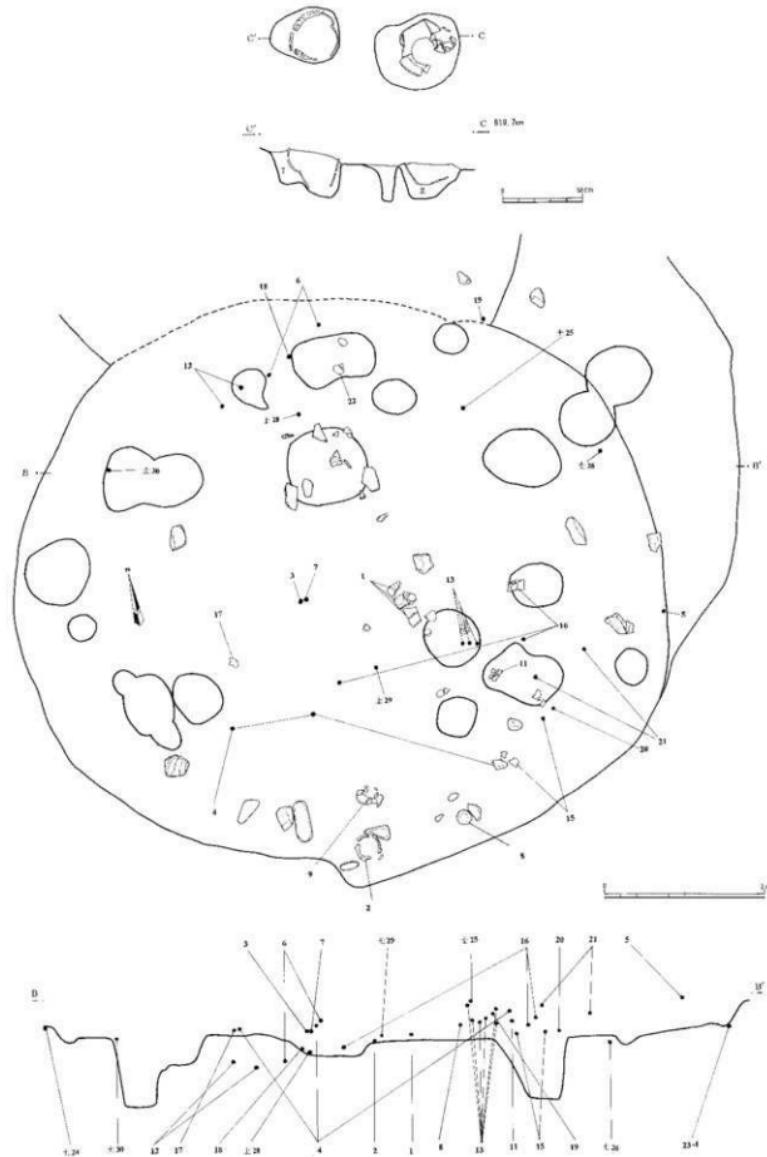
第22図 16号住居跡

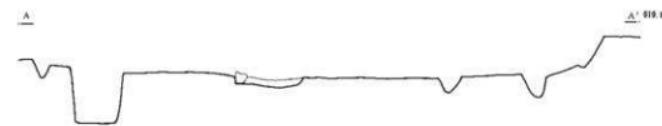
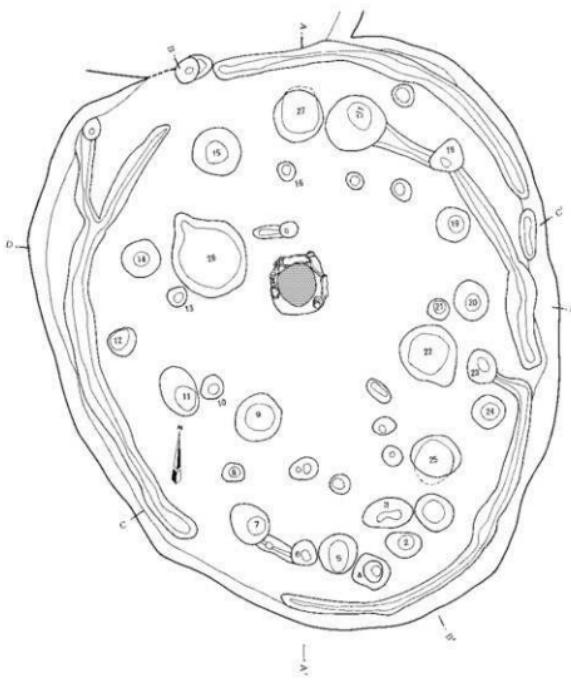


第23図 17号住居跡



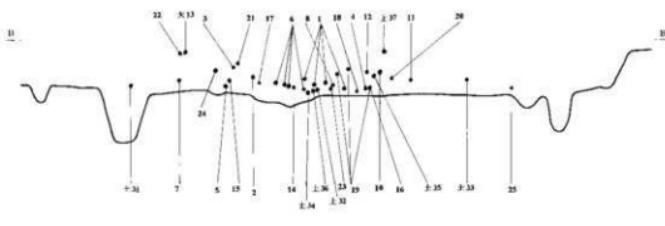
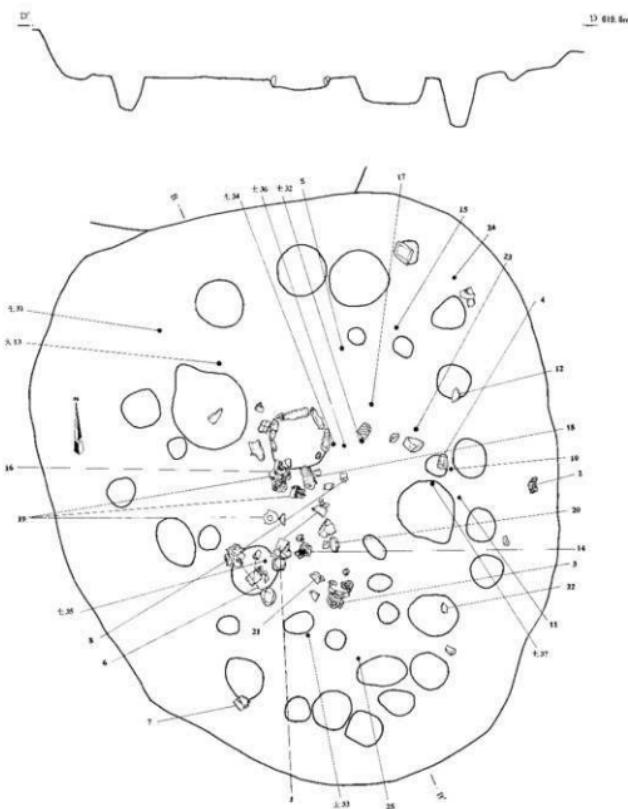
第24図 18・23号住居跡



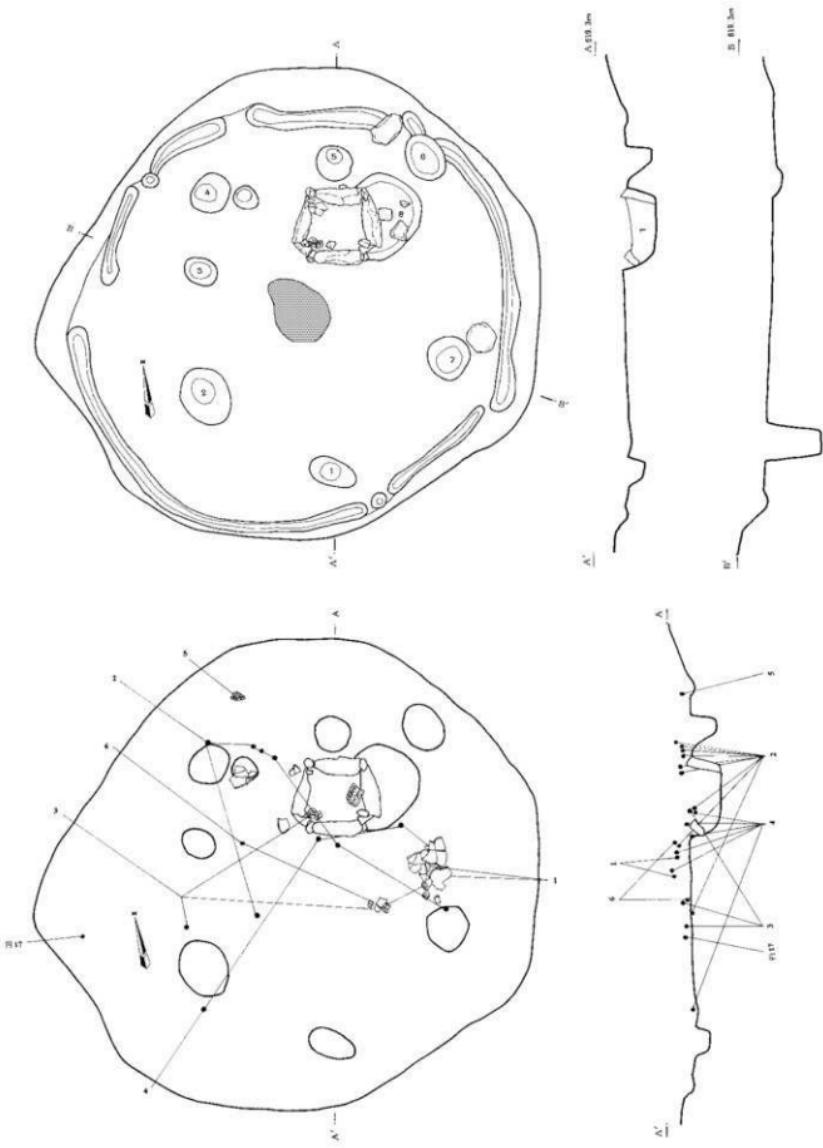


第26図 19号住居跡

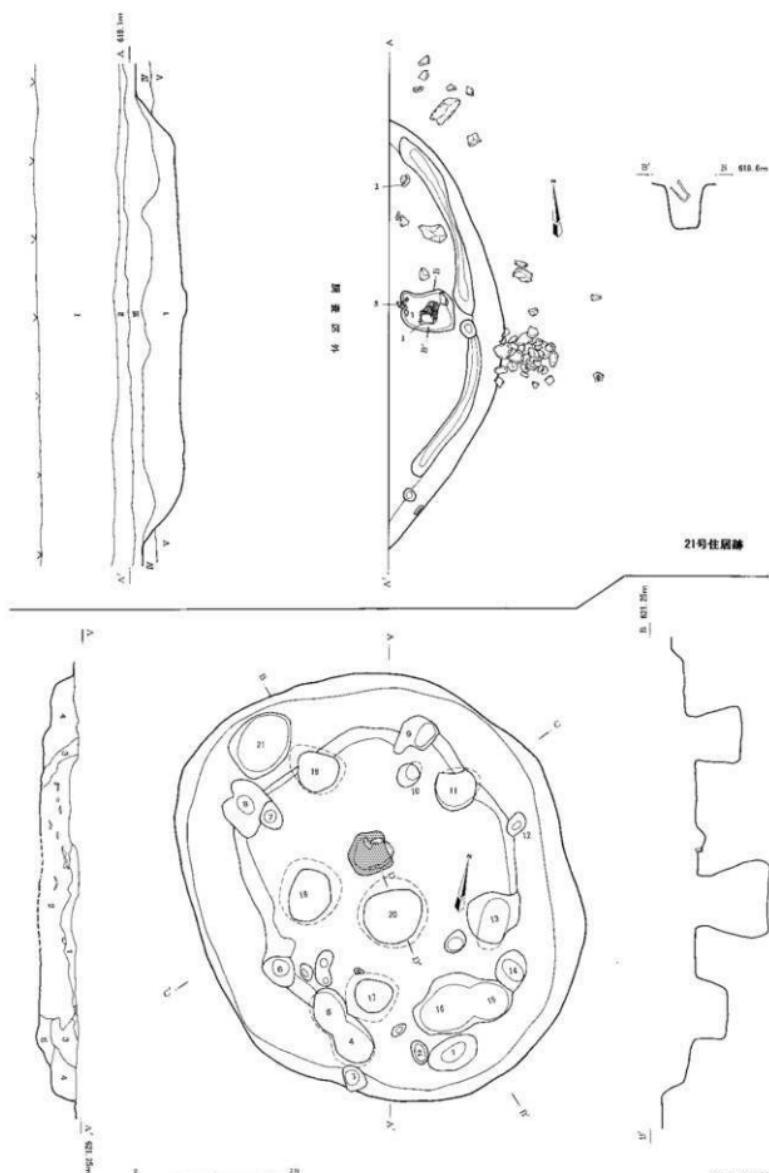




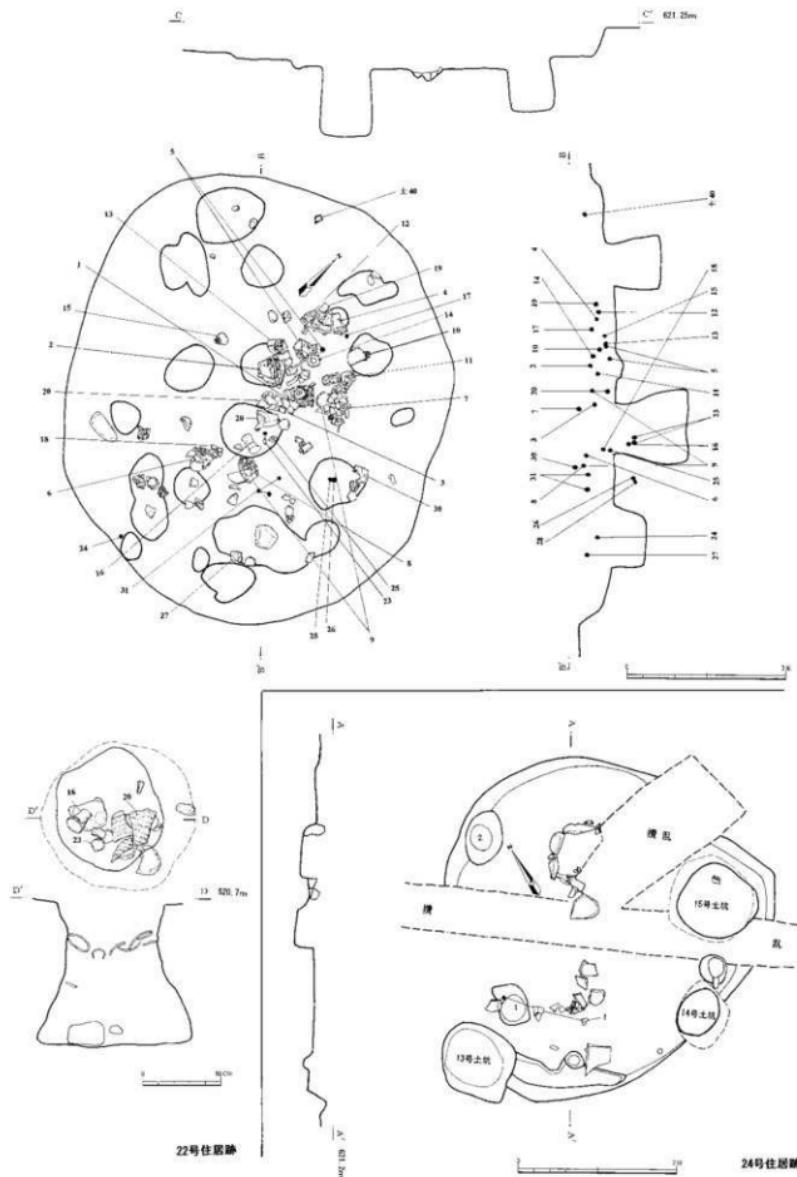
第27図 19号住居跡



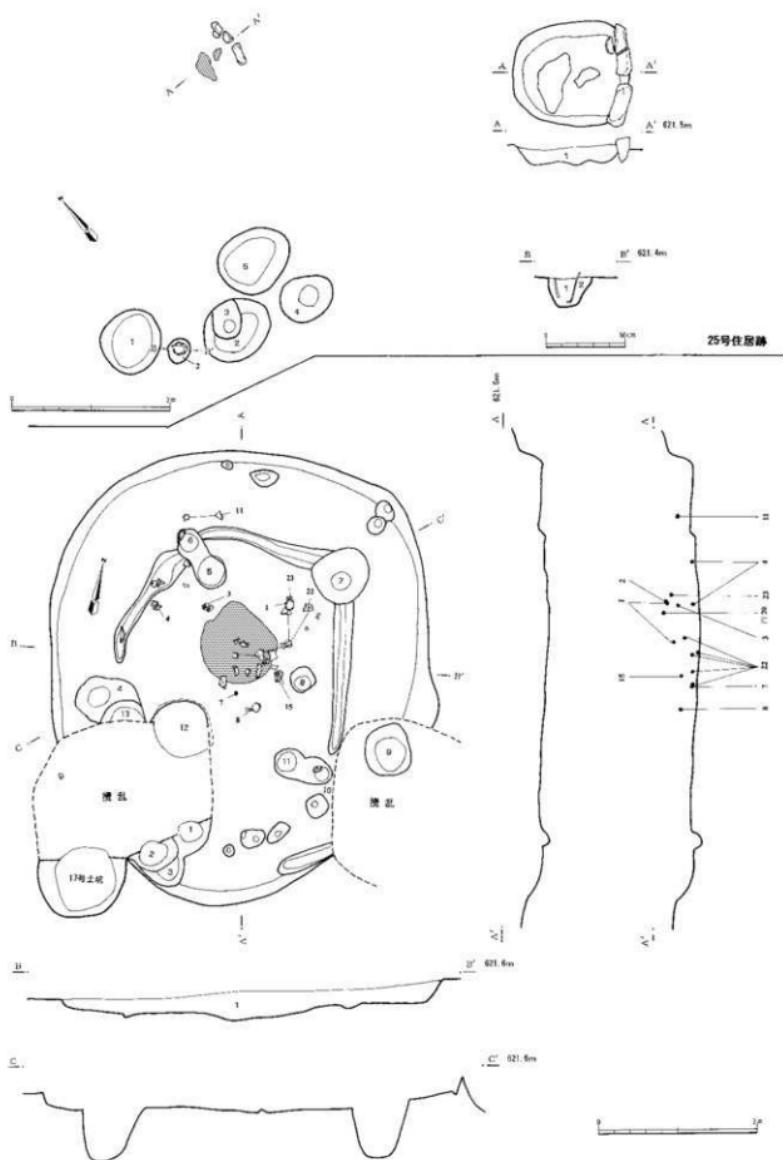
第28図 20号住居跡

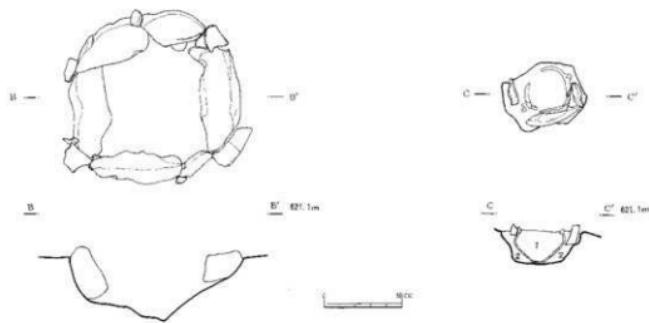
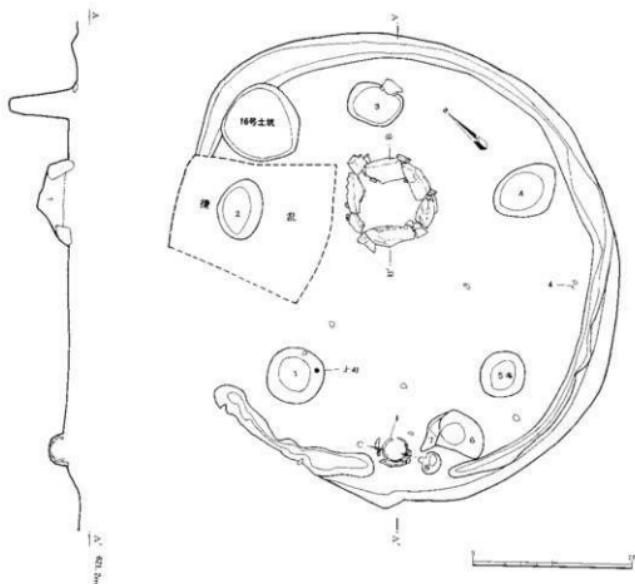


第29図 21・22号住居跡

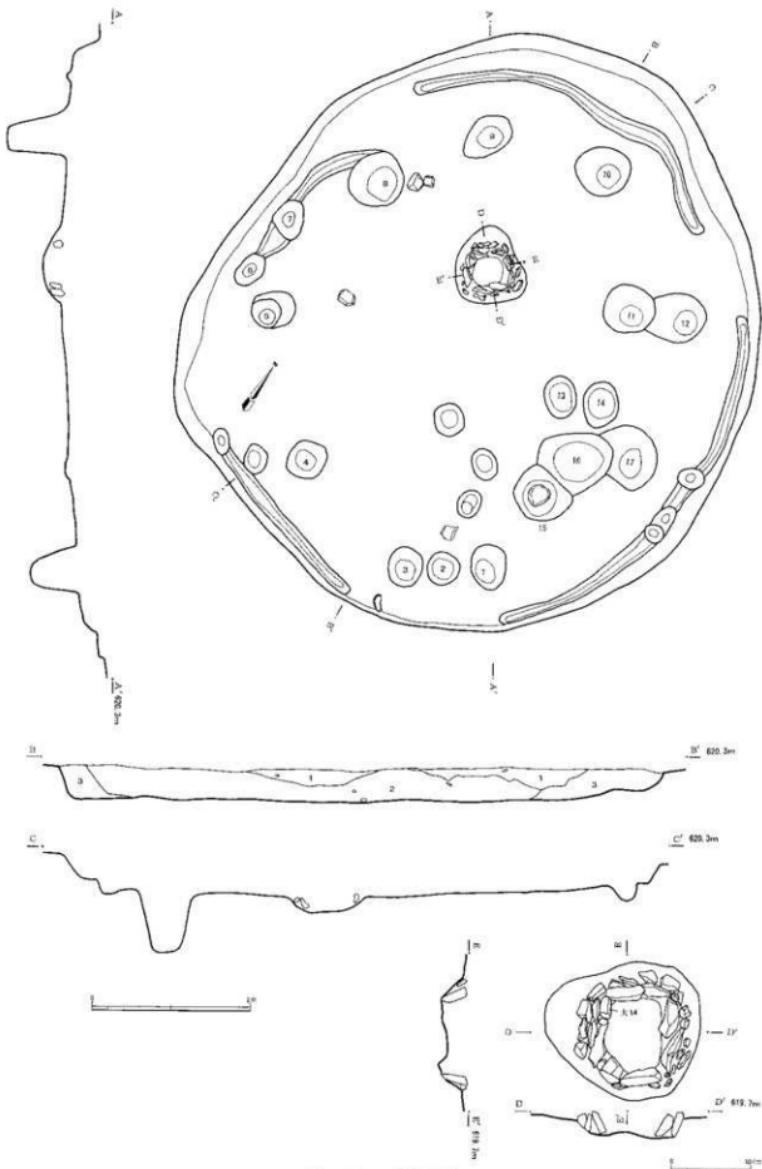


第30図 22・24号住居跡

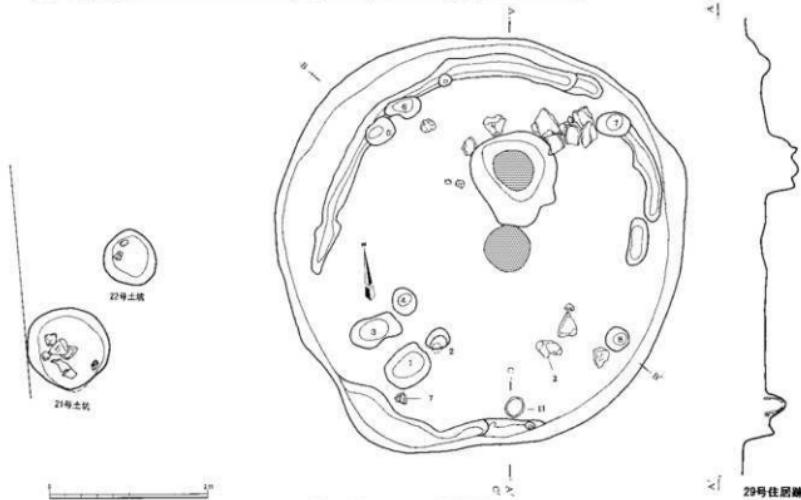
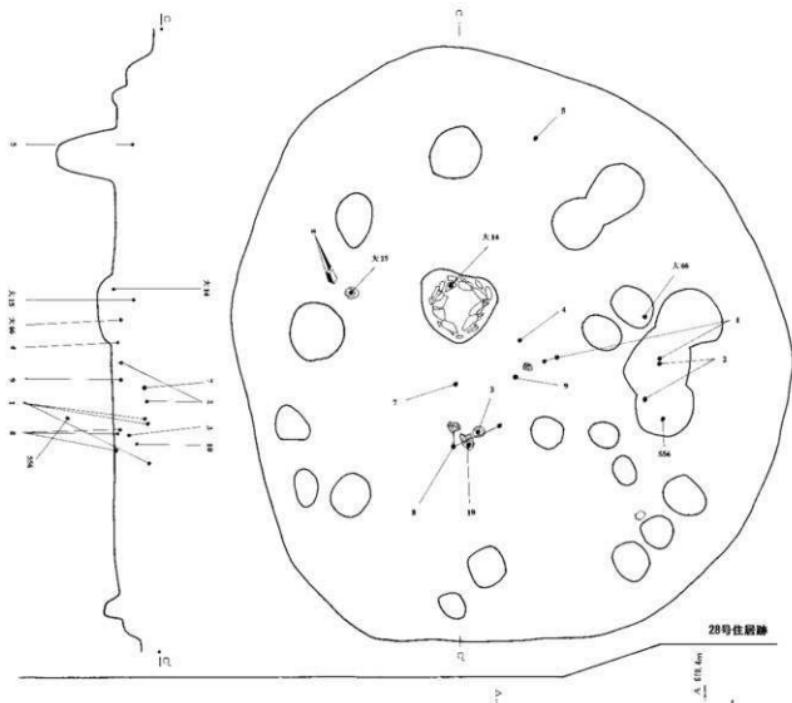




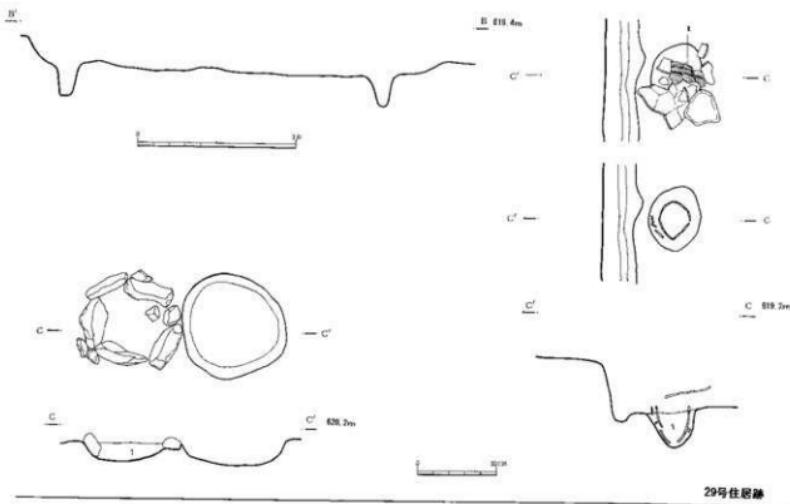
第32図 27号住居跡



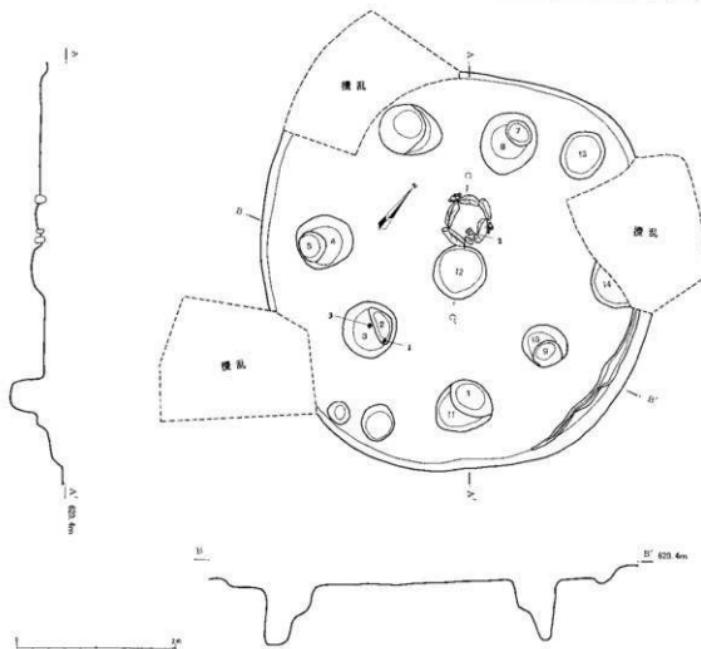
第33図 28号住居跡



第34図 28・29号住居跡

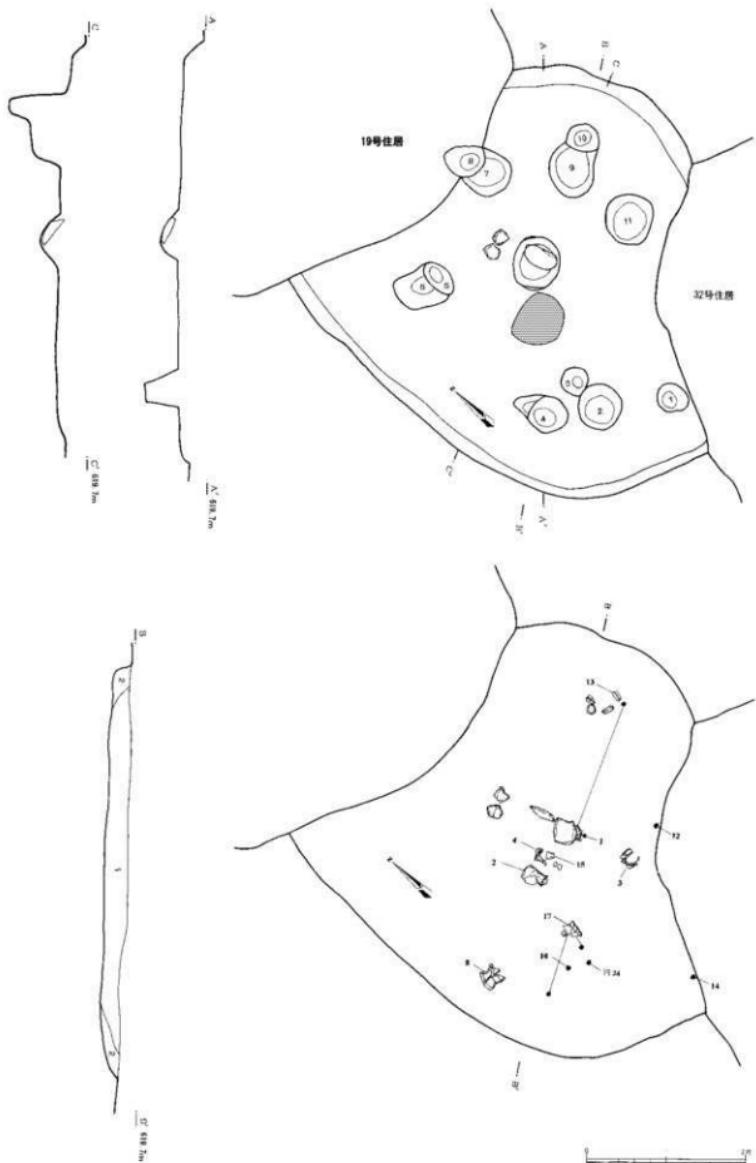


29号住居跡

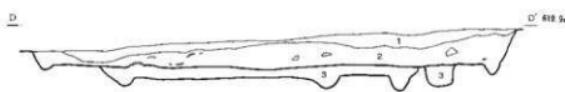
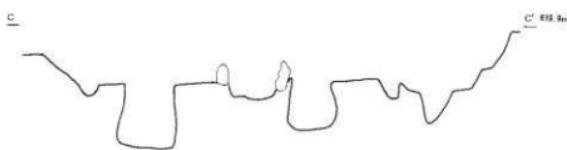
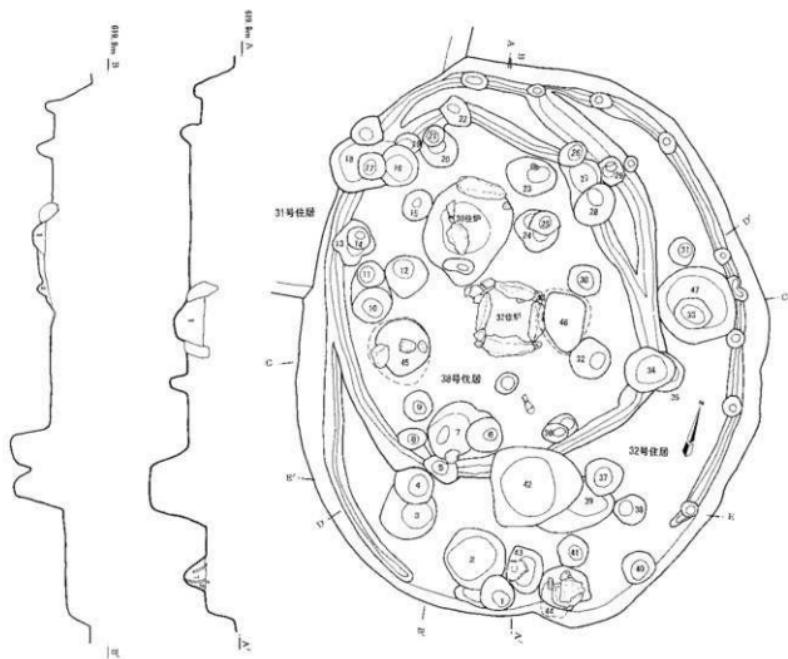


第35図 29・30号住居跡

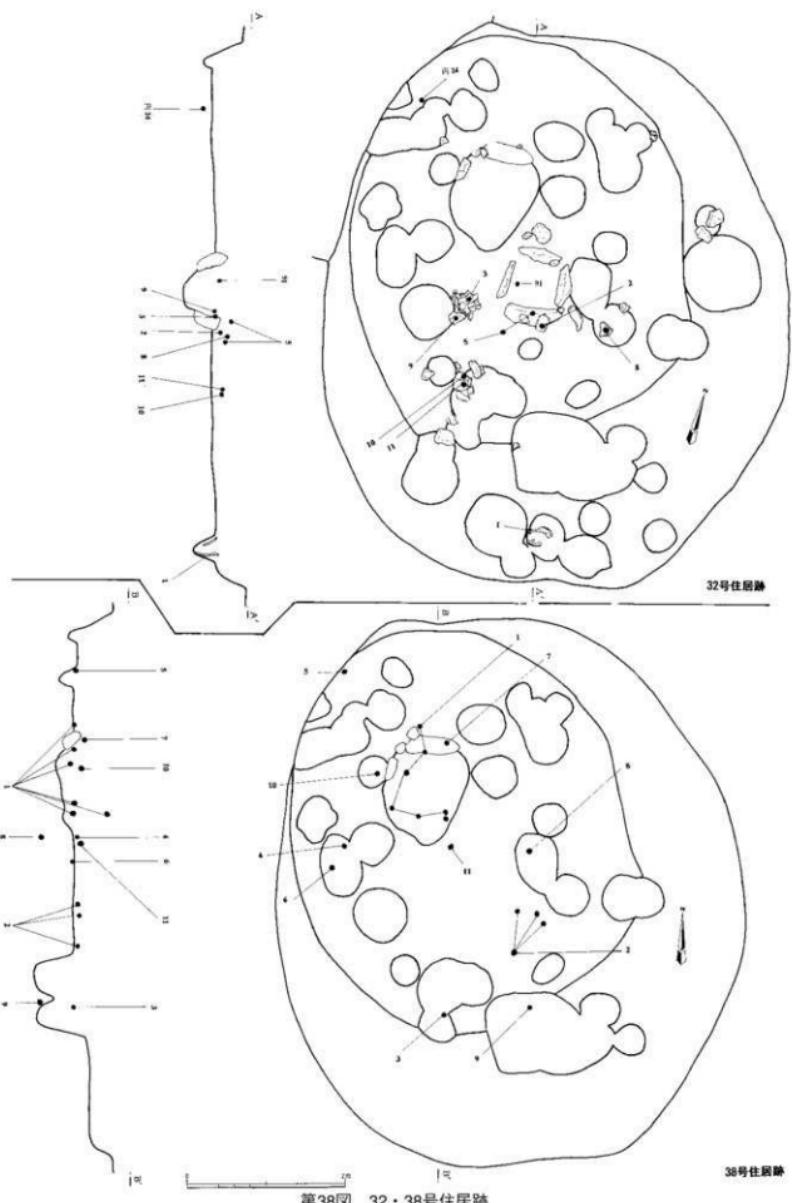
30号住居跡



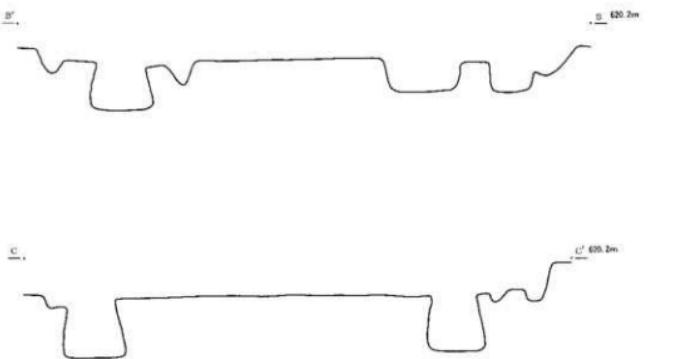
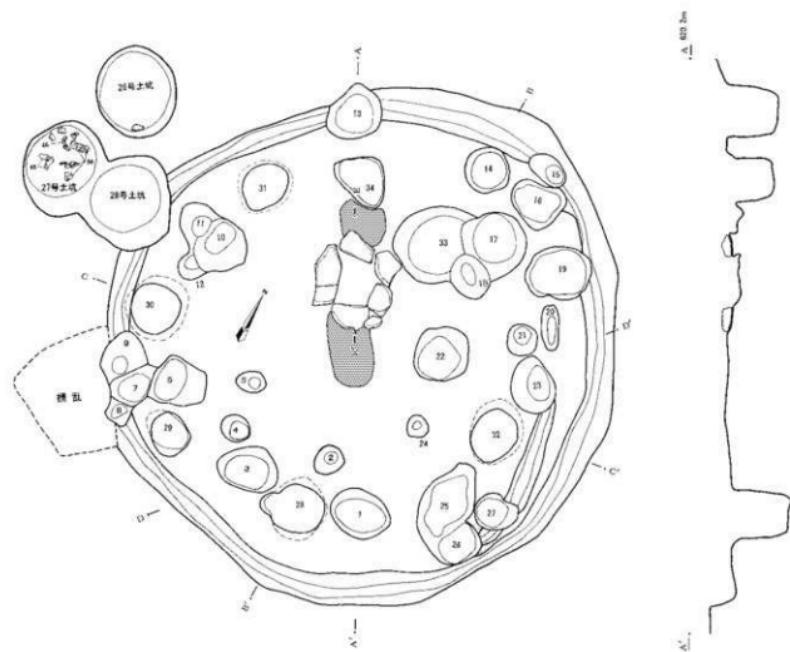
第36図 31号住居跡



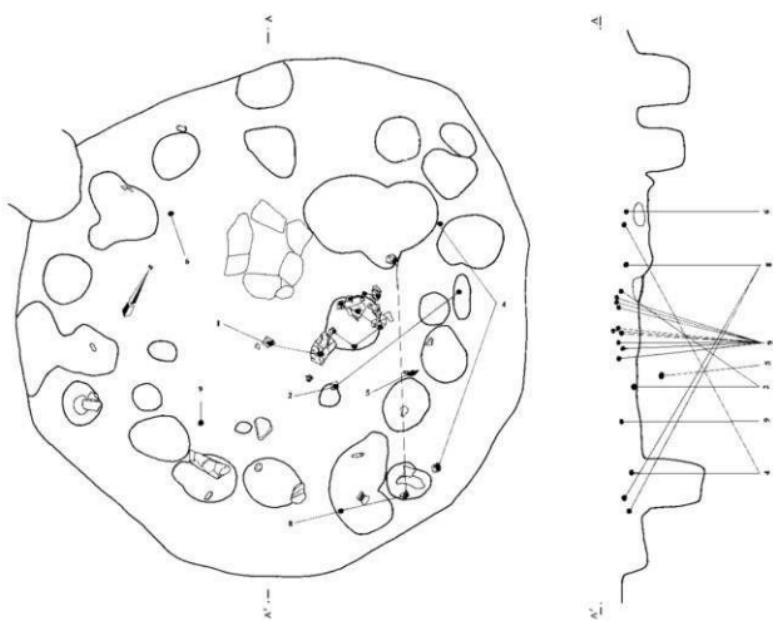
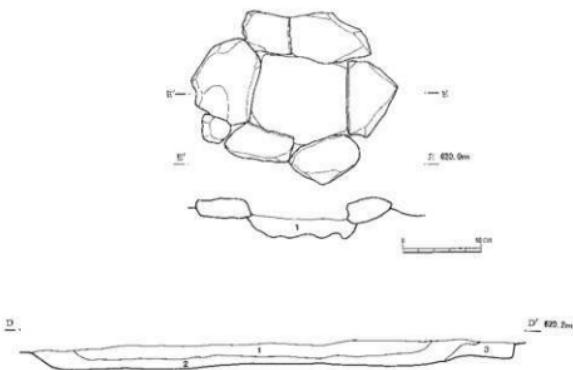
第37図 32・38号住跡



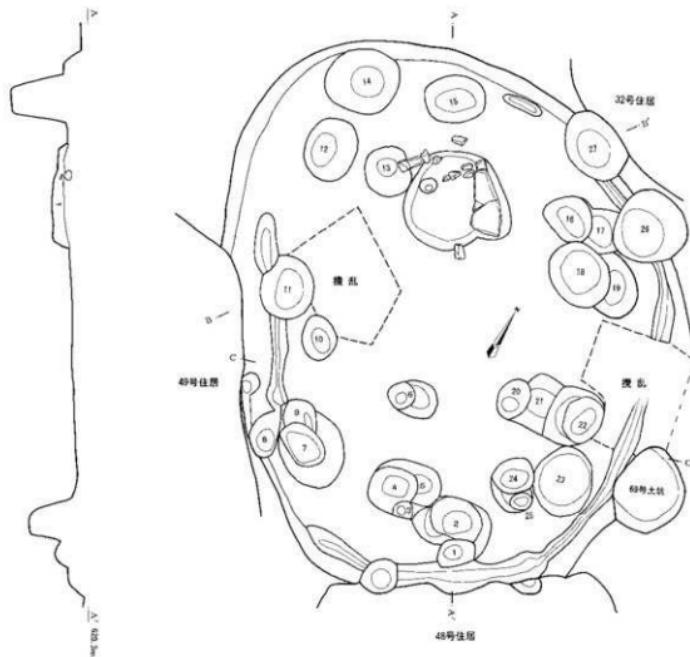
第38図 32・38号住居跡



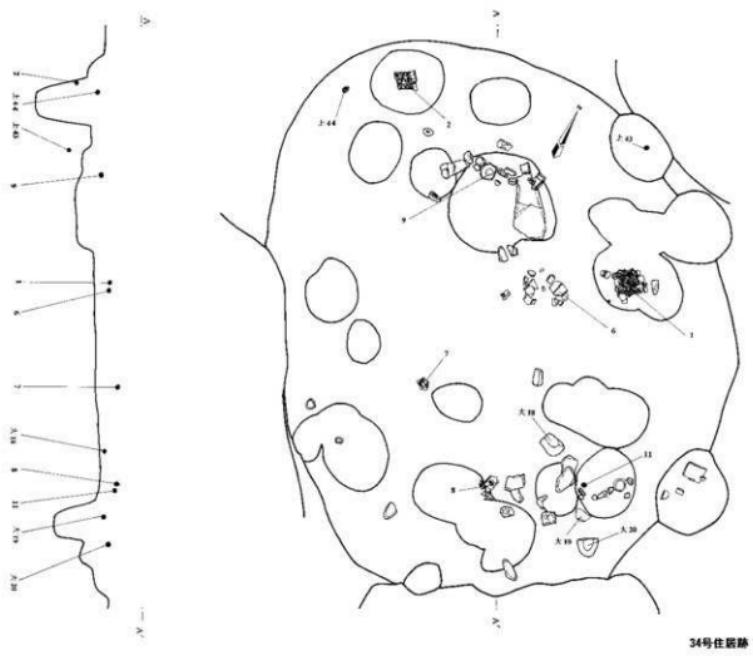
第39図 33号住居跡



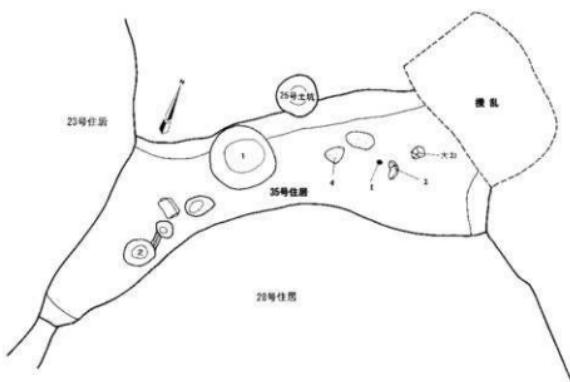
第40図 33号住居跡



第41図 34号住居跡

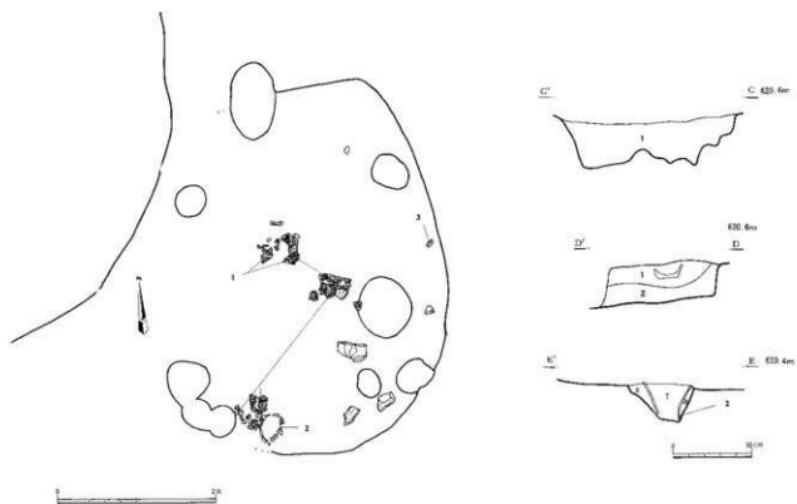
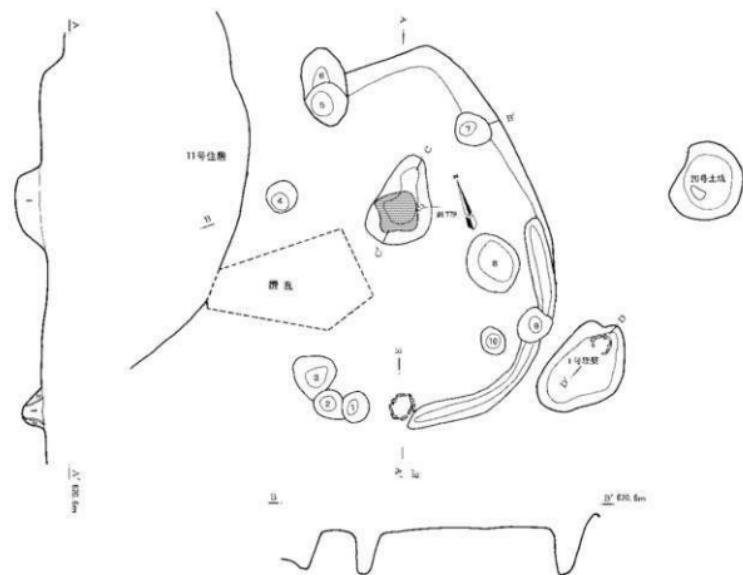


34号住居跡

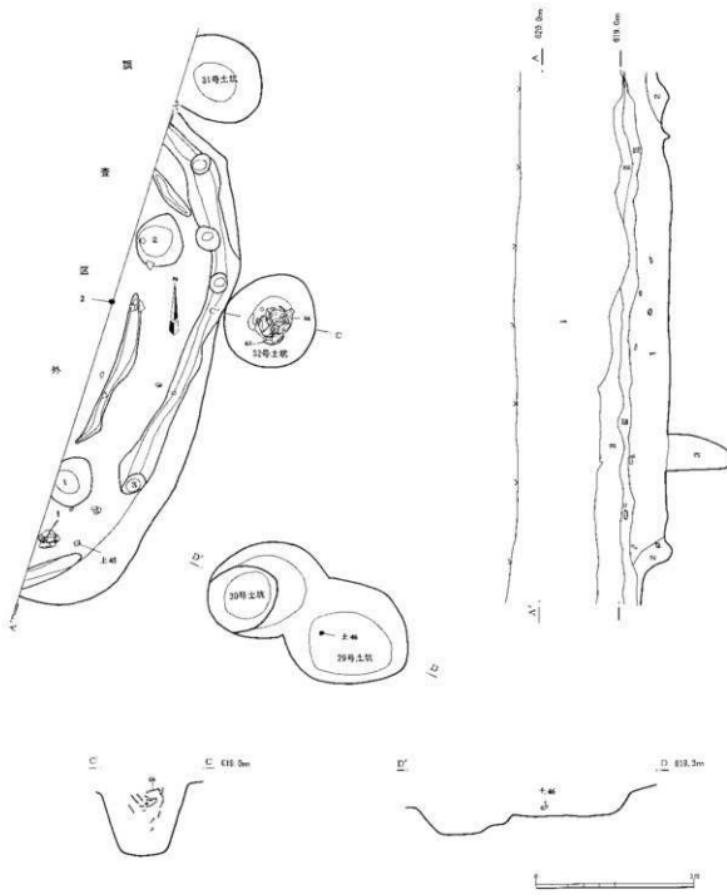


35号住居跡

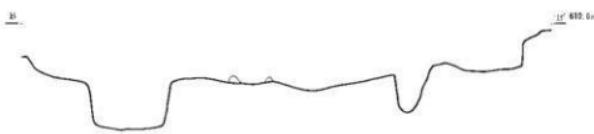
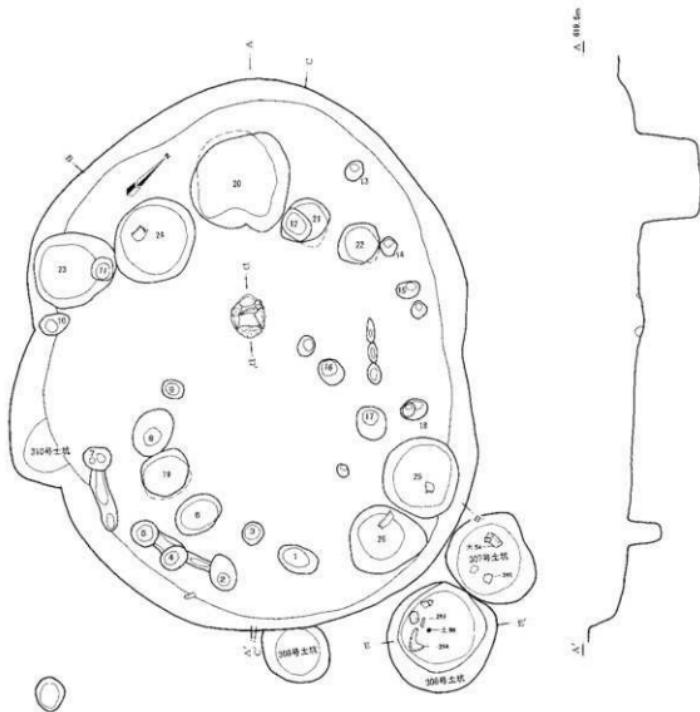
第42図 34・35号住居跡



第43図 36号住居跡

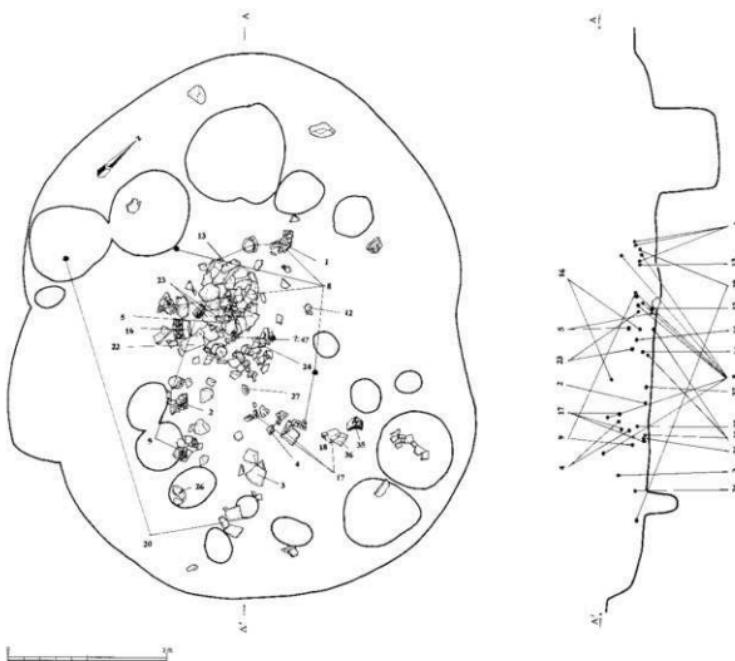
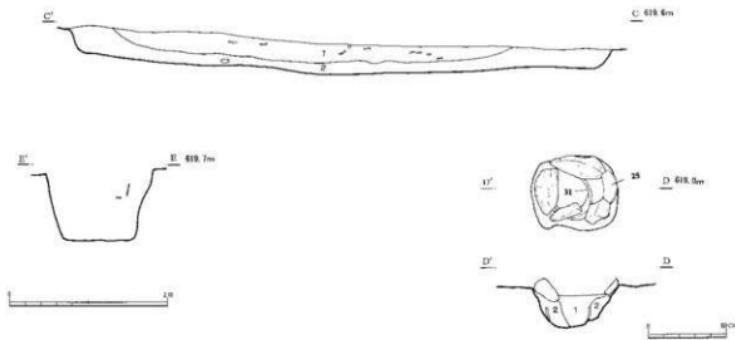


第44図 37号住居跡

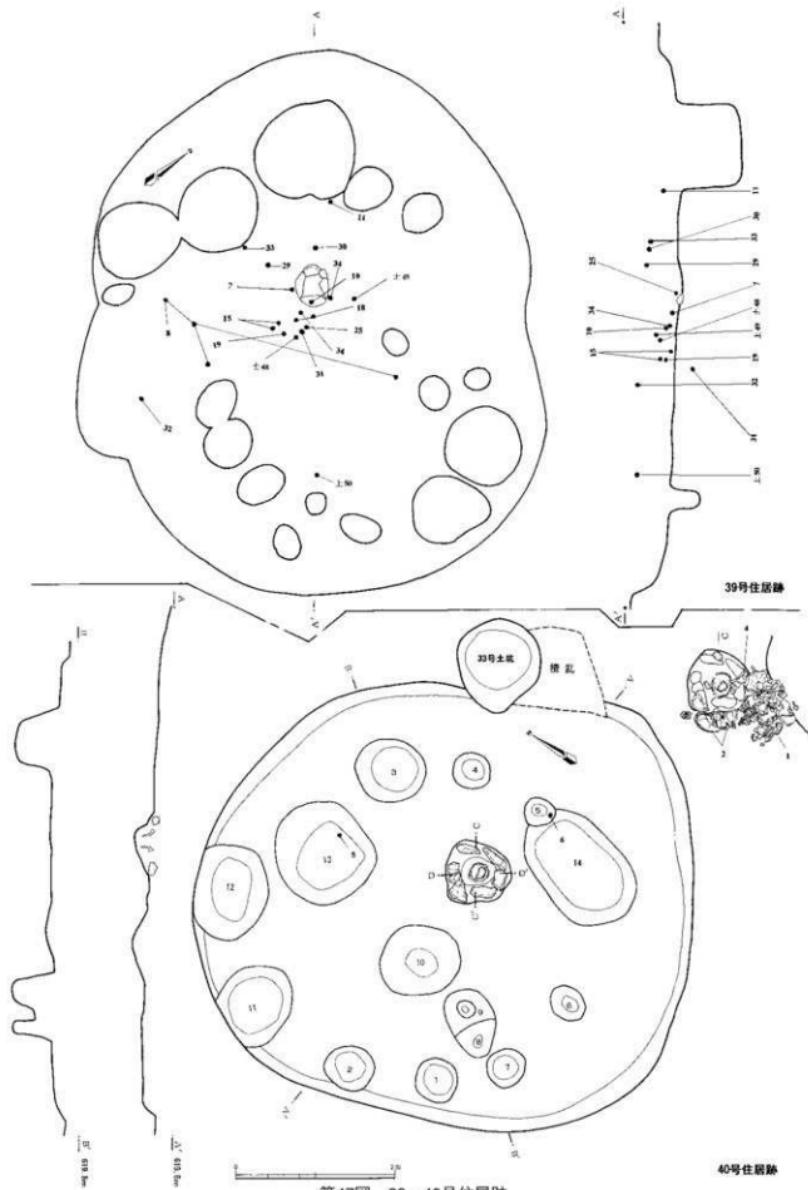


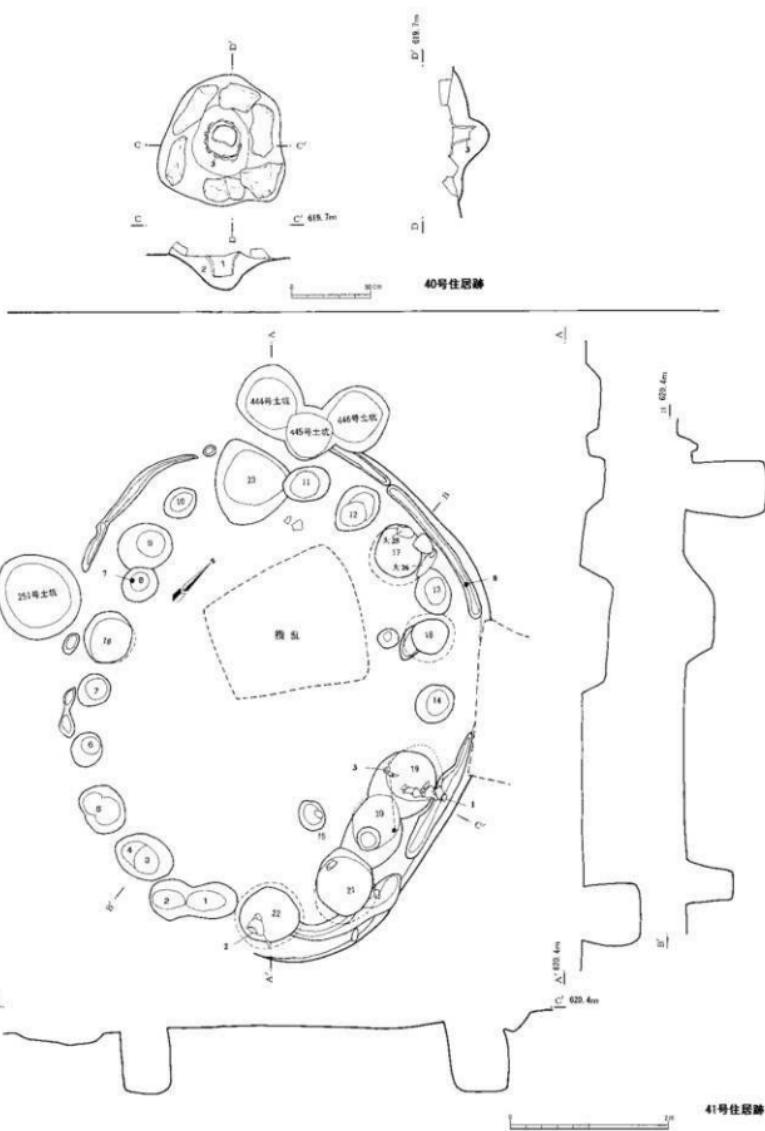
619.6m

第45図 39号住居跡

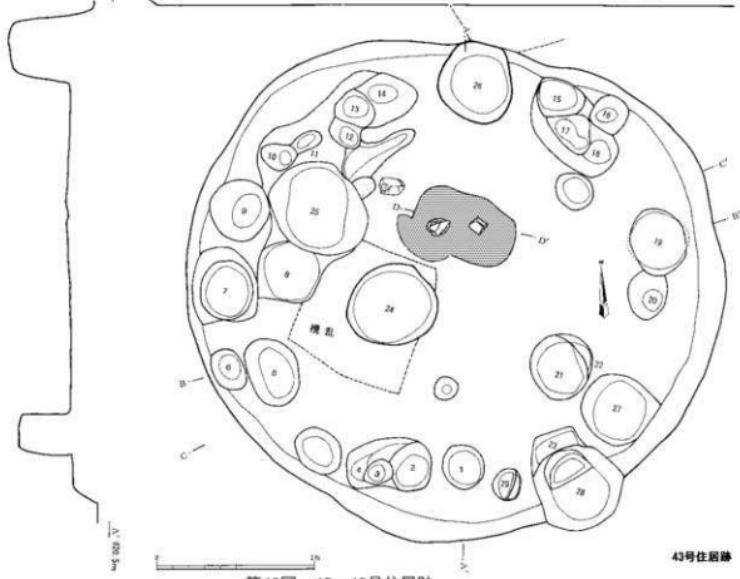
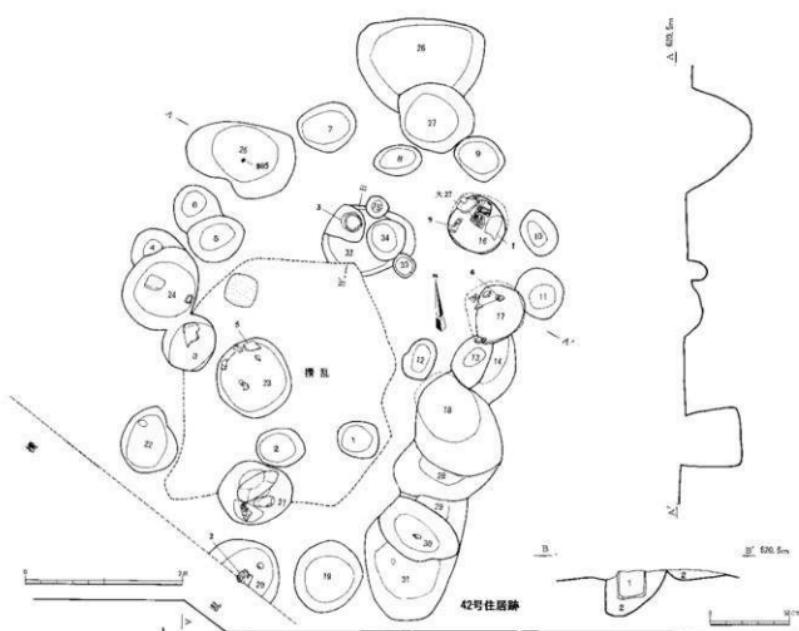


第46図 39号住居跡

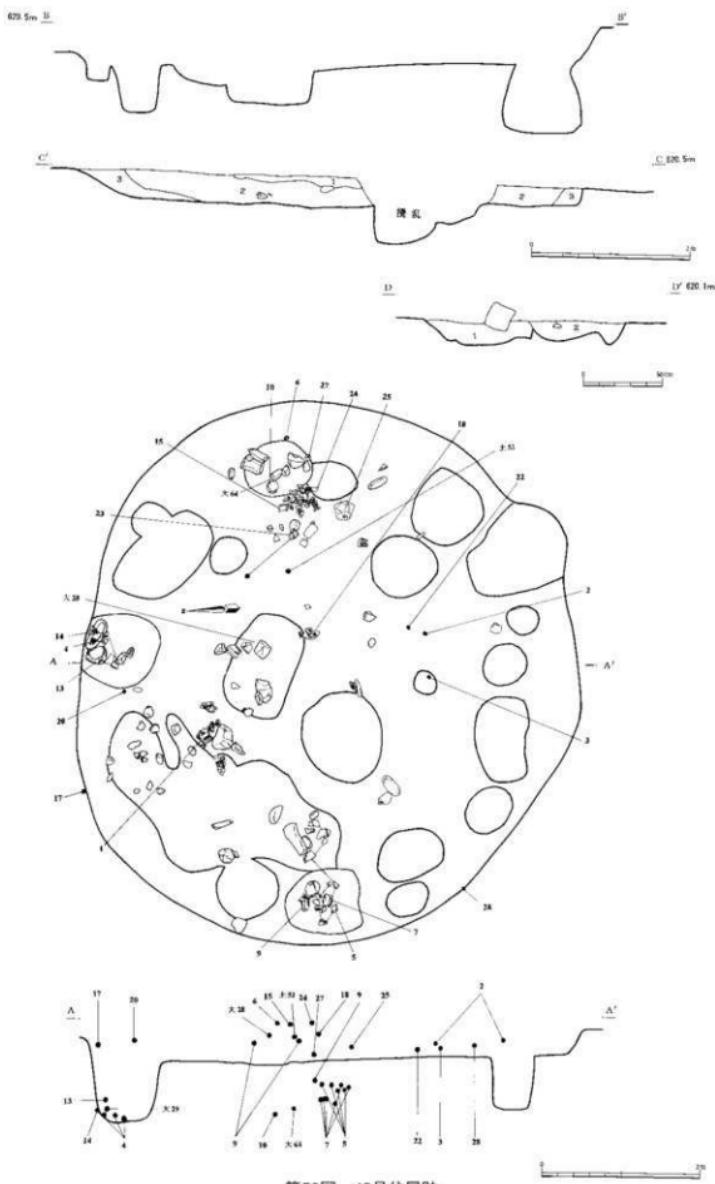


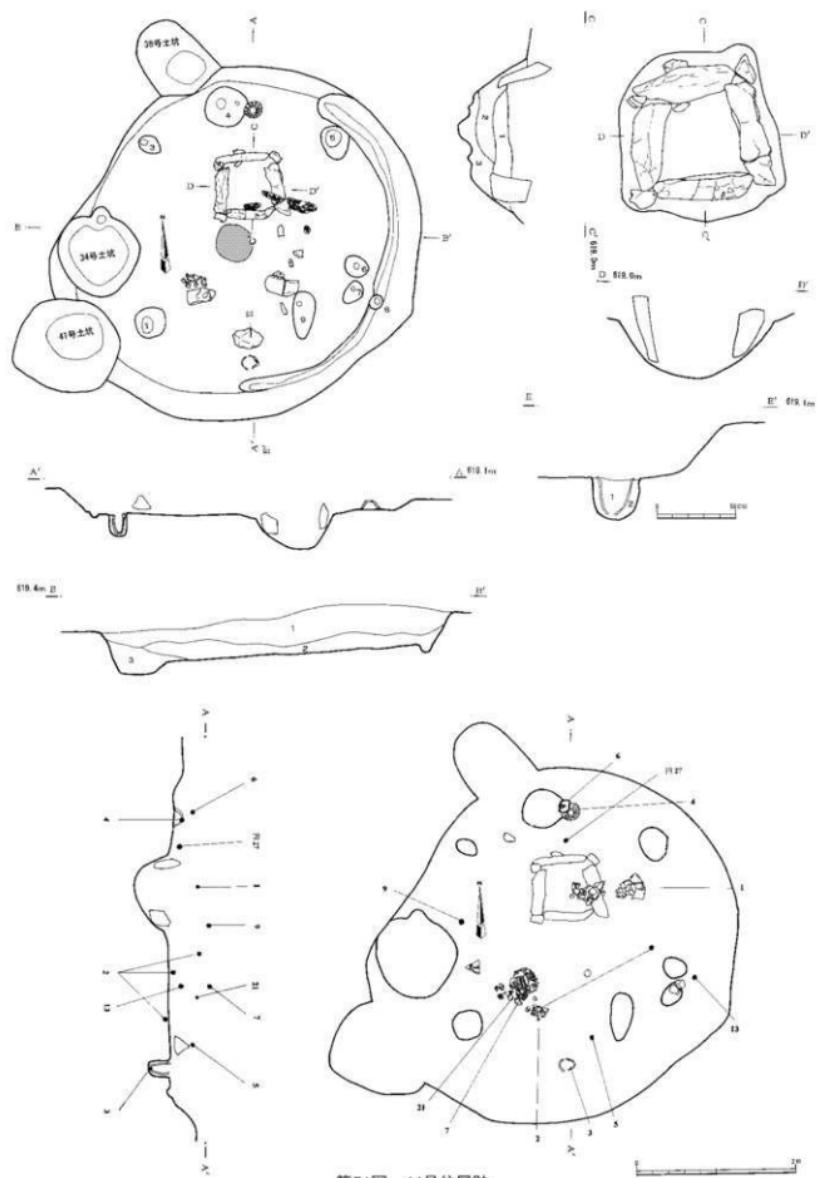


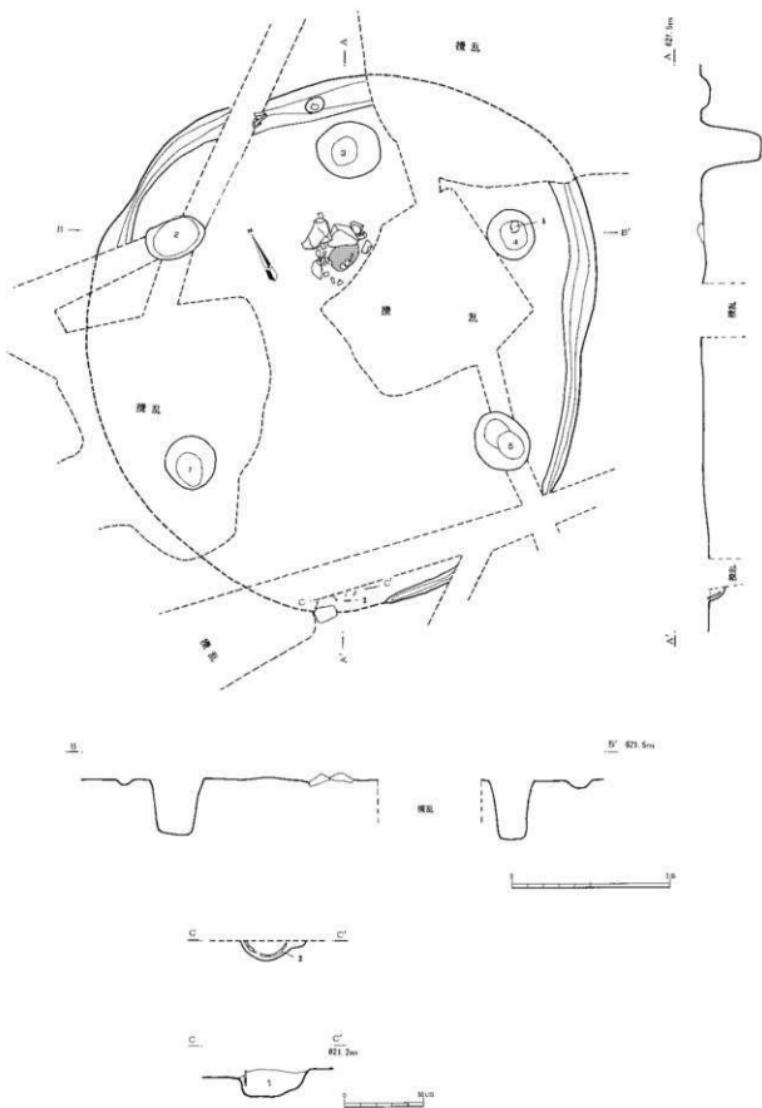
第48図 40・41号住居跡



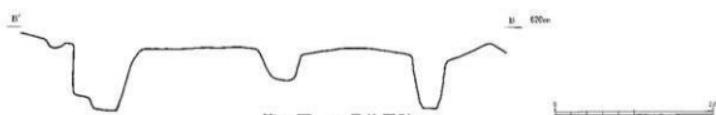
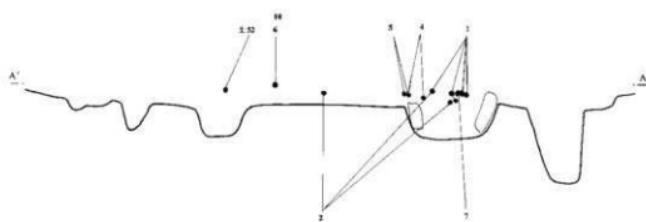
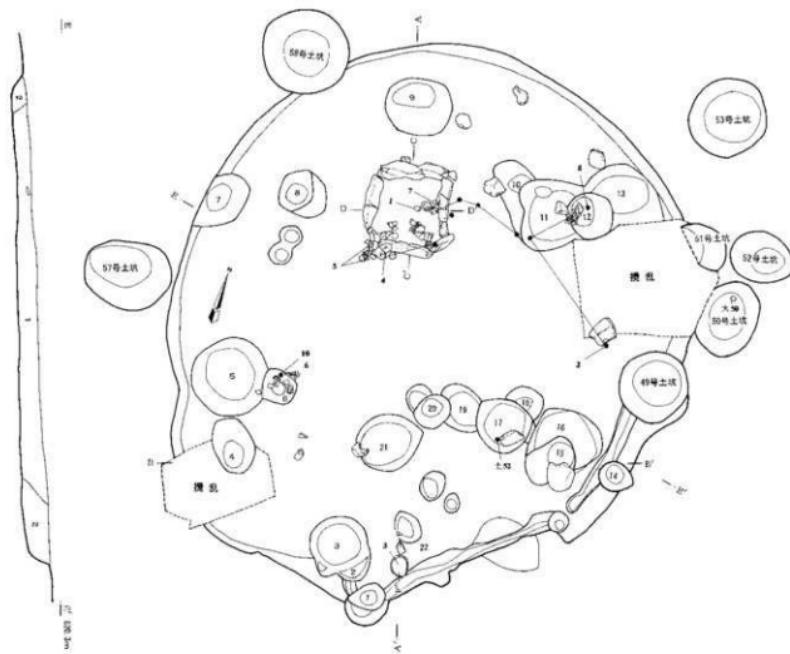
第49図 42・43号住居跡



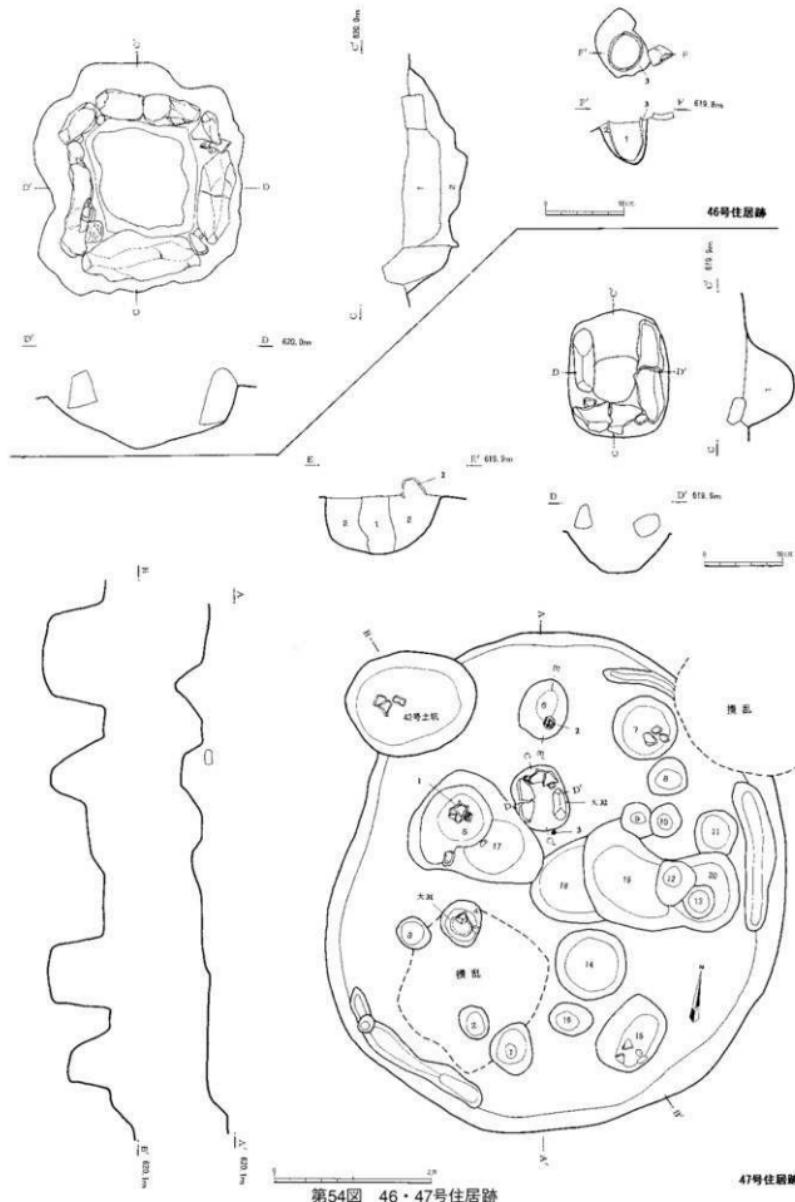




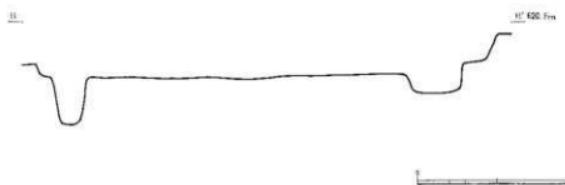
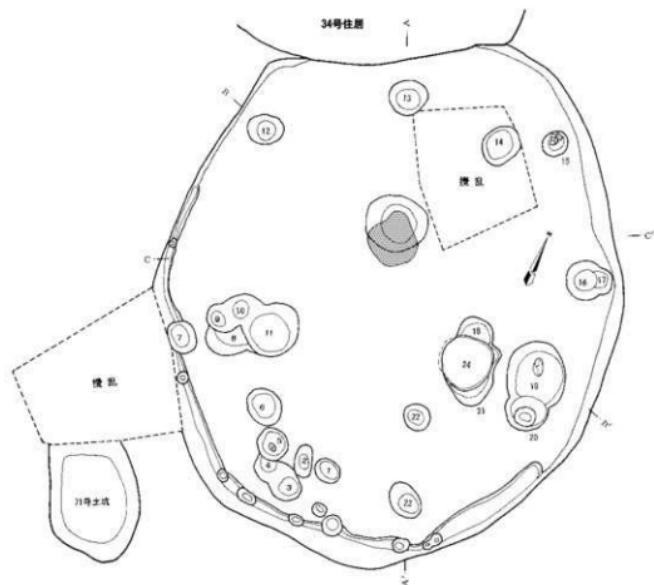
第52図 45号住居跡



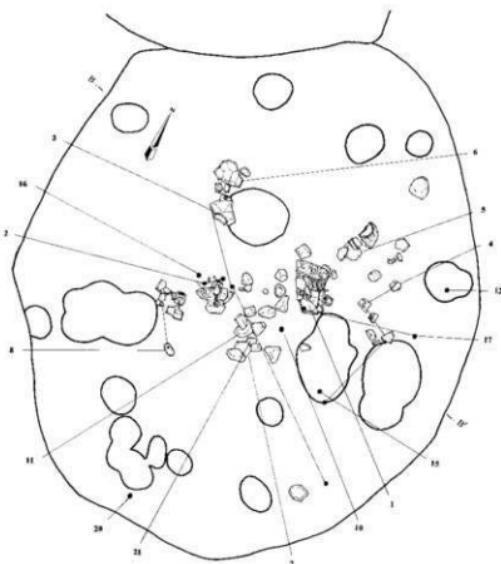
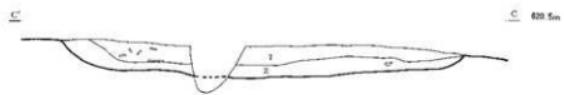
第53図 46号住居跡

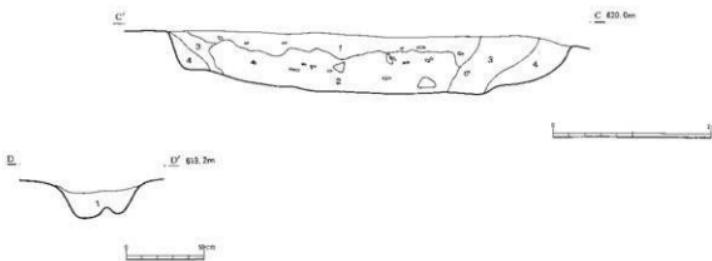
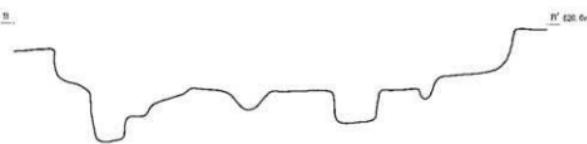
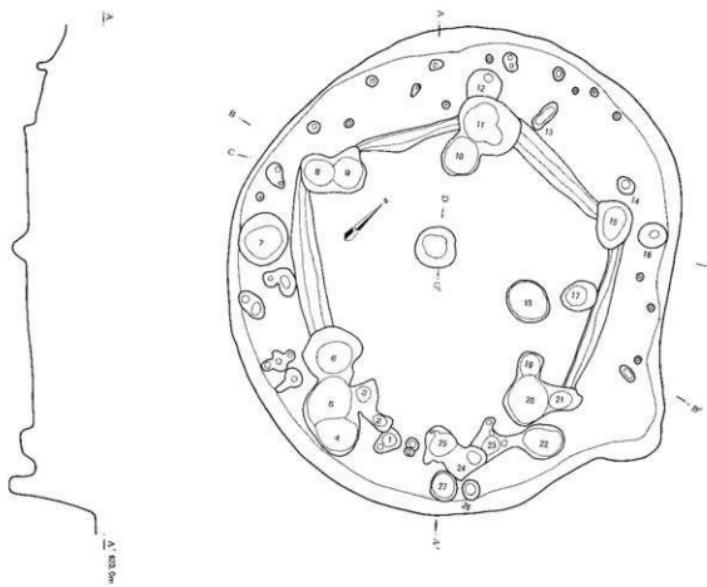


第54図 46・47号住居跡

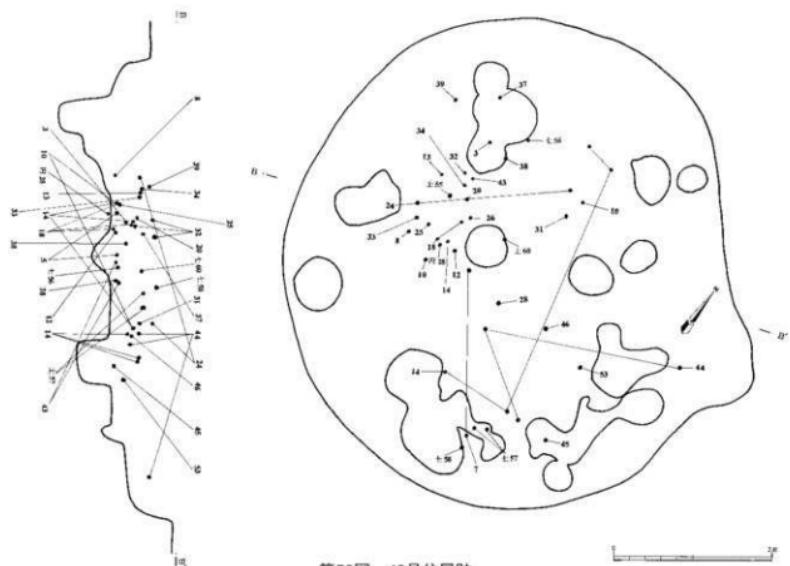
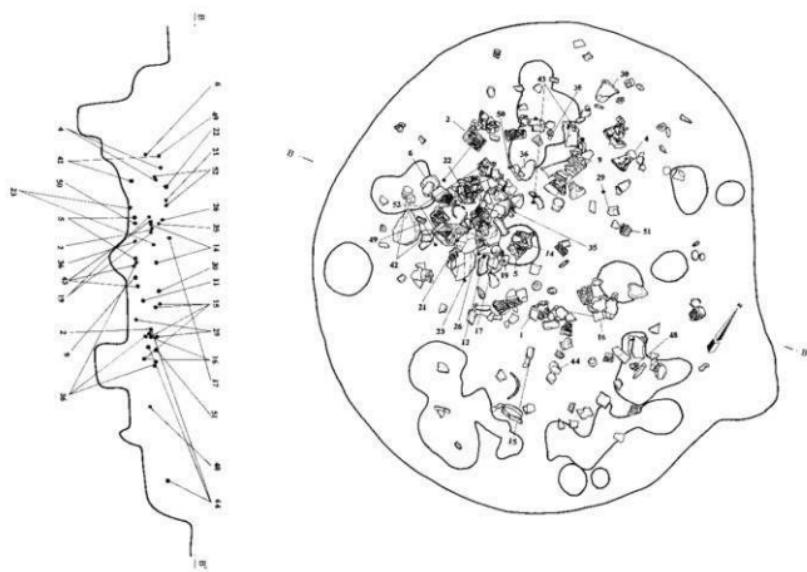


第55図 48号住居跡

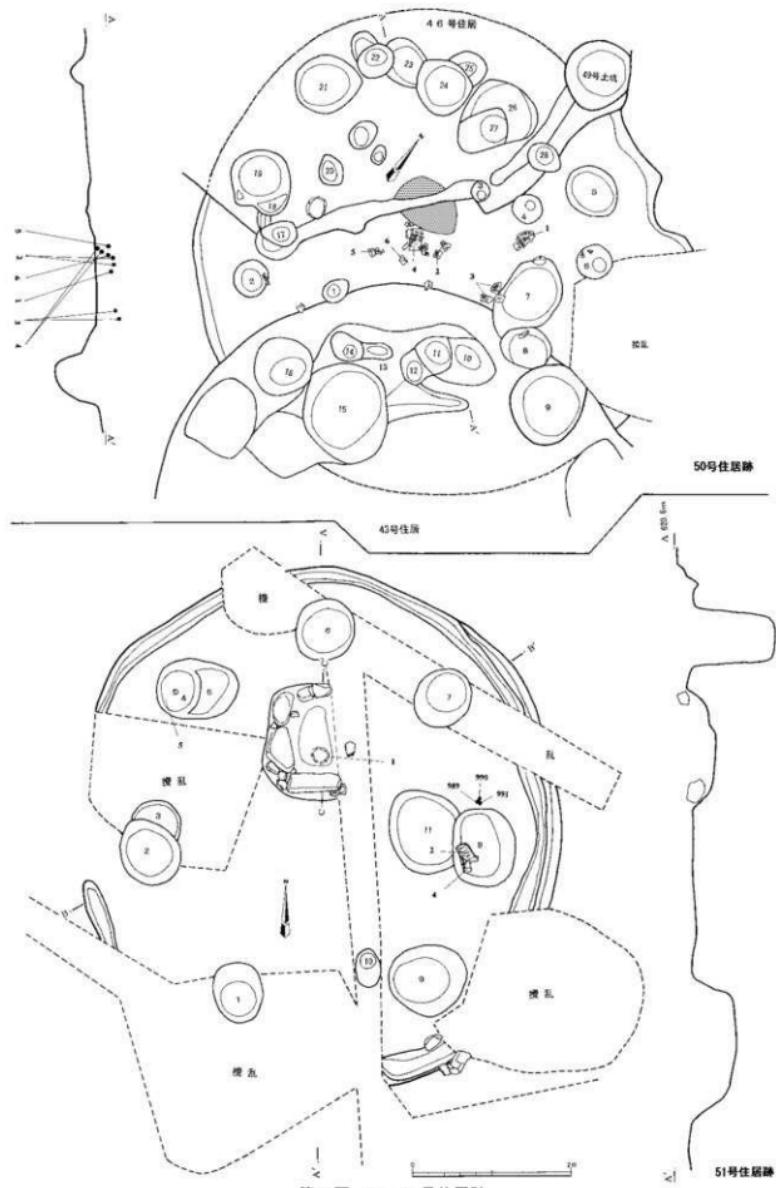




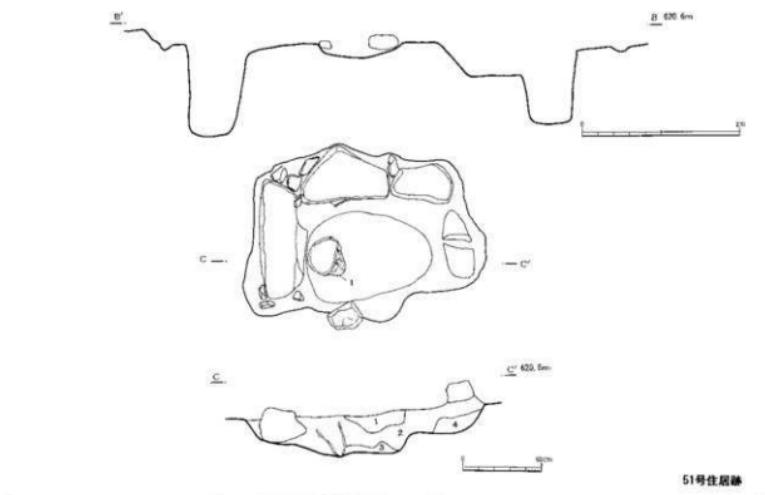
第57図 49号住居跡



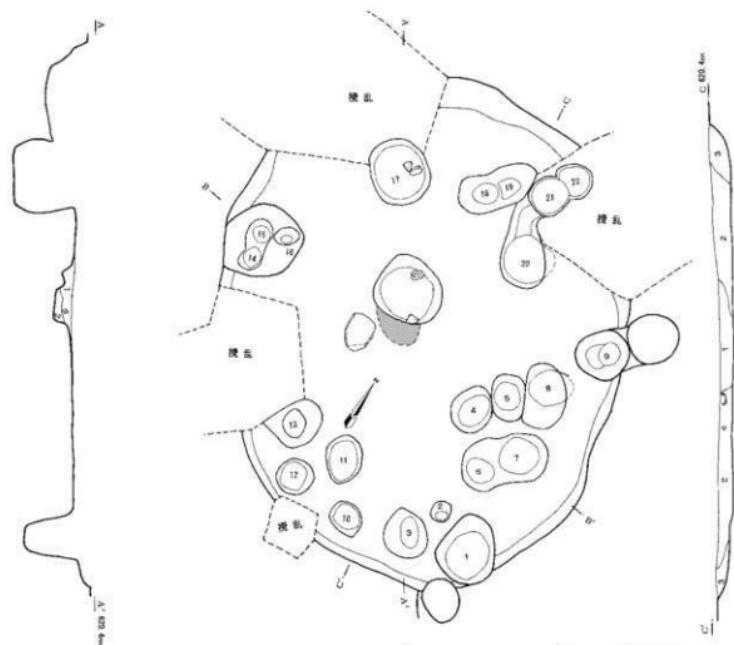
第58図 49号住居跡



第59図 50・51号住居跡

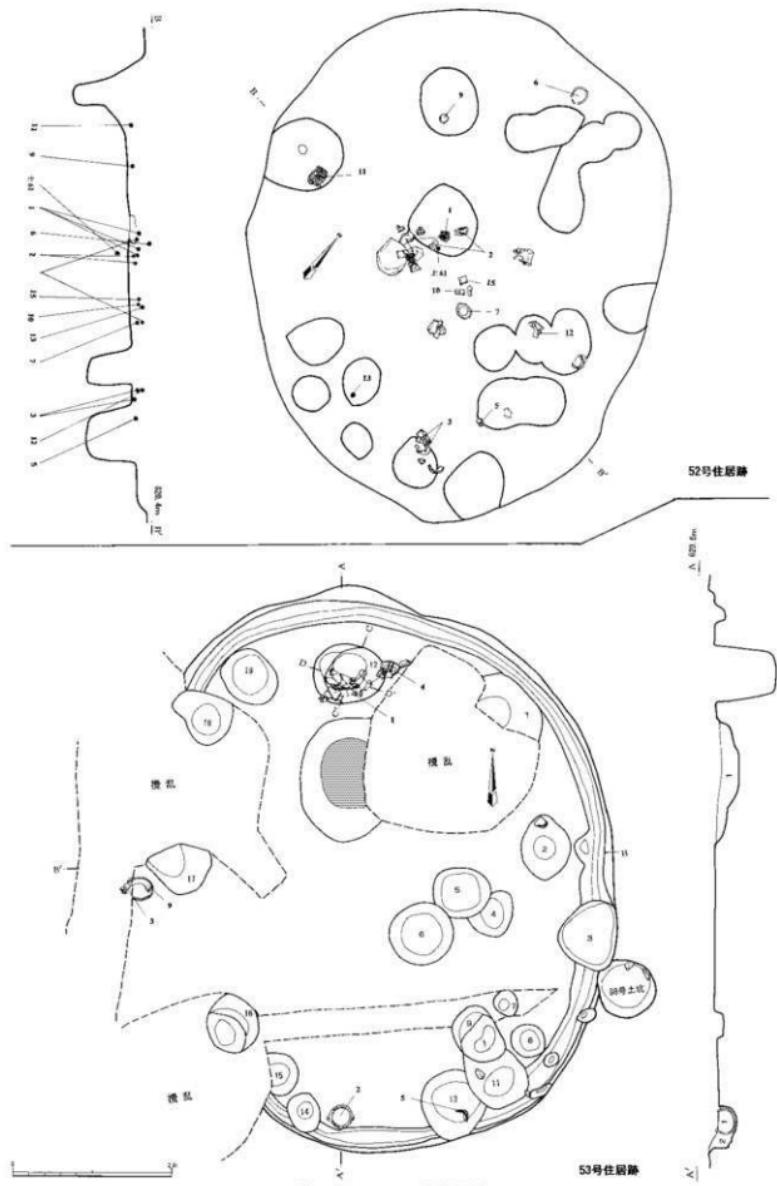


51号住居跡

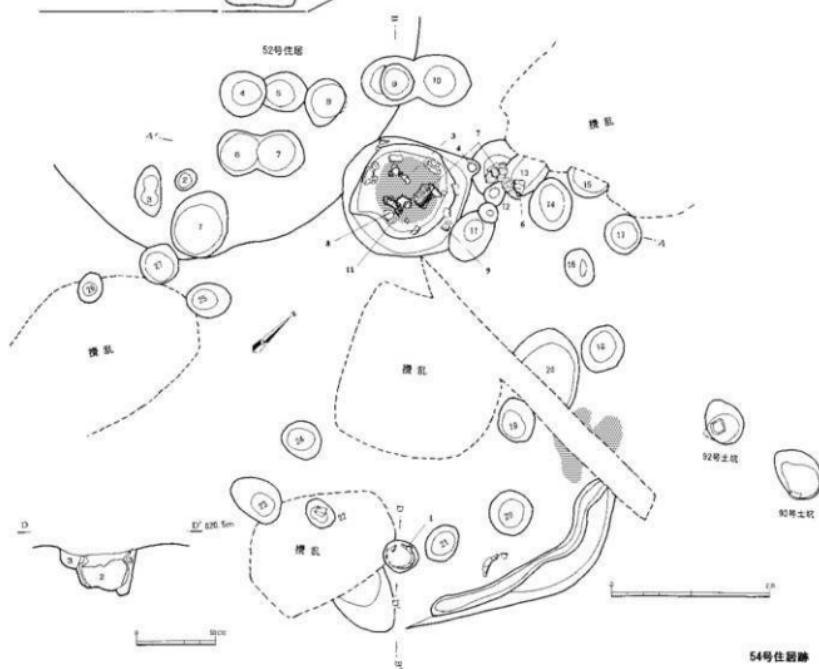
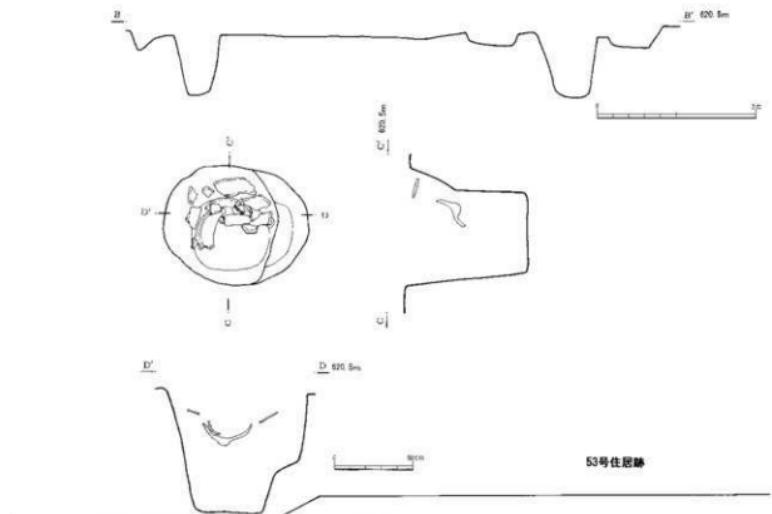


52号住居跡

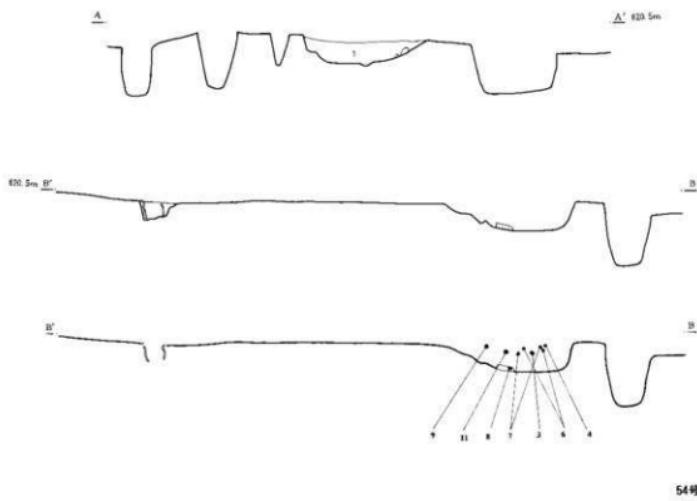
第60図 51・52号住居跡



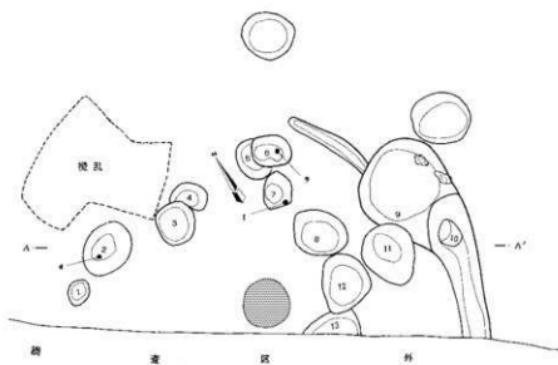
第61図 52・53号住居跡



第62図 53・54号住居跡

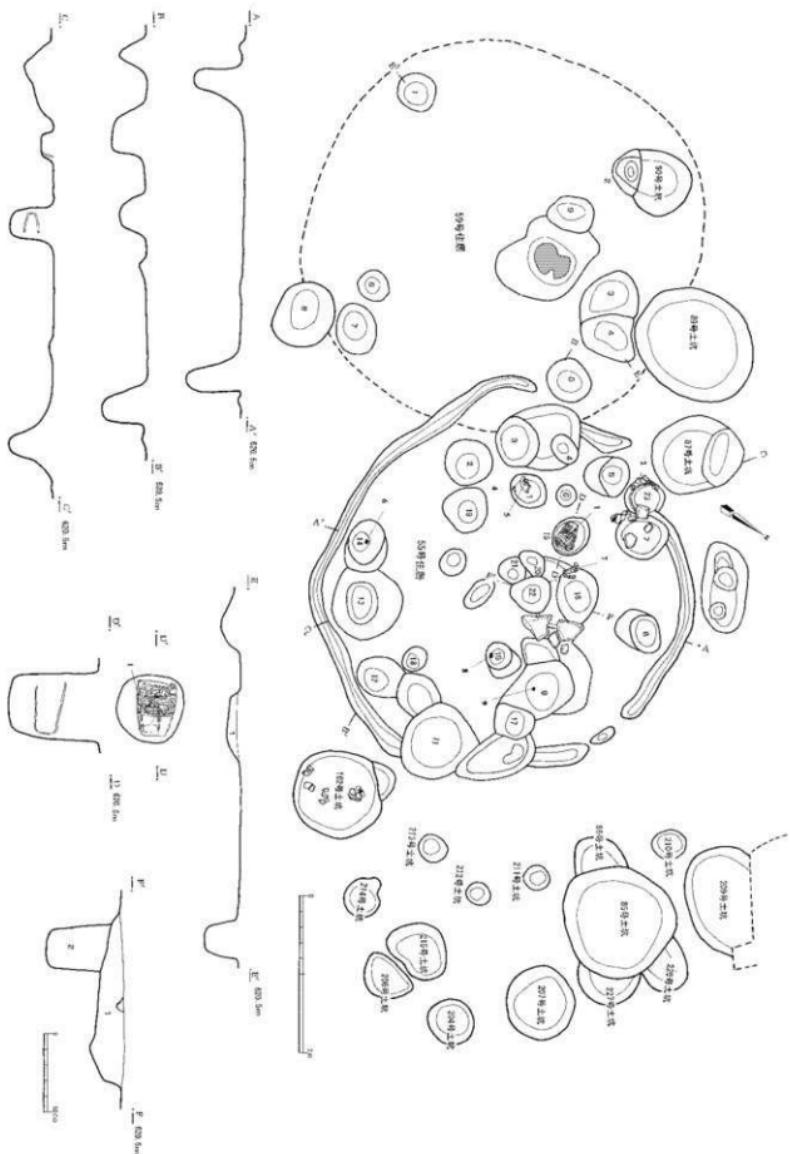


54号住居跡

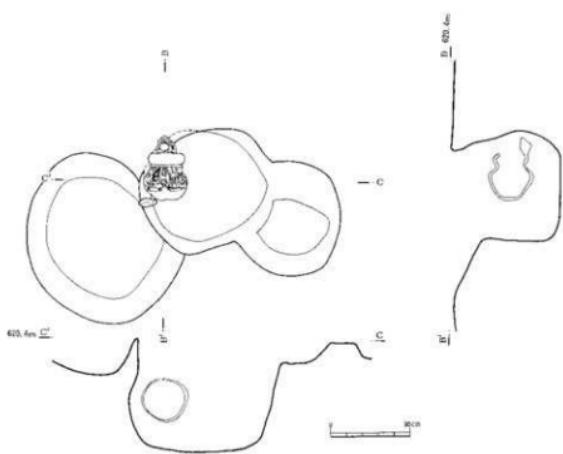
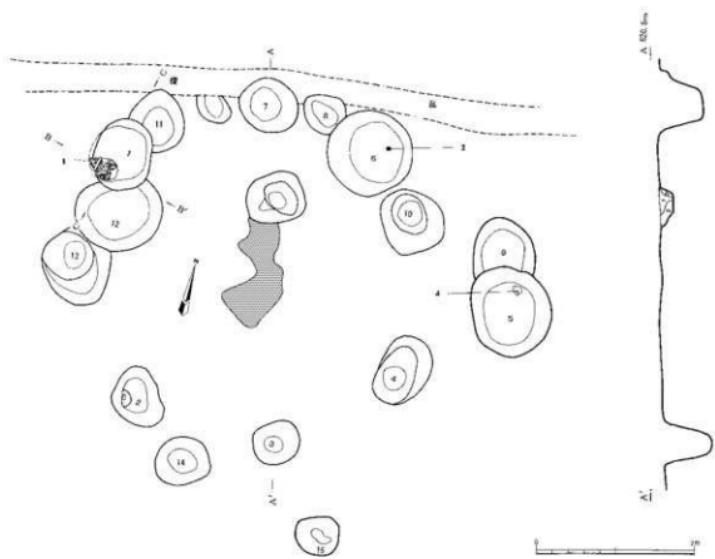


57号住居跡

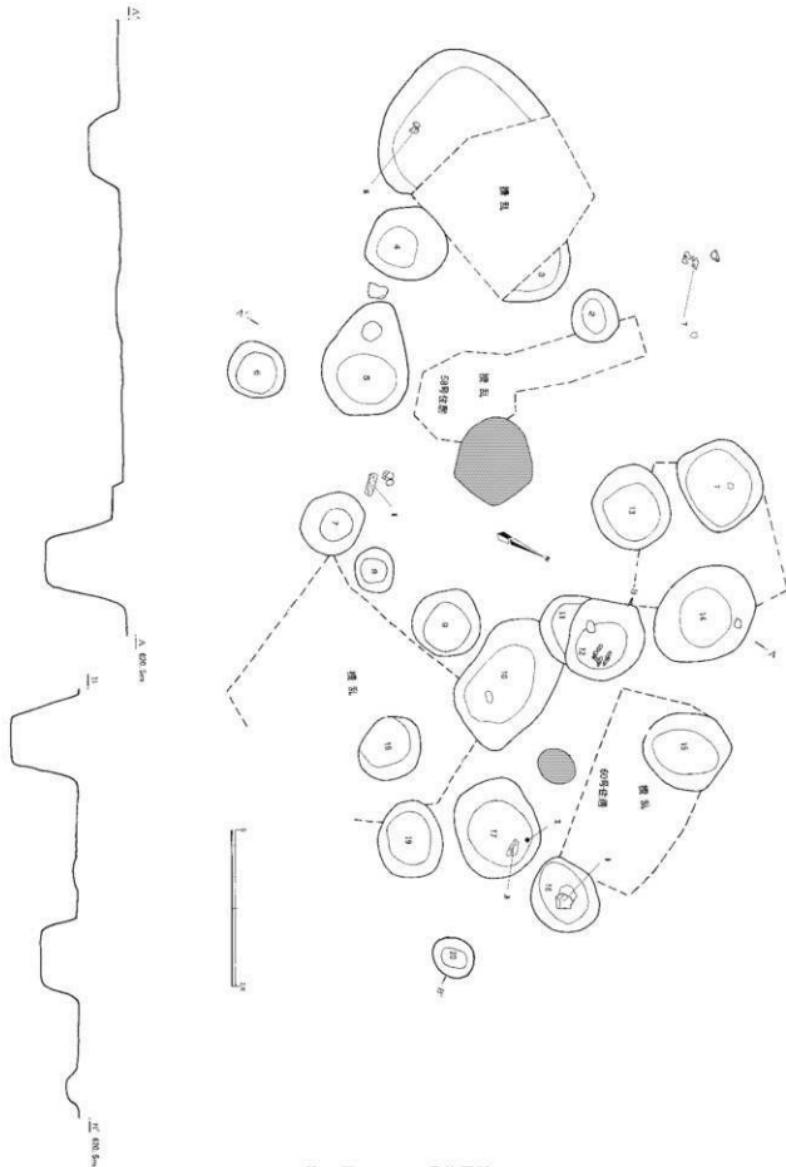
第63図 54・57号住居跡



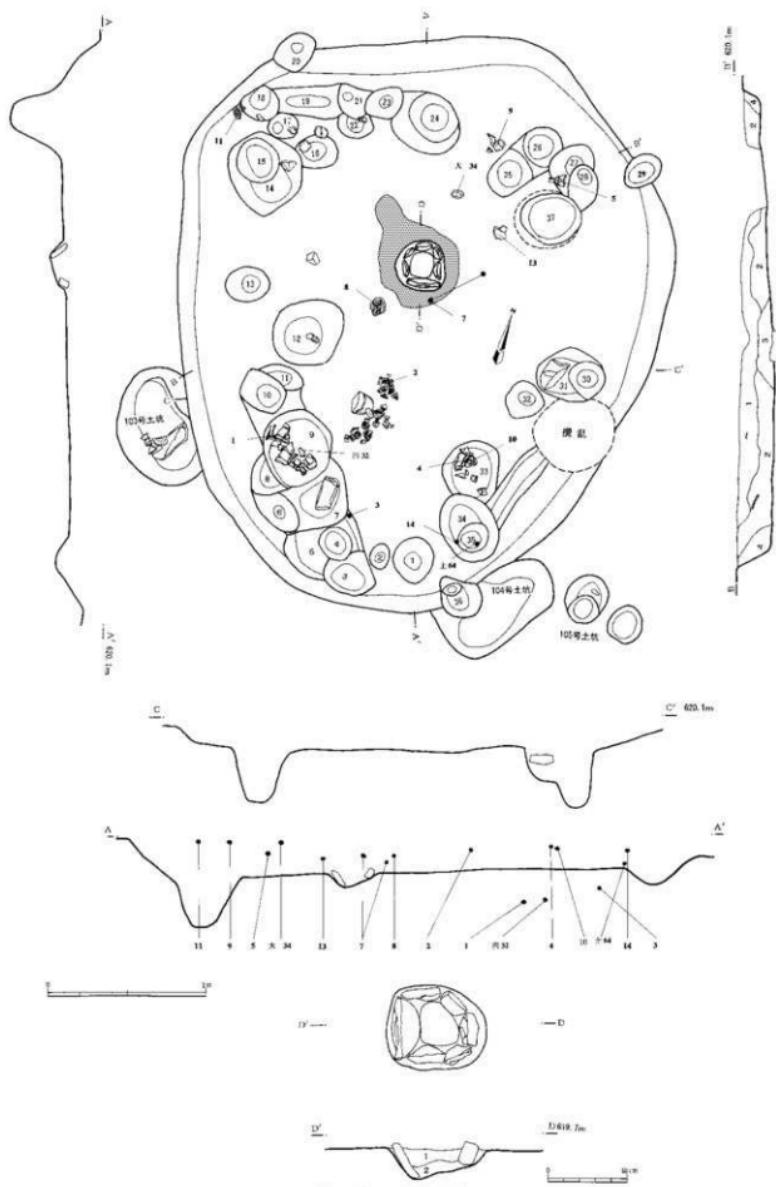
第64図 55・59号住居跡

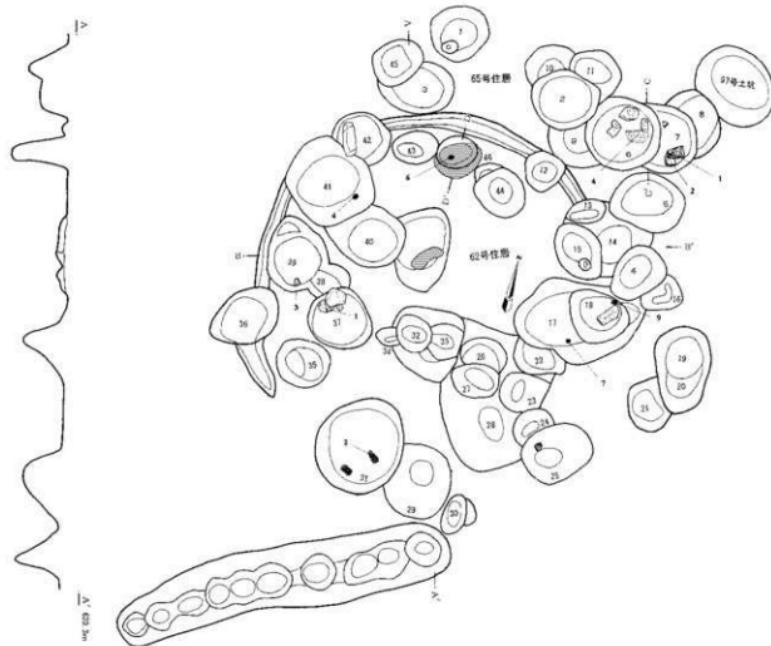


第65図 56号住居跡

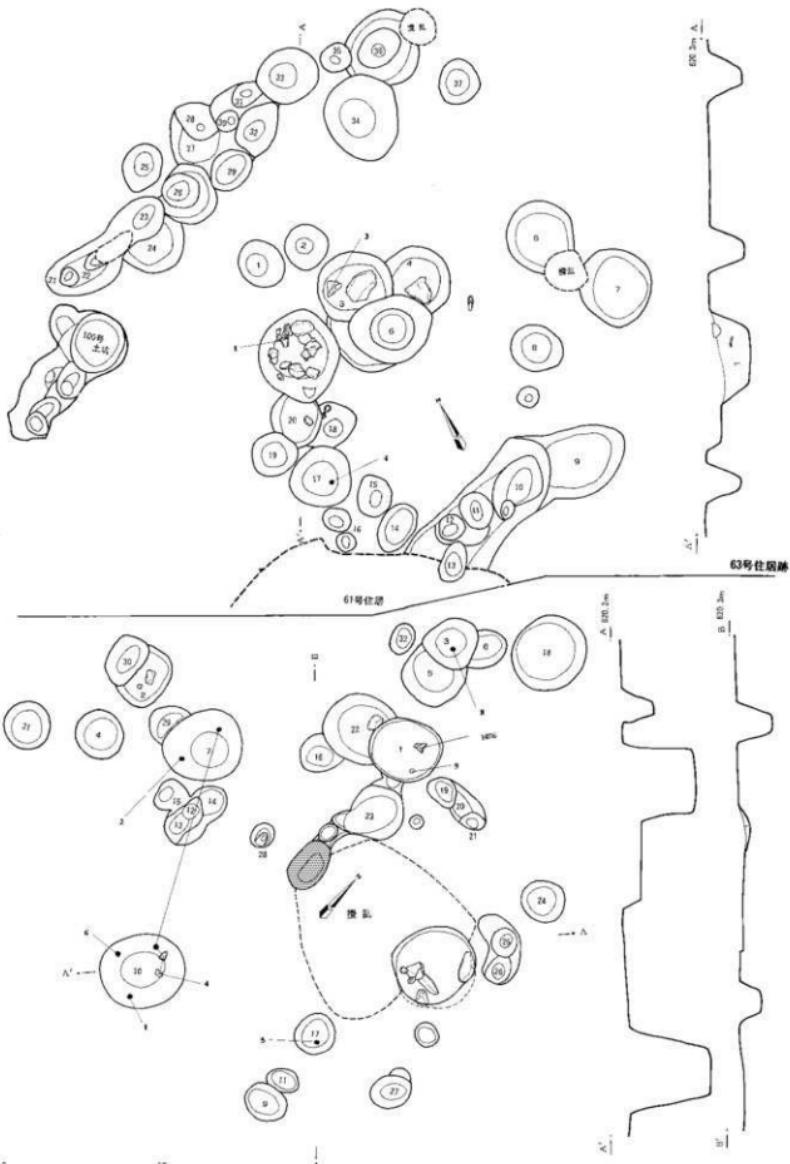


第66図 58・60号住居跡

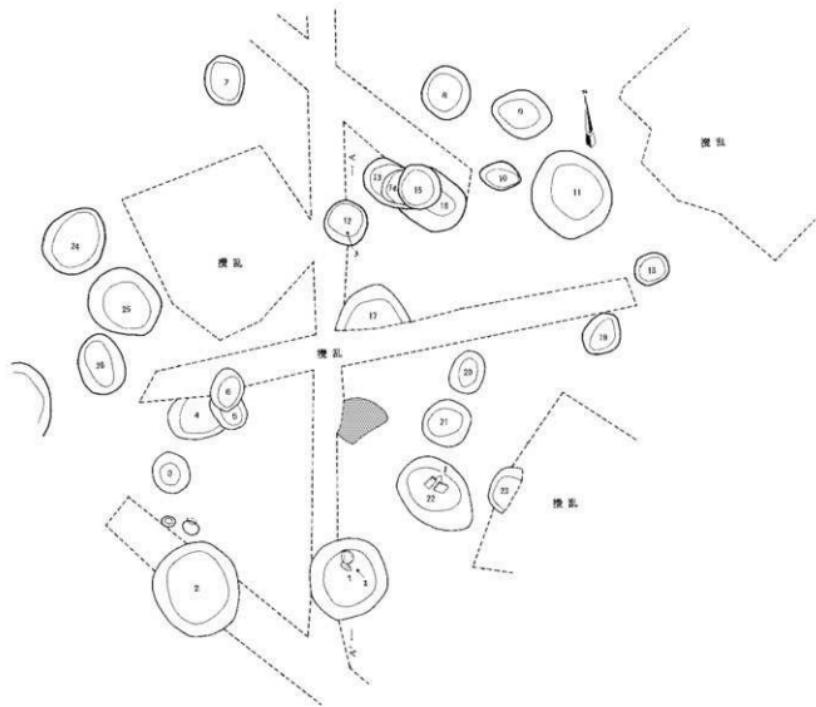




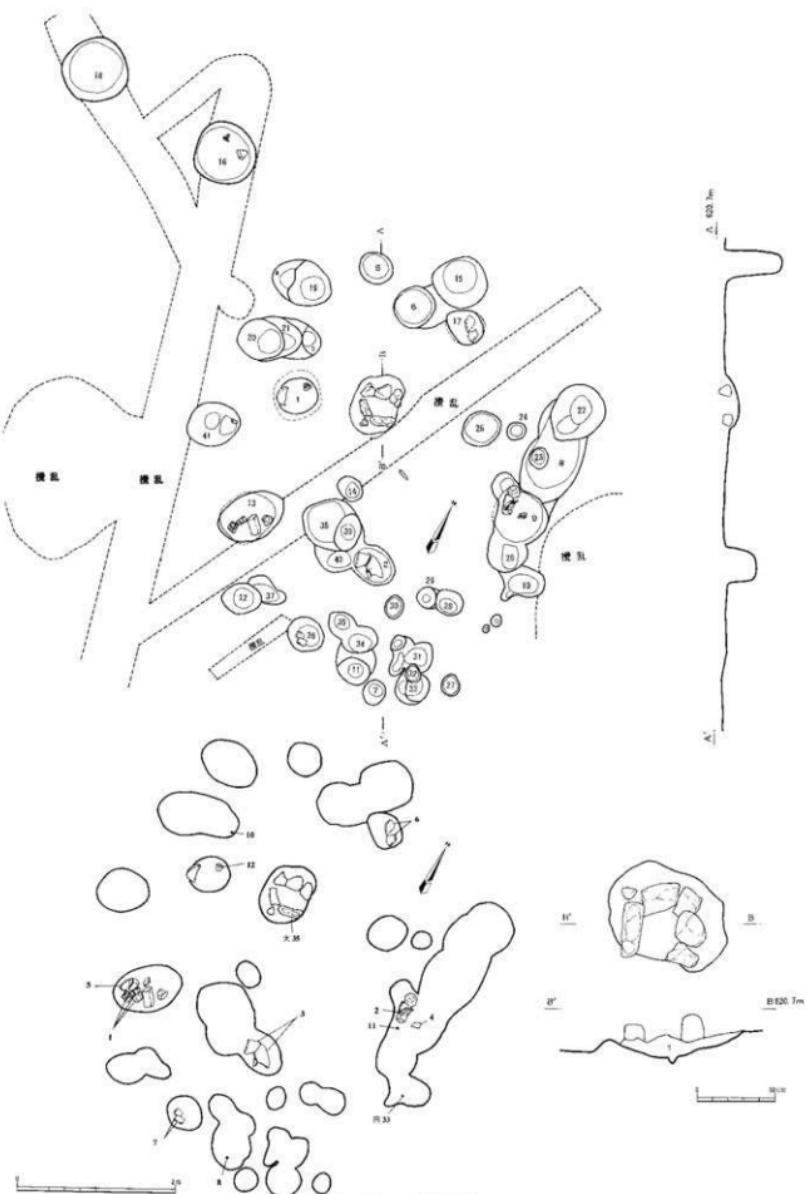
第68図 62・65号住跡

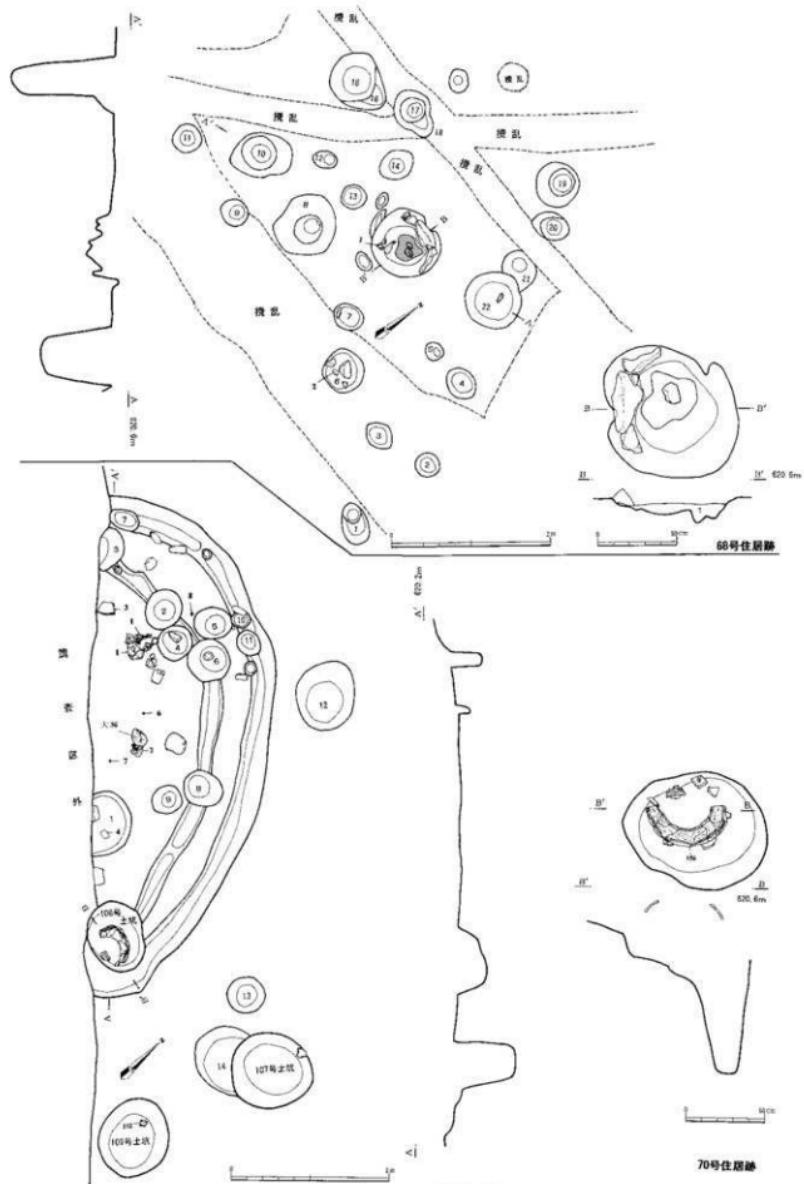


第69図 63・64号住居跡

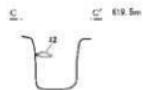
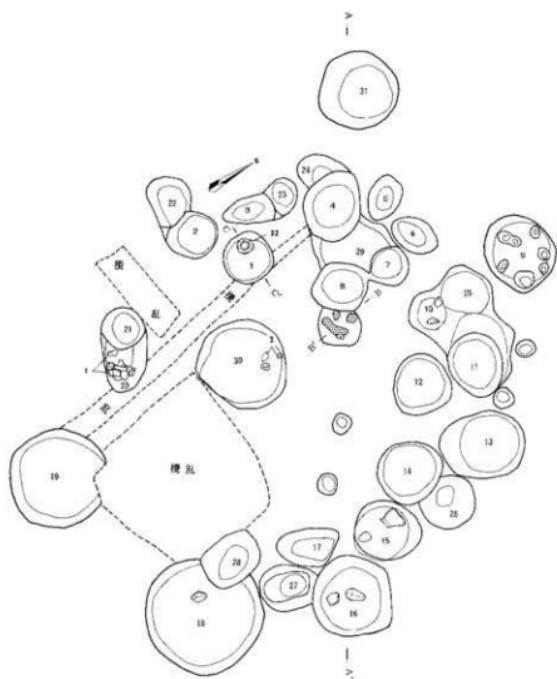


第70図 66号住居跡

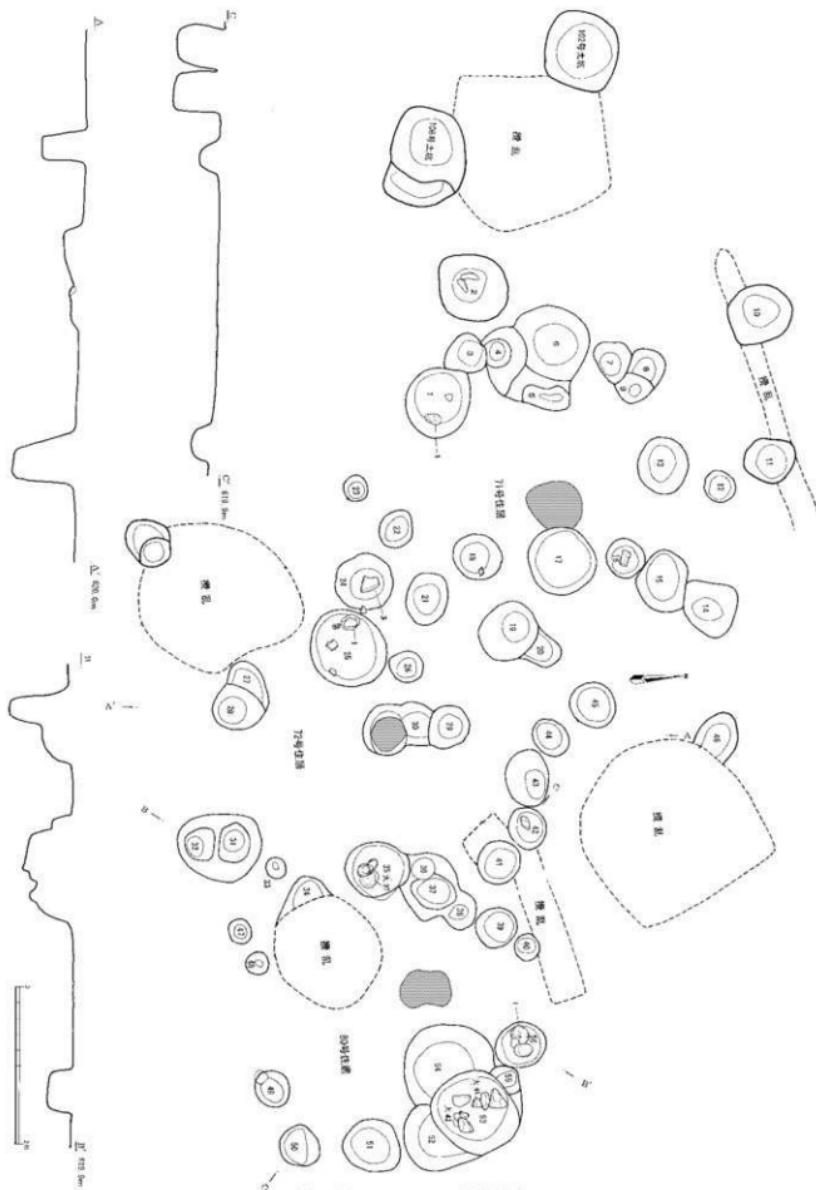




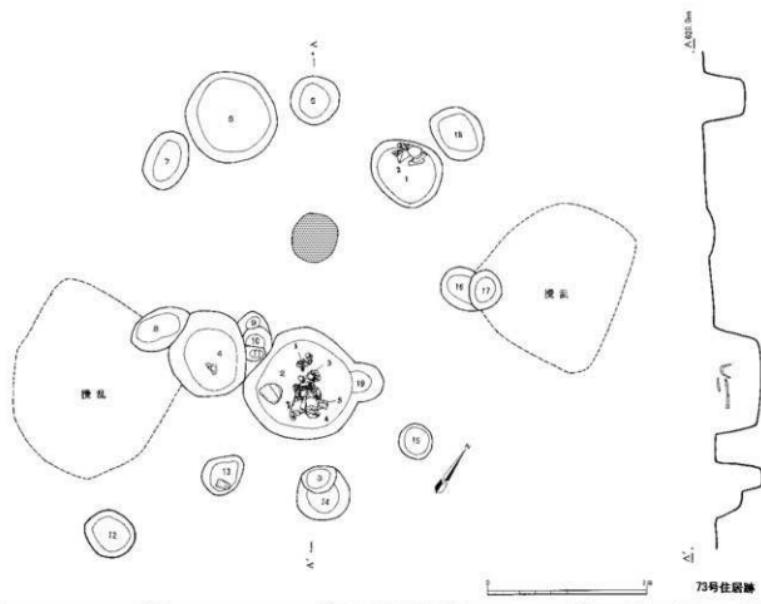
第72図 68・70号住居跡



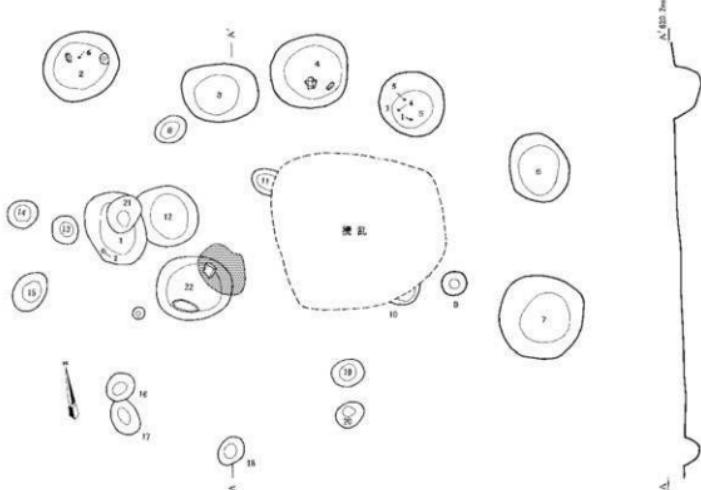
第73図 69号住居跡



第74図 71・72・80号住居跡

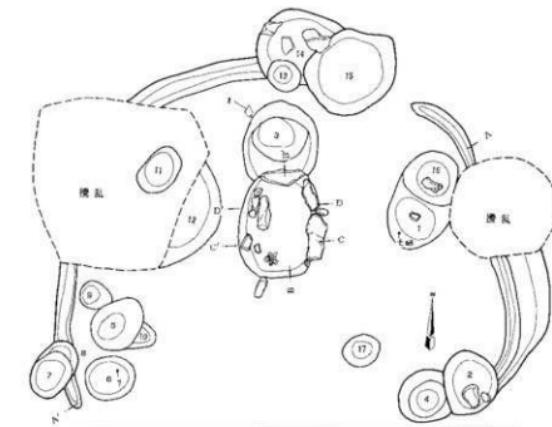


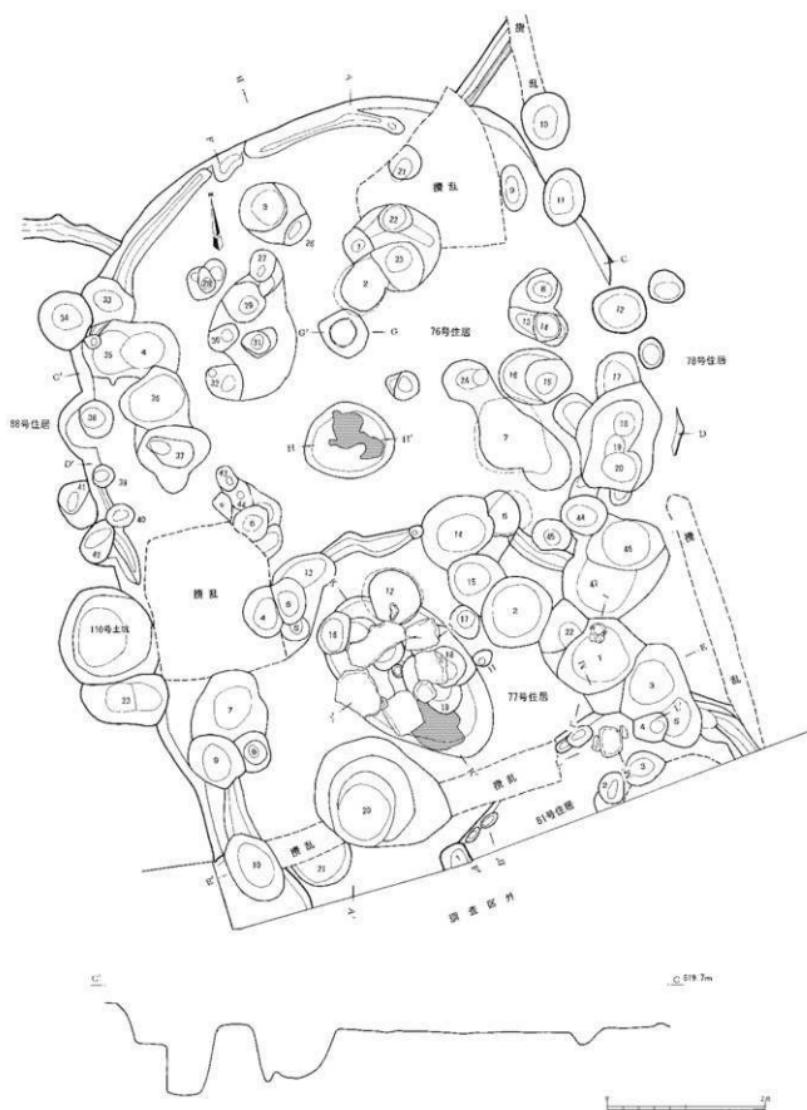
73号住居跡

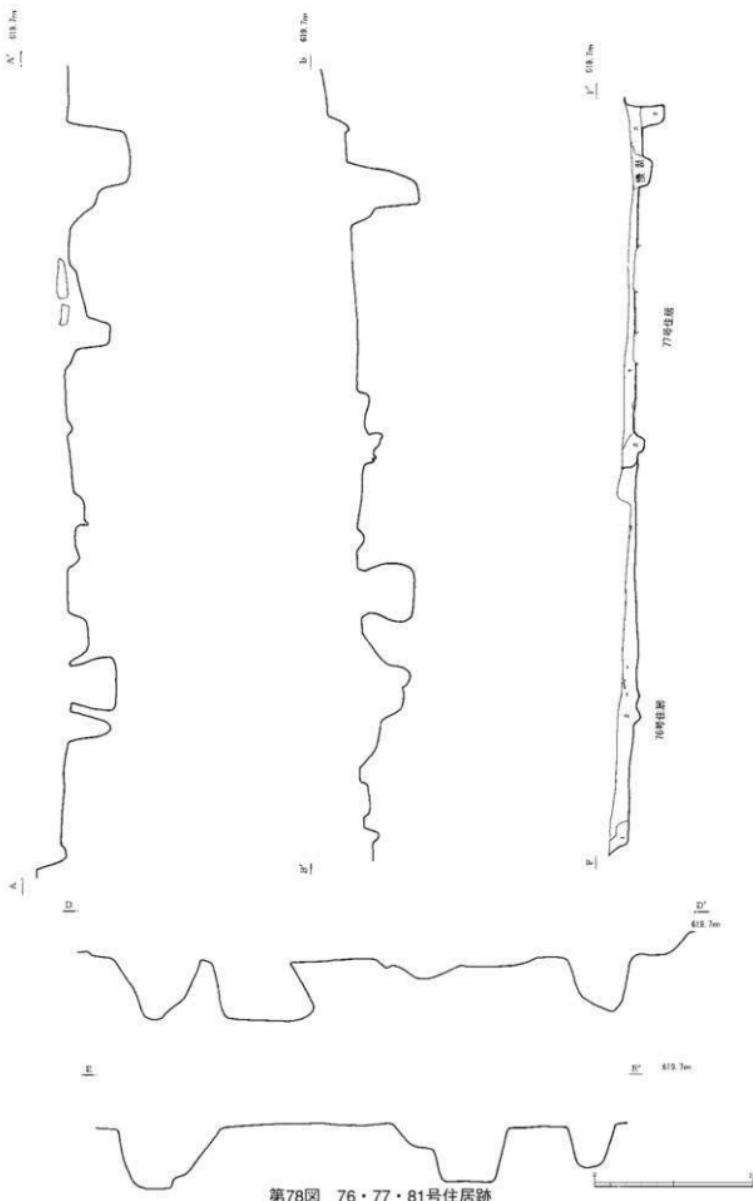


74号住居跡

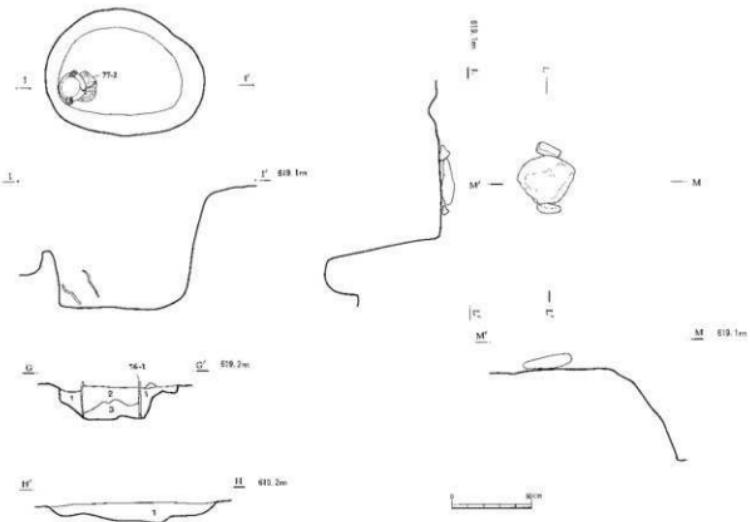
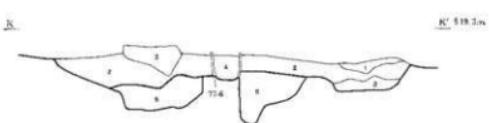
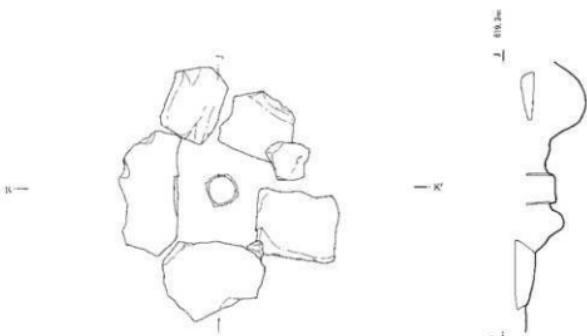
第75図 73・74号住居跡







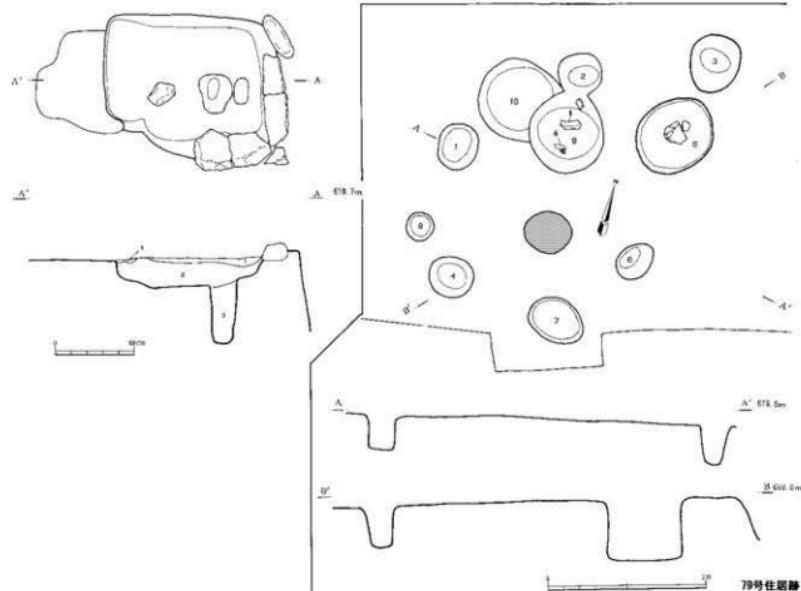
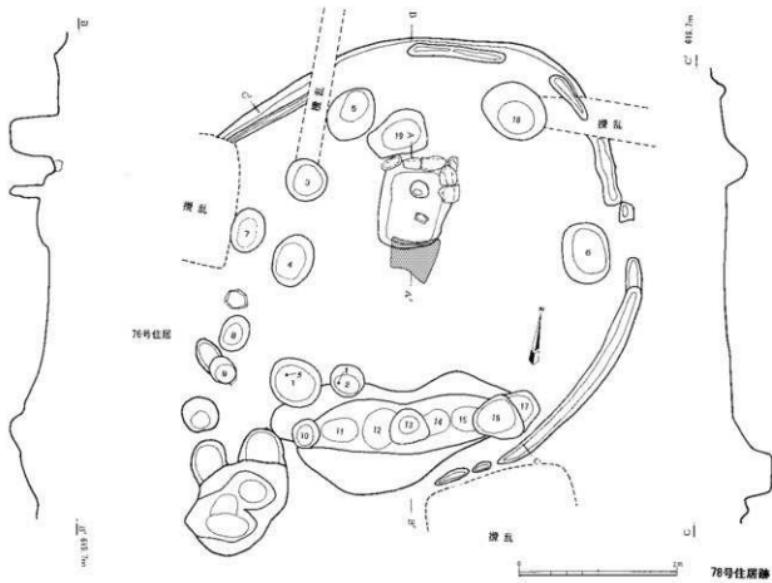
第78図 76・77・81号住居跡



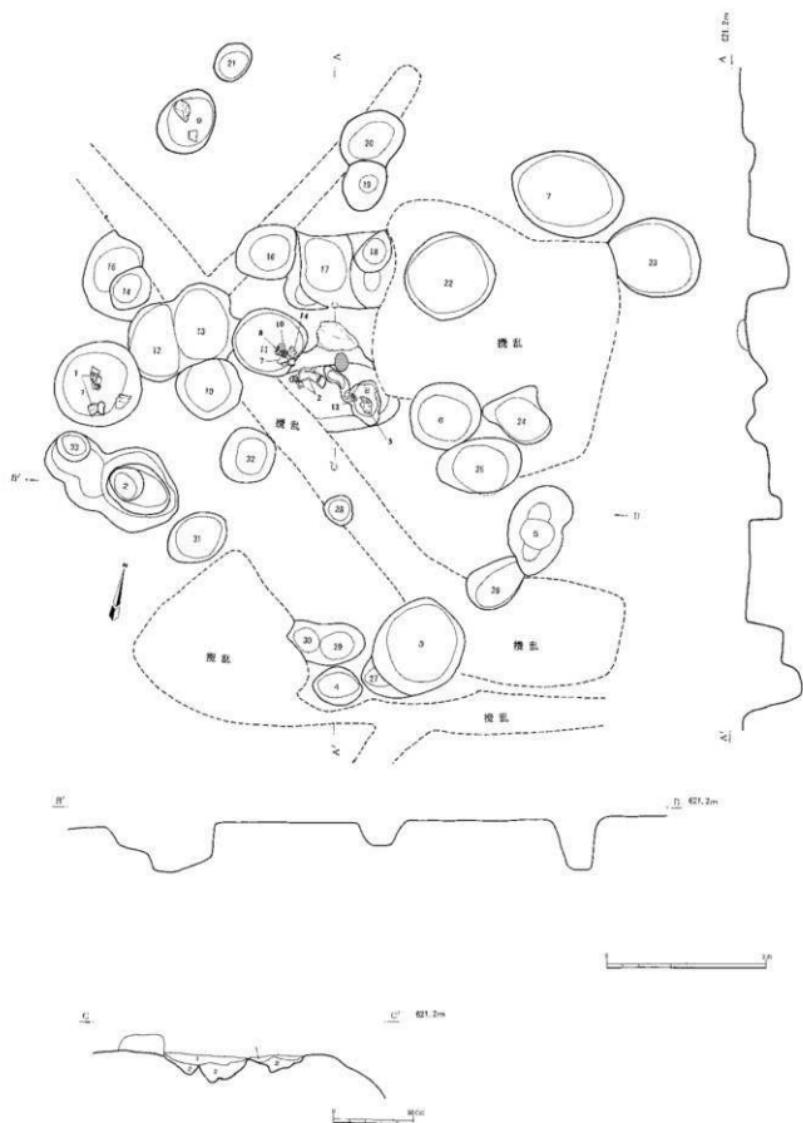
第79図 76・77・81号住居跡



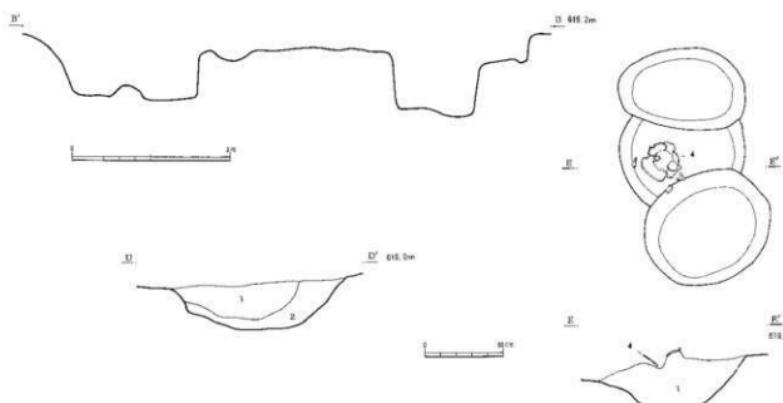
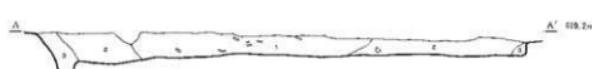
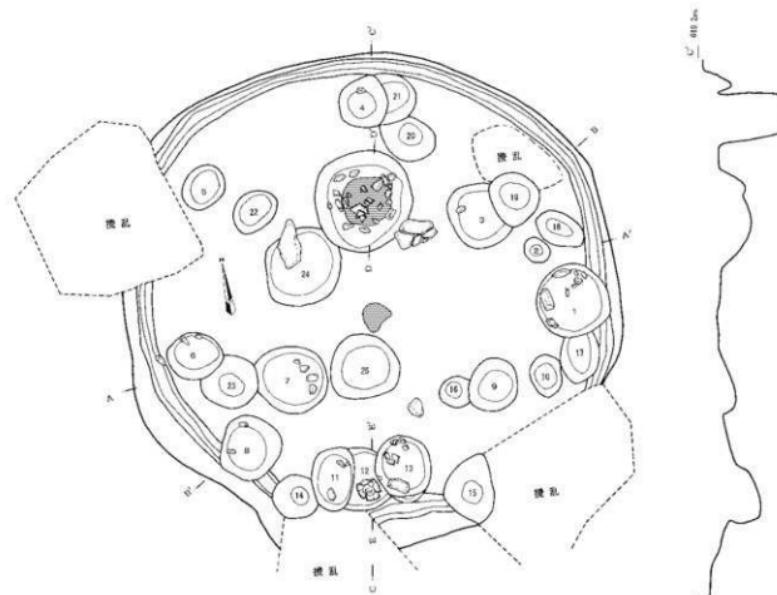
第80図 76・77・81号住居跡



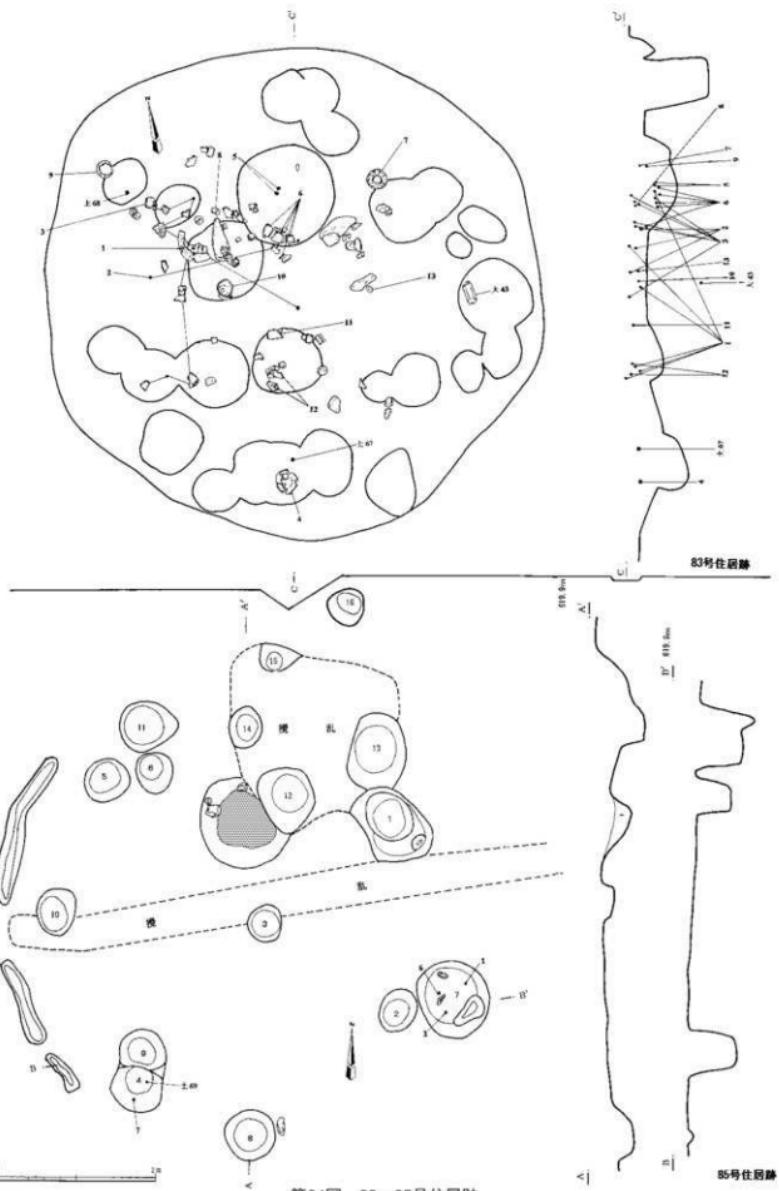
第81図 78・79号住居跡



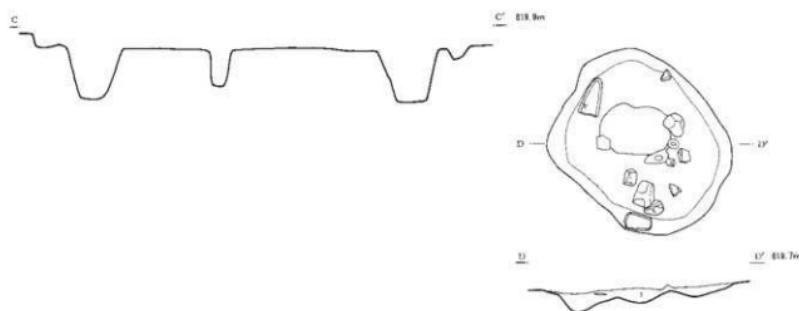
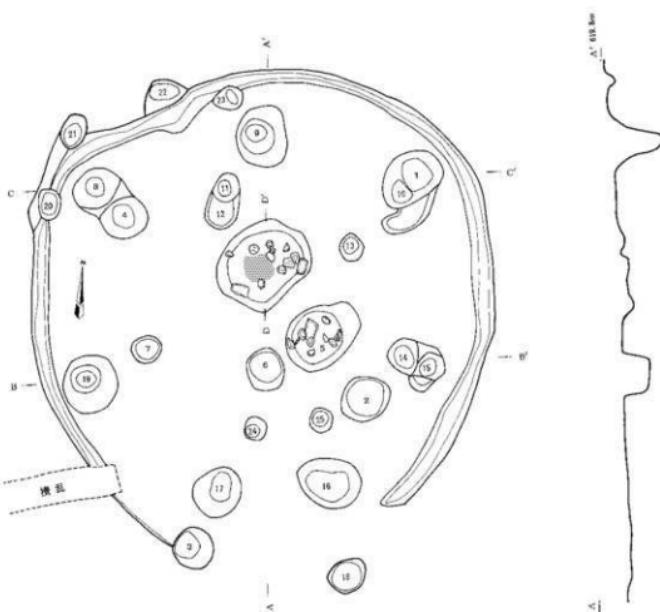
第82図 82号住居跡



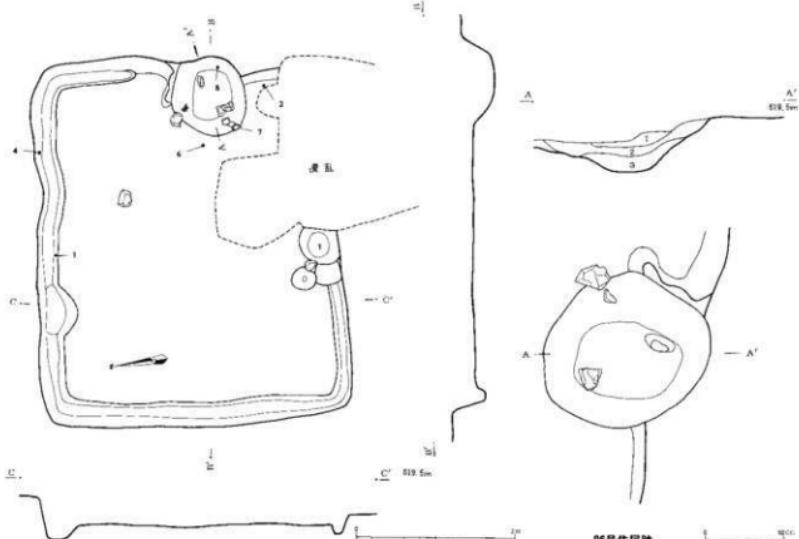
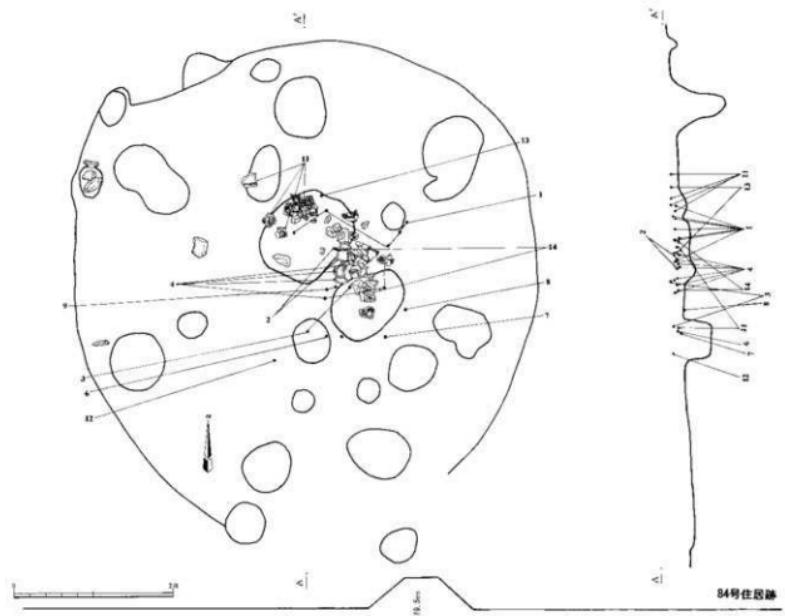
第83図 83号住居跡



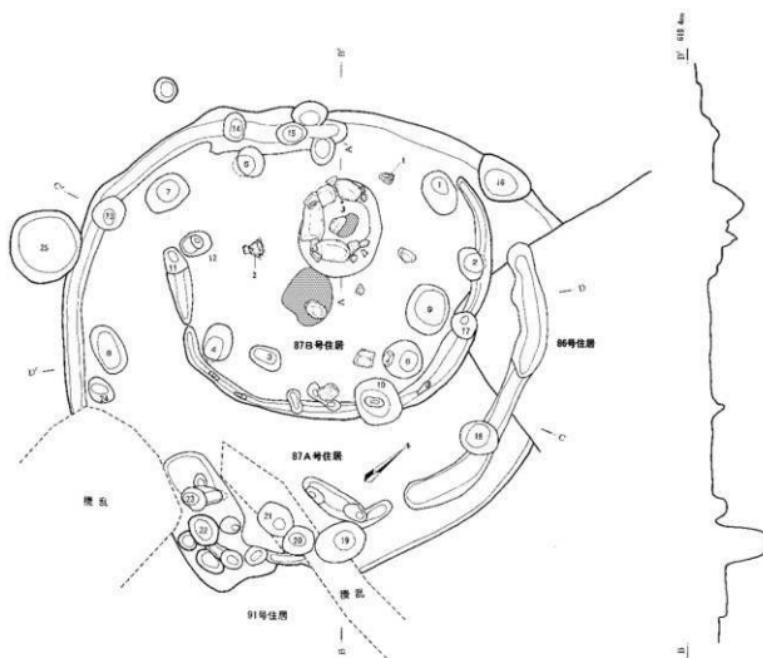
第84図 83・85号住居跡

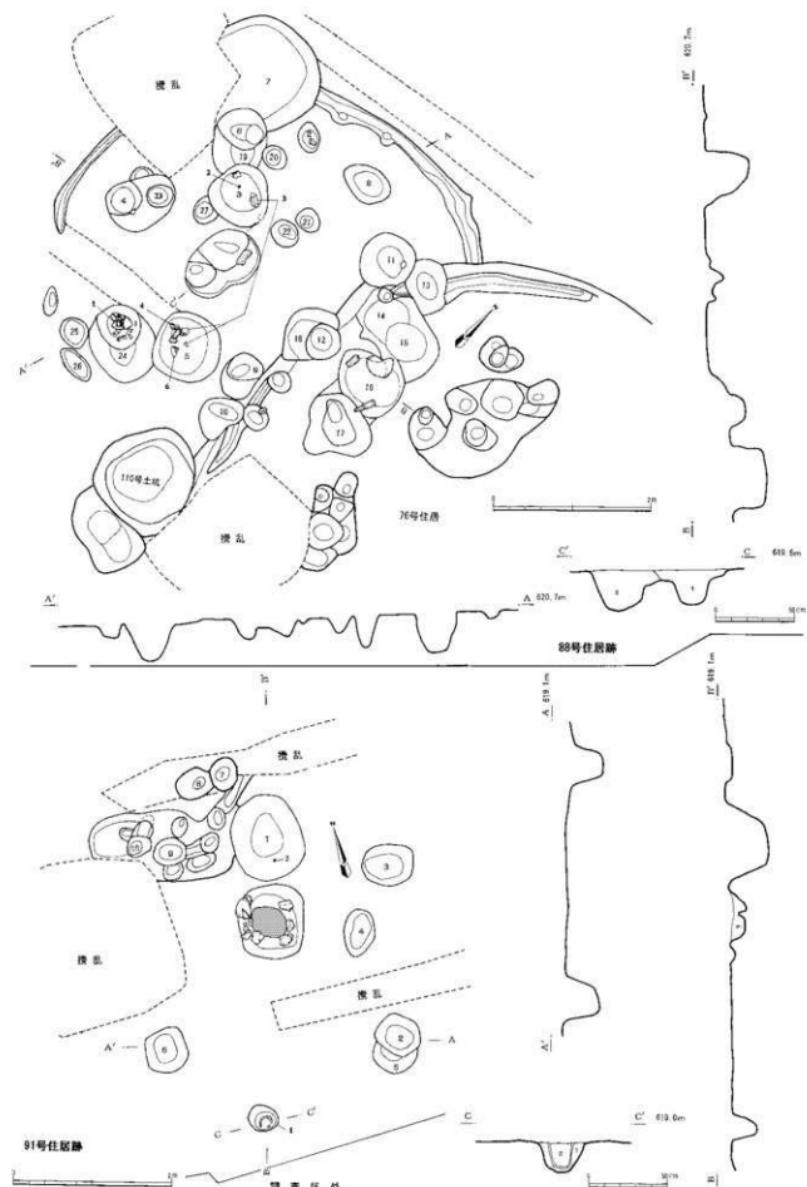


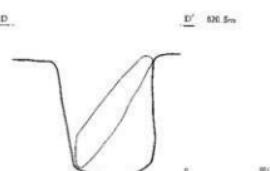
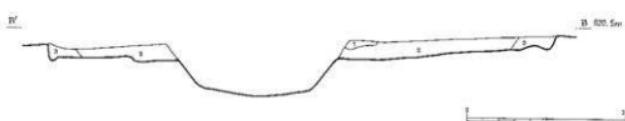
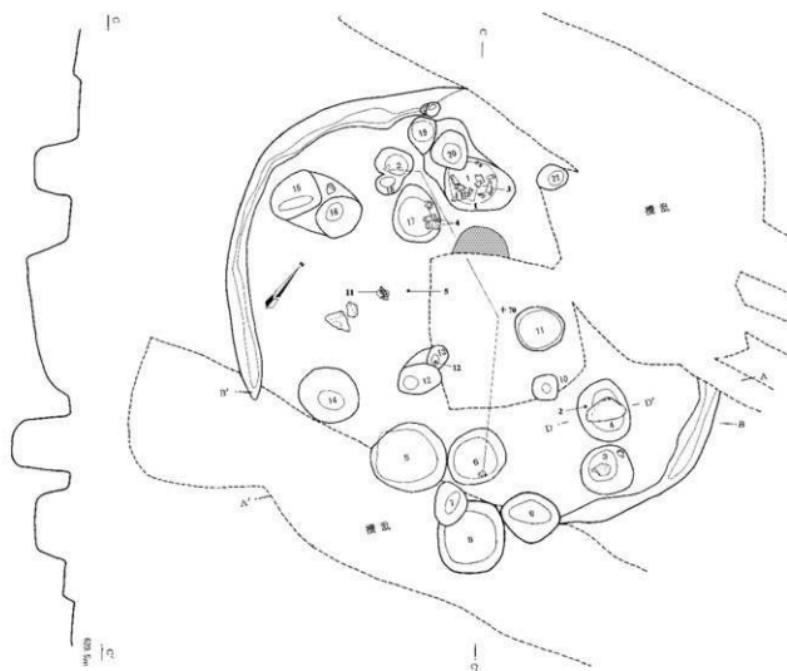
第85図 84号住居跡



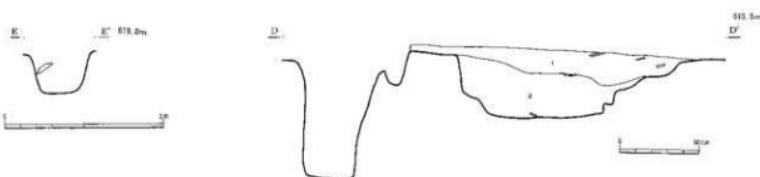
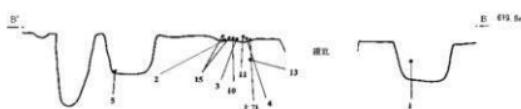
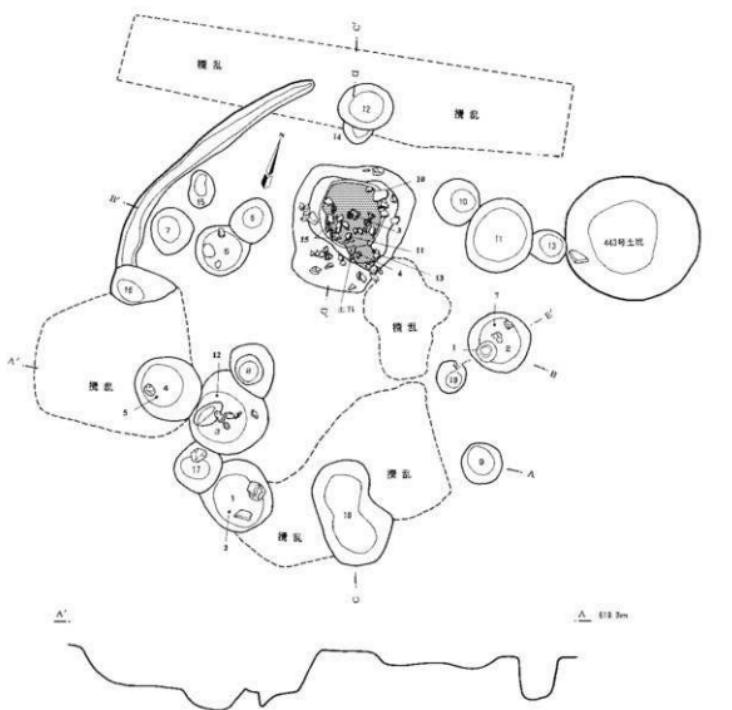
第86図 84・86号住居跡



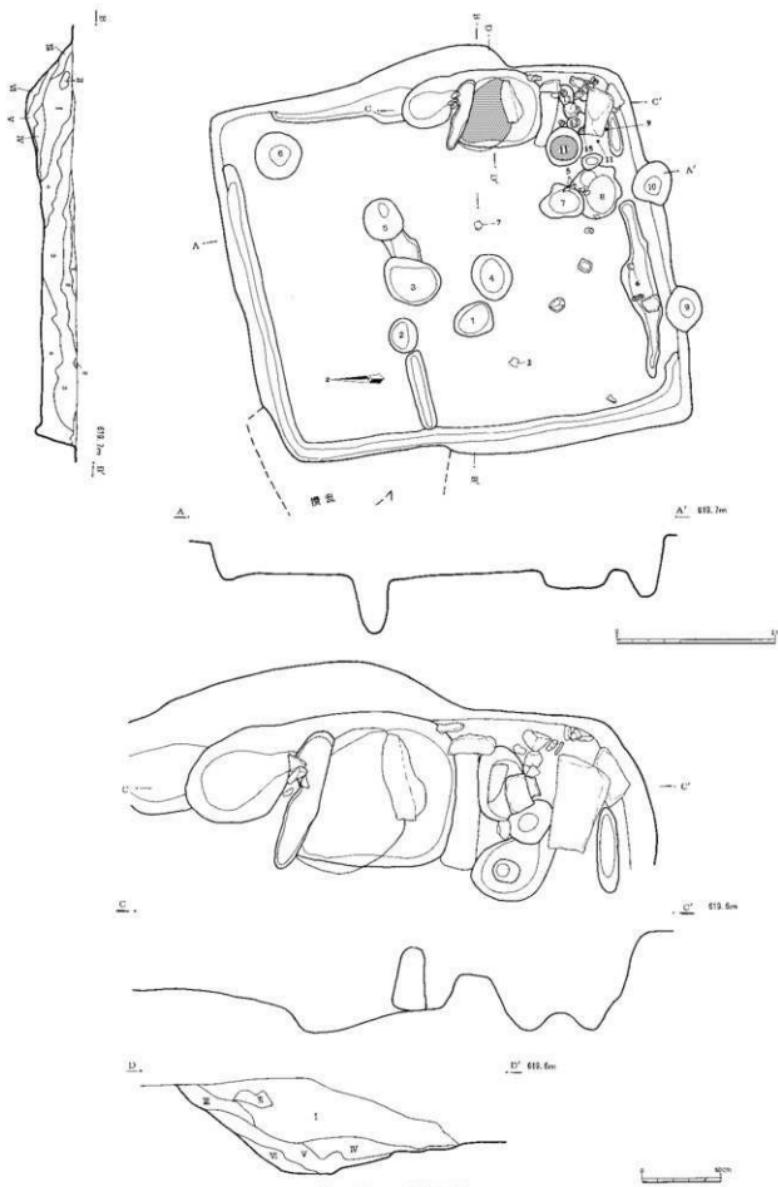




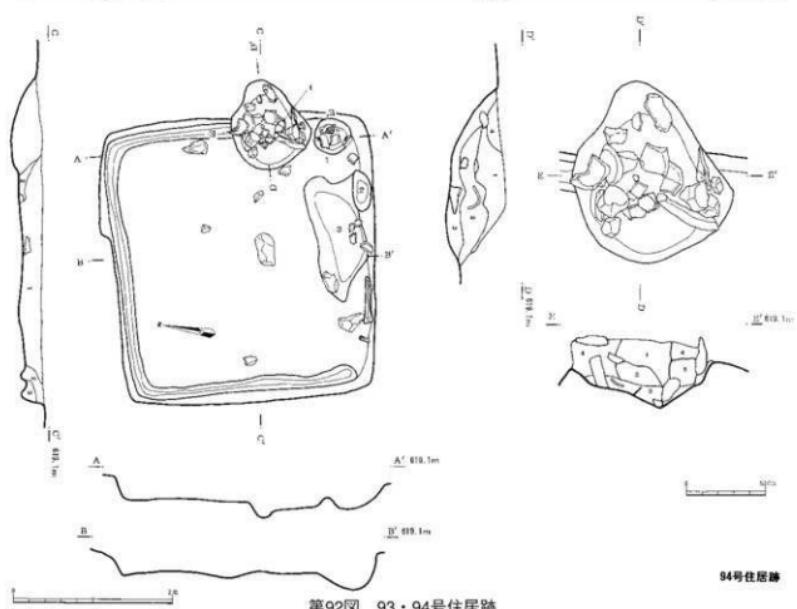
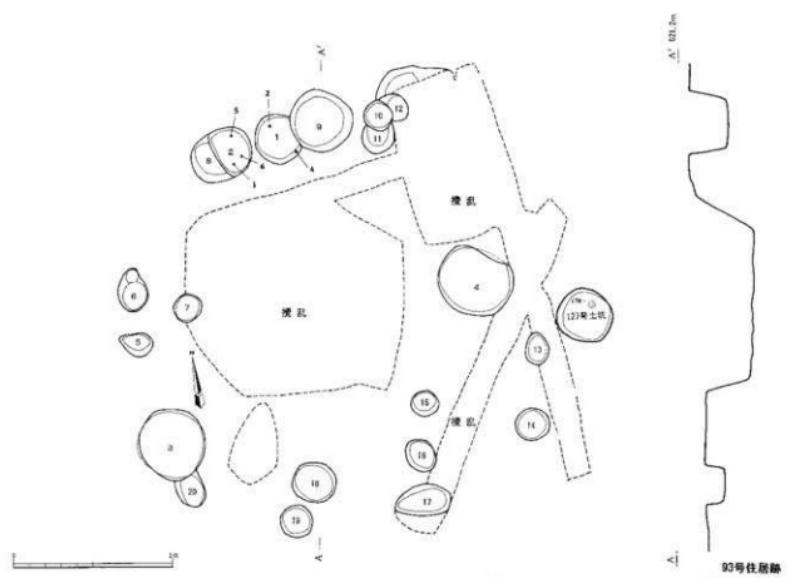
第89図 89号住居跡



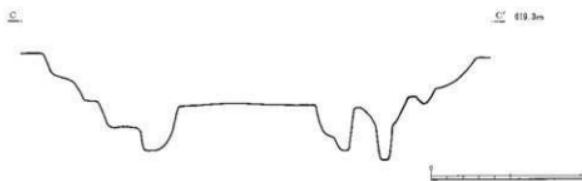
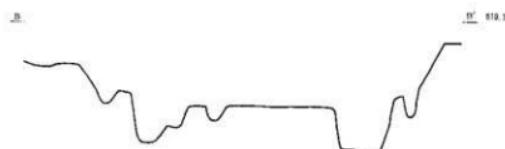
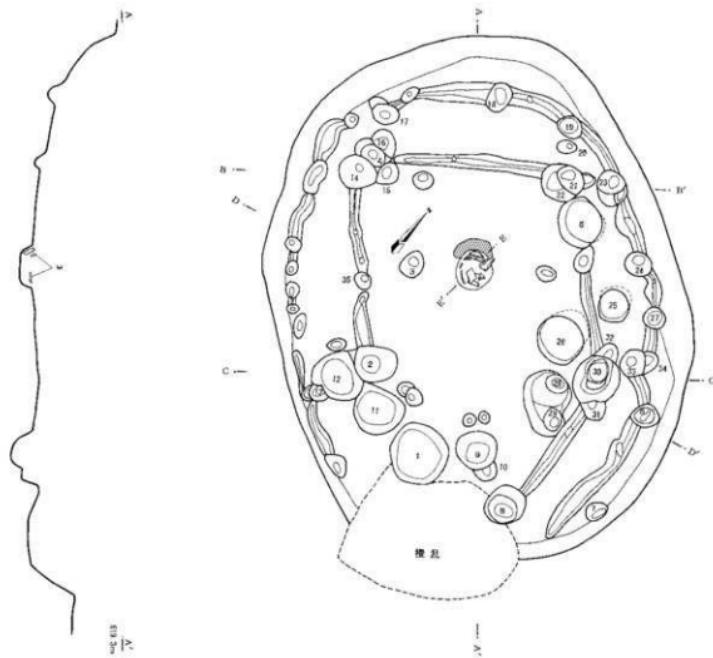
第90図 90号住居跡



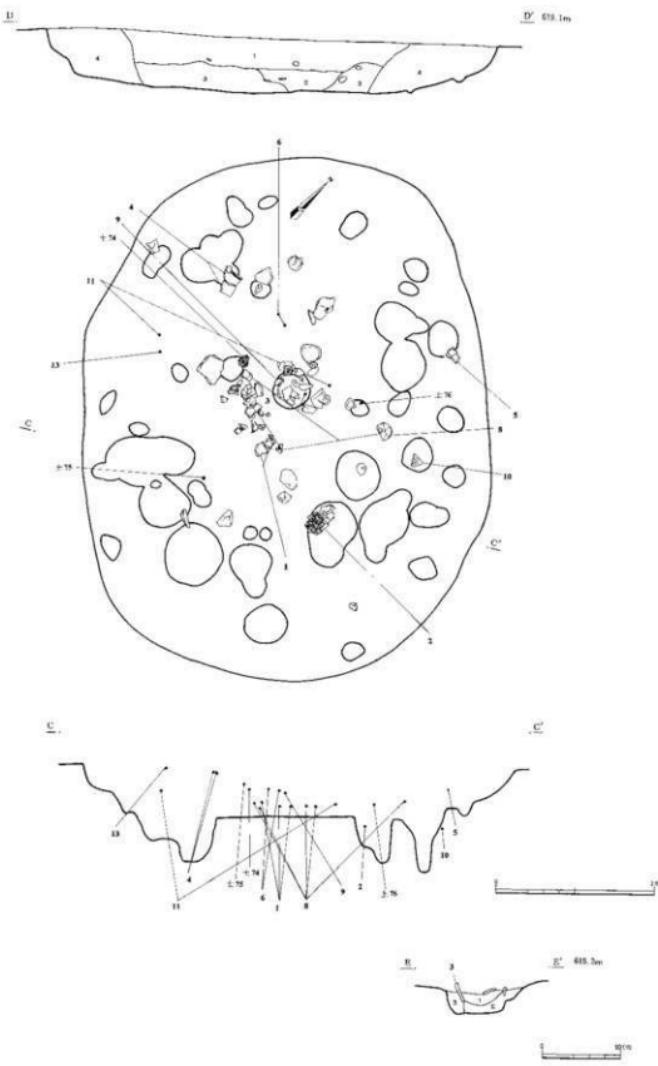
第91図 92号住居跡



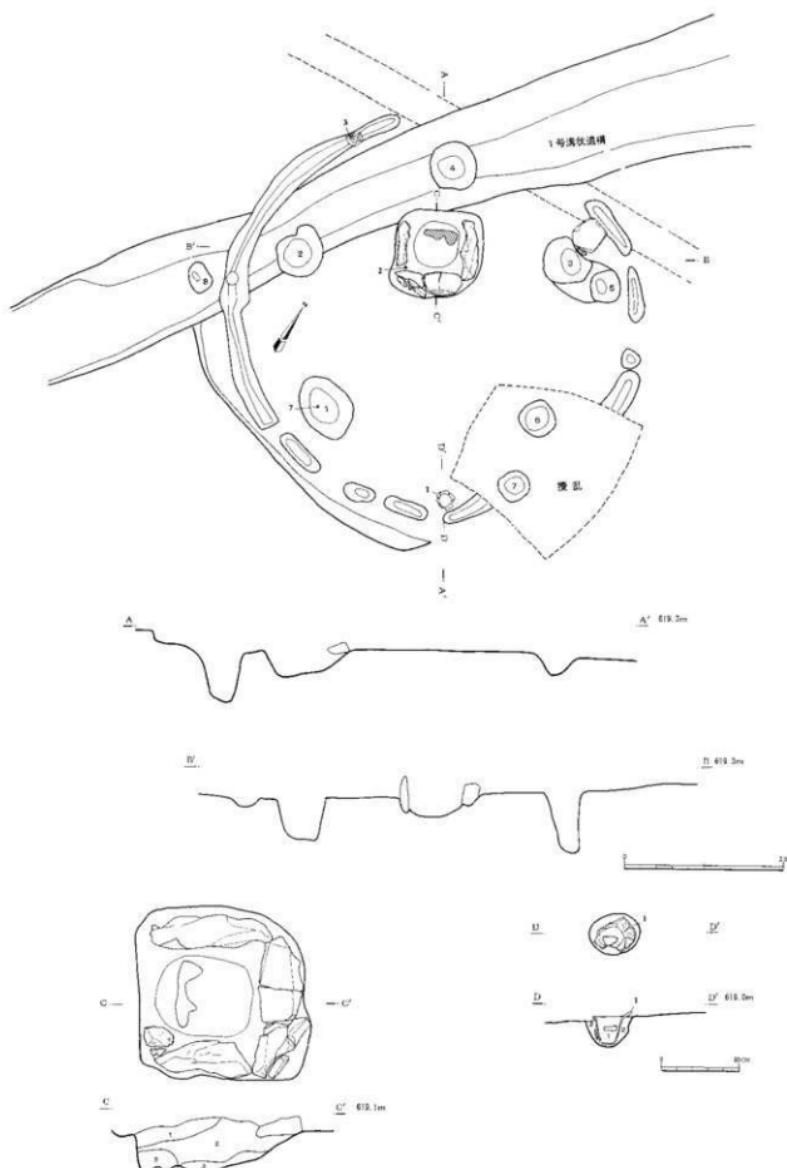
第92図 93・94号住居跡



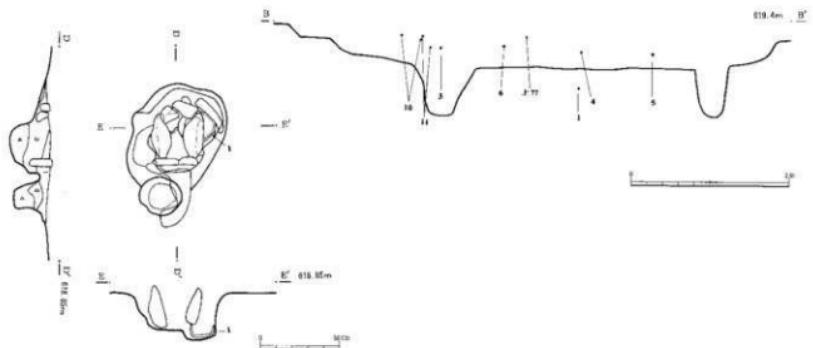
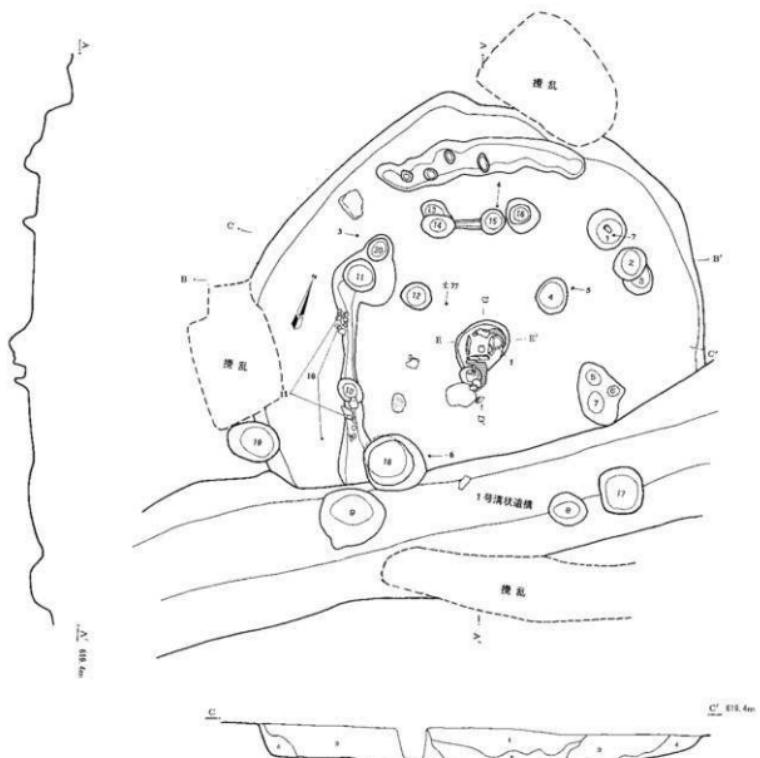
第93図 95号住居跡



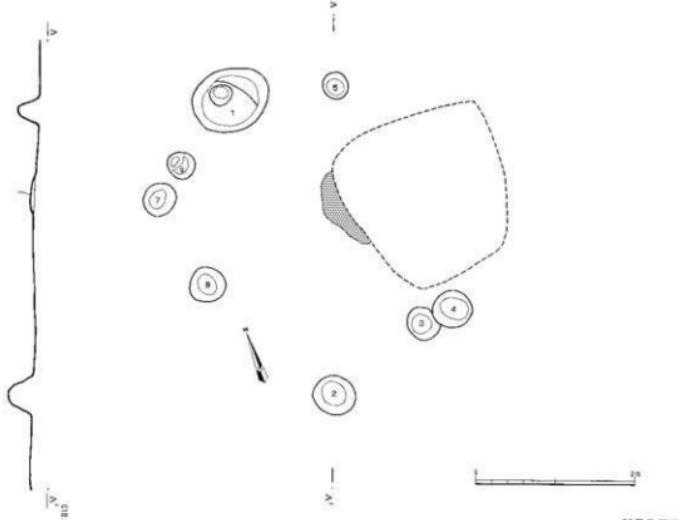
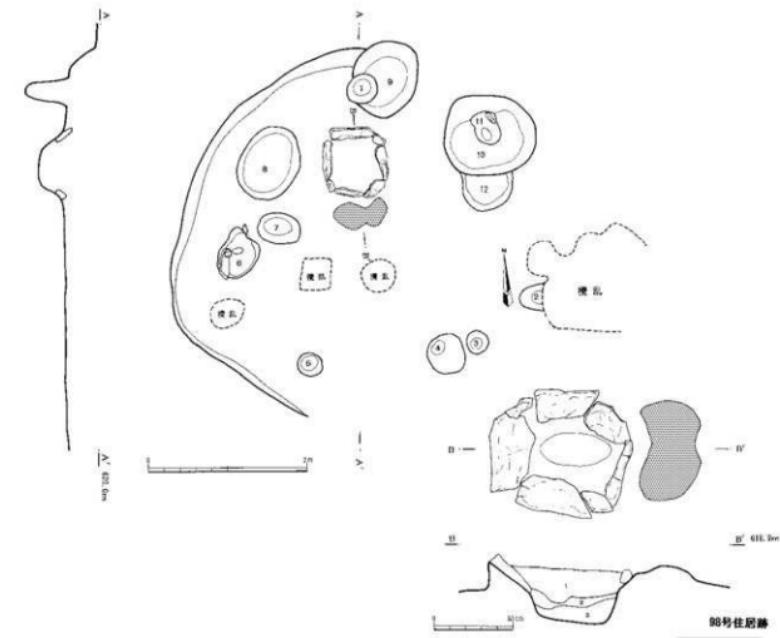
第94図 95号住居跡



第95図 96号住居跡

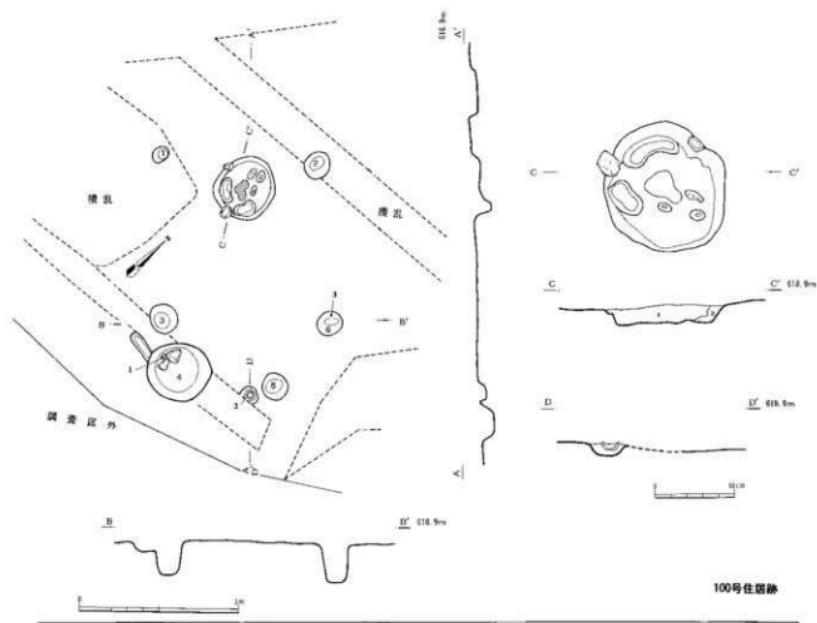


第96図 97号住居跡

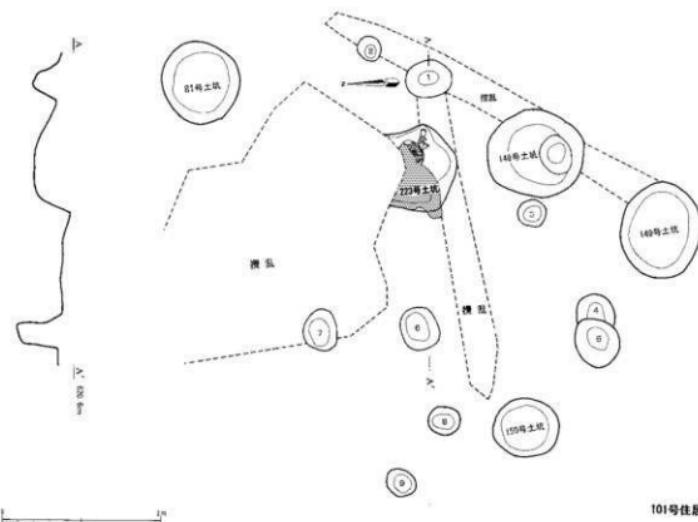


第97図 98・99号住居跡

99号住居跡

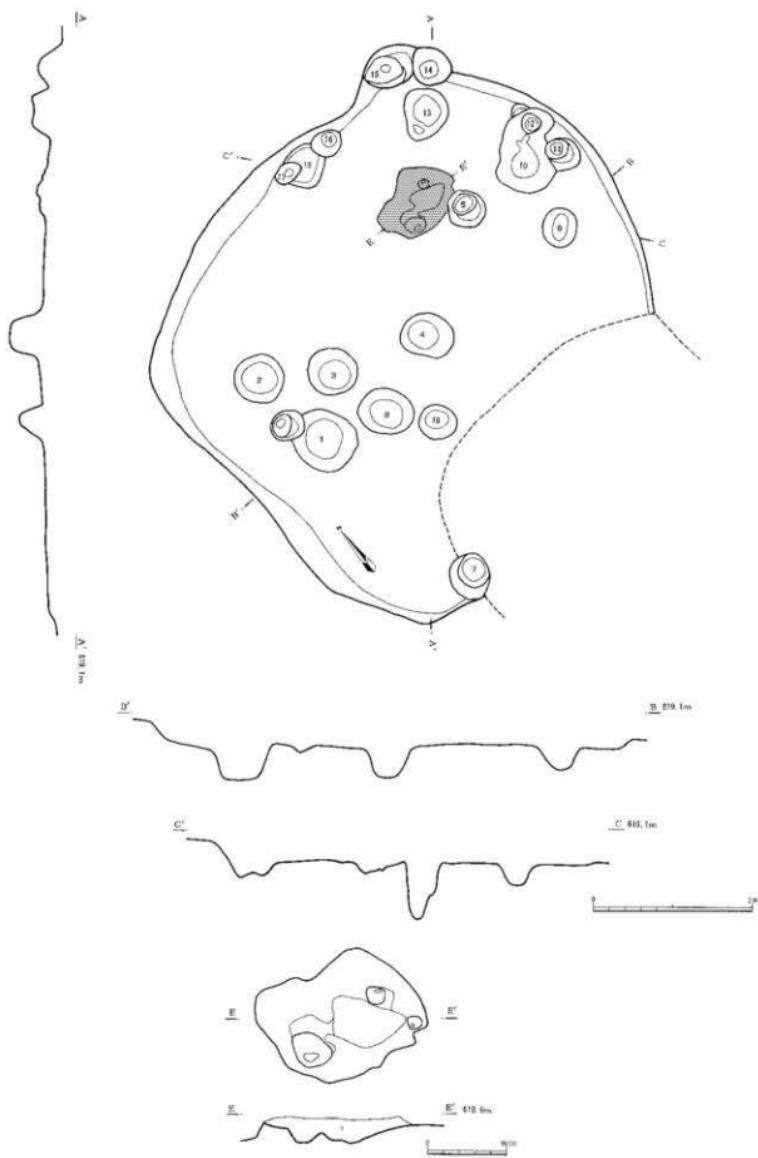


100号住居跡

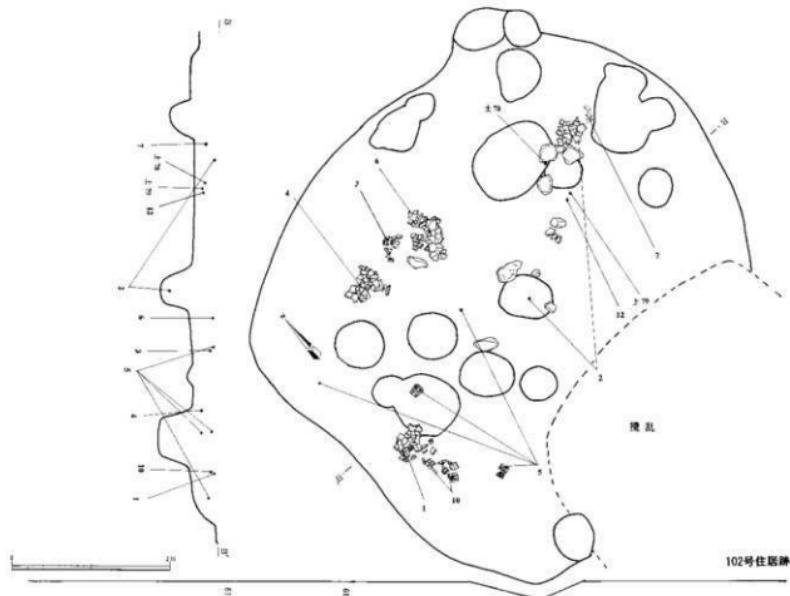


101号住居跡

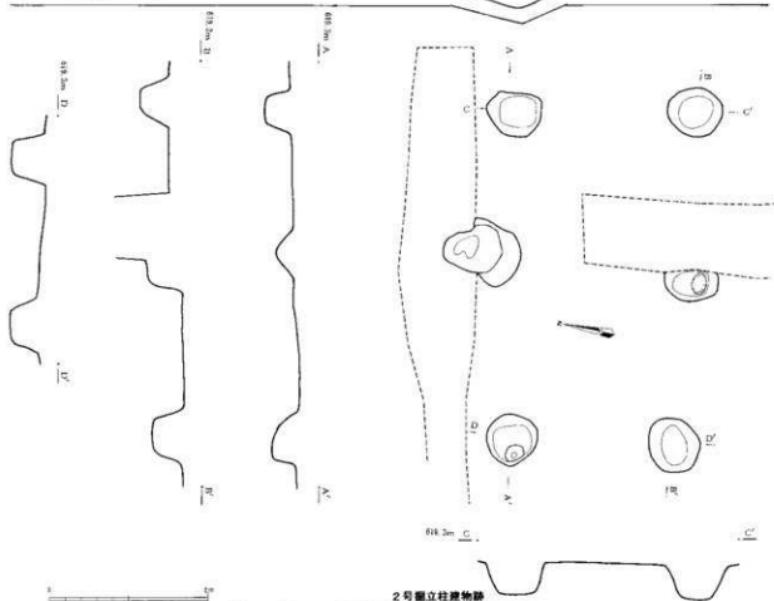
第98図 100・101号住居跡



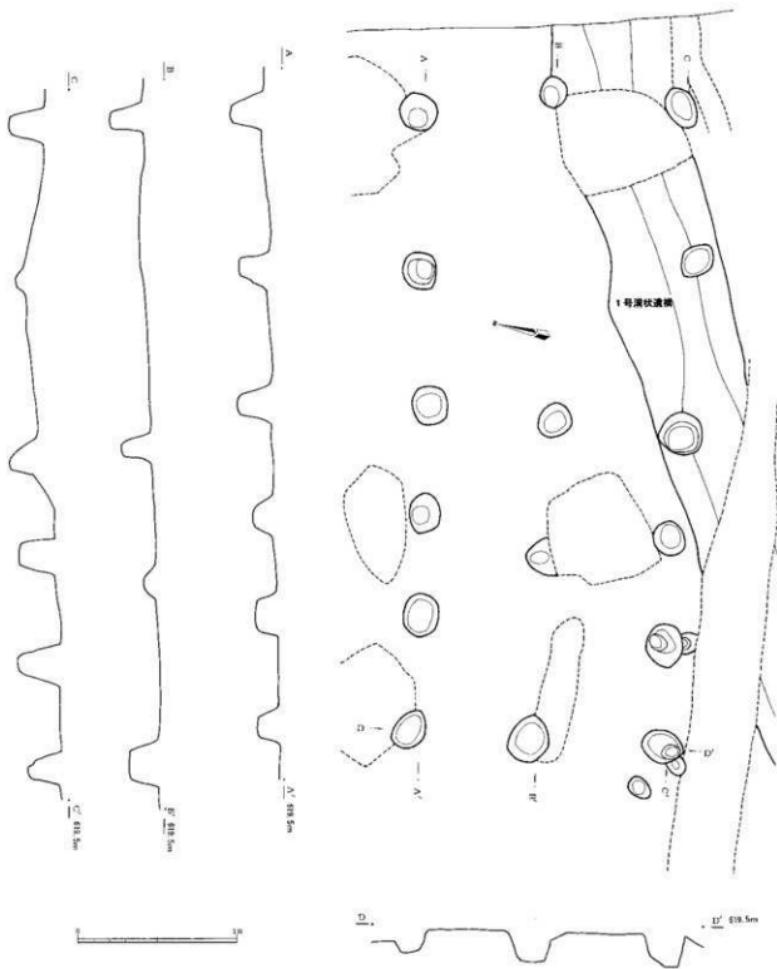
第99図 102号住居跡



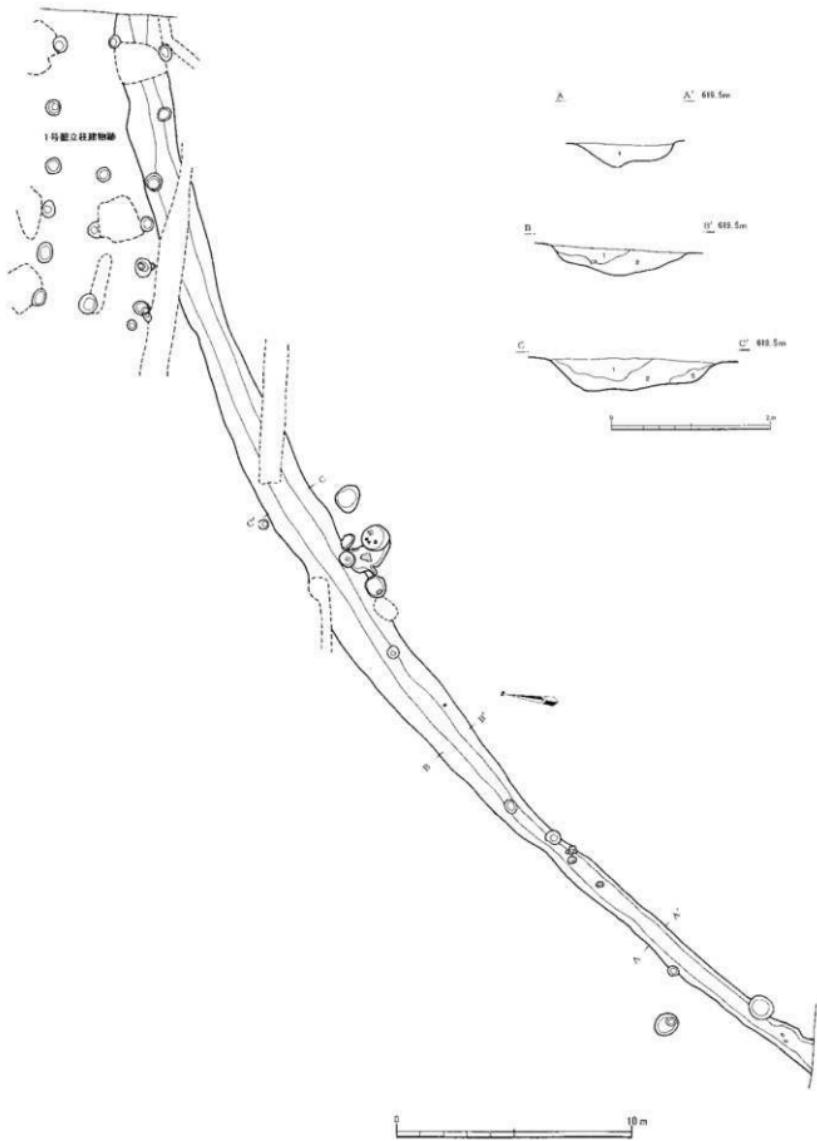
102号住居跡



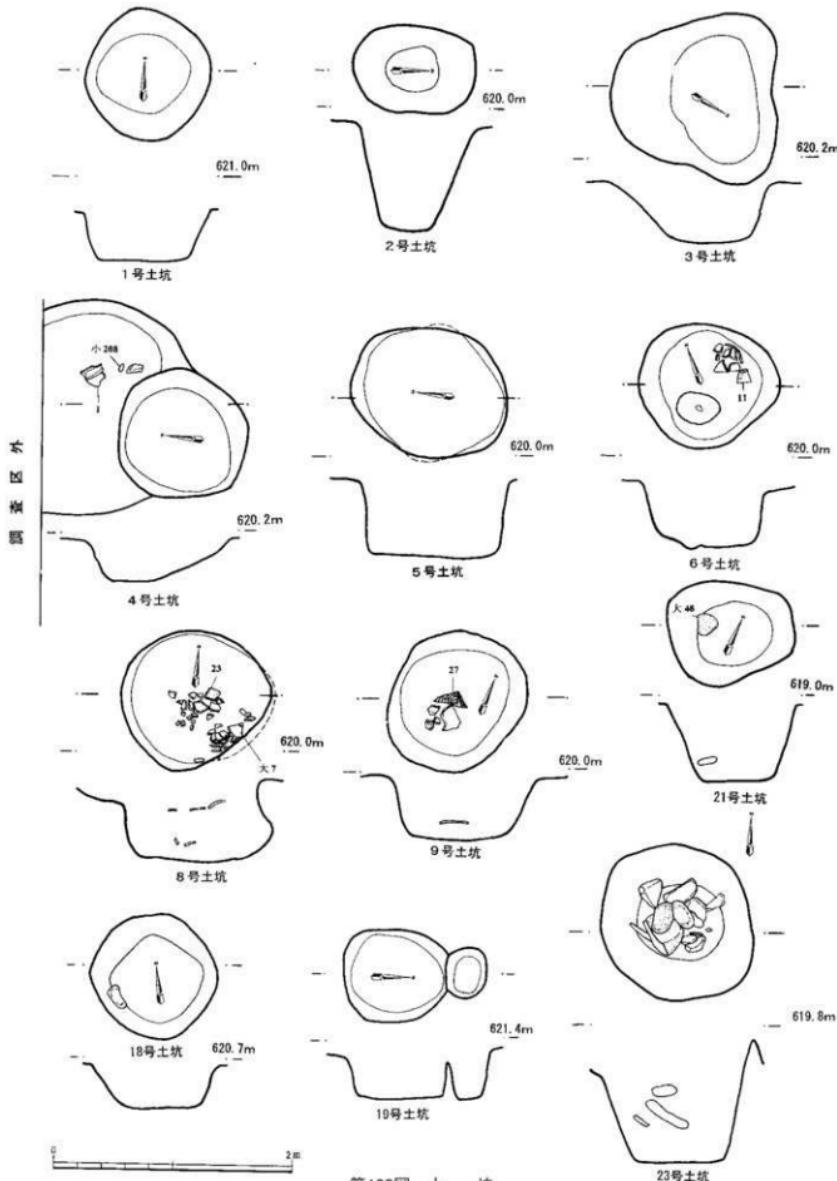
第100図 102号住居・2号掘立柱建物跡

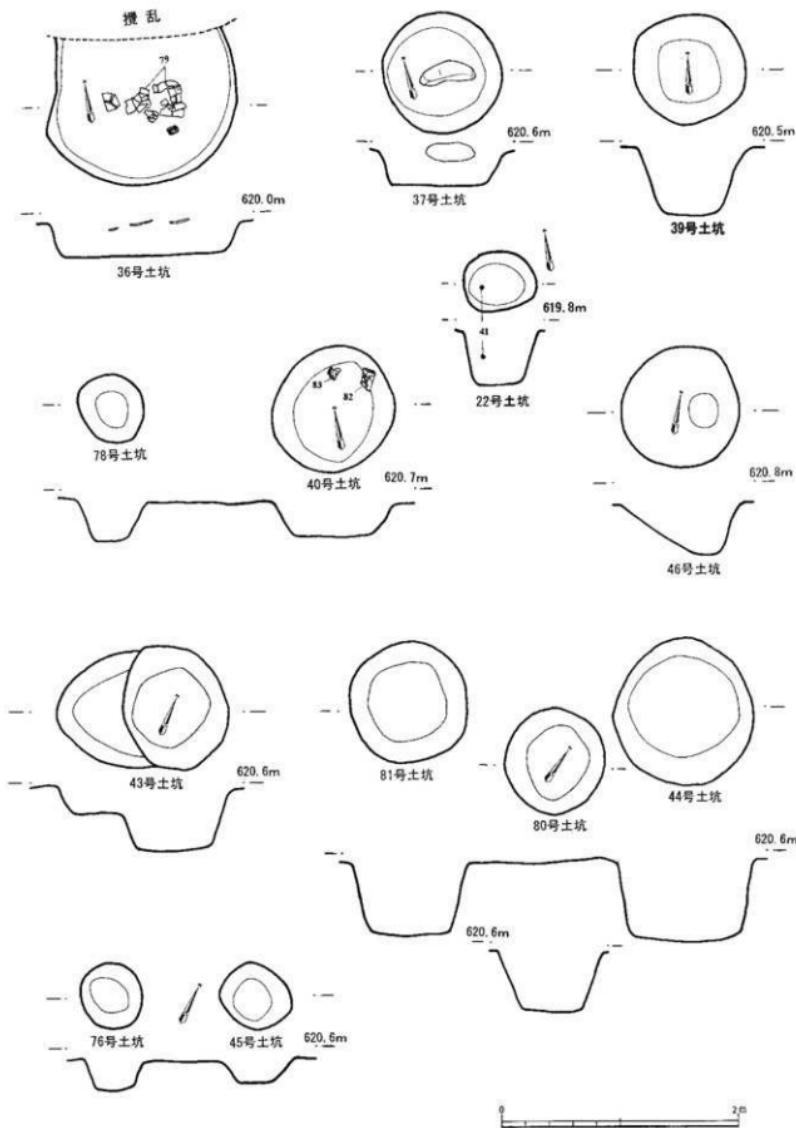


第101図 1号掘立柱建物跡

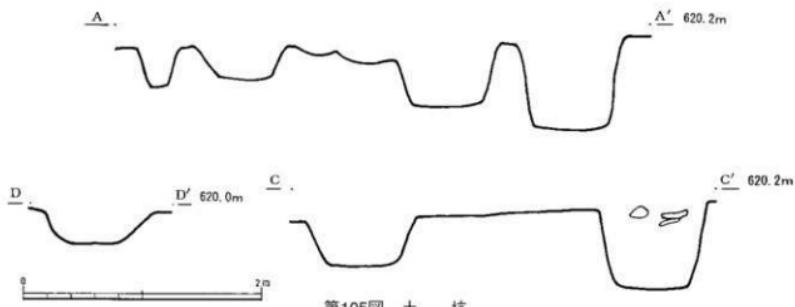
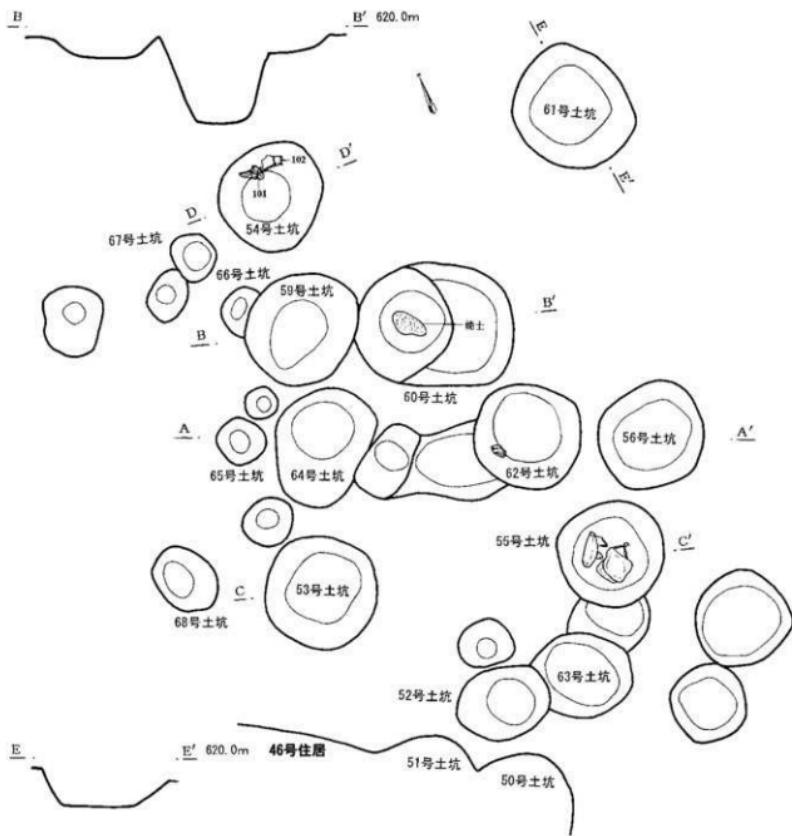


第102図 1号溝状遺構

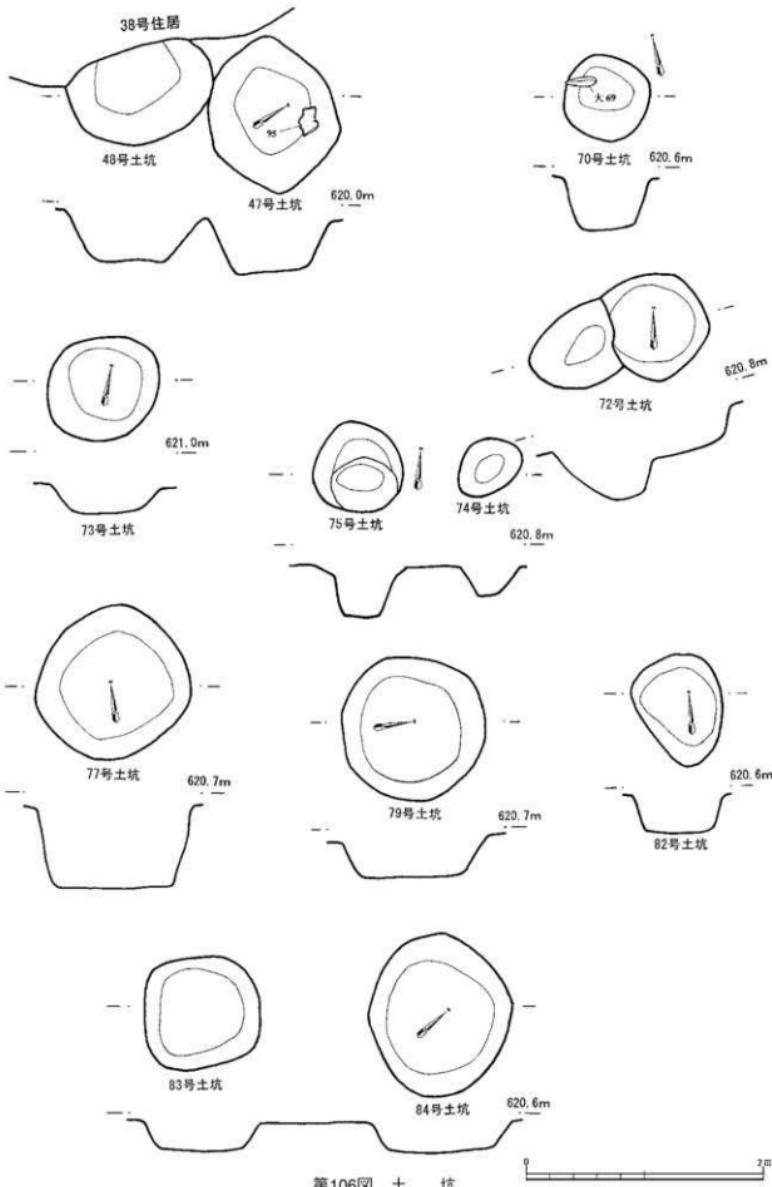




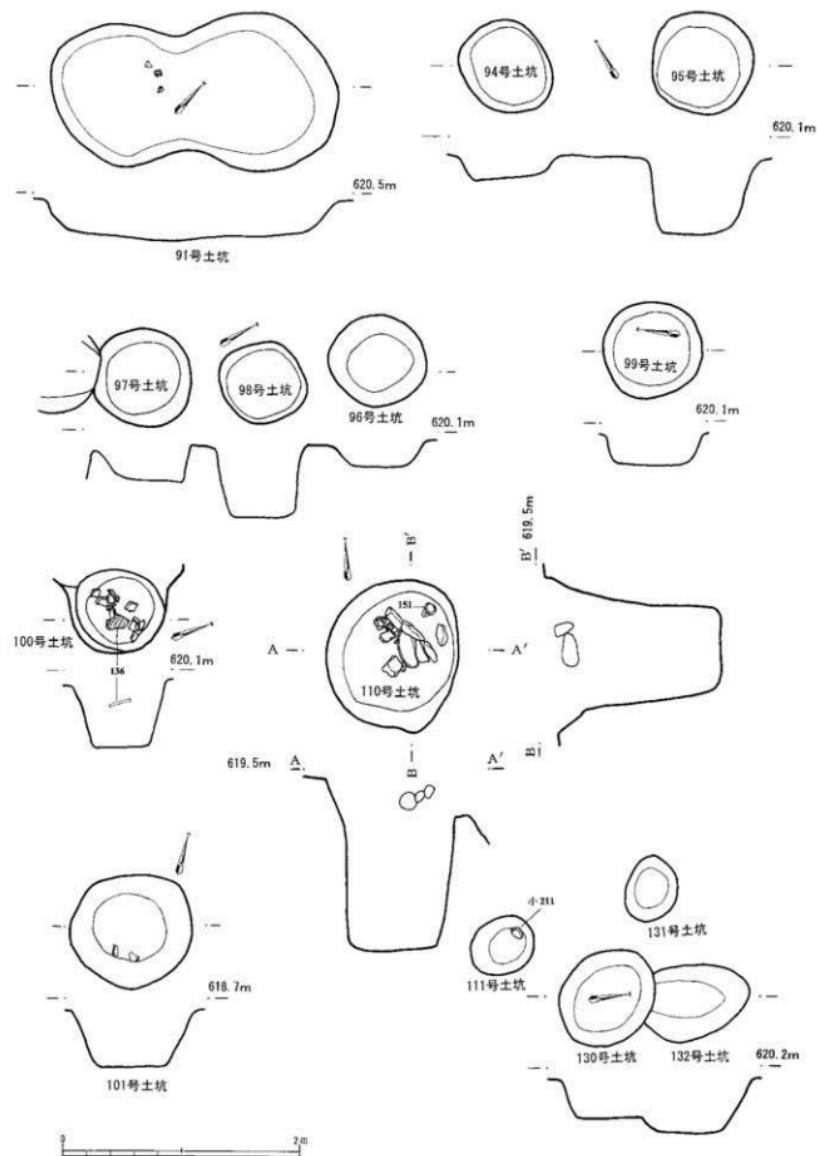
第104図 土坑



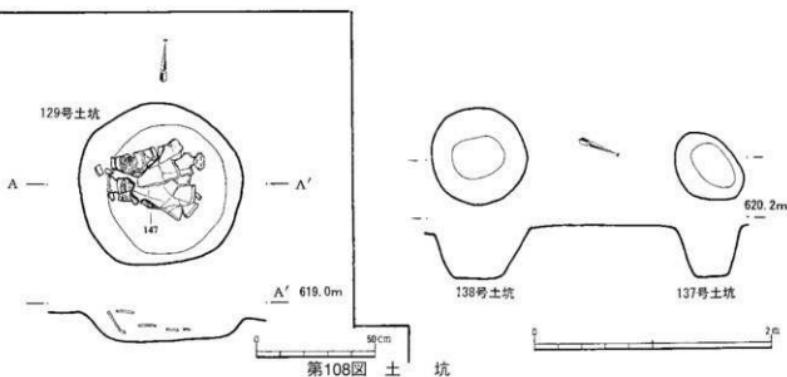
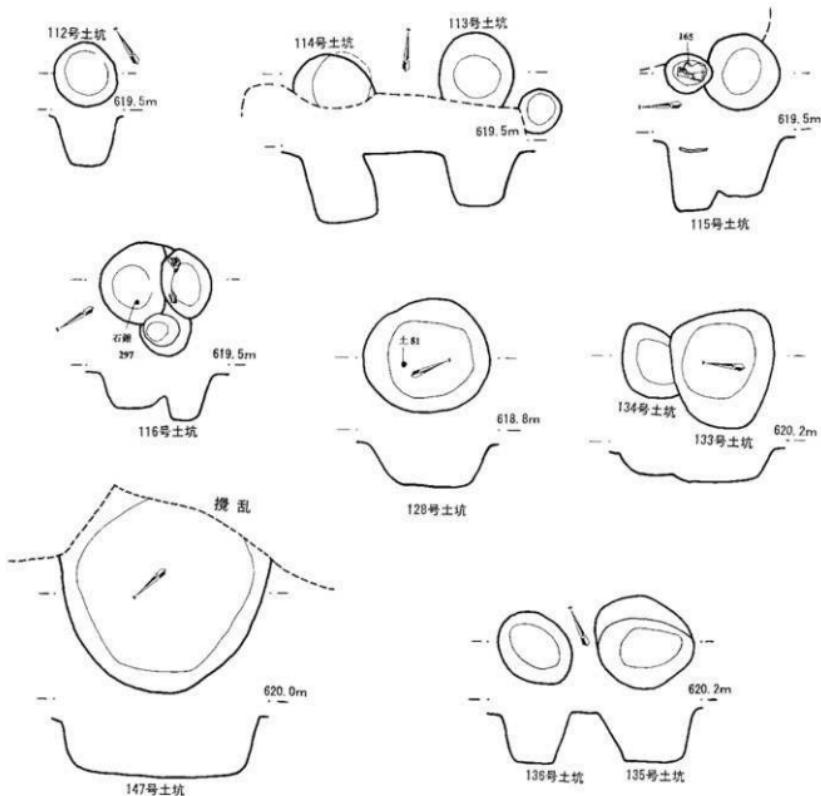
第105図 土 坑

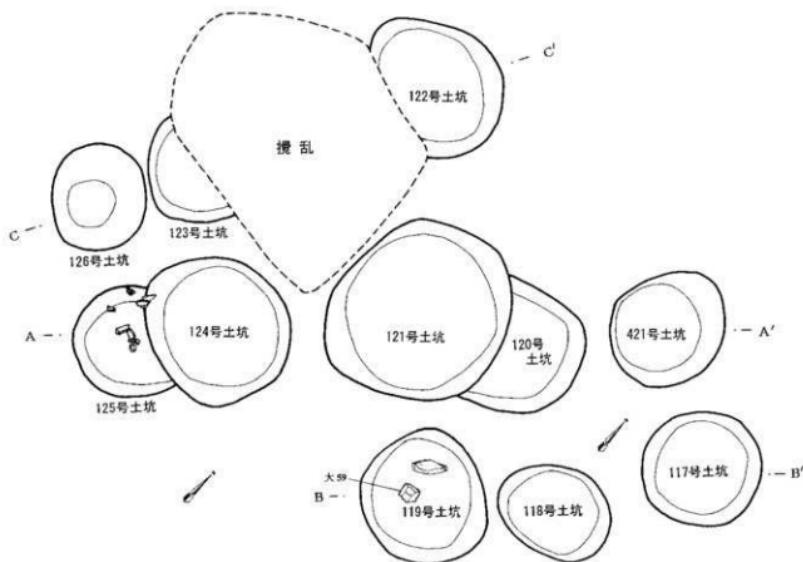


第106図 土坑

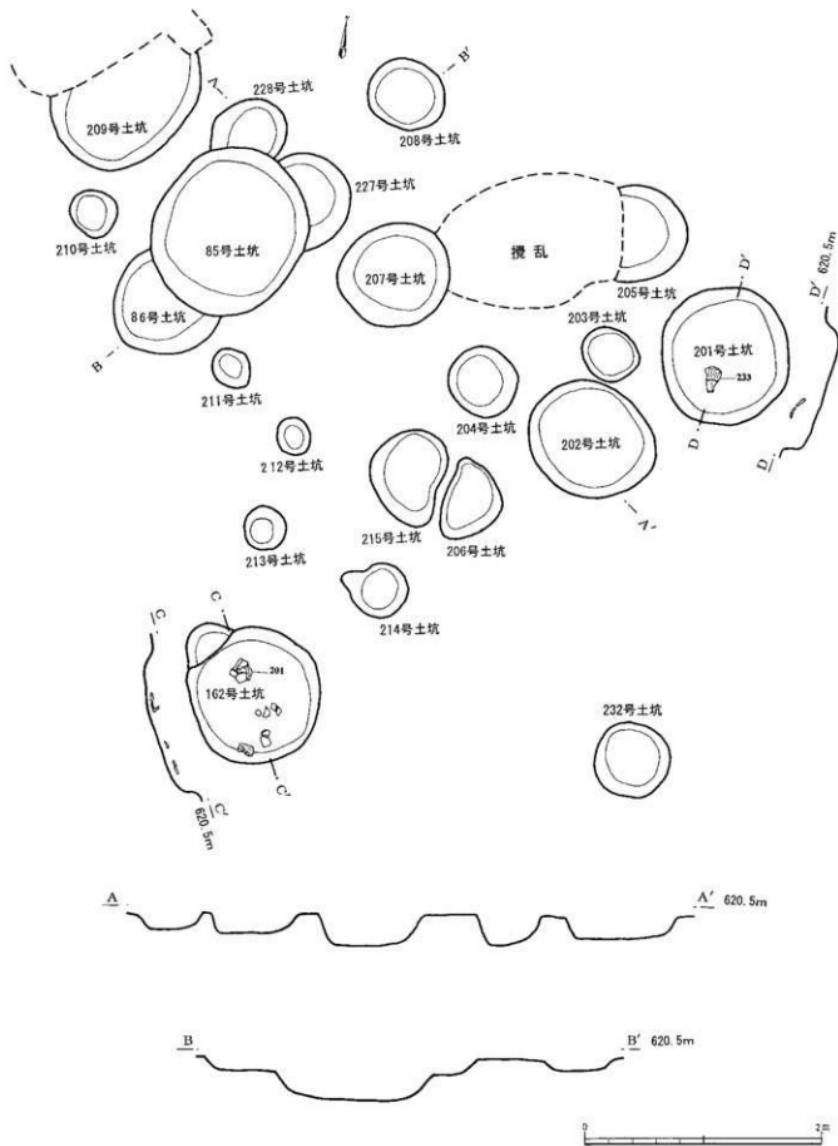


第107図 土坑

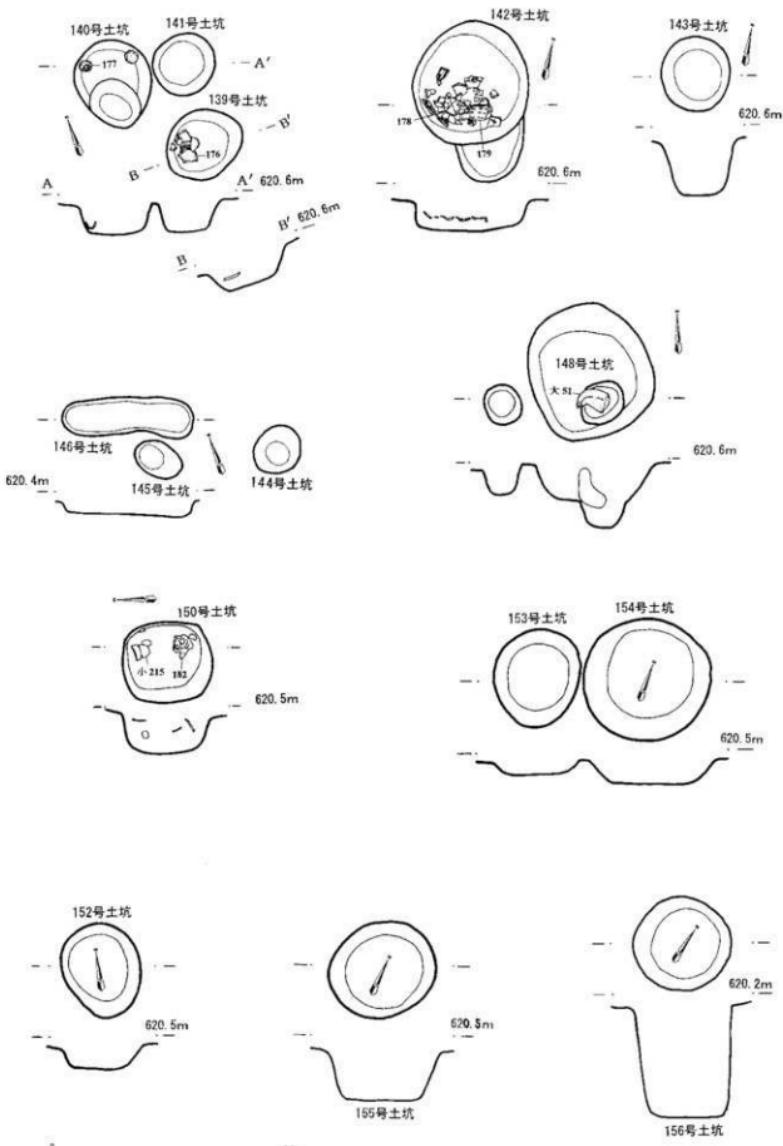




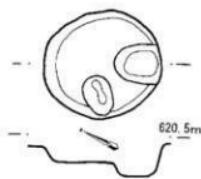
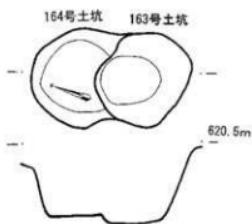
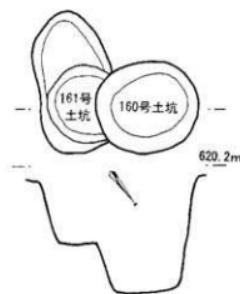
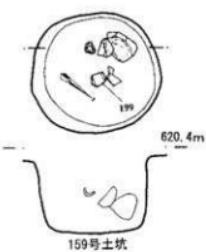
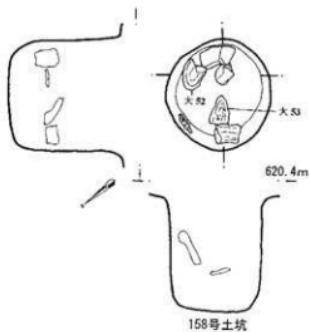
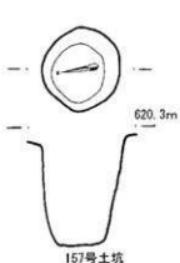
第109図 土 坑



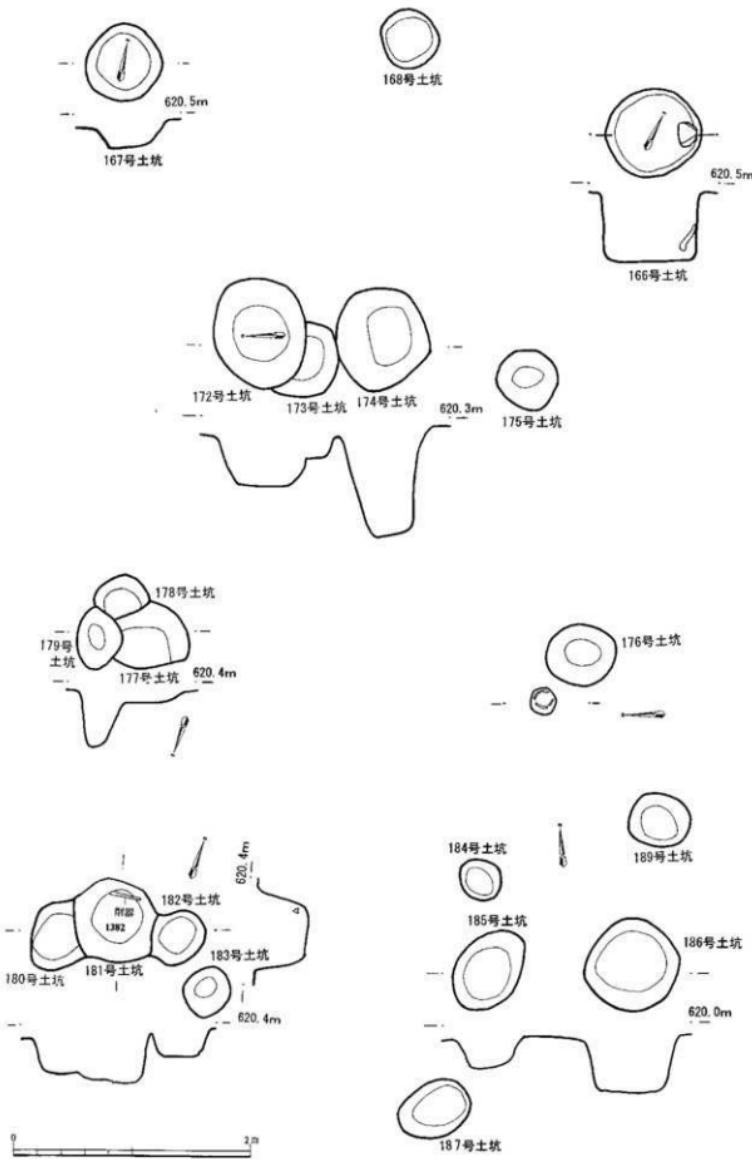
第110図 土 坑



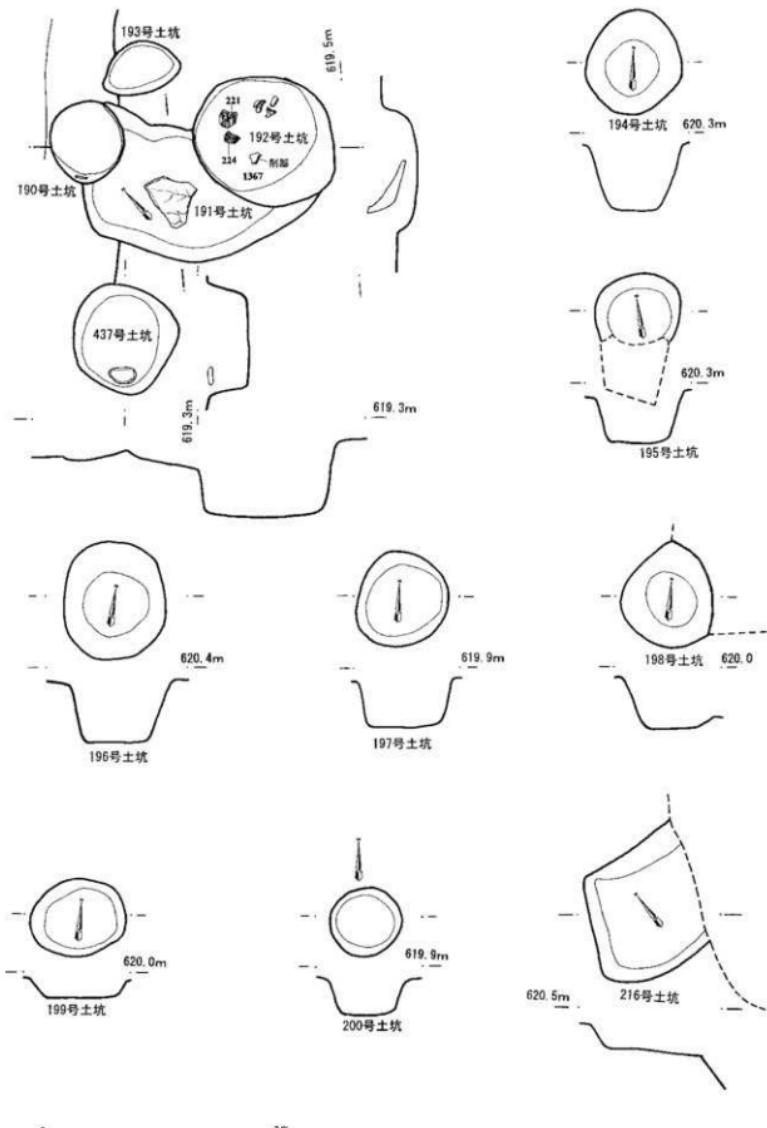
第111図 土 坑



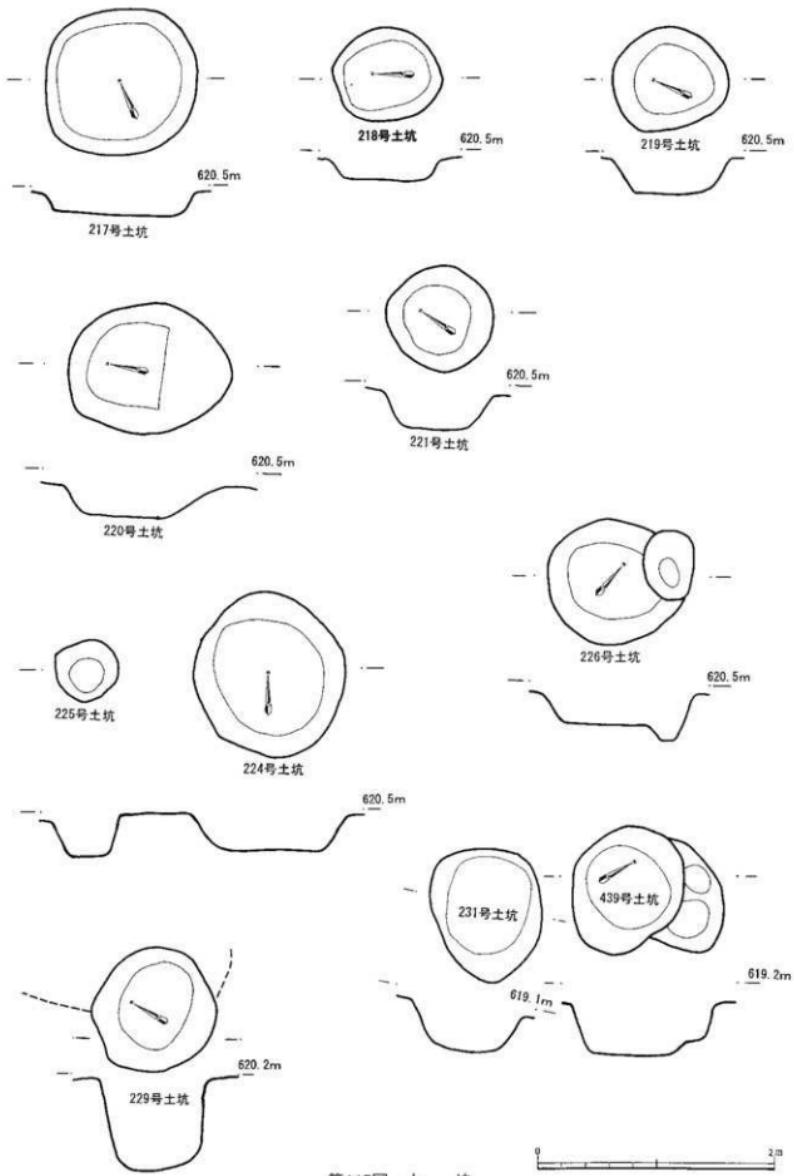
第112図 土 坑



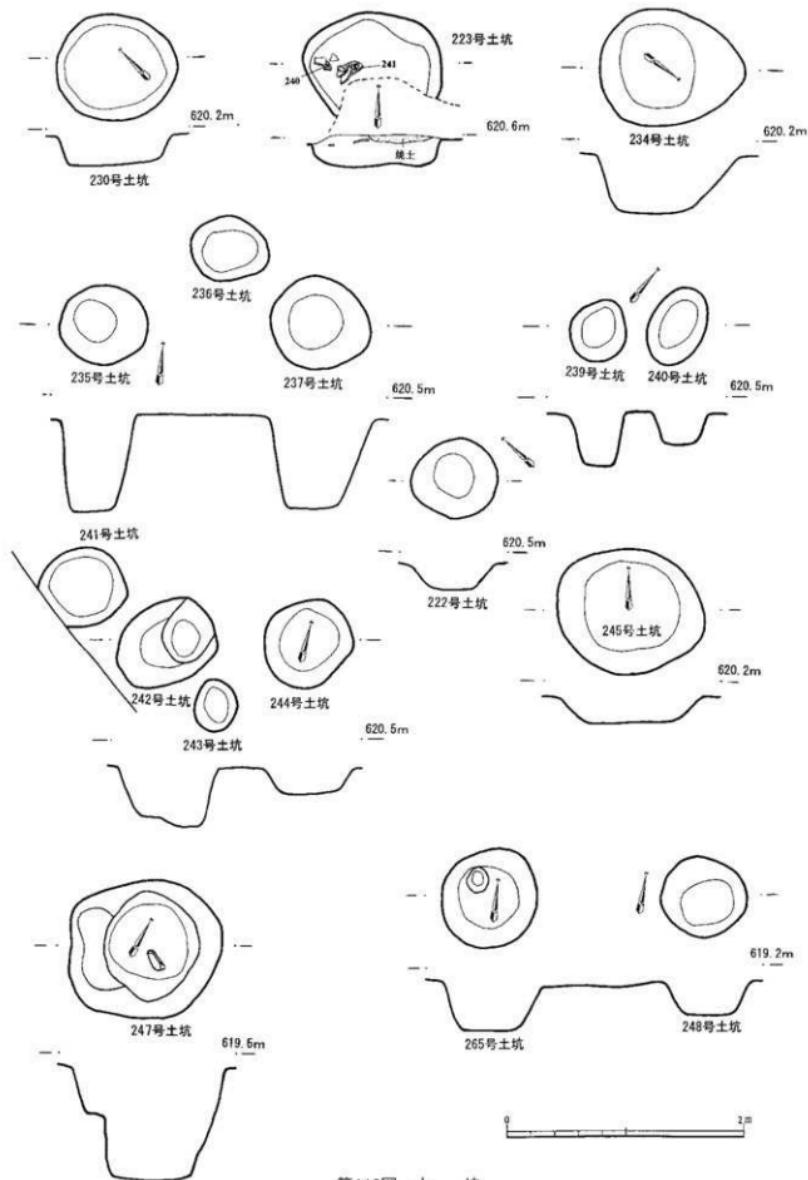
第113図 土 坑



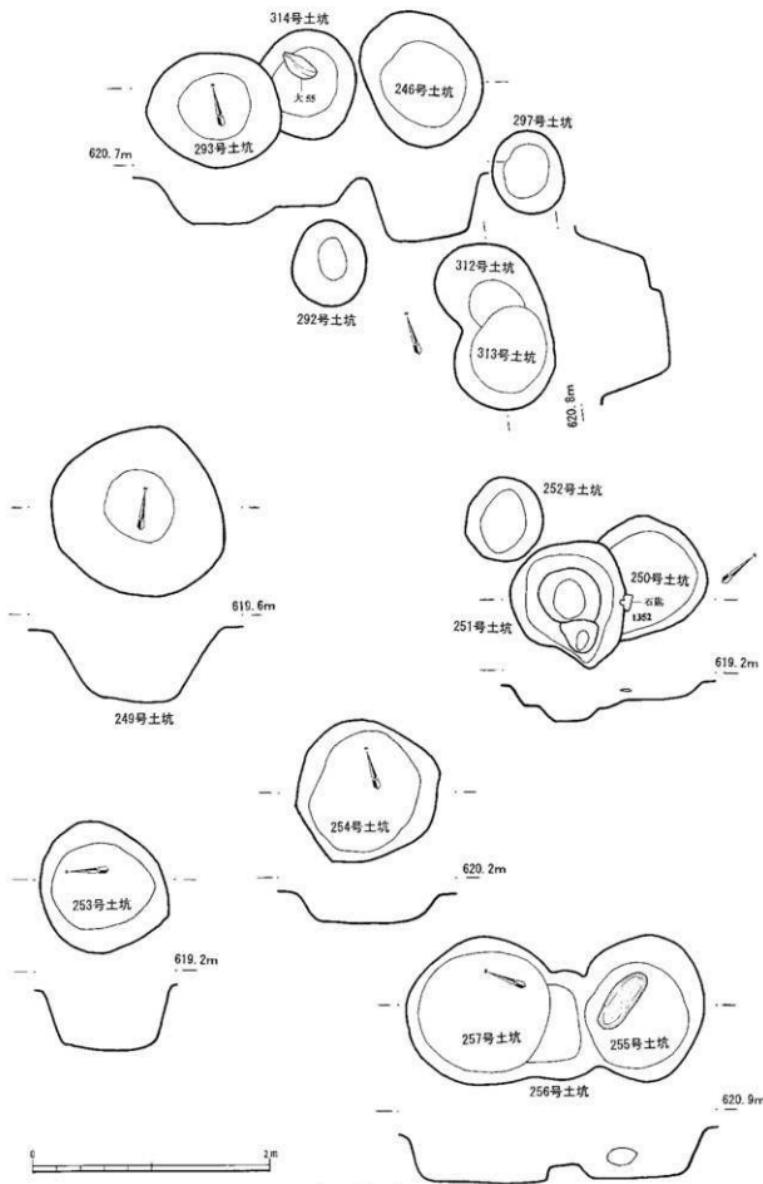
第114図 土 坑



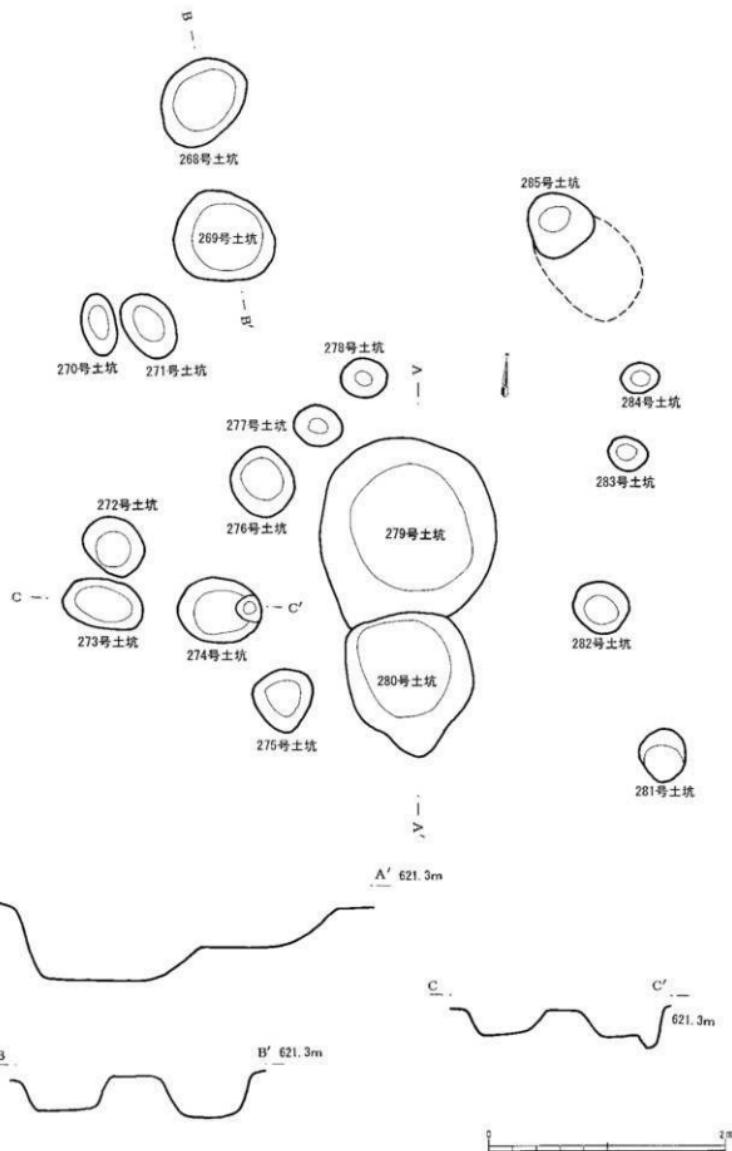
第115図 土 坑



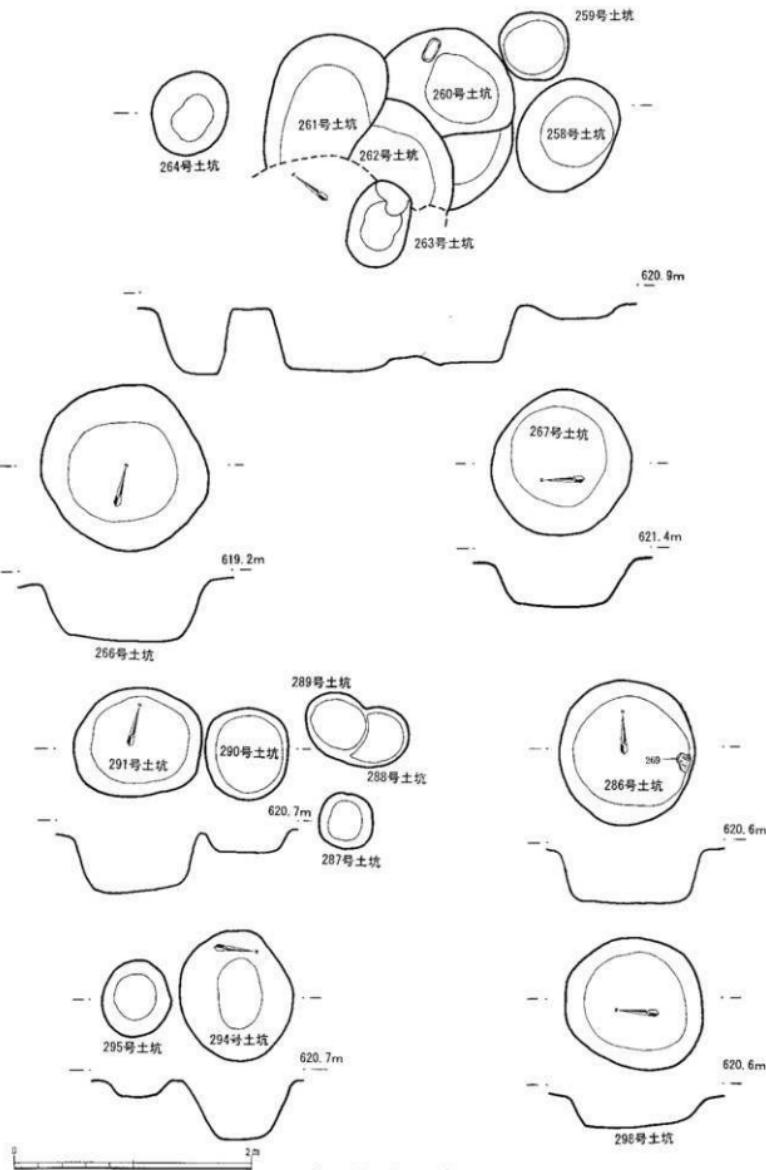
第116図 土 坑



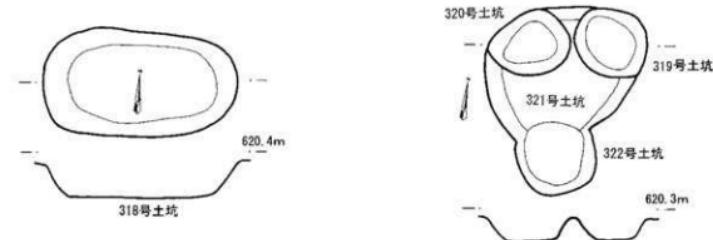
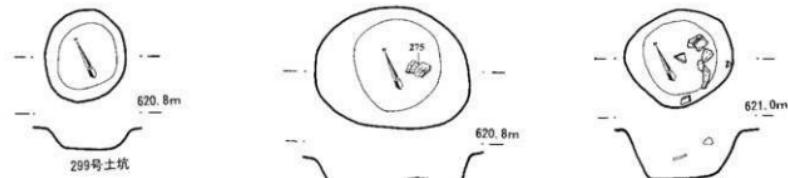
第117図 土坑



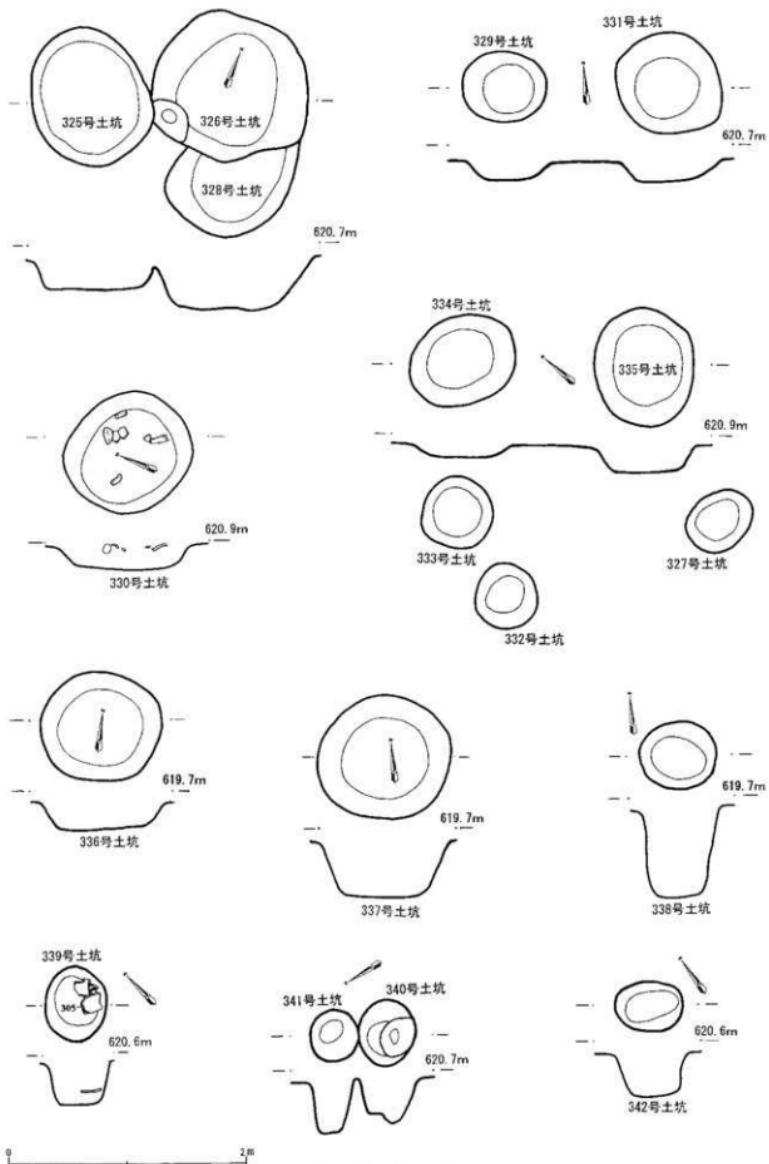
第118図 土 坑



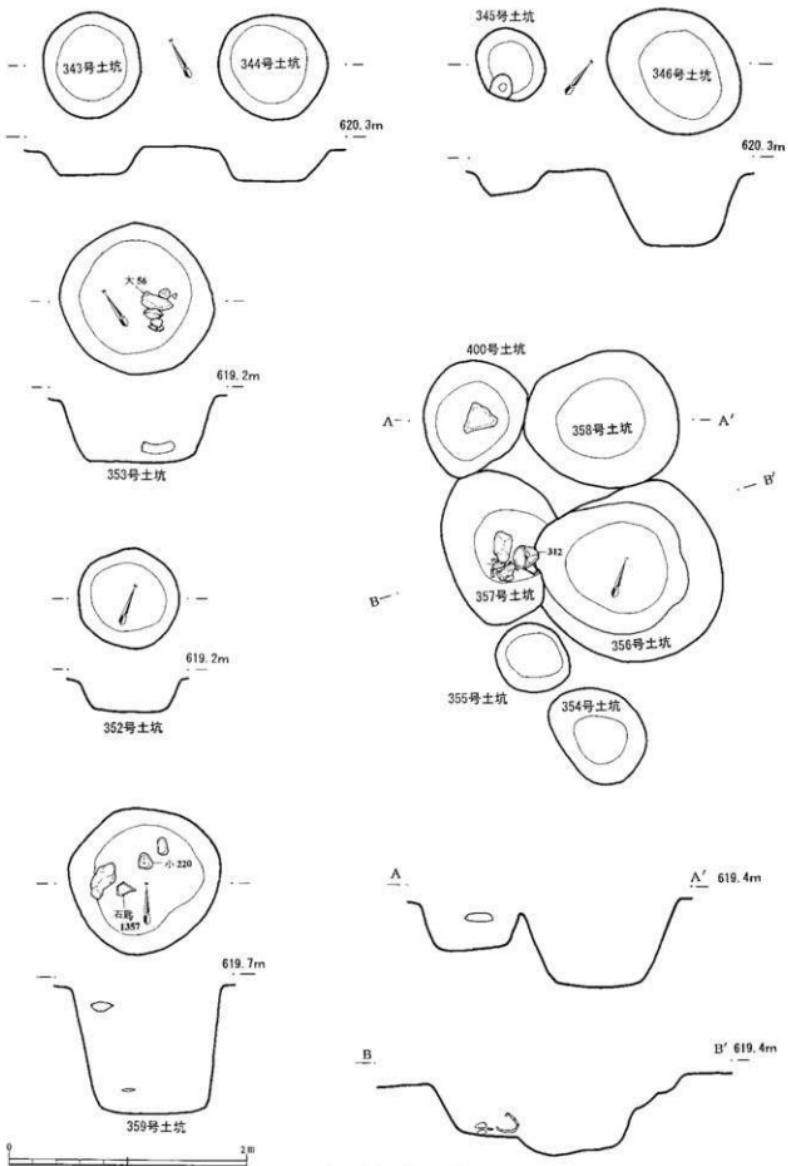
第119図 土 坑



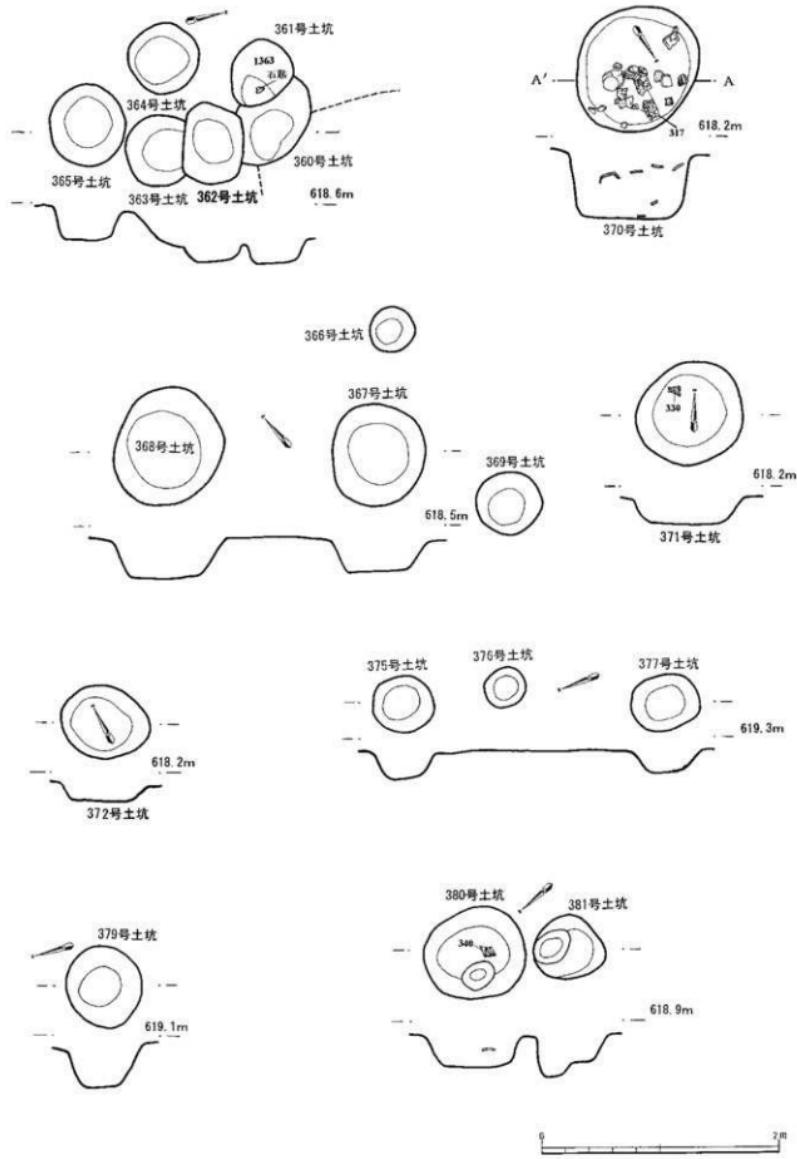
第120図 土 坑



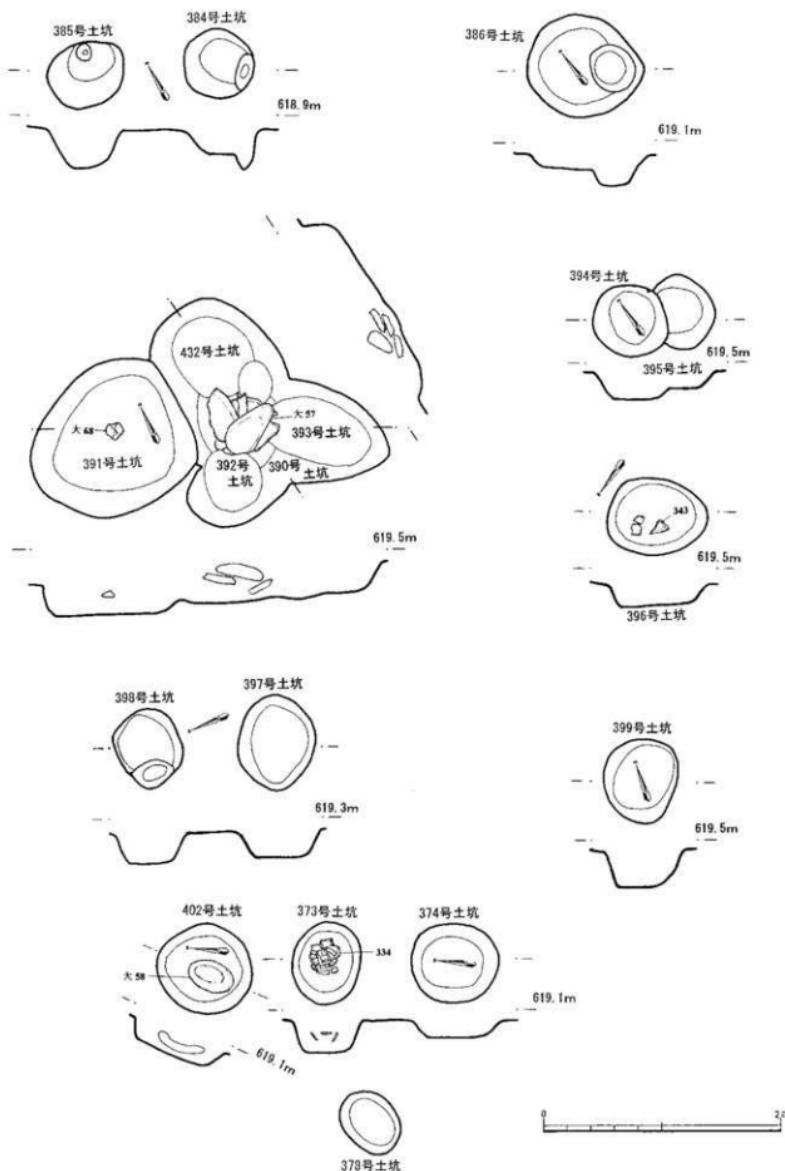
第121図 土 坑



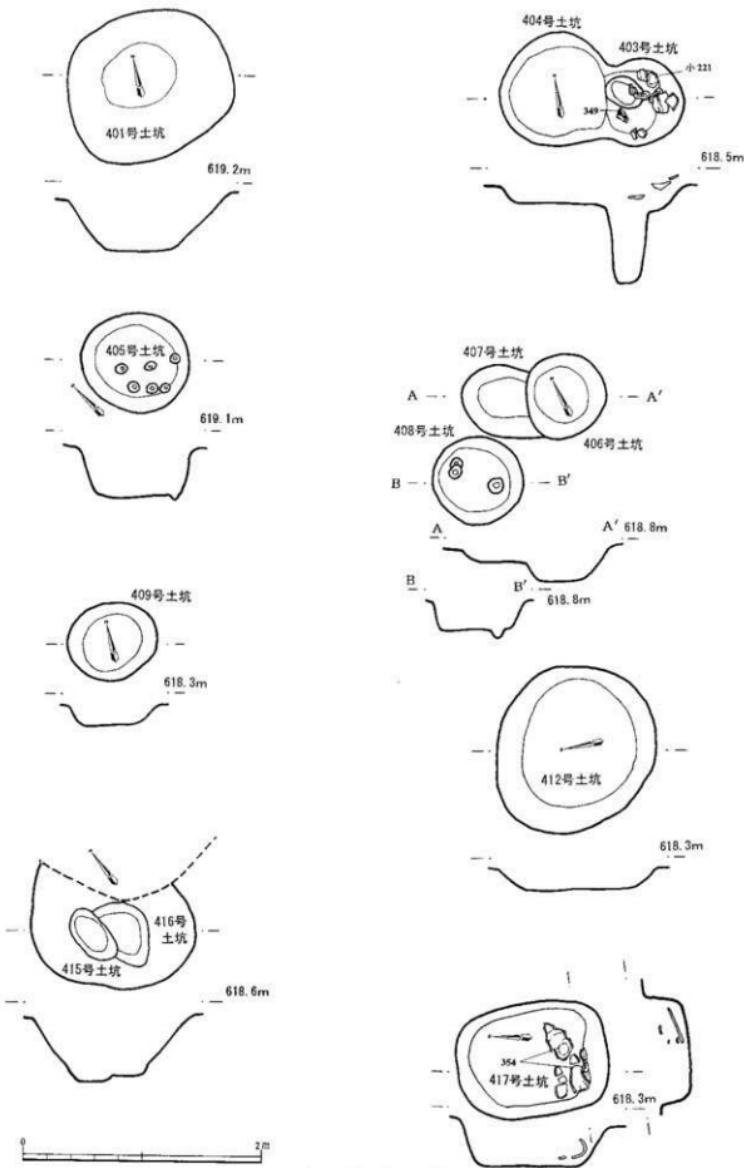
第122図 土 坑



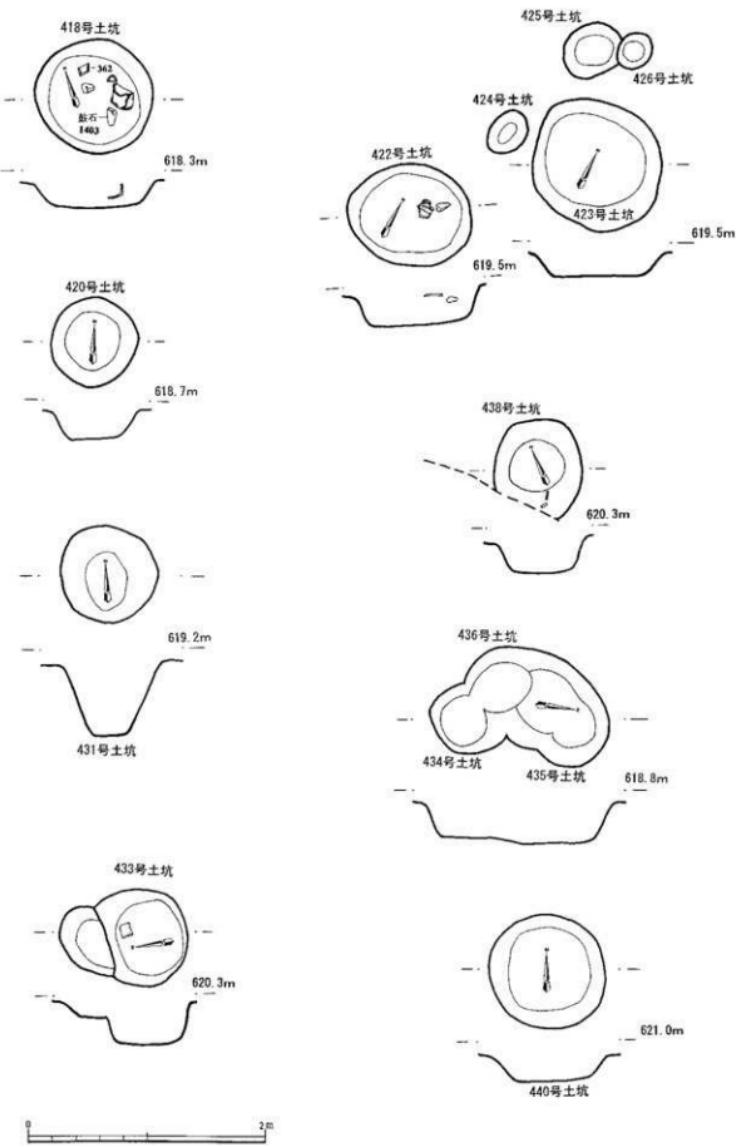
第123図 土 坑



第124図 土 坑



第125図 土 坑



第126圖 土 坑

第2表 土坑一覧表

土坑番号	位置(グリッド)	重複	形狀	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物／備考
1	L-10・1	なし	楕円形	1.13	1.08	0.32	
2	E-2	なし	楕円形	1.00	0.72	0.95	黒曜石石核
3	D・E-3	なし	不整楕円形	1.37	1.10	0.48	
4	D-4	なし	楕円形	1.08	0.88	0.39	縄文中期末から後期初頭期の土器が底面付近で出土・磨石
5	G-3	なし	楕円形	1.28	1.06	0.69	縄文中期後半の土器片
6	G-4	なし	楕円形	1.18	1.08	0.69	縄文中期末の深鉢形が底面付近で横位に出土
7	F-5	SI-3	楕円形	1.17	1.05	0.25	縄文中期中葉の土器片
8	G・H-4	なし	楕円形	1.20	1.12	0.61	縄文中期末の土器片と角柱状台石(7号住居石と接合)が出土
9	G-4	なし	楕円形	1.23	1.07	0.49	縄文中期後葉の大形破片・削器
10	H-9	17住	楕円形	0.90	0.72	0.86	縄文中期中葉の土器片・削器
11	G・H-9	17住	楕円形	1.28	0.73	0.54	
12	J-2	12住	楕円形	0.95	0.89	0.58	
13	I-11	24住	楕円形	0.94	0.87	0.26	縄文中期中葉の土器片
14	I-7・11	24住	楕円形	0.76	0.68	0.84	縄文中期中葉の土器片
15	I-11・12	24住	楕円形	1.15	1.10	0.59	縄文中期中葉の土器片
16	C・D-9・10	27住	楕円形	0.99	0.98	0.17	縄文中期中葉の土器片
17	G-12	25住	楕円形	1.10	1.00	0.58	縄文中期中葉の土器片
18	D-8	なし	楕円形	1.07	1.00	0.33	縄文中期中葉の土器片
19	G-12・13	なし	不整楕円形	1.23	0.82	0.38	縄文土器片・横刃形削器
20	I-9	なし	楕円形	1.10	0.82	0.06	
21	M-1	なし	楕円形	1.03	1.00	0.17	縄文土器片・底面から約15cm上で多孔石が出土
22	M-1	なし	楕円形	0.72	0.64	0.16	底面から20cm上で縄文ミニチュア土器が出土
23	J-4	18住	楕円形	0.86	0.80	1.06	縄文中期末葉土器・底面から約40cm浮いた状態で多くの円窪が出土
24	I-1	8住	不整形	0.95	—	0.52	縄文中期中葉の土器片
25	I・J-6	35住	円形	0.50	0.50	0.22	縄文中期中葉の土器片
26	K-5	なし	楕円形	1.15	1.08	0.36	縄文中期中葉の土器片
27	K・L-5	28土	不整形	1.23	—	0.26	底面付近から縄文中期後葉の土器がまとまって出土
28	K・L-5	33住	不整形	1.18	—	0.37	打製石斧
29	N-1	30土	不整形	1.28	—	0.27	底面から約10cm浮いた状態で土偶(胴部下半部)出土
30	N-1	29土	不整形	1.23	—	0.33	縄文中期末葉土器の土器片
31	M-1	なし	不整形	1.08	—	0.57	縄文中期末葉土器の土器片
32	N-1・2	37住	楕円形	1.23	1.17	0.80	土坑上面で縄文中期末の土器がまとまって出土
33	N-4・5	40住	楕円形	1.18	1.02	0.84	縄文中期中葉の土器片
34	P-1	44住	不整円形	1.13	1.02	0.23	
35	K-6, J-6・7	28住	楕円形	1.23	1.08	0.25	
36	J・K-11	なし	楕円形	1.58	1.28	0.22	土坑上面で縄文中期中葉の土器がまとまって出土
37	K-10	なし	楕円形	1.03	1.00	0.37	縄文中期中葉の土器と土坑上面で横長な縁出土
38	O-2	44住	不整形	0.80	—	0.54	
39	K・L-10	なし	楕円形	0.92	0.90	0.55	
40	M・N-11	なし	楕円形	1.10	0.98	0.37	縄文中期中葉の土器片
41	P-1	44住	楕円形	1.27	1.18	0.48	
42	O-4・5	47住	楕円形	1.65	1.30	0.65	縄文中期後葉の土器片
43	O-10	なし	不整楕円形	1.43	1.02	0.44	縄文中期中葉の土器片
44	O・P-10	なし	楕円形	1.20	1.18	0.54	縄文中期後葉の土器片
45	L・M-10	なし	楕円形	0.60	0.55	0.25	縄文中期後葉の土器片
46	L-10	なし	楕円形	1.02	1.00	0.44	縄文中期中葉の土器片
47	M-5	48土	楕円形	1.31	1.07	0.49	底部付近で縄文中期後葉の大形破片が出土
48	M-5	38住	不整楕円形	1.20	0.80	0.44	縄文中期後葉の土器片・粗質石器?
49	N-6	46住	楕円形	1.10	0.75	0.55	
50	M-6	46住	楕円形	0.96	0.68	0.49	底部付近で大型の凹石が出土
51	M・N-6	46住	不整形	0.68	—	0.37	縄文中期後葉の土器片
52	M-6	なし	楕円形	0.82	0.62	0.12	縄文中期後葉の土器片
53	M-6	なし	楕円形	0.99	0.98	0.45	縄文土器片
54	L・M-6	なし	楕円形	0.90	0.82	0.21	底部付近で板状の縁が重なるように検出されたほか、縄文中期後葉の土器片も出土
55	M-6	63土	円形	0.90	0.90	0.47	

土坑番号	位置 (グリッド)	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物 / 考察
56	M-6	なし	楕円形	0.92	0.86	0.85	
57	N-5	なし	楕円形	1.13	0.86	0.28	縄文中期後葉の土器片
58	M・N-5	46住	楕円形	1.15	1.10	0.39	縄文中期後葉の土器片
59	M-6	66土	楕円形	1.03	0.90	0.14	
60	M-6	59土	楕円形	1.33	1.02	0.64	底部より20cmほど上で焼土を検出。縄文中期中葉土器片・粗製石器?が出土。
61	L・M-6	なし	楕円形	1.03	0.98	0.37	
62	M-6	なし	円形	0.95	0.95	0.43	縄文土器片
63	M・N-6	52土	楕円形	0.87	0.70	0.12	縄文中期中葉の土器片
64	M-6	なし	楕円形	1.07	0.77	0.06	縄文中期中葉の土器片
65	M-6	なし	楕円形	0.41	0.39	0.25	
66	M-6	59土	楕円形	0.39	0.25	0.16	
67	M-6	なし	楕円形	0.40	0.37	0.49	
68	M-6	なし	楕円形	0.63	0.50	0.40	
69	P・Q-5	34住	楕円形	1.05	—	0.35	縄文中期中葉の土器片
70	M-9・10	なし	楕円形	0.72	0.71	0.30	古石・縄文中期後葉の土器片
71	R-5	なし	不整楕円形	—	1.22	0.30	縄文中期中葉の土器片
72	M-10	なし	不整楕円形	1.56	0.86	0.21	磨石・縄文中期後葉の土器片
73	M-11	なし	楕円形	0.97	0.86	0.22	
74	M-10	なし	楕円形	0.60	0.46	0.42	
75	M-10	なし	楕円形	0.80	0.73	0.38	
76	M-9	なし	円形	0.55	0.55	0.31	
77	M・N-10	なし	楕円形	1.28	1.28	0.61	
78	M・N-11	なし	円形	0.56	0.56	0.30	
79	N-11	なし	楕円形	1.23	1.20	0.27	
80	P-10	なし	楕円形	0.86	0.84	0.43	
81	P-9・10	なし	円形	0.98	0.98	0.67	縄文中期中葉の土器片
82	P-9	なし	不整楕円形	0.95	0.73	0.25	
83	O-8・9	なし	楕円形	1.00	0.95	0.14	
84	O-9	なし	不整楕円形	1.92	1.20	0.20	
85	U-7	86・227・228土	楕円形	1.43	1.25	0.31	縄文中期後葉の土器片
86	U-7	85土	不整形	0.90	—	0.09	
87	V-6	なし	楕円形	1.18	0.98	0.36	
88	S-8	53住	楕円形	0.75	0.73	0.51	
89	V-6	なし	楕円形	1.54	1.36	0.23	縄文土器
90	V-5・6	59住、ピット4	不整形	0.84	—	0.36	縄文中期中葉の土器片
91	V-7・8	なし	不整楕円形	2.43	1.30	0.26	縄文中期中葉の土器片
92	T-6・7	なし	楕円形	0.52	0.50	0.65	縄文土器
93	S・T-7	なし	楕円形	0.72	0.53	0.54	縄文中期中葉の土器片
94	W-8	なし	楕円形	0.77	0.68	0.15	
95	W-9	なし	楕円形	0.90	0.88	0.68	
96	W-9	なし	円形	0.75	0.75	0.27	
97	W-9	ピット	不整形	0.80	—	0.26	縄文中期後葉の土器片
98	W-9	ピット	不整円形	0.70	0.67	0.62	縄文中期後葉の土器片
99	W-9	なし	楕円形	1.07	0.78	0.27	
100	W-9・10	なし	不整形	1.10	—	0.42	縄文中期末の土器片がまとまって出土
101	Y-11	なし	楕円形	1.05	1.00	0.44	縄文中期後葉の土器片
102	V-13	なし	楕円形	0.98	0.92	0.56	
103	Y-9・10	61住	不整形	1.50	—	0.53	縄文中期中葉の土器片・削器
104	Y-10・11	61住	不整形	1.57	—	0.21	
105	Y-11	なし	楕円形	0.57	0.50	0.29	鉢状石器
106	V-13	なし	楕円形	1.25	0.95	0.66	縄文中期後葉の土器片・磨製石斧を転用した鉈
107	Z-9・10	なし	不整楕円形	1.55	0.97	0.60	縄文中期後葉の土器片・磨製石斧を転用した鉈
108	Z-9	70住	楕円形	0.90	0.72	0.64	造橋上面で縄文中期後葉の深鉢口縁が定位で出土・ドリル・粗製石器
109	Z-9・10	なし	楕円形	1.00	0.90	0.79	縄文土器 (ミニチュアの底部)
110	X-15	なし	不整楕円形	1.80	1.25	1.17	造橋上面で縄文とともにミニチュアを含む縄文中期の土器が出土
111	U-13	なし	楕円形	0.50	0.49	0.49	四石・縄文中期中葉の土器片

土坑番号	位置 (グリッド)	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物 / 考察
112	R-10	なし	楕円形	0.56	0.50	0.36	四石
113	R-10	なし	不整形	0.63	—	0.36	縄文中期中葉の土器片
114	R-10	なし	不整形	0.63	—	0.39	黒曜石
115	S・R-10	なし	不整椭円形	0.97	0.63	0.58	縄文中期中葉の土器片
116	S-1 0	なし	不整椭円形	0.95	0.90	0.35	縄文土器・ドリル・打製石斧
117	V-16	なし	楕円形	1.03	0.97	0.17	
118	V-16	なし	楕円形	0.97	0.80	0.20	
119	V-16	なし	楕円形	1.15	1.03	0.37	縄文中期後葉の土器片と底面から30cm上で石皿(破片)が出土
120	V-16	121土	不整形	1.13	—	0.09	
121	V-15・16	120土	楕円形	1.52	1.45	0.43	
122	V-15	なし	不整形	1.30	—	0.28	
123	V-15	なし	不整形	0.82	—	0.18	四石
124	V・W-15	125土	楕円形	1.27	1.17	0.47	四石
125	V・W-15	124土	不整形	0.95	—	0.30	打製石斧
126	V・W-15	なし	楕円形	0.92	0.82	0.21	
127	N-14	93住	円形	0.70	0.70	0.47	底面で縄文中期中葉深鉢の底盤が出土
128	W-20	1号井	楕円形	1.08	0.97	0.35	縄文土器・底面から20cm上で土偶(胸部)が出土
129	R-25	なし	楕円形	0.69	0.67	0.08	底面から10cmほど上で、縄文中期中葉の人面装飾付深鉢土器が底盤位に出土。土器上面の削平は後世の削平で欠損したものと考えられる。
130	U-13	132土	楕円形	0.80	0.75	0.16	
131	U-13	なし	楕円形	0.53	0.45	0.15	
132	U-13	130土	楕円形	0.80	0.62	0.38	
133	T-13・14	134土	楕円形	0.93	0.86	0.18	
134	T-13・14	133土	不整形	0.75	—	0.16	
135	T-13	なし	楕円形	0.80	0.78	0.39	縄文中期中葉の土器片
136	T-13	なし	楕円形	0.70	0.53	0.18	
137	U-13	なし	楕円形	0.65	0.50	0.25	
138	U-13	なし	楕円形	0.83	0.78	0.35	
139	P-13	なし	楕円形	0.67	0.58	0.09	底面から10cm上で縄文中期中葉の大型破片が出土
140	P-13	なし	楕円形	0.87	0.60	0.43	底面付近でミニチュア土器が出土
141	P-13	なし	楕円形	0.55	0.52	0.20	
142	S・T-20・21	なし	不整椭円形	1.40	0.98	0.29	底面から10cm上で縄文中期中葉の土器がまとまって出土
143	T-20	なし	楕円形	0.65	0.62	0.16	
144	S-21	なし	楕円形	0.42	0.39	0.38	
145	S-21	なし	楕円形	0.45	0.40	0.22	
146	S-21	なし	不整椭円形	1.10	0.28	0.13	
147	M-25	2号井	不整形	1.75	—	0.45	縄文中期中葉の土器片・石礫・打製石斧
148	Q・P-9	101住	楕円形	1.23	1.13	0.53	底面付近で石皿(破片)出土
149	Q-9	なし	楕円形	1.18	—	0.15	0.25
150	Q-9	なし	楕円形	0.86	0.75	0.35	底面より20cm前後上で、縄文中期中葉大型破片・粗製石器・打製石斧・四石などが出土
151	P-8	なし	楕円形	0.75	0.65	0.25	
152	P-10	なし	楕円形	0.78	0.61	0.19	
153	P-10	なし	楕円形	0.78	0.52	0.15	縄文中期後葉の土器片
154	P-10	なし	楕円形	1.07	1.00	0.16	
155	P-10	なし	楕円形	0.90	0.80	0.35	縄文中期中葉の土器片
156	V-10	なし	楕円形	0.83	0.80	0.95	
157	V-10	なし	楕円形	0.70	0.64	0.99	
158	V-10	なし	楕円形	0.98	0.90	0.94	底面より40cm前後上で縄文中期末の土器片・石皿・多孔石・繩などがまとまって出土
159	V-9	なし	楕円形	1.08	1.02	0.65	底面から10~30cm付近で大型の繩と縄文中期中葉の破片が出土
160	V・W-9・10	161土	不整形	0.88	—	1.22	
161	V・W-9	160土	不整椭円形	1.22	0.63	0.58	
162	V-7	なし	不整椭円形	1.30	1.15	0.20	底面付近から井戸式の大型破片出土
163	U-10	164土	不整形	0.80	—	0.56	打製石斧
164	U-10	163土	不整形	0.80	—	0.57	
165	U-10	なし	楕円形	0.98	0.88	0.07	
166	P-17	なし	楕円形	0.76	0.70	0.57	縄文中期中葉の土器片・粗製石器・打製石斧

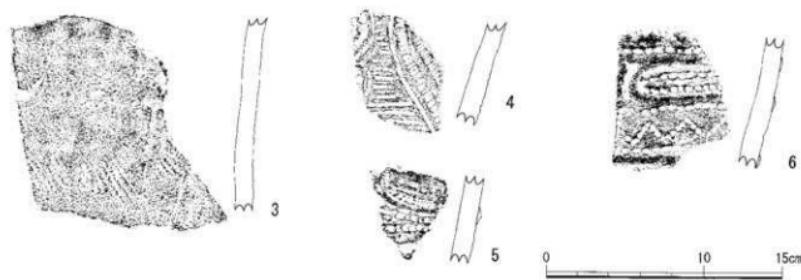
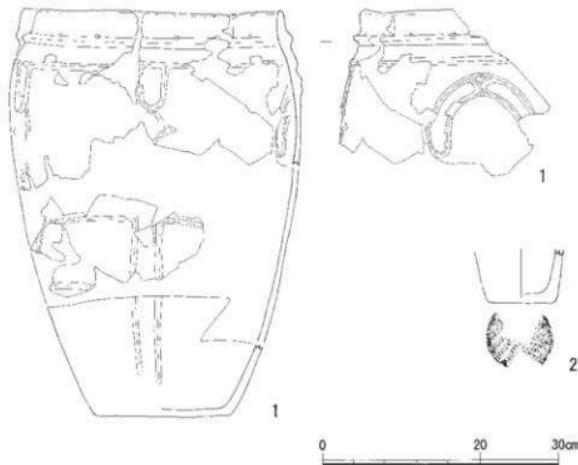
土坑番号	位置 (グリッド)	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土地物 / 考
167	Q-17	なし	楕円形	0.67	0.66	0.21	縄文中期中壺の土器片
168	P-16・17	なし	円形	0.50	0.50	0.02	縄文中期末壺の土器片
169	R-16	なし	楕円形	0.50	0.46	0.20	
170	R-16・17	なし	楕円形	0.62	0.55	0.35	
171	R-16	なし	楕円形	0.57	0.55	0.29	
172	R-17	173土	楕円形	0.97	0.76	0.43	縄文土器
173	R-17	172土	不整形	0.65	—	0.20	縄文中期後壺の土器片
174	R-17	なし	楕円形	0.83	0.75	0.80	
175	R-17	なし	楕円形	0.50	0.47	0.37	
176	R-17	なし	楕円形	0.56	0.51	0.52	縄文中期中壺の土器片
177	R-17	178・179土	不整形	—	—	0.21	
178	R-17・18	177・179土	不整形	0.47	—	0.10	
179	R-17・18	177・178土	楕円形	0.50	0.37	0.49	
180	R-18	181土	不整形	0.56	—	0.49	
181	R-18	180・182土	不整形円形	0.70	0.65	0.40	底面から約10cm上で、大型で腹扁の削器が出土
182	R-18	181土	不整形	0.50	—	0.18	
183	R-18	なし	楕円形	0.43	0.40	0.38	
184	R-18	なし	楕円形	0.39	0.35	0.39	
185	R-18	なし	楕円形	0.75	0.55	0.26	
186	R-18	なし	楕円形	0.80	0.78	0.51	縄文中期中壺の土器片
187	R-18	なし	楕円形	0.63	0.47	0.05	縄文中期中壺の土器片
188	R-19	なし	楕円形	0.47	0.45	0.14	
189	R-18	なし	楕円形	0.52	0.45	0.18	縄文中期中壺の土器片、遺構上面で匙型土製品が出土
190	R-23	191土	楕円形	0.70	0.62	0.21	縄文中期中壺の土器片・打製石斧
191	R-23	190・192土	不整形円形	2.15	1.30	0.28	縄文土器・底面から15cm前後上で大型で扁平な鍬が出土
192	R-23	191土	楕円形	1.23	1.06	0.67	底面より約20cm上で弥生式期の土器片と抉入削器などがまとまって出土
193	R-23	なし	不整形円形	0.68	0.45	0.12	
194	S-16	なし	楕円形	0.87	0.80	0.52	縄文中期後壺の土器片
195	S-15・16	なし	楕円形	0.73	0.62	0.42	
196	T-16	なし	楕円形	0.98	0.85	0.52	縄文中期中壺の土器片
197	V・W-12	なし	楕円形	0.80	0.78	0.37	縄文中期末壺の土器片
198	W-11	なし	楕円形	0.88	0.78	0.29	縄文中期中壺の土器片
199	W-11	なし	楕円形	0.99	0.78	0.22	
200	W-12	なし	楕円形	0.62	0.58	0.17	
201	U-8	なし	楕円形	1.13	1.06	0.19	縄文中期後壺の土器片
202	U-8	なし	楕円形	1.10	0.94	0.12	縄文中期後壺の土器片
203	U-8	なし	楕円形	0.45	0.42	0.09	
204	U-7・8	なし	楕円形	0.60	0.57	0.15	
205	U-8	なし	不整形	0.82	—	0.68	
206	U-7・8	なし	不整形円形	0.58	0.48	0.09	縄文土器
207	U-7	なし	楕円形	0.95	0.87	0.16	
208	U-7	なし	楕円形	0.65	0.63	0.66	
209	U-7	なし	不整形	1.35	—	0.13	縄文中期中壺の土器片・ドリル・打製石斧
210	U-7	なし	楕円形	0.43	0.40	0.19	
211	U-7	なし	楕円形	0.35	0.32	0.10	
212	U-7	なし	楕円形	0.32	0.28	0.08	
213	U・V-7	なし	円形	0.35	0.35	0.10	
214	V-7	なし	不整形	0.56	0.46	0.21	
215	U-7	なし	不整形円形	0.87	0.50	0.12	
216	R・S-9	なし	不整形円形	0.86	0.78	0.19	
217	R・S-8	なし	楕円形	0.85	0.83	0.11	
218	R-8	なし	楕円形	0.55	0.54	0.15	
219	R-8	なし	楕円形	0.68	0.63	0.21	
220	R-8	なし	楕円形	0.83	0.76	0.23	縄文土器
221	R-9	なし	円形	0.58	0.58	0.27	
222	Q-9	なし	楕円形	0.50	0.43	0.14	
223	P-9	なし	不整形	1.07	—	0.23	遺構上面付近で縄文中期中壺の土器片が出土

土坑番号	位置 (グリッド)	重 複	形 状	長軸m	短軸m	深さm	出 土 通 物 / 閲 考
224	T-9・10	なし	楕円形	1.40	1.30	0.28	縄文中期後葉の土器片
225	T-9	なし	楕円形	0.52	0.48	0.22	
226	T-8・9	なし	不整楕円形	1.80	1.06	0.21	
227	U-7	85土	不整形	0.80	—	0.13	
228	U-7	85土	不整形	0.60	—	0.12	
229	T-4	なし	不整円形	1.02	1.00	0.81	縄文中期後葉の土器片
230	U-4	なし	楕円形	0.98	0.95	0.26	縄文中期中葉の土器片
231	R-23	なし	楕円形	1.23	0.90	0.34	縄文中期中葉の土器片
232	U-8	なし	楕円形	0.64	0.62	0.25	
233	V-3	なし	楕円形	0.52	0.50	0.19	
234	V-3	なし	楕円形	1.20	0.99	0.49	
235	V-3	なし	楕円形	0.70	0.68	0.72	
236	V-4	なし	楕円形	0.65	0.62	0.12	
237	V-4	なし	楕円形	0.83	0.78	0.76	
238	V-4	なし	楕円形	0.42	0.38	0.32	縄文中期中葉の土器片
239	V-4	なし	楕円形	0.53	0.48	0.43	
240	U-V-4・5	なし	楕円形	0.68	0.48	0.18	
241	V-4	なし	不整形	0.68	—	0.26	
242	V-W-4	なし	不整楕円形	0.95	0.70	0.57	縄文土器
243	V-W-4	なし	楕円形	0.46	0.44	0.19	
244	V-4	なし	楕円形	0.76	0.70	0.15	
245	T-3	なし	楕円形	1.22	1.03	0.50	縄文中期後葉の土器片
246	T-3	なし	楕円形	0.48	0.45	0.20	
247	S-2・3, R-3	なし	不整楕円形	1.32	1.14	0.99	石獅・縄文中期の土器片
248	R-S-2	なし	楕円形	0.72	0.68	0.35	
249	R-3	なし	楕円形	1.42	1.37	0.49	縄文中期後葉の土器片
250	J-8	251土	不整形	0.96	—	0.65	縄文土器・底面より10cmほど上ではほぼ定形の粗質石器が出土
251	J-K-8	250土	不整円形	1.10	0.95	0.39	縄文中期中葉の土器片
252	J-K-8	なし	楕円形	0.68	0.65	0.13	
253	J-8	なし	楕円形	1.10	1.08	0.40	縄文土器
254	L-8	なし	不整円形	1.20	1.17	0.21	
255	I-11	256土	不整形	1.24	—	0.25	底面より10cmほど上で横長の大形円錐が出土
256	I-11	257土	不整形	0.95	—	0.30	縄文土器・底部付近で細長の稜出土
257	H-I-10・11	256土	不整形	1.24	—	0.37	
258	H-10	なし	楕円形	1.00	0.80	0.95	
259	H-10	なし	円形	0.57	0.57	0.36	
260	H-10	261・262土	不整形	0.80	—	0.49	
261	G-H-10	260・262土	不整形	1.08	—	0.33	縄文中期後葉の土器片
262	H-10	260・261・263土	不整形	1.07	—	0.43	
263	H-10	262土	不整楕円形	0.75	0.50	0.24	
264	G-10	なし	楕円形	0.72	0.65	0.57	
265	S-2	なし	楕円形	0.85	0.80	0.55	
266	R-2	なし	楕円形	1.42	1.35	0.42	
267	D-11	なし	楕円形	1.20	1.15	0.35	縄文中期後葉の土器片
268	D-11	なし	楕円形	0.83	0.63	0.39	
269	D-11	なし	楕円形	0.84	0.76	0.31	
270	D-11	なし	楕円形	0.50	0.30	0.69	
271	D-11	なし	楕円形	0.60	0.52	0.11	
272	E-11	なし	楕円形	0.54	0.43	0.39	
273	E-11	なし	楕円形	0.65	0.40	0.22	
274	E-11	なし	楕円形	0.70	0.54	0.23	
275	E-11	なし	不整円形	0.55	0.53	0.27	
276	E-11	なし	楕円形	0.60	0.54	0.21	
277	E-11	なし	楕円形	0.42	0.35	0.31	
278	D-11	なし	楕円形	0.40	0.32	0.38	
279	E-11	280土	不整形	1.48	—	0.61	
280	E-11	279土	不整形	1.03	—	0.30	

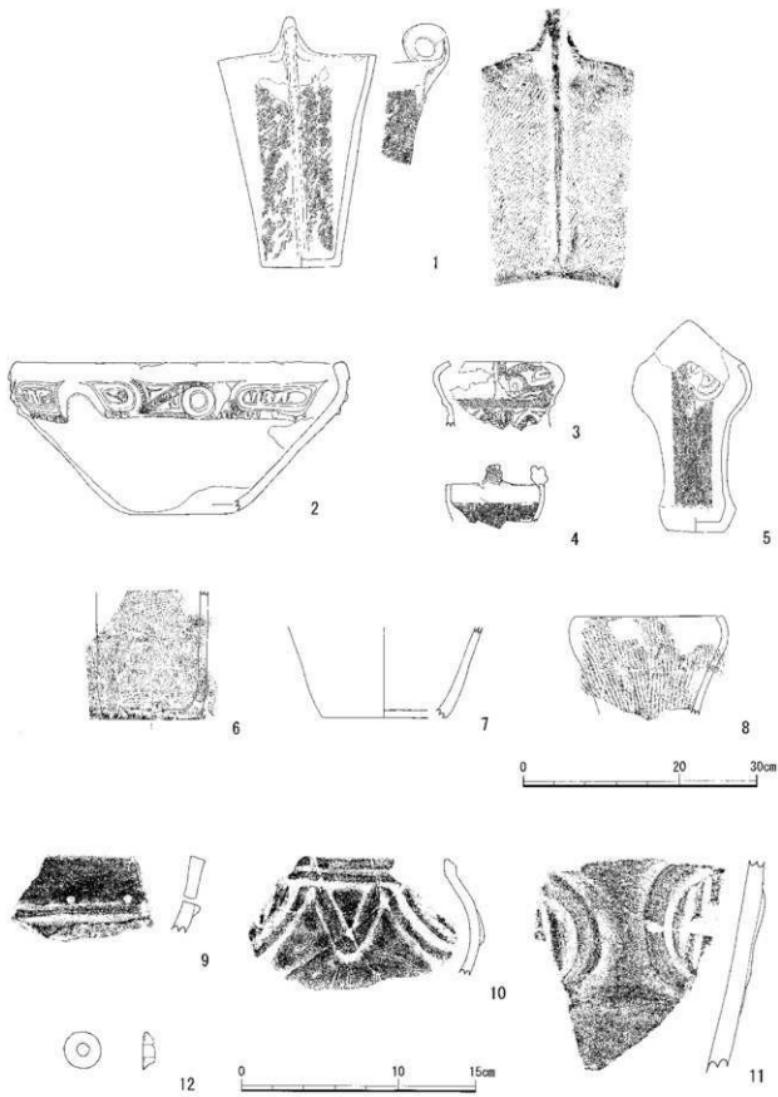
坑番号	位置 (グリッド)	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物 / 考察
281	E-12	なし	楕円形	0.43	0.40	0.13	
282	E-11・12	なし	楕円形	0.48	0.43	0.14	
283	E-12	なし	楕円形	0.35	0.32	0.11	
284	D-12	なし	楕円形	0.33	0.23	0.09	
285	D-11	なし	楕円形	0.54	0.52	0.60	
286	I-10	なし	楕円形	1.20	1.14	0.36	縄文中期後葉の土器片
287	H-9	なし	楕円形	0.45	0.44	0.19	
288	H-9	289土	不整形	0.46	—	0.13	
289	H-9	288土	楕円形	0.54	0.52	0.18	縄文中期中葉の土器片
290	H-9	なし	楕円形	0.78	0.68	0.14	縄文中期中葉の土器片
291	H-9	なし	楕円形	1.05	0.92	0.48	
292	H-9	なし	楕円形	0.70	0.64	0.50	
293	G・H-9	314土	楕円形	1.13	1.10	0.23	
294	G-9・10	なし	楕円形	1.06	0.96	0.44	
295	G-9・10	なし	楕円形	0.62	0.58	0.09	
296	G・H-9	なし	楕円形	1.15	0.95	0.66	
297	H-9・10	なし	楕円形	0.70	0.68	0.29	
298	F・G-9	なし	楕円形	1.20	1.06	0.24	
299	F-8	なし	楕円形	0.80	0.68	0.21	縄文中期中葉の土器片
300	E・F-9	なし	楕円形	1.40	1.03	0.51	縄文中期後葉の大型破片が出土
301	E-10	なし	楕円形	0.90	0.80	0.47	磨石・縄文中期後葉の土器片
302	E-10	なし	楕円形	1.10	0.88	0.77	縄文中期中葉の土器片
303	E-10	なし	楕円形	1.05	1.04	0.32	
304	E-9	305土	不整形	0.90	—	0.18	縄文中期後葉の土器片
305	E-9	304土	楕円形	1.00	0.94	0.62	
306	E-9	なし	楕円形	0.95	0.95	0.56	縄文土器
307	O-4	なし	楕円形	1.20	1.15	0.53	底面から約30cm上で、縄文中期末葉の土器片・石器・土製円盤などが出土
308	O-4	なし	楕円形	1.40	1.33	1.02	造構上面から30cm前後の覆土中から縄文中期後葉の土器片・打製石斧・土偶(胸部)・土製円盤などが出土
309	O・P-4	39住	不整形	0.82	—	0.53	
310	P-3	39住	不整形	0.98	—	0.20	
311	P-4	なし	楕円形	1.78	1.60	0.80	縄文中期後葉の土器片
312	H-9・10	313土	不整形	0.82	—	0.64	
313	H-9・10	312土	不整形	0.87	—	0.78	縄文中期後葉の土器片
314	G・H-9	293土	不整楕円形	0.93	0.63	0.30	底面から10cmほど上で石皿の破片が出土
315	D-7・8	なし	不整楕円形	1.45	0.75	0.25	
316	D-7	なし	楕円形	0.83	0.64	0.34	
317	E-7・8	なし	楕円形	0.63	0.55	0.19	
318	E-7	なし	楕円形	1.70	0.90	0.20	
319	E-6・7	321土	楕円形	0.65	0.58	0.13	
320	E-6	321土	楕円形	0.63	0.52	0.03	
321	E-6・7	319・320・322土	不整楕円形	1.20	1.00	0.15	
322	E-6	321土	不整円形	0.76	0.60	0.09	
323	D-5	なし	楕円形	0.52	0.50	0.69	
324	F-6	3住	楕円形	0.80	0.62	0.60	
325	C-8	なし	楕円形	1.16	0.95	0.06	
326	C-8	325・328土	楕円形	1.30	1.18	0.36	縄文中期中葉の土器片
327	C-9	なし	楕円形	0.57	0.48	0.10	
328	C-8	326土	不整形	0.92	—	0.17	
329	C・D-9	なし	楕円形	0.70	0.58	0.14	
330	N-14	なし	楕円形	1.07	0.97	0.22	縄文土器・打製石斧
331	D-9	なし	楕円形	0.84	0.82	0.15	
332	C-9	なし	楕円形	0.54	0.52	0.21	
333	C-9	なし	円形	0.62	0.62	0.15	
334	C-9	なし	楕円形	0.89	0.75	0.19	
335	C-9	なし	楕円形	0.98	0.82	0.21	縄文中期後葉の土器片
336	G-3	なし	楕円形	0.99	0.90	0.21	

土坑番号	位置（グリッド）	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物／備考
337	F-1	なし	楕円形	1.13	1.04	0.45	縄文中期中葉の土器片
338	E-2	なし	楕円形	0.64	0.57	0.74	ドリル
339	P-13・14	なし	楕円形	0.62	0.50	0.25	底面から10cmほど上で縄文中期中葉浅鉢形土器の大型破片が出土
340	P-13	なし	楕円形	0.53	0.48	0.34	
341	P-13	なし	楕円形	0.43	0.40	0.42	
342	P-14	なし	楕円形	0.55	0.43	0.29	
343	N-7	なし	楕円形	0.88	0.80	0.23	
344	N・O-7	なし	楕円形	0.95	0.93	0.26	
345	M・N-7	なし	楕円形	0.63	0.58	0.50	
346	M-8	なし	楕円形	1.18	1.10	0.51	縄文中期後葉の土器片・磨製石斧・凹石
347	J-2	12往	不整形	0.70	—	0.34	
348	J-2	12往	不整形	1.06	—	0.22	
349	J-1	12往	楕円形	1.30	1.20	0.27	
350	J-1	12往	不整形	0.96	—	0.46	
351	J-1	12往	不整形	1.26	—	0.85	
352	K-3	なし	楕円形	0.85	0.83	0.22	
353	K-L-3	なし	楕円形	1.27	1.21	0.53	底面から10cm弱上から縄文中期後葉の土器片、石皿の破片や土製円盤などが出土
354	K-3	なし	楕円形	0.90	0.70	0.29	
355	K-3	なし	楕円形	0.62	0.60	0.19	
356	K-3	357土	楕円形	1.57	1.42	0.68	縄文中期後葉の土器片・凹石・縄文土器
357	K-3	356土	不整形楕円形	1.30	0.99	0.45	底面付近で縄文中期後葉深鉢の胴下半部や磨石などが出土
358	J-K-3	356・400土	楕円形	1.28	1.14	0.75	縄文中期後葉の土器片・凹石
359	J-4	なし	楕円形	1.23	1.18	0.98	縄文中期中葉～後葉の土器片や磨製石斧・打製石斧などが出土
360	Q-27	361・362土	不整形楕円形	0.84	0.55	0.41	縄文中期中葉の土器片
361	Q-26	360土	不整形	0.52	—	0.41	粗製石器
362	Q-R-27	363土	不整形	0.68	—	0.18	縄文中期中葉の土器片・打製石斧
363	R-27	362土	不整形	0.62	—	0.13	
364	R-26・27	なし	楕円形	0.68	0.57	0.28	
365	R-27	なし	楕円形	0.66	0.64	0.29	
366	R-27	なし	円形	0.38	0.38	0.10	
367	R-27	なし	楕円形	0.82	0.80	0.21	
368	R-26	なし	楕円形	1.00	0.87	0.28	
369	R-27	なし	楕円形	0.55	0.53	0.17	
370	R-27	なし	楕円形	1.10	1.00	0.56	縄文中期中葉の土器片が覆土中からまとまって出土
371	S-27	なし	楕円形	0.86	0.86	0.24	縄文中期中葉の土器片
372	S-26・27	なし	楕円形	0.78	0.63	0.18	
373	N-3	なし	楕円形	0.70	0.57	0.18	縄文中期後葉の土器片
374	N-3	なし	楕円形	0.72	0.64	0.16	
375	N-3	なし	円形	0.58	0.58	0.11	縄文中期中葉の土器片
376	N-3	なし	楕円形	0.35	0.32	0.16	
377	M-N-3	なし	楕円形	0.55	0.48	0.17	
378	N-2	なし	楕円形	0.57	0.43	0.16	縄文中期末葉の土器片
379	N-2	なし	楕円形	0.70	0.65	0.33	縄文中期中葉の土器片
380	N-2	なし	楕円形	0.83	0.75	0.25	縄文中期後葉の土器片が底面より20cm弱上から出土
381	N-2	なし	楕円形	0.60	0.55	0.33	
382	N-2	なし	楕円形	0.45	0.35	0.13	
383	N-2	なし	楕円形	0.55	0.42	0.46	
384	N-O-2	なし	円形	0.57	0.57	0.24	
385	N-O-2	なし	楕円形	0.65	0.55	0.32	縄文中期後葉の土器片
386	V-20	なし	楕円形	0.97	0.86	0.12	
387	Q-3	なし	楕円形	0.50	0.47	0.17	
388	P-3	なし	楕円形	0.55	0.41	0.24	
389	P-3・4	なし	楕円形	0.40	0.34	0.22	
390	M-3	391・392・393・432土	不整形	1.03	—	—	四を有す大型の台石や扁平な礫が重なるように出土
391	M-3	390・432土	不整形楕円形	1.38	1.30	0.31	中期後葉の土器片のはか、底面から15cm上に石棒の破片が出土
392	M-3	390・393土	不整形	0.70	—	0.24	

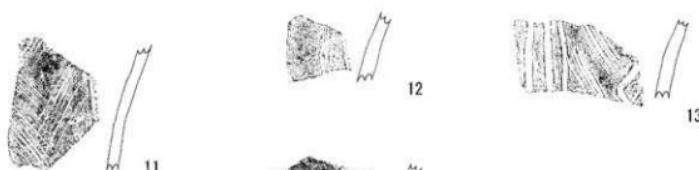
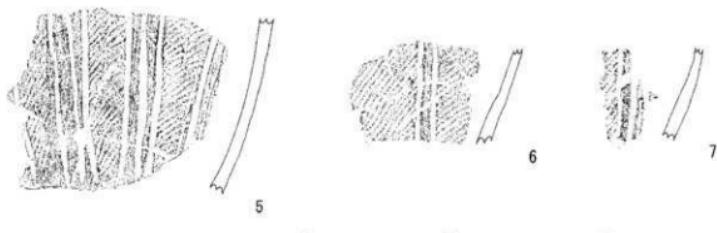
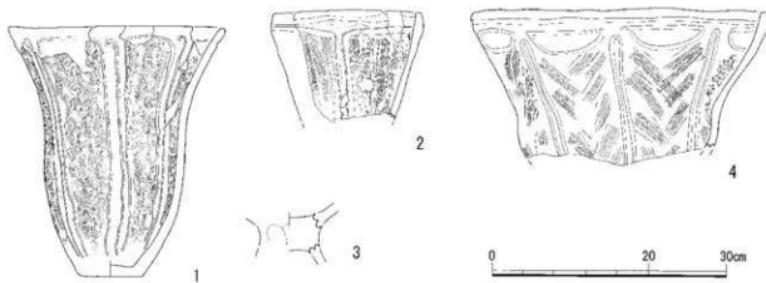
土坑番号	位置 (グリッド)	重複	形状	長軸m	短軸m	深さm	出土遺物 / 考察
393	M-3	390・392・432土	不整形	1.35	—	0.26	
394	M-3	395土	楕円形	0.65	0.62	0.25	
395	M-3	394土	不整形	0.63	—	0.15	
396	M-3	なし	楕円形	0.85	0.66	0.18	縄文中期後葉の土器片
397	M-3・4	なし	楕円形	0.80	0.65	0.23	
398	M-4	なし	楕円形	0.65	0.52	0.20	
399	L-1	なし	楕円形	0.70	0.64	0.23	
400	K-2・3	357・358土	楕円形	1.00	0.82	0.21	
401	J-K-2	なし	楕円形	1.38	1.24	0.48	縄文土器
402	M-N-3	なし	楕円形	0.81	0.74	0.10	底面より若干上ではほぼ完形の石皿が出土
403	P-27	404土	不整形	0.73	—	0.18	縄文中期中葉の土器片とともに打製石斧・石器などが出土
404	P-27	403土	不整形	0.96	—	0.12	
405	O-2	なし	楕円形	0.90	0.80	0.45	縄文中期後葉の破片、磨石
406	O-2	407土	楕円形	0.72	0.65	0.26	
407	O-2	406土	楕円形	0.60	—	0.14	
408	O-2	なし	楕円形	0.78	0.74	0.16	
409	欠番	—	—	—	—	—	
410	S-26	なし	楕円形	0.47	0.42	0.16	
411	S-26	なし	楕円形	0.45	0.42	0.07	
412	S-T-26	なし	楕円形	1.45	1.30	0.22	縄文中期中葉の土器・土製円盤
413	R-26	なし	楕円形	0.39	0.37	0.14	
414	R-S-25・26	なし	楕円形	0.60	0.47	0.22	
415	R-26	416土	楕円形	0.48	0.28	0.17	
416	R-26	415土	不整形	0.55	—	0.17	
417	S-T-26・27	なし	楕円形	1.27	0.96	0.30	縄文中期中葉の深鉢が底面より若干上で斜位に出土
418	T-25・26	なし	楕円形	1.00	0.94	0.27	縄文中期中葉の土器片と鍛石が出土
419	S-25	なし	楕円形	0.40	0.37	0.16	
420	R-25	なし	楕円形	0.73	0.72	0.15	
421	V-16	なし	楕円形	0.97	0.95	0.15	打製石斧
422	L-4・5	なし	楕円形	1.05	0.87	0.15	縄文中期中葉の土器片
423	K-5	なし	楕円形	1.20	1.02	0.26	縄文中期後葉の土器片
424	K-5	なし	楕円形	0.38	0.32	0.13	
425	K-5	426土	不整形	0.47	0.43	0.12	
426	K-5	425土	不整形	0.30	0.28	0.09	
427	K-5	18土	不整形	0.45	—	0.11	
428	R-26	なし	不整形	0.50	—	0.28	
429	H-2	なし	楕円形	0.46	0.42	0.22	
430	H-1・2	なし	楕円形	0.45	0.40	0.14	縄文中期後葉の土器片
431	G-1	なし	円形	0.82	0.82	0.69	縄文中期中葉の土器片
432	M-1	390・391土	不整形	0.82	—	0.30	
433	G-7	なし	不整形	1.07	0.80	0.29	
434	S-24・25	436土	不整形	0.64	—	0.33	
435	R-S-24・25	436土	不整形	0.75	—	0.33	
436	S-24	434・435土	不整形	0.75	—	0.33	
437	R-23	1号画	楕円形	1.00	0.94	0.30	
438	P-7	なし	不整形	0.82	—	0.23	
439	R-23・24	なし	不整形	1.25	1.23	0.38	
440	H-12	なし	楕円形	0.97	0.95	0.12	
441	T-17	なし	楕円形	1.13	1.03	0.18	
442	T-17	なし	楕円形	1.24	1.14	0.32	
443	R-12	なし	楕円形	1.70	1.54	0.68	



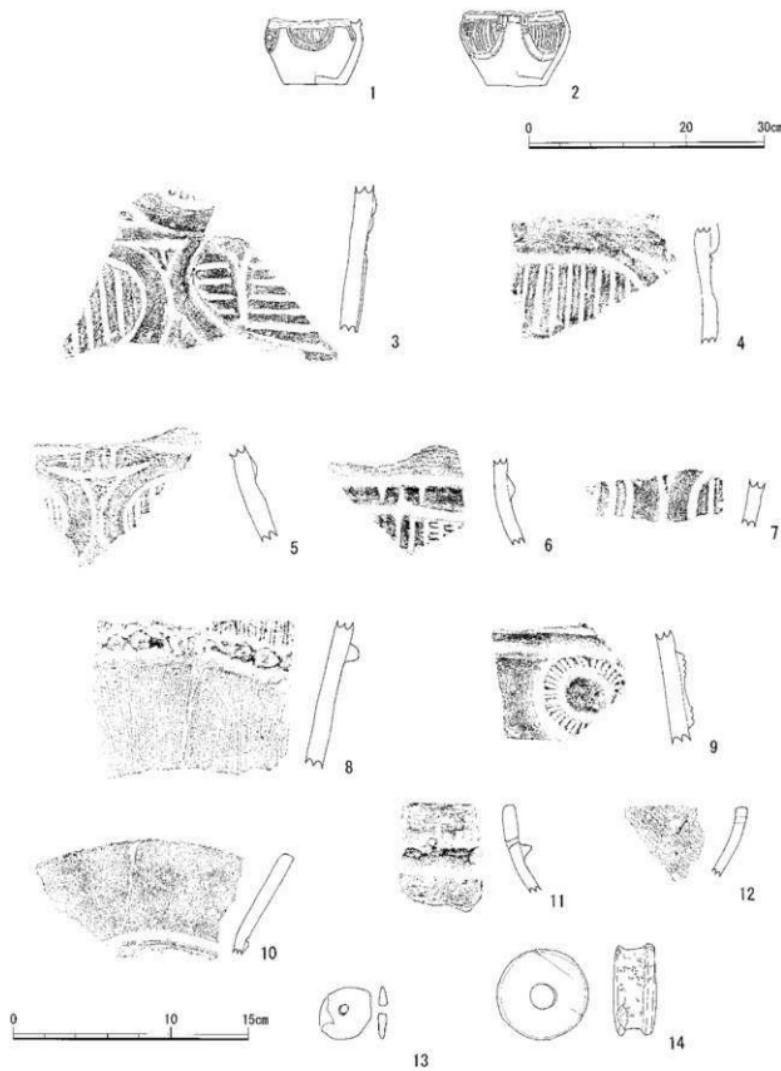
第127図 1号住居跡出土土器



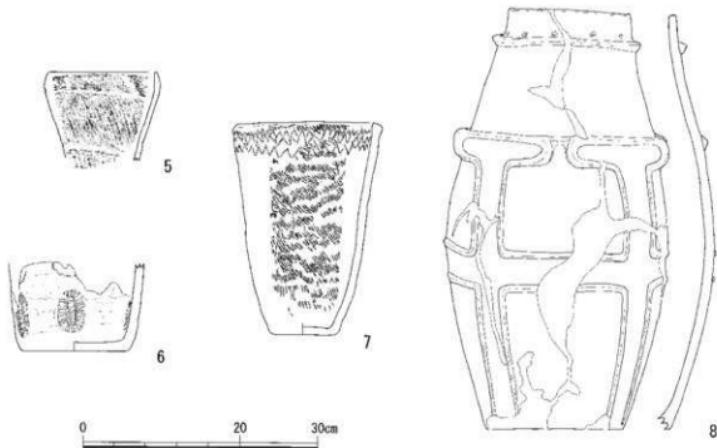
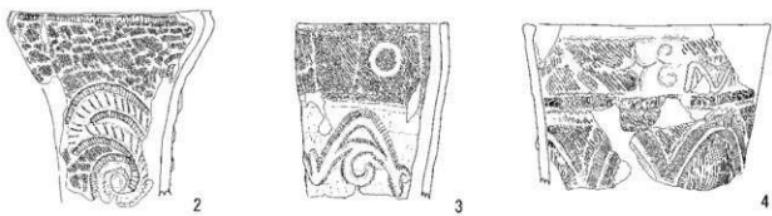
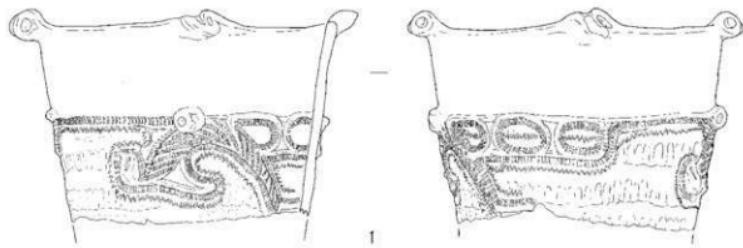
第128図 2号住居跡出土土器・土製品



第129図 3号住跡出土土器

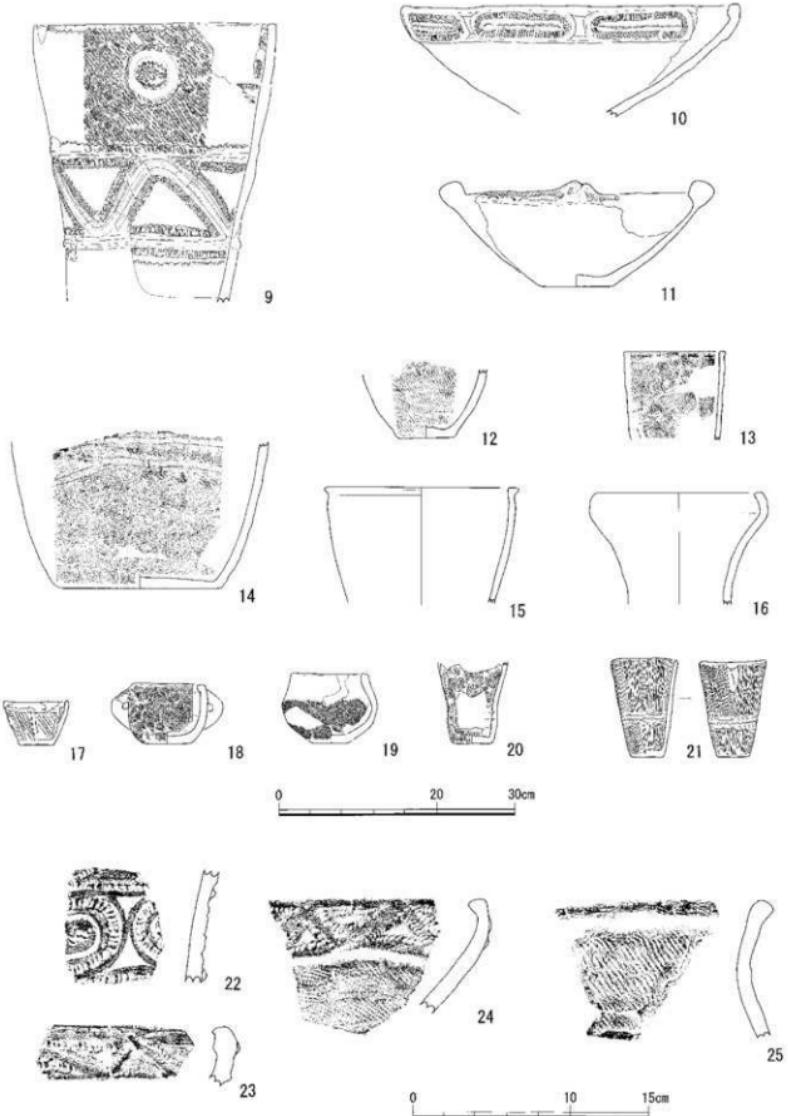


第130図 4号住居跡出土土器・土製品

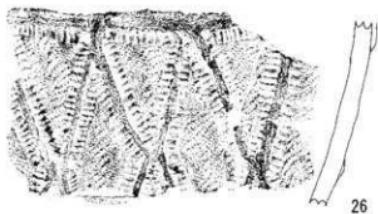


0 20 30cm

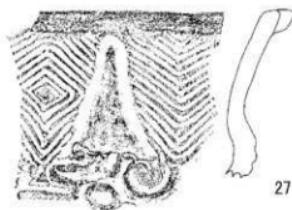
第131図 5号住居跡出土土器



第132図 5号住居跡出土土器



26



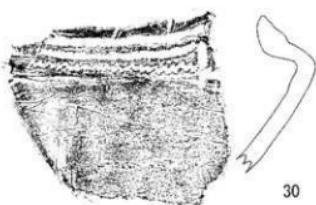
27



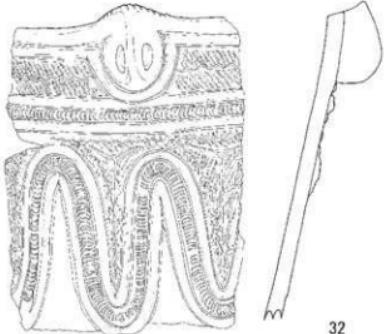
28



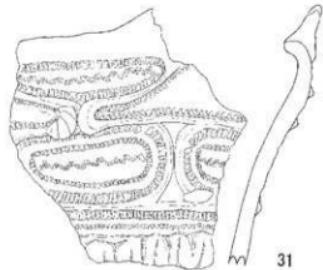
29



30



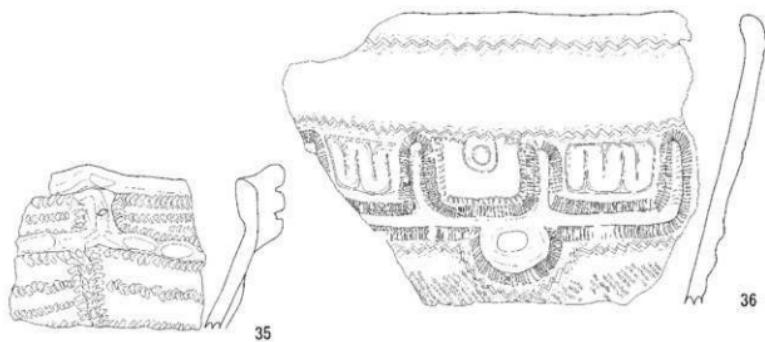
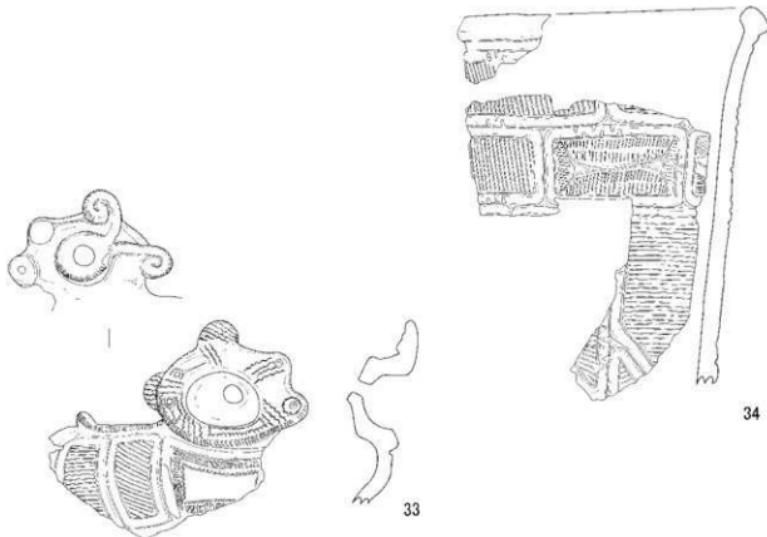
32



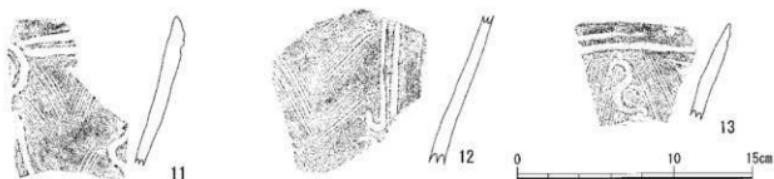
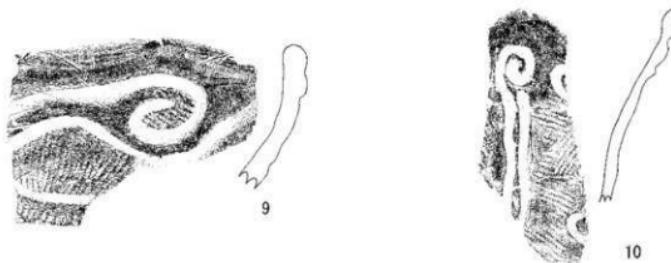
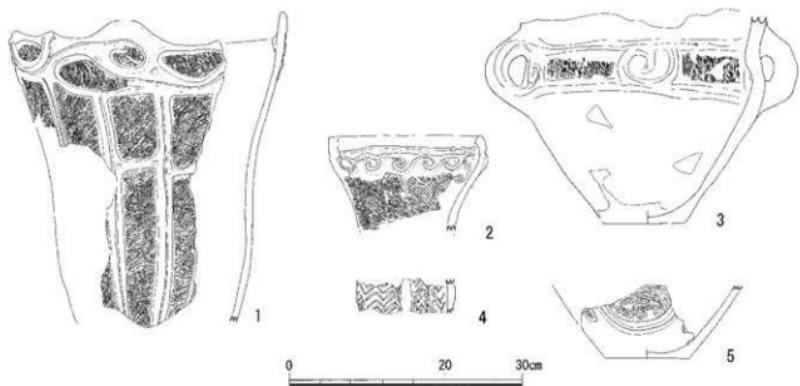
31

0 10 15cm

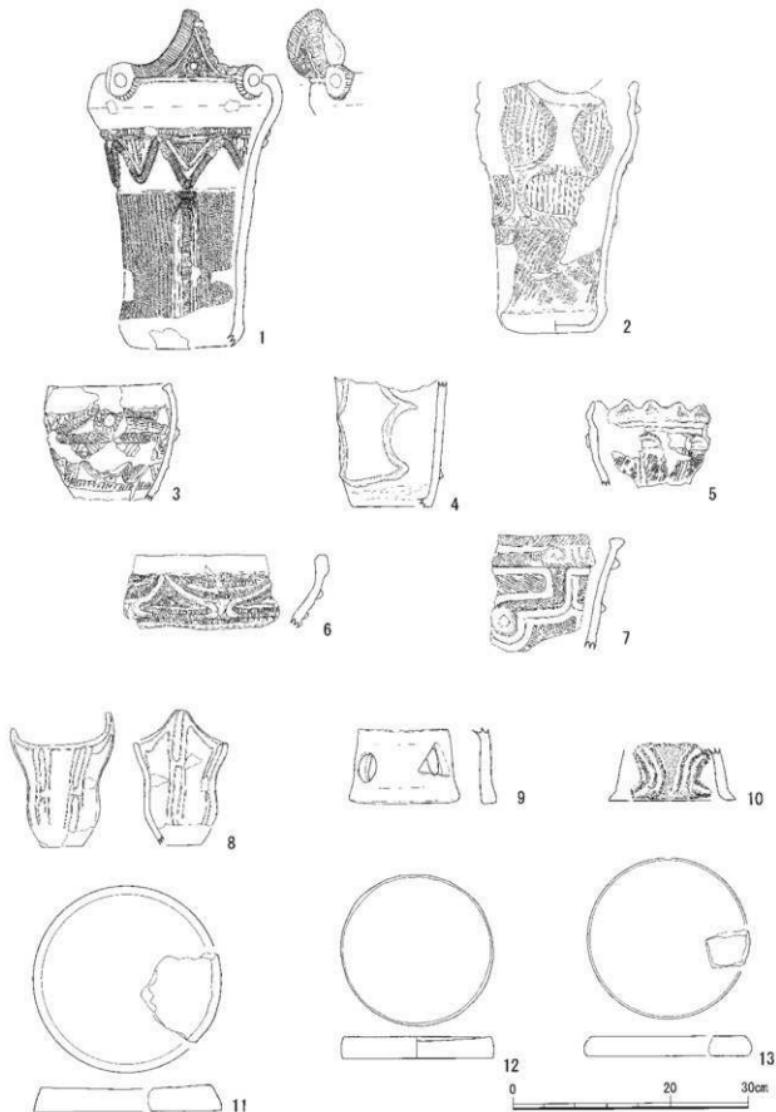
第133図 5号住居跡出土土器



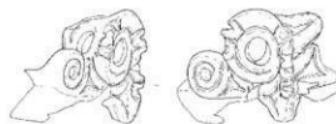
第134図 5号住居跡出土土器



第135図 6号住居跡出土土器

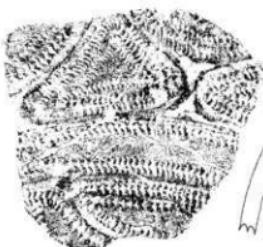


第136図 7号住居跡出土土器・土製品



14

0 20 30cm



16



17



18



19



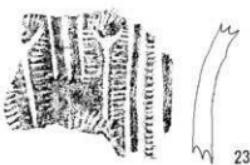
20



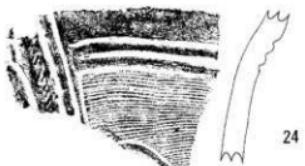
21



22



23



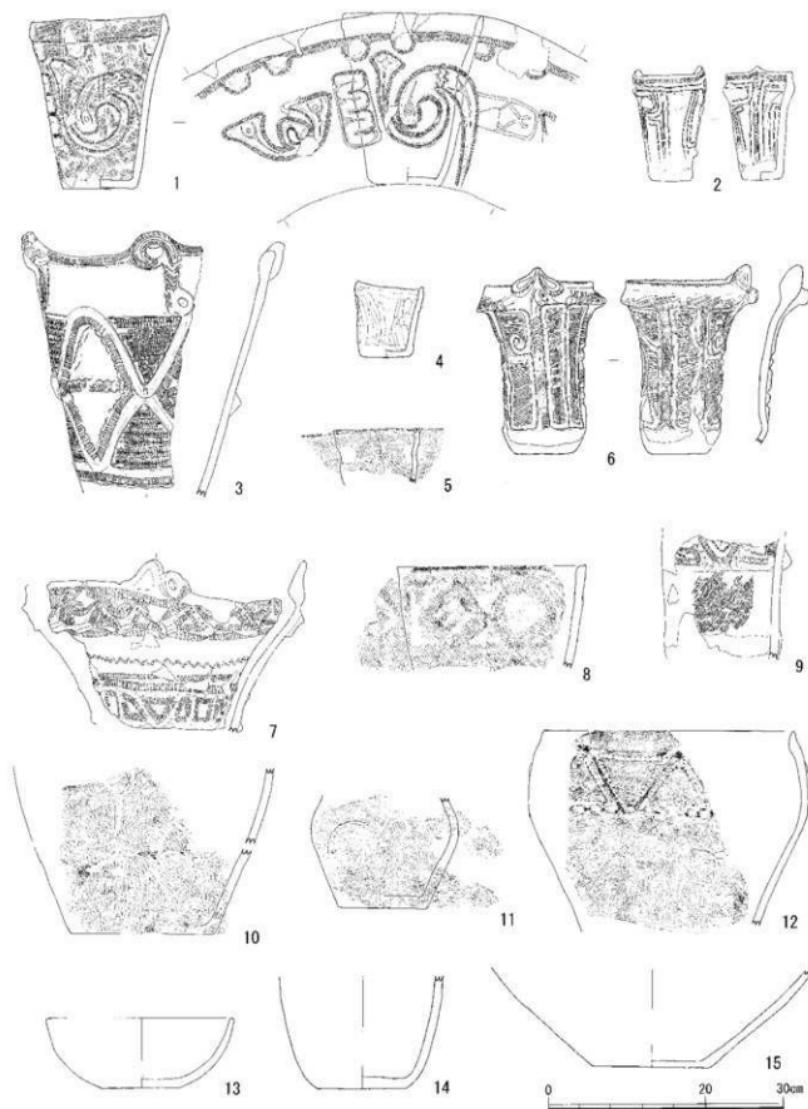
24

0 10 15cm

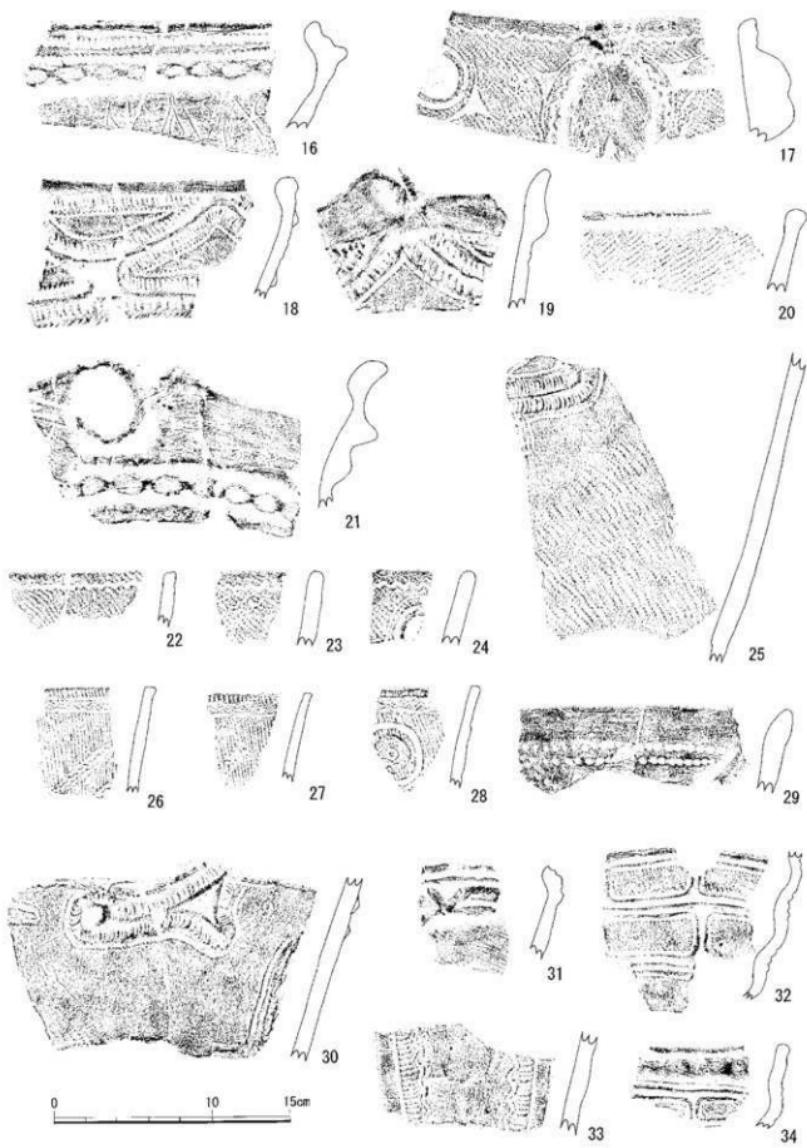


25

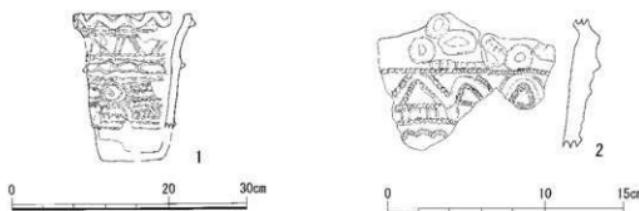
第137図 7号住居跡出土土器



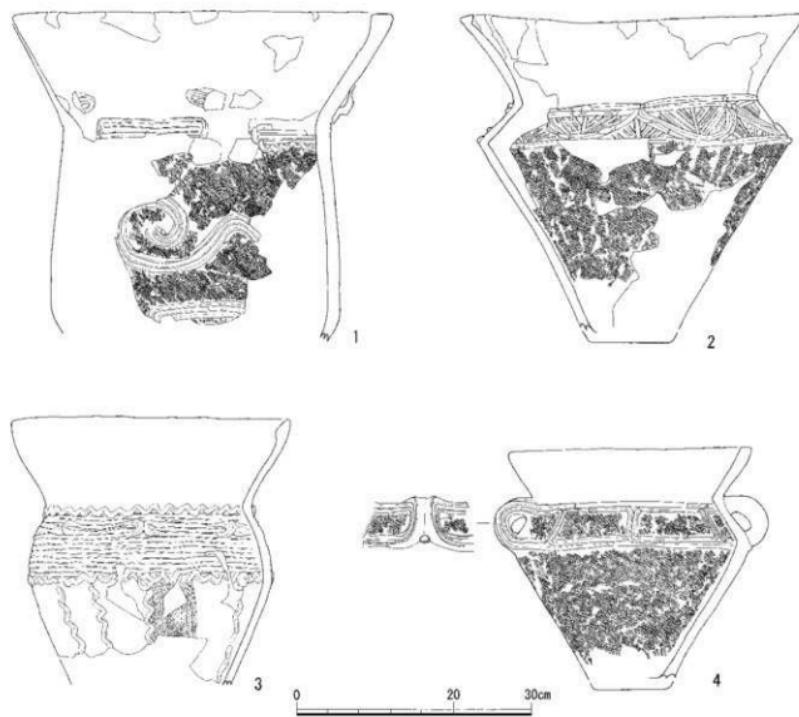
第138図 7・8号住居跡出土土器



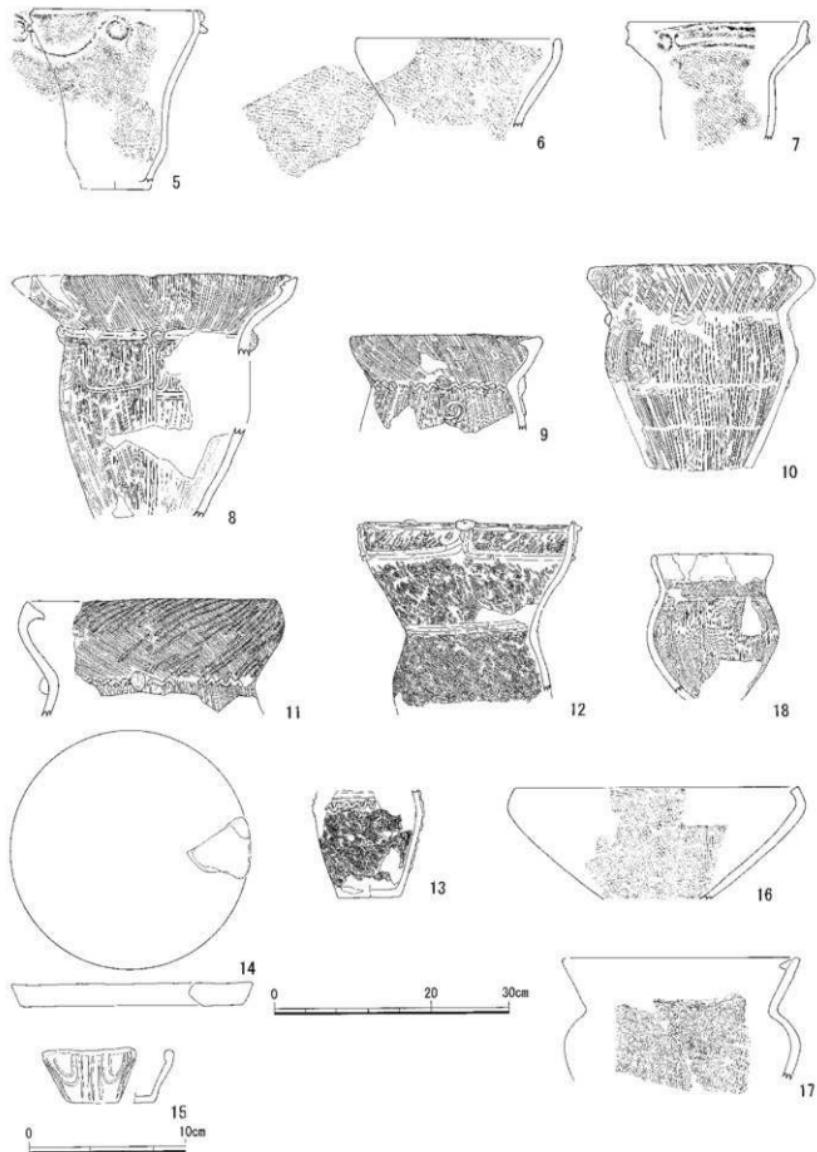
第139図 8号住居跡出土土器



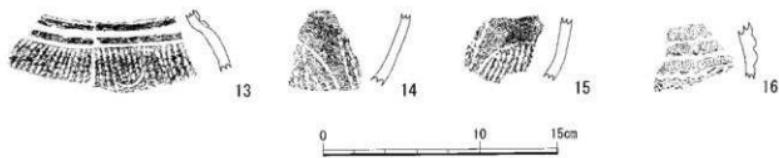
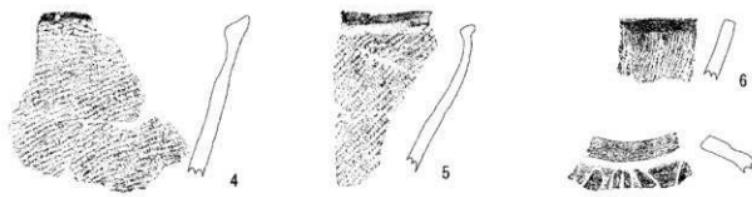
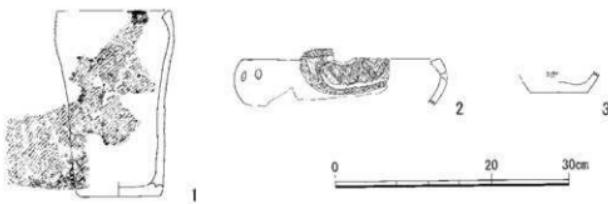
第140図 9号住居跡出土土器



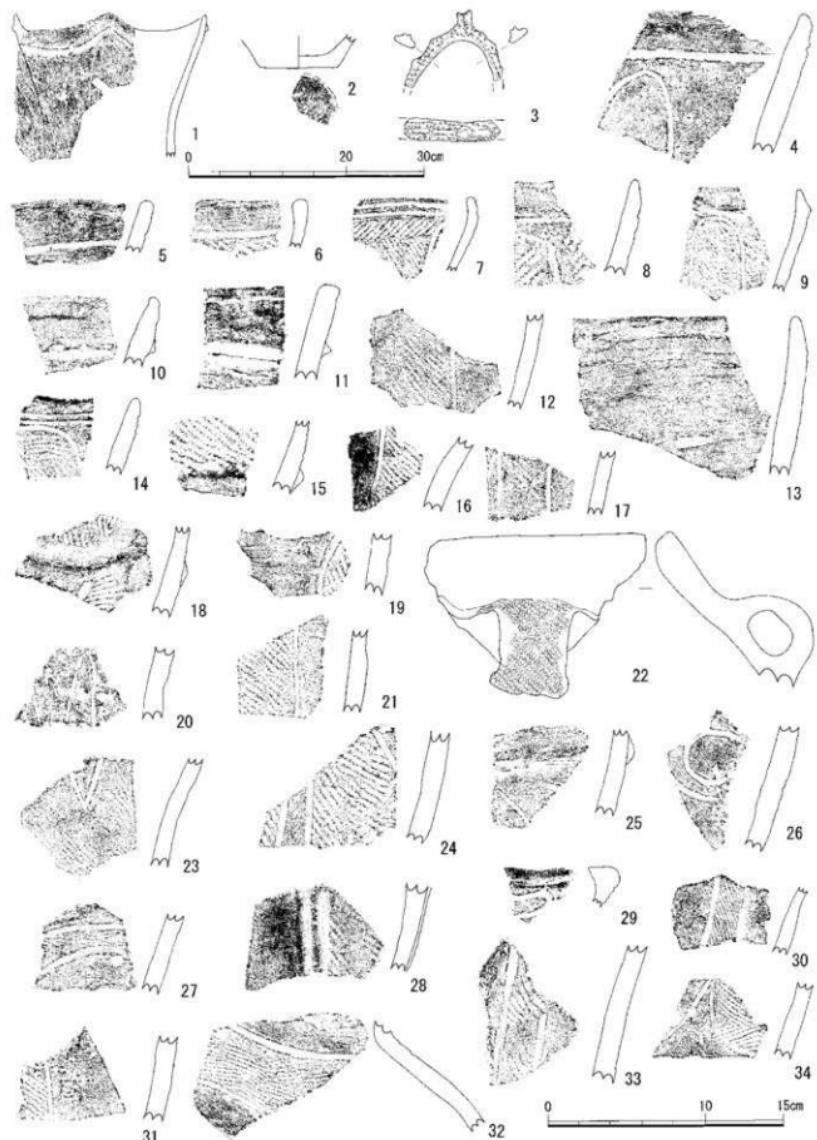
第141図 10号住居跡出土土器



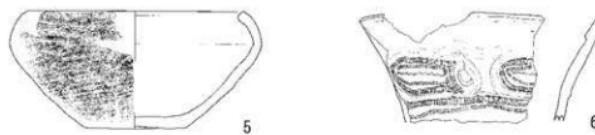
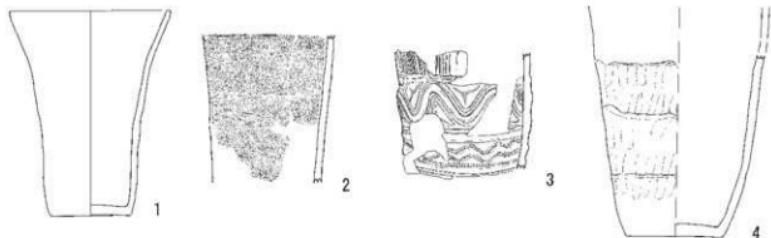
第142図 10号住居跡出土土器・土製品



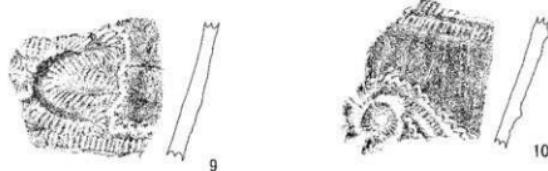
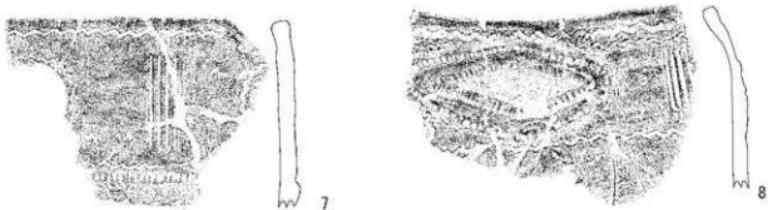
第143図 11号住居跡出土土器



第144図 12号住居跡出土土器

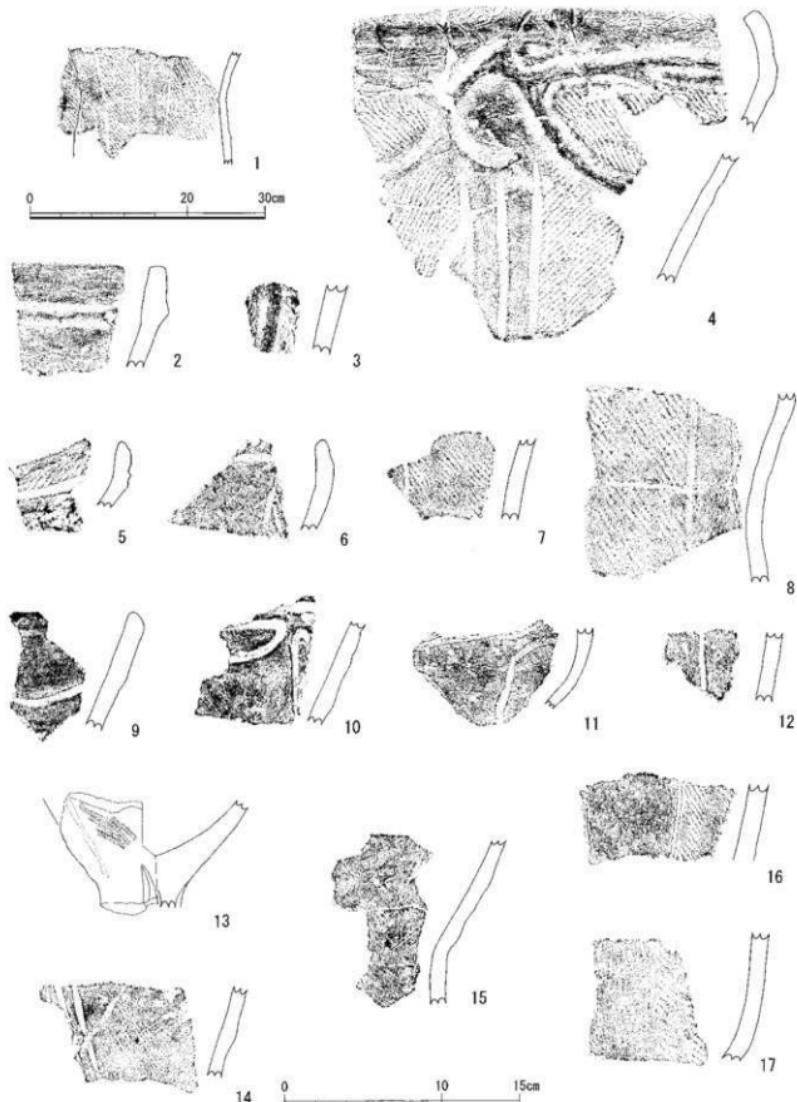


0 20 30cm

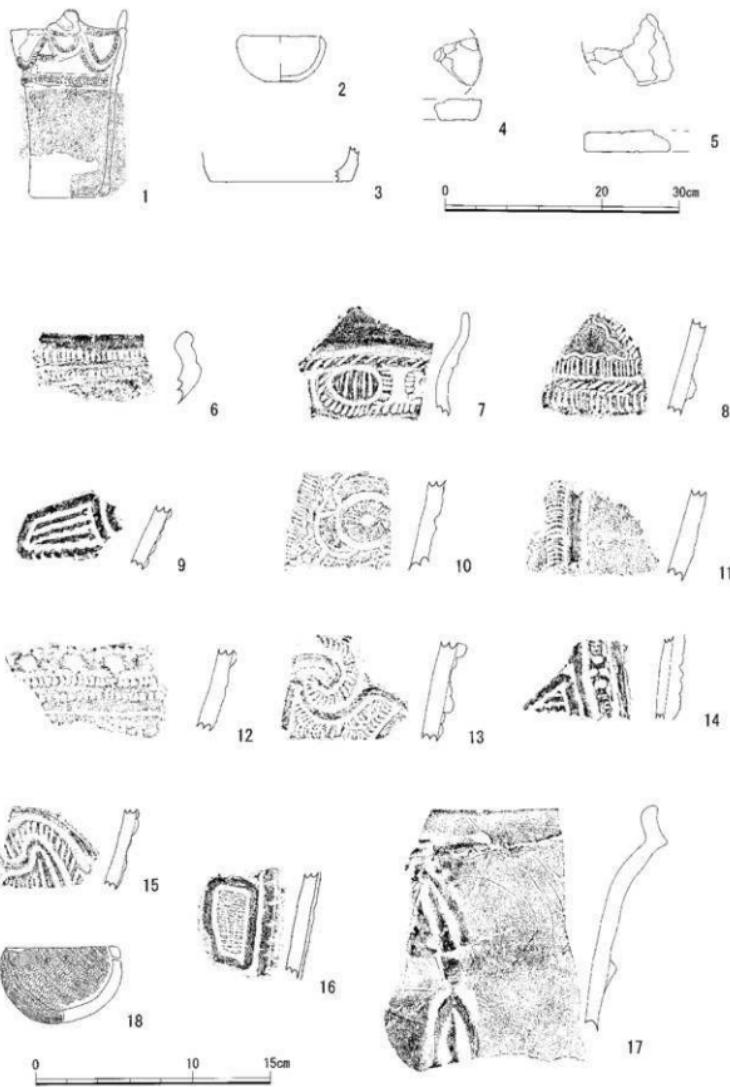


0 10 15cm

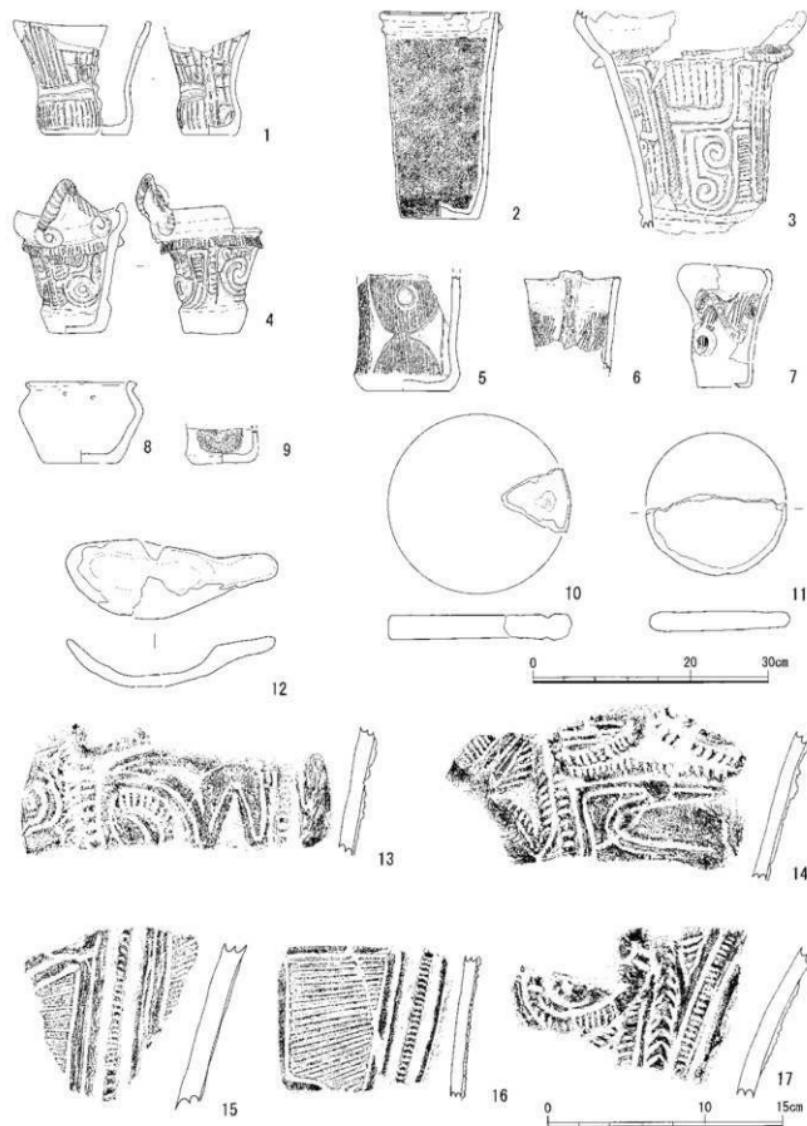
第145図 13号住居跡出土土器



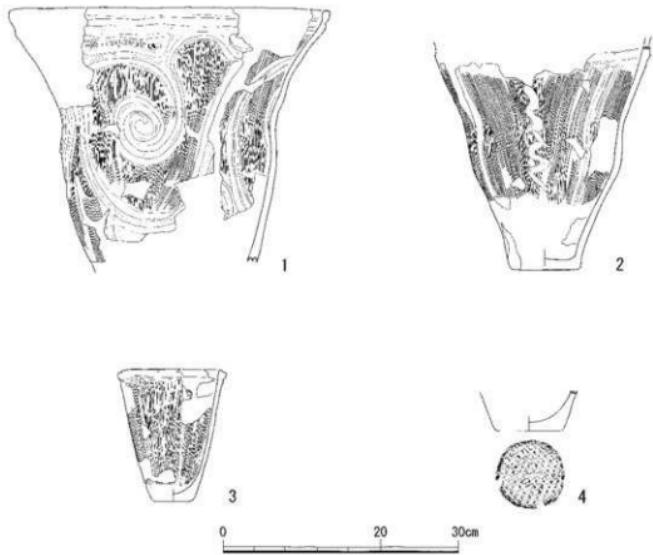
第146図 14号住居跡出土土器



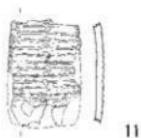
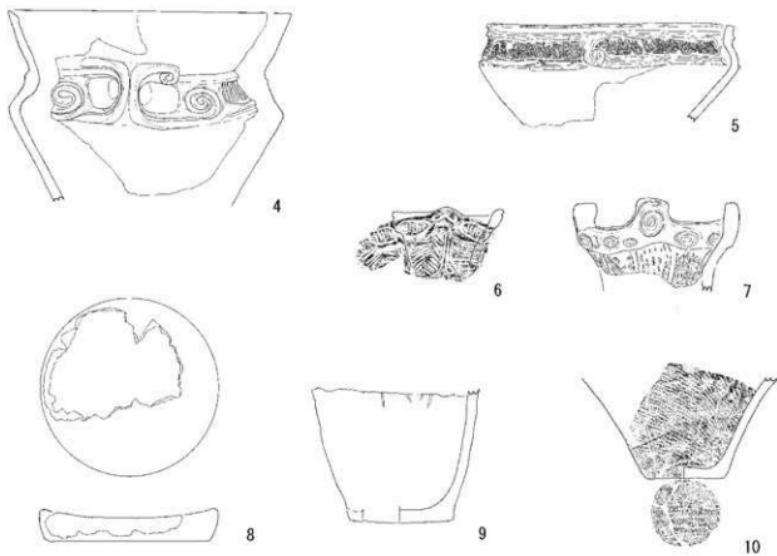
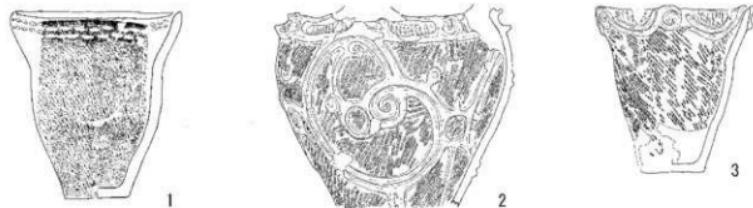
第147図 15号住居跡出土土器・土製品



第148図 16号住居跡出土土器・土製品

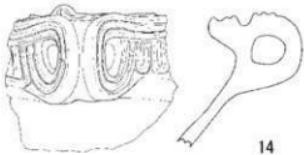


第149図 17号住居跡出土土器

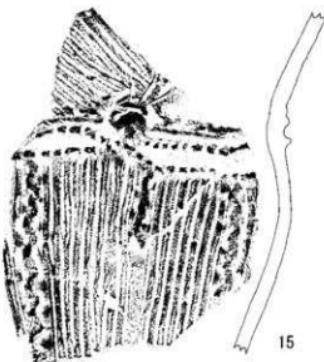


0 20 30cm

第150図 18号住居跡出土土器・土製品



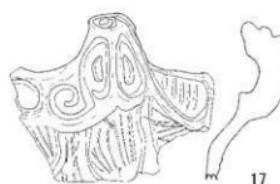
14



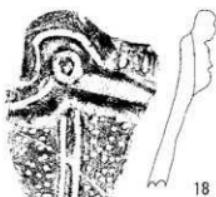
15



16



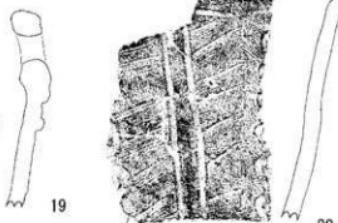
17



18



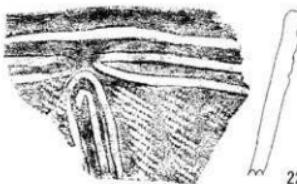
19



20



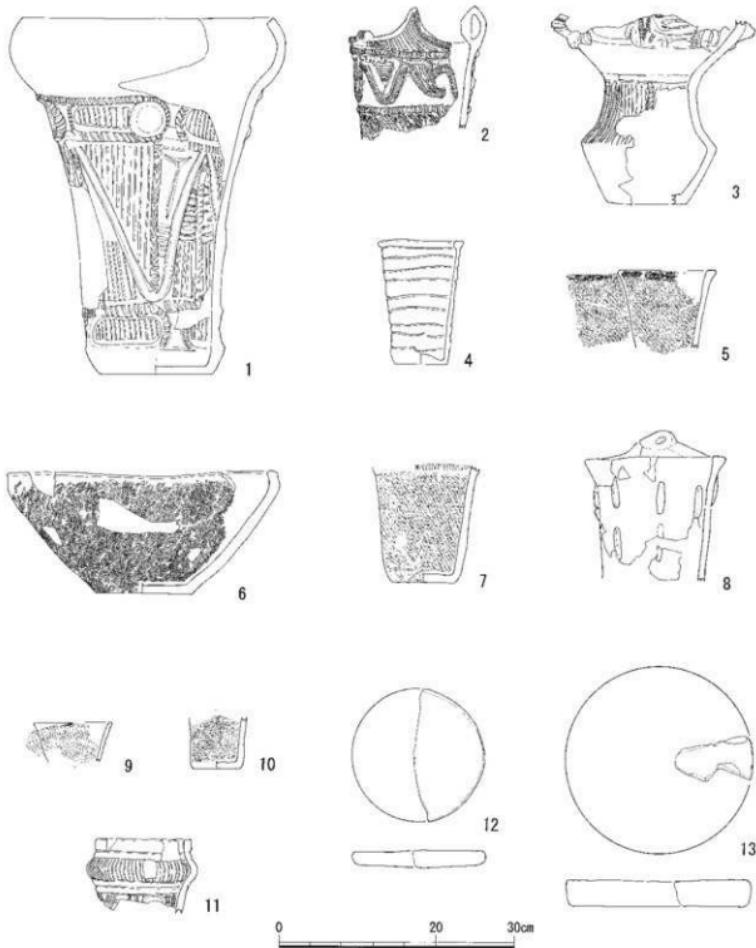
21



22

0 10 15cm

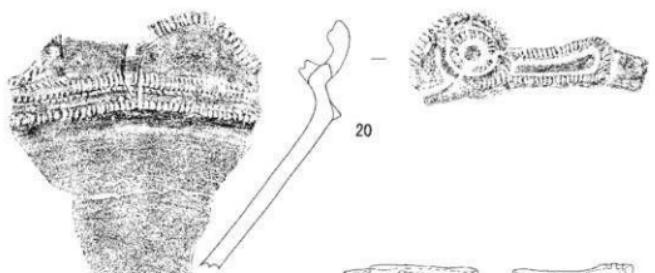
第151図 18号住居跡出土土器



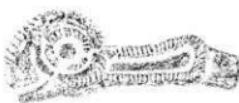
第152図 19号住居跡出土土器・土製品



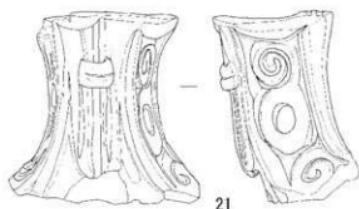
第153図 19号住居跡出土土器



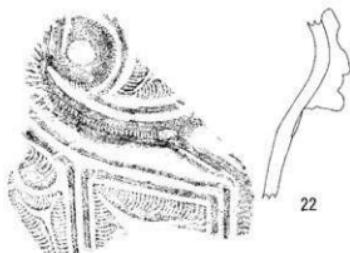
20



—



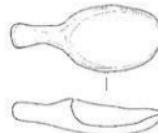
21



22

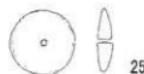


23



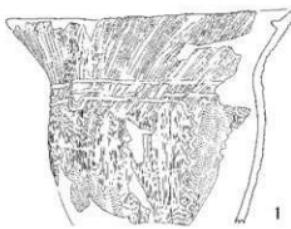
24

0                  10                  15cm

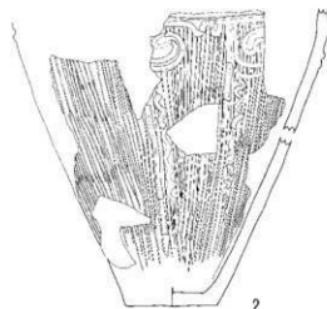


25

第154図 19号住居跡出土土器・土製品



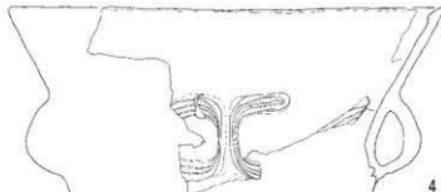
1



2



3

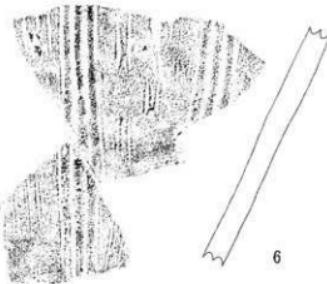


4

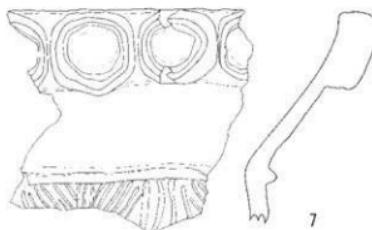
0 20 30cm



5



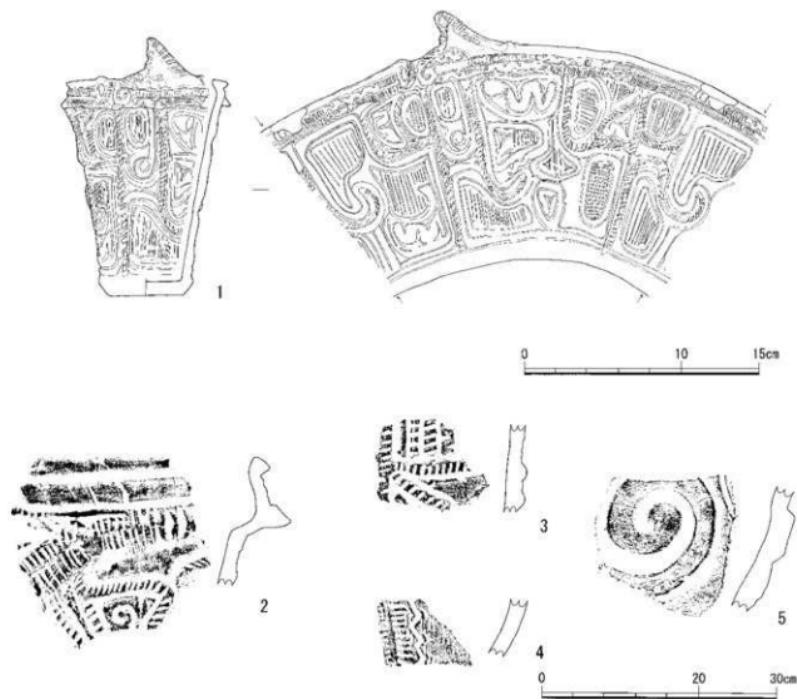
6



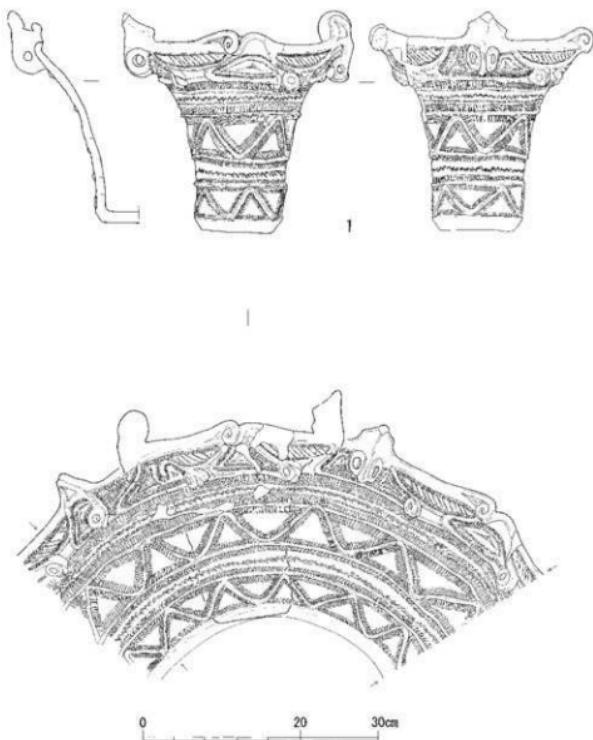
7

0 10 15cm

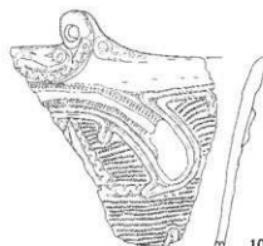
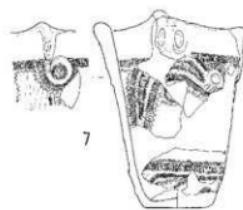
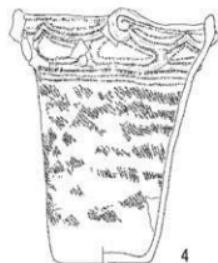
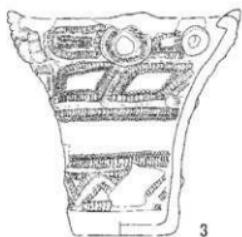
第155図 20号住居跡出土土器



第156図 21号住居跡出土土器

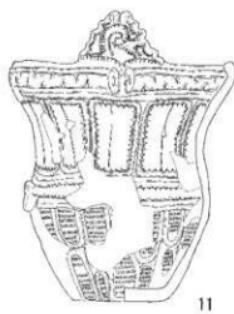


第157図 22号住居跡出土土器

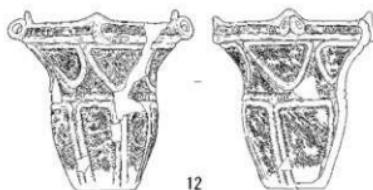


0 20 30cm

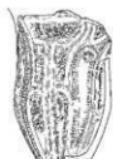
第158図 22号住居跡出土土器



11



12



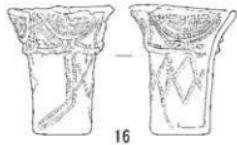
13



14



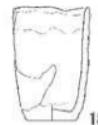
15



16



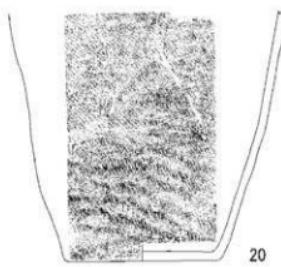
17



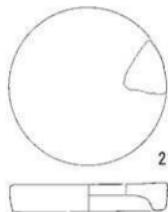
18



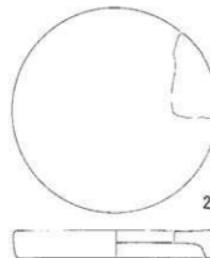
19



20

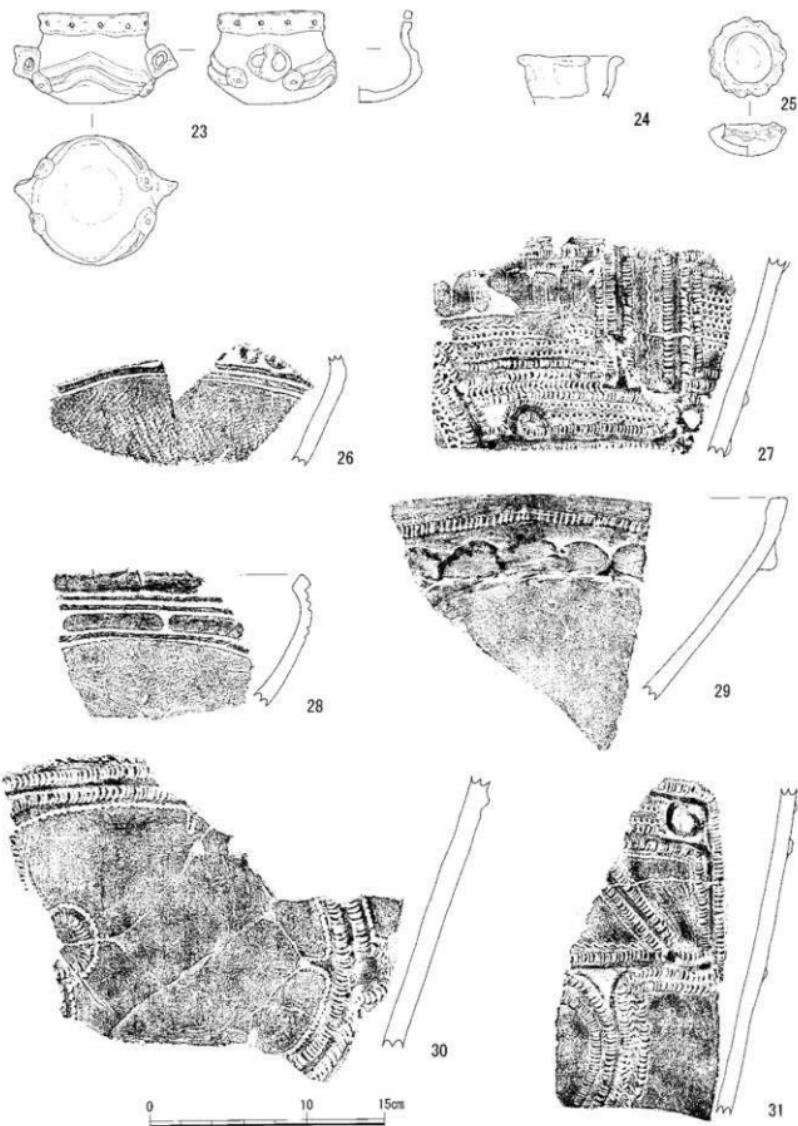


21

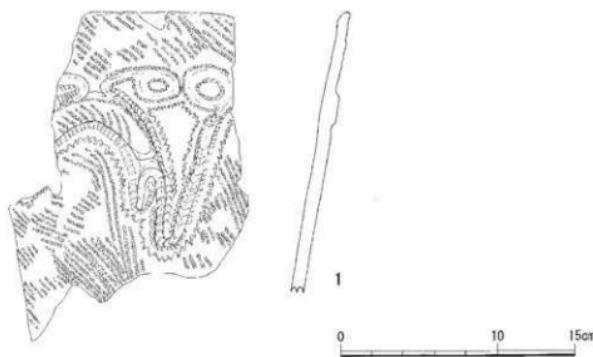


22

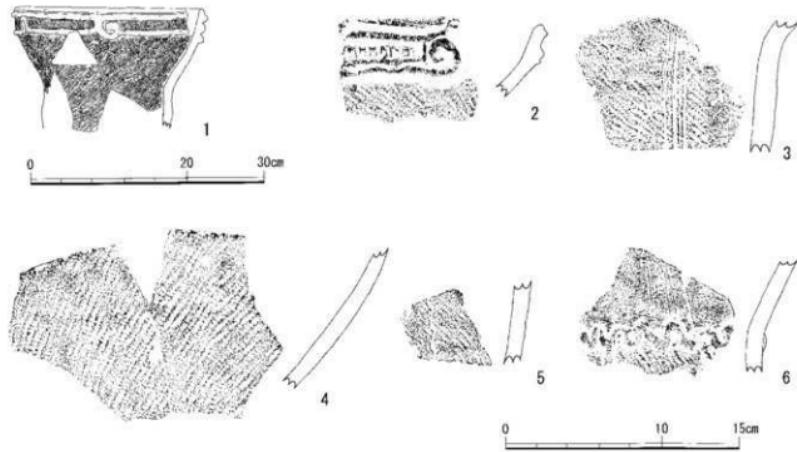
第159図 22号住居跡出土土器・土製品



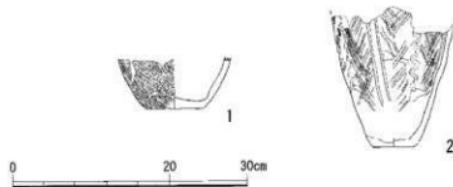
第160図 22号住居跡出土土器



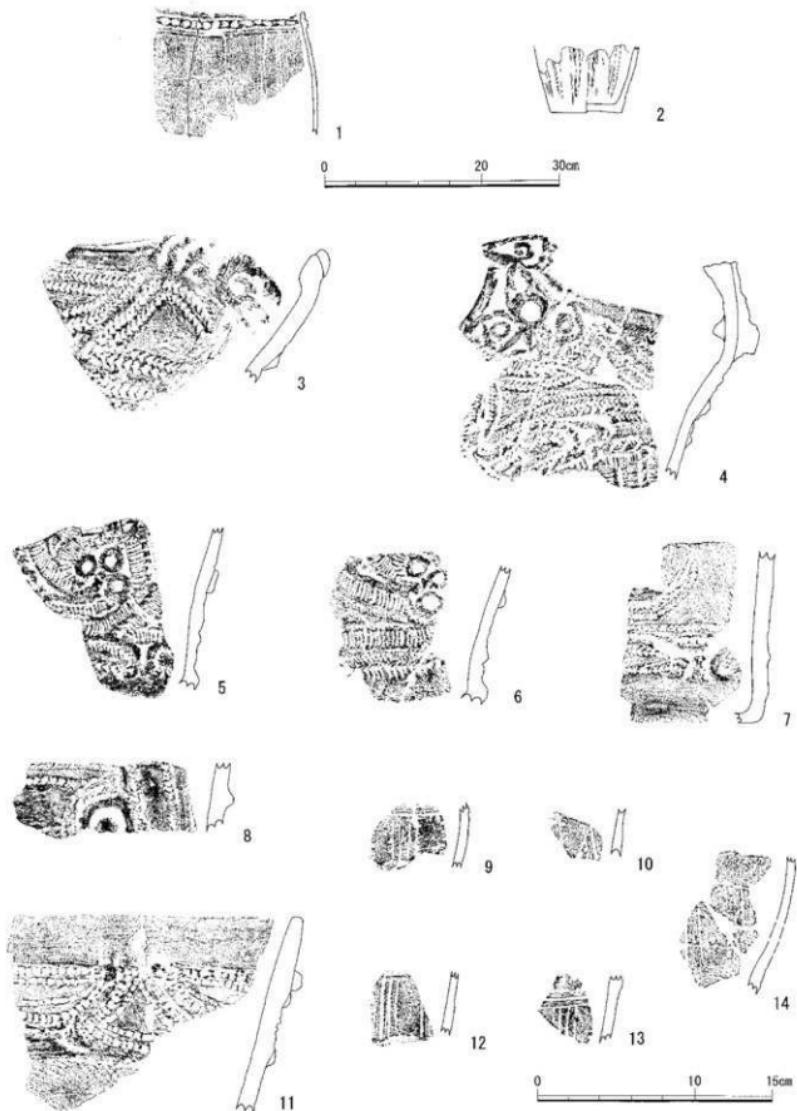
第161図 23号住居跡出土土器



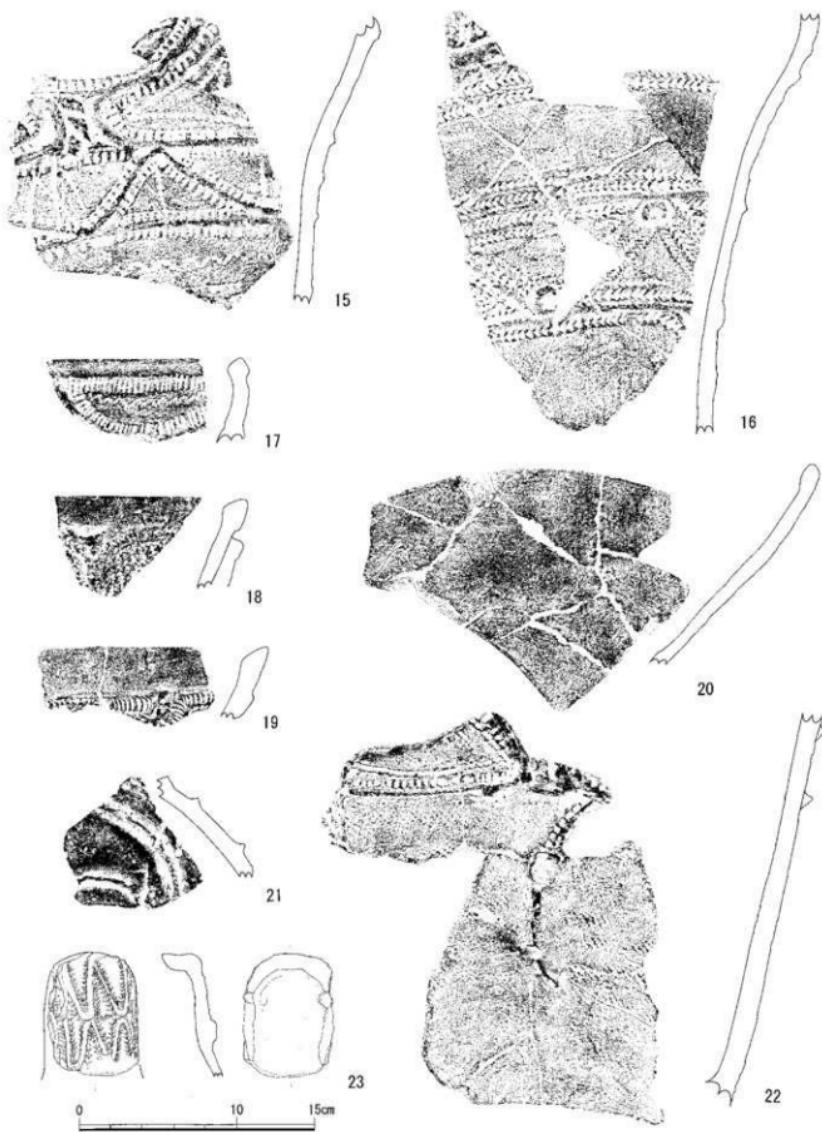
第162図 24号住居跡出土土器



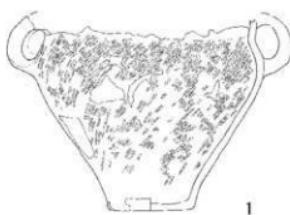
第163図 25号住居跡出土土器



第164図 26号住居跡出土土器

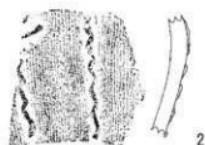


第165図 26号住居跡出土土器



1

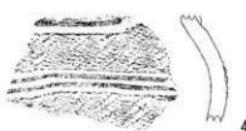
0 20 30cm



2



3



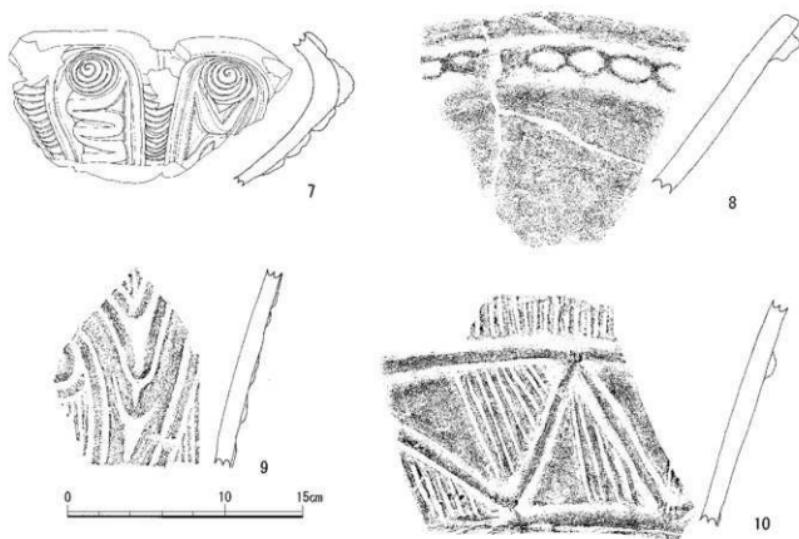
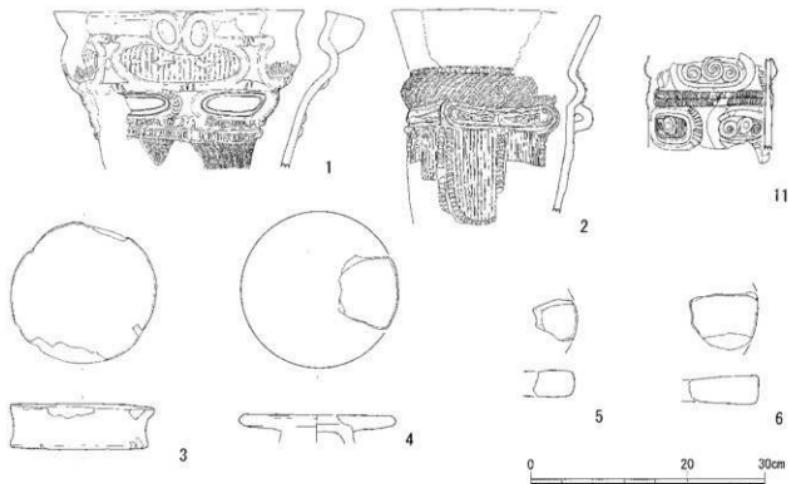
4



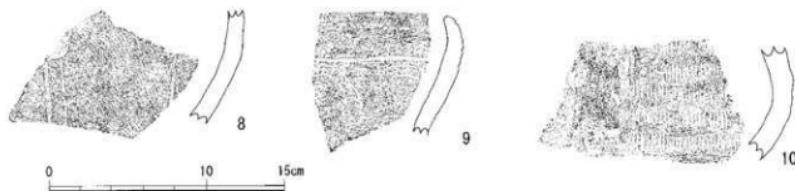
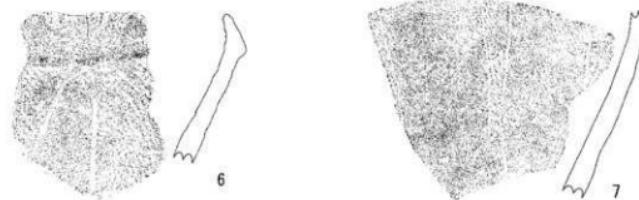
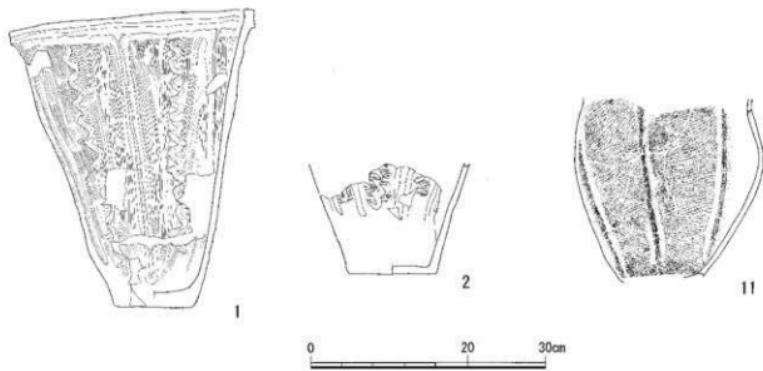
5

0 10 15cm

第166図 27号住居跡出土土器



第167図 28号住居跡出土土器・土製品



第168図 29号住居跡出土土器

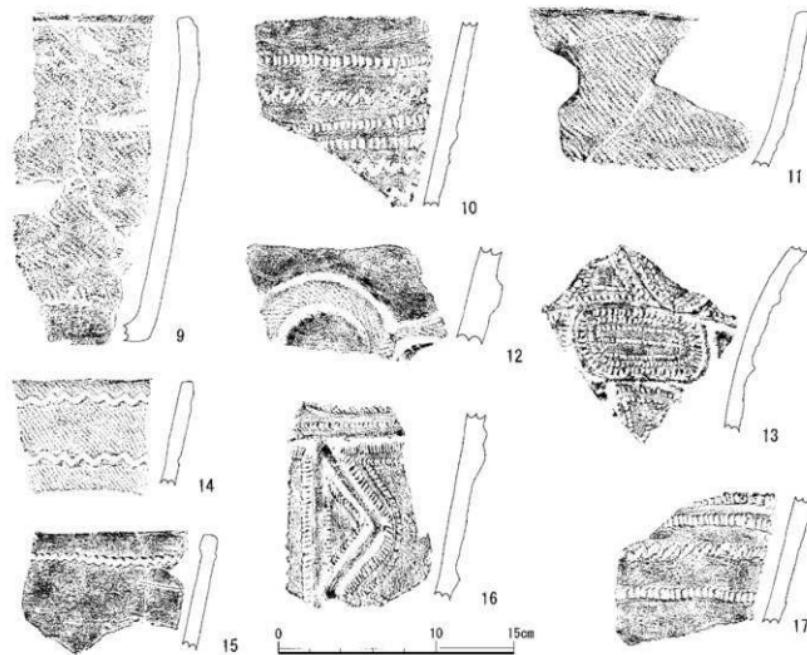
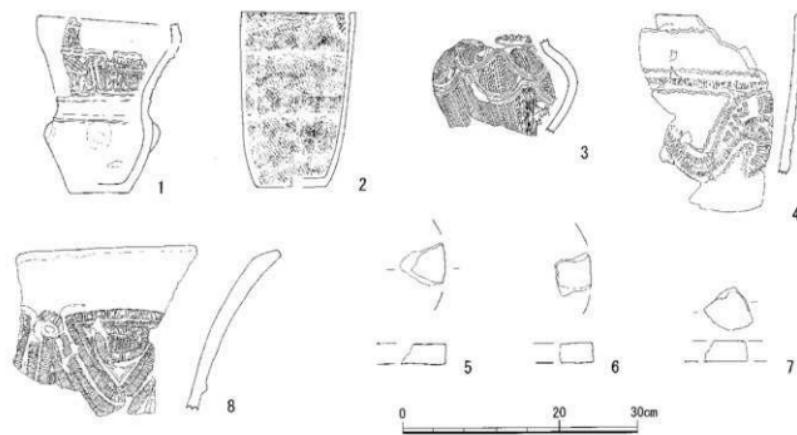


0 20 30cm

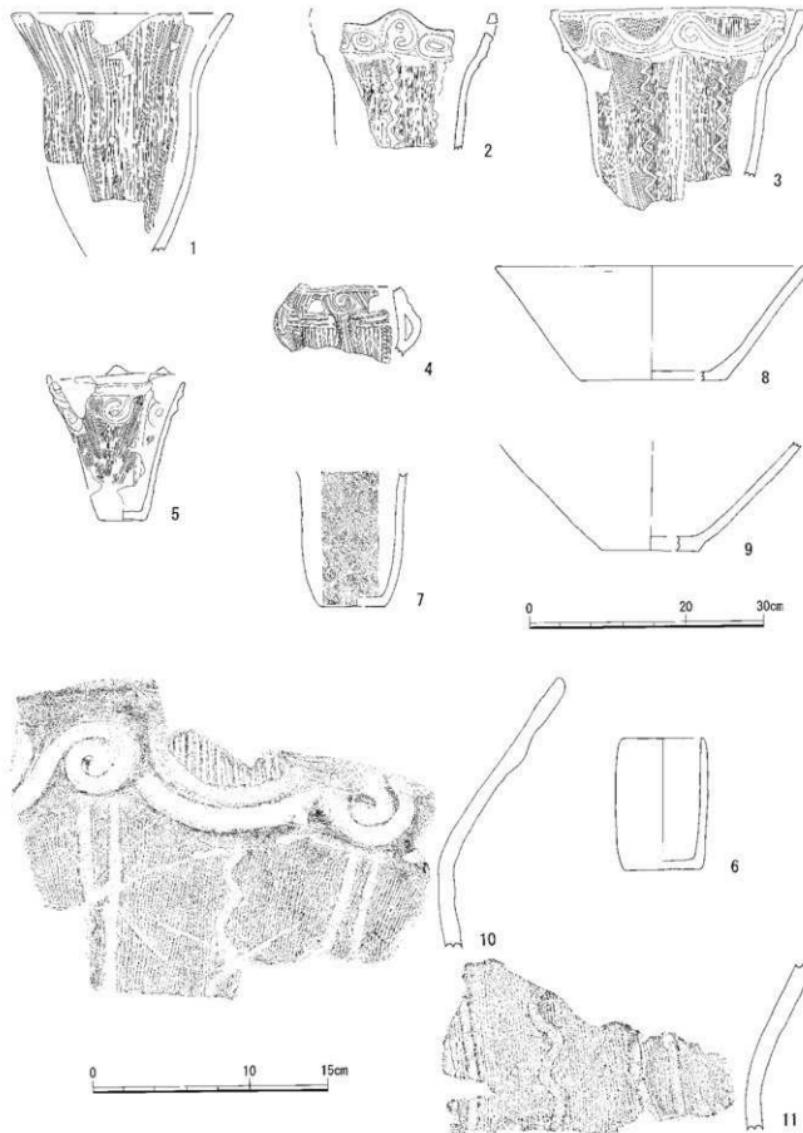


0 10 15cm

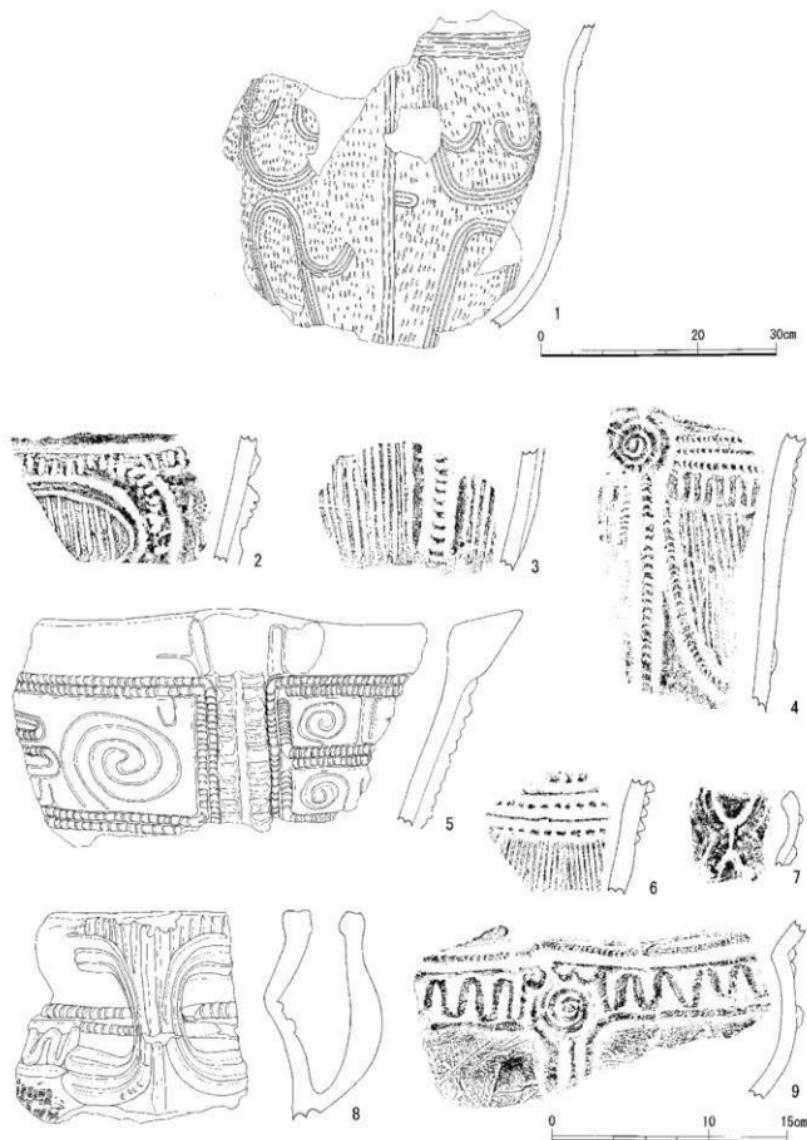
第169図 30号住跡出土土器



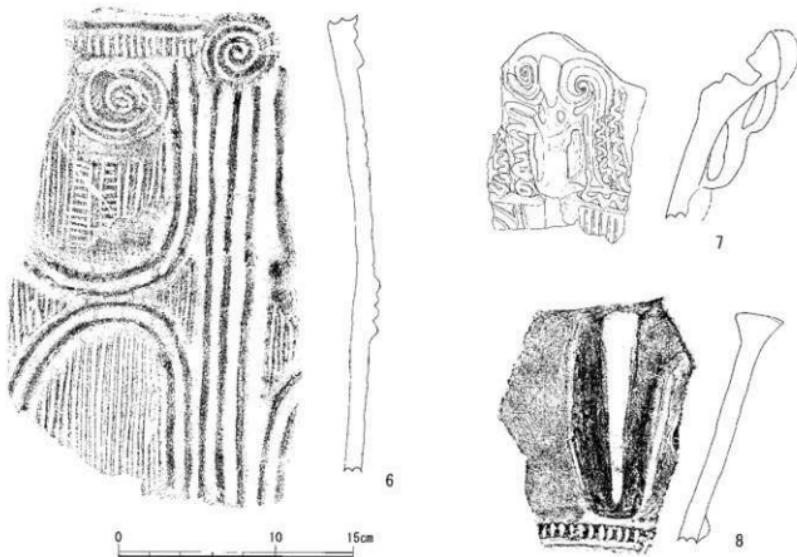
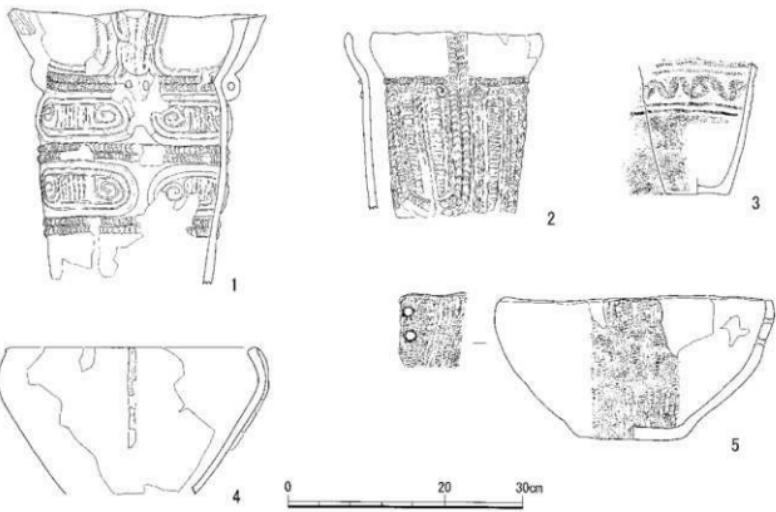
第170図 31号住居跡出土土器・土製品



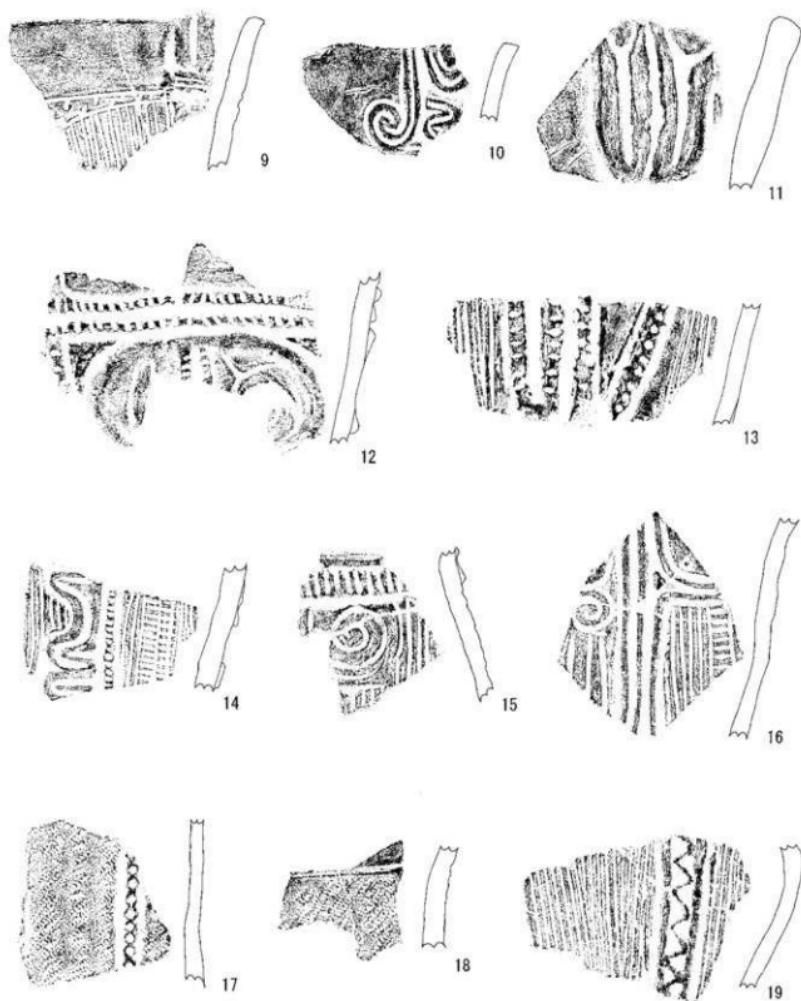
第171図 32号住居跡出土土器



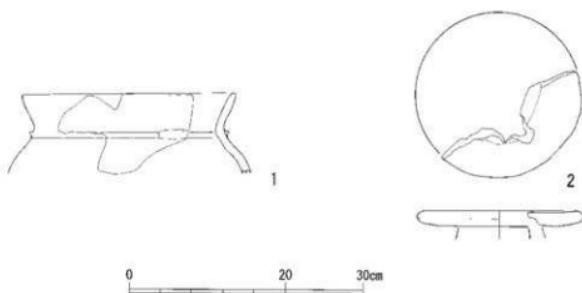
第172図 33号住居跡出土土器



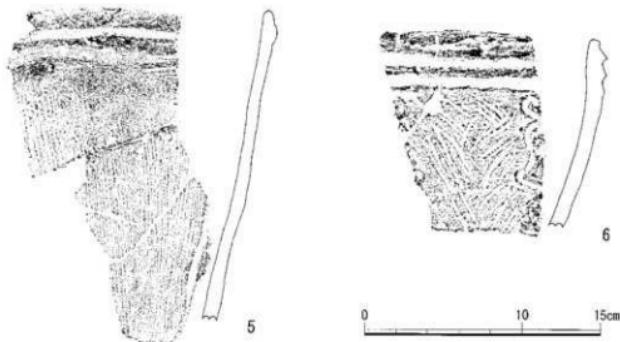
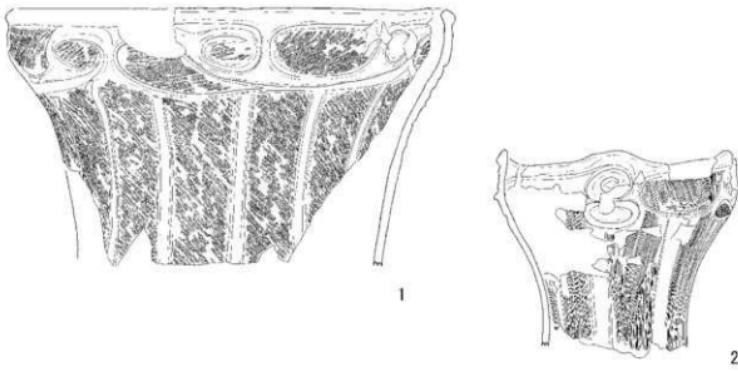
第173図 34号住居跡出土土器



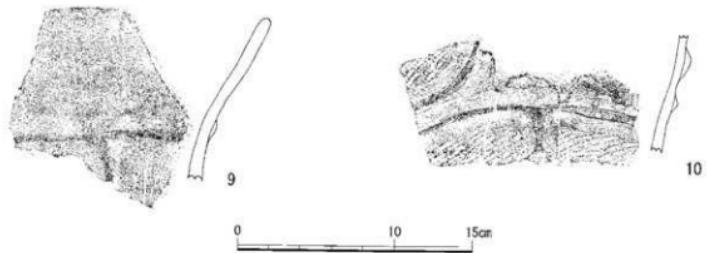
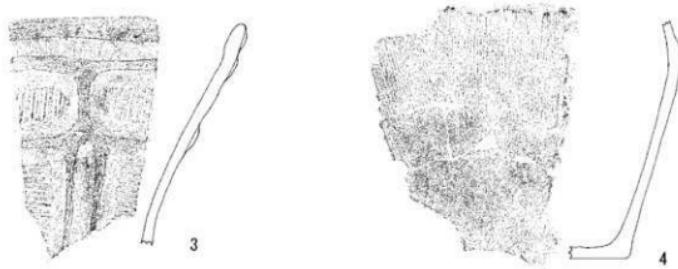
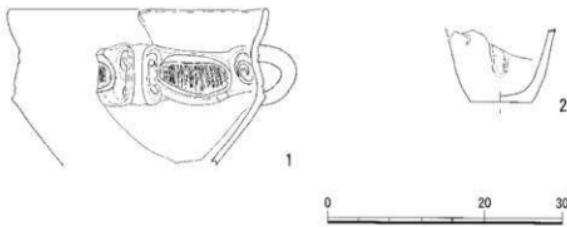
第174図 34号住跡出土土器



第175図 35号住居跡出土土器・土製品



第176図 36号住居跡出土土器



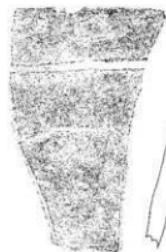
第177図 37号住居跡出土土器



11



12



13



14



15



16



17



18



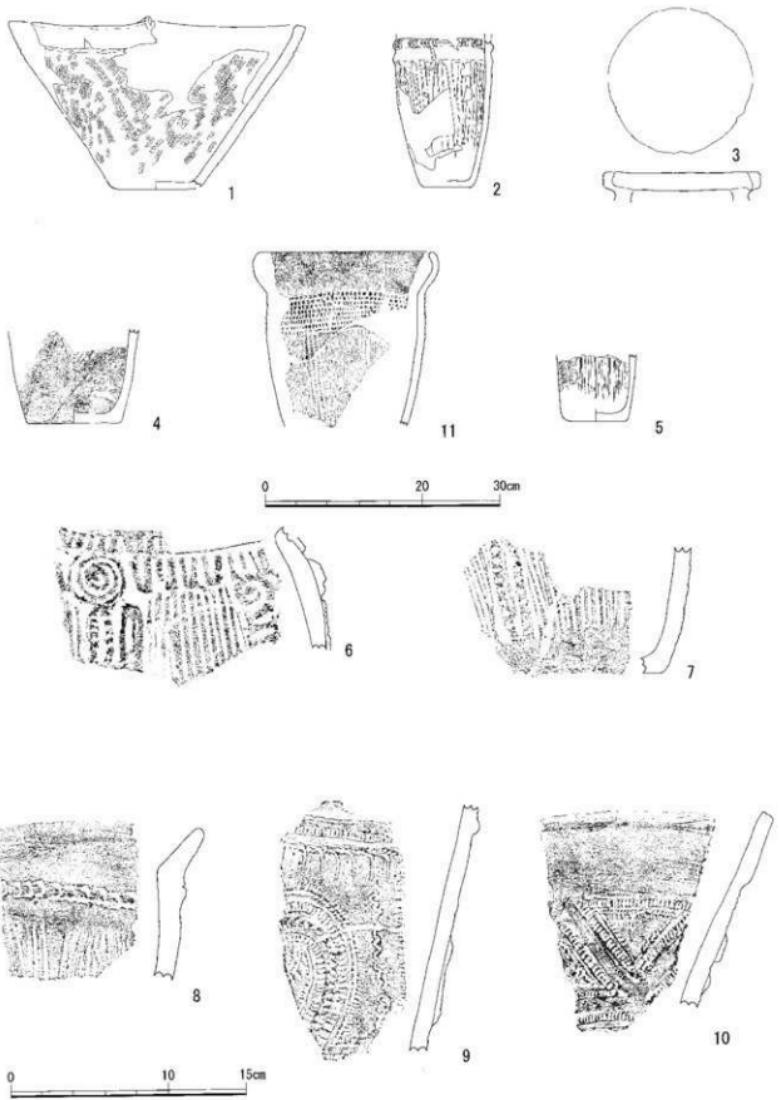
19



20

0 10 15cm

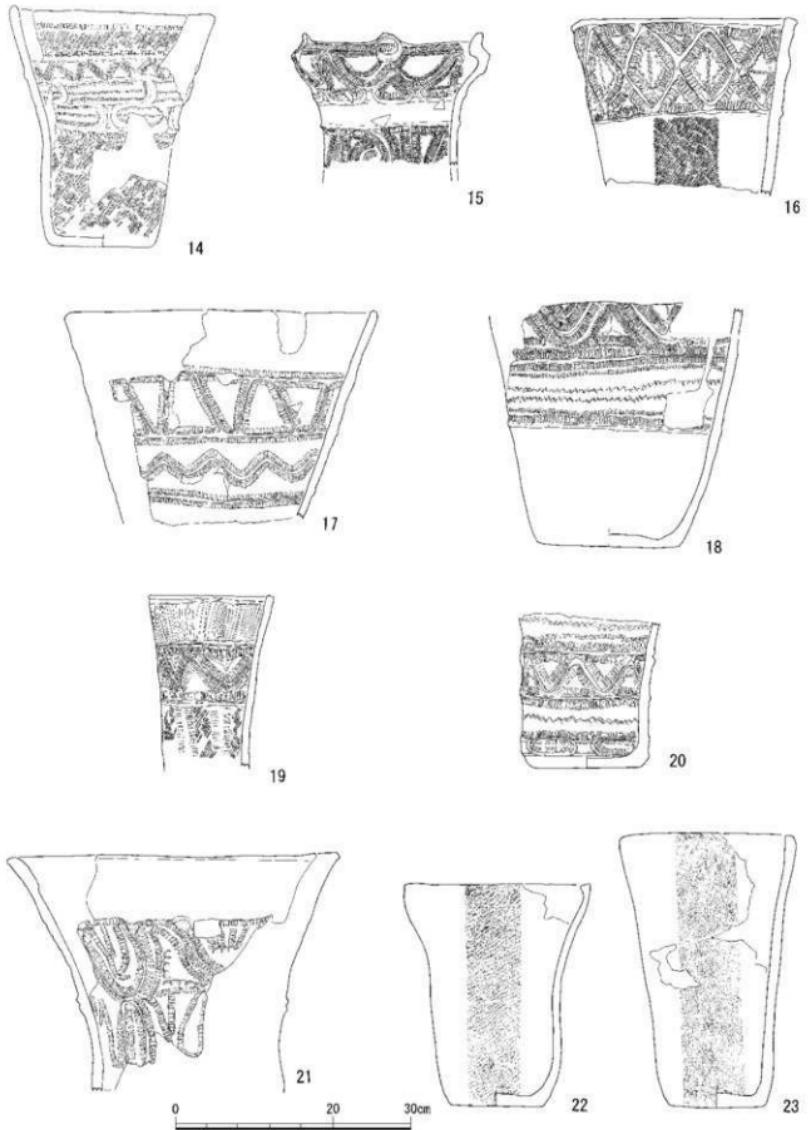
第178図 37号住跡出土土器



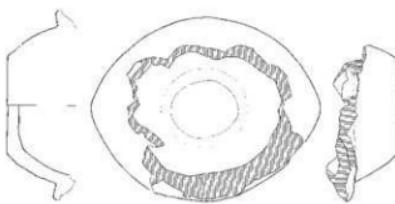
第179図 38号住居跡出土土器・土製品



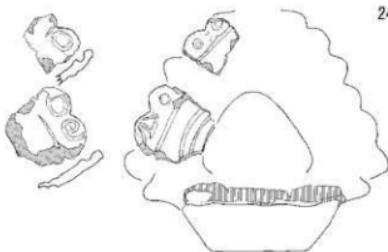
第180図 39号住居跡出土土器



第181図 39号住居跡出土土器



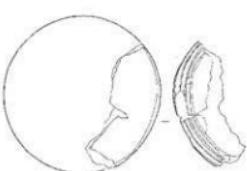
24



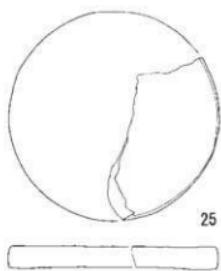
25



26



27



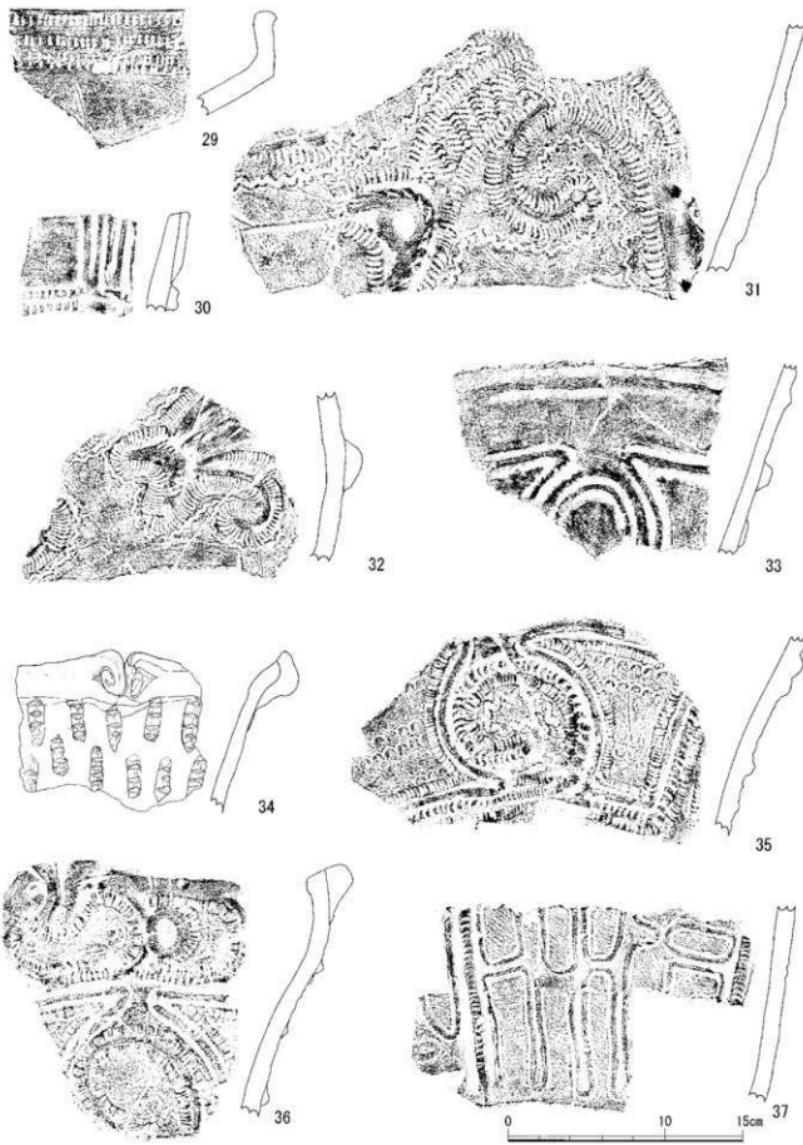
0 20 30cm



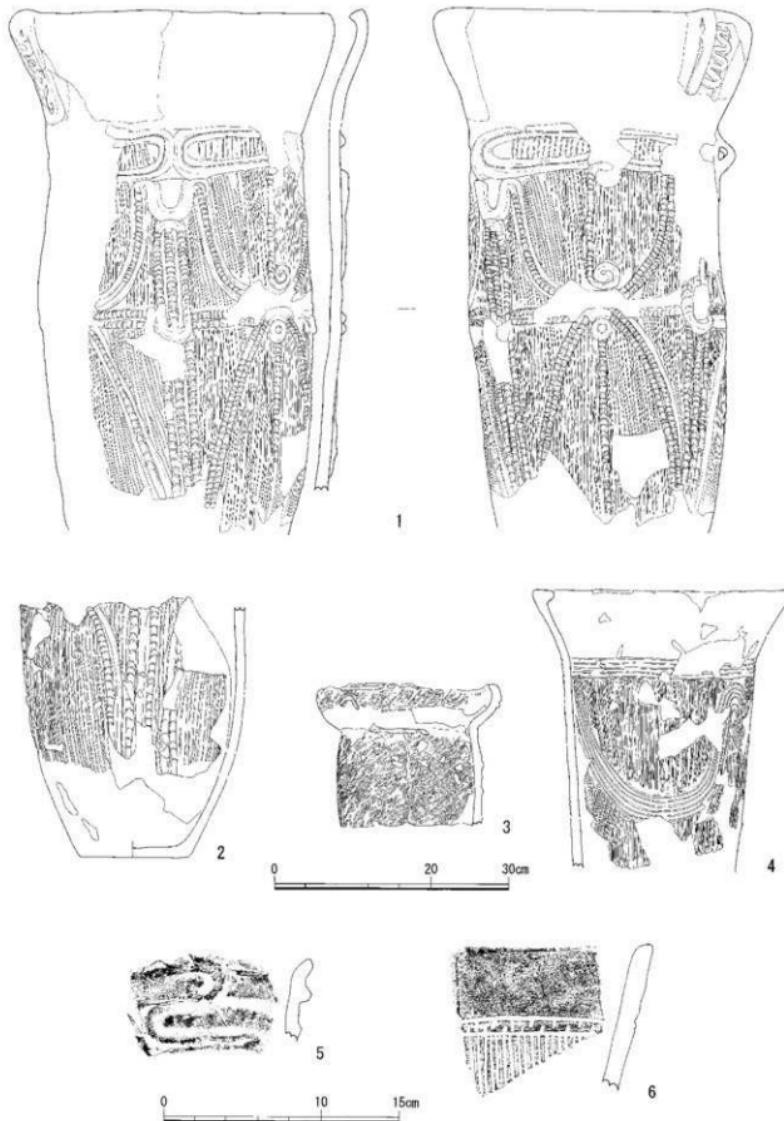
28

0 10 15cm

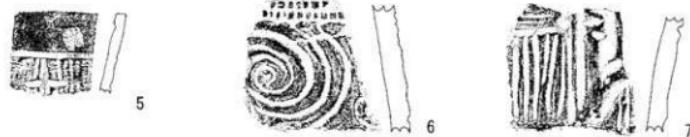
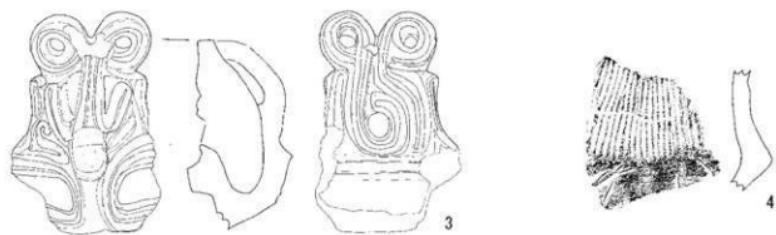
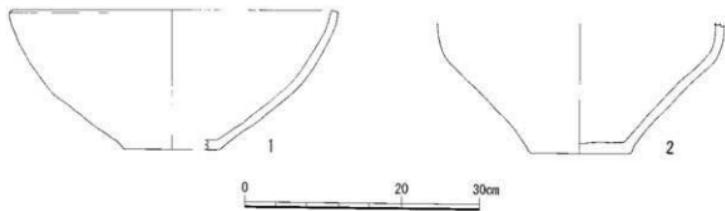
第182図 39号住居跡出土土器・土製品



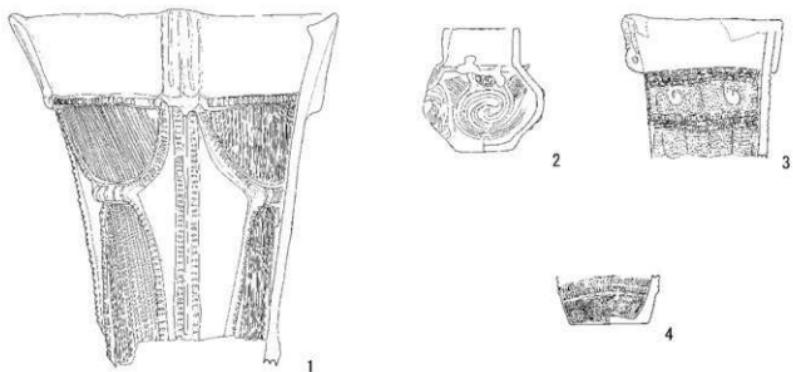
第183図 39号住居跡出土土器



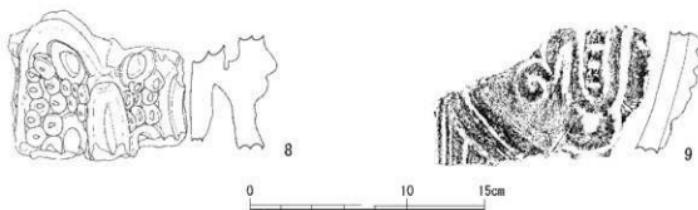
第184図 40号住居跡出土土器



第185図 41号住居跡出土土器

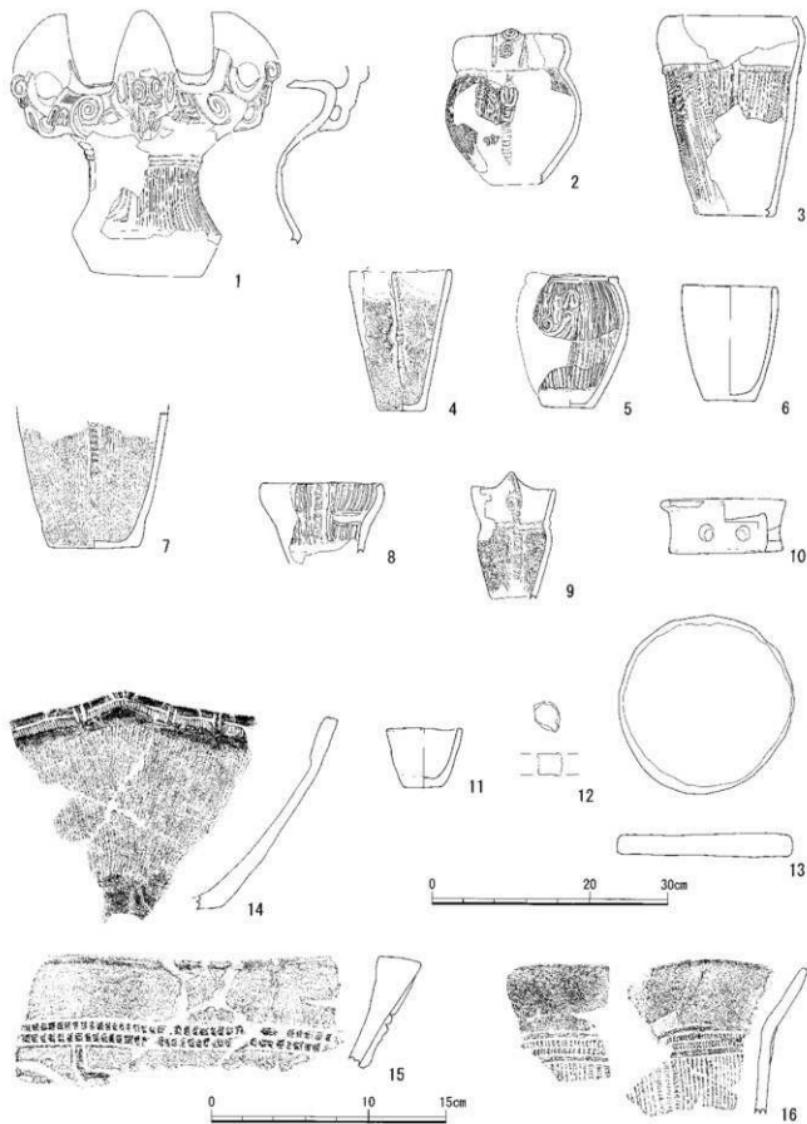


0 20 30cm

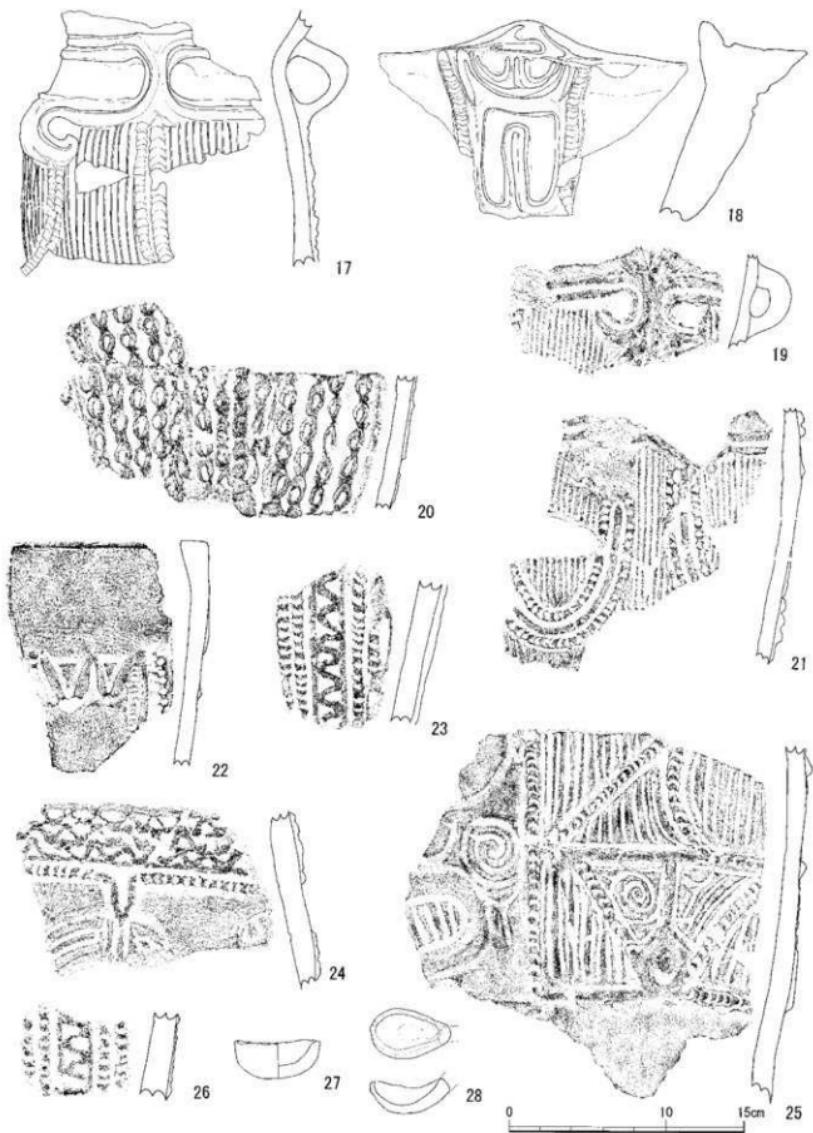


0 10 15cm

第186図 42号住居跡出土土器



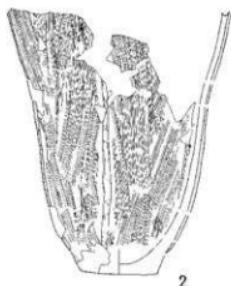
第187図 43号住居跡出土土器・土製品



第188図 43号住居跡出土土器・土製品



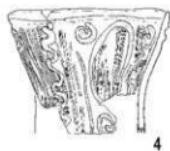
1



2



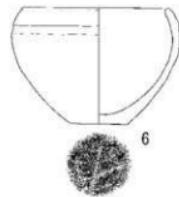
3



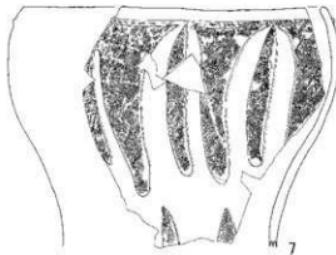
4



5



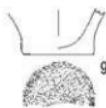
6



7



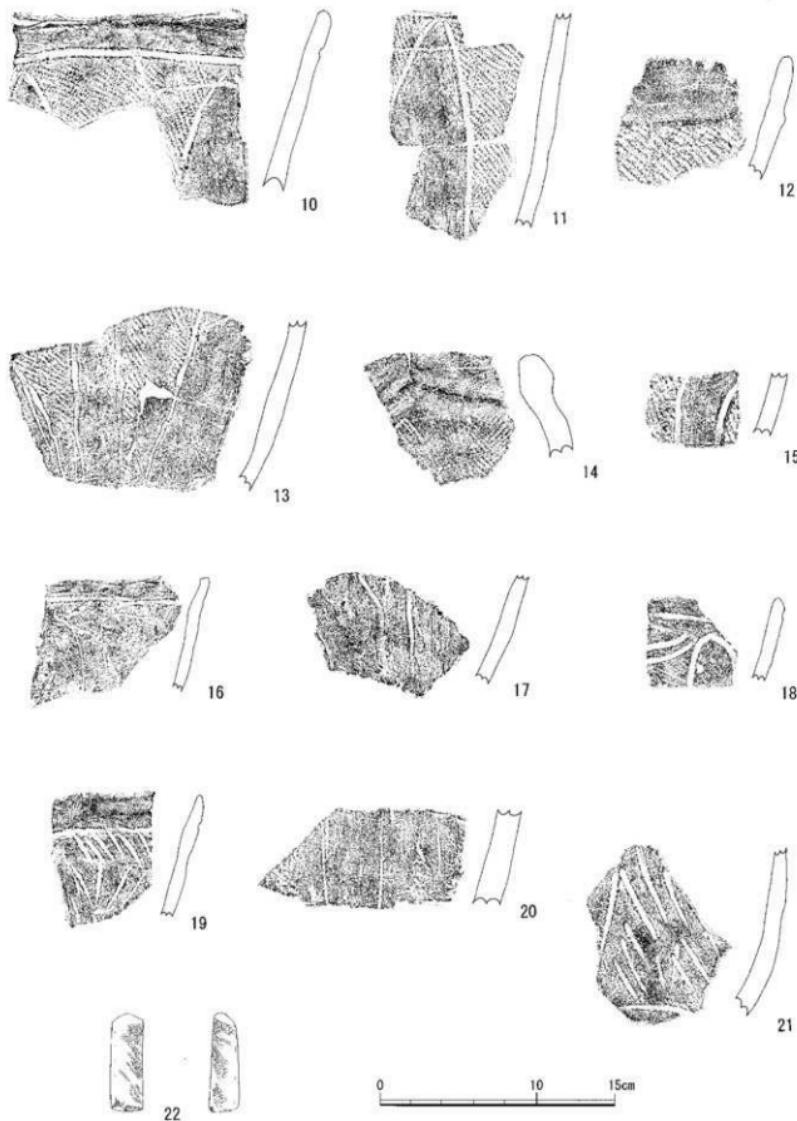
8



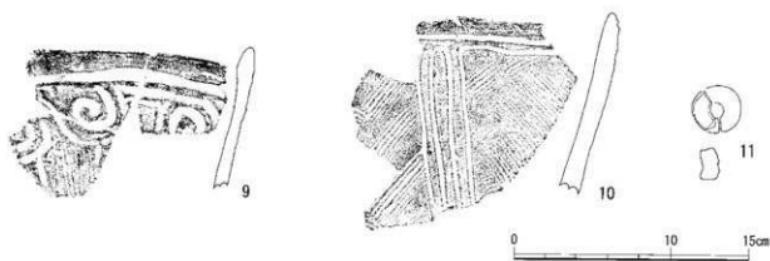
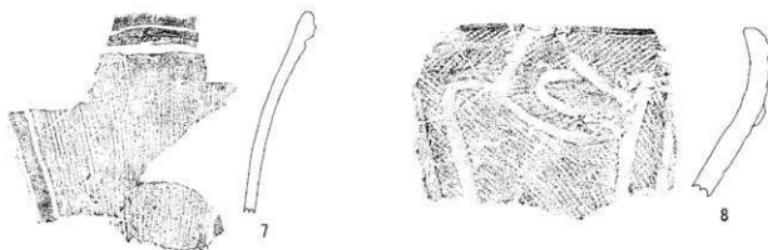
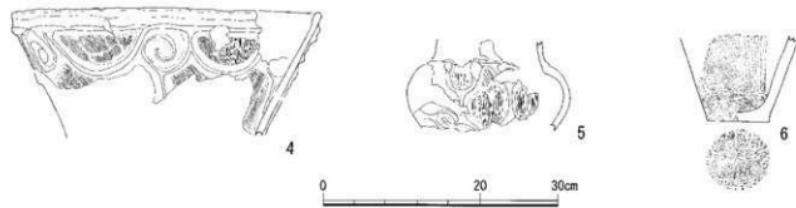
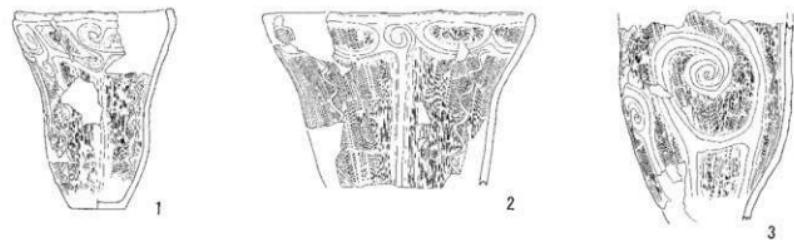
9



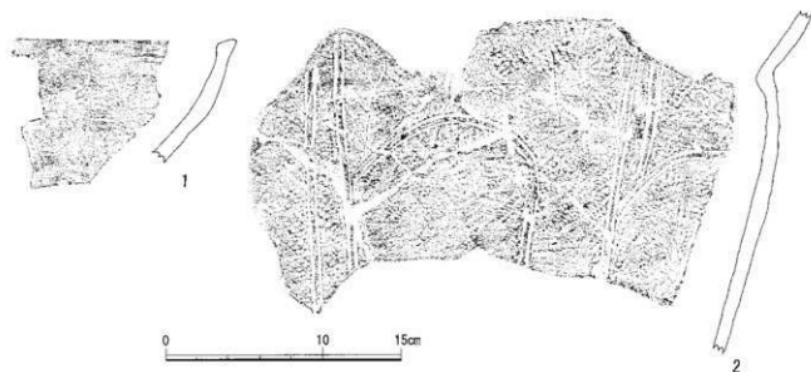
第189図 44号住居跡出土土器



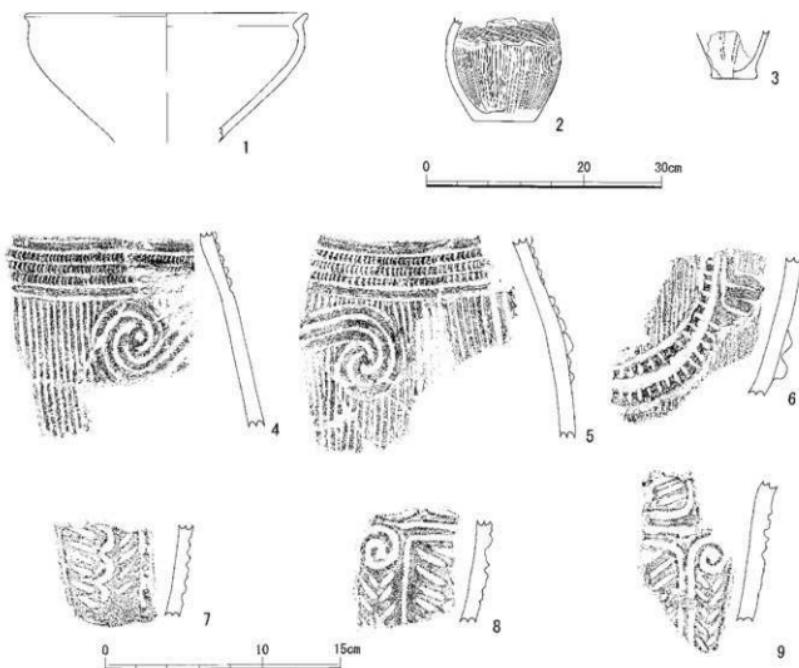
第190図 44号住居跡出土土器



第191図 46号住居跡出土土器・土製品

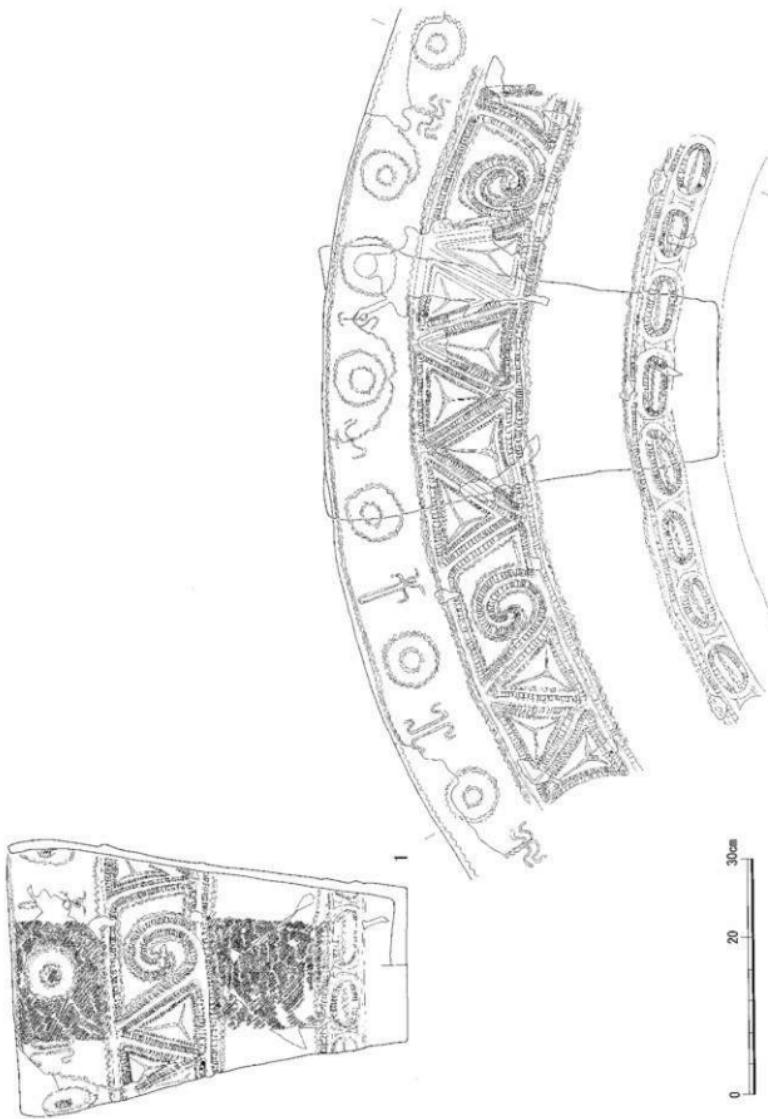


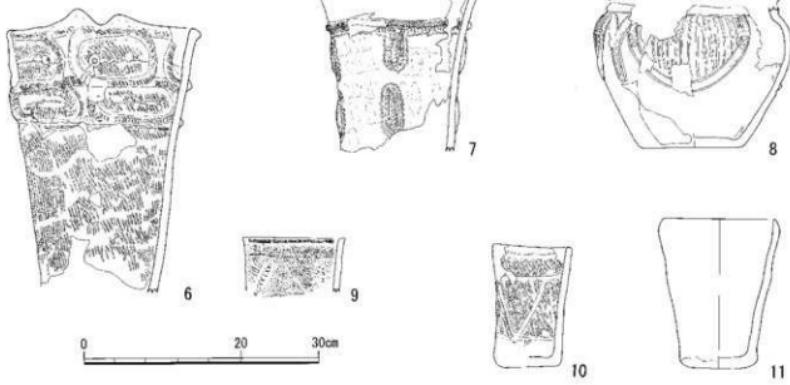
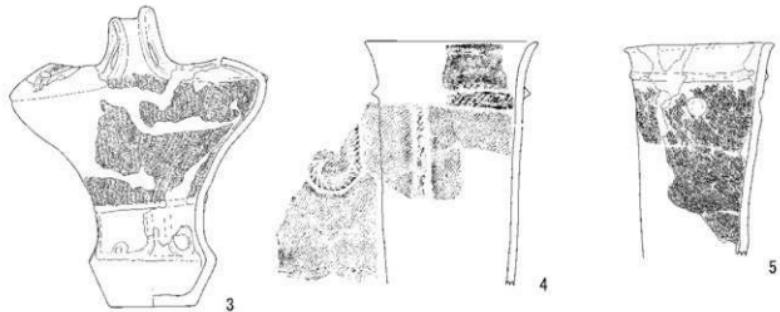
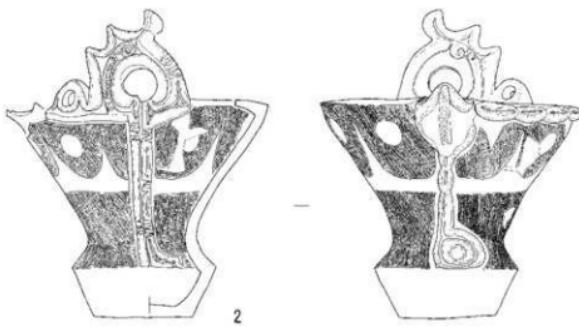
第192図 45号住居跡出土土器



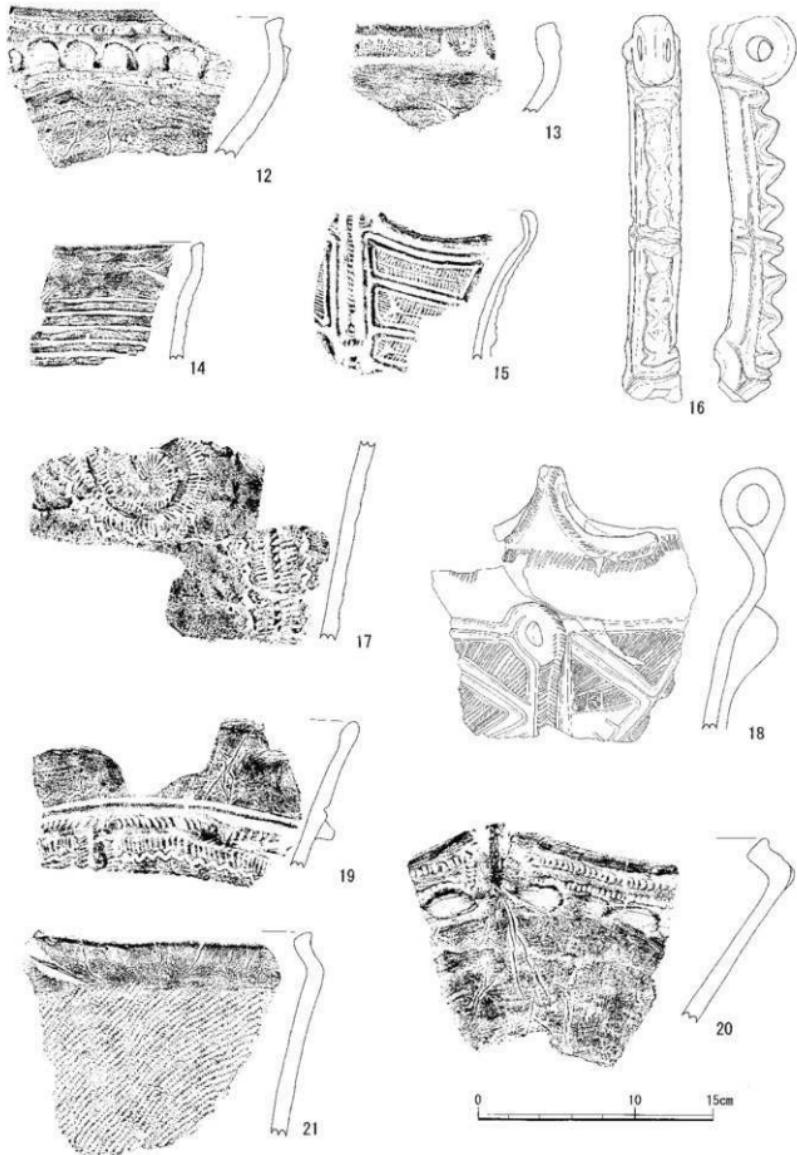
第193図 47号住居跡出土土器

第194图 48号住居跡出土土器



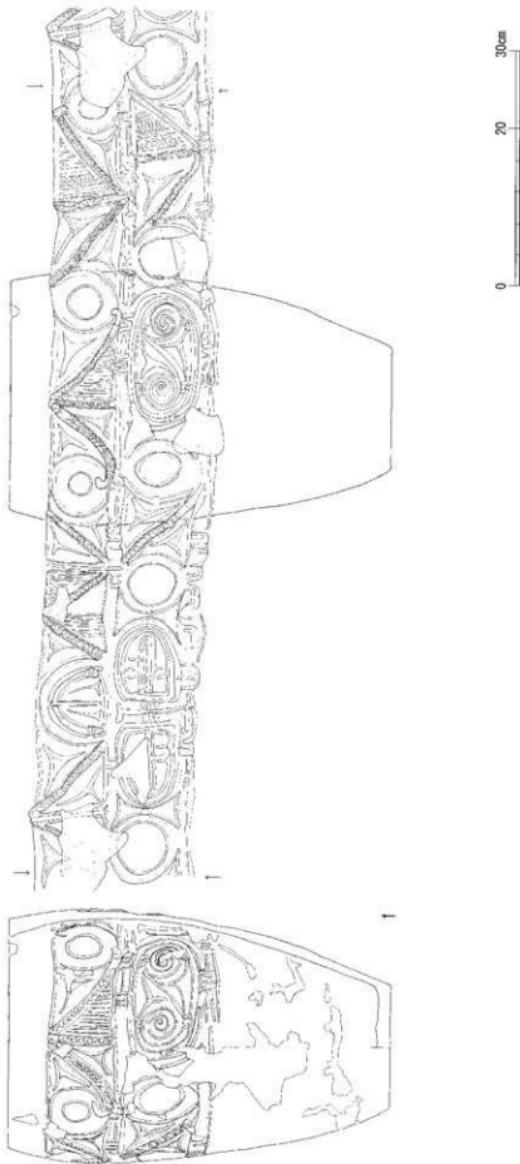


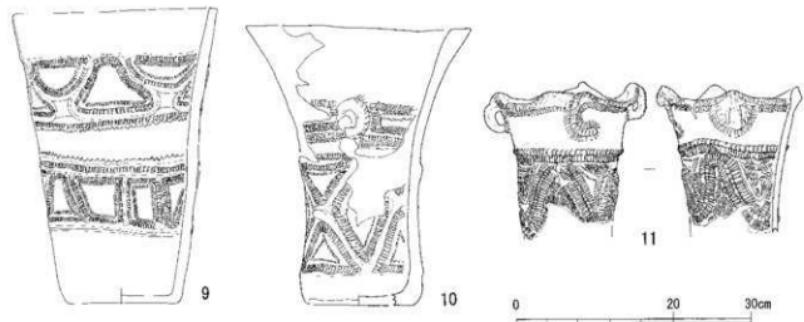
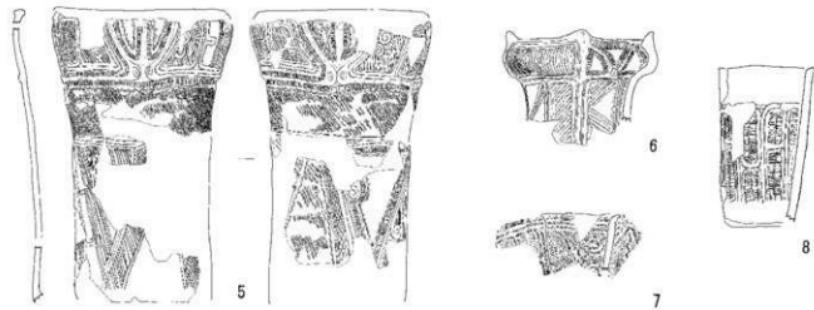
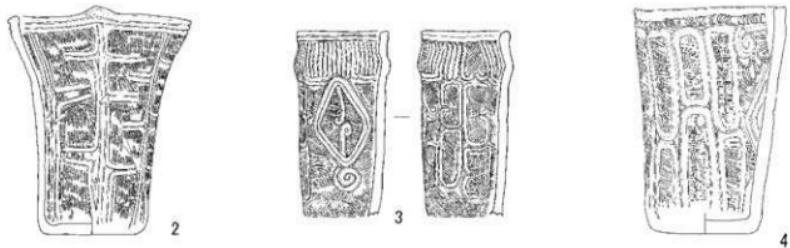
第195図 48号住居跡出土土器



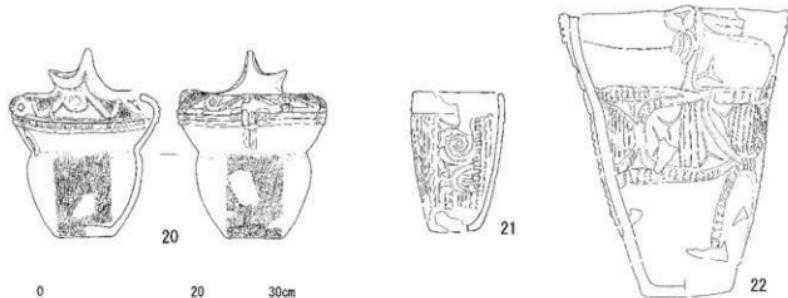
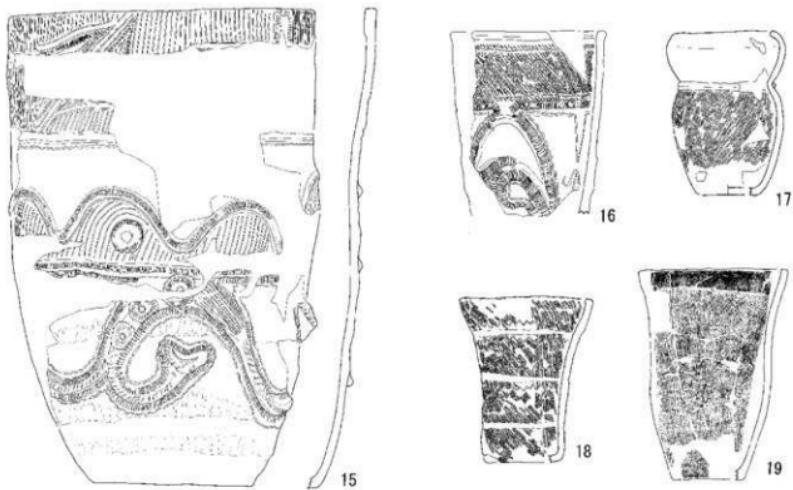
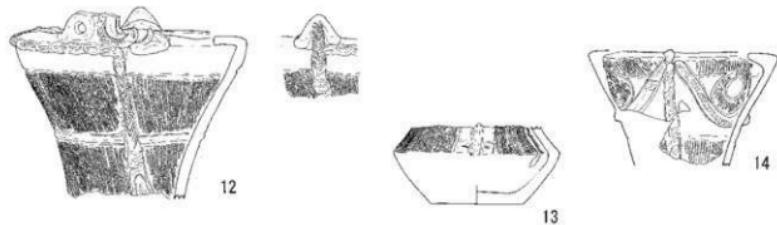
第196図 48号住居跡出土土器

第197图 49号住居跡出土土器

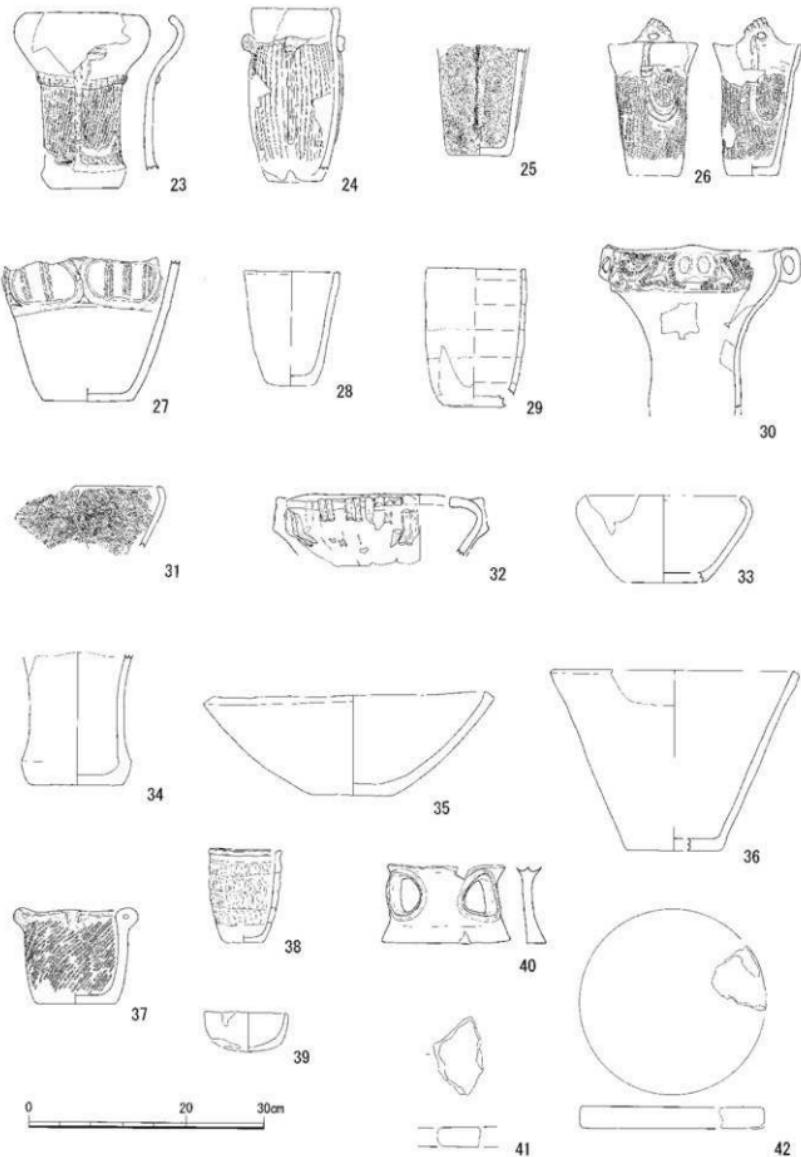




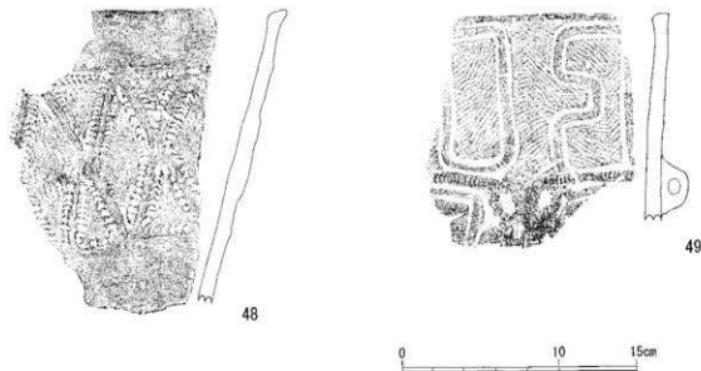
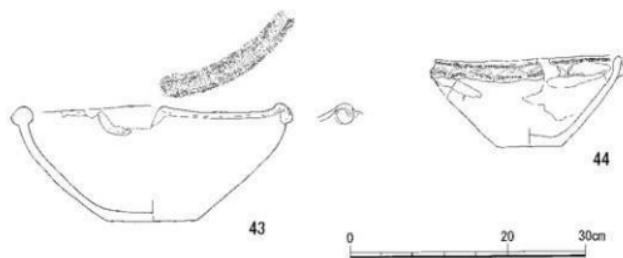
第198図 49号住居跡出土土器



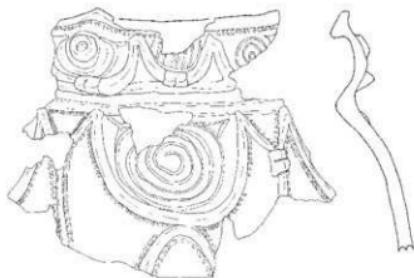
第199図 49号住居跡出土土器・土製品



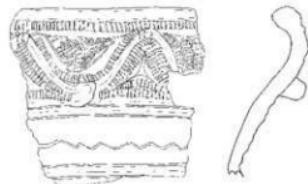
第200図 49号住居跡出土土器・土製品



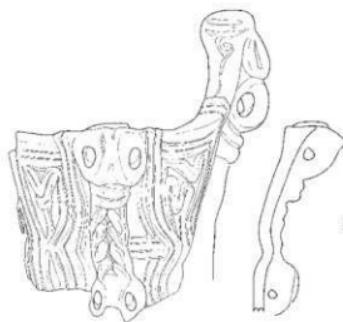
第201図 49号住居跡出土土器



50



51



52



53



54



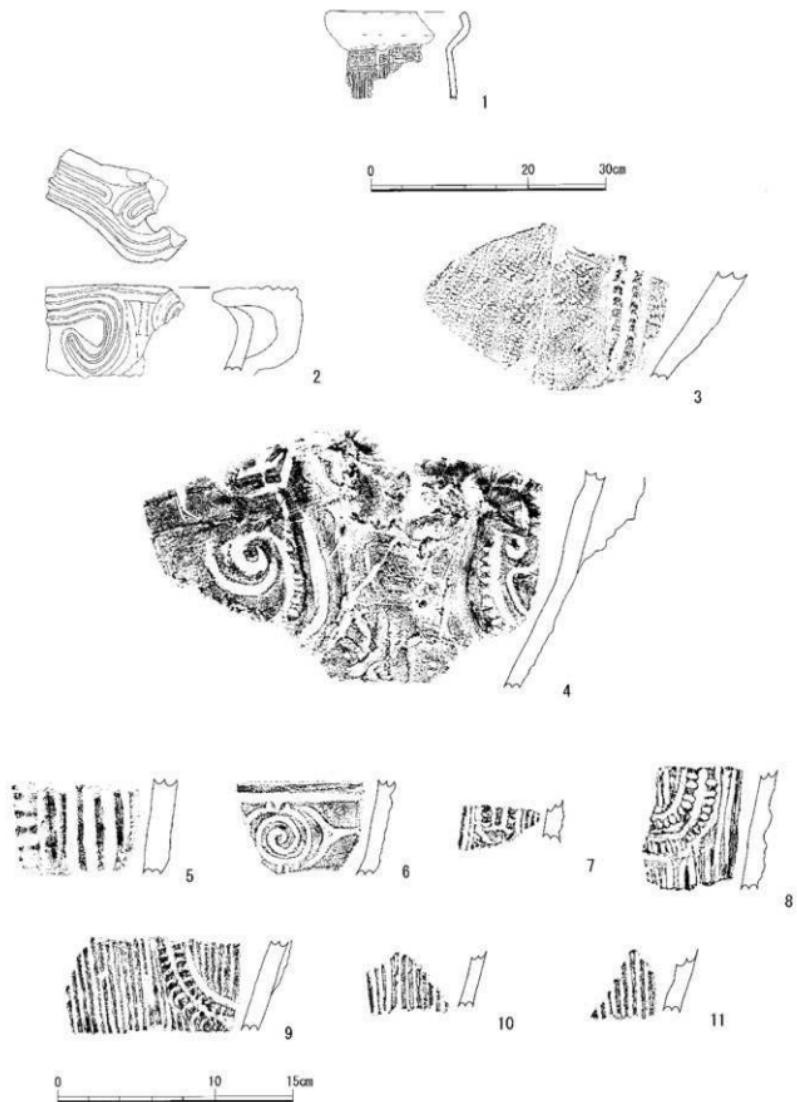
55



56



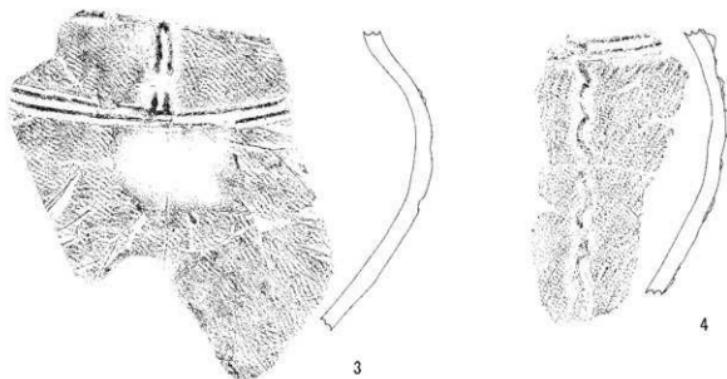
第202図 49号住居跡出土土器・土製品



第203図 50号住居跡出土土器

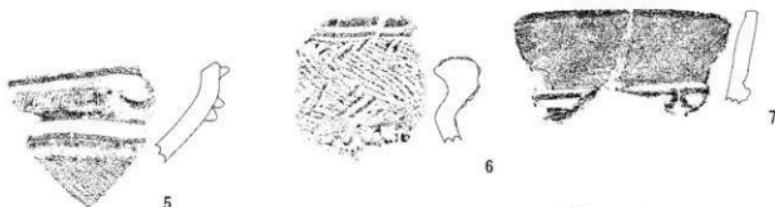


0 20 30cm



3

4



5

6

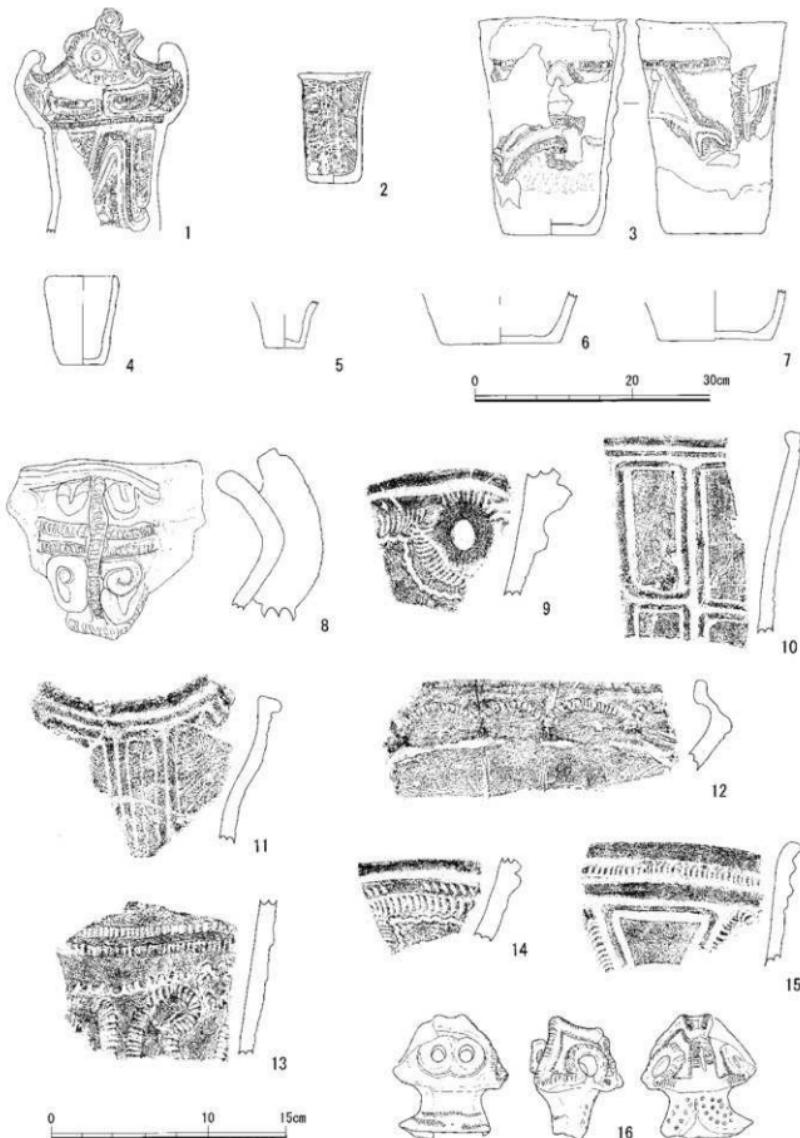
7

0 10 15cm

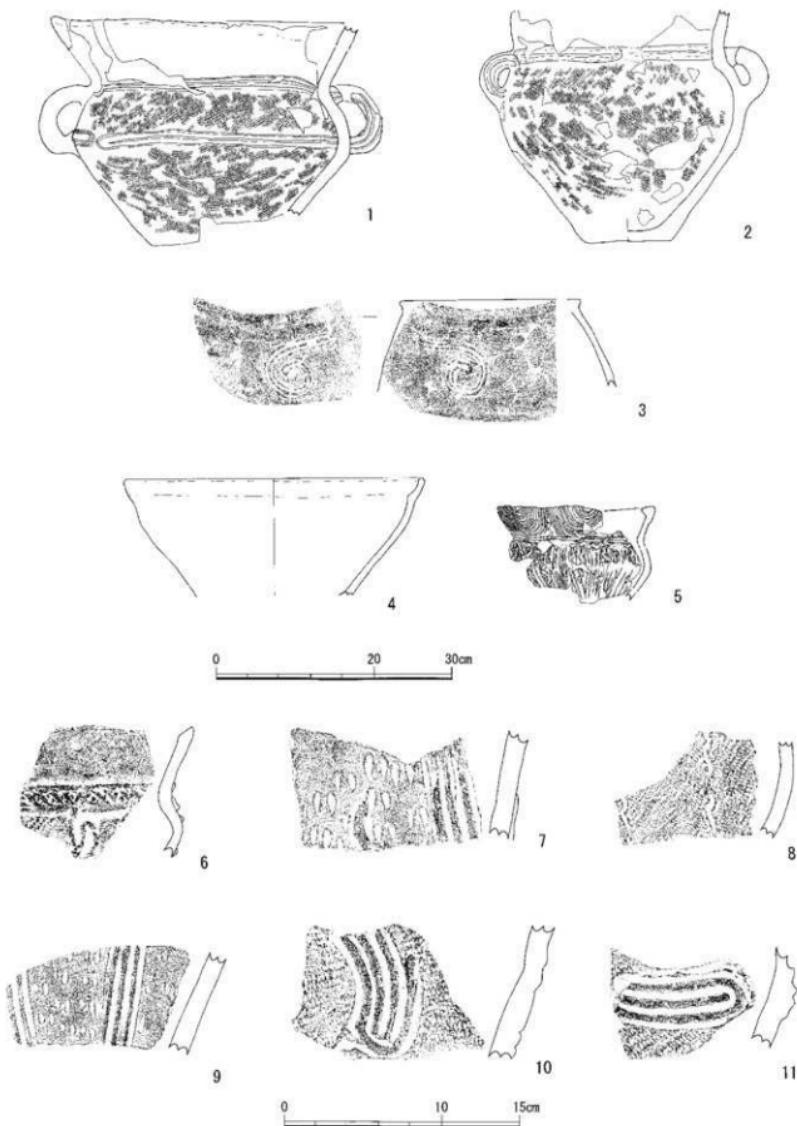


8

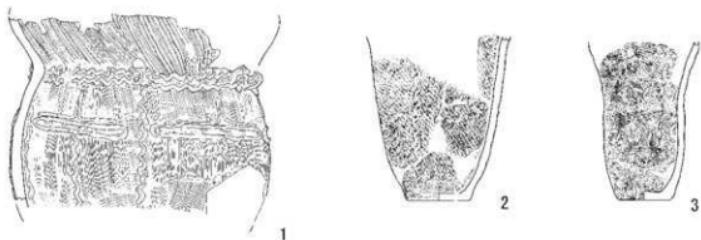
第204図 51号住居跡出土土器



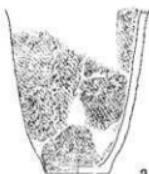
第205図 52号住居跡出土土器



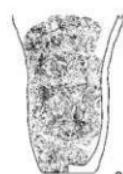
第206図 53号住居跡出土土器



1



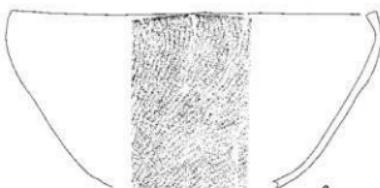
2



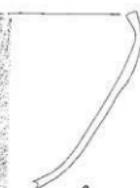
3



4



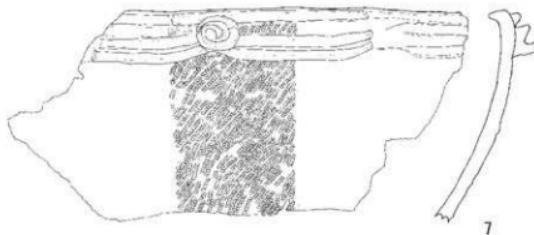
5



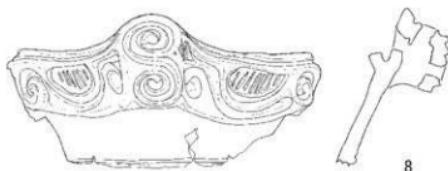
6



第207図 54号住居跡出土土器



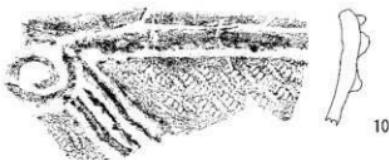
7



8



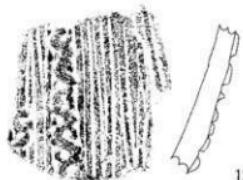
9



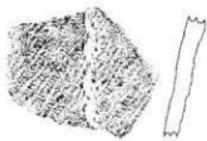
10



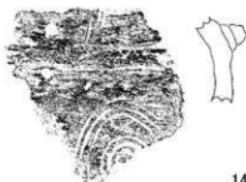
11



12



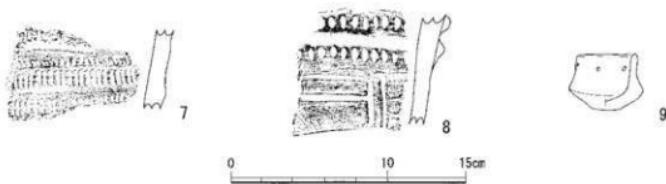
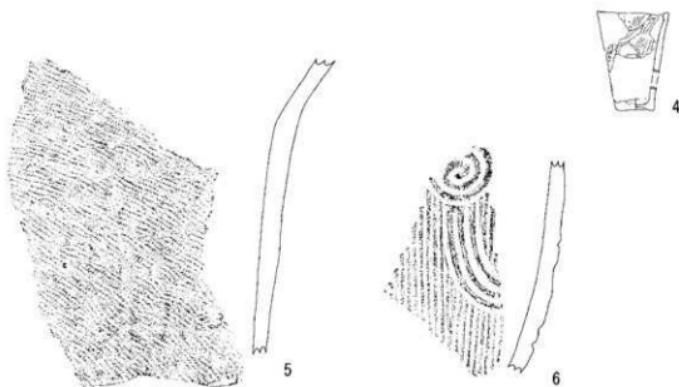
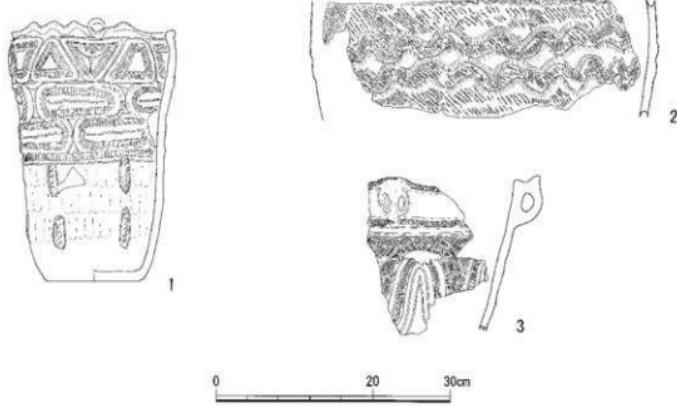
13



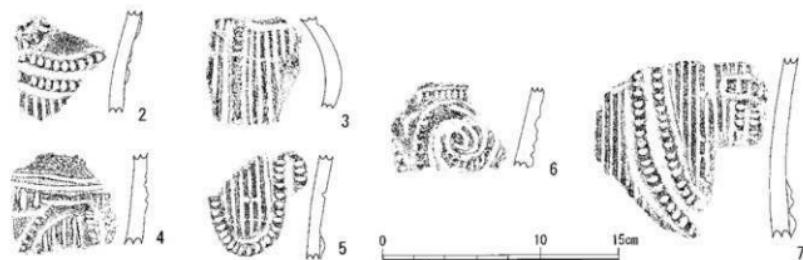
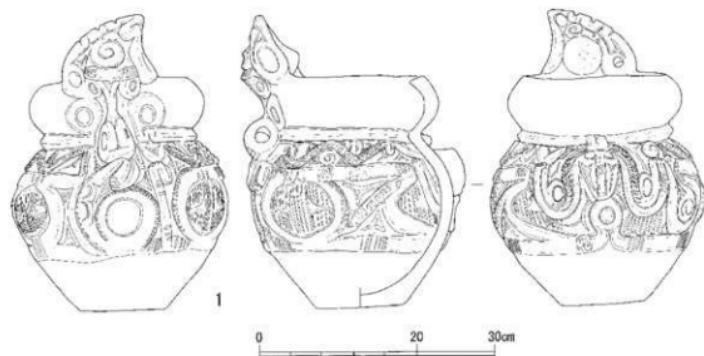
14



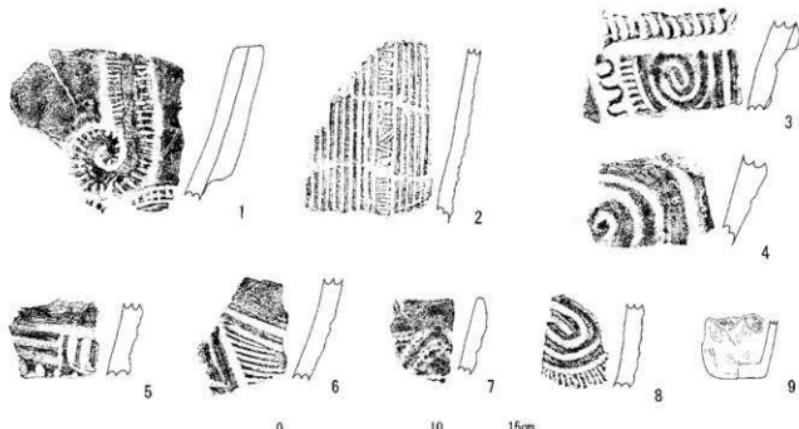
第208図 54号住居跡出土土器



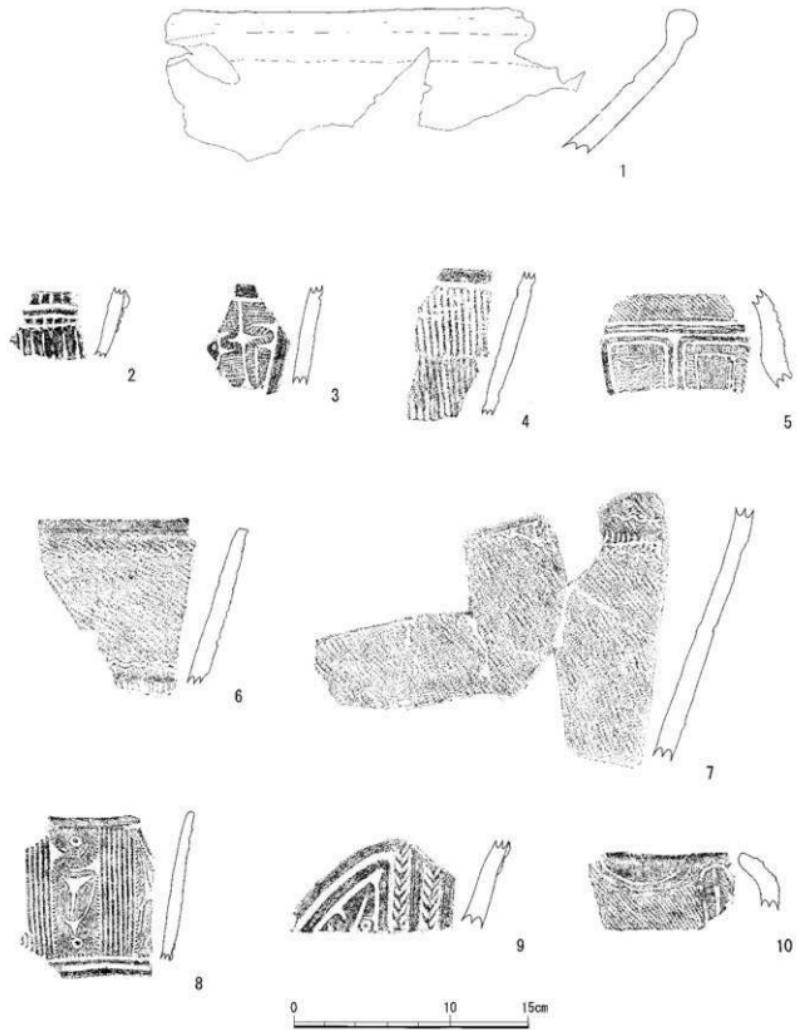
第209図 55号住居跡出土土器



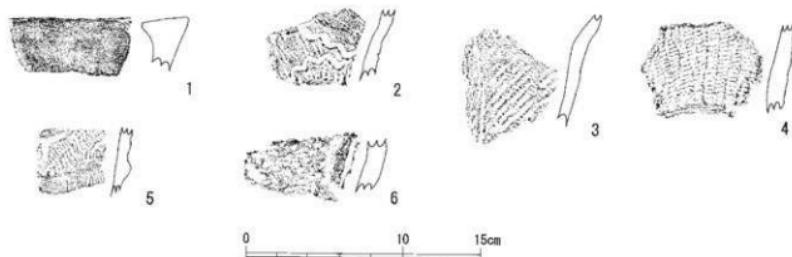
第210図 56号住居跡出土土器



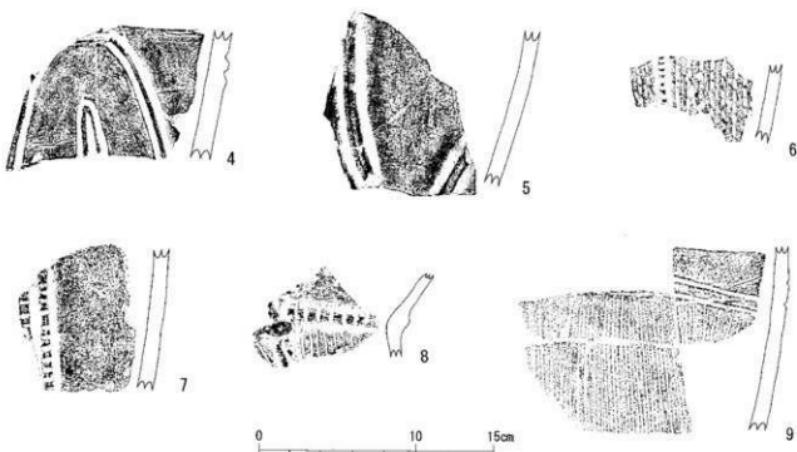
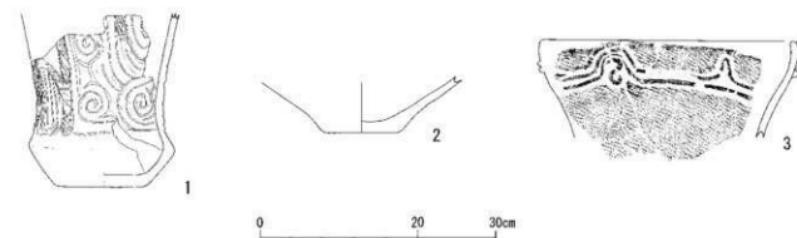
第211図 57号住居跡出土土器



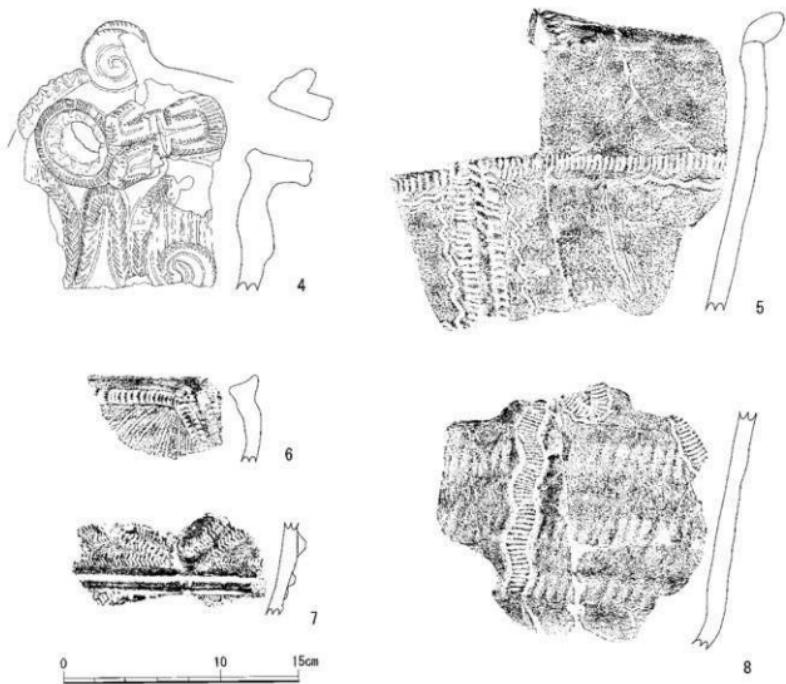
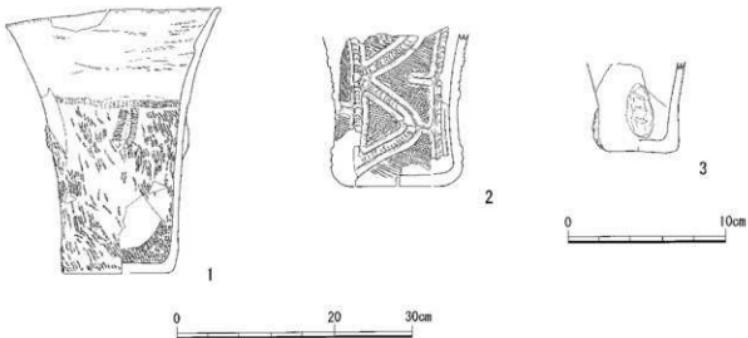
第212図 58号住居跡出土土器



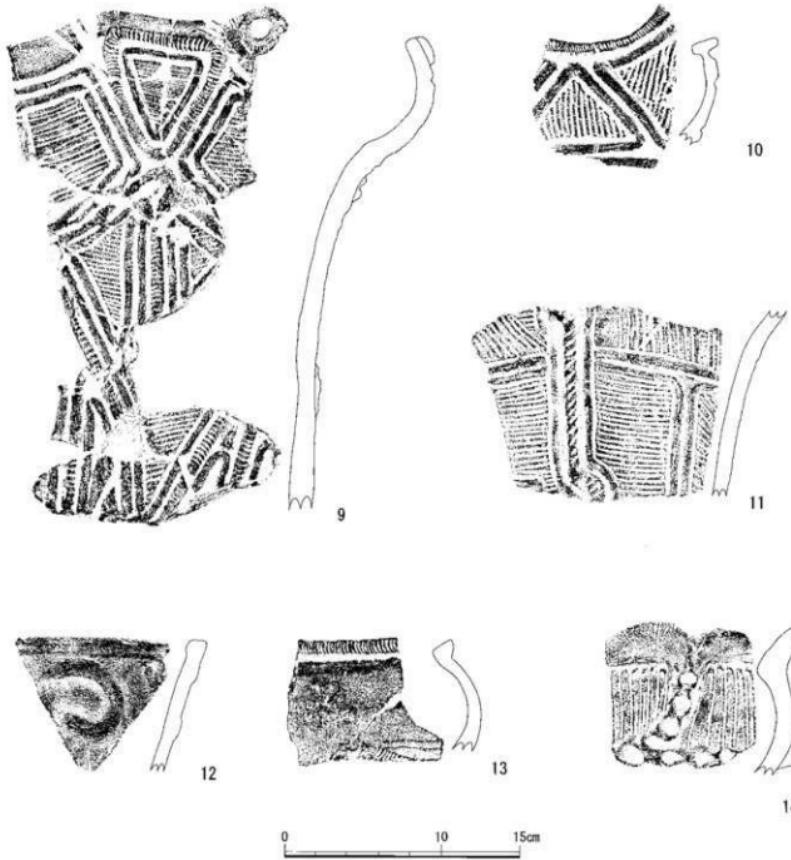
第213図 59号住居跡出土土器



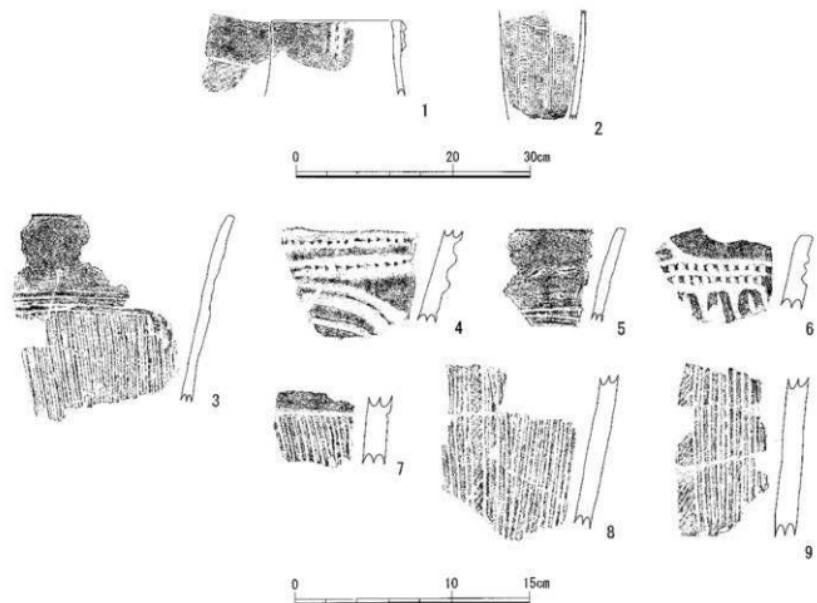
第214図 60号住居跡出土土器



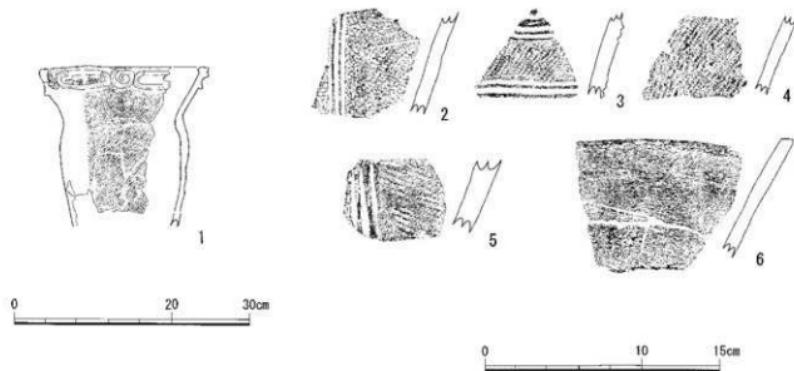
第215図 61号住居跡出土土器



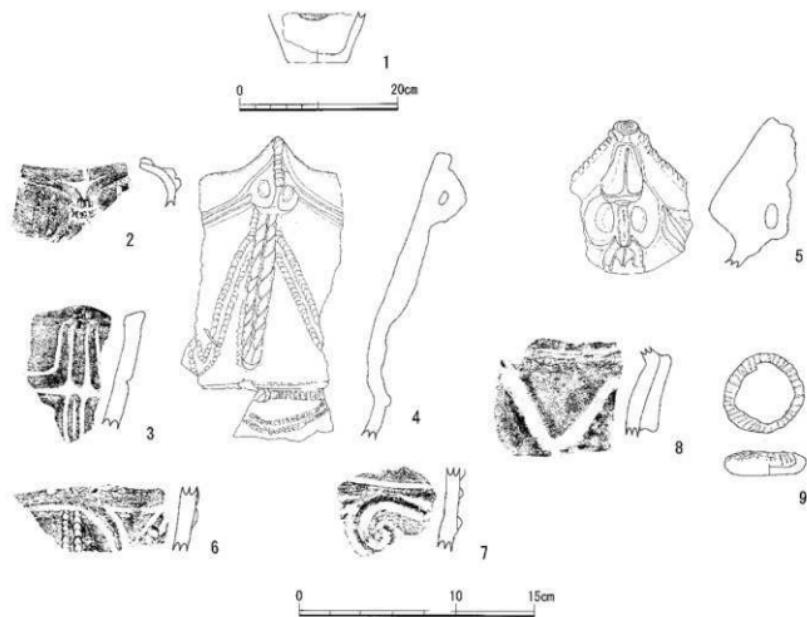
第216図 61号住居跡出土土器



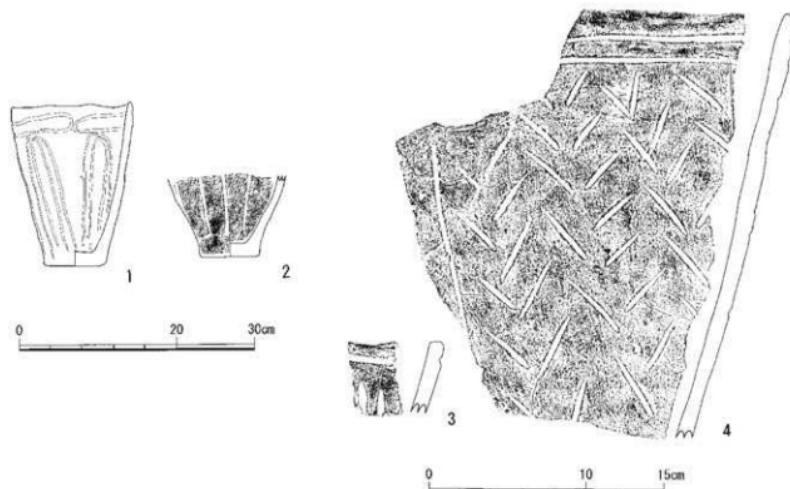
第217図 62号住居跡出土土器



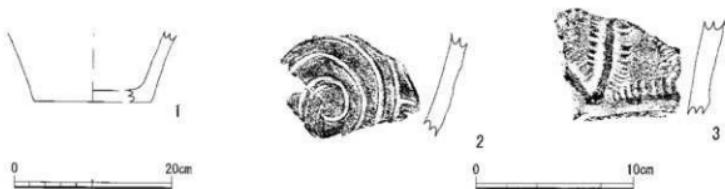
第218図 63号住居跡出土土器



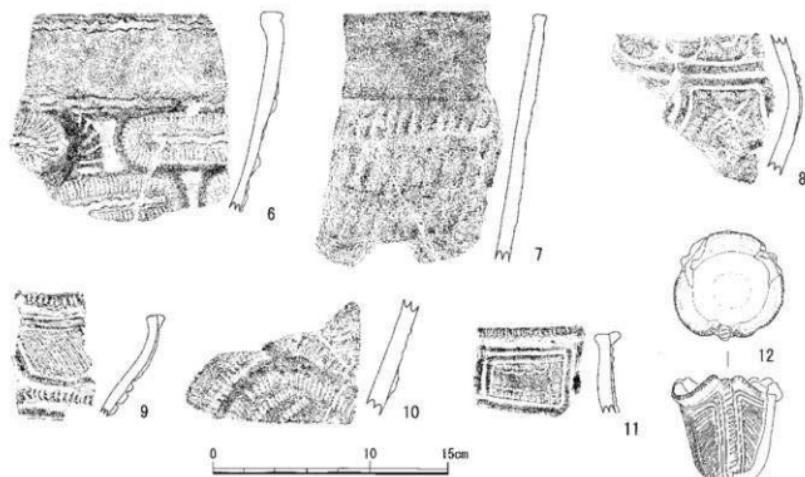
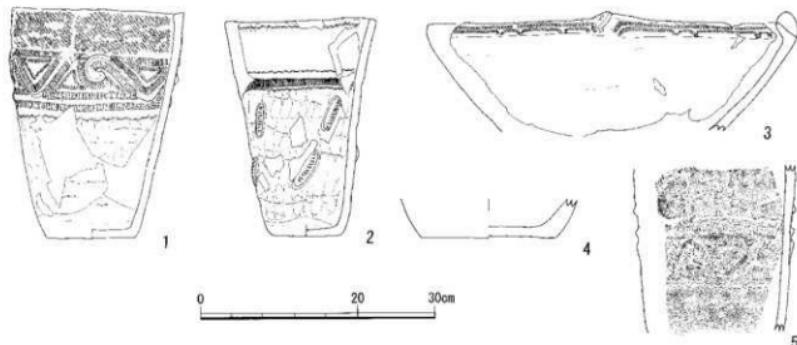
第219図 64号住居跡出土土器



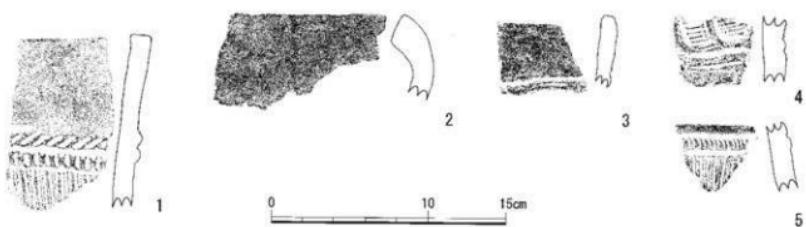
第220図 65号住居跡出土土器



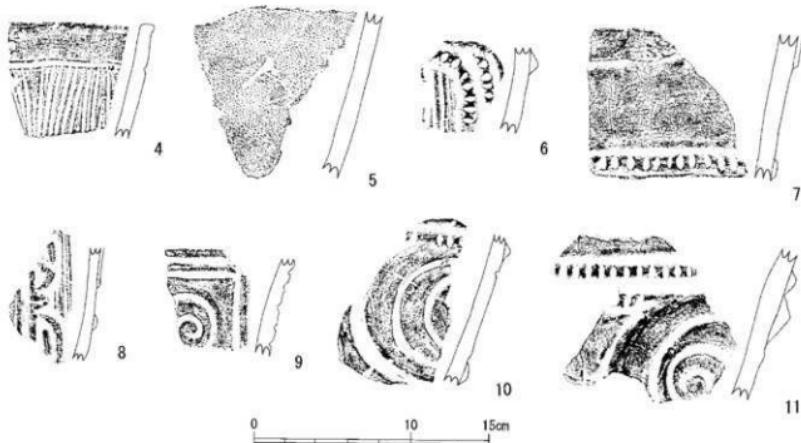
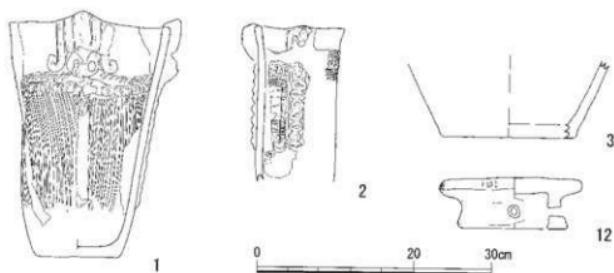
第221図 66号住居跡出土土器



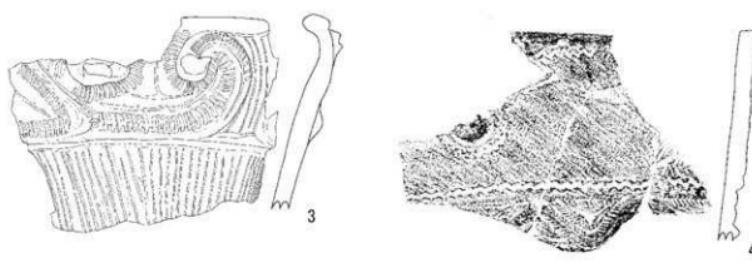
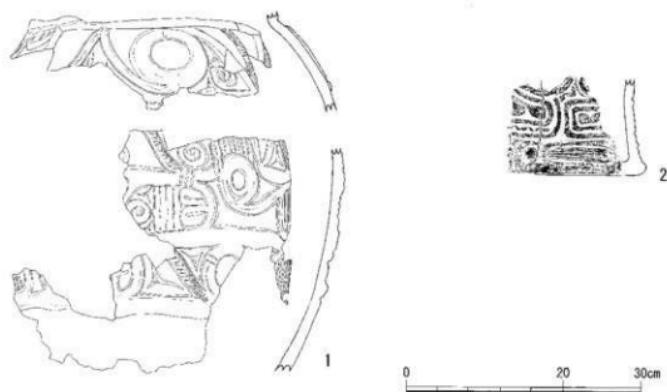
第222図 67号住居跡出土土器



第223図 68号住居跡出土土器



第224図 69号住居跡出土土器・土製品

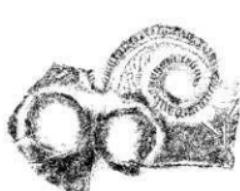


第225図 70号住居跡出土土器



1

0 20cm



2



3



4



5



6



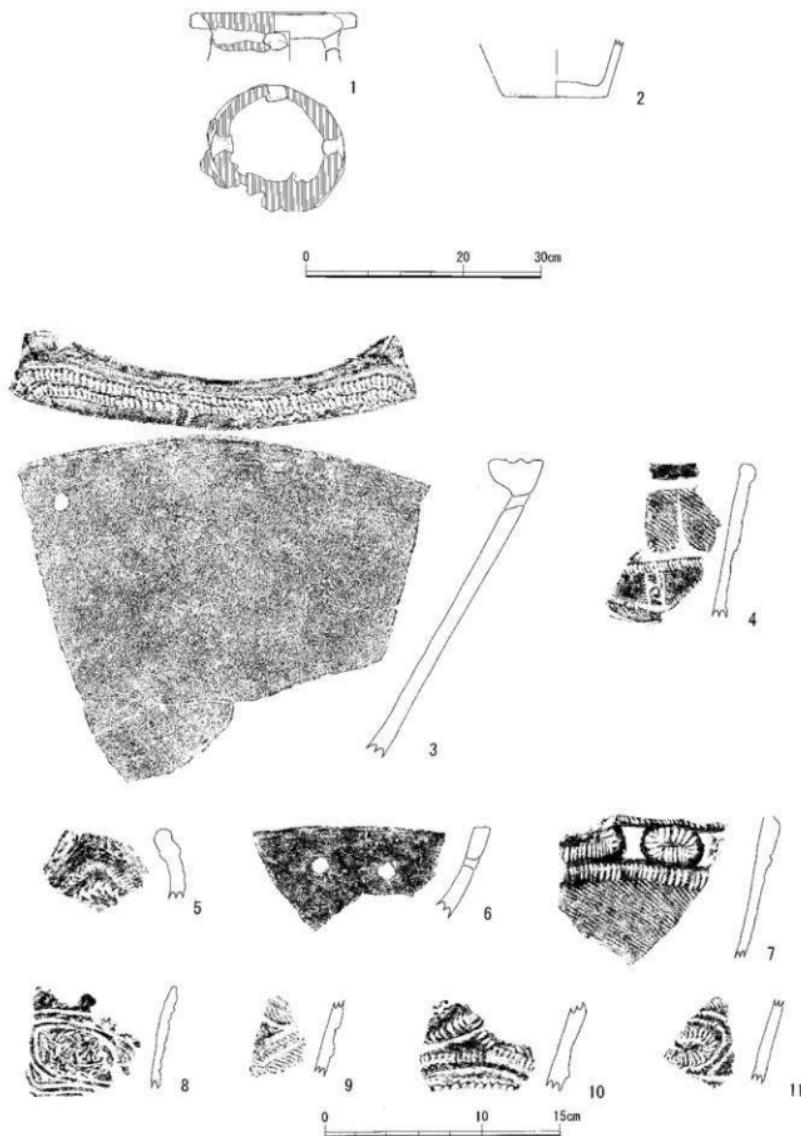
7



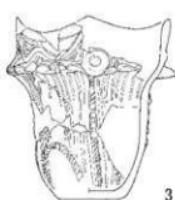
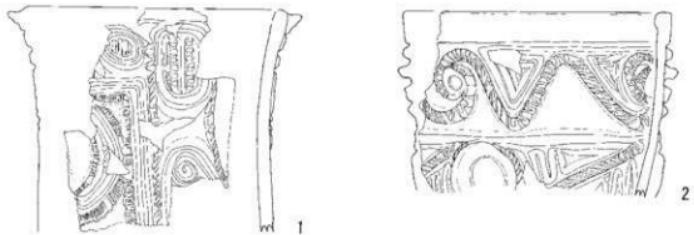
8

0 10 15cm

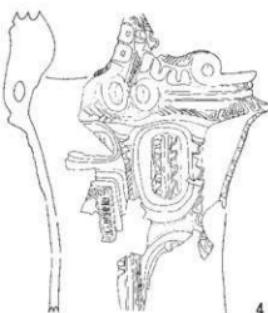
第226図 71号住居跡出土土器



第227図 72号住居跡出土土器・土製品

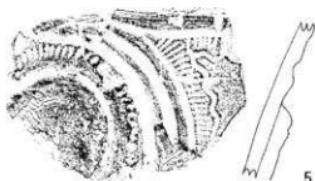


3

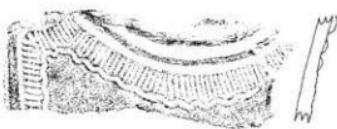


4

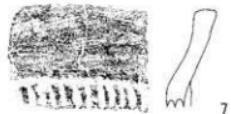
0 20 30cm



5



6



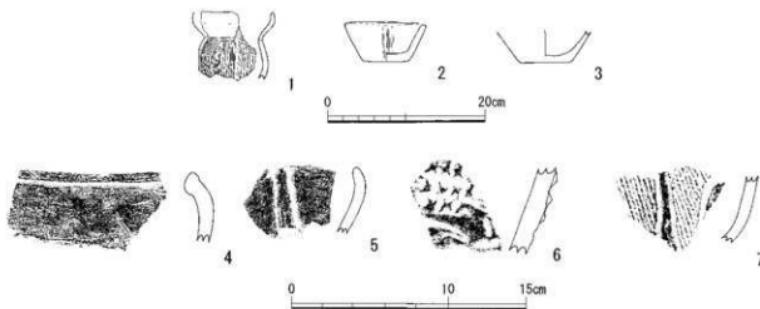
7



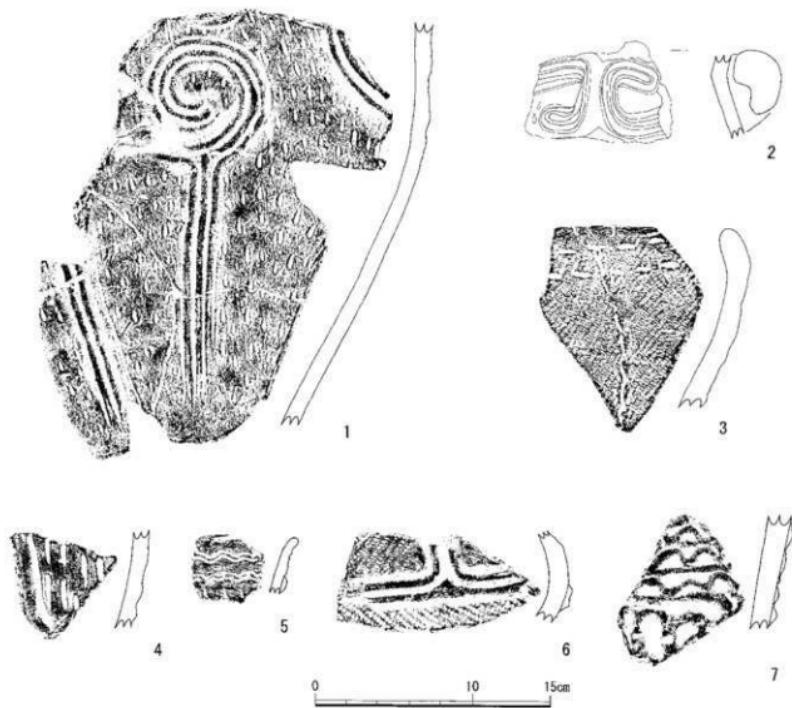
8

0 10 15cm

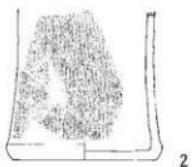
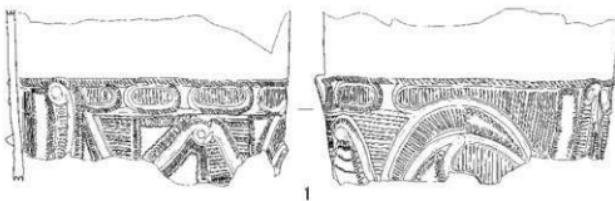
第228図 73号住居跡出土土器



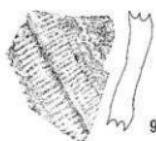
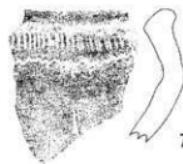
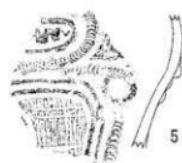
第229図 74号住居跡出土土器



第230図 75号住居跡出土土器



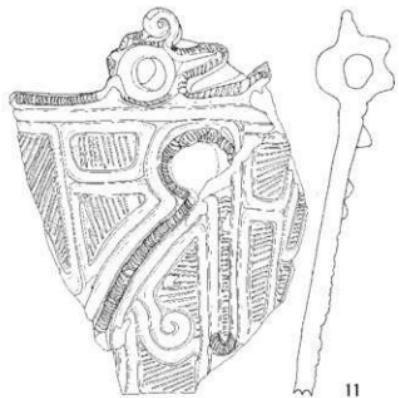
0 20 30cm



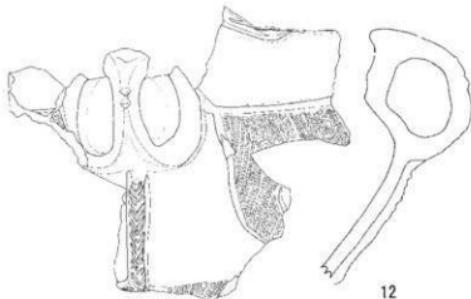
0 10 15cm



第231図 76号住居跡出土土器

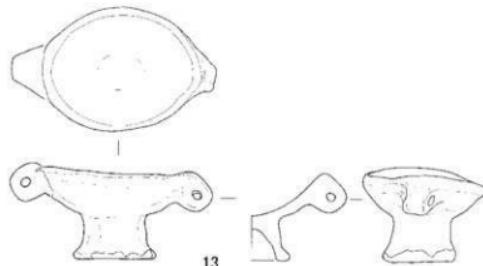


11



12

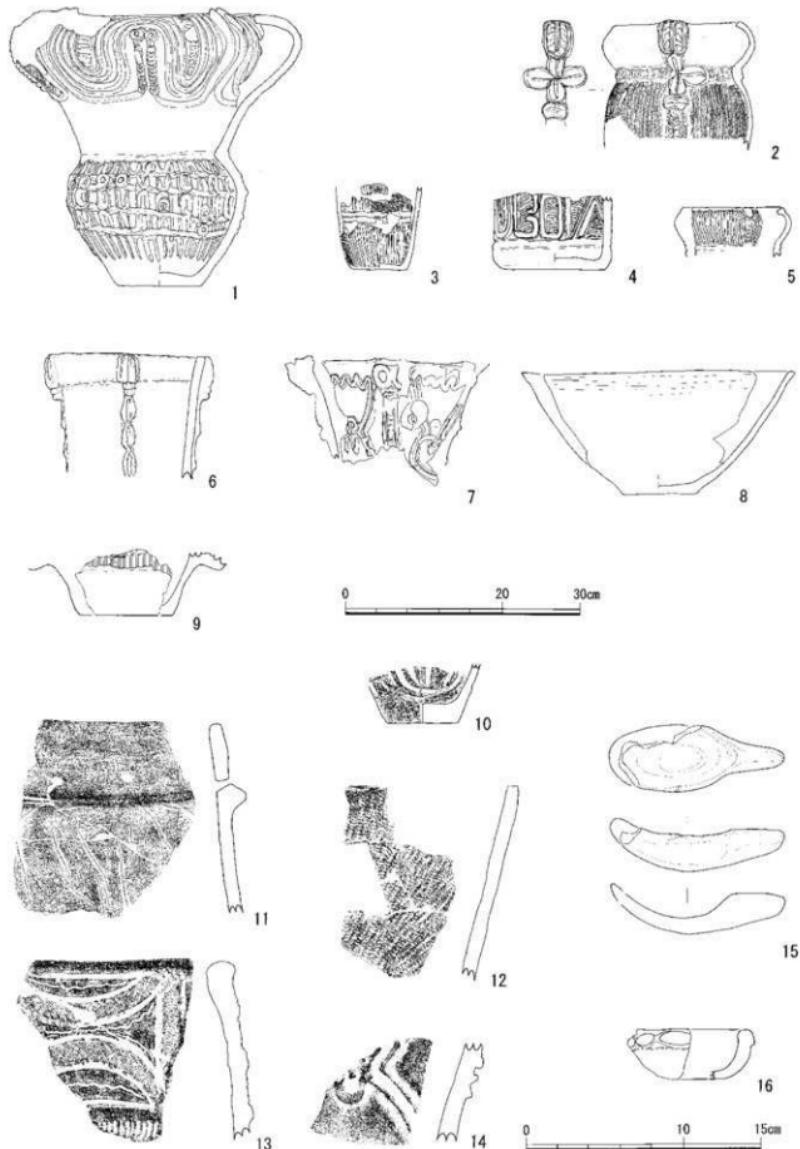
0 20 30cm



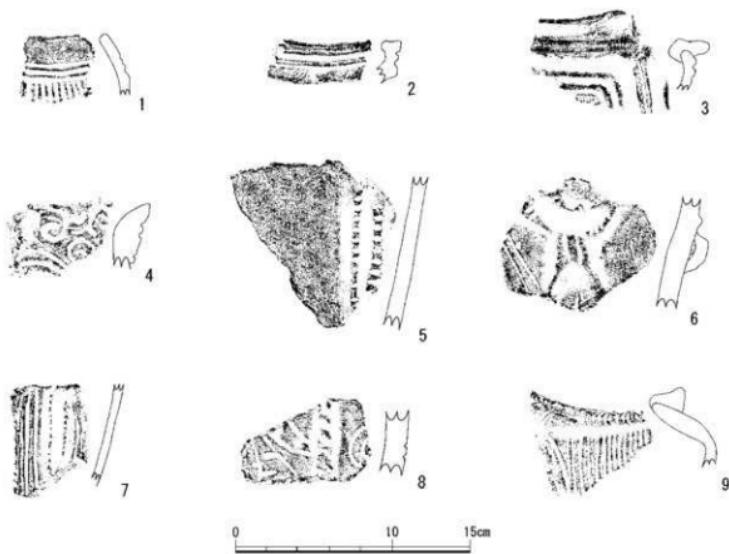
13

0 10 15cm

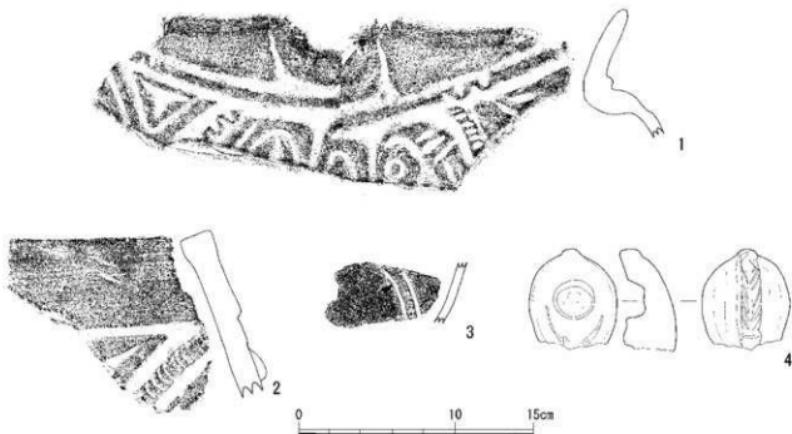
第232図 76号住居跡出土土器



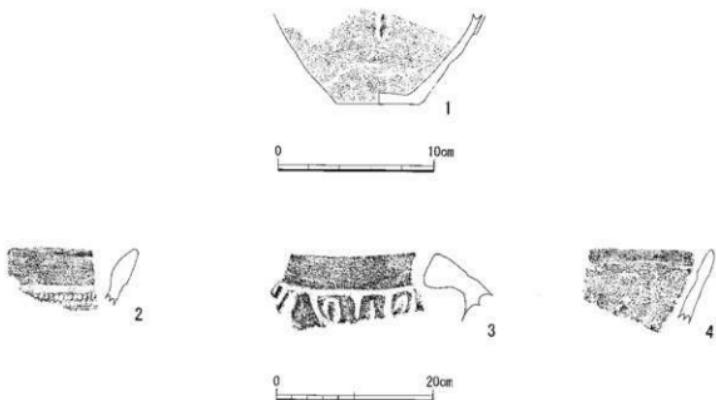
第233図 77号住居跡出土土器・土製品



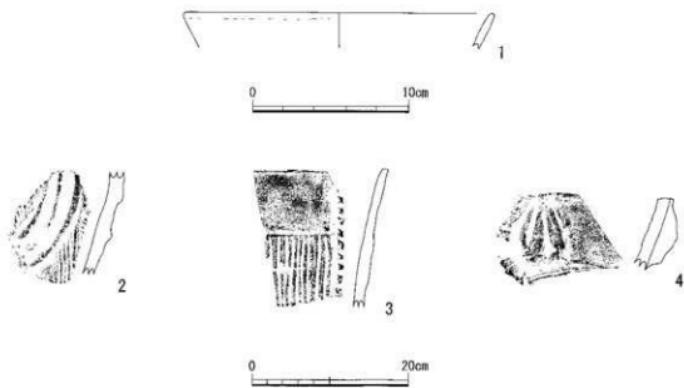
第234図 78号住居跡出土土器



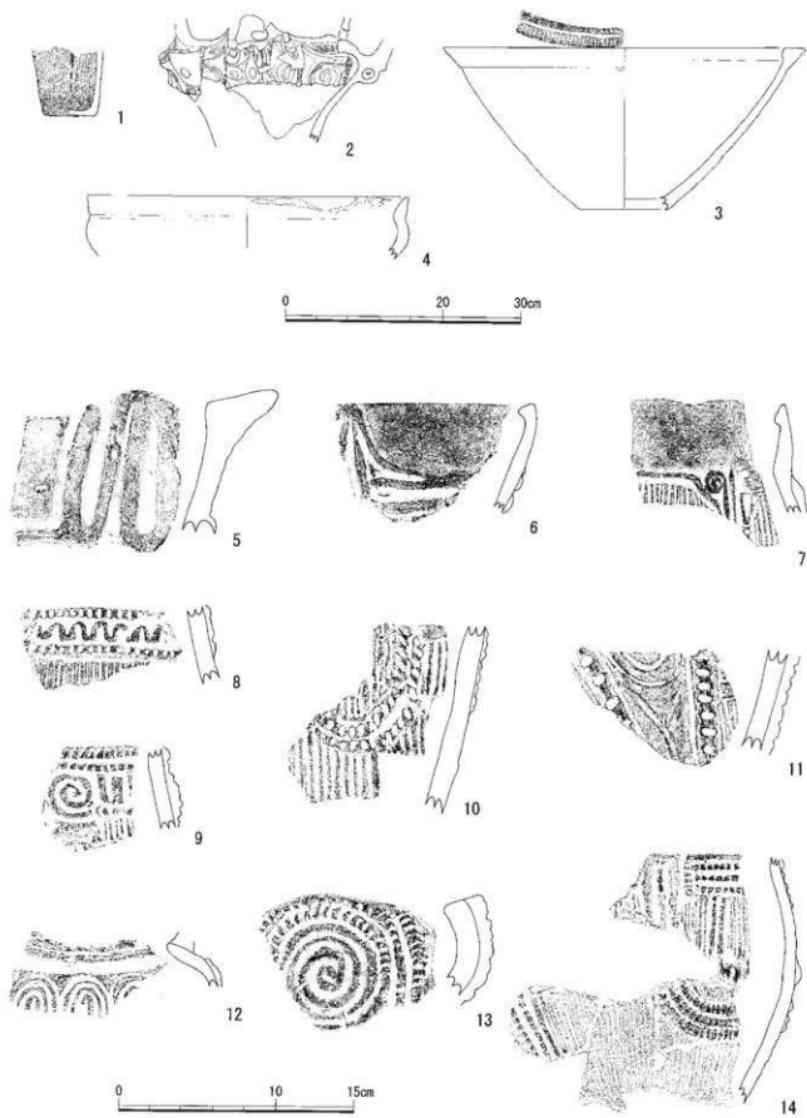
第235図 79号住居跡出土土器



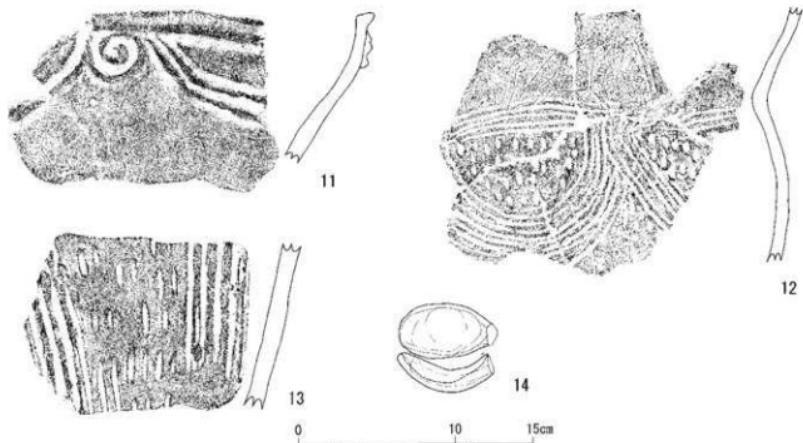
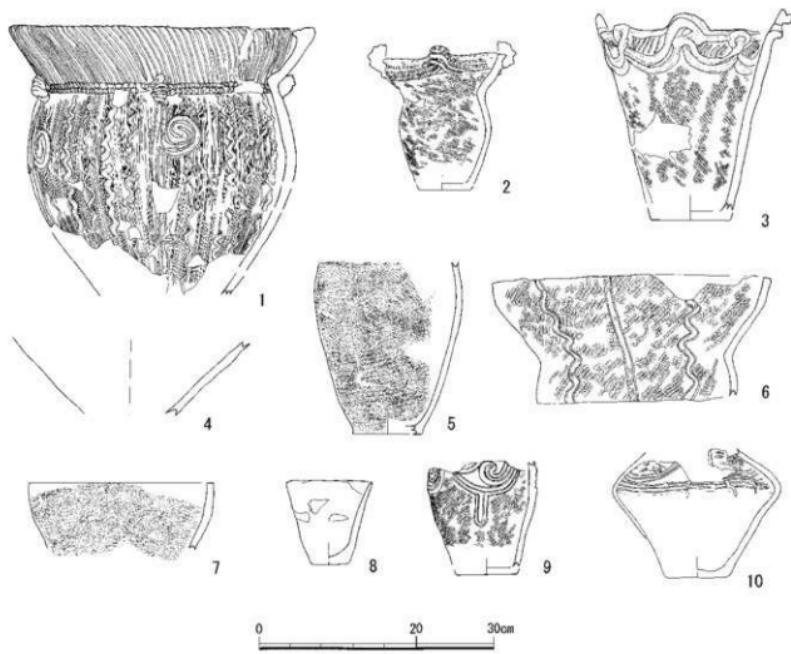
第236図 80号住居跡出土土器



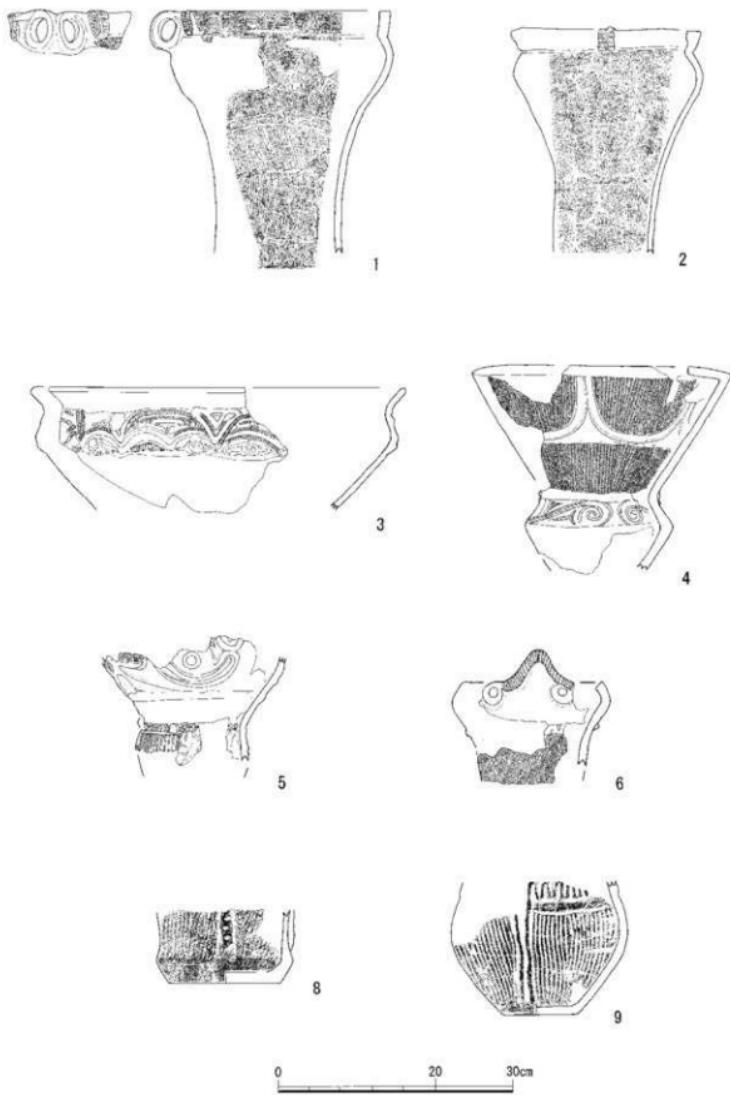
第237図 81号住居跡出土土器



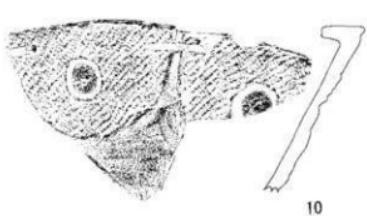
第238図 82号住跡出土土器



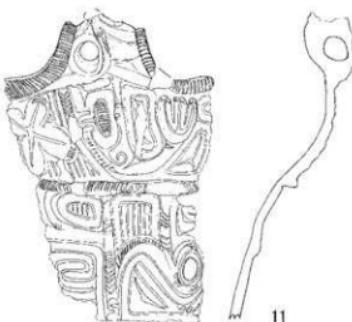
第239図 83号住居跡出土土器・土製品



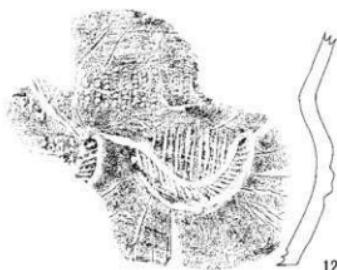
第240図 84号住跡出土土器



10



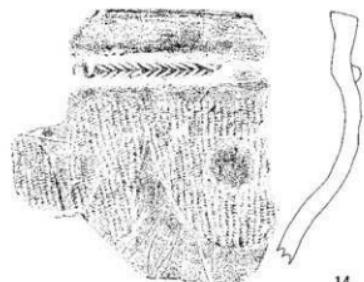
11



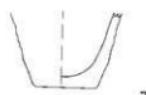
12



13



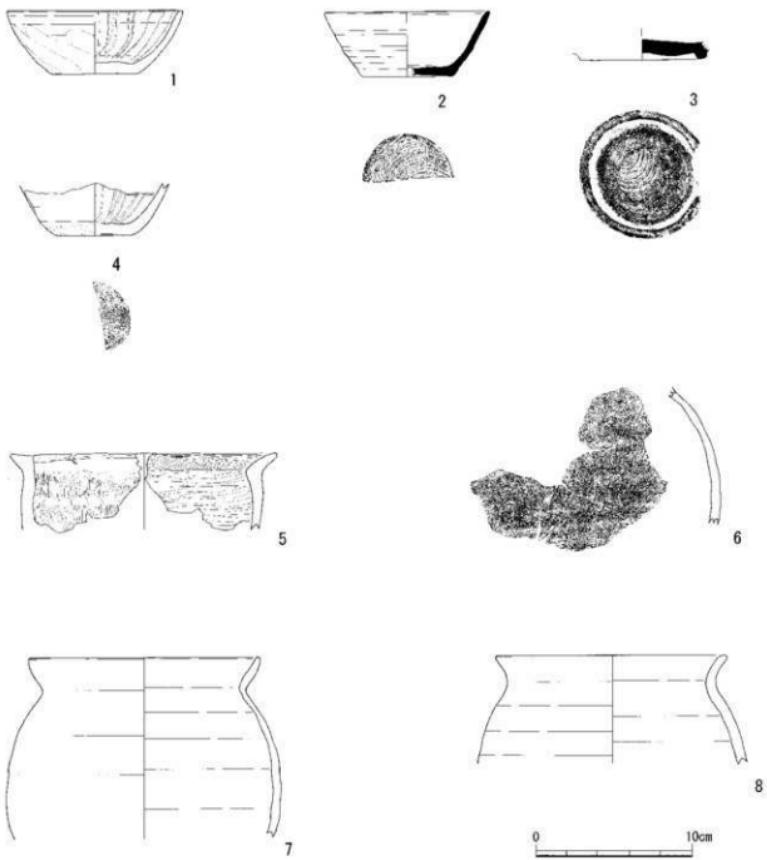
14



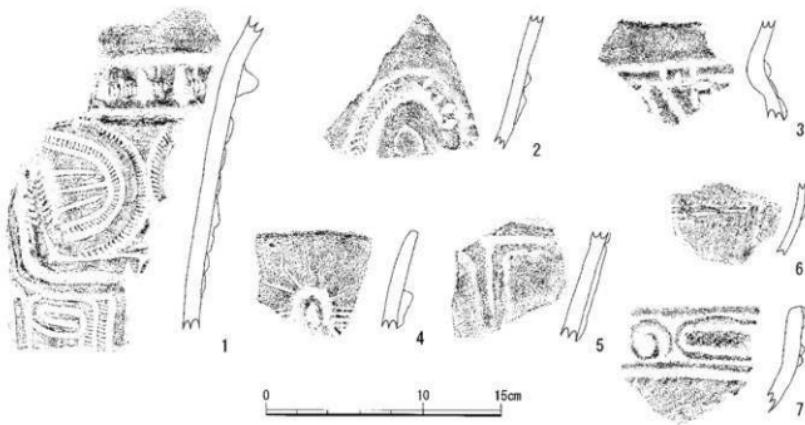
7

0 10 15cm

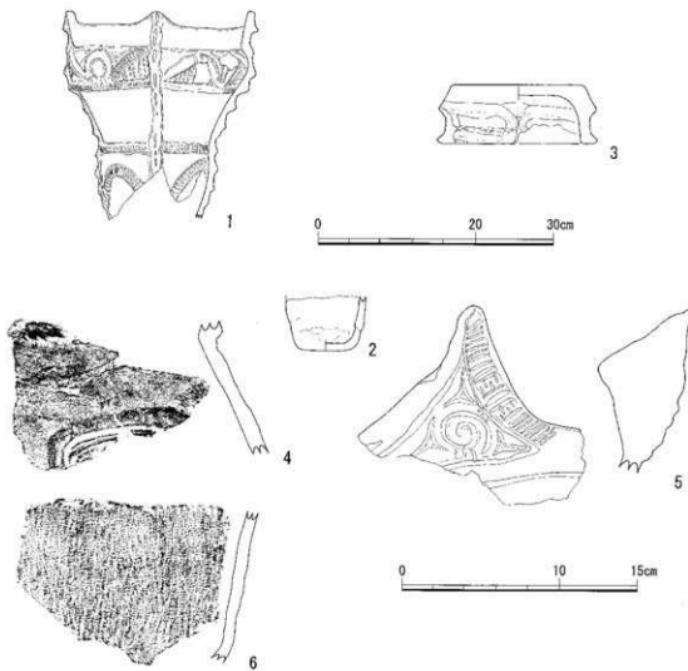
第241図 84号住居跡出土土器



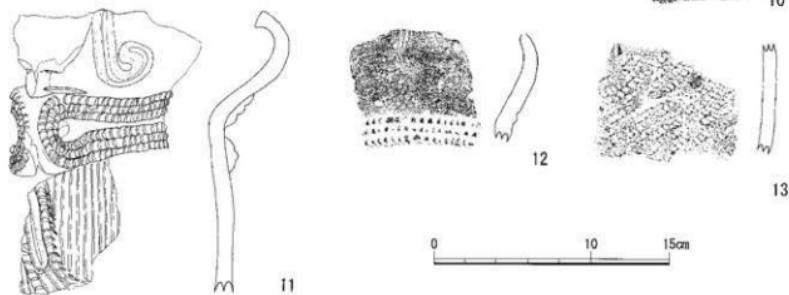
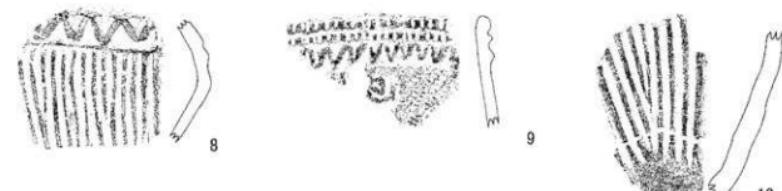
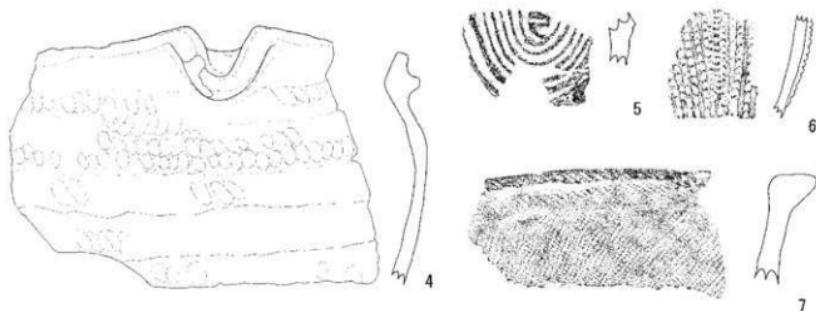
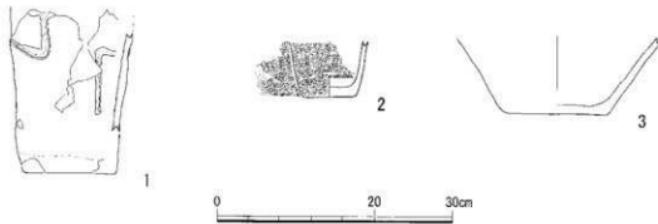
第242図 86号住居跡出土土器



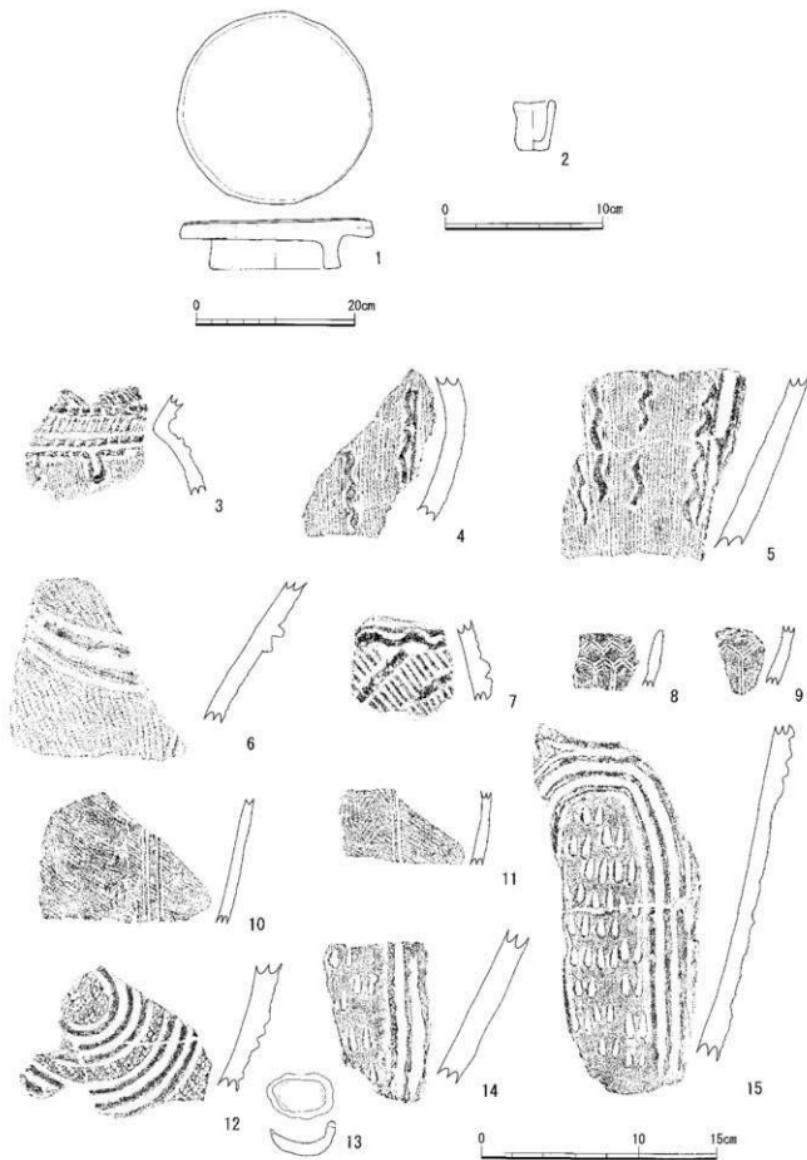
第243図 85号住居跡出土土器



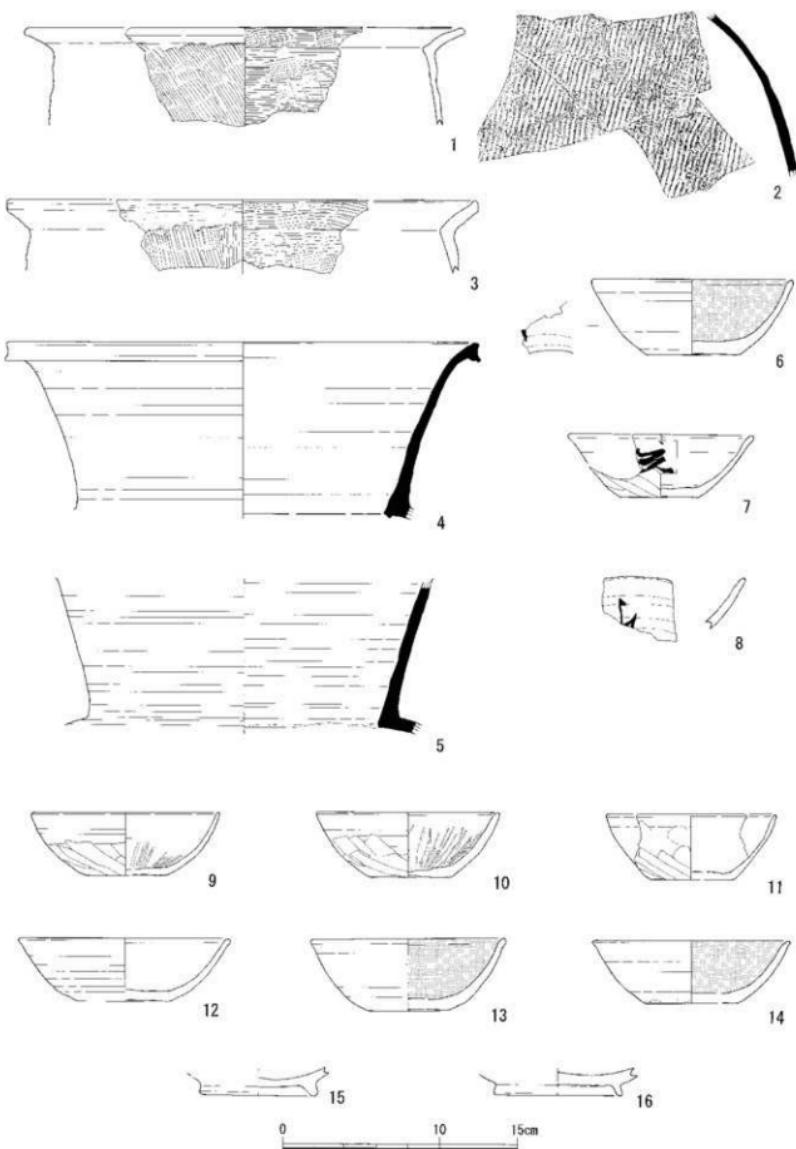
第244図 88号住居跡出土土器



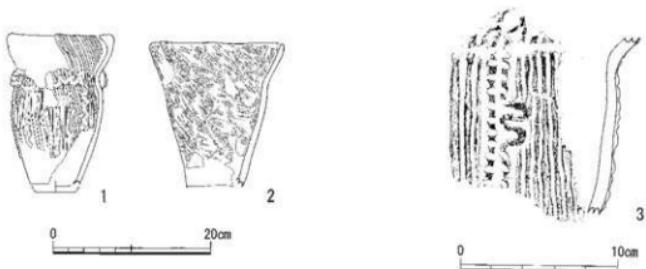
第245図 89号住居跡出土土器



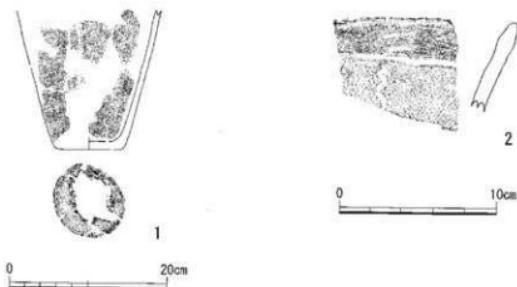
第246図 90号住居跡出土土器・土製品



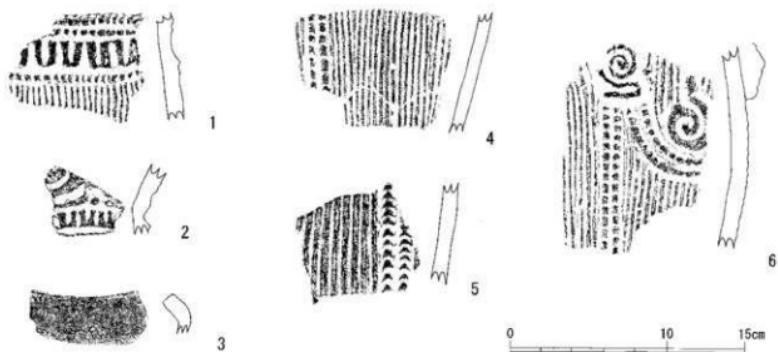
第247図 92号住居跡出土土器



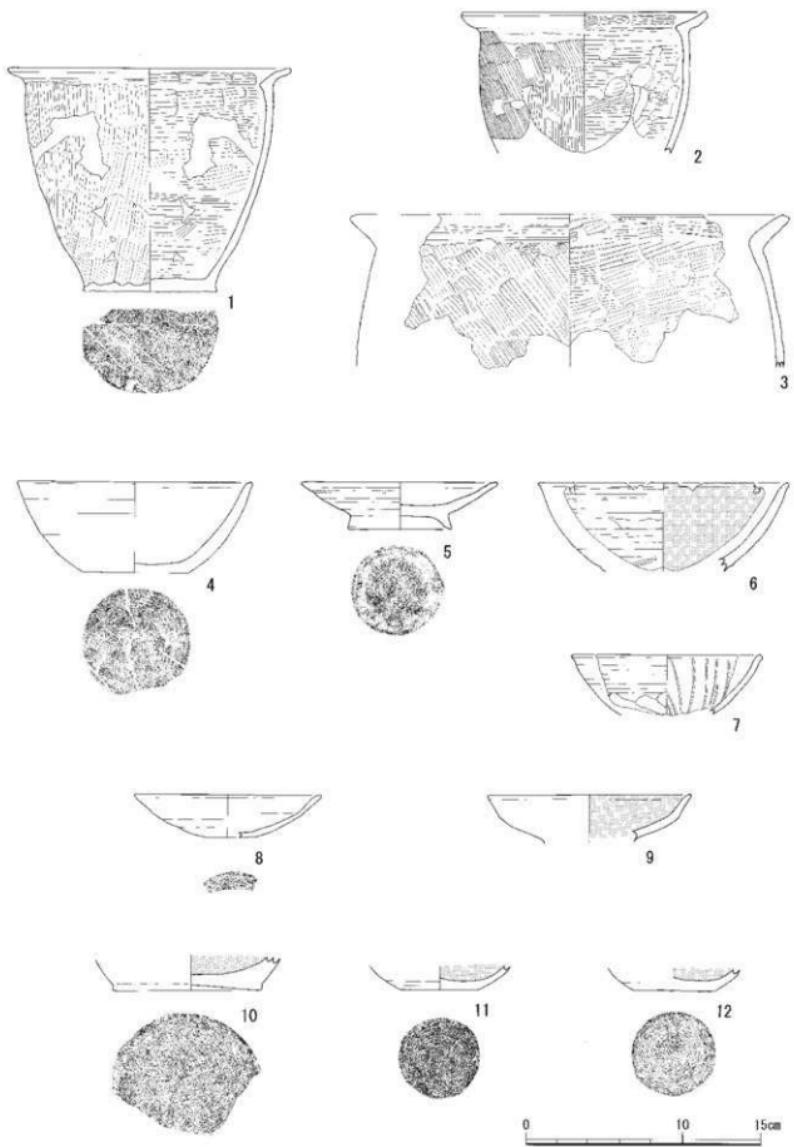
第248図 87号住居跡出土土器



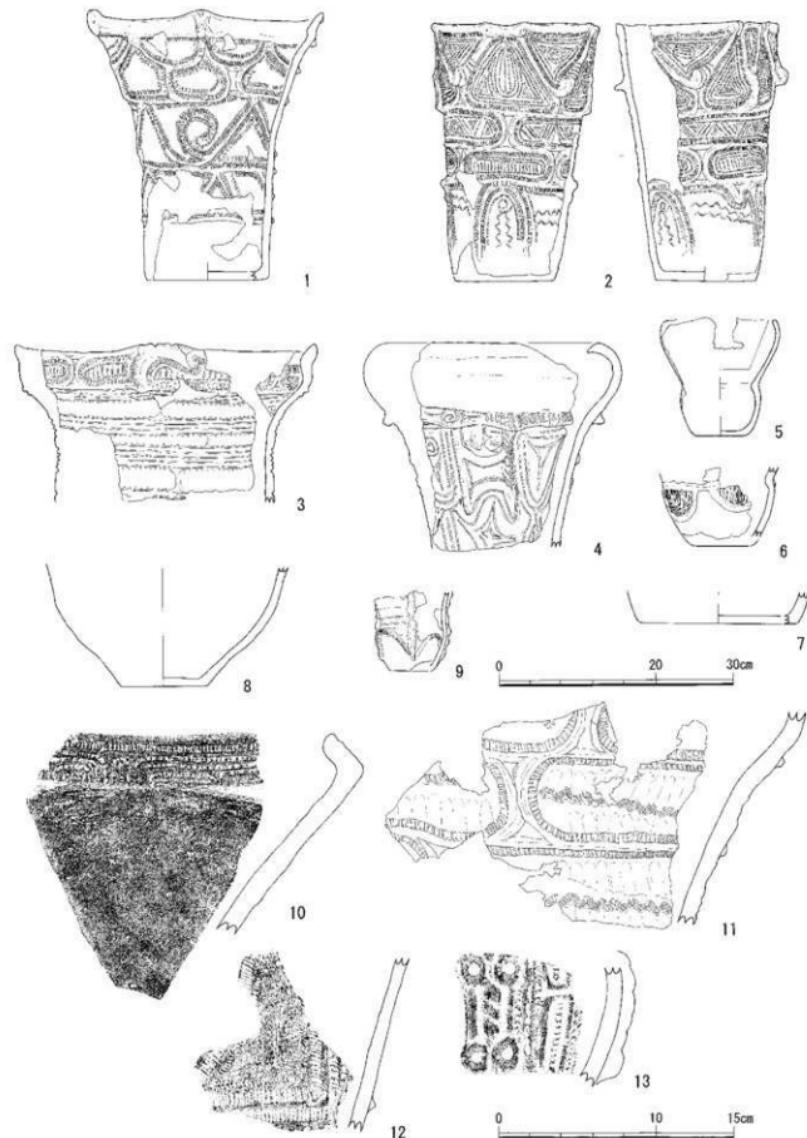
第249図 91号住居跡出土土器



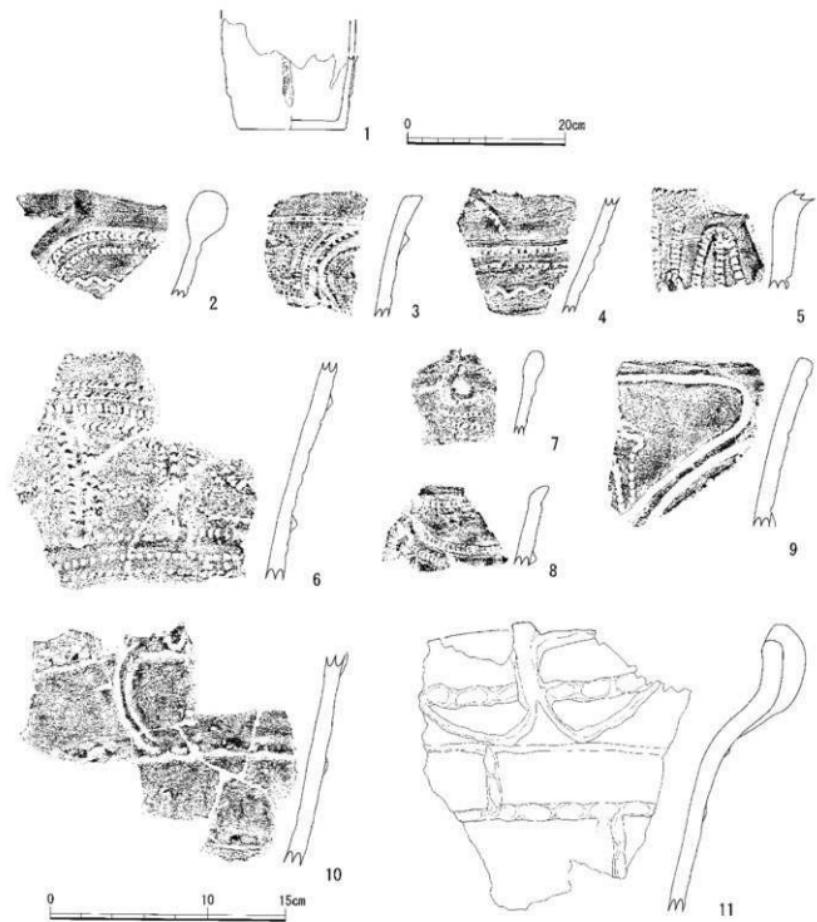
第250図 93号住居跡出土土器



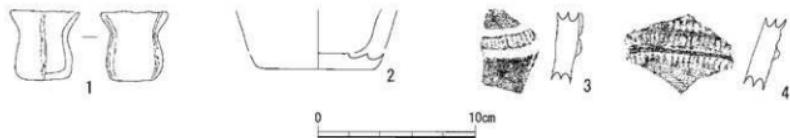
第251図 94号住居跡出土土器



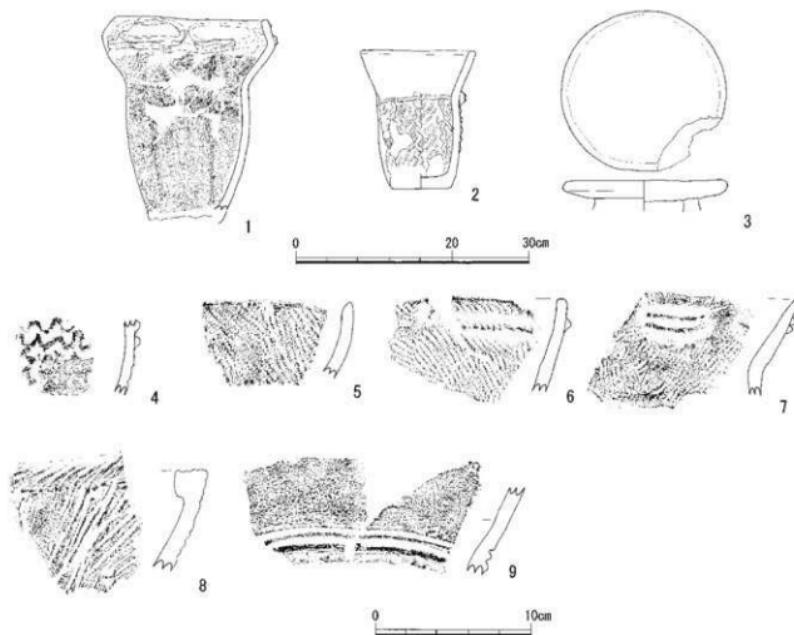
第252図 95号住居跡出土土器



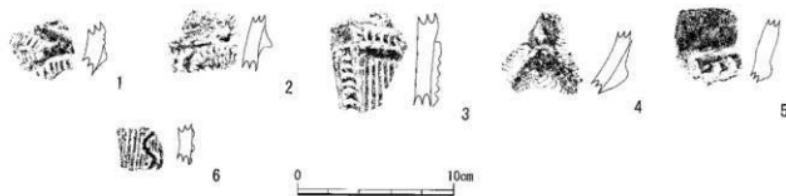
第253図 97号住居跡出土土器



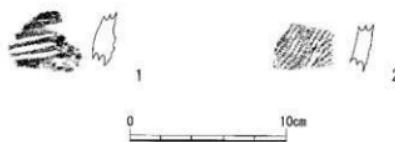
第254図 100号住居跡出土土器



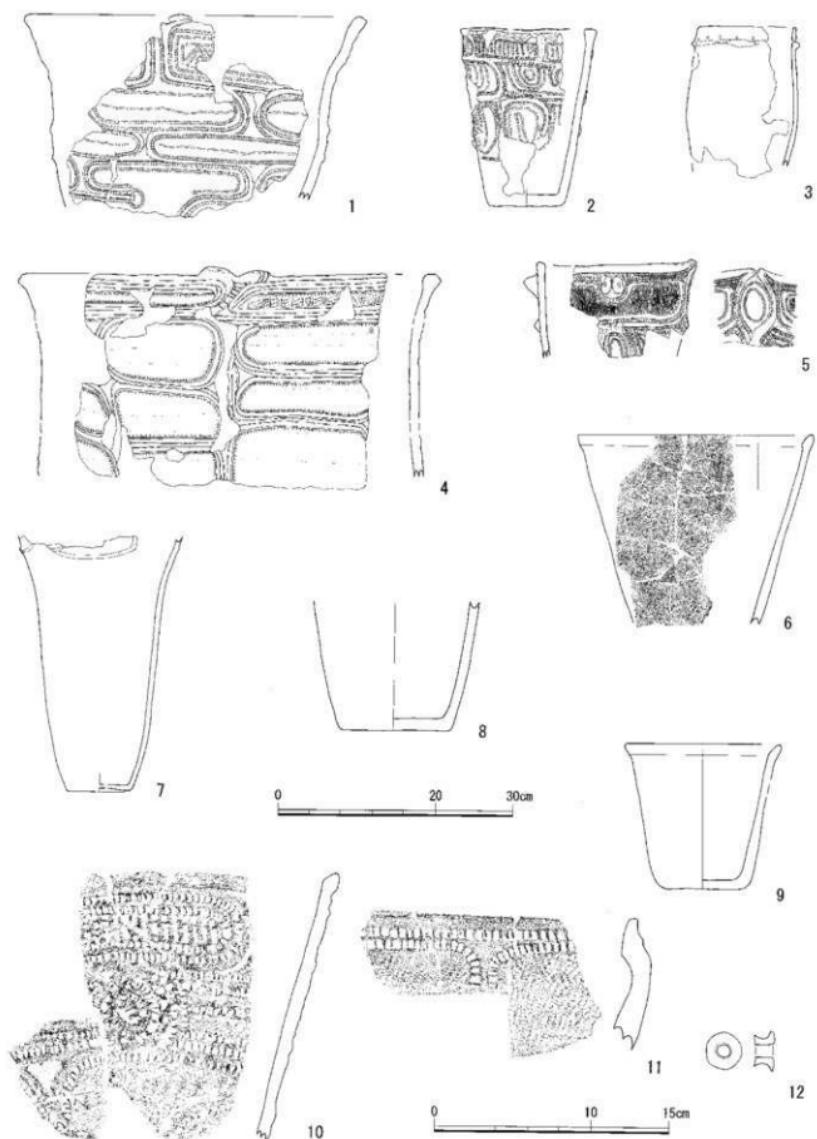
第255図 96号住居跡出土土器・土製品



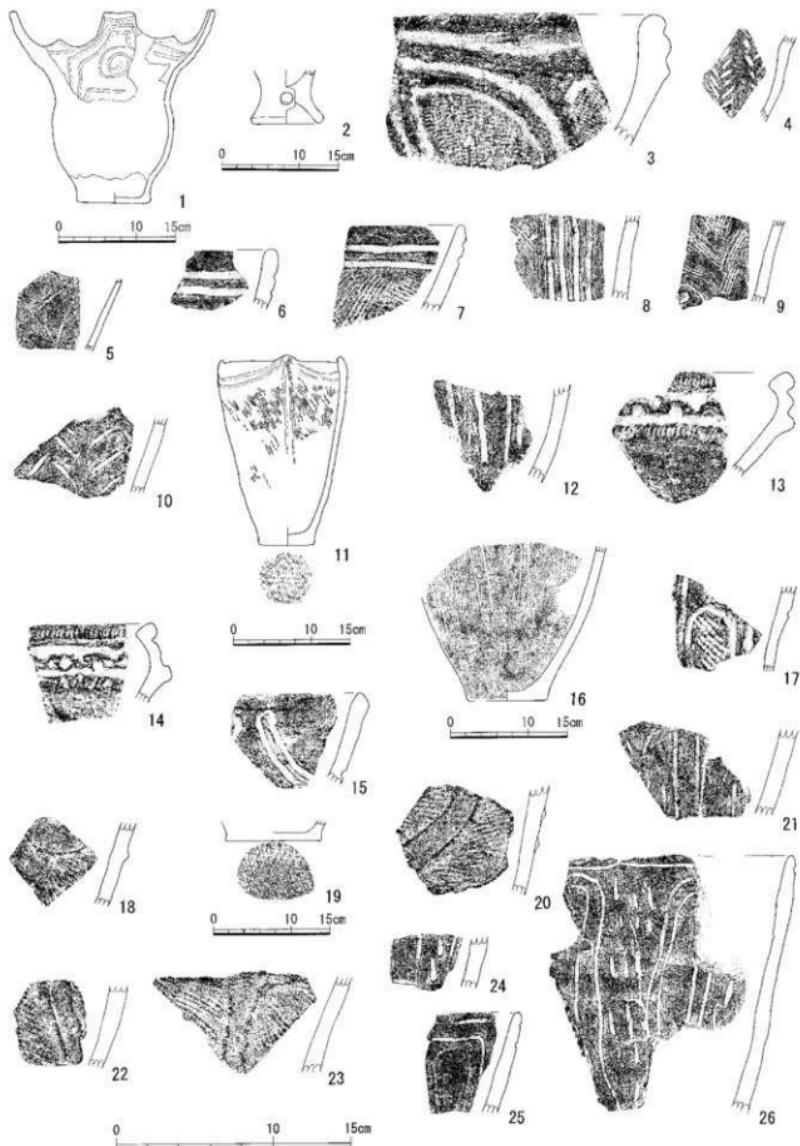
第256図 98号住居跡出土土器



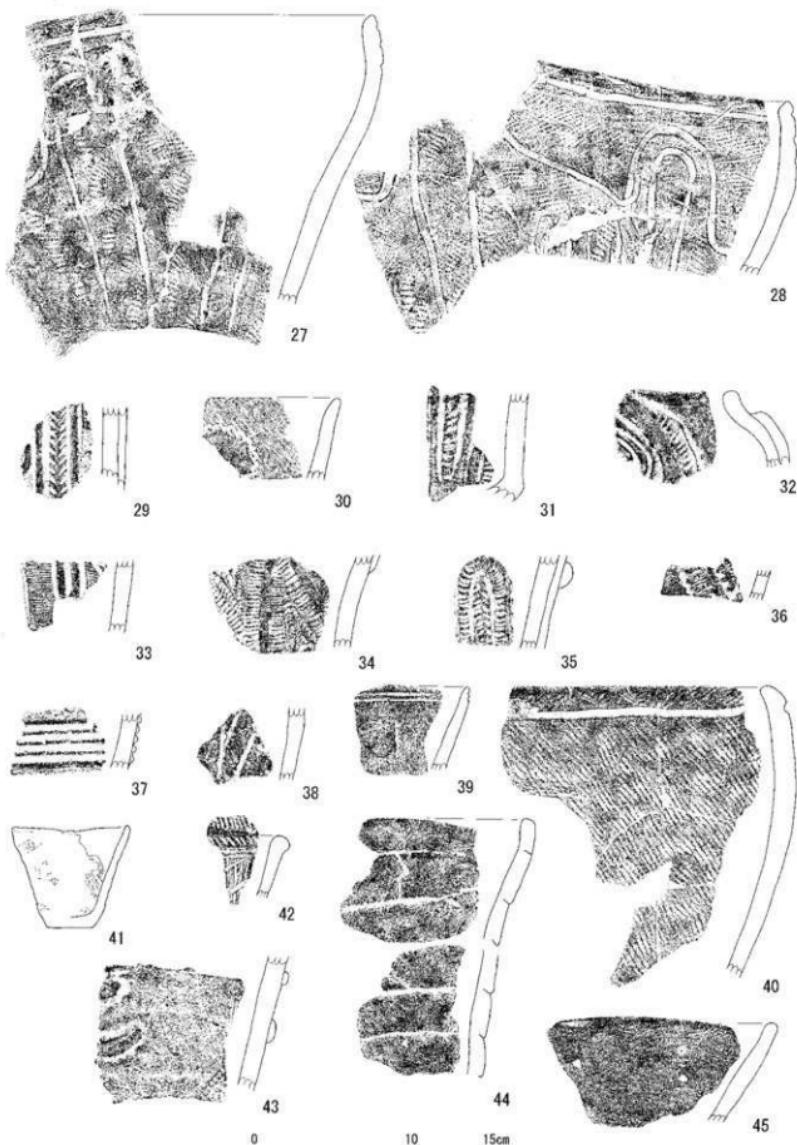
第257図 99号住居跡出土土器



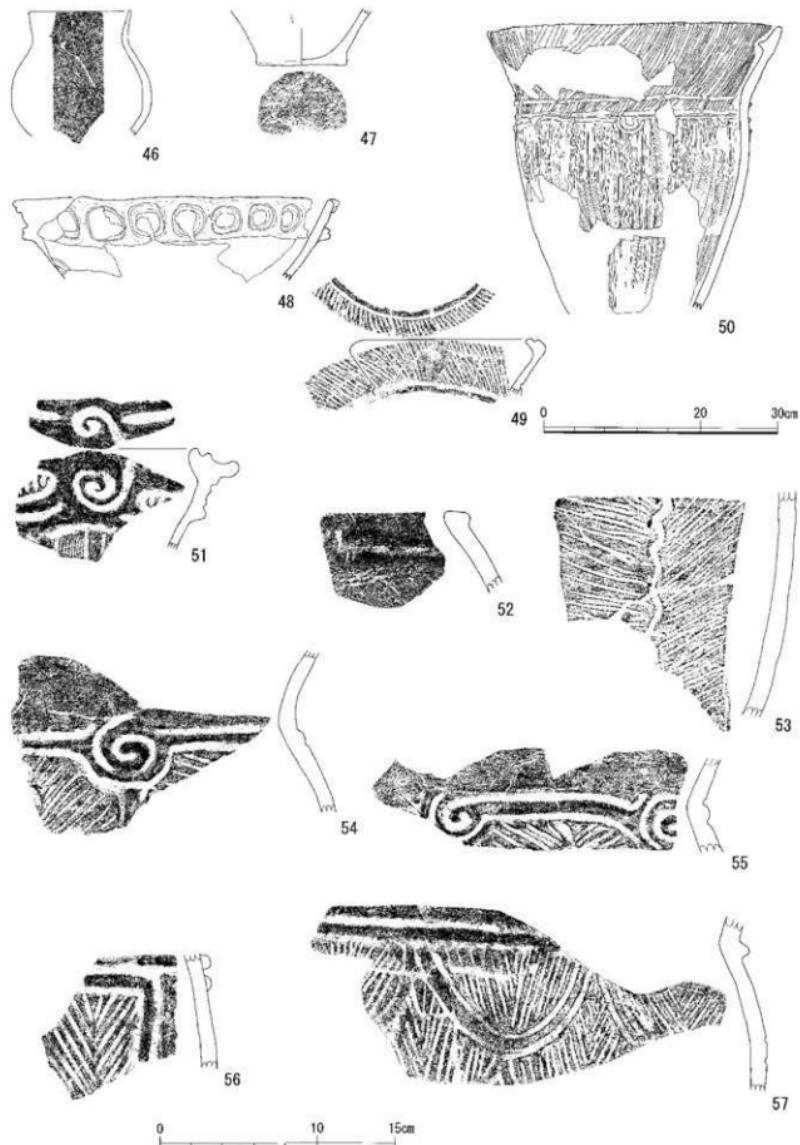
第258図 102号住居跡出土土器・土製品



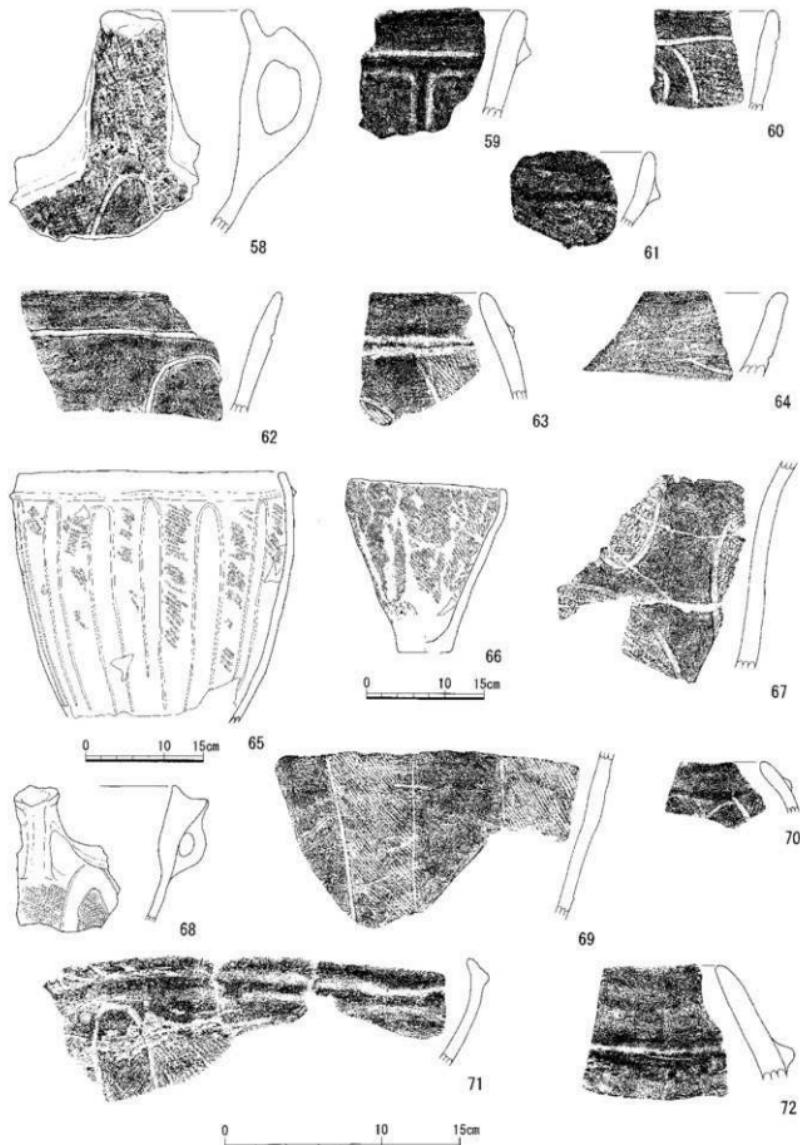
第259図 土坑出土土器



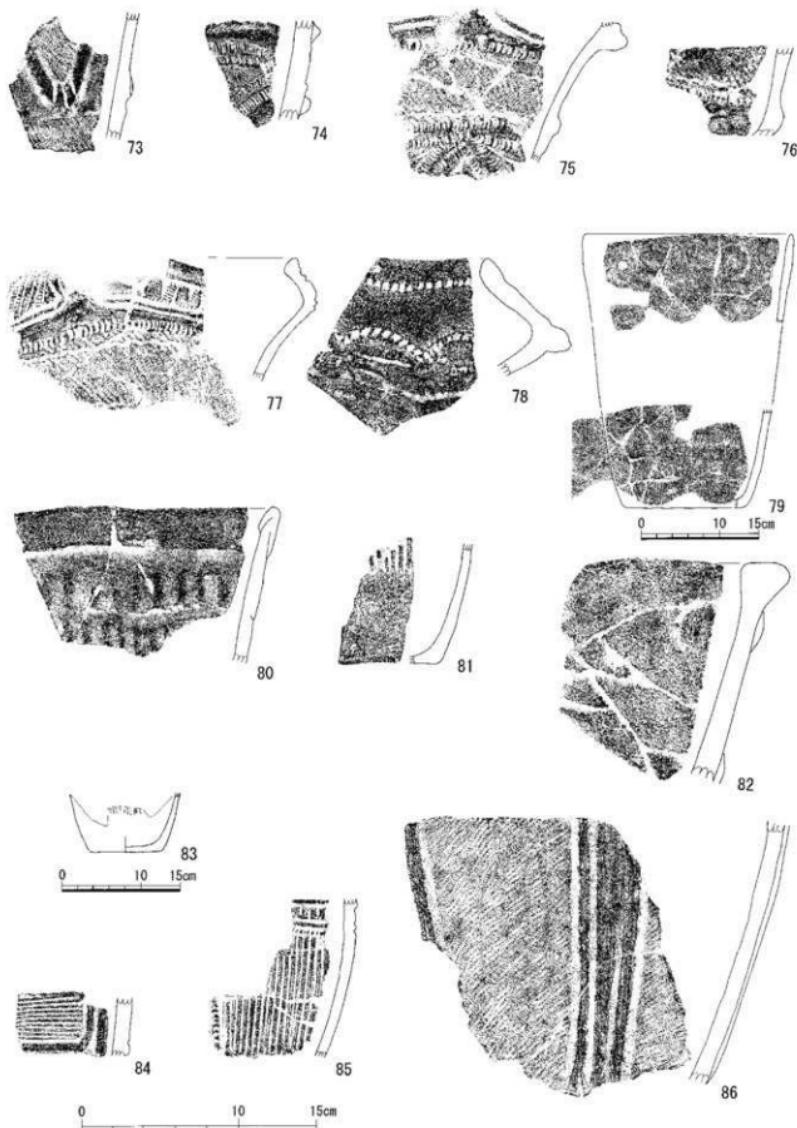
第260図 土坑出土土器



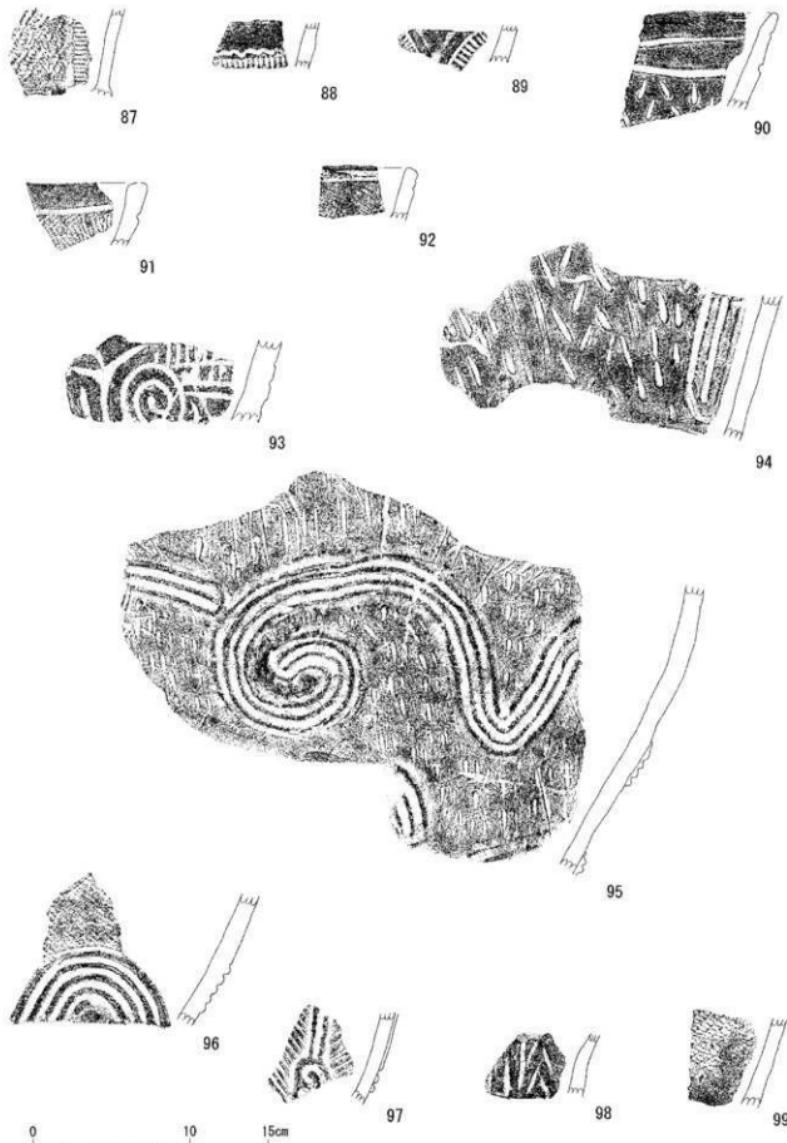
第261図 土坑出土土器



第262図 土坑出土土器



第263図 土坑出土土器



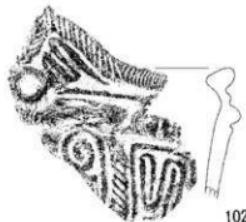
第264図 土坑出土土器



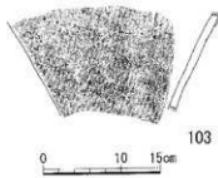
100



101

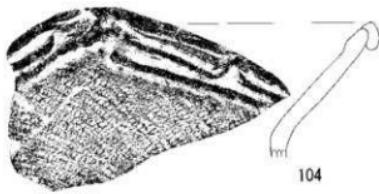


102

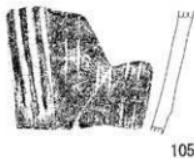


0 10 15cm

103



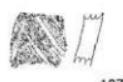
104



105



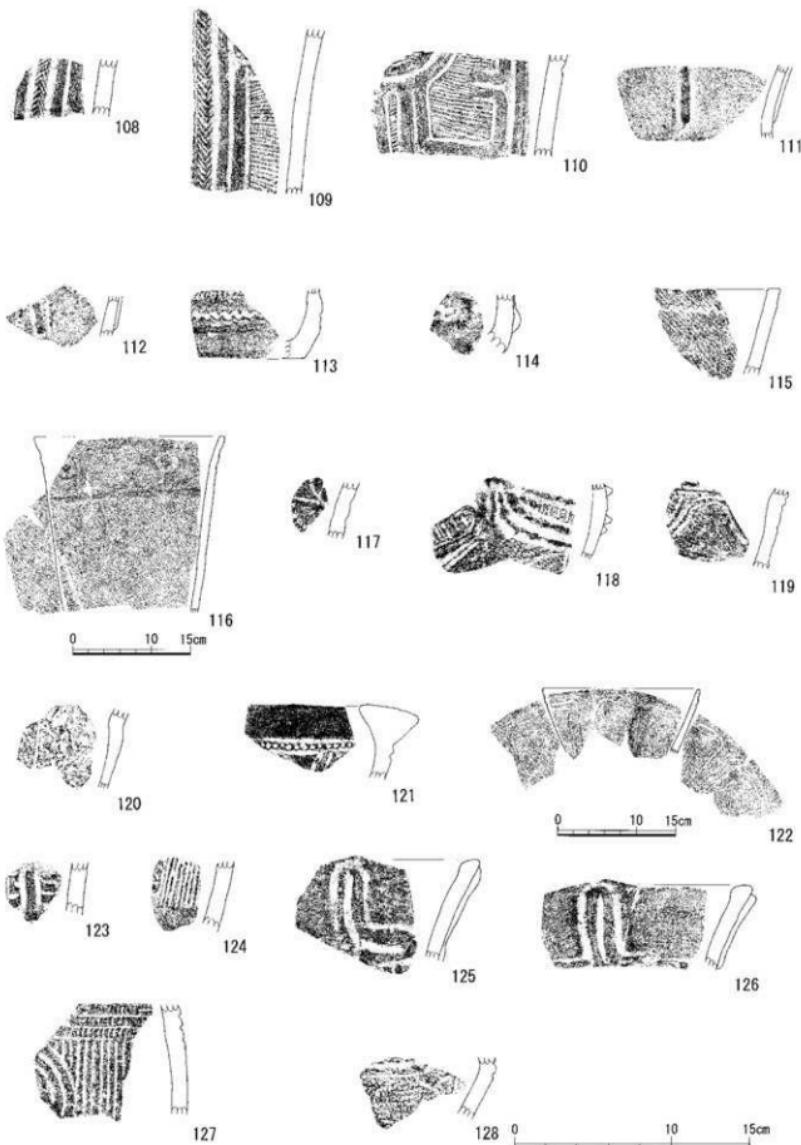
106



107



第265図 土坑出土土器



第266図 土坑出土土器



129



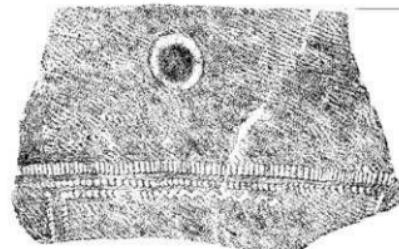
130



131



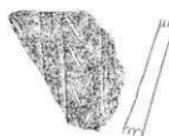
132



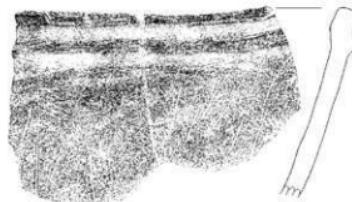
133



134



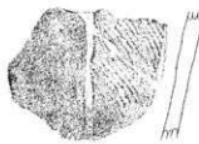
135



136



137



138



139



140



141



142



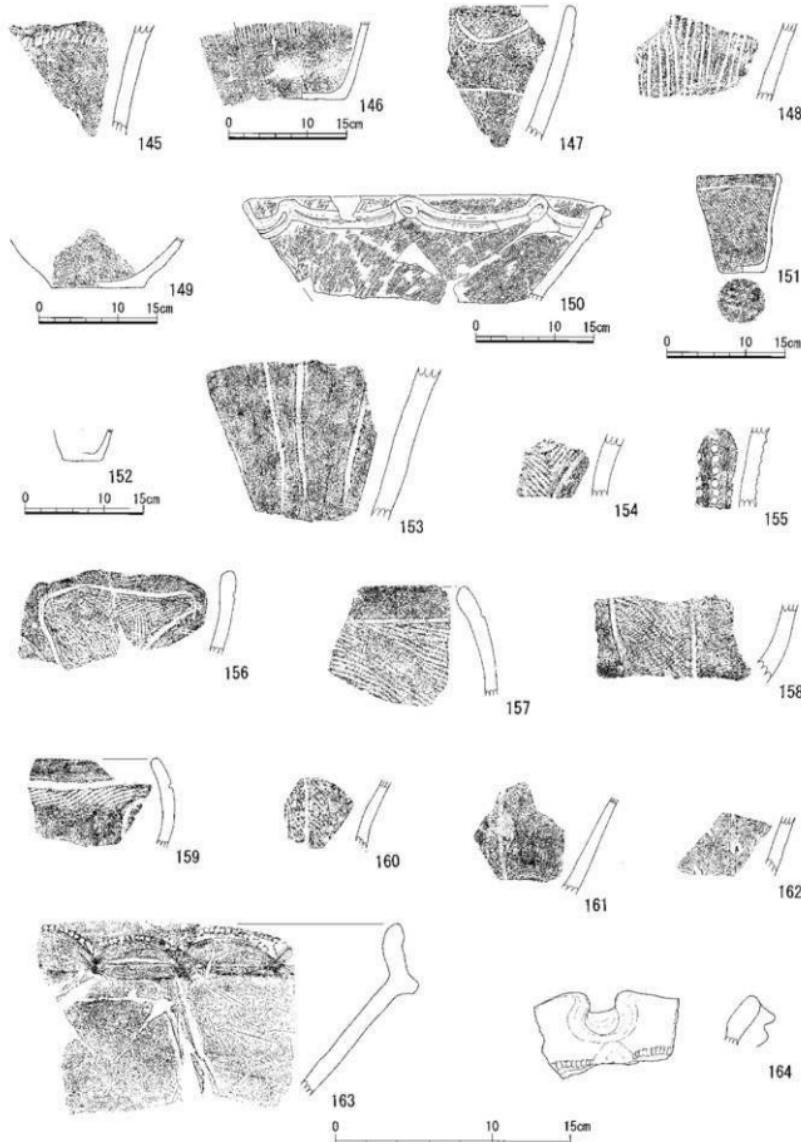
143



144

0 10 15cm

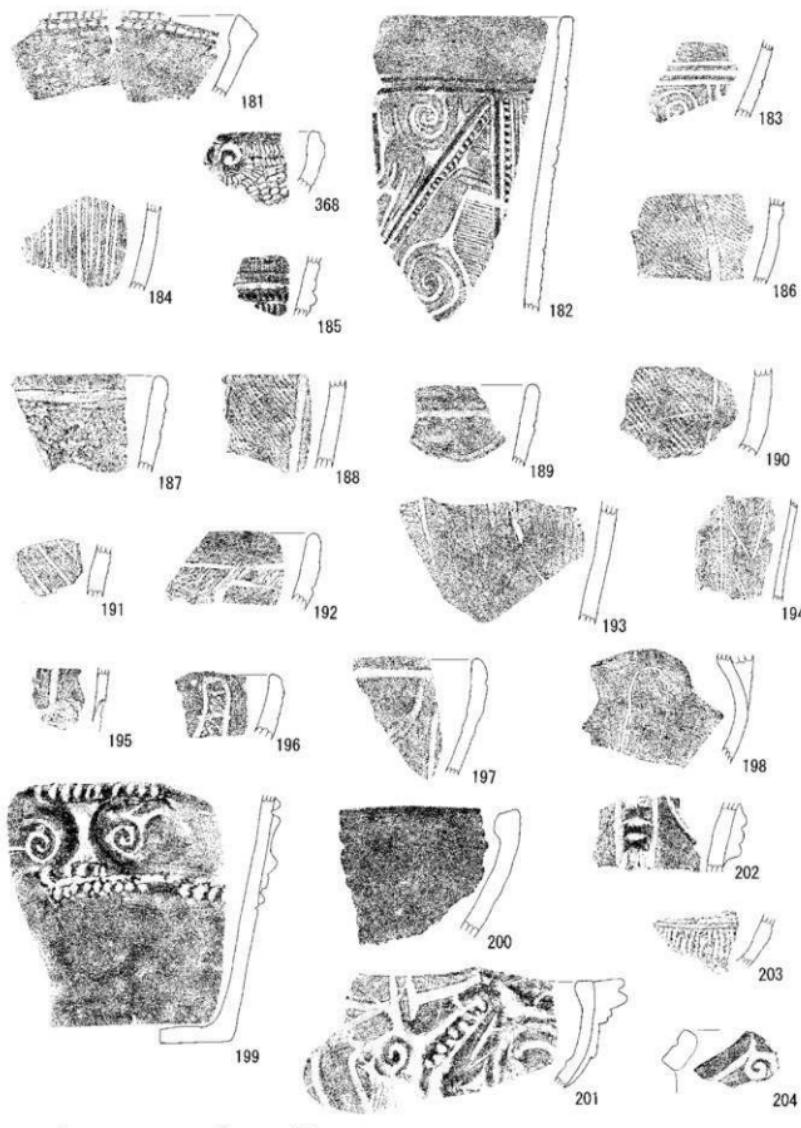
第267図 土坑出土土器



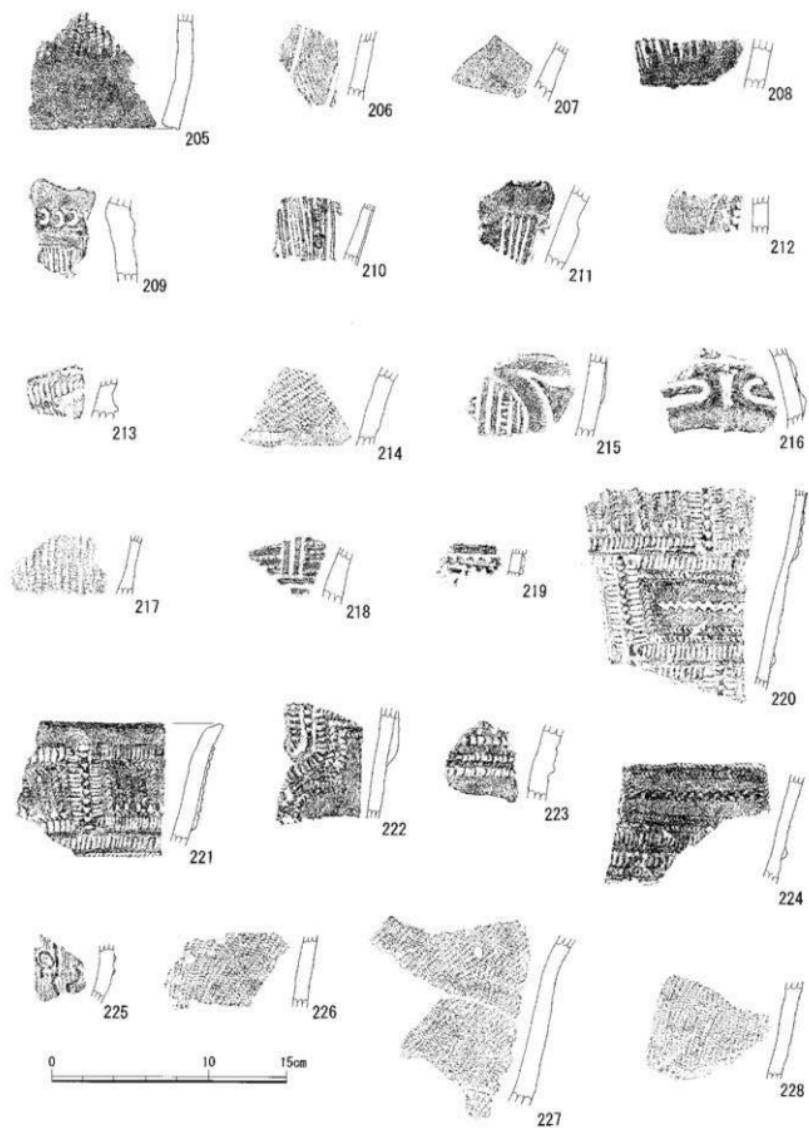
第268図 土坑出土土器



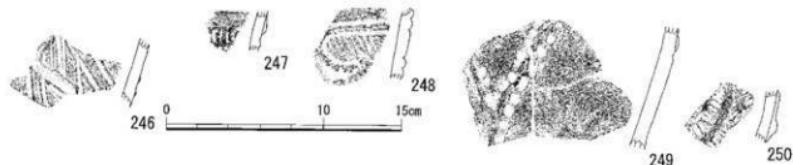
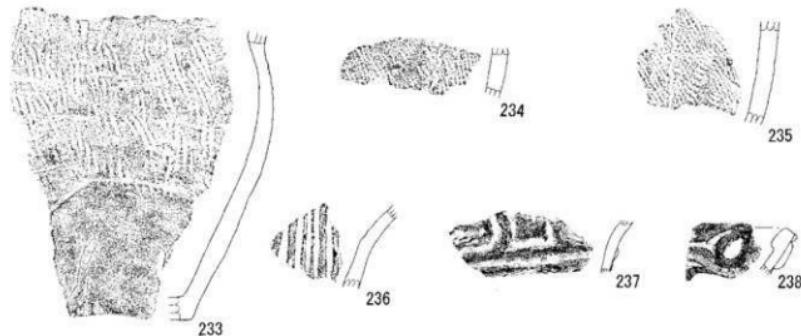
第269図 土坑出土土器



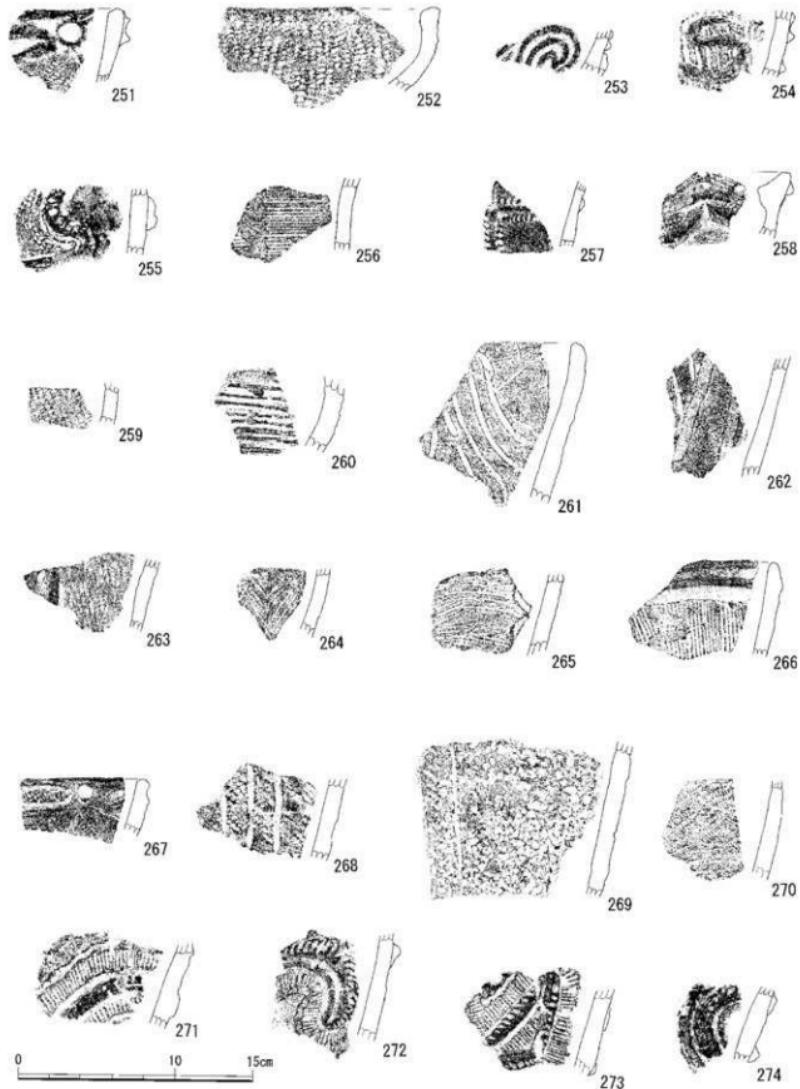
第270図 土坑出土土器



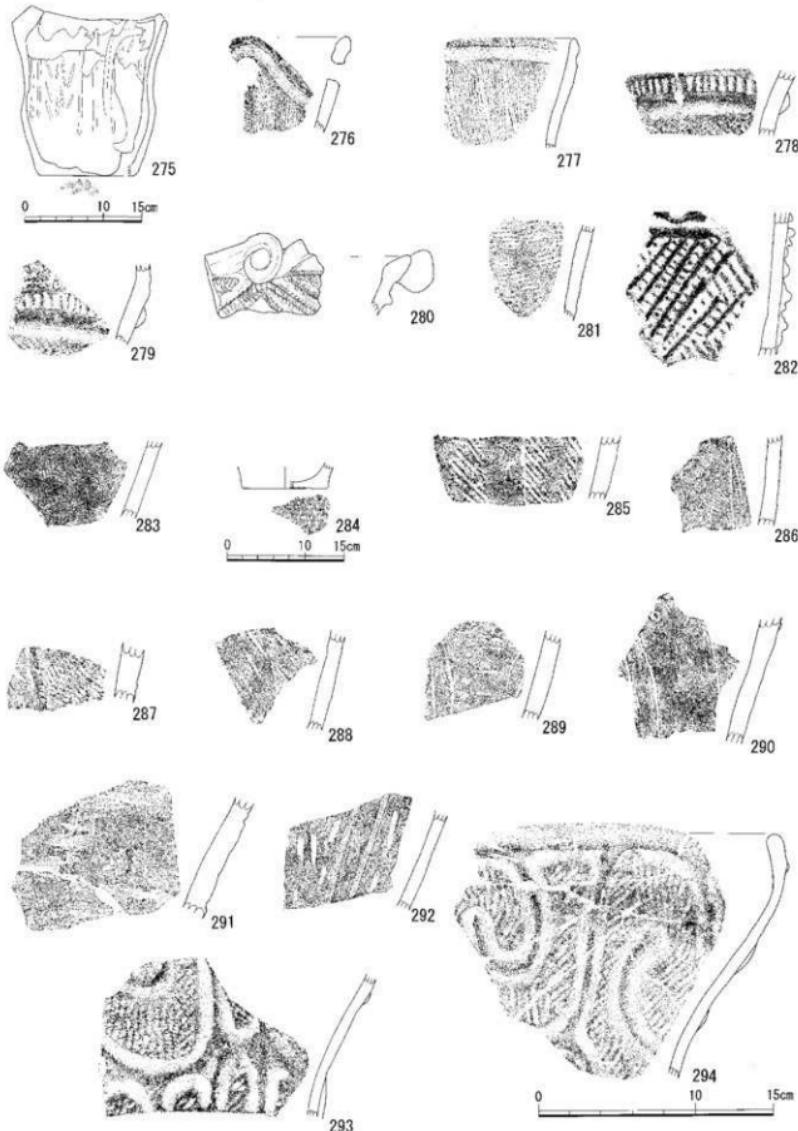
第271図 土坑出土土器



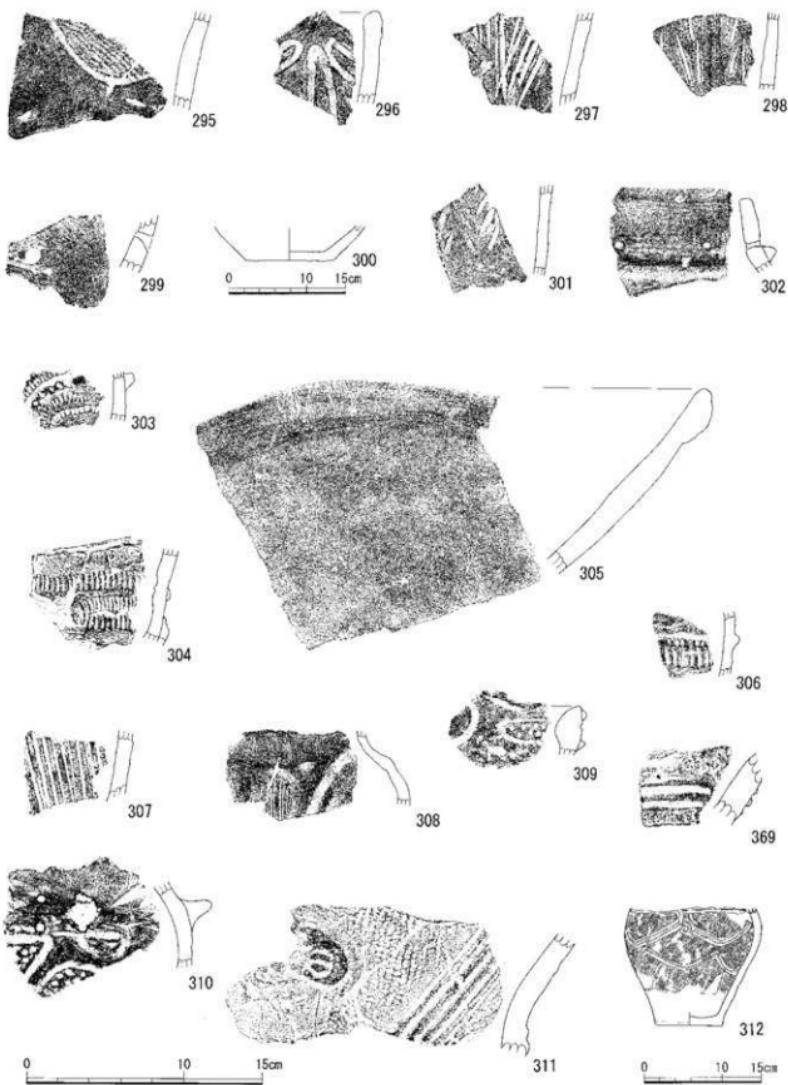
第272図 土坑出土土器



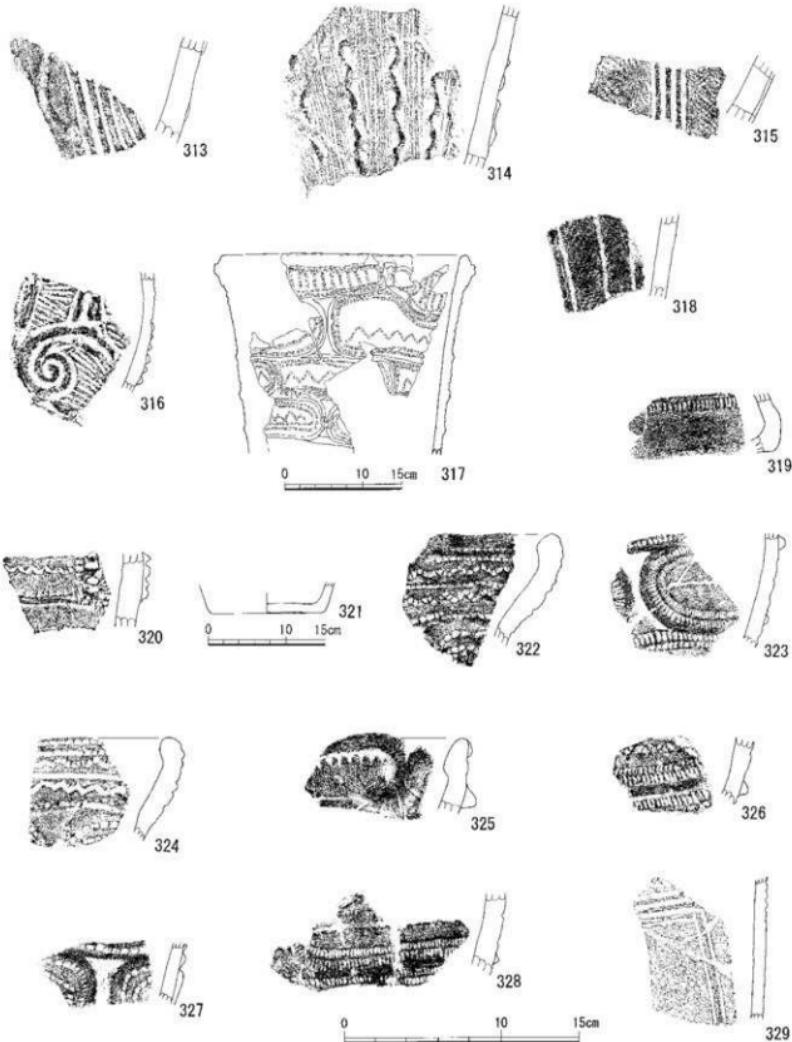
第273図 土坑出土土器



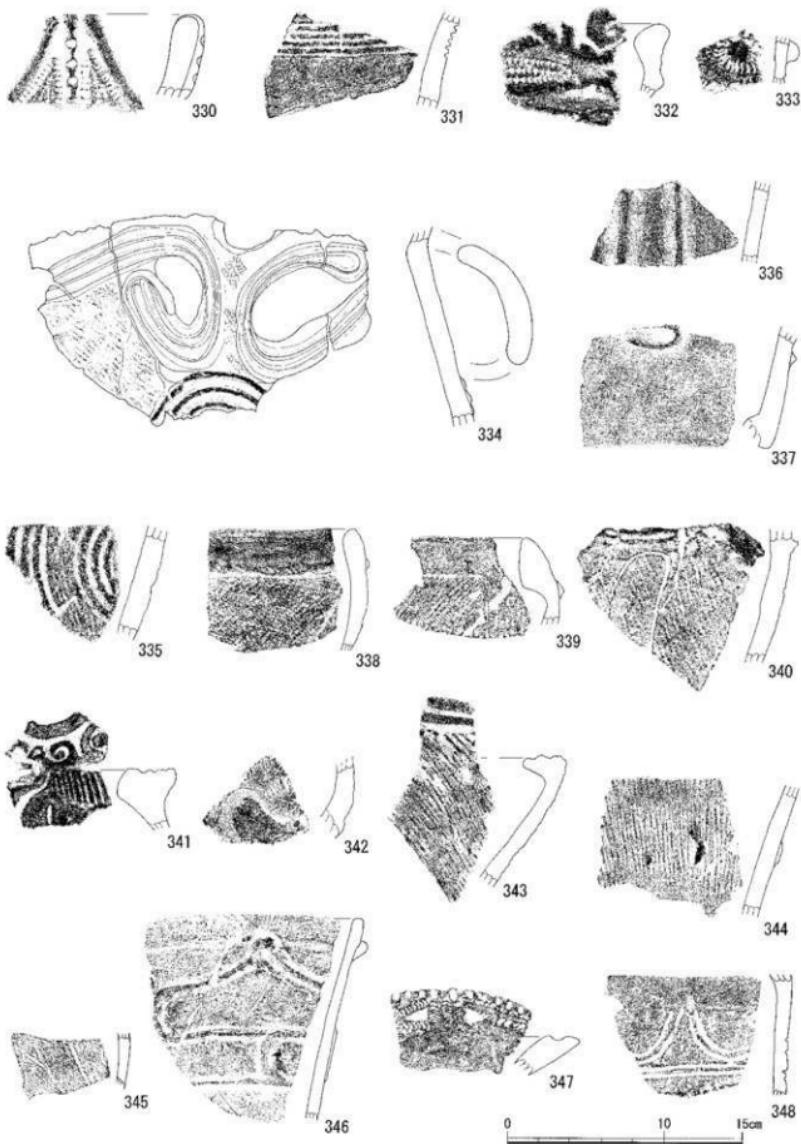
第274図 土坑出土土器



第275図 土坑出土土器



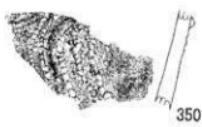
第276図 土坑出土土器



第277図 土坑出土土器



349



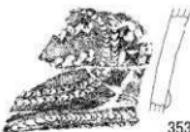
350



351



352



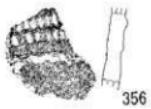
353



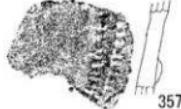
0 10 15cm



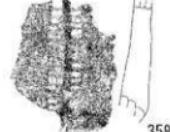
355



356



357



358



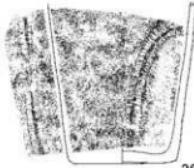
359



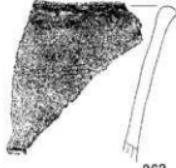
360



361



362



363



364



365



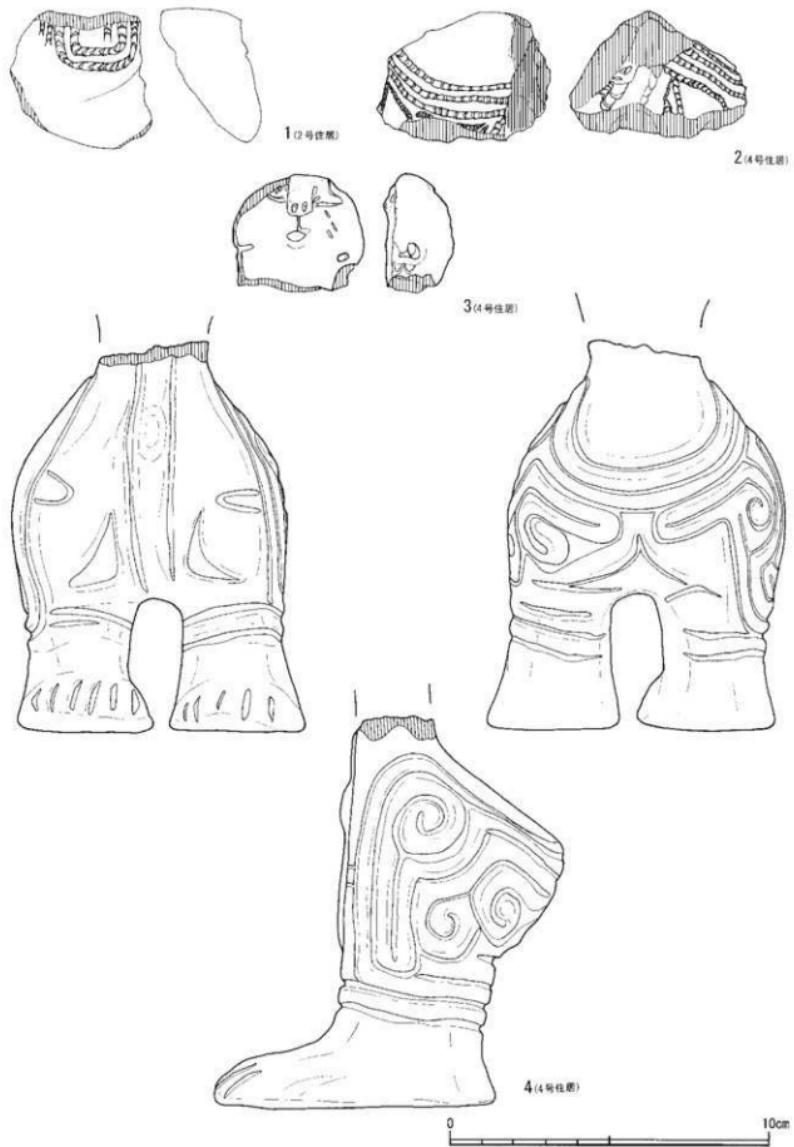
366



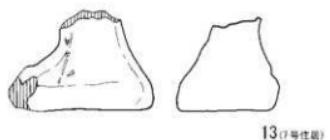
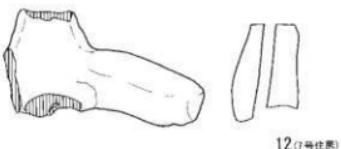
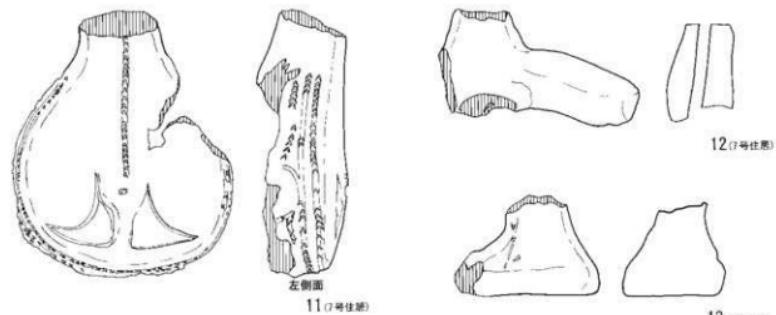
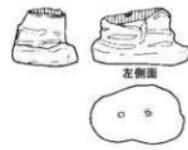
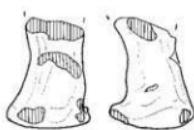
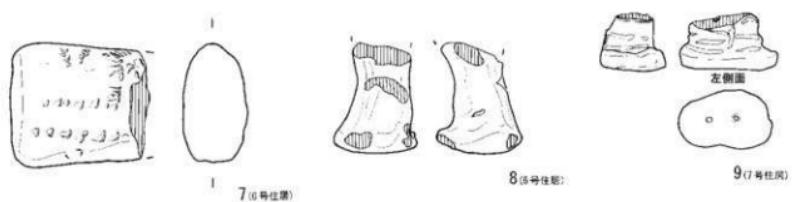
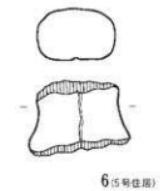
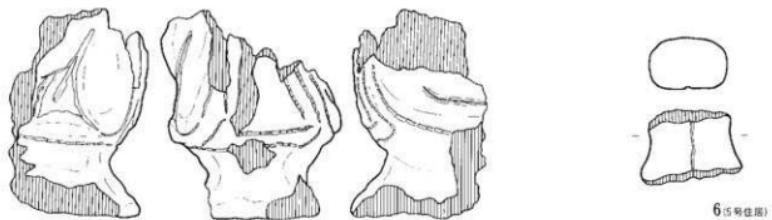
367

0 10 15cm

第278図 土坑出土土器



第279図 土偶

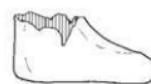


第280図 土偶



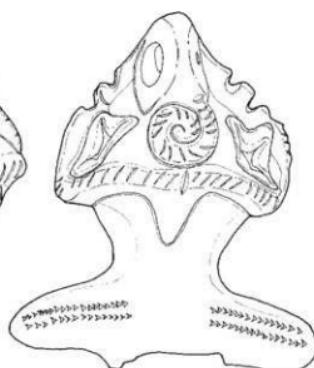
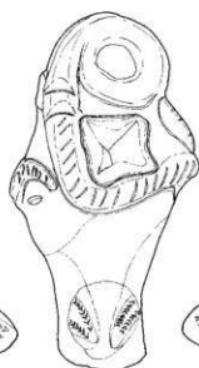
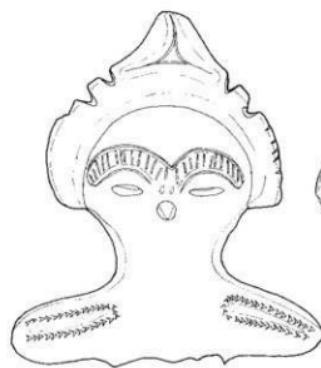
左侧面

14(7号住顎)

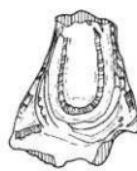
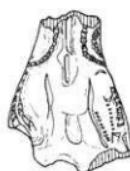


左侧面

15(7号住顎)



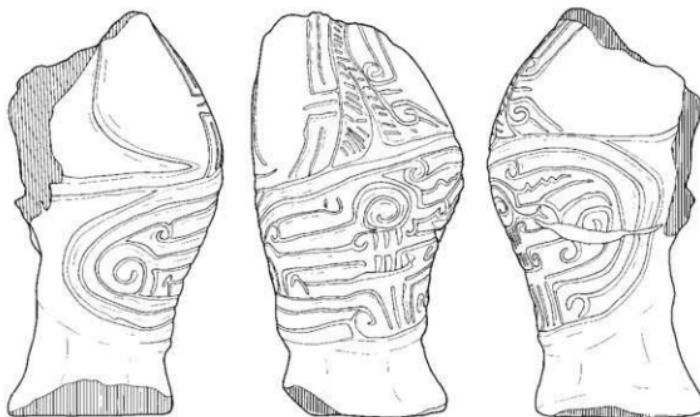
16(7号住顎)



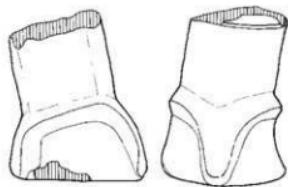
17(7号住顎)

0

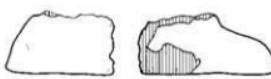
10cm



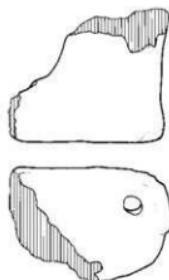
18(8号住居)



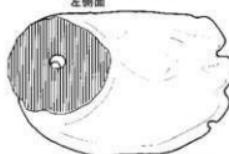
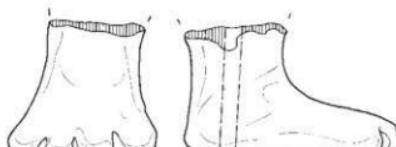
19(10号住居)



20(11号住居)



21(13号住居)



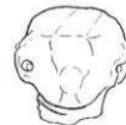
22(16号住居)



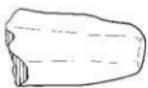
第282図 土偶



23(16号住居)



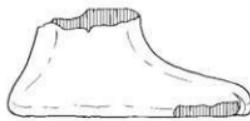
24(18号住居)



25(18号住居)



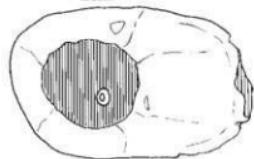
26(18号住居)



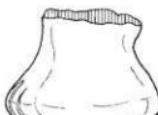
左侧面



27(18号住居)



28(18号住居)



29(18号住居)



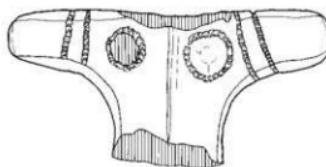
30(18号住居)



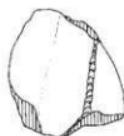
第283図 土偶



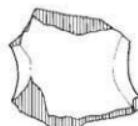
31(19号住居)



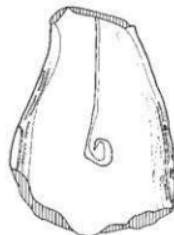
32(18号住居)



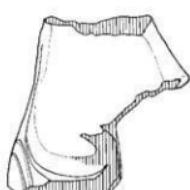
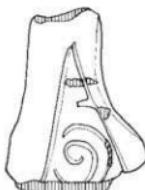
33(19号住居)



34(19号住居)



35(19号住居)



左側面

36(19号住居)



37(19号住居)

0

10cm

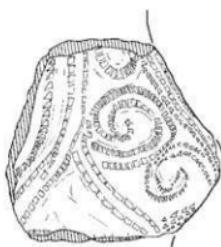
第284図 土偶



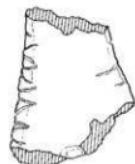
38(19号住居)



39(19号住居)



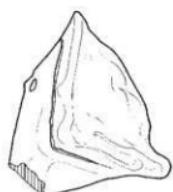
40(22号住居)



41(27号住居)

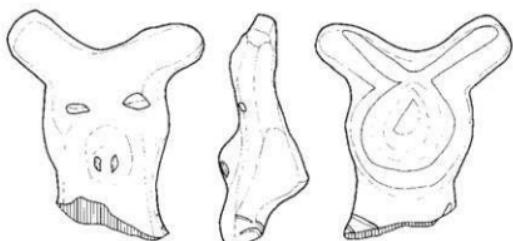


42(34号住居)

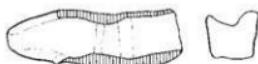


44(34号住居)





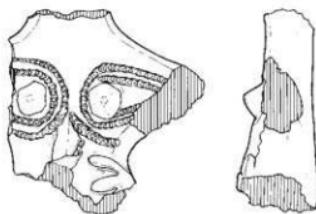
45(37号住居)



46(37号住居)

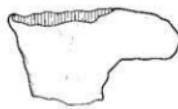


47(39号住居)



48(39号住居)





49(39号住居)

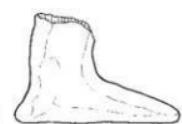


50(39号住居)



左侧面

51(43号住居)

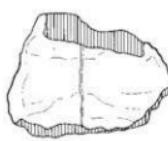


左侧面

52(46号住居)

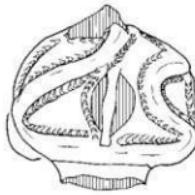


53(48号住居)



左侧面

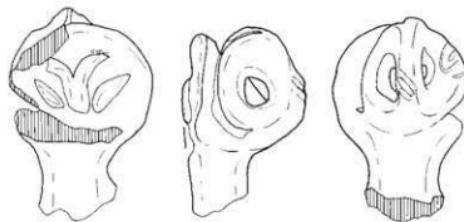
54(48号住居)



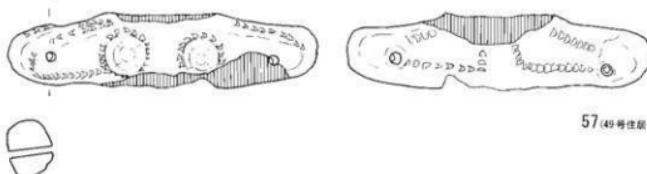
左侧面

55(55号住居)

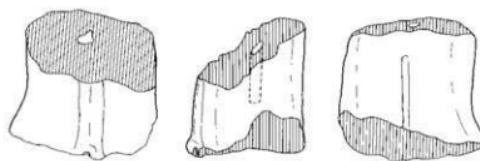




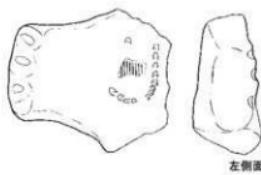
56(49号住居)



57(49号住居)



58(49号住居)



59(49号住居)



60(49号住居)



第288図 土偶



左侧面

61 (52号住居)

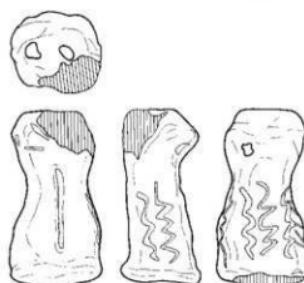


左侧面

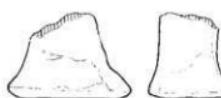
62 (54号住居)



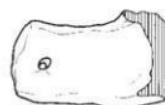
63 (54号住居)



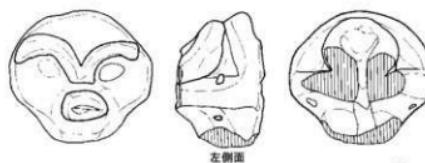
64 (51号住居)



65 (75号住居)



66 (78号住居)

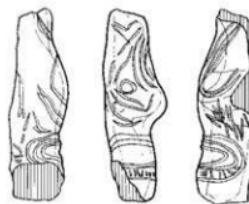


左侧面

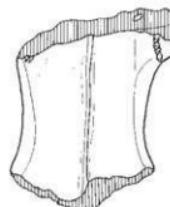
67 (83号住居)



第289図 土偶

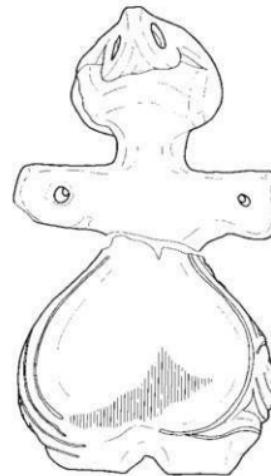
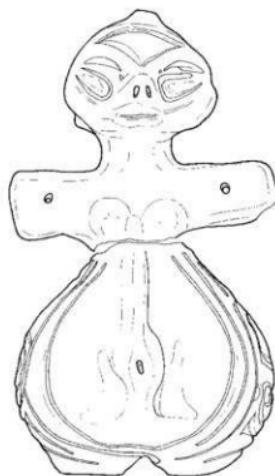


68(83号住居)



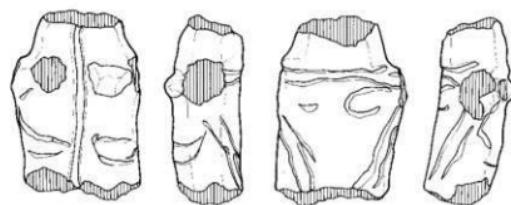
左侧面

69(85号住居)



70(89号住居)

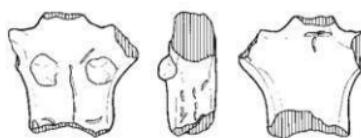




71 (94号住居)



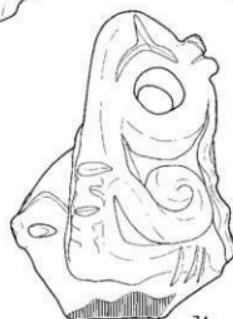
72 (94号住居)



73 (94号住居)

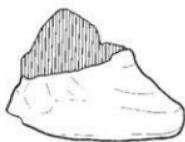
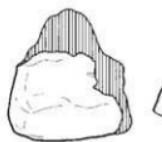


74 (95号住居)



0

10cm

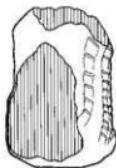


左侧面

75(95号住居)



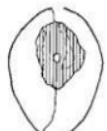
76(96号住居)



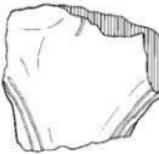
77(97号住居)



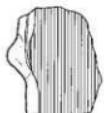
78(102号住居)



79(102号住居)



80(308号土坑)



81(128号土坑)



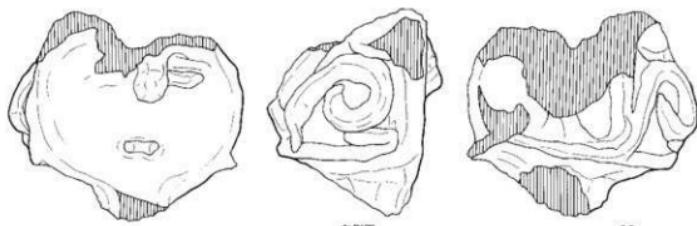
左侧面



82(29号土坑)

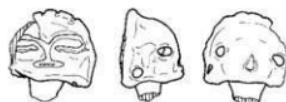


第292図 土偶

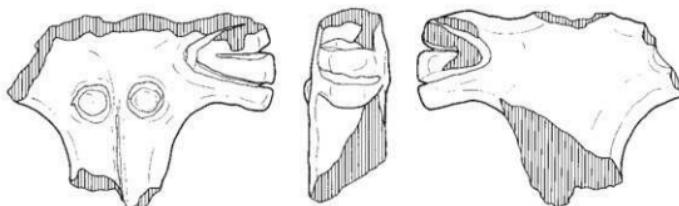


左側面

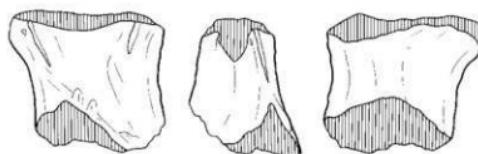
83(包含層)



84(包含層)



85(包含層)



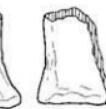
86(包含層)





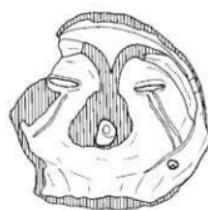
88(包含骨)

87(包含骨)

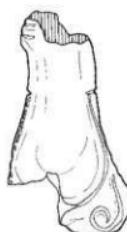


90(包含骨)

89(包含骨)



91(頸孔)



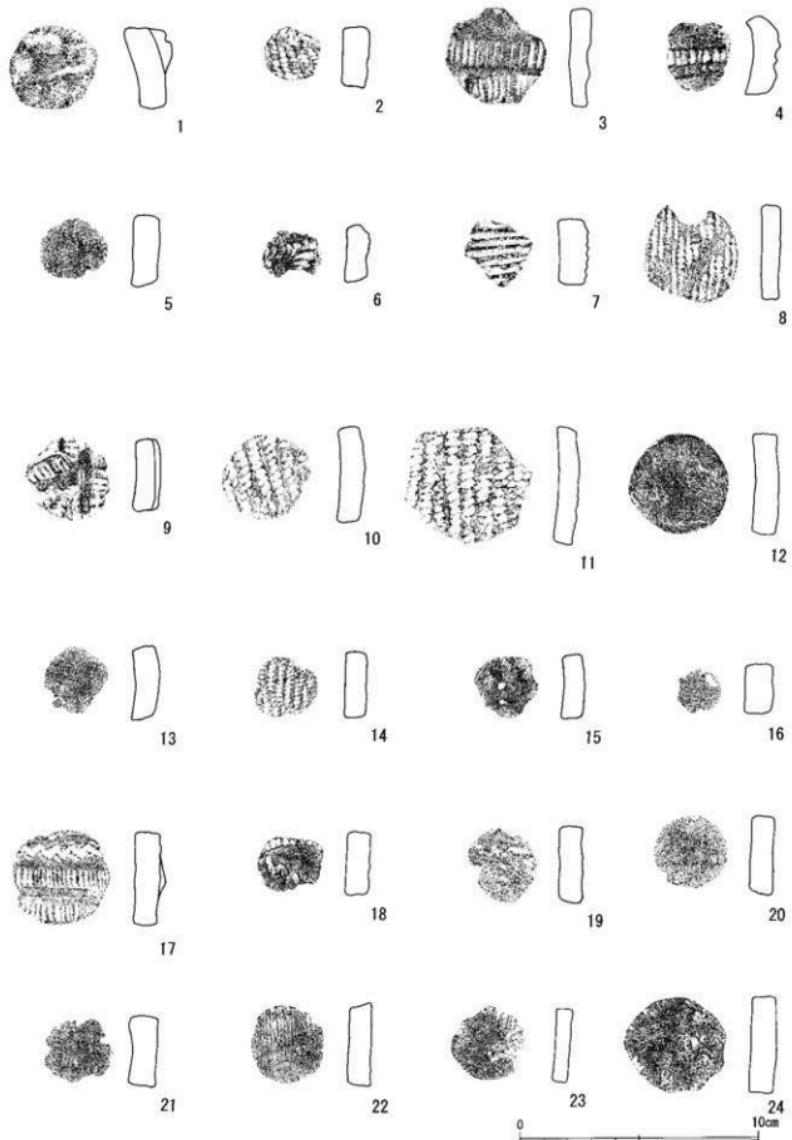
92(頸孔)

左侧面

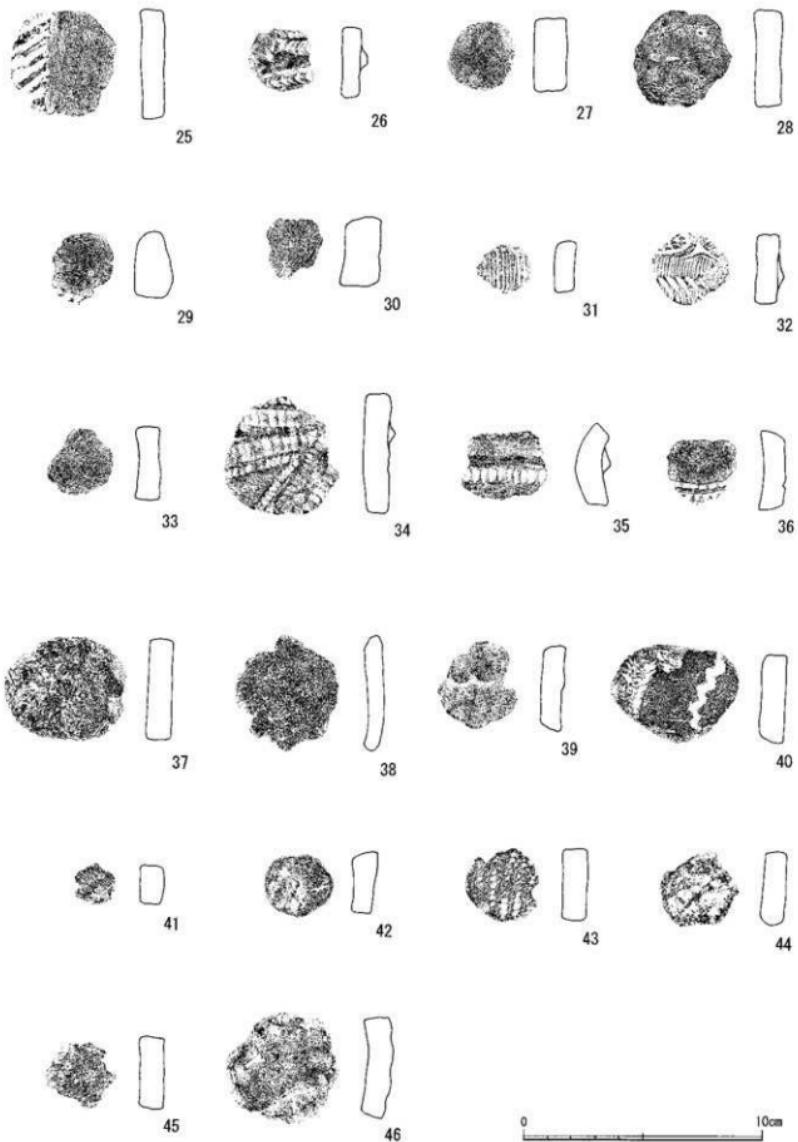


0

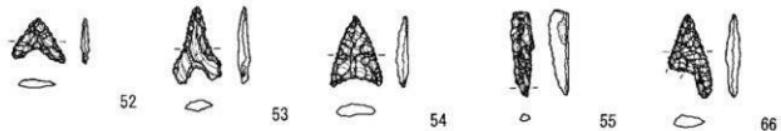
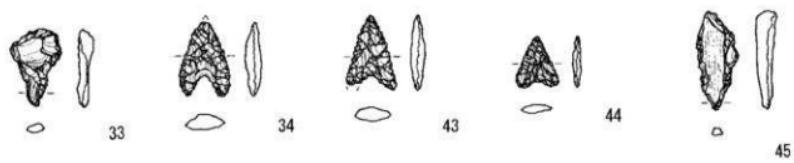
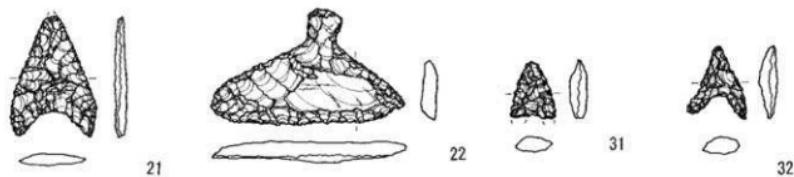
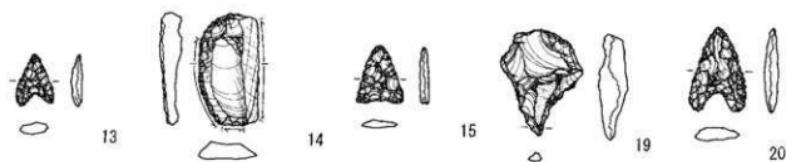
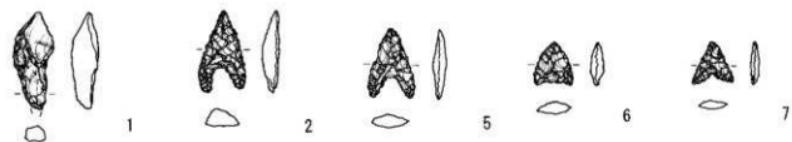
10cm



第295図 土製円盤



第296図 土製円盤

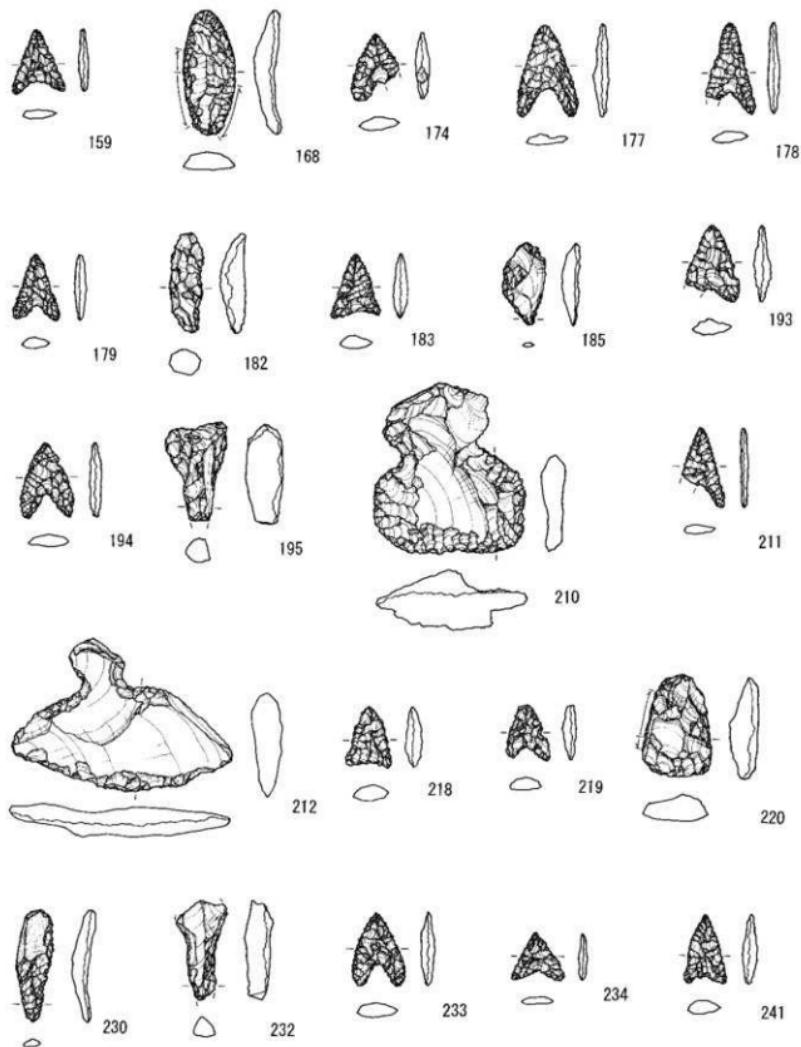


0 10mm

第297図 小型剥片石器類

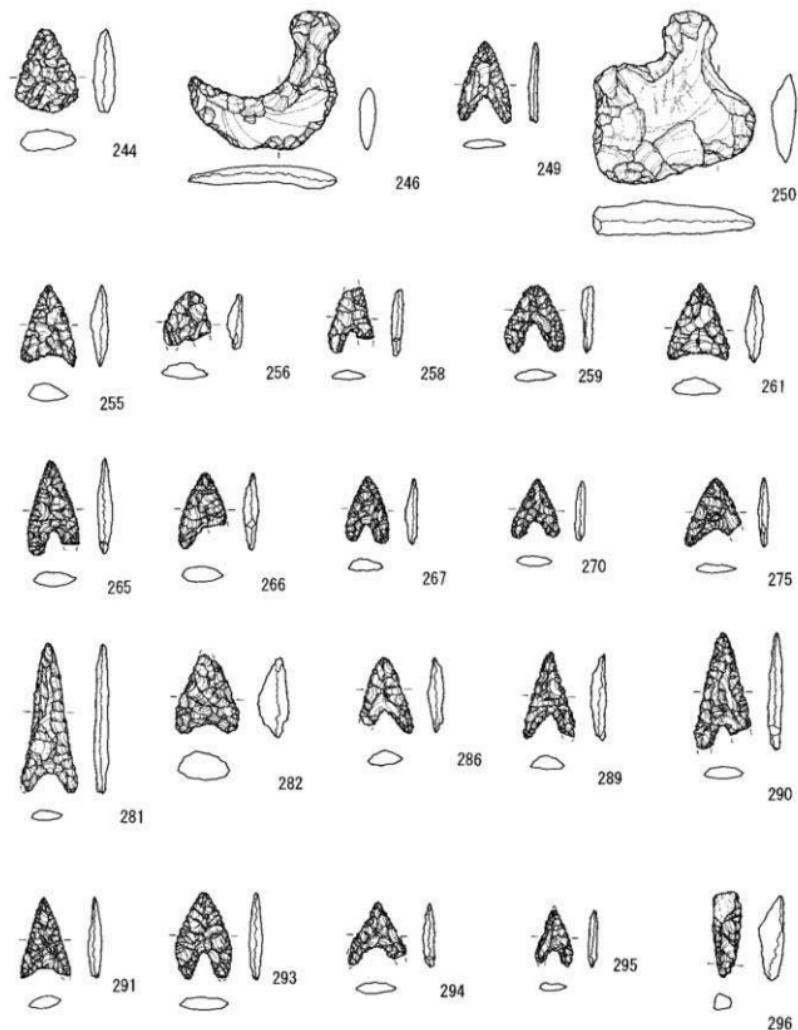


第298図 小型剥片石器類



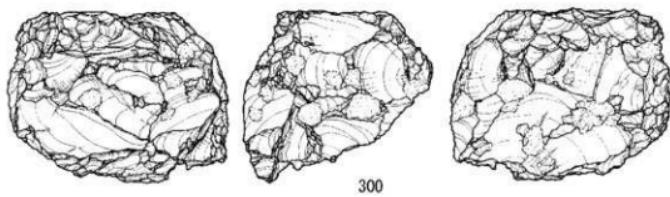
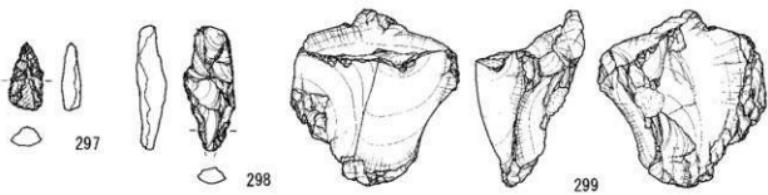
0 10cm

第299図 小型剥片石器類



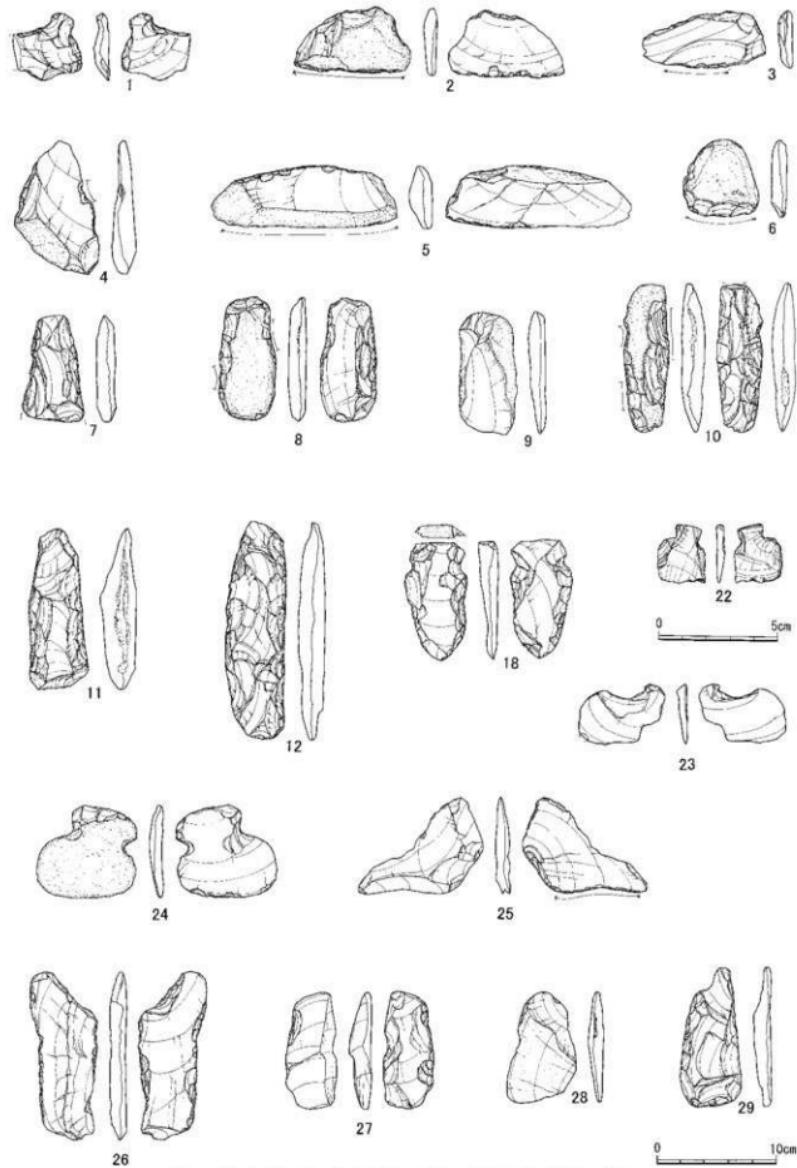
0 10cm

第300図 小型剥片石器類

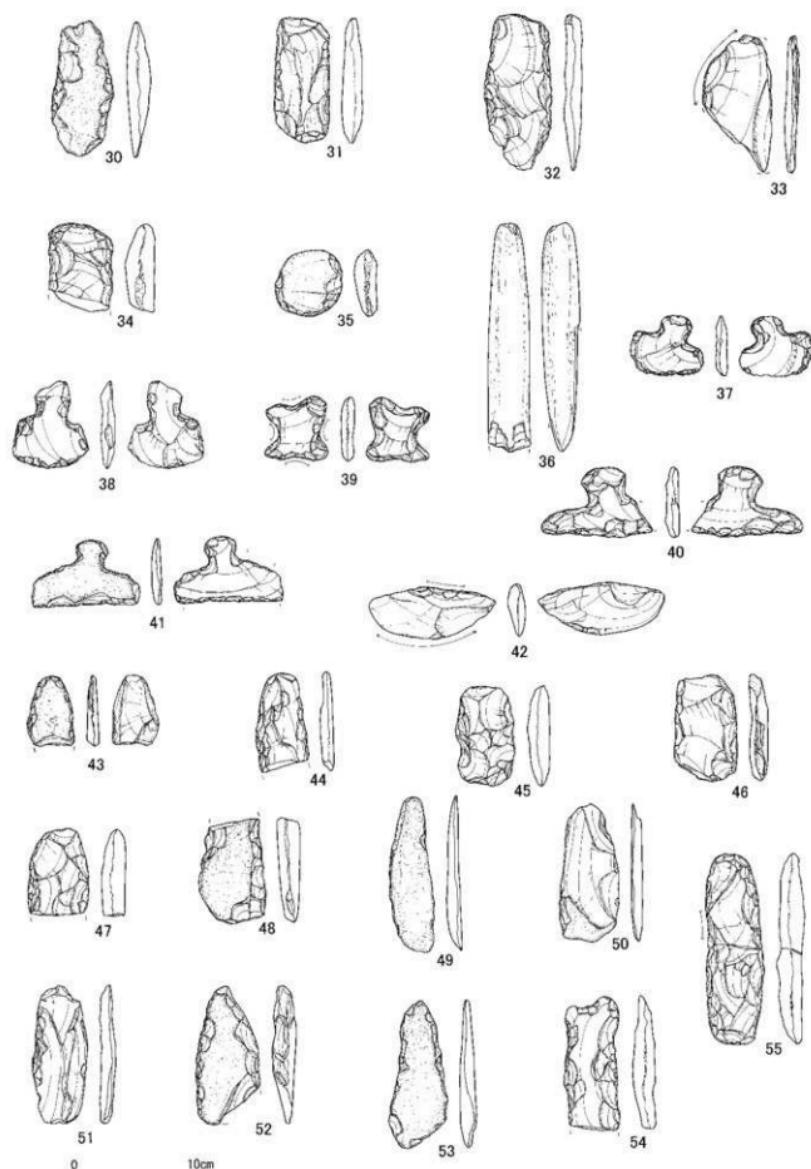


0 10cm

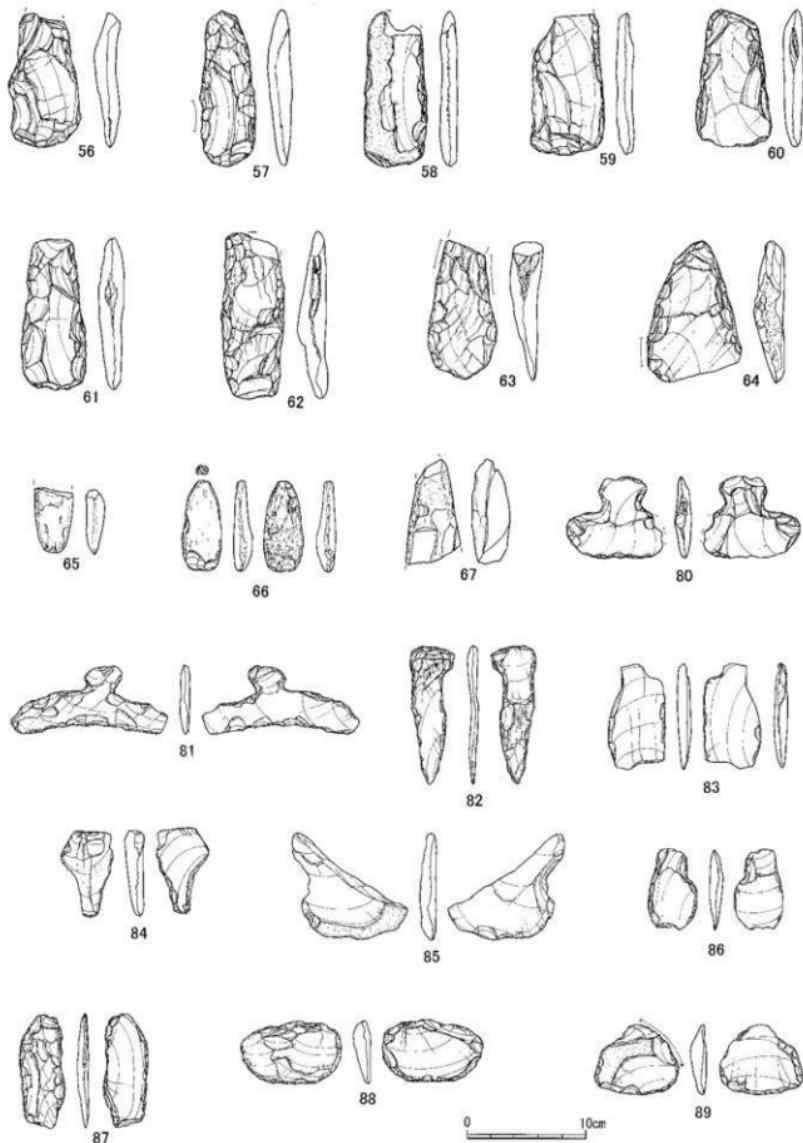
第301図 小型剥片石器類



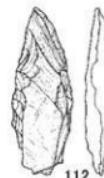
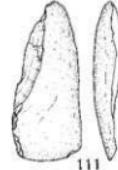
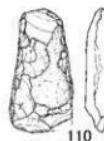
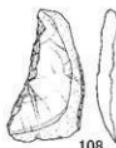
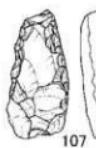
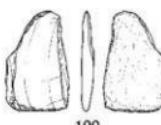
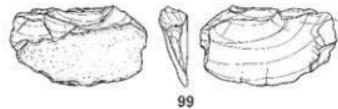
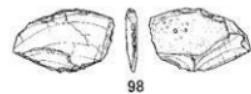
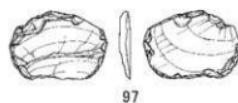
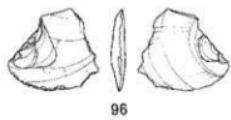
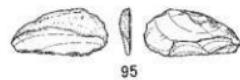
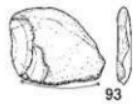
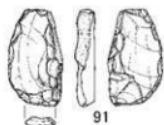
第302図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



第303図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

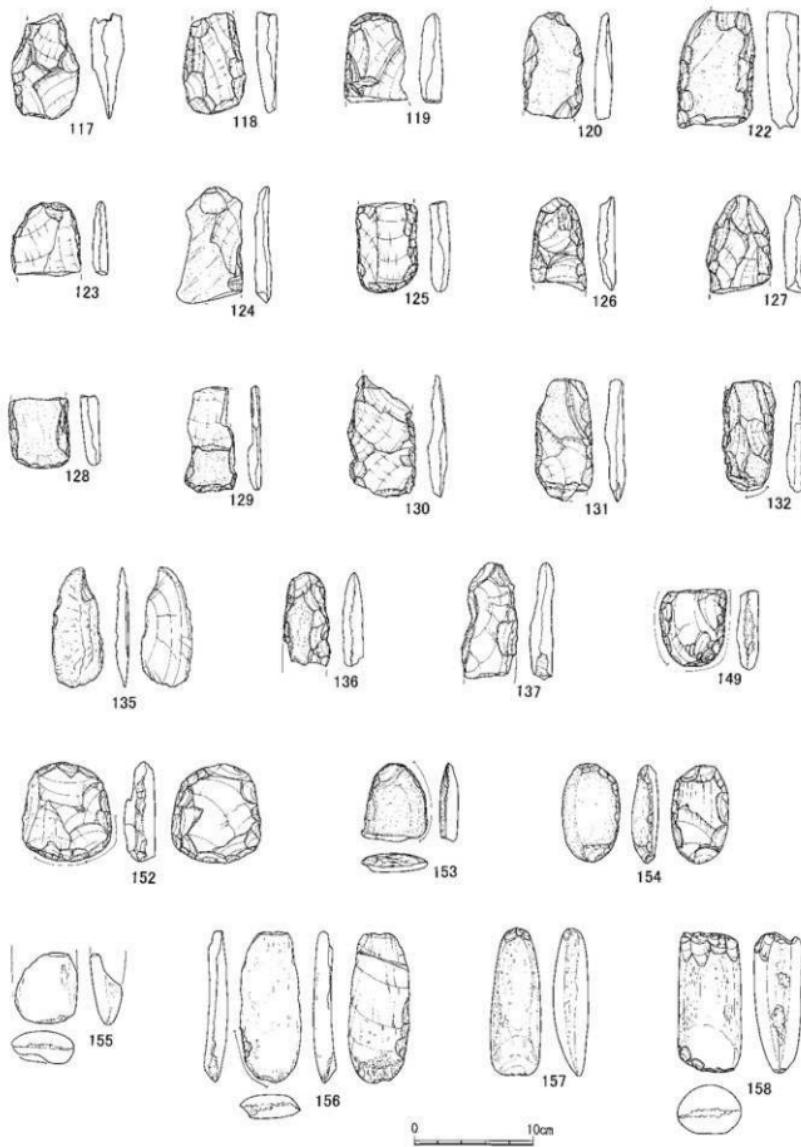


第304図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

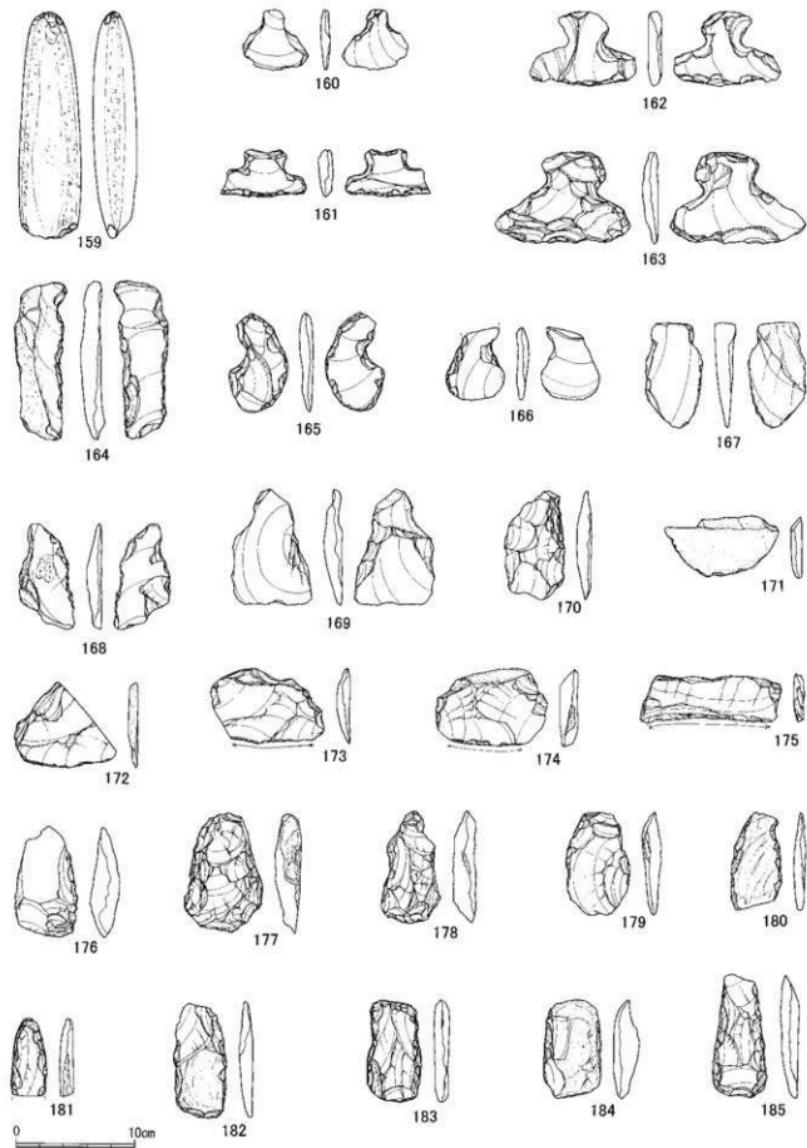


0 10cm

第305図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



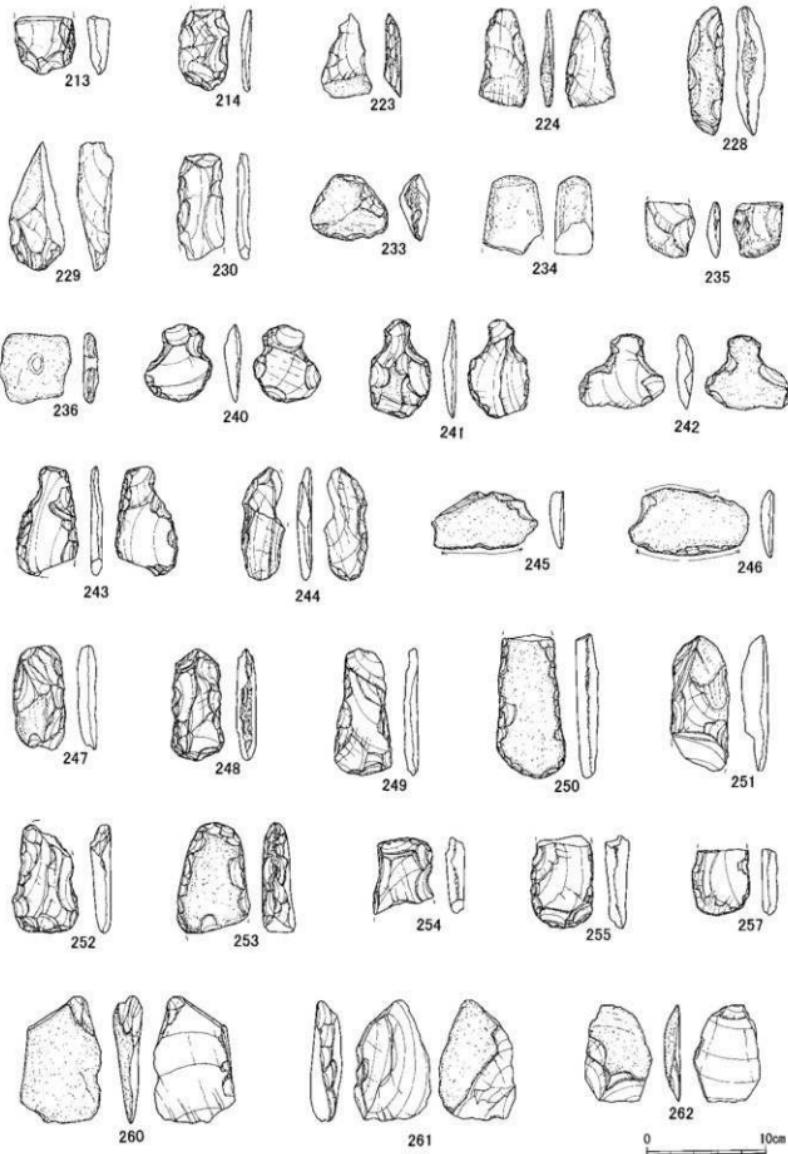
第306図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



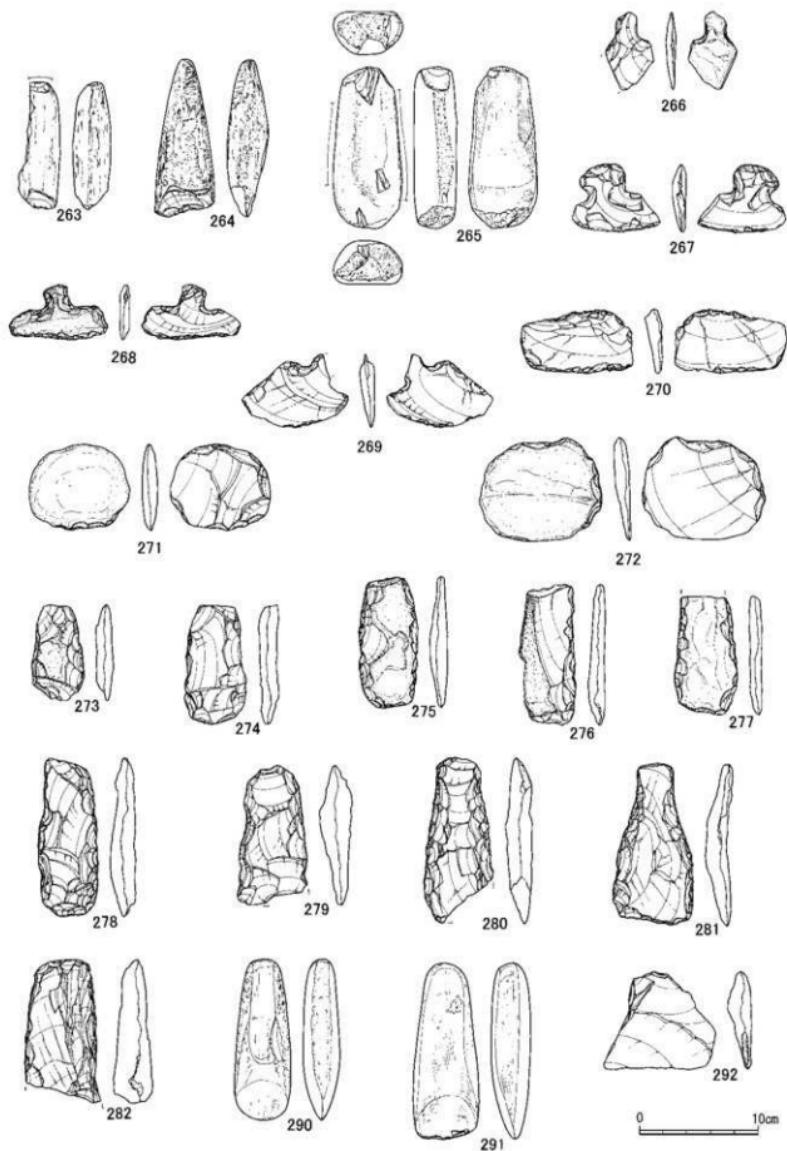
第307図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



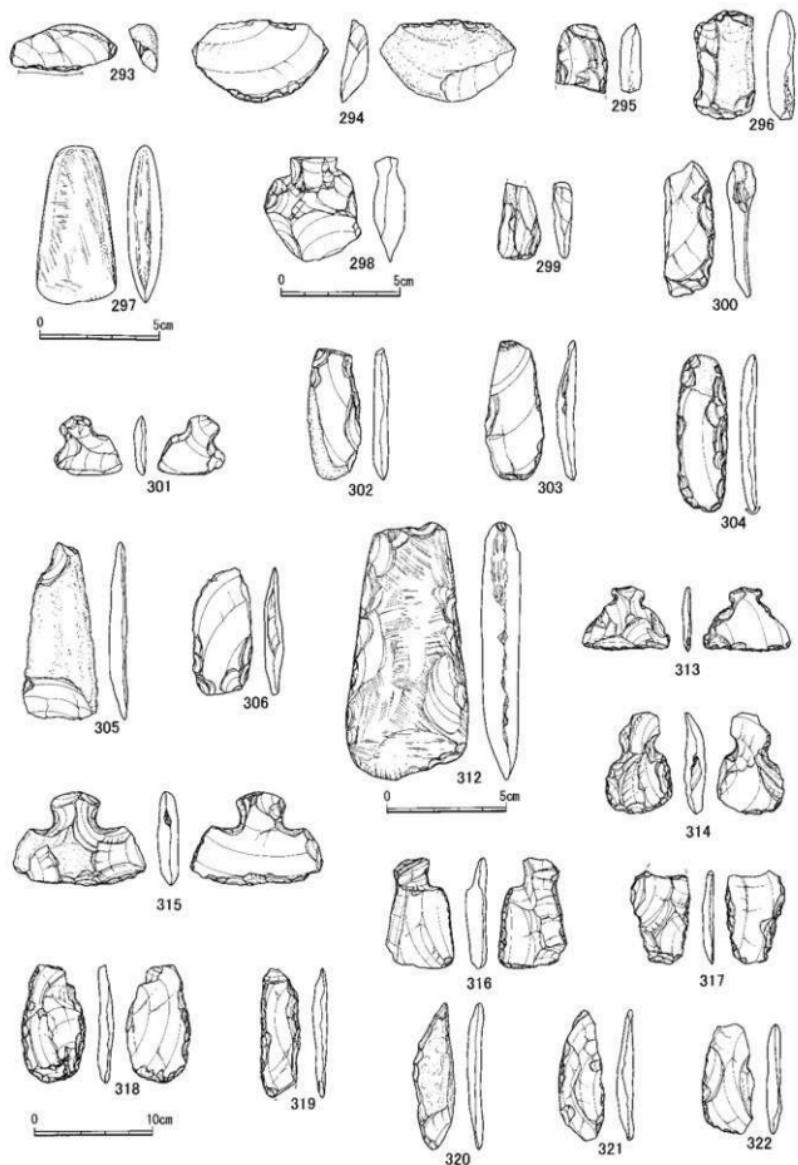
第308図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



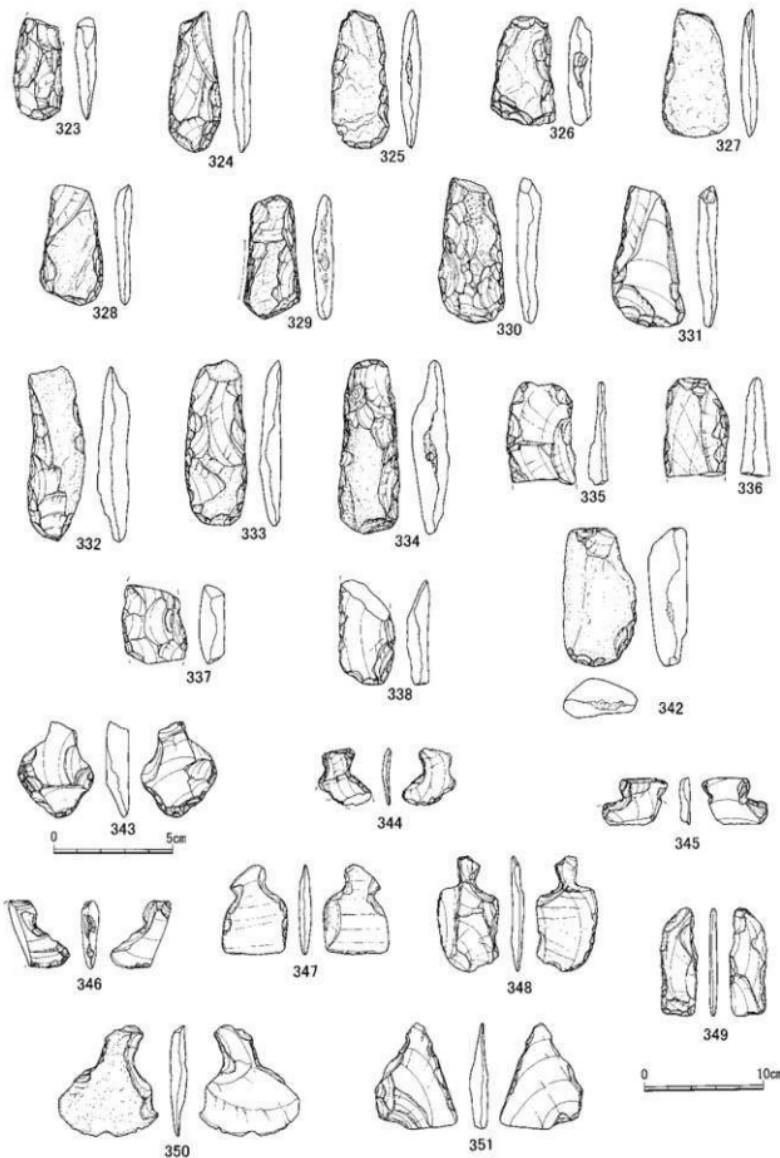
第309図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



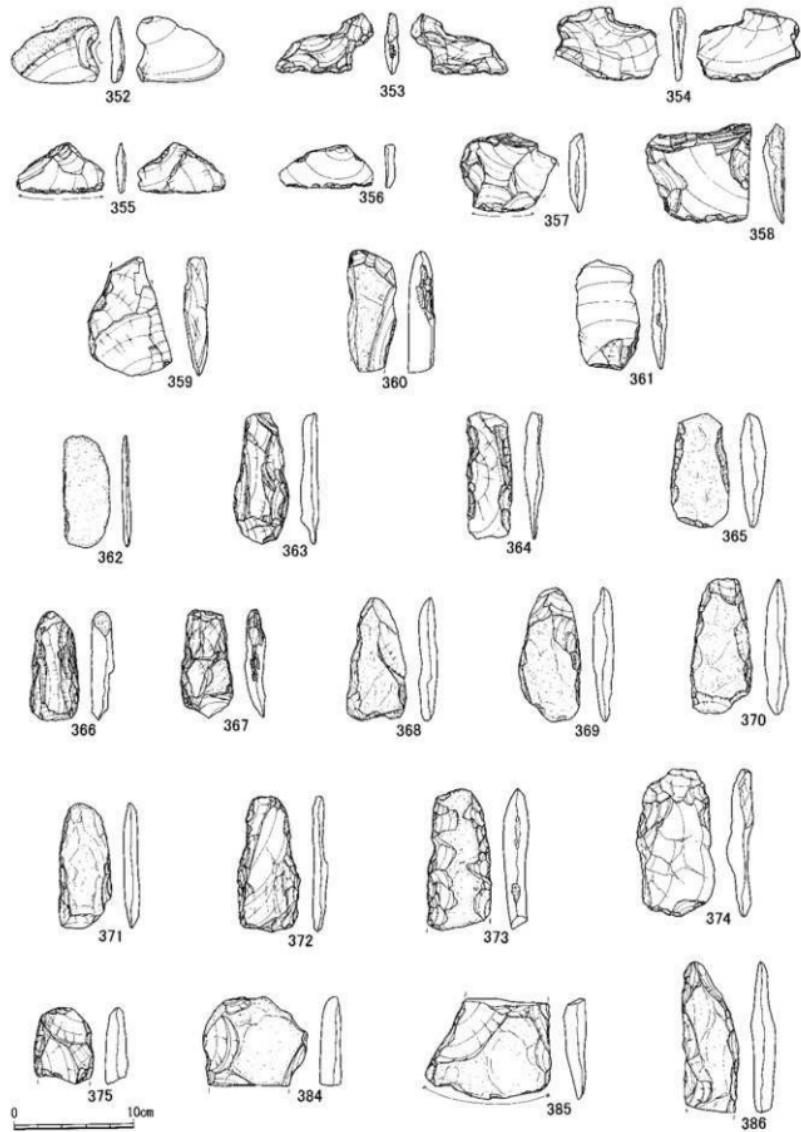
第310図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



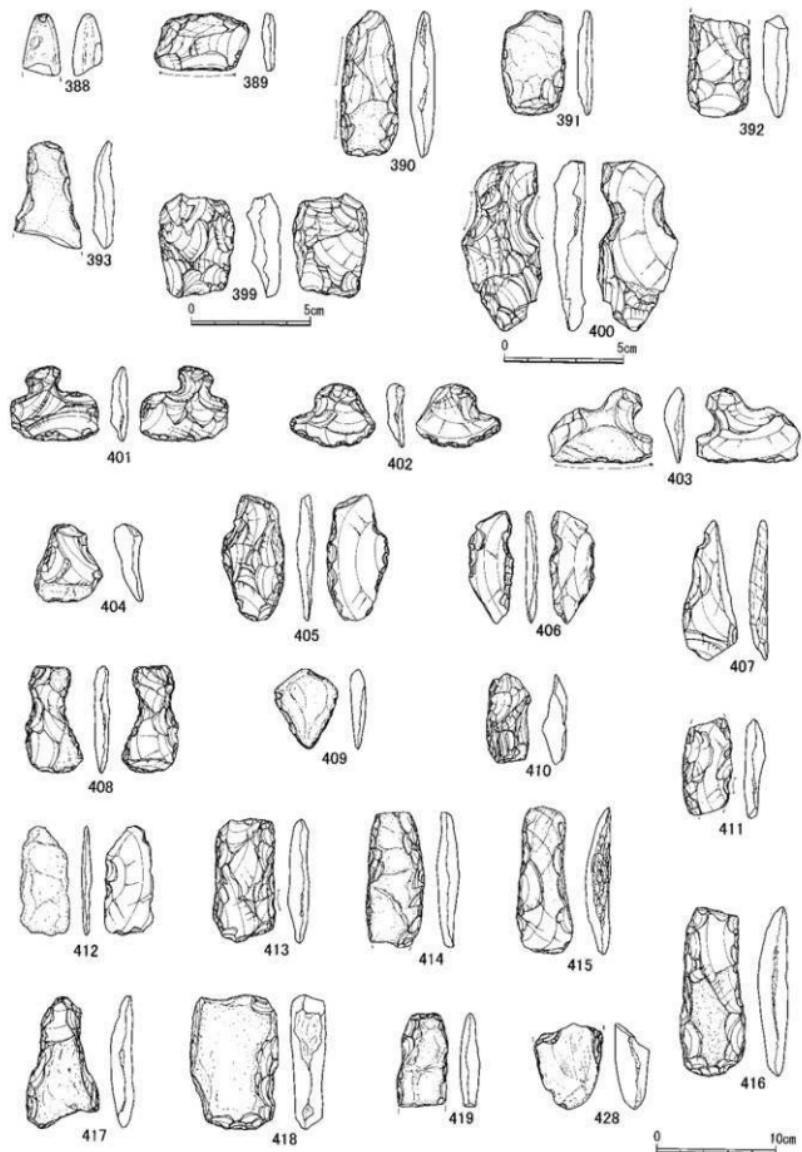
第311図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



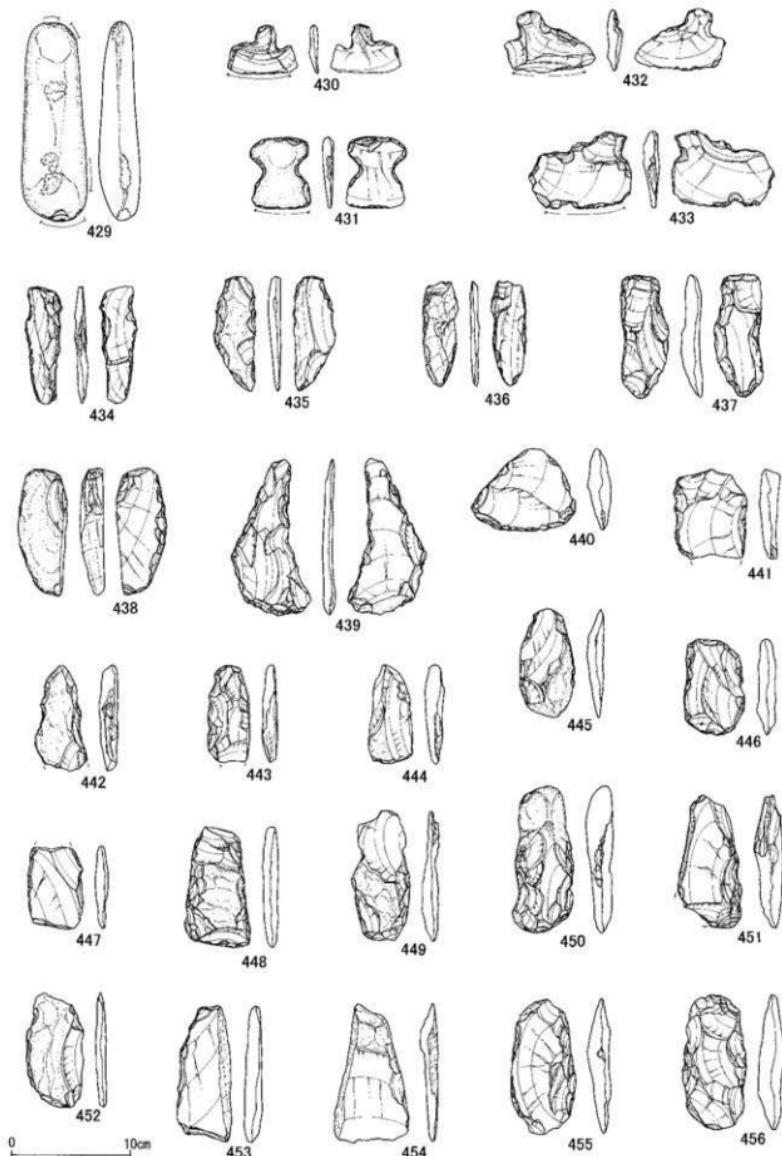
第312図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



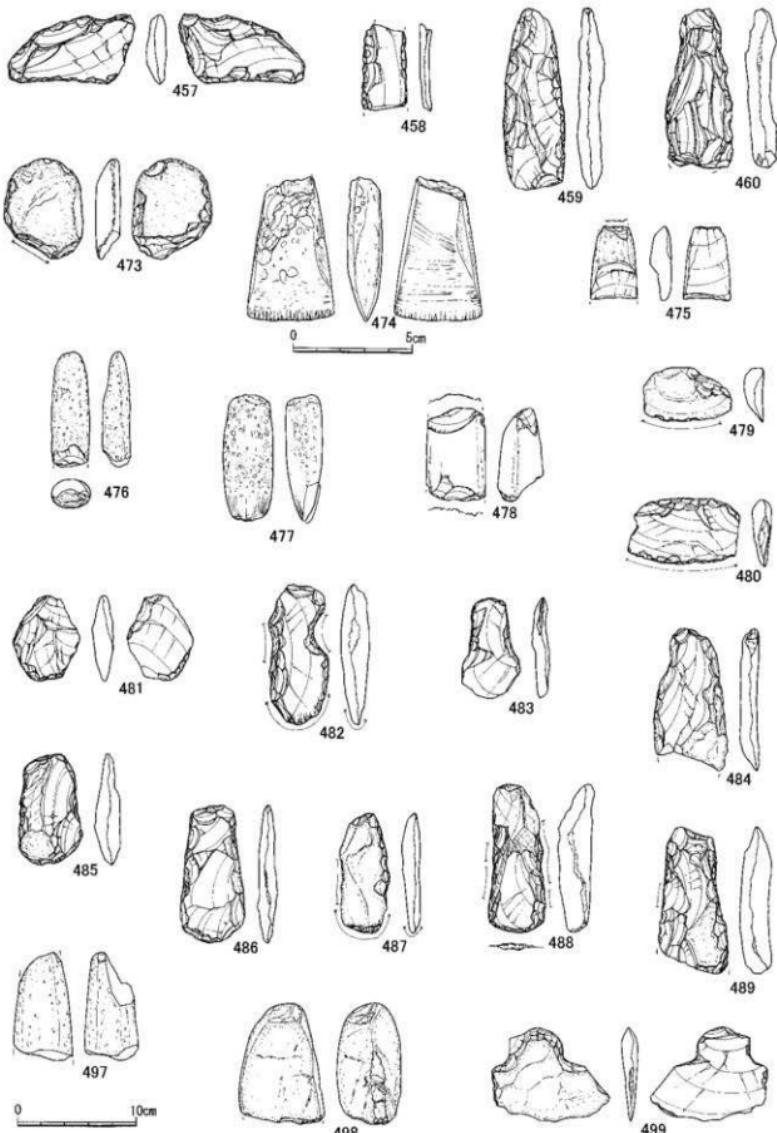
第313図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



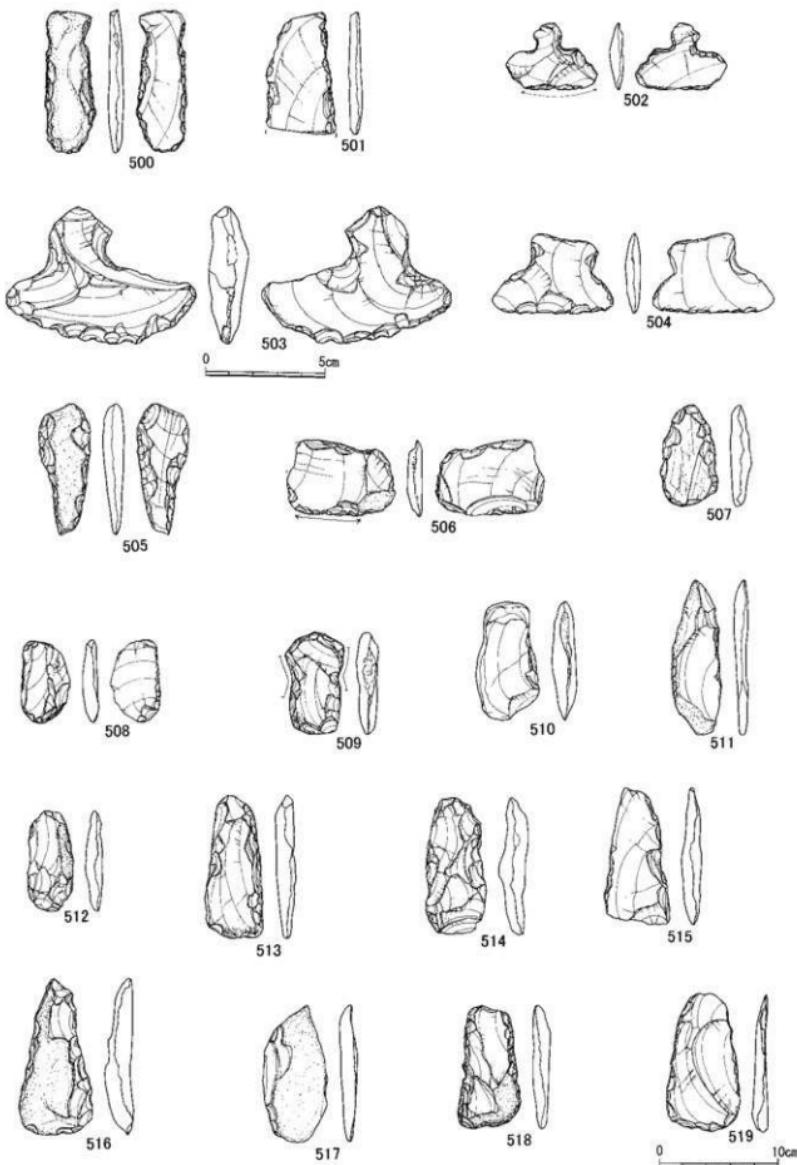
第314図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



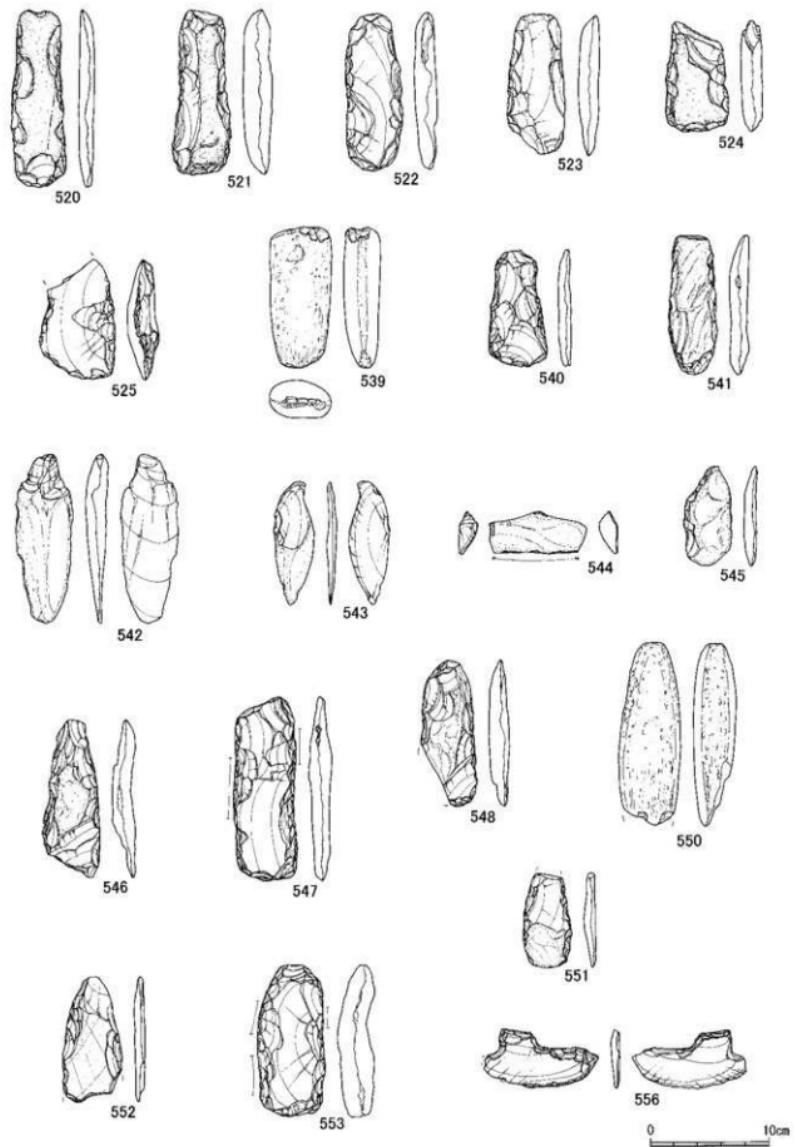
第315図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



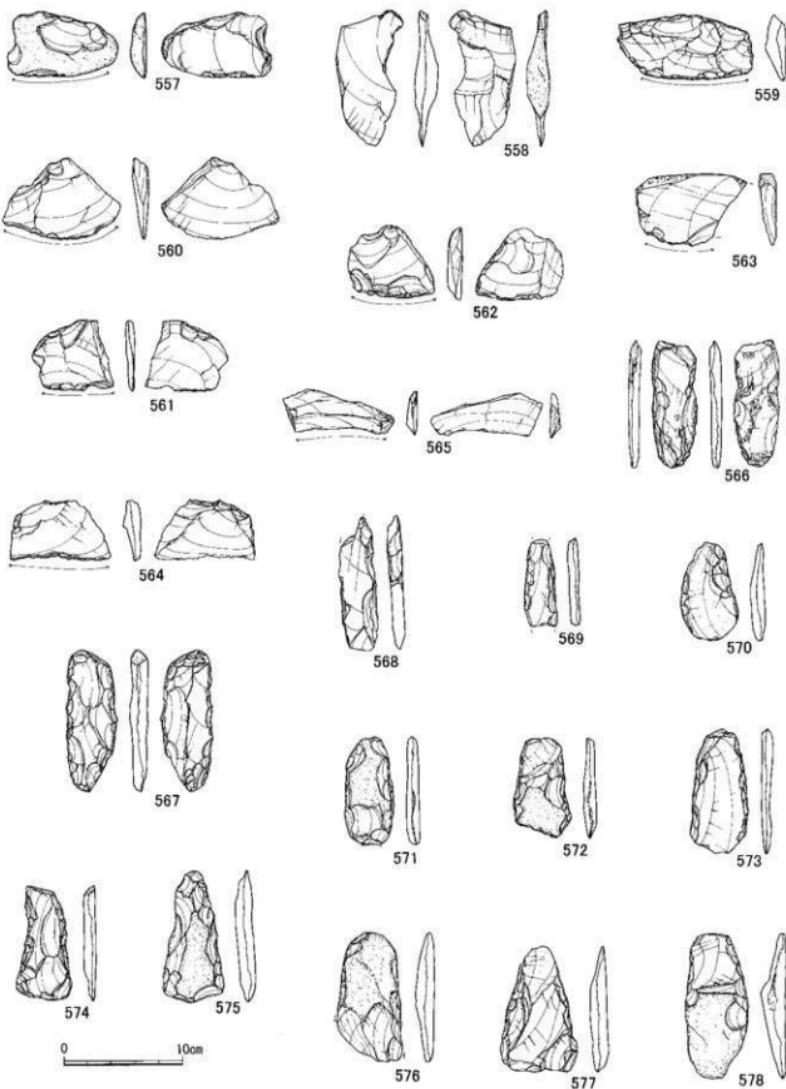
第316図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



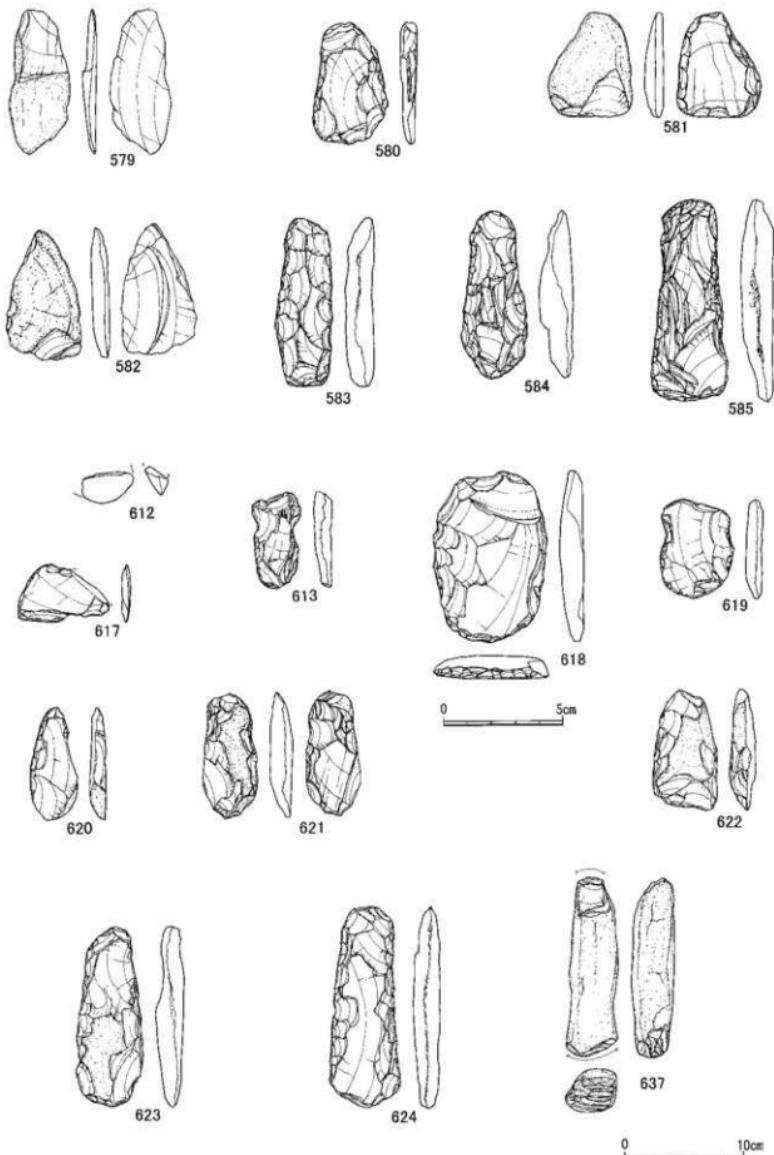
第317図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



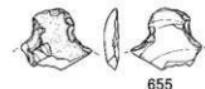
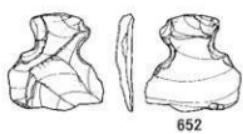
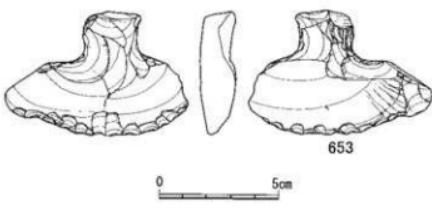
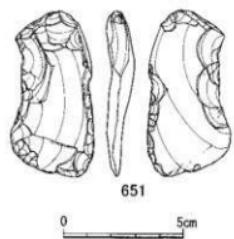
第318図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



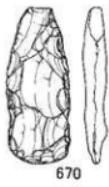
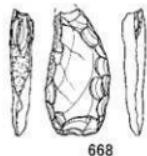
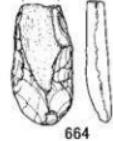
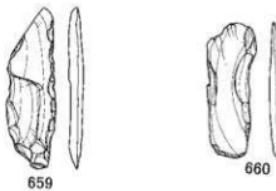
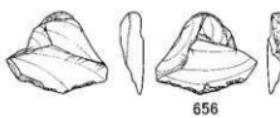
第319図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



第320図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

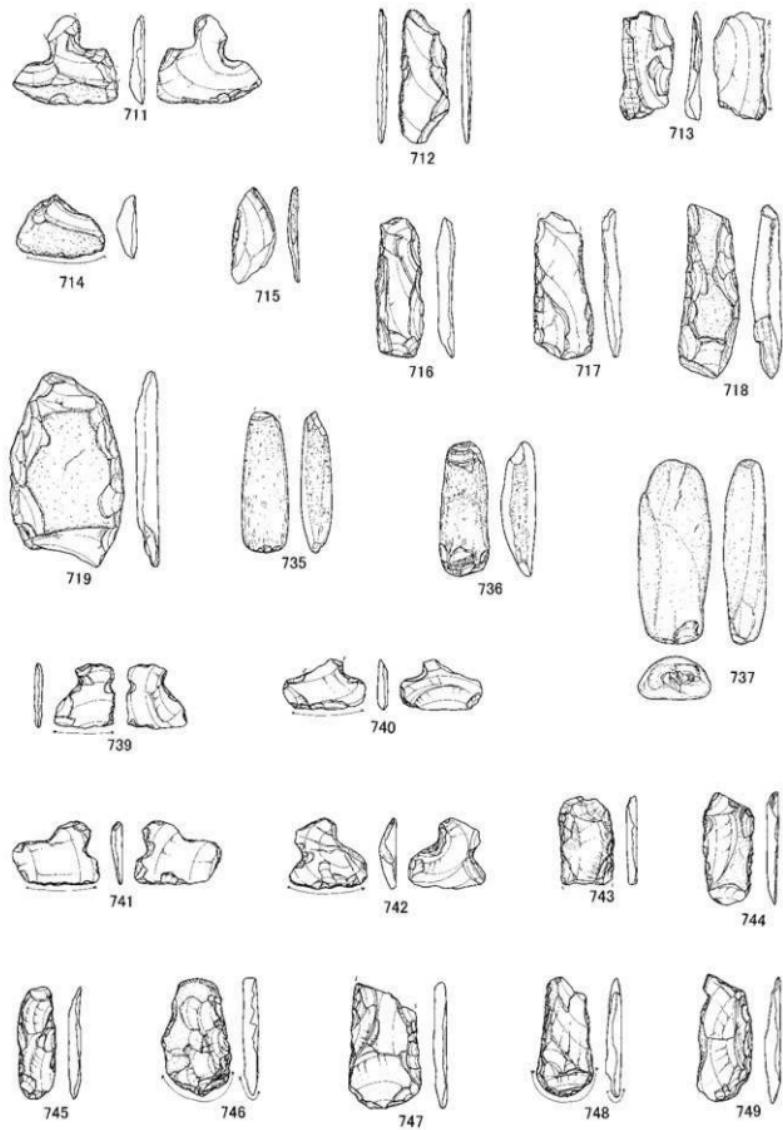


0 5cm

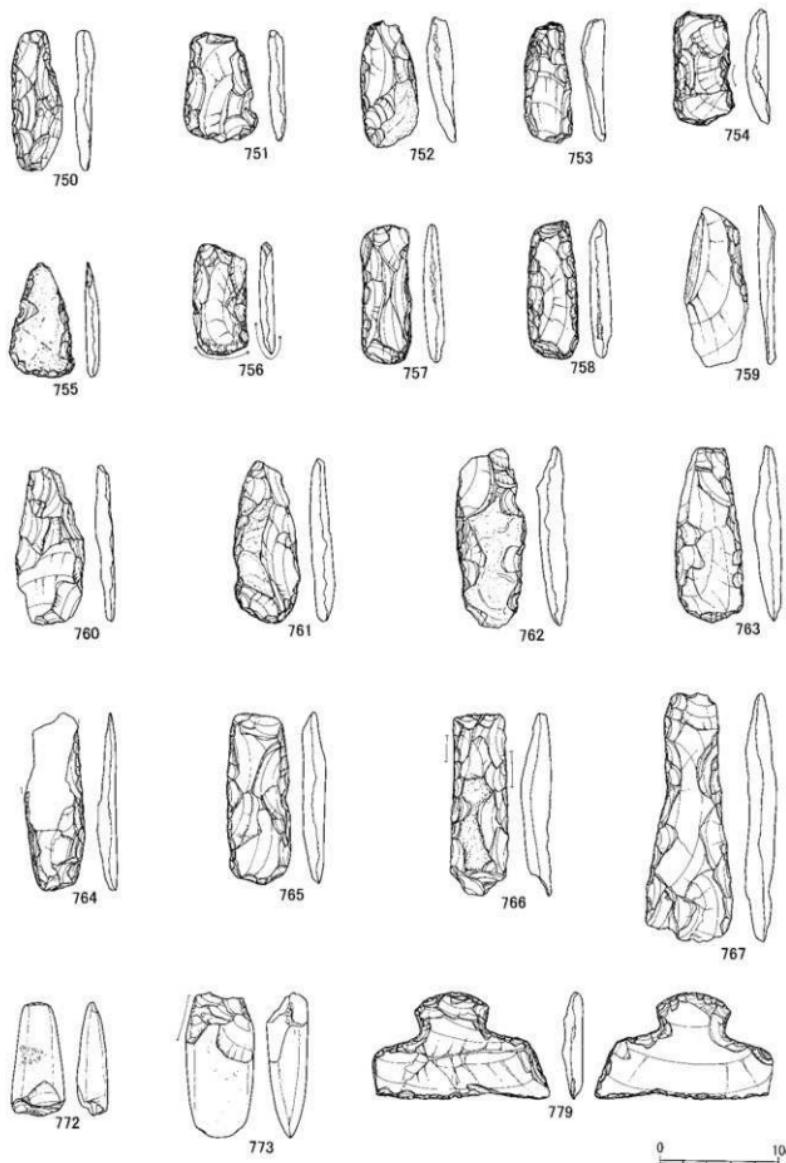


0 10cm

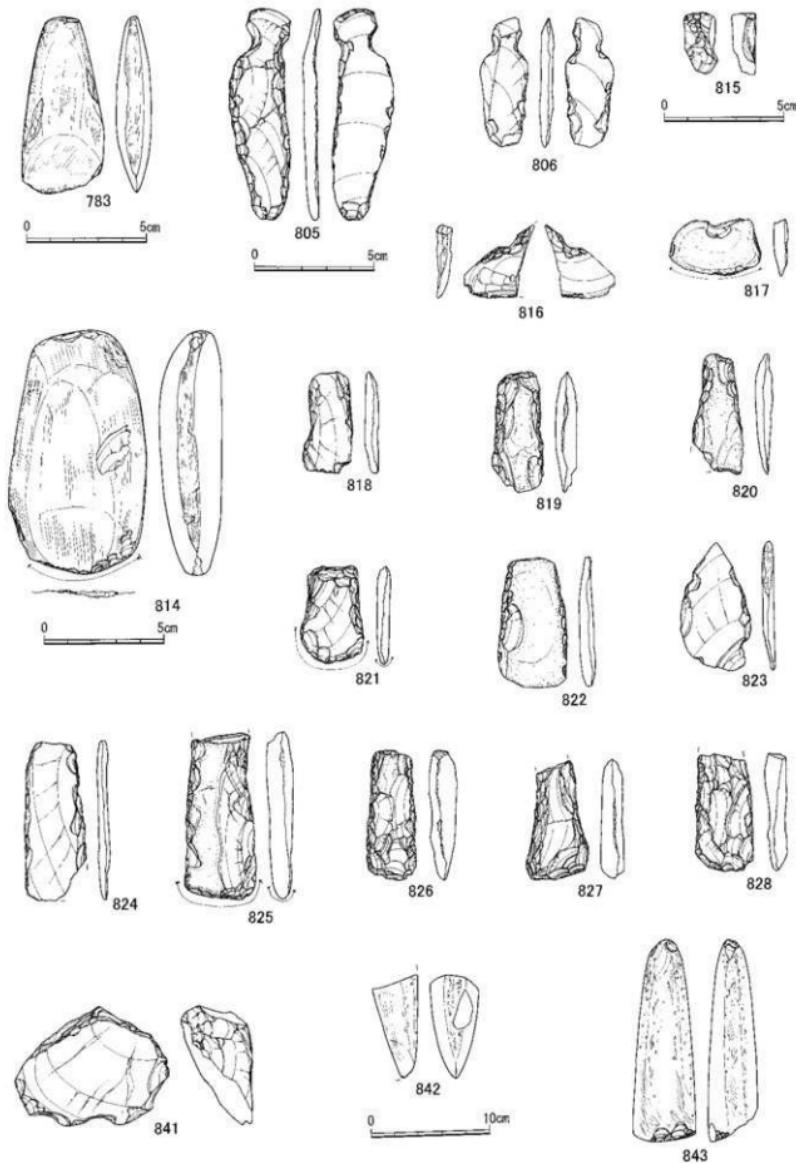
第321図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



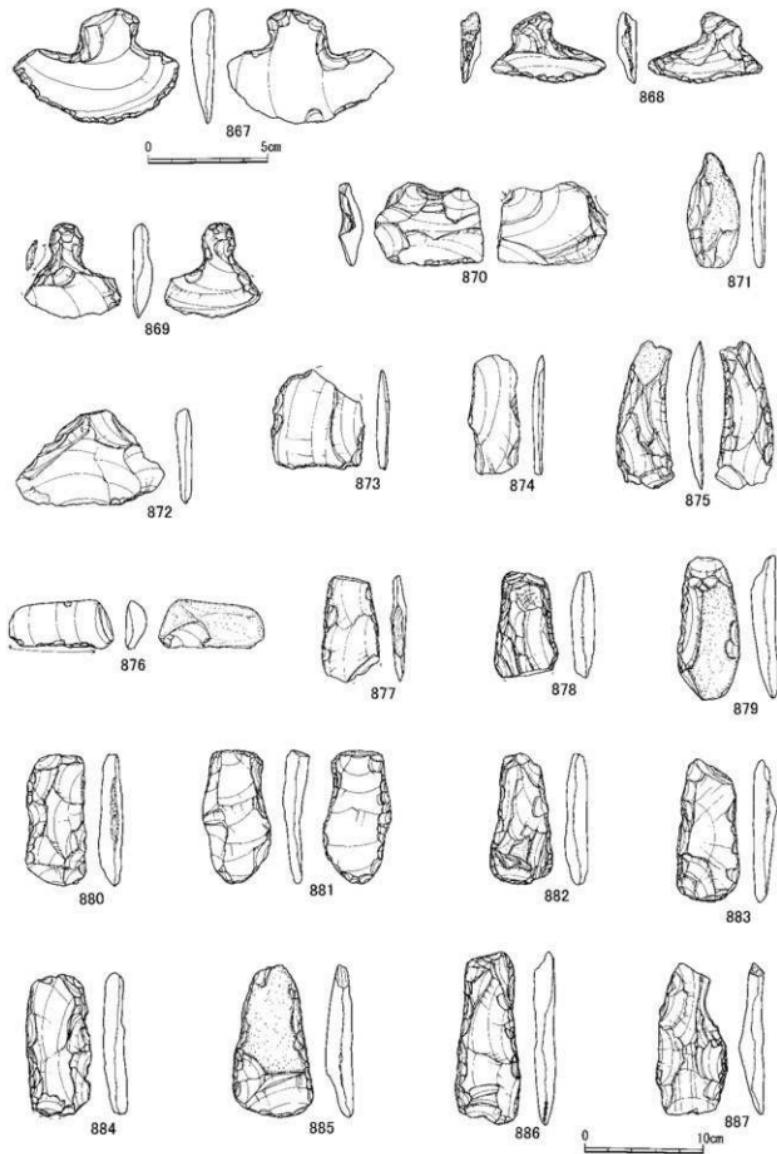
第322図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



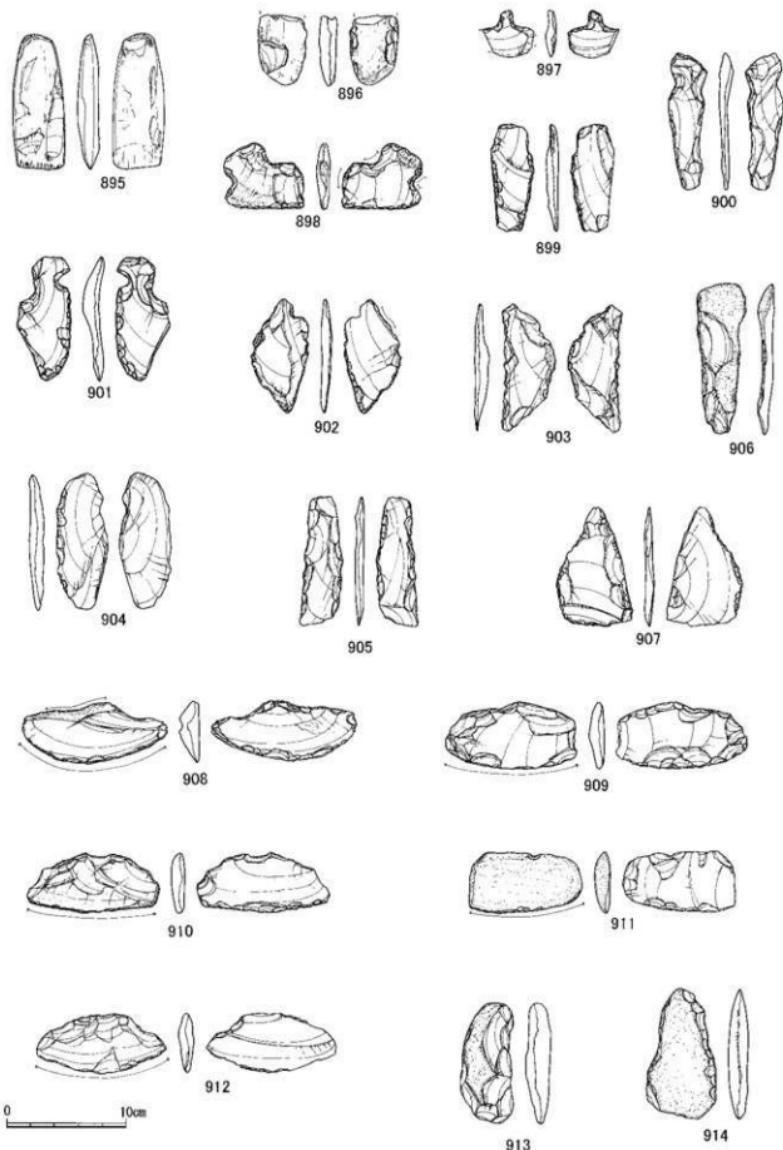
第323図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



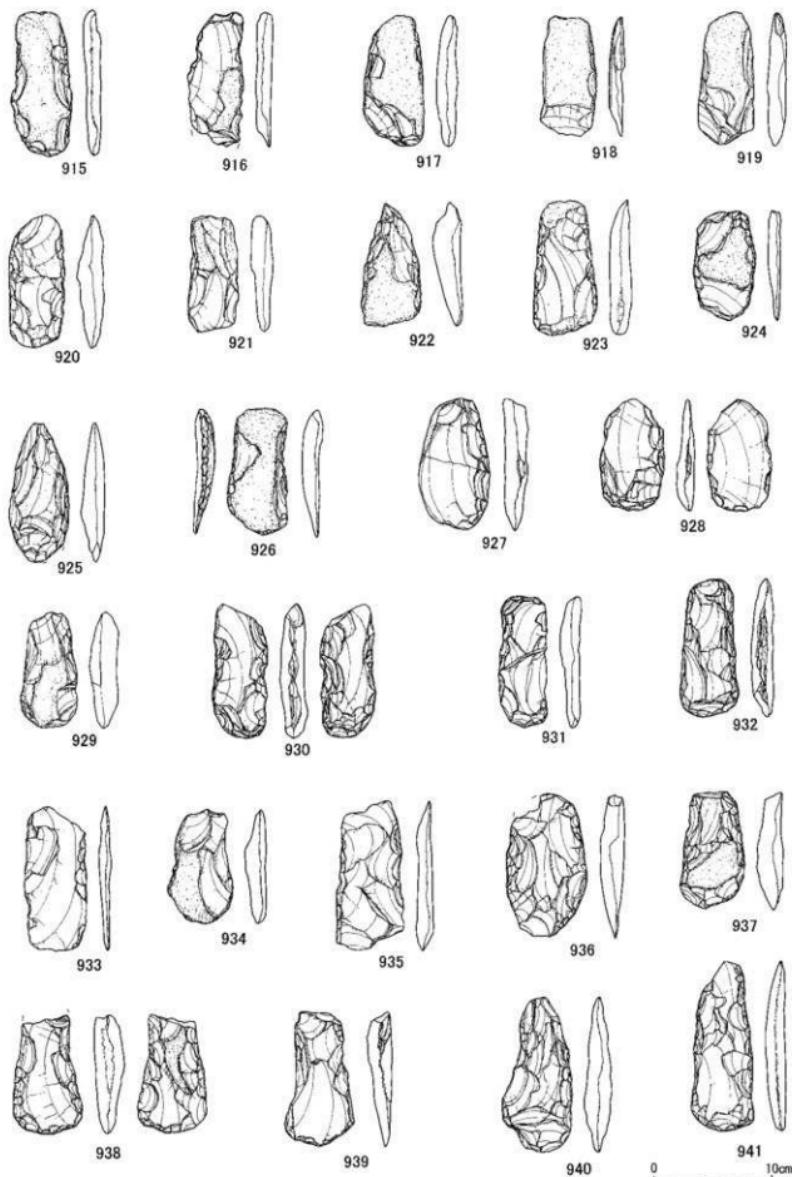
第324図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



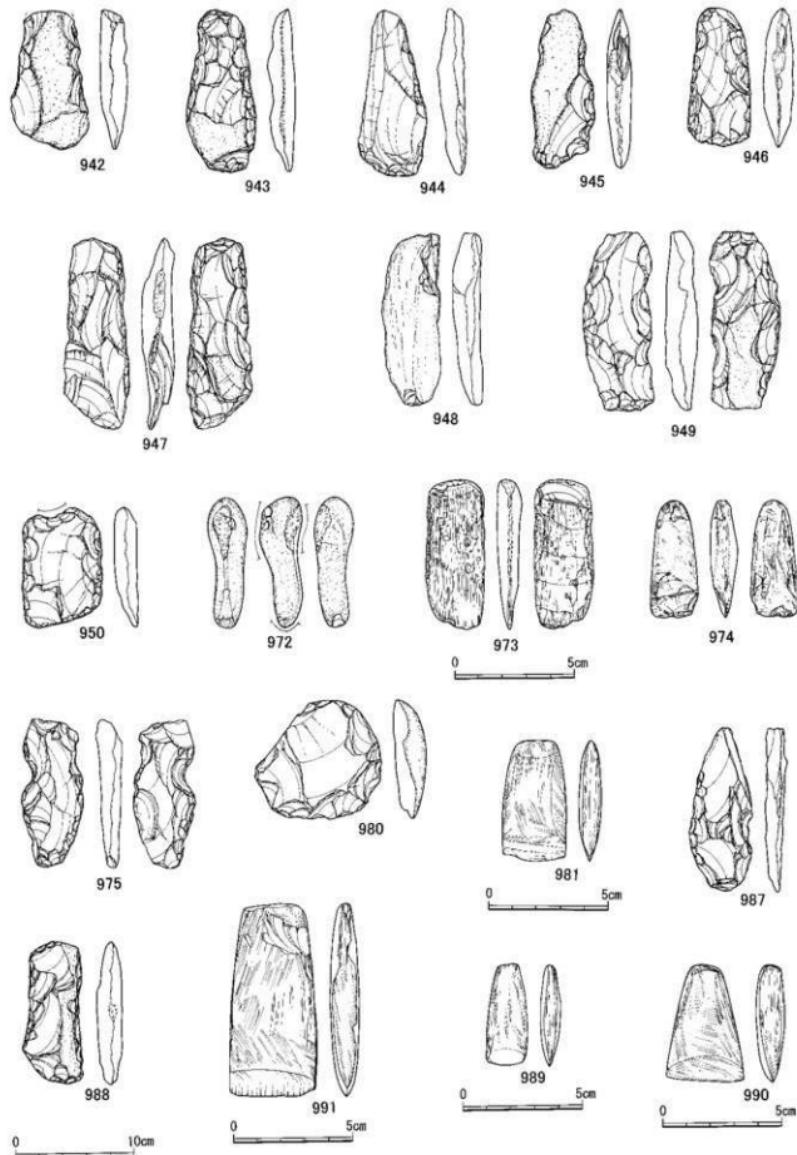
第325図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



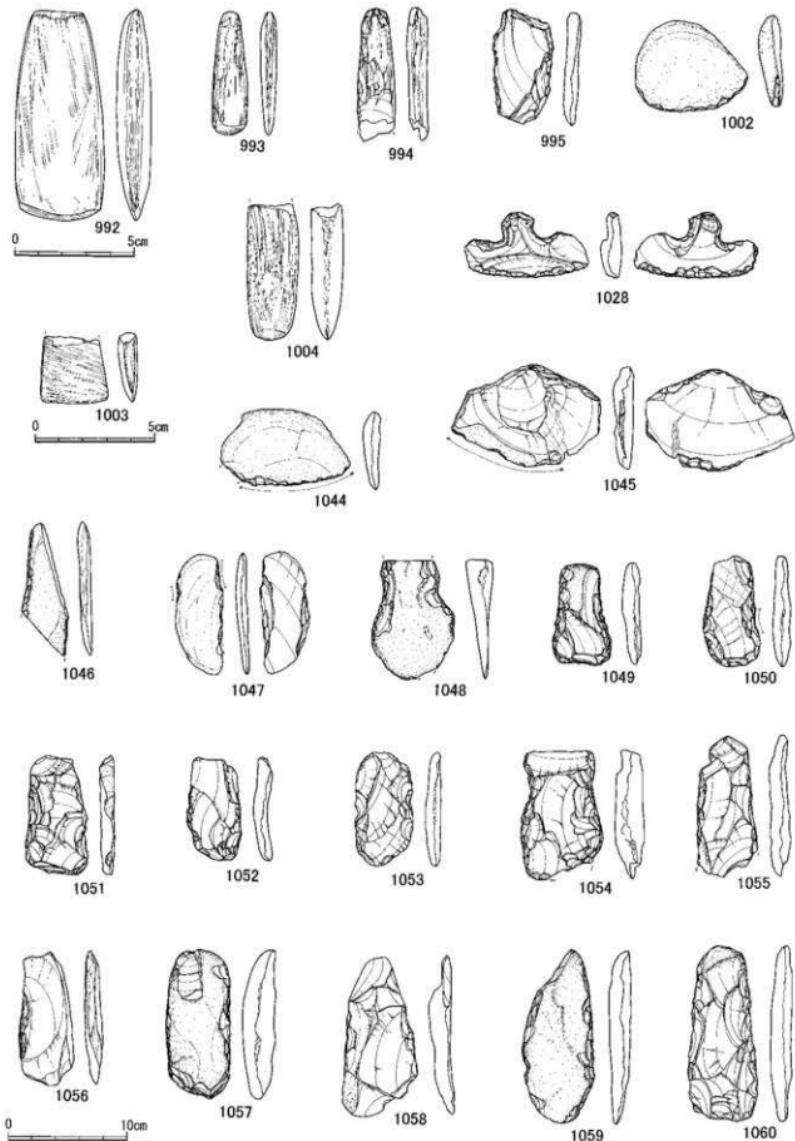
第326図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



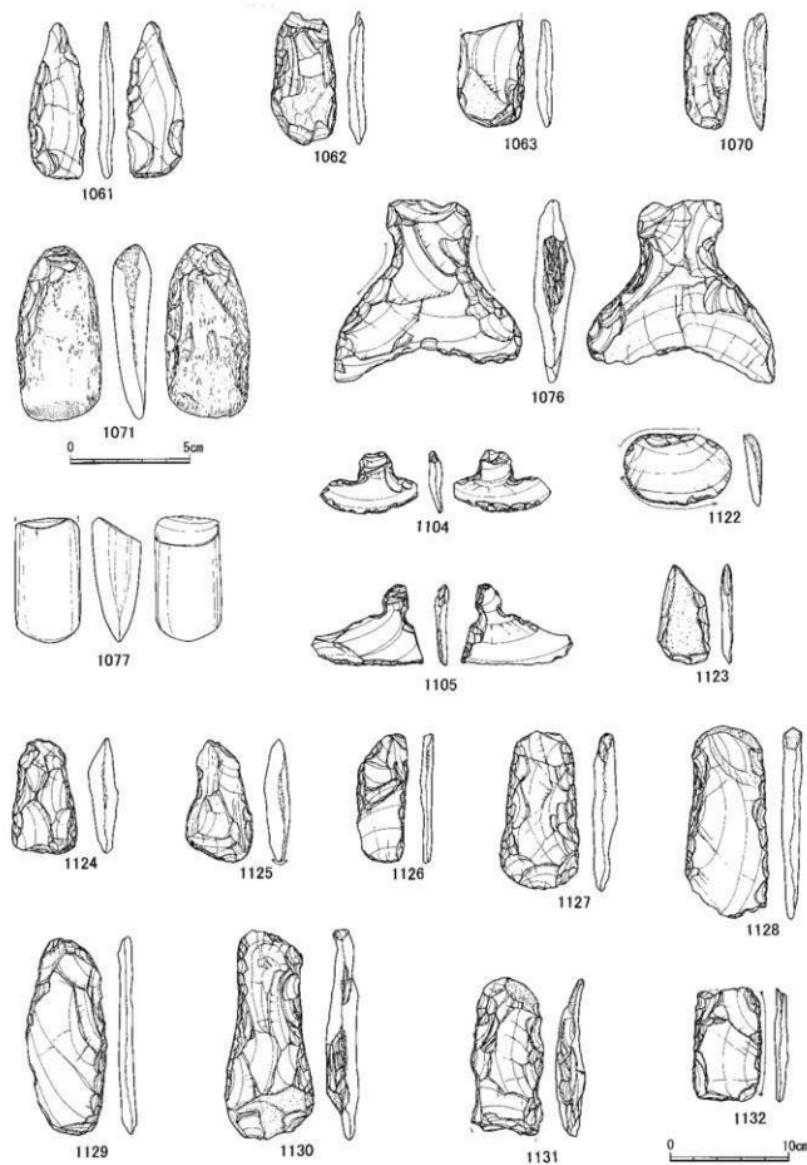
第327図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



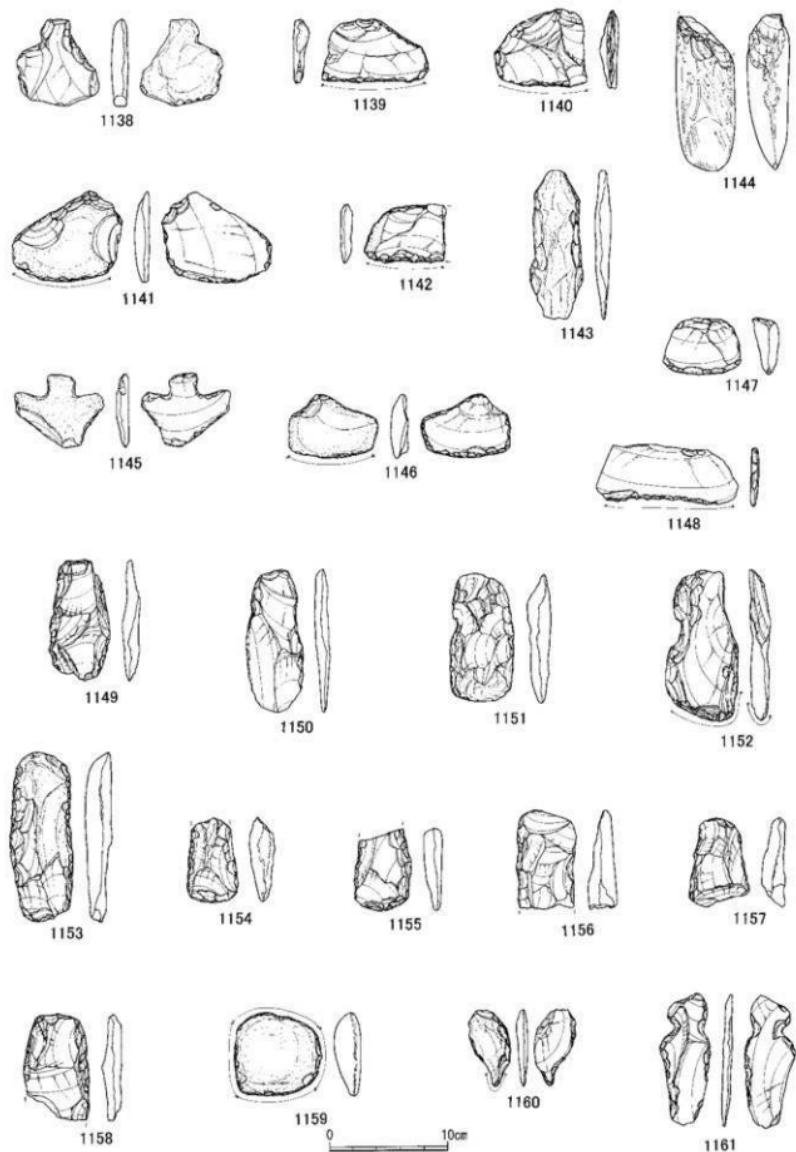
第328図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



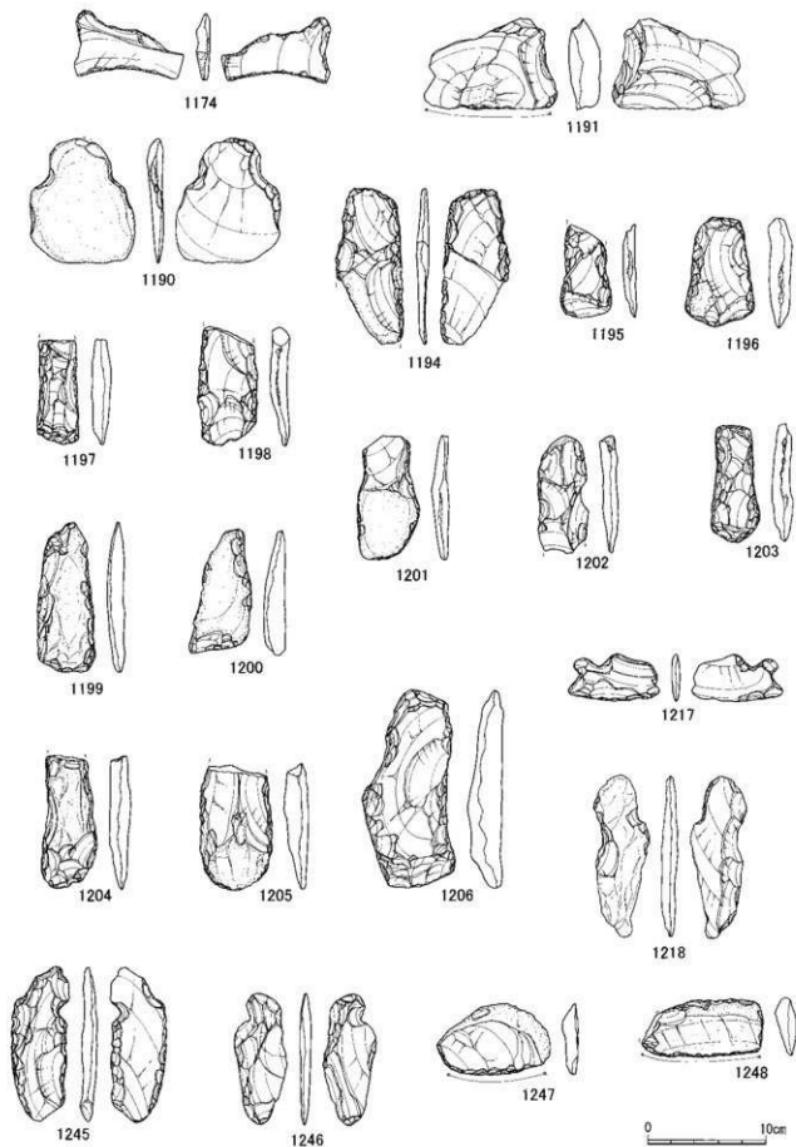
第329図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



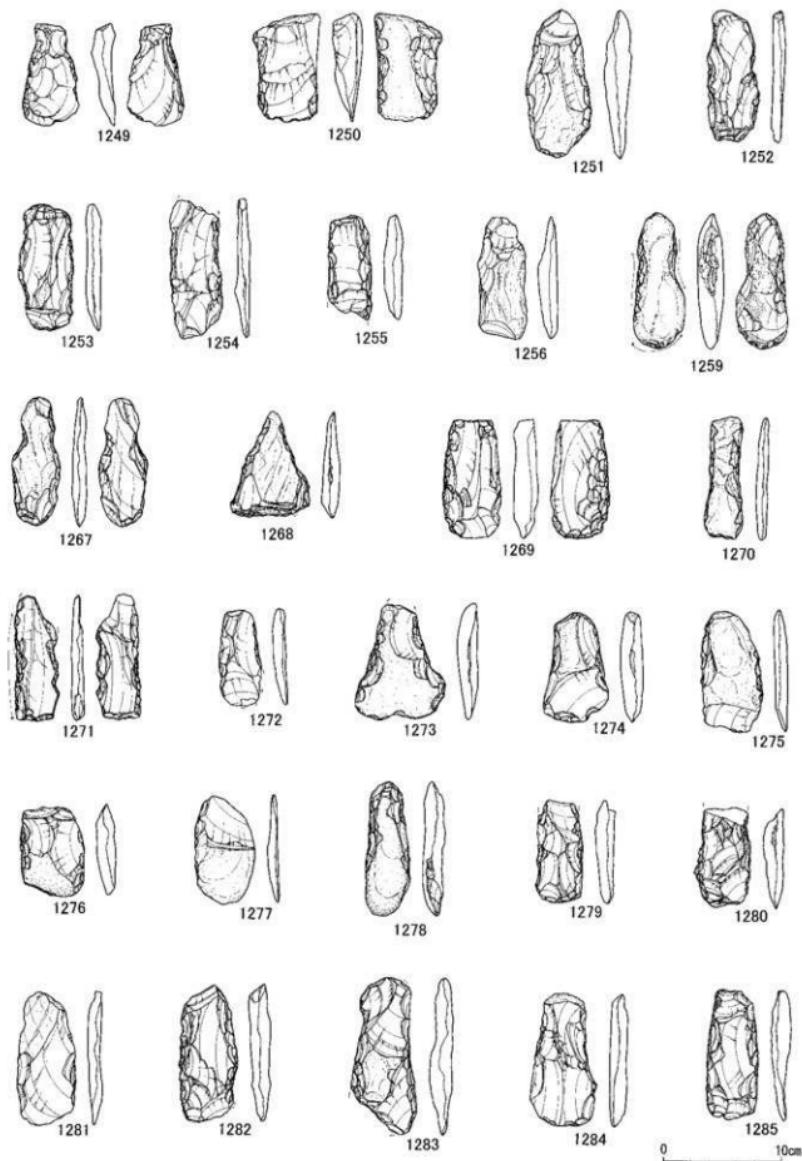
第330図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



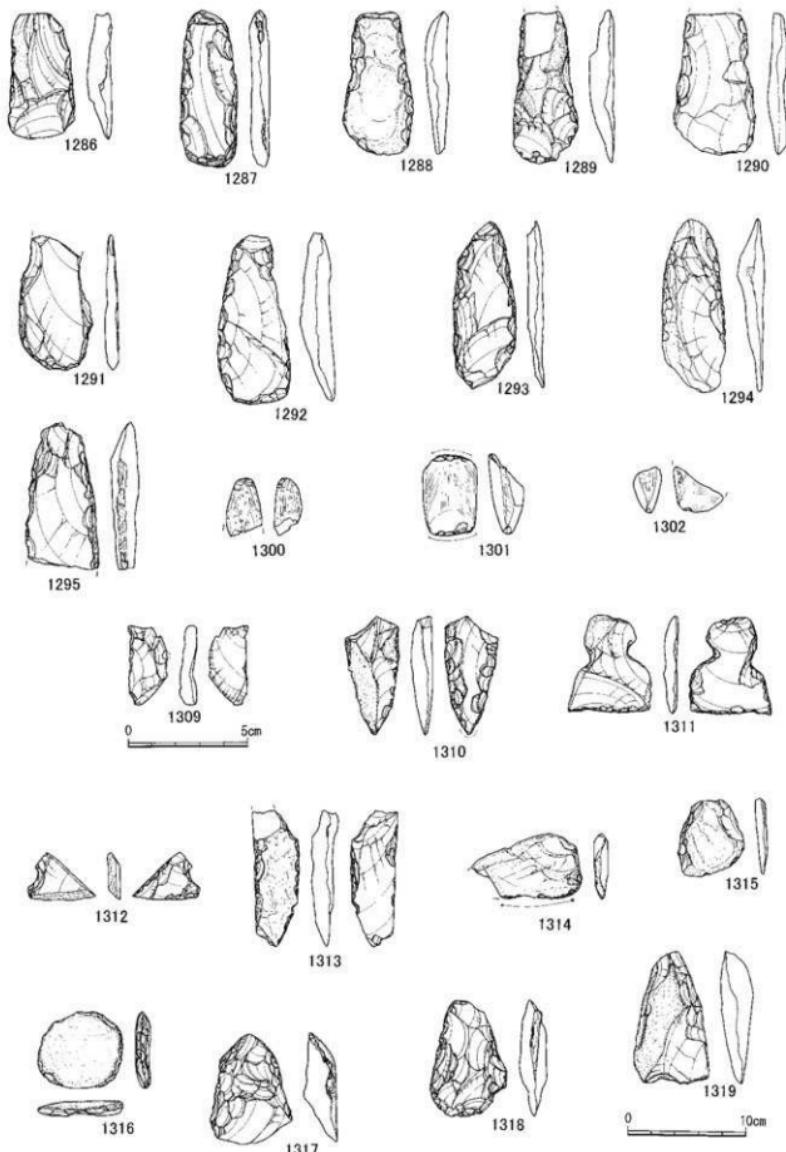
第331図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



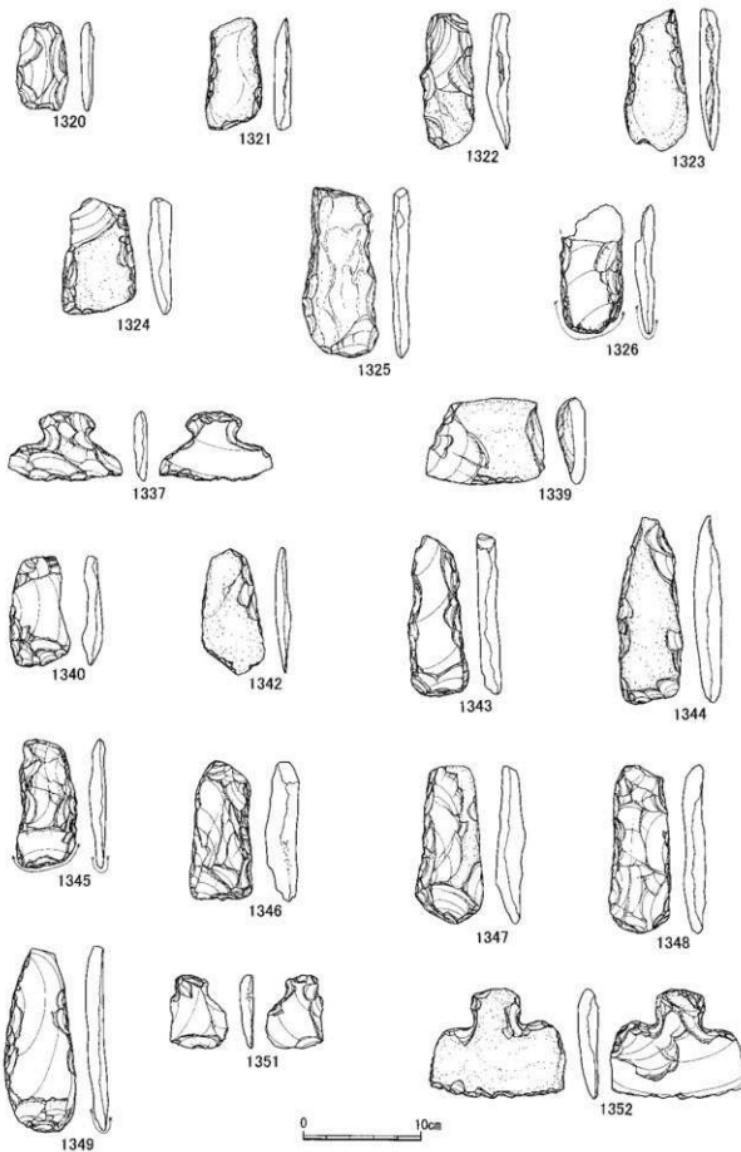
第332図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



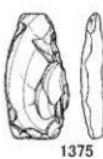
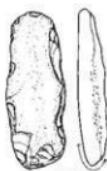
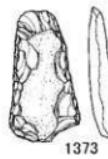
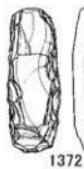
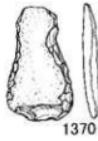
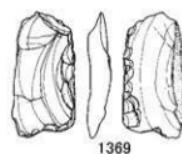
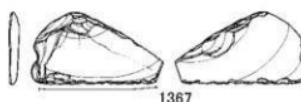
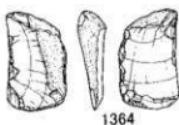
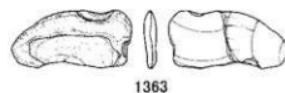
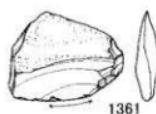
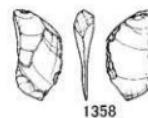
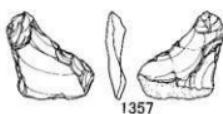
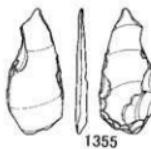
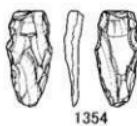
第333図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



第334図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

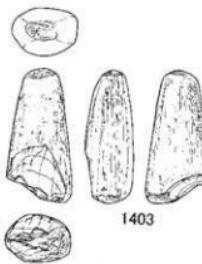
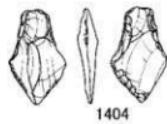
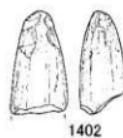
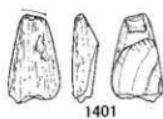
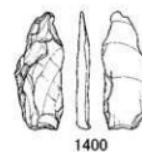
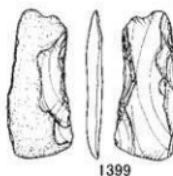
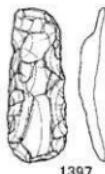
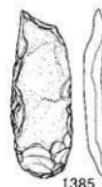
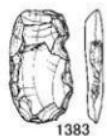
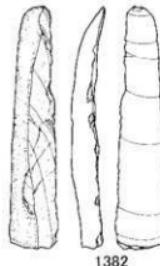
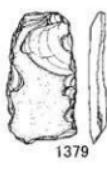


第335図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



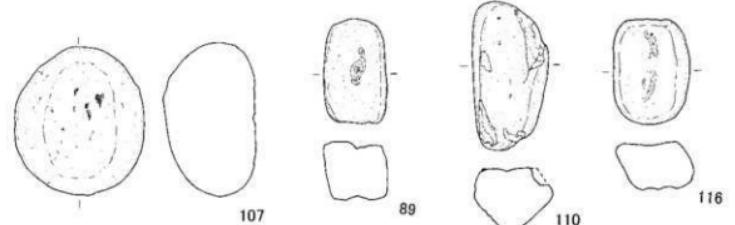
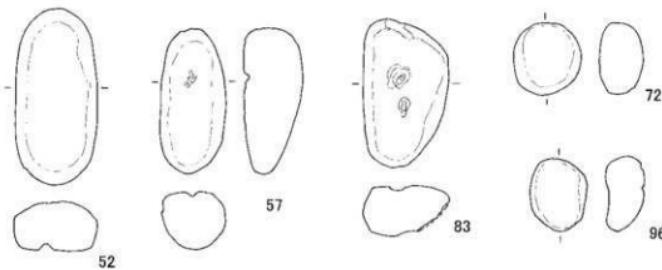
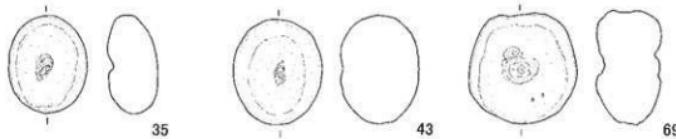
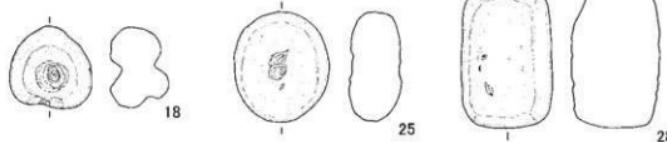
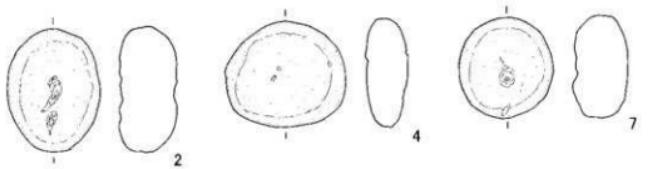
0 10cm

第336図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石



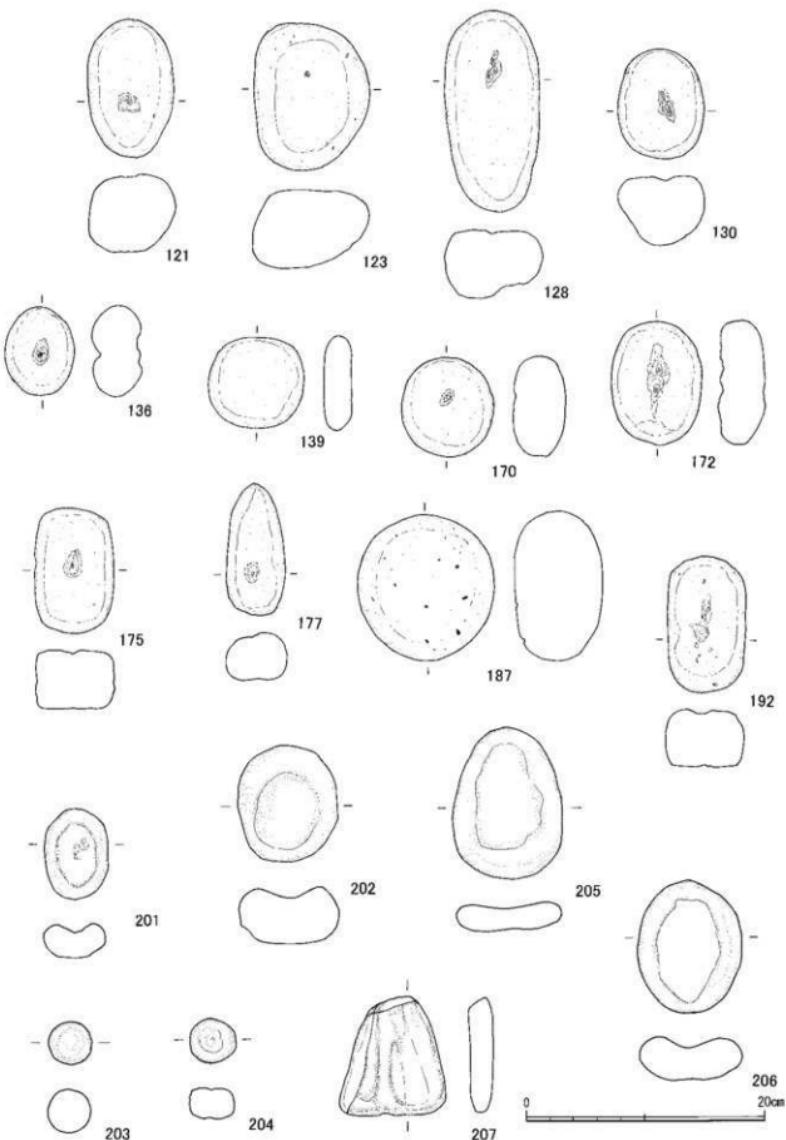
0 10cm

第337図 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

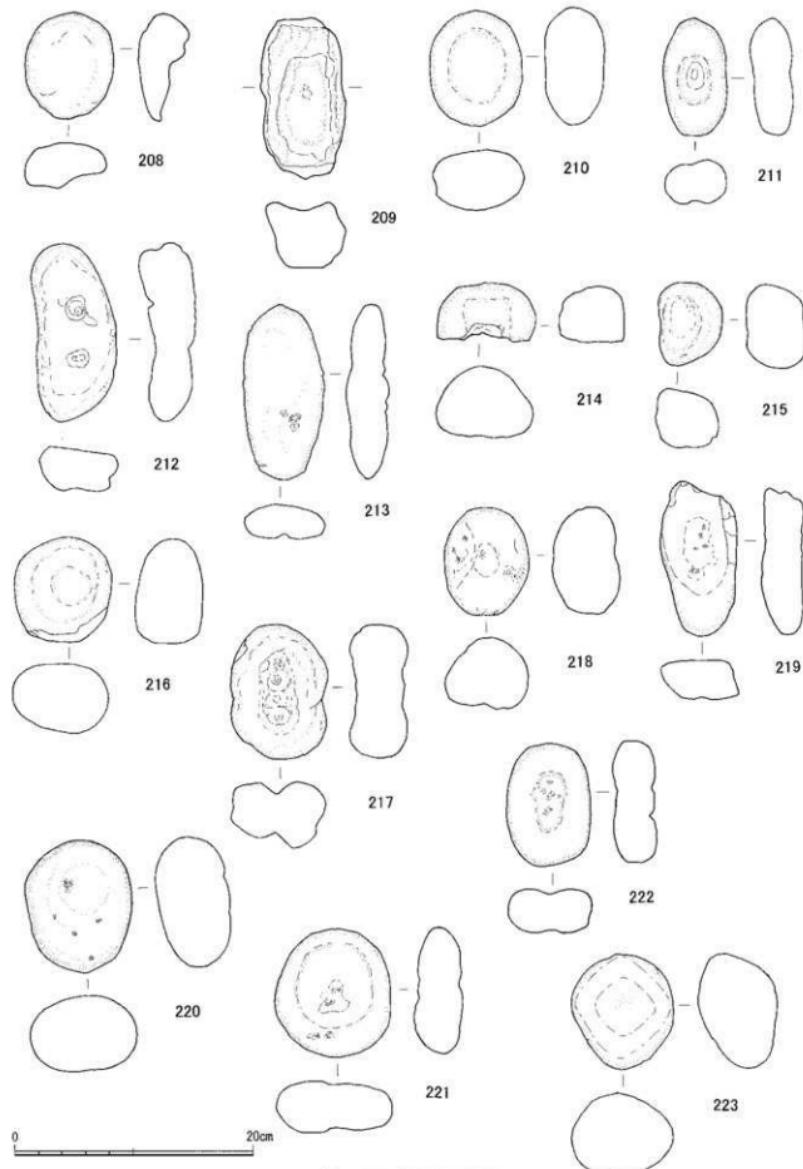


0 20cm

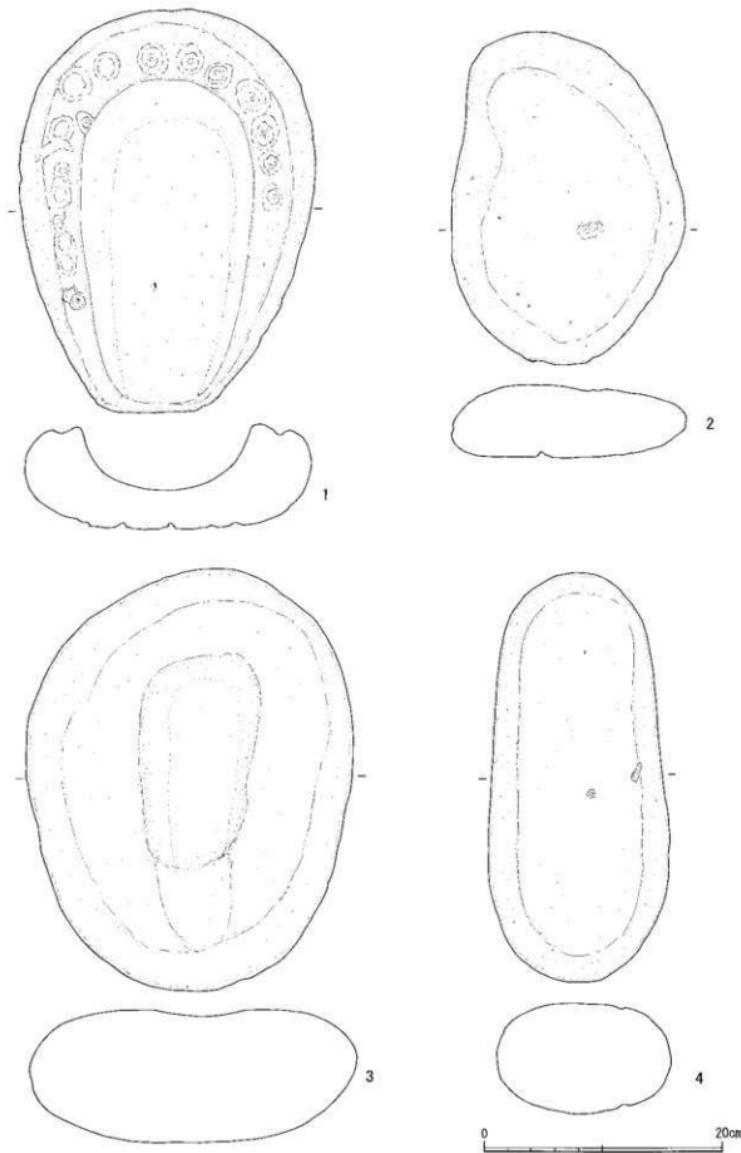
第338図 小型礫石器類



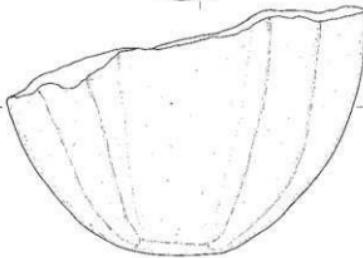
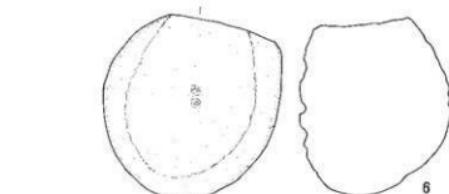
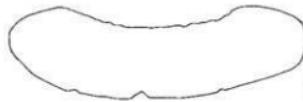
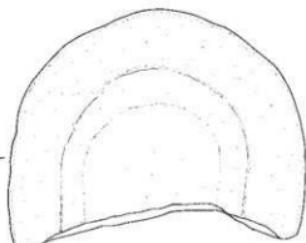
第339図 小型礫石器類



第340図 小型礫石器類



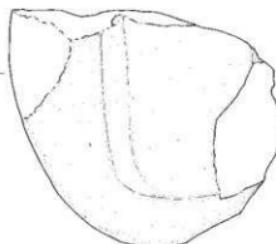
第341図 大型礫石器類



9



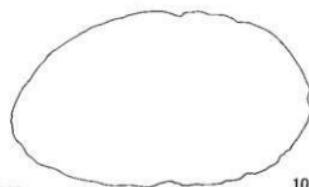
7



8

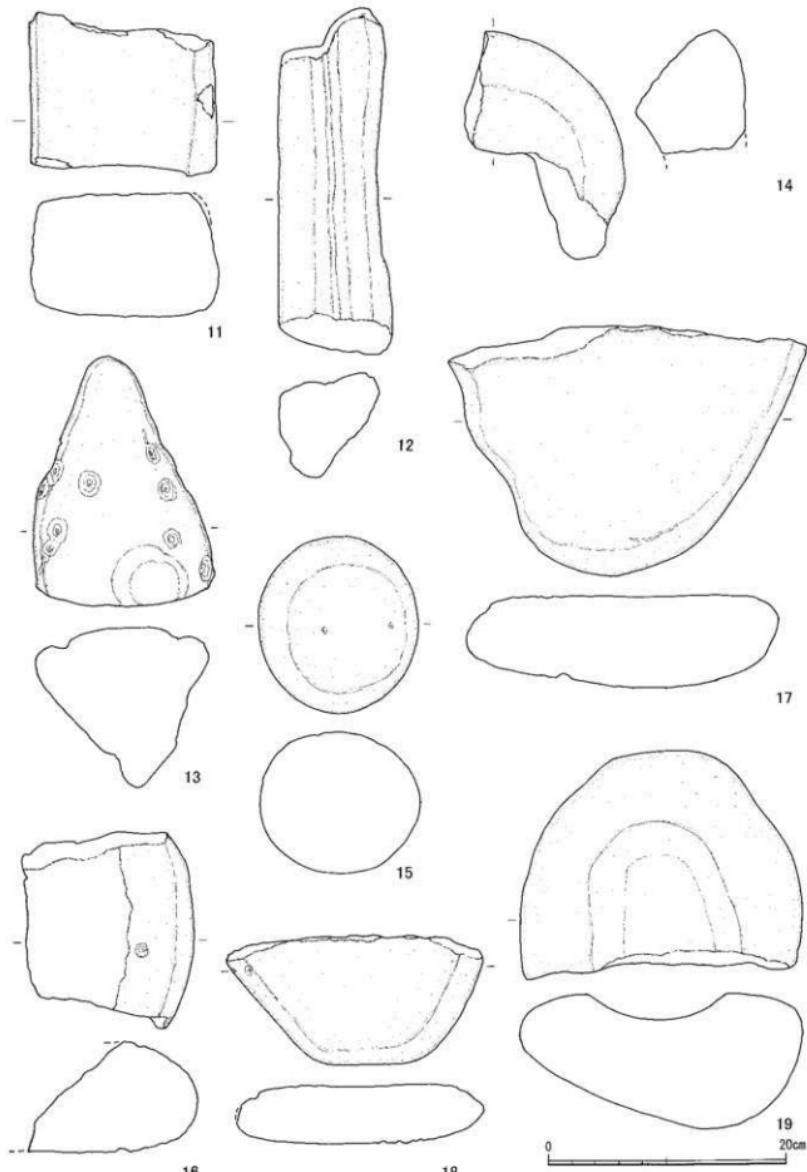
0

20cm

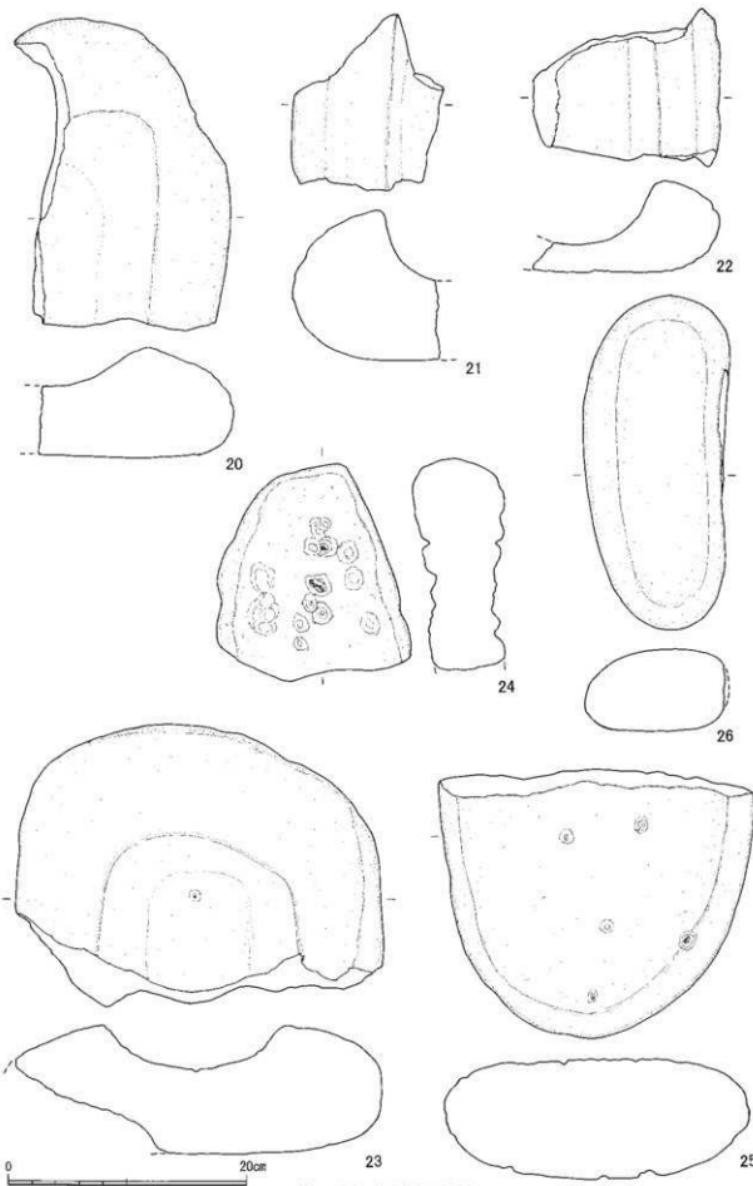


10

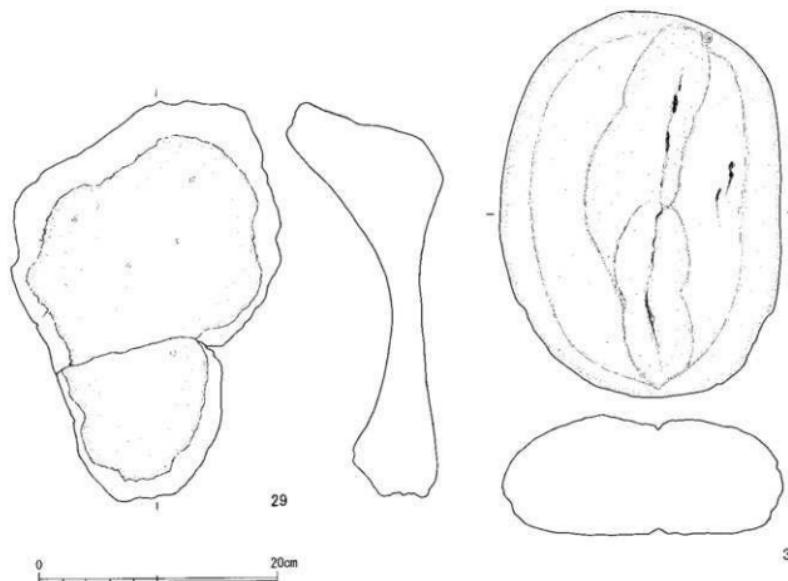
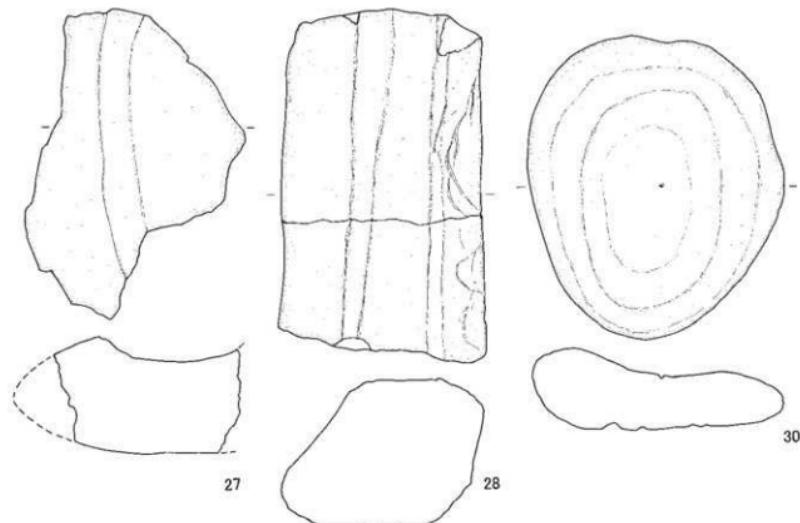
第342図 大型砾石器類



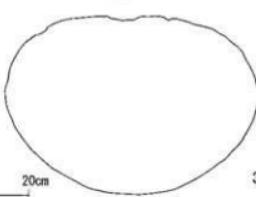
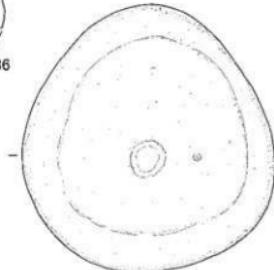
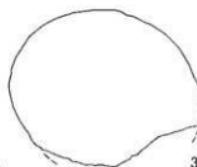
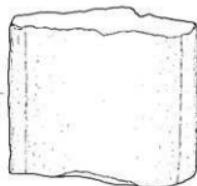
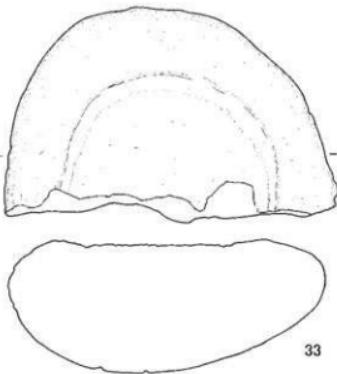
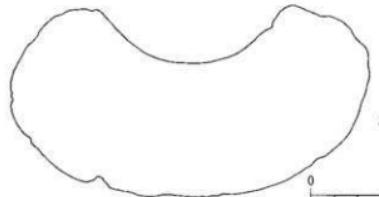
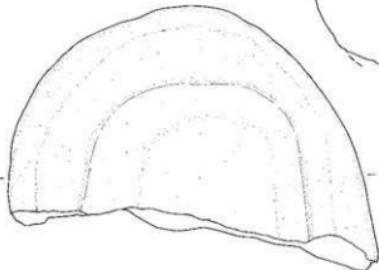
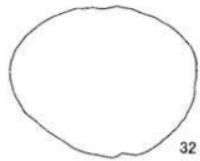
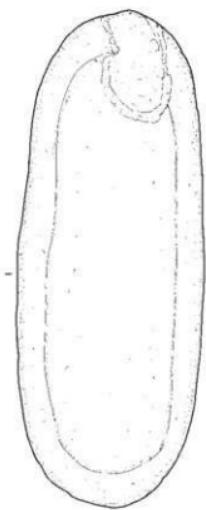
第343図 大型砾石器類



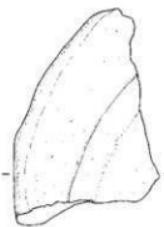
第344図 大型砾石器類



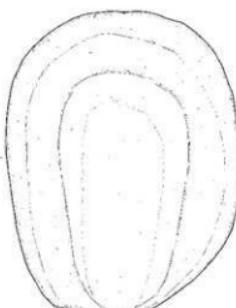
第345図 大型砾石器類



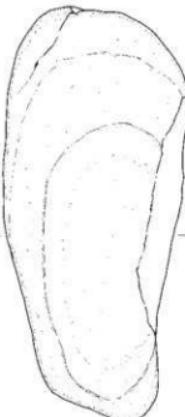
第346図 大型砾石器類



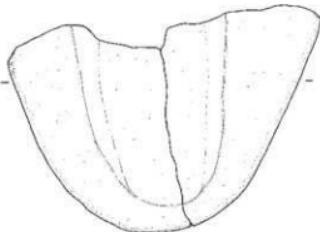
38



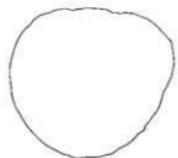
39



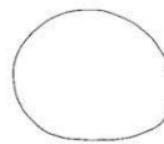
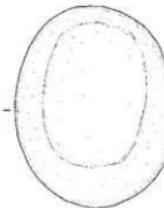
40



41 42

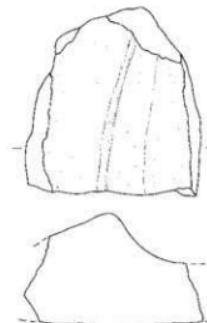


43



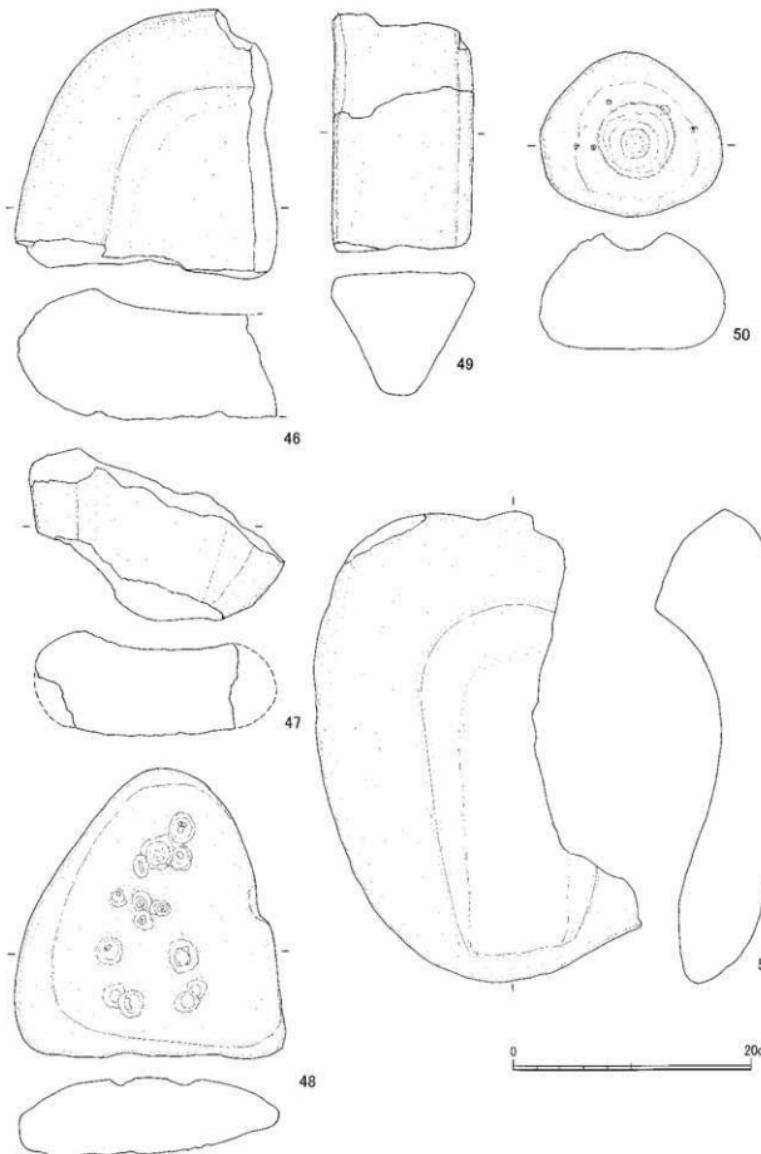
45

0 20cm

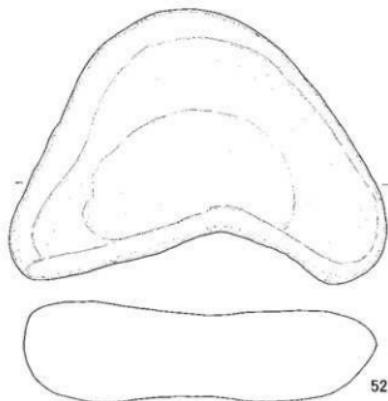


44

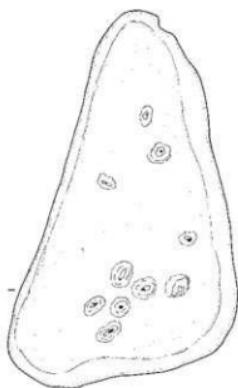
第347図 大型砾石器類



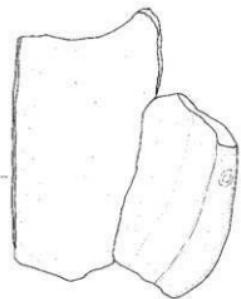
第348図 大型砾石器類



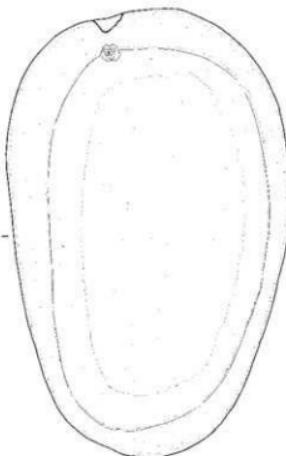
52



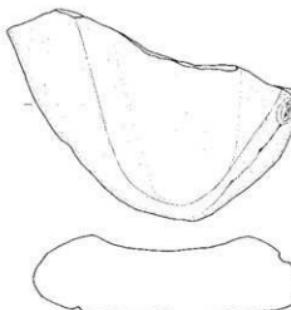
53



54



58



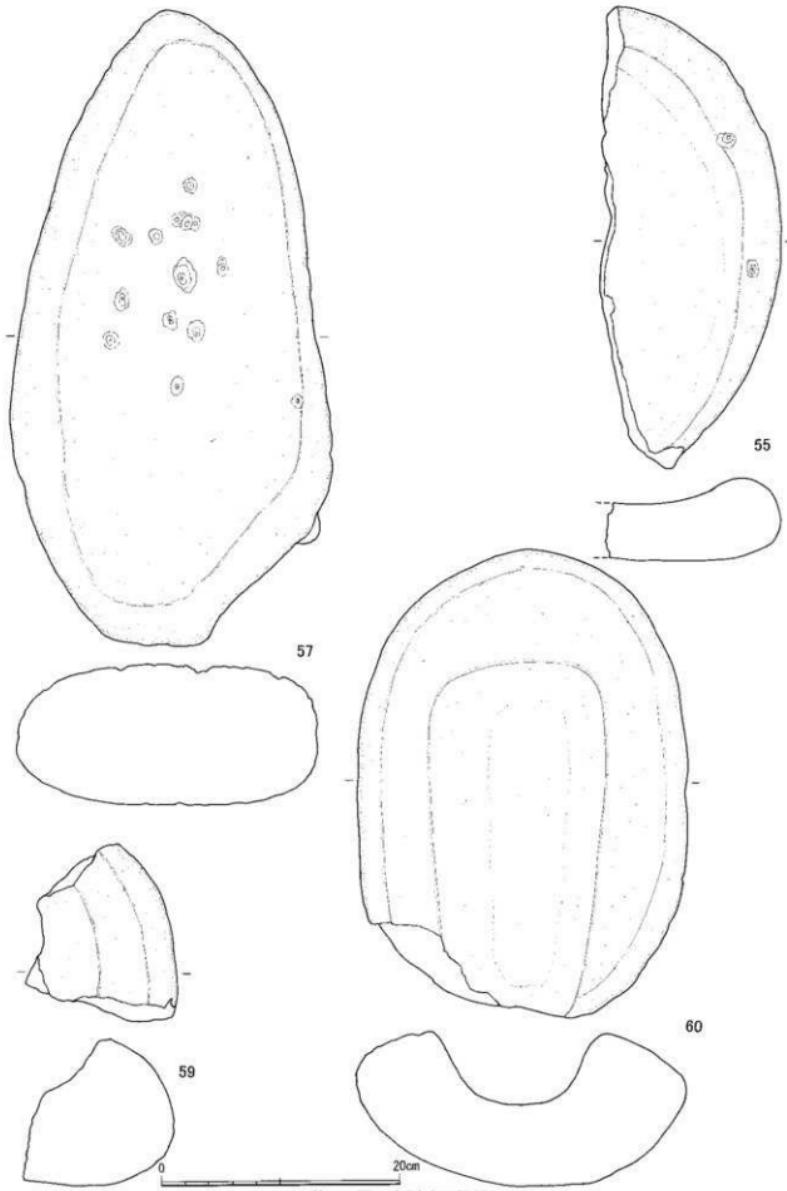
56



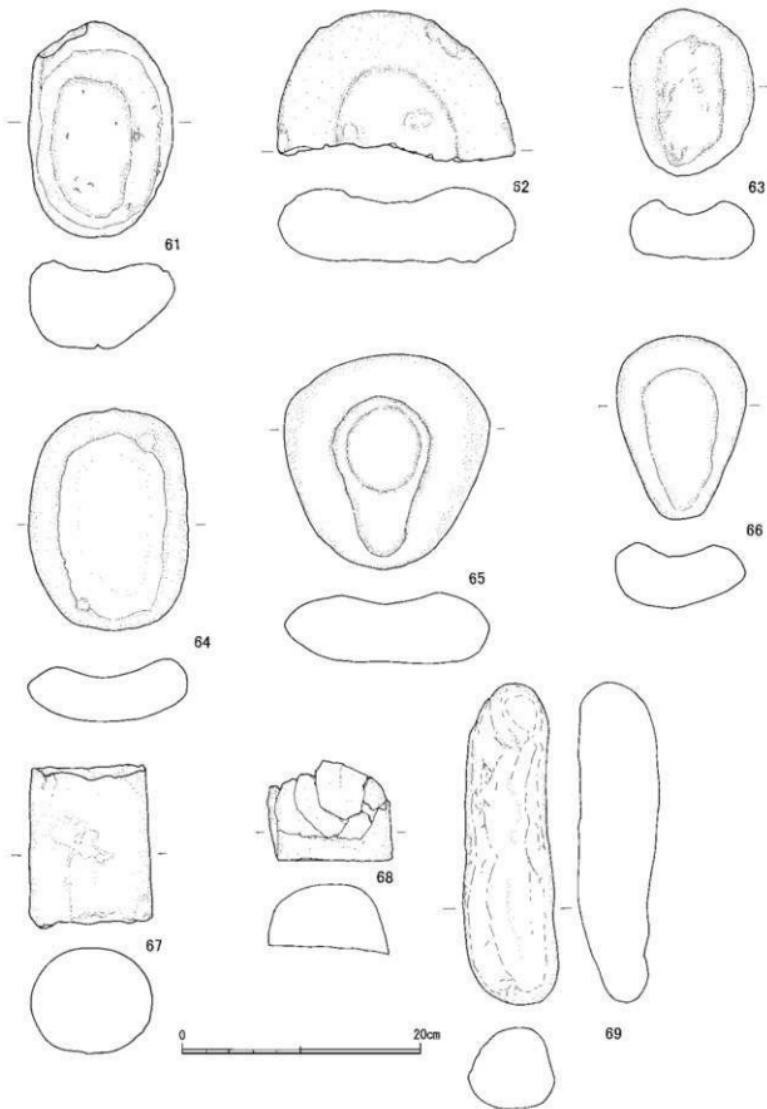
0

20cm

第349図 大型礫石器類



第350図 大型砾石器類



第351図 大型礫石器類

第3-1表 遺物觀察表 (出土地点の住は住居跡、土は土坑を示す)

出土地点	番号	種別	遺種	口径・直径・高さ(cm) (—) = 僅記	底径・毛想 (325)・(51)・17.3	口径・底径 17.0・底部 — = 18.2	横形・圓文・枝法	横形の蓋形とモチーフが、斜下には螺旋状のモチーフが施される。	色調	胎土	備考
1住	127 1	陶文	瓦質附土器						褐色	板状	裏面と背面の裏面に瓦質の痕跡が認められる。
1住	127 2	陶文	漆拂						褐色	青	
1住	127 3	陶文	漆拂						褐色	青	
1住	127 4	陶文	漆拂						褐色	青	
1住	127 5	陶文	漆拂						褐色	青	
1住	127 6	陶文	漆拂						褐色	青	
2住	128 1	陶文	漆拂	20.5・27.5・8.0	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底には無毛想となって、底部	褐色	板状	
2住	128 2	陶文	漆拂	(40.5)・(39.5)・(14.5)	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底には無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 3	陶文	漆拂	(13.0)・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底には無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 4	陶文	漆拂	(12.6)・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底には無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 5	陶文	漆拂	13.5・—・7.5	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底には多条の等間隔文が施される。	褐色	青	
2住	128 6	陶文	漆拂	—・13.0・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 7	陶文	漆拂	—・(1.8)・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 8	陶文	漆拂	(18.5)・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 9	陶文	瓦質附土器	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 10	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 11	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂から直角に外側する折れ、口頂には無毛想があり、腹底は無毛想となる。	褐色	青	
2住	128 12	陶文	瓦塊	粗4.0 cm					褐色	青	
3住	129 1	陶文	漆拂	(27.6)・32.0・8.0	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形・漆拂	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 2	陶文	漆拂	(19.0)・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 3	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 4	陶文	漆拂	(38.0)・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 5	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 6	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 7	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 8	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 9	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 10	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 11	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 12	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 13	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	
3住	129 14	陶文	漆拂	—・—・—	17.0・底部 — = 18.2	17.0・底部 — = 18.2	横形	漆拂の耳を持ち、口頂部から瓦塊まで漆拂文が垂下し、腹底にて其による捺付文が施される。	褐色	青	

品種名	学名	原産地	栽培地	特徴	収穫期	栽培法	栽培地	収穫期	栽培法	栽培地	収穫期	栽培法
五葉生	野菜	日本	日本	葉緑	口径・葉緑・茎高 (cm)	部葉 (-) = 一葉						
4叶	140	1	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	2	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	3	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	4	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	5	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	6	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	7	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	8	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	9	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	10	国文	有孔野菜?	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	11	国文	有孔野菜?	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	12	国文	有孔?	—	—	—	—	—	—	—	—
4叶	120	13	国文	有孔野菜?	目葉 0.7m	目葉 0.65 m	—	—	—	—	—	—
4叶	120	14	国文	耳葉	目葉 0.8m	目葉 0.72 m	—	—	—	—	—	—
5叶	131	1	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	2	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	3	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	4	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	5	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	6	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	7	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	131	8	国文	有孔野菜?	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	9	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	10	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	11	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	12	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	13	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	14	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	15	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	16	国文	深緑	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	17	国文	小形葉	—	—	—	—	—	—	—	—
5叶	132	18	国文	小形野菜土器	—	—	—	—	—	—	—	—

原主歌	歌名	歌詞	解説	歌 形	箇文	校 法	色	新 土	箇 文
五主歌	歌引	歌引	口替・葉代・詠高(元)	部引・形容	(元)	口替に葉代が傳り、以て草葉歌を也。	黒	黒	歌
5主	19 稲文	小切休	(96) : (43) : 8.8	口替・歌尾	口替に葉代が傳り、以て草葉歌を也。	黒	黒	歌	
5主	182 20 稲文	小切休	— : — : —	解説：文部省詩文令文。うち、其の文部省詩文令文等のモードを傳ぐ。	口替・歌尾	口替に葉代が傳り、以て草葉歌を也。	黒	黒	歌
5主	182 21 稲文	小切休	8.8 : 4.0 : 12.8	口替・歌尾	コア音を主とする音群、關係の二種類が並んで居る。例トドリに後文が傳する。解説：上句には三段式や円文などと記述されるが、歌尾はこれを傳する。	黒	黒	歌	
5主	182 22 稲文	済休	— : — : —	解説	解説：中間文が傳する歌尾。	明褐色	明褐色	歌	
5主	182 23 稲文	済休	— : — : —	解説	第三本文が傳され口替歌尾。	黒	黒	歌	
5主	182 24 稲文	済休	— : — : —	解説	第三本文が傳され口替歌尾。	黒	黒	歌	
5主	182 25 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾無文下に葉代と傳入される口替歌尾。	黒	黒	歌	
5主	183 26 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾無文下に葉代と傳入される口替歌尾。	黒	黒	歌	
5主	183 27 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾に葉代内に葉代、歌尾は口替歌尾。	黒	黒	歌	
5主	183 28 稲文	済休	— : — : —	解説	口替に葉代が傳文を通り、以下歌尾を傳す。	黒	黒	歌	
5主	183 29 稲文	済休	— : — : —	解説	口替に葉代が傳文を通り、以下歌尾を傳す。	黒	黒	歌	
5主	183 30 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾を口替歌尾と傳す。	黒	黒	歌	
5主	183 31 稲文	済休	— : — : —	解説	キヤヒタウカ伴作歌傳で三句文、歌尾区段などを表す。	黒	黒	歌	
5主	183 32 稲文	済休	— : — : —	解説	口替には葉代歌尾を表され、且つ歌尾も一環帶びた歌尾文書に葉代による三段などと傳文される。	黒	黒	歌	
5主	184 33 稲文	済休	— : — : —	解説	口替者子十郎が傳文を表す。口替者子十郎は歌尾を付す。	黒	黒	歌	
5主	184 34 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾者子十郎が傳文を表す。口替者子十郎は歌尾を付す。	黒	黒	歌	
5主	184 35 稲文	済休	— : — : —	解説	キヤヒタウカ伴作歌傳で叶。	黒	黒	歌	
5主	184 36 稲文	済休	— : — : —	解説	口替に葉代が傳す。以てキヤヒタウカ伴作歌傳が傳文される。	黒	黒	歌	
6主	185 1 稲文	済休	(3.6) : — : —	解説	歌尾が一部歌形に見らる葉代歌尾を呈す。口替には叶音と歌尾者が傳文される。歌文には葉代歌尾を傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 2 稲文	済休	(19.5) : — : —	解説	口替に葉代が傳る。歌尾は葉代に葉代歌尾を呈す。	黒	黒	歌	
6主	185 3 稲文	歌手竹林土器	— : (10.2) : —	解説	歌尾者子十郎が傳文を表す。歌尾者子十郎は葉代歌尾を呈す。	黒	黒	歌	
6主	185 4 稲文	済休	— : — : —	解説	歌尾者子十郎が傳文を表す。	黒	黒	歌	
6主	185 5 稲文	済休?	— : (1.6) : —	解説	歌尾者子十郎が傳文を表す。	黒	黒	歌	
6主	185 6 稲文	済休	— : (4.5) : —	解説	歌尾者子十郎が葉代歌尾を呈す。	黒	黒	歌	
6主	185 7 稲文	済休	— : — : —	解説	直歌尾。葉代歌尾を呈す。	黒	黒	歌	
6主	185 8 稲文	済休	— : — : —	解説	口替者子十郎が傳文を表す。(正解)歌尾内には葉代歌尾を傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 9 稲文	済休	— : — : —	解説	口替者子十郎が傳文を表す。(正解)歌尾内には葉代歌尾を傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 10 稲文	済休	— : — : —	解説	口替者子十郎が葉代歌尾を表す。先端が葉手となる花譜が傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 11 稲文	済休	— : — : —	解説	葉下する葉代歌尾に叶音を傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 12 稲文	済休	— : — : —	解説	番下する葉代歌尾に叶音を傳す。	黒	黒	歌	
6主	185 13 稲文	済休	— : — : —	解説	叶音葉代歌尾が傳す。	黒	黒	歌	
7主	186 1 稲文	済休	(22) : (13.5) : (43.0)	口替・歌尾	口替に葉代が傳る。歌尾が傳する。	黒	黒	歌	
7主	186 2 稲文	済休	— : (11.5) : —	解説	歌尾者十郎が傳す。口替に葉代歌尾と有葉代歌尾とする。解説：上句には三段式が傳ぐ。解説：歌尾者十郎が傳す。	黒	黒	歌	
7主	186 3 稲文	済休?	(15.6) : — : —	解説	歌尾者十郎が葉代歌尾を表す。歌尾は葉代歌尾。	黒	黒	歌	
7主	186 4 稲文	済休	— : (10.5) : —	解説	口替者子十郎が傳す。歌尾は葉代歌尾。	黒	黒	歌	

語彙	語義	語形	語義	語形	語義	語形	語義
直立地盤	垂直	直角	直角	直角	直角	直角	直角
7行	5 篠文	溝跡	縫隙	(15.2) — 17.6	口縫 — 間隔	口縫 — 小縫隙	口縫 — 小縫隙
7行	126 6 篠文	溝跡	縫隙	— 17.6	口縫	直三共縫の施された縫隙部。	直三共縫の施された縫隙部。
7行	126 7 篠文	溝跡	縫隙	— 17.6	口縫	口縫に張り出しうつ骨縫跡等が見らる。以テシルトカルが施せられる。	口縫に張り出しうつ骨縫跡等が見らる。以テシルトカルが施せられる。
7行	126 8 篠文	溝跡	縫隙	(12.8) — 17.5	口縫 — 間隔	縫隙に半側面で、口縫の施された縫隙部が施される。	縫隙に半側面で、口縫の施された縫隙部が施される。
7行	126 9 篠文	縫合孔	縫合孔	14.0	直角	直をもつて、直角区間に縫合縫を施す。	直をもつて、直角区間に縫合縫を施す。
7行	126 10 篠文	縫合孔	縫合孔	尾注(14.0)	直角	台をもつて、直角区間に縫合縫を施す。	台をもつて、直角区間に縫合縫を施す。
7行	126 11 篠文	縫合孔	縫合孔	等々 9.5	直角	円錐部を呈るもので、無え。	円錐部を呈るもので、無え。
7行	126 12 篠文	縫合孔	縫合孔	肩注 2.9	円錐	円錐部を呈るもので、無え。	円錐部を呈るもので、無え。
7行	126 13 篠文	縫合孔	縫合孔	等々 2.5	円錐	円錐部を呈したもので、無え。	円錐部を呈したもので、無え。
7行	137 14 篠文	溝跡?	手	— 17.6	把手	直角に口縫を施された把手と思われる。	直角に口縫を施された把手と思われる。
7行	137 15 篠文	小型溝跡	直角	5.5 — 7.7	口縫 — 間隔	直角に縫合縫を施す。	直角に縫合縫を施す。
7行	137 16 篠文	小型溝跡	直角	(9.5) 8.9 - 7.0	口縫 — 手足	無え。	無え。
7行	137 17 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	キヤビタラによく見三共縫文。	キヤビタラによく見三共縫文。
7行	137 18 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	圓錐部にさく筋円柱痕及び、直角部。	圓錐部にさく筋円柱痕及び、直角部。
7行	137 19 篠文	溝跡	直角	— 17.6	口縫部	三角共縫にさく筋区画文。	三角共縫にさく筋区画文。
7行	137 20 篠文	溝跡	直角	— 17.6	口縫部	直角部が口縫下に施る。	直角部が口縫下に施る。
7行	137 21 篠文	溝跡	直角	— 17.6	口縫部	直角部が口縫下に施る。	直角部が口縫下に施る。
7行	137 22 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	直角部が口縫下にキヤビタラ式を施す。	直角部が口縫下にキヤビタラ式を施す。
7行	137 23 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	キヤビタラ式を施す。	キヤビタラ式を施す。
7行	137 24 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	直角下に直角部が施される。	直角下に直角部が施される。
7行	137 25 篠文	溝跡	直角	— 17.6	口縫部	直角部による手足、直角部による手足とその周を文字縫文などに施す。	直角部による手足、直角部による手足とその周を文字縫文などに施す。
8行	138 1 篠文	溝跡	直角	17.6 9.4 - 21.3	口縫部	直角部による手足、直角部による手足とその周を文字縫文などに施す。	直角部による手足、直角部による手足とその周を文字縫文などに施す。
8行	138 2 篠文	小型溝跡	直角	8.5 - (5.5) - 13.4	口縫部	直角部による手足が施され、2位の手足が施す。	直角部による手足が施され、2位の手足が施す。
7行	138 3 篠文	溝跡	直角	— 17.6	口縫部	口縫部は直角の突起物が付され、斜下下に施す。	口縫部は直角の突起物が付され、斜下下に施す。
8行	138 4 篠文	小型溝跡	直角	8.5 - 6.5 - 9.0	口縫部	直角部による手足が施される。	直角部による手足が施される。
8行	138 5 篠文	小型溝跡	直角	11.0 — 17.6	口縫部	直角部の内側に手足が施されると引手が施される。	直角部の内側に手足が施されると引手が施される。
7行	138 6 篠文	溝跡	直角	14.5 - 7.1 - 21.6	口縫部	直角部手足千脚形と、脚上から縫隙部に付する器形。口縫に突起が付され直角部縫隙部が垂下する。	直角部手足千脚形と、脚上から縫隙部に付する器形。口縫に突起が付され直角部縫隙部が垂下する。
8行	138 7 篠文	溝跡	直角	(3.6) — * —	口縫部	直角部が口縫下に施す。	直角部が口縫下に施す。
8行	138 8 篠文	溝跡	直角	(24.5) — * —	口縫部	手筋部が口縫下に施す。	手筋部が口縫下に施す。
8行	138 9 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	頂上にはキヤビタラ式だが、腹下には直角部が施される。	頂上にはキヤビタラ式だが、腹下には直角部が施される。
8行	138 10 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	直角部が口縫下に施す。	直角部が口縫下に施す。
8行	138 11 篠文	溝跡	直角	— 17.6	圓錐	直角部が口縫下に施す。	直角部が口縫下に施す。
8行	138 12 篠文	溝跡	直角	(31.5) — * —	口縫部	脚上に三共縫文が施す。	脚上に三共縫文が施す。
8行	138 13 篠文	溝跡	直角	23.5 - 9.6 - 9	口縫部	手筋部が口縫下に施す。	手筋部が口縫下に施す。
8行	138 14 篠文	溝跡?	直角?	— (15.1) —	圓錐	無え。器底に穿孔穴にてお、盤などとは不明。	無え。器底に穿孔穴にてお、盤などとは不明。
8行	138 15 篠文	溝跡?	直角?	— (15.0) —	圓錐	無え。	無え。



語彙	語義	語音	語形・語法	語彙	語義	語形・語法
五上級	部分	部分	部分	部分	部分	部分
10E. 15	範文	小作文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
10E. 16	範文	詩	(35.8) - - -	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
10E. 17	範文	洋詩	(36.0) - - -	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
10E. 18	範文	洋詩	(15.0) - - -	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
11E. 1	範文	洋詩	(14.5) (10.9) = 25.8	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
11E. 2	範文	洋詩	(25.5) - - -	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
11E. 3	範文	詩?	- - - (1.2) - - -	見題	見題	見題
11E. 4	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 5	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 6	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 7	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 8	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 9	範文	洋詩	- - - - -	口語	口語	口語
11E. 10	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 11	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 12	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 13	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 14	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 15	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
11E. 16	範文	詩?	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 1	範文	洋詩	(24.0) - - -	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文	口語 (1) = 例文
12E. 2	範文	詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 3	範文	詩?	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 4	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 5	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 6	範文	詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 7	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 8	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 9	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 10	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 11	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 12	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 13	範文	詩?	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 14	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 15	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 16	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 17	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題
12E. 18	範文	洋詩	- - - - -	見題	見題	見題

山地・丘陵		樹種	樹形	葉形・葉質	花被子・果被子	栽培法	整 形・施 交 技 法	色 調	土 備
山地・丘陵	樹分	楓	圓錐	卵形・倒卵形 (-) = 垂枝楓	單葉	垂枝する花被子と半透明又は褐色。	單葉	褐色	苦
12E.	144	19	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	20	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	21	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	22	楓	櫛狀羽狀複葉	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	23	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	24	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	25	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	26	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	27	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	28	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	29	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	30	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	31	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	32	楓	什?	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	33	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	144	34	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	1	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	2	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	3	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	4	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	5	楓	圓錐	(27.8) - 12.5 - 15.0	圓錐形	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	6	楓	圓錐	(30.0) — —	圓錐形	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	7	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	8	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	9	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
12E.	145	10	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	1	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	2	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	3	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	4	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	5	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	6	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	7	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	8	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	9	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	10	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	11	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦
14E.	146	12	楓	圓錐	—	—	圓錐形	褐色	苦



地名	位置	性質	音節	語彙	形・文・法	色・調	土・植
山上山頂丘陵	山頂	岩場	【1】野・野(や)	原野・野地	原野・原野	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
160t. 148	14	河川	【1】渓	—	—	—	—
160t. 148	15	河川	【1】渓	—	—	—	—
160t. 148	16	河川	【1】渓	—	—	—	—
160t. 148	17	河川	【1】渓	—	—	—	—
17t. 169	1	河川	【1】渓	(404) — — —	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
17t. 169	2	河川	【1】渓	—	—	—	—
17t. 169	3	河川	【1】渓	—	—	—	—
17t. 169	4	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	1	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	2	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	3	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	4	河川	【1】渓	(255) — — —	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
18t. 159	5	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	6	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	7	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	8	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	9	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	10	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	11	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	12	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	13	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	14	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	15	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	16	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	17	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	18	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	19	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	20	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	21	河川	【1】渓	—	—	—	—
18t. 159	22	河川	【1】渓	—	—	—	—
19t. 152	1	河川	【1】渓	(328) — 14.4 - 55	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
19t. 152	2	河川	【1】渓	(16.4) — — —	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
19t. 152	3	河川	【1】渓	—	—	—	—
19t. 152	4	河川	【1】渓	—	—	—	—
19t. 152	5	河川	【1】渓	(12.4) — — —	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)
19t. 152	6	河川	【1】渓	(34.3) - 32.0 - 15.0	【1】野原	褐色	黒褐色 黒褐色(茶)





語彙	語義	語形	語義	語形	語義	語形	語義	語形	語義
直上位	等身	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
25E	2 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26E	1 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EII	2 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EIII	3 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EIV	4 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EV	5 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVI	6 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	7 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	8 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIX	9 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	10 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	11 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIX	12 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	13 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	14 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIX	15 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	16 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	17 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIX	18 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	19 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	20 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIX	21 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVII	22 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
26EVIII	23 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
27E	1 桁文	起行付土器?	津津						
27EII	2 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
27EIII	3 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
27EIV	4 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
27EV	5 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28E	1 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EII	2 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EIII	3 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EIV	4 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EV	5 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EVII	6 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EVIII	7 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
28EVIX	8 桁文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津





地 上 部 材 料	品 名	種 別	特 徴	口 径 ( mm )	長 径 ( mm )	部 位 ( m m )	形 状 ・ 施 工 法	色 調 ・ 質 感
自生木地	赤松	樹脂	葉根	—	—	—	北極性で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黒褐色 褐色
34#	174	12	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	13	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	14	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	15	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	16	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	17	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	18	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
34#	174	19	圓木	直径	—	—	【10】部 赤褐色で葉を落すが葉は秋又は春に落される(樹皮剥げ)	小褐色 黑褐色 褐色
35#	175	1	圓木	直径	—	—	【27】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
35#	175	2	圓木	直径	—	—	【27】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
35#	175	3	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	4	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	5	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	6	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	7	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	8	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
35#	175	9	圓木	直径	—	—	【10】部 表面に虫を落す。	褐色 褐色 褐色
36#	176	1	圓木	直径	—	—	【57】部 —	褐色 褐色 褐色
36#	176	2	圓木	直径	—	—	【36】部 —	褐色 褐色 褐色
36#	176	3	圓木	直径	—	—	【36】部 —	褐色 褐色 褐色
36#	176	4	圓木	直径	—	—	【36】部 —	褐色 褐色 褐色
36#	176	5	圓木	直径	—	—	【36】部 —	褐色 褐色 褐色
36#	176	6	圓木	直径	—	—	【36】部 —	褐色 褐色 褐色
37#	177	1	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	2	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	3	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	4	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	5	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	6	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	7	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	8	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	9	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	177	10	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	178	11	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	178	12	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	178	13	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	178	14	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色
37#	178	15	圓木	直径	—	—	【10】部 枝付する部で枝や葉は温湿でない。	褐色 褐色 褐色





語彙	語義	語形	語文構法	語義	語形	語文構法
瓦上地	屋外	屋外	口語・葉語・語焉(?)	部・形態	部・形態	色 黑
43E 6	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 6	褐文	漆津	—	(16.2) —	褐色	褐聞色 小や黒
42E 7	褐文	漆津	—	(15.9) —	褐色	褐聞色 黑
42F 7	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
42E 8	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
42F 8	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
42E 9	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
42F 9	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 1	褐文	漆津	(26.6) —	口語・形容詞	口語・形容詞	色 黑
43F 1	褐文	漆津	(11.0) —	—	口語・形容詞	褐聞色 黑
43E 2	褐文	漆津	(16.4) - (16.9) - 25.6	口語・形容詞	口語・形容詞	褐聞色 黑
43F 2	褐文	漆津	(13.0) - (15.6) - (17.2)	口語・形容詞	口語・形容詞	褐聞色 黑
43E 3	褐文	漆津	—	(6.9) —	褐色	褐聞色 黑
43F 3	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 4	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 4	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 5	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 5	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 6	褐文	漆津	9.2 - 19.7	口語・形容詞	口語・形容詞	色 黑
43F 6	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 7	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 7	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 8	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 8	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 9	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43F 9	褐文	漆津	—	—	褐色	褐聞色 黑
43E 10	褐文	面白毛器	経 (15.7) - 等 7.0	口語	口語 (15.7) - 等 7.0	色 黑
43F 10	褐文	面白毛器	6.5 - 16.8 - 7.5	口語 - 形容詞	口語 - 形容詞	褐聞色 黑
43E 11	褐文	小學生器	目 - 等 9.2	—	—	褐聞色 黑
43F 11	褐文	小學生器	—	—	—	褐聞色 黑
43E 12	褐文	唇行王器?	目 - 等 9.2	—	—	褐聞色 黑
43F 12	褐文	唇行王器?	—	—	—	褐聞色 黑
43E 13	褐文	唇行王器	経 (21.4) - 等 2.7	口語	口語を呈するので、無。	褐聞色 黑
43F 13	褐文	唇行王器	—	—	—	褐聞色 黑
43E 14	褐文	休	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 14	褐文	休	—	—	—	褐聞色 黑
43E 15	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 15	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 16	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 16	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 17	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 17	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 18	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 18	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 19	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 19	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 20	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 20	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 21	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語を呈するので、無。
43F 21	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 22	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
43F 22	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 23	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
43F 23	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 24	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
43F 24	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 25	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
43F 25	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 26	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
43F 26	褐文	漆津	—	—	—	褐聞色 黑
43E 27	褐文	小學生器	目 - 1.1 - 2.3	口語・形容詞	口語に添付するので、無。	褐聞色 黑
43F 27	褐文	小學生器	—	—	—	褐聞色 黑
43E 28	褐文	泡毛・製品	目 - 1.1 - 2.3	口語・形容詞	口語に添付するので、無。	褐聞色 黑
43F 28	褐文	泡毛・製品	—	—	—	褐聞色 黑
44E 1	褐文	漆津	27.4 - (16.1) - 29.2	口語・形容詞	口語に添付するので、無。	褐聞色 黑
44F 1	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
44E 2	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
44F 2	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
44E 3	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
44F 3	褐文	漆津	—	—	口語・形容詞	口語に添付するので、無。
44E 4	褐文	漆津	23.0 - —	口語	口語に添付するので、無。	褐聞色 密 褐音合
44F 4	褐文	漆津	—	(4.0) —	口語	口語に添付するので、無。



地名	位置	標高	地形	部位・特徴	影・施文・找法	色調	土 像
原山	原山	1,000	山頂	口傍・底質 =五五盤	影打斜面、襷状の谷綱などと山溪。	褐色	黃
47E	193 7 碓文	700	谷津	— · — · —	影施文、襷状の谷綱などと山溪。	褐色	黃
47E	193 8 碓文	700	谷津	— · — · —	影施文、襷状の谷綱などと山溪。	褐色	黃
47E	193 9 碓文	700	深谷	— · — · —	影施文、襷状の谷綱などと山溪。	褐色	黃
48E	194 1 碓文	700	谷津	34.0 196.504	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 3 碓文	700	谷津	(22.0) - (11.0) - 38.0	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 4 碓文	700	谷津	(10.0) - — · —	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 5 碓文	700	谷津	(38.0) - — · —	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 6 碓文	700	谷津	(24.0) - — · —	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 7 碓文	700	谷津	(21.0) - — · —	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 8 碓文	700	谷津	— · (13.0) - —	底質	褐色	黃
48E	195 9 碓文	700	谷津	(13.0) - — · —	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 10 碓文	700	谷津	(10.4) - (7.6) - 15.8	口傍・底質	褐色	黃
48E	195 11 碓文	700	谷津	14.0 - (8.0) - 19.0	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 12 碓文	700	浅谷	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 13 碓文	700	浅谷	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 14 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 15 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 16 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 17 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 18 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	195 19 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	196 20 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
48E	196 21 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃(母合)
49E	197 1 碓文	700	深谷	29.3 15.6 - 49.3	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 2 碓文	700	谷津	22.8 - 12.3 - 27.6	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 3 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 4 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 5 碓文	700	谷津	— · (14.0) - (37.0)	新原・底質	褐色	黃
49E	198 6 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 7 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃
49E	198 8 碓文	700	谷津	— · — · —	口傍・底質	褐色	黃



語彙	語義	例文	語彙	語義	例文	語彙	語義	例文	語彙	語義
直上位	最高	最高	直接	直接	口語「直接」・語彙(26)	直列	直列	口語「直列」・語彙(27) = 直上位	直列	直列
49生 43 篤文	直列	直列(行)・語	49生 43 篤文	直列	口語「直列」・語彙(27) = 直上位	直列	直列	口語「直列」・語彙(27) = 直上位	直列	直列
49生 201 43 篤文	直列	(26)	49生 201 43 篤文	直列	(32) = 12.5 - 2.0	直列	直列	(32) = 12.5 - 2.0	直列	直列
49生 201 44 篤文	直列	(26)	49生 201 45 篤文	直列	(24) = 8.5 - 12.0	直列	直列	(24) = 8.5 - 12.0	直列	直列
49生 201 45 篤文	直列	—	49生 201 46 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 46 篤文	直列	—	49生 201 47 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 47 篤文	直列	—	49生 201 48 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 48 篤文	直列	—	49生 201 49 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 49 篤文	直列	—	49生 201 50 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 50 篤文	直列	—	49生 201 51 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 51 篤文	直列	—	49生 201 52 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 52 篤文	直列	—	49生 201 53 篤文	小型土器	6.8 - 32 - 2.6	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 53 篤文	直列	有孔小形土器	49生 201 54 篤文	直列	6.0 - 9.6 cm	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 54 篤文	直列	—	49生 201 55 篤文	小型土器	3.0 - 12.42	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 55 篤文	直列	—	49生 201 56 篤文	直列?	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 56 篤文	直列?	—	49生 201 1 篤文	直列	(17.5) = 1 - —	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 1 篤文	直列	—	49生 201 2 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 2 篤文	直列	—	49生 201 3 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 3 篤文	直列	—	49生 201 4 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 4 篤文	直列	—	49生 201 5 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 5 篤文	直列	—	49生 201 6 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 6 篤文	直列	—	49生 201 7 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 7 篤文	直列	—	49生 201 8 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 8 篤文	直列	—	49生 201 9 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 9 篤文	直列	—	49生 201 10 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 10 篤文	直列	—	49生 201 11 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
49生 201 11 篤文	直列	—	51生 204 1 篤文	直列	(19.3) = 8.3 - 25.3	直列	直列	(19.3) = 8.3 - 25.3	直列	直列
51生 204 1 篤文	直列	—	51生 204 2 篤文	直列?	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 2 篤文	直列?	—	51生 204 3 篤文	直列?	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 3 篤文	直列?	—	51生 204 4 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 4 篤文	直列	—	51生 204 5 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 5 篤文	直列	—	51生 204 6 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 6 篤文	直列	—	51生 204 7 篤文	直列	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 7 篤文	直列	—	51生 204 8 篤文	小形骨体	—	直列	直列	—	直列	直列
51生 204 8 篤文	小形骨体	—	52生 1 篤文	直列	(21.7) = —	直列	直列	(21.7) = —	直列	直列
52生 1 篤文	直列	(21.7) = —	52生 2 篤文	直列	9.3 - 6.0 - 14.0	直列	直列	9.3 - 6.0 - 14.0	直列	直列



語彙	意味	語形	意味	語形	意味	語形	意味	語形	意味
直上位 終點	終点	終点	終点	終点	終点	終点	終点	終点	終点
54住 288	12 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
54住 288	13 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
54住 288	14 岡文	有料封筒	封筒						
55住 289	1 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	2 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	3 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	4 岡文	小型封	封筒						
55住 289	5 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	6 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	7 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	8 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
55住 289	9 岡文	小型封	封筒						
56住 290	1 岡文	人前距離	津津						
56住 290	2 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
56住 290	3 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
56住 290	4 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
56住 290	5 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
56住 290	6 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
56住 290	7 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	1 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	2 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	3 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	4 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	5 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	6 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	7 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	8 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
57住 291	9 岡文	小型封	封筒						
58住 292	1 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
58住 292	2 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
58住 292	3 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
58住 292	4 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津
58住 292	5 岡文	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津	津津

五音	部名	音形	母音	口形・裏歯・脇歯	形 形	漢文	接 法	色 黑	筋 土	音 音	字
五上歯	唇形	唇形	形形	口形・舌形	形形	無状え、キタカヒタえ、事御國人を極め、	形形	黒褐色	黑		
58位 215 6 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状え、キタカヒタえ、事御國人を極め、	形形	黒褐色	黑		
58位 212 7 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状え、キタカヒタえ、事御國人を極め、	形形	黒褐色	黑		
58位 215 8 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	無状え、キタカヒタえ、事御國人を極め、	形形	黒褐色	黑		
58位 212 9 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状え、キタカヒタえ、事御國人を極め、	形形	黒褐色	黑		
58位 212 10 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	無状えをなし、口輪で區別え、聖人を極め、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 1 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	無状えをなし、口輪で區別え、聖人を極め、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 2 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	無状えをなし、口輪で區別え、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 3 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状えと口輪が極め下す、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 4 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状えを極め、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 5 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	キタカヒタを極め、	形形	黒褐色	黑		
59位 213 6 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	無状えを極め、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 1 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 2 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 3 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 4 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 5 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 6 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 7 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 8 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
60位 214 9 唇文	唇形	（—）—	—	—	唇形	唇齒の区別を極めとなし、有喉音が極め下し半割切手形で三文字、聲をなどと表示する、	形形	黒褐色	黑		
61位 215 1 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 2 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 3 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 4 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 5 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 6 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 7 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 8 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 9 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 215 10 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇から唇形は無事となる。以キタカヒタ文と唇齒等17	形形	黒褐色	黑		
61位 216 11 唇文	唇形	（—）—	—	—	形形	有喉音が極め下し、バキラスを極め、	形形	黒褐色	黑		
61位 216 12 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	體音等に見る文を極め、	形形	黒褐色	黑		
61位 216 13 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇音等に極め音を極め、	形形	黒褐色	黑		
61位 216 14 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇音等に極め音を極め、	形形	黒褐色	黑		
62位 217 1 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇音等に極め音を極め、	形形	黒褐色	黑		
62位 217 2 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇音等に極め音を極め、	形形	黒褐色	黑		
62位 217 3 唇文	唇形	（—）—	—	—	口唇形	口唇音等に極め音を極め、	形形	黒褐色	黑		



語彙	語義	類別	語文	接続法	語形	語文接法	色調	前土音	音等
直上位	最高	形容	口清	最高 (an)	形容	形容 (an)	明褐色	黑	
67位 223 10 種文	溝跡	形容	(—)	—	形容	キヤウリタケを施す。	明褐色	黑	
67位 223 11 種文	溝跡	形容	—	—	形容	バカルスを施す。	明褐色	黑	
67位 223 12 種文	小管跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。バカルスを施す。	明褐色	黑	
68位 223 1 種文	溝跡	形容	6.5~7.5~6.8	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。以降の部分を下す。	明褐色	黑	
68位 223 2 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。以降の部分を下す。	明褐色	黑	
68位 223 3 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。以降の部分を下す。	明褐色	黑	
68位 223 4 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。以降の部分を下す。	明褐色	黑	
68位 223 5 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。以降の部分を下す。	明褐色	黑	
69位 224 1 種文	溝跡	形容	(202~106~31.2	—	形容	口清には空隙部とある突起が存在する。断面には有効部が存在し、以降は空隙部などと繋ぎます。	明褐色	黑	
69位 224 2 種文	溝跡	形容	(11.6~7~—	—	形容	口清には空隙部とある突起が存在する。断面には有効部が存在し、以降は空隙部などと繋ぎます。	明褐色	黑	
69位 224 3 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 4 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 5 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 6 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 7 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 8 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 9 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 10 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 11 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。	明褐色	黑	
69位 224 12 種文	溝跡	形容	117.6~14.8~最高4.5	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。台部には側面の基部から端部へ。	明褐色	黑	
70位 225 1 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などの接合せる。	明褐色	黑	
70位 225 2 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などの接合せる。	明褐色	黑	
70位 225 3 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などの接合せる。	明褐色	黑	
70位 225 4 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などの接合せる。	明褐色	黑	
70位 225 5 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
70位 225 6 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
70位 225 7 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
70位 225 8 種文	小型石割付土器	形容	3.0~2.8~6.8	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 1 種文	小管跡	形容	15.5~17.0~—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 2 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 3 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 4 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 5 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 6 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 7 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
71位 226 8 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	
72位 227 1 種文	溝跡	形容	—	—	形容	ダクシヨウトヨ、ダクシヨウル有機物質が残る。三文文などを施す。	明褐色	黑	

語彙	語義	語形	語文	接法	語形	語文	接法	語形	語文	接法
直上部	脇引	津津	津津	口沫・氣味・脳味 (ア)	口沫	口沫・舌苔	口沫	口沫	口沫	口沫
720	2	觸文	津津	—・12.2 —	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
720	3	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	4	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	5	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	6	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	7	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	8	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	9	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	10	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
720	11	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
730	1	觸文	津津	(22.6) —・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
730	2	觸文	津津	(34.6) —・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
730	3	觸文	津津	(19.8) 6.0・23.2	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
730	4	觸文	津津	(32.6) —・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
730	5	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
730	6	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
730	7	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
730	8	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
740	1	觸文	小聲津津	10.4 —・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
740	2	觸文	小聲津	10.4 —・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
740	3	觸文	津津	—・(64) —	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
740	4	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
740	5	觸文	津津	—・—・—	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌	口沫忌
740	6	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
740	7	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	1	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	2	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	3	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	4	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	5	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	6	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	7	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
750	8	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
760	1	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
760	2	觸文	津津	—・(16.8) —	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
760	3	觸文	豎行津津	—・(11.0) —	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌
760	4	觸文	津津	—・—・—	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌	触忌

山名・地図 並上地番	地番	番号	種別	基材	口語・通称	解説・特徴	採取方法	色彩・施文	土 像
山野・通称 山野台土器	山野	231	5	通称	—	—	解説 有機物、瓦灰質文化などを指す。	明褐色	黃
780	山野	231	6	通称	—	—	解説 麻糸手の遺物が遺す。	黃褐色	黃
780	山野	231	7	通称	—	—	解説 底火を伴うチャコウ文化を施す。	明褐色	黃
780	山野	231	8	通称	—	—	解説 有機物が混入。	明褐色	黃
780	山野	231	9	通称	—	—	解説 キチジヒタケを伴う遺物と施文。	明褐色	黃
780	山野	231	10	通称	—	—	解説 有機物、瓦灰質文化などを指す。	明褐色	黃
780	山野	232	11	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。有機物が混入する。有機物が付く。底火を伴う。	明褐色	黃
780	山野	232	12	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。底火を伴う。	明褐色	黃
780	山野	233	1	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	2	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	3	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	4	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	5	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	6	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	7	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	8	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	9	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。以下に有機物が混入する。	明褐色	黃
778	山野	233	10	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	11	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	12	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	13	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	14	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	15	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	233	16	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
778	山野	234	1	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	2	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	3	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	4	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	5	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	6	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	7	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	8	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	9	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
780	山野	234	10	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
790	山野	235	1	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
790	山野	235	2	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃
790	山野	235	3	通称	—	—	解説 口語では火焚けが付く。	明褐色	黃





品目	部名	種別	断層	口語・漢文・語彙	翻訳	翻訳・漢文・校法	色	新土	備考
直上直下	断層	断層	(一) 直上直下	断層	沈積層を有する。	断層	褐色	褐色	
891E	244 4	同文	津浦	— : — : —	断層	沈積三叉分岐等を有する。	褐色	褐色	
891F	244 5	同文	津浦	— : — : —	口語	口語は三叉分岐等を有する。	褐色	褐色	
891G	244 6	同文	津浦	— : — : —	断層	断層を有する。	褐色	褐色	
891H	245 1	同文	津浦	— : 1.5 : —	断層	クワウク社の断層を有する。	褐色	褐色	
891I	245 2	同文	津浦	— : (7) : —	断層	断層を有する。	褐色	褐色	
891J	245 3	同文	津浦	— : (2.8) : —	断層	断層を有する。	褐色	褐色	
891K	245 4	同文	津浦	— : — : —	口語	口語は(1)の断層が有する。	褐色	褐色	
891L	245 5	同文	津浦	— : — : —	断層	河岸上に断層を有する。	褐色	褐色	
891M	245 6	同文	津浦	— : — : —	断層	有断層と有断層を有する。	褐色	褐色	(妻母合)
891N	245 7	同文	津浦	— : — : —	口語	断層を有する。	褐色	褐色	
891O	245 8	同文	津浦	— : — : —	断層	断層を有する。	褐色	褐色	
891P	245 9	同文	津浦	— : — : —	口語	有断層と有断層を有する。	褐色	褐色	
891Q	245 10	同文	津浦	— : — : —	断層	有断層が有する。	褐色	褐色	(妻母合)
891R	245 11	同文	津浦	— : — : —	口語	口語は(1)の断層が有する。	褐色	褐色	(妻母合)
891S	245 12	同文	津浦	— : — : —	口語	断層を有する。	褐色	褐色	
891T	245 13	同文	津浦	— : — : —	断層	断層を有する。	褐色	褐色	
901E	246 1	同文	津行小土器	23.0 : 16.5 : 6.2	口語	口語と合併せし。	褐色	褐色	
901F	246 2	同文	小土器	2.7 : 4.0 : 3.2	断層	—般に字状となる直側縫合部より、平行断層が垂下する。	褐色	褐色	
901G	246 3	同文	津浦	— : — : —	断層	平行断層と合併せし。	褐色	褐色	
901H	246 4	同文	津浦	— : — : —	断層	平行断層と合併せし。	褐色	褐色	
901I	246 5	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有し、2条の断層を有する。	褐色	褐色	
901J	246 6	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有し、2条の断層を有する。	褐色	褐色	
901K	246 7	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有する。	褐色	褐色	
901L	246 8	同文	津浦	— : — : —	断層	平行断層と合併せし。	褐色	褐色	
901M	246 9	同文	津浦	— : — : —	断層	平行断層と合併せし。	褐色	褐色	
901N	246 10	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有し、平行断層が垂下する。	褐色	褐色	
901O	246 11	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有し、平行断層が垂下する。	褐色	褐色	
901P	246 12	同文	津浦	— : — : —	断層	地表に断層を有し、平行断層が垂下する。	褐色	褐色	
901Q	246 13	同文	土台?	— : — : —	体面	無文。	褐色	褐色	
901R	246 14	同文	津浦	— : — : —	断層	列点と比較せし。	褐色	褐色	
901S	246 15	同文	津浦	— : — : —	断層	列点と比較せし。	褐色	褐色	
911E	249 1	同文	津浦	— : 1.5 : —	断層	地文として有文を有し、(1)の北側が2番下する。	褐色	褐色	赤底合
911F	249 2	同文	津浦	— : — : —	口語	口語には(1)の北側と平行断層を有する。	褐色	褐色	
921E	247 1	土壤带	要	(27.5) : — : —	断層	地文と(1)の北側と平行断層を有する。	褐色	褐色	
921F	247 2	同地帶	要	— : — : —	断層	外洋タキズ、内洋ナツ。	褐色	褐色	
921G	247 3	土壤带	要	(29.8) : — : —	断層	外洋ナツ、内洋ナツ。	褐色	褐色	
921H	247 4	同地帶	要	(30.0) : — : —	断層	外洋ナツと内洋ナツ。	褐色	褐色	

地番	番号	種別	部類	口語・漢字・語彙 (an)	形容・形質	翻訳	翻訳・漢文・校法	色調	新土 音	音
五井上町	245	野分	樹木	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	245	5 土植器	樹木	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	6 内池平	土植器	12.6 - 6.9	4.8	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	7 土植器	坪	(11.6) - 5.9	4.0	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	8 土植器	坪	—	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	9 土植器	坪	12.6 - 5.2	4.0	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	10 土植器	坪	(11.8) - 5.0	4.2	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	11 土植器	坪	(10.8) - (5.4)	4.2	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	12 土植器	坪	(13.3) - (6.0)	4.0	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	13 土植器	内池平	12.4 - (5.2) - 4.6	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	14 土植器	内池平	12.4 - (6.0) - 4.0	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	15 土植器	高台坪	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	247	16 土植器	高台坪	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	1 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	2 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	3 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	4 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	5 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
92住	250	6 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	1 土植器	要	18.0 - 6.6	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	2 土植器	要	(16.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	3 土植器	要	(28.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	4 土植器	坪	15.6 - 6.6	5.8	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	5 土植器	高台面	12.6 - 6.5	2.0	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	6 土植器	内池平	(16.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	7 土植器	坪	(12.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	8 土植器	坪	12.6 - 6.6	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	9 土植器	内池面	(13.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	10 土植器	内池面?	—	(9.0) - —	外語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	11 土植器	内池平	—	—	外語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	251	12 土植器	内池平	—	—	外語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	252	1 桐又	津津	—	—	外語と「も」にクロコナフ。	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	252	2 桐又	津津	20.0 - 12.8	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	252	3 桐又	津津	(38.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	252	4 桐又	津津	(28.0) - —	—	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒
94住	252	5 桐又	津津	(15.0) - 6.6	14.6	口語～英語	外語と「も」にクロコナフ。	褐色	黒	黒



語彙	語形	語義	語形・語義・接法	語形・語義	語形
直上部 錠引	津井	津井	口語・意味・語義 (a) （）=度之嶺	前井・毛郷 前井	前井も津井接頭を有す。
100E 25. 3 桐文	津井	津井	— · · · —	別部	津井も津井接頭を有す。
100E 25. 4 桐文	津井	津井	— · · · —	別部	角井と津井接頭を有す。
102E 25. 1 桐文	津井	津井	(42.6) · · · ·	口語 · 前井部	角井で前井部には毛井もチーフをもつ。脇尾には鶴見川のモイークを有す。
102E 25. 2 桐文	津井	津井	(17.5) · (9.0) · 23.0	口語 · 前井部	口語には津井接頭を有す。以小野井と方言相、鶴見川などのモイークを有す。
102E 25. 3 桐文	津井	津井	12.6) · · · ·	口語 · 前井部	口語には小野井が有され、鶴見川には津井接頭と前井の津井を有する。別井は鶴見がみらは、若狭北無。
102E 25. 4 桐文	津井	津井	(52.6) · · · ·	口語 · 前井部	口語には小野井が有され、鶴見川には津井接頭と前井の津井を有する。別井は鶴見が北無。
102E 25. 5 桐文	津井	津井	(20.6) · · · ·	口語 · 前井部	口語と津井接頭と前井の津井が有され、大島の津井えで北無される。口語内には小島の角井えが北無とえ。
102E 25. 6 桐文	津井	津井	(26.0) · · · ·	口語 · 前井部	口語と津井接頭と前井の津井が有され、大島の津井えで北無される。口語内には小島の角井えが北無とえ。
102E 25. 7 桐文	津井	津井	— · 4.0 · —	鳥居 · 前井部	鳥居上に津井と書かれており、其津井となる。
102E 25. 8 桐文	津井	津井	— · 14.0 · —	別井 · 前井部	別井上に津井と書かれており、其津井となる。
102E 25. 9 桐文	津井	津井	(9.7) · 5.0 · (9.4)	口語 · 前井部	無文。
102E 25. 10 桐文	津井	津井	— · · · · —	角井木 · 前井部	角井木で前井と共に津井などとのチーフを有す。
102E 25. 11 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	口語と津井接頭と前井の津井を有す。
102E 25. 12 桐文	耳井	耳井	計 2.2 m 厚さ 1.3 m	—	中央には耳井と書かれていたれる。
4. 1. 259. 1 桐文	津井	津井	(36.0) · 14.1 · (24.8)	口語 · 前井部	口語内に4字の風呂の意味となり、通説では小野井が有され、通説と津井のモイークを有す。
4. 1. 259. 2 桐文	津井	津井	— · 8.5 · —	合部	合部は津井の通じが有れる。
4. 1. 259. 3 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	通説と津井を有す。
5. 1. 259. 4 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有す。
5. 1. 259. 5 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有しと記載が有す。
5. 1. 259. 6 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	ハガキを有す。
5. 1. 259. 7 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	ハガキを有す。
5. 1. 259. 8 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有す。
5. 1. 259. 9 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有す。
5. 1. 259. 10 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有す。
6. 1. 259. 11 桐文	津井	津井	16.0 m 24.4	口語 · 前井部	口語内4字の風呂の意味を有し、通説から2つの地蔵が前井と日下前井を有する。
6. 1. 259. 12 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有しと記載が有す。
7. 1. 259. 13 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	通説と津井接頭を有す。
7. 1. 259. 14 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 15 桐文	津井	津井	— · · · · —	口語部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 16 桐文	津井	津井	— · 9.8 · —	別部	ハガキを有しと記載が有す。
8. 1. 259. 17 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 18 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 19 桐文	津井	津井	— · 12.0 · —	先尾	先尾内に津井接頭と有す。
8. 1. 259. 20 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 21 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	ハガキを有しと記載が有す。
8. 1. 259. 22 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。
8. 1. 259. 23 桐文	津井	津井	— · · · · —	別部	通説と津井接頭を有す。



頁 面 數	題 名	解 釋	口 語	英 文	假 名	翻 訳	色 調	前 土	音 符
30±	265 61 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	明褐色	東
31±	265 62 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
31±	265 63 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
31±	265 64 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
31±	265 65 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 66 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	20.0 6.8 22.2	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 67 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 68 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 69 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 70 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 71 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
32±	265 72 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
33±	265 73 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
33±	265 74 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
36±	265 75 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
36±	265 76 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
36±	265 77 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す語り、以下同様用法を示す。	褐色	東
36±	265 78 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
36±	265 79 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	(26.3)-(14.7)-(35.4)	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
36±	265 80 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
40±	265 81 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
40±	265 82 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
40±	265 83 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
40±	265 84 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
40±	265 85 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形は詩を詠じて贈り物を表す。	褐色	東
42±	265 86 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
43±	265 87 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
43±	265 88 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
43±	265 89 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
44±	265 90 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
45±	265 91 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
45±	265 92 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
46±	265 93 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
44±	265 94 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
47±	265 95 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形に詠物詩を指す。	褐色	東
48±	265 96 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	口語原形と「歌」を指す。	褐色	東
51±	265 97 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	詩行歌と「歌」を指す。	褐色	東
52±	265 98 聞文 漢詩	詠物詩	詠物詩	—	—	口語原形	北緯と「歌」を指す。	褐色	東

地名	位置	標高	岩相	岩性	組成・特徴	剖面・特徴	取扱法	色彩・風化・技術	土壤
山丘地點	山丘地點	標高	岩相	岩性	組成・特徴	剖面・特徴	取扱法	色彩・風化・技術	土壤
52±	284	99	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
53±	285	100	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
54±	285	101	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
54±	285	102	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
55±	285	103	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
55±	285	104	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
55±	285	105	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
57±	285	106	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
58±	285	107	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
60±	286	108	漂砾	—	—	—	—	褐色 赤褐色(合)	黃
60±	286	109	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
60±	286	110	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
62±	286	111	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
62±	286	112	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
63±	286	113	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
63±	286	114	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
64±	286	115	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
69±	286	116	漂砾	(24)	—	—	—	褐色 褐褐色(合)	黃
69±	286	117	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
70±	286	118	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
70±	286	119	漂砾	—	—	—	—	褐色 褐褐色(合)	黃
70±	286	120	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
71±	286	121	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
72±	286	122	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
81±	286	123	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
81±	286	124	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
85±	286	125	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
91±	286	126	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
92±	286	127	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
93±	286	128	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
90±	287	129	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
97±	287	134	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
97±	287	135	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃
100±	287	136	漂砾	—	—	—	—	褐色	黃









地點	標高	形號	樹種	口徑・胸径・高さ(cm)	部位・特徴	影 影	施 文	技 法	色 色	土 地
山頂地點				(1) = 1等・1級					褐色	黃
307±	274	287	楓木	— * — * —	樹部 北側と無斑側又を施文。	樹部	北側と無斑側又を施文。	褐色	褐色	黃
307±	274	288	楓木	— * — * —	樹部 北側を伴う側と南側又を施文。	樹部	北側を伴う側と南側又を施文。	褐色	褐色	黃
307±	274	289	楓木	— * — * —	樹部 斜する部分を施文。	樹部	斜する部分を施文。	褐色	褐色	黃
307±	274	290	楓木	— * — * —	樹部 北側を施文。	樹部	北側を施文。	褐色	褐色	黃
307±	274	291	楓木	— * — * —	樹部 北側と南側を施文。	樹部	北側と南側を施文。	褐色	褐色	黃
308±	274	292	楓木	— * — * —	樹部 北側斜りに斜面を施文。	樹部	北側斜りに斜面を施文。	褐色	褐色	黃
308±	274	293	楓木	— * — * —	樹部 斜面のモードとなる樹区間に半圓周又を施文。	樹部	斜面のモードとなる樹区間に半圓周又を施文。	褐色	褐色	黃
311±	275	294	楓木	— * — * —	樹部 北側斜りに斜面を施文。	樹部	北側斜りに斜面を施文。	褐色	褐色	黃
311±	275	295	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部	北側	褐色	褐色	黃
311±	275	296	楓木	— * — * —	樹部 北側の塊で、北側に位置する側又を施文。	樹部	北側の塊で、北側に位置する側又を施文。	褐色	褐色	黃
311±	275	297	楓木	— * — * —	樹部 北側、船形被毛を施文。	樹部	北側、船形被毛を施文。	褐色	褐色	黃
311±	275	298	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部	北側	褐色	褐色	黃
306±	275	299	楓木	— * — * —	樹部 北側の塊をちぎり、半圓周又を施文。	樹部	北側の塊をちぎり、半圓周又を施文。	褐色	褐色	黃
307±	275	300	楓木	— * (108) * —	葉裏 葉文	葉裏 葉文	葉裏 葉文	褐色	褐色	黃
307±	275	301	楓木	— * — * —	樹部 北側を施文。	樹部	北側を施文。	褐色	褐色	黃
307±	275	302	楓木	— * — * —	樹部 員の上側と下側を中央づつ。	樹部	員の上側と下側を中央づつ。	褐色	褐色	黃
309±	275	303	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
309±	275	304	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
309±	275	305	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
341±	275	306	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
346±	275	307	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
353±	275	308	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
353±	275	309	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
359±	275	310	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
357±	275	311	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
367±	275	312	楓木	— * — * —	樹部 南側	樹部 南側	樹部 南側	褐色	褐色	黃
358±	276	313	楓木	— * — * —	樹部 北側を施文。	樹部	北側を施文。	褐色	褐色	黃
369±	276	314	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
369±	276	315	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
359±	276	316	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
359±	276	317	楓木	(31) — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
360±	276	318	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
360±	276	319	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
362±	276	320	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
370±	276	321	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
370±	276	322	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
370±	276	323	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃
370±	276	324	楓木	— * — * —	樹部 北側	樹部 北側	樹部 北側	褐色	褐色	黃

地名	地点	面積	番号	樹種	口述(樹種・樹高)(m) 〔(a) =直径(胸高)	部位・割合	説明	文法	語文	技法	色調	樹土
山頂			205	楓木	楓林	— × — × —	口述部	説明(区画内に樹種を指す)。		黒褐色	黄	
370t	276	325	楓木	楓林	— × — × —	断面部	キナシダノミズクを伴う散葉落葉林。		褐色	黄		
370t	276	326	楓木	楓林	— × — × —	断面部	角突枝を伴う落葉林。		褐色	黄		
370t	276	327	楓木	楓林	— × — × —	断面部	キナシダノミズクと落葉林。		褐色	黄		
370t	276	328	楓木	楓林	— × — × —	断面部	キナシダノミズクと落葉林。		褐色	黄		
370t	276	329	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林に伴う散葉落葉林。		褐色	黄		
371t	277	320	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林から散葉落葉林が混生する。		褐色	黄		
371t	277	331	楓木	楓林	— × — × —	断面部	北側が楓林である。		褐色	黄		
371t	277	332	楓木	楓林	— × — × —	断面部	口述には北側が楓林が判別され、三脚架を構えている。		褐色	黄		
371t	277	333	楓木	楓林	— × — × —	断面部	口述(木立の間でセイヨウカツラの木がある)。		褐色	黄		
373t	277	334	楓木	楓林	— × — × —	断面部	地に落葉林を残す。大切に木立を手分けす。		褐色	黄		
373t	277	335	楓木	楓林	— × — × —	断面部	地に落葉林を残す。4条の優等な枝す。		褐色	黄		
375t	277	336	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
375t	277	337	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
378t	277	338	楓木	楓林	— × — × —	断面部	口述は無くなる。落葉林をした散葉落葉林。以下の落葉林を残す。		褐色	黄		
379t	277	339	楓木	楓林	— × — × —	断面部	口述は無くなる。弓削(落葉林)を残す。以下落葉林を残す。		褐色	黄		
380t	277	340	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林と落葉林を残す。		褐色	黄		
385t	277	341	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
391t	277	342	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
396t	277	343	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
401t	277	344	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林が残す。		褐色	黄		
403t	277	345	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
403t	277	346	楓木	楓林	— × — × —	口述-断面部	落葉林で他の落葉林を残す。		褐色	黄		
403t	277	347	楓木	(口述) <sup>?</sup>	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
412t	278	348	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林で落葉林を残す。		褐色	黄		
403t	278	349	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林にによる落葉林を残す。		褐色	黄		
403t	278	350	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林を残す。		褐色	黄		
405t	278	351	楓木	楓林	— × — × —	断面部	ハナモモを残す。		褐色	黄		
408t	278	352	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林は無くなる。樹形にはチャマビツカ文、三角洋文を残す。		褐色	黄		
412t	278	353	楓木	楓林	— × — × —	断面部	三脚架文を残す。		褐色	黄		
418t	278	354	楓木	楓林	— × — × —	断面部	落葉林は無くなる。樹形にはチャマビツカ文、三角洋文を残す。		褐色	黄		
418t	278	355	楓木	楓林	— × — × —	口述部-断面部	落葉林に伴う落葉林を残す。		褐色	黄		
418t	278	356	楓木	楓林	— × — × —	断面部	角突枝で枝張りを有す。		褐色	黄		
418t	278	357	楓木	楓林	— × — × —	断面部	角突枝で枝張りを有す。		褐色	黄		
418t	278	358	楓木	楓林	— × — × —	断面部	キナシダノミズクを残す。		褐色	黄		
418t	278	359	楓木	楓林	— × — × —	断面部	キナシダノミズクを残す。		褐色	黄		
418t	278	360	楓木	楓林	— × — × —	断面部	三脚架文を残す。		褐色	黄		
418t	278	361	楓木	楓林	— × — × —	断面部	角突枝で枝張りを有す。		褐色	黄		

采集地名	标本号	种名	特征	口器·基性·形态	(a)	形态	量·文·技法	形态	量·文·技法	形态	量·文·技法
吕宋岛	270	同文	深绿	( ) =度之触	— 0.5 —	刚毛状触	角瓣毛作1弯曲状。	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
418±	263	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
422±	278	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
422±	275	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
423±	271	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
423±	265	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
420±	275	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
431±	267	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛
447±	270	同文	深绿	—	—	刚毛状触	—	刚毛	刚毛	刚毛	刚毛

第3-2表 遺物観察表 土偶・土製円盤

出土 場所	国別 番号	番号	種 別	部 位	長さ・幅・厚さ・(cm)・重さ(g)	整 形 · 施 文 技 法	色 調	胎 土	備 考
2住	279	1	土偶	臀部	4.5・4.0・2.5・—	三角押文を施文。	明褐色	重	
4住	279	2	土偶	臀部	5.5・4.0・4.8・—	角押文・三角押文を施文。	明褐色	重	
4住	279	3	土偶	面部	3.7・4.0・2.2・—	顎面は扁平化し、鼻だけ盛り上がる。両耳の下端には穿孔がみられる。	黄褐色	重	
4住	279	4	土偶	腹・臀部～足部	12.3・8.5・6.8・—	腹部には陰帶の正中縫が重下し、出張が表現される。対称弧刻文がみられ、顎面には沈縫で三叉文などが施文される。脛部は大きく張り出し、脚部からよく沈縫で文様で模様く。脚部には沈縫が添り、足先端には割込みがある。	明褐色	重	
5住	280	5	土偶	腹・臀部～足部	6.5・4.0・5.5・—	腹部には対称弧刻文がみられ、顎面には連続刻文が施文される。脛部は張り出し、脚部からよく連続刻文や沈縫で文様を施す。	黄褐色	重(素母合)	
5住	280	6	土偶	腹部	2.2・3.2・1.6・—	腹部には正中縫が施される。	褐色	重	
6住	280	7	土偶	胸部	3.6・4.5・2.2・—	角押文を施文。	黃褐色	重	
6住	280	8	土偶	胸部	3.4・2.6・2.5・—	無文。	暗褐色	重	
7住	280	9	土偶	胸部	1.8・3.2・1.8・—	肩刃縫に彫模に施文される。エ棒接合痕。	暗褐色	重	
7住	280	10	土偶	腹・臀部	4.5・4.4・2.5・—	細沈縫を窺、横肋に施文。座像型となる。	黃褐色	重	
7住	280	11	土偶	腹部	8.2・6.8・2.8・—	腹部には正三角縫で表現された正中縫が重下し。胸穴で腰を表現する。対称弧刻文が施され。出張が表現される。脇部には三角押文が施される。	暗褐色	重	
7住	280	12	土偶	首部～胸部	3.2・6.0・2.1・—	無文。エ棒接合痕。	黃褐色	重	
7住	280	13	土偶	胸部～足部	3.0・4.7・3.2・—	無文。	明褐色	重	
7住	281	14	土偶	足部	2.5・4.5・3.0・—	三角押文を施文。	暗褐色	重	
7住	281	15	土偶	足部	2.2・4.5・2.8・—	無文。	暗褐色	重	
7住	281	16	土偶	頭部～腕部	11.0・9.7・5.8・—	顎面は空き空となり、眉間に有削の様帶で弧状に表現し、鼻の部分で連結する。顎面には髪がアーチ状に表現され、頭部は尖る。後頭部には陰縫状突起が付され、有陰帶等による溝巻文が施される。脇部の表裏には三叉文が施文される。	暗褐色	重	
8住	281	17	土偶	腹・臀部	5.0・4.0・2.2・—	腹部には正中縫、対称弧刻文が施され、脇部は4割り出し。角押文を伴う陰縫状施文される。	黃褐色	重	
8住	282	18	土偶	腹・背部～脚部	12.7・6.4・6.5・—	腹部には対称弧刻文が施され、脇部は張り出し、脚部からよく沈縫で文様を施す。脚部には沈縫で三叉文や渦巻文などが施文される。	暗褐色	重(素母合)	
10住	282	19	土偶	脚部	5.4・3.5・4.3・—	脚部下端には陰帶が駆使される。	黑褐色	重	
11住	282	20	土偶	足部	1.8・4.3・3.5・—	無文。	暗褐色	重	
13住	282	21	土偶	足部	4.1・4.8・3.3・—	無文。エ棒接合痕。	明褐色	重(素母合)	
16住	282	22	土偶	足部	4.3・6.8・4.7・—	足部先端には割込みを施す。エ棒接合痕。	黃褐色	重	
16住	283	23	土偶	頭部	1.7・4.6・1.3・—	無文。	暗褐色	重	
16住	283	24	土偶	頭部	3.5・3.3・3.5・—	顎面は扁平化し、鼻と後頭部が張り上がる。両耳の下端には穿孔がみられる。首筋には沈縫が施す。	暗褐色	重(素母合)	
18住	283	25	土偶	腕部	4.3・2.3・2.0・—	無文。	明褐色	重(素母合)	
18住	283	26	土偶	頭部	3.3・3.3・3.2・—	顎面は扁平となり、頭部は弧状を呈す。	暗褐色	重(素母合)	
18住	283	27	土偶	足部	1.3・2.6・2.3・—	無文。	暗褐色	重	
18住	283	28	土偶	足部	3.5・7.5・4.6・—	足部先端には割込みを施す。エ棒接合痕。	暗褐色	重(素母合)	
18住	283	29	土偶	足部	3.5・4.8・4.0・—	足部先端には割込みを施す。エ棒接合痕。	暗褐色	重	
18住	283	30	土偶	足部	4.1・5.4・2.0・—	連続刻文が並ぶ。	褐色	重	
19住	284	31	土偶	頭部	3.5・4.3・3.3・—	眉筋には陰縫が施される。後頭部には有削の陰縫が並ぶ。4分割が学められる。	黑褐色	重	顎部に傾かに赤色塗彩。
19住	284	32	土偶	頭部～胸部	4.9・10.0・2.6・—	頭部には沈縫による正中縫と、三角押文が通る乳房が施される。	暗褐色	重	
19住	284	33	土偶	胸部	4.2・3.5・2.5・—	脇部には三角押文が施される。	明褐色	重(素母合)	
19住	284	34	土偶	胸部	3.5・4.8・2.5・—	無文。	暗褐色	重	
19住	284	35	土偶	腹・背部	7.0・5.2・3.5・—	頭部には沈縫で正中縫が施され、脇部が扇手状となり、腰を表現する。脇部は沈縫で三叉文などが施され。脛部は張り出し無文となる。エ棒接合痕。	黑褐色	重	
19住	284	36	土偶	腹・臀部	5.8・5.5・4.4・—	頭部は表裏が剥落している。頭部には沈縫で三叉文などが施される。脇部は張り出し、無文となる。	黃褐色	重	
19住	284	37	土偶	臀部	2.3・5.8・2.3・—	細沈縫で弧状のモチーフなどを施す。	黑褐色	重	
19住	285	38	土偶	頭部	1.5・3.8・1.3・—	先端に孔が学められ、沈縫が施文される。	赤褐色	重	
19住	285	39	土偶	背部	4.0・4.1・4.4・—	頭部は表裏が剥落している。頭部には沈縫で三叉文などが施される。脇部は張り出し、無文となる。	黃褐色	重	
22住	285	40	土偶	背部	6.4・6.5・5.8・—	脇部は張り出し、無文となる。頭部には先押文や三角押文で扇手状のモチーフなどを施文される。	暗褐色	重	
27住	285	41	土偶	腹部	4.8・3.8・1.9・—	頭部は2条のヒ麻が垂下し、頭部は沈縫で顎面のモチーフを施文する。	黑褐色	重	
34住	285	42	土偶	頭部	2.4・3.9・1.8・—	無文。	暗褐色	重	
34住	285	43	土偶	足部	2.1・4.2・2.8・—	無文。	赤褐色	重	
34住	285	44	土偶	頭部	5.9・7.2・5.2・—	顎面は全体的に扁平となる。眉筋は低い陰縫で弧状に表現し、鼻の部分で凸筋をなす。顎の内側には髪がアーチ状に表現される。後頭部には陰縫が垂下し、その下端には張り出する。エ棒接合痕。	明褐色	重	

出土 場所	国別 区分	番号	種 別	部 位	長さ・幅・厚さ・(cm)・重さ(g)	整 形 ・ 指 文 技 法	色 調	地 土	備 考
37住	286	45	土偶	頭部	7.1・6.0・2.5・—	前面は鼻を陥り扁平となる。頭部は鉢巻状となり、後頭部には鉢巻状に細縫があり、下唇が張り出る。	黒褐色	土 (素母合)	
37住	286	46	土偶	胸尾～胸部	1.6・5.5・1.5・—	胸部には輪郭広い施縫が垂下する。	赤褐色	土	
39住	286	47	土偶	腹、背部	5.6・4.2・5.0・—	頭、臀部は無文となるが、いずれも張り出しを持つ。前面には北緯で溝文三叉文などが施文される。	褐色	土 (素母合)	
39住	286	48	土偶	腕部～胸部	6.3・6.1・2.5・—	胸部には乳房が筋肉隆起により表現され、三角押文が認る。下垂には粘土貼付の手の一部がみられ、所謂ボーズ土偶となる。背面には無文となる。	黒褐色	土	
39住	287	49	土偶	腕部～胸部	3.8・5.3・2.0・—	胸部中央部は僅に隆起し、正中縫を表現する。	褐色	土	
39住	287	50	土偶	足部	2.8・5.6・3.4・—	三角押文を施す。前面は葉状に施文される。	明褐色	土	
40住	287	51	土偶	足部	2.8・4.8・2.8・—	北緯が垂下する。エゼベ合組。	赤褐色	土	
46住	287	52	土偶	足部	3.5・5.2・2.9・—	無文。	褐色	土	
48住	287	53	土偶	胸部	3.8・3.2・2.4・—	胸部には筋肉隆起による乳房が表現される。背面は細沈縫が施文される。	赤褐色	土	
48住	287	54	土偶	腹部	3.8・5.1・2.8・—	前面では臀部として表現したが、張り出しを持ち、正中縫が施された施縫の可能性がある。前面には細沈縫で文様を施文する。	褐色	土	
49住	287	55	土偶	頭部	5.8・5.8・3.3・—	頭部は空洞となる。眉毛は乳突帶で表現され、約1/4には北緯と三叉押文が認る。耳の部分には擬似に孔が穿たれる。後頭部には三叉押文をうなぎ型が記される。	褐色	土	
49住	288	56	土偶	頭部	6.6・4.5・4.0・—	頭部は中央となる。眉毛は乳突帶で表現され、一部三叉押文が施される。後頭部には施縫の突起が形成される。細沈縫などが施文される。	褐色	土 (素母合)	
49住	288	57	土偶	腕部～胸部	2.2・9.5・2.5・—	胸部には筋肉隆起による乳房が表現され、胸、背面に三角押文が施文される。腕部先端には孔が穿たれる。背面にも三角押文が施文される。	褐色	土 (素母合)	
49住	288	58	土偶	胸部	4.5・4.2・3.5・—	頭部には横縫で中縫が垂下し、その下縫には筋が表現されている。背面にも一部北緯が垂下する。エゼベ合組。	褐色	土 (素母合)	
49住	288	59	土偶	腕部～胸部	4.8・5.1・2.0・—	腕部先端には筋肉を施し、胸部は乳房が剥落し、その割りを三角押文が施文される。背面は無文となる。	赤褐色	土 (素母合)	
49住	288	60	土偶	足部	2.8・3.8・3.0・—	細沈縫で施文される。	明褐色	土	
52住	289	61	土偶	足部	2.8・5.0・3.3・—	三角押文を施す。一部垂巻状となる。	明褐色	土	
54住	289	62	土偶	脚部?	4.9・3.8・3.2・—	脚部と思われるが、判然としない。上端に細沈縫による割みが施される。	褐色	土 (素母合)	
54住	289	63	土偶	脚部	1.9・2.7・1.3・—	無文。	明褐色	土	
61住	289	64	土偶	頭部～胸部	5.6・2.8・2.4・—	小形の土偶で、北緯で前面を表現するが、半分は欠損し、後頭部は大きめ張り出る。頭部の上面から後頭部にかけて2個の孔が穿たれる。側面表面は正中縫が北緯で施され、背面から側面にかけては北緯で施縫を施文する。	明褐色	土 (素母合)	
75住	289	65	土偶	足部	2.6・4.0・2.6・—	無文。	明褐色	やや粗	
78住	289	66	土偶	腕部	3.0・5.0・1.8・—	腕部先端に孔を穿つ。	明褐色	土	
80住	289	67	土偶	頭部	4.2・4.4・2.7・—	頭と口は乳突帶で、後頭部には隆起で環状の筋付文が施され、頭部には孔を穿つ。	明褐色	土	
83住	290	68	土偶	頭部～四肢	5.8・2.0・1.8・—	細沈縫でテラスなどを施文。	明褐色	土	
85住	290	69	土偶	胸部	6.2・4.5・3.0・—	頭部は有刺陰陽で描かれた正中縫が垂下し、背面にも中央を沈縫が垂下する。腕部の付け根と思われる部位には三叉押文が施文される。	明褐色	土	
89住	290	70	土偶	頭部～胸部	14.6・8.0・4.6・—	眉毛は長い陰導帶で表現され、鼻の部分が張り出す。後頭部には筋肉の突出部付き込み、胸部には筋肉が張り出され、頭部先端には孔を2つ持つ。頭部下端にかけて2個の孔が穿下し、下縫には筋肉が張り出され、脚部底面が施文される。脚部は無文となり、若干着色あり。側面には沈縫で三叉文や交叉押文などが施文される。	明褐色	土 (素母合)	頭部下端に白色粘土を充填した痕跡がみられる。
90住	291	71	土偶	胸部	5.6・4.0・2.4・—	脚部には沈縫の正中縫が垂下し、乳房の筋付文されるが一方を欠損する。乳房の下にはアラビ文が施文される。背部から側面にかけても沈縫で文様を施文する。	褐色	土	
94住	291	72	土偶	足部	3.1・3.4・2.5・—	細沈縫が施文される。	明褐色	土	
94住	291	73	土偶	胸部	3.7・3.9・1.8・—	脚部には沈縫の正中縫が垂下し、筋肉が筋付文される。背部から側面にかけても沈縫で文様を施文する。	明褐色	土	
95住	291	74	土偶	頭部	9.7・9.0・7.0・—	前面は中空となり鼻の部分が歯と張り出す。顎の両側には髪がアーチ状に表現され、額面は主に三叉文が施文され、尖る。頭頂部には筋膜状の筋付文が付され、隆背による渦巻文などが施される。	赤褐色	土	
95住	292	75	土偶	足部	4.1・5.5・3.8・—	無文。	明褐色	土	
95住	292	76	土偶	腕部	2.0・3.0・1.8・—	無文。	明褐色	土	
95住	292	77	土偶	脚部	5.0・4.0・3.2・—	角押文を施す。	明褐色	土	
102住	292	78	土偶	足部	3.0・5.0・3.8・—	無文。エゼベ合組。	明褐色	土	
102住	292	79	土偶	足部	2.3・3.8・4.0・—	無文。エゼベ合組。	明褐色	土	
308上	292	80	土偶	胸部	4.6・5.0・3.0・—	脚部には沈縫の正中縫が垂下し、乳戸が筋付されるが一方を欠損する。乳房の下にはアラビ文が施文される。背部から側面にかけても沈縫で文様を施文する。	褐色	土 (素母合)	
122上	292	81	土偶	胸部	3.3・3.3・2.8・—	乳房が筋付され、細沈縫が垂下する。正中縫。	明褐色	土	
29上	292	82	土偶	腹、背部	6.0・3.5・3.0・—	頭部には細沈縫で渦巻文を施した筋付文が表現される。規定文が施され、無文に至る。背部は大きく張り出し、細沈縫により文様が施文される。	褐色	土	

出土 場所	国別 区分	番号	種 別	部 位	長さ・幅・厚さ・(cm)・重さ(g)	整 形 一 指 文 技 法	色 調	地 土	備 考
佐倉城	293	83	土偶	頭部	6.5・7.3・5.5・—	顔面は扁平となり、點付された鼻が突出する。後頭部には隆起で頭状のモチーフなどが施される。	褐色	黒	
佐倉城	293	84	土偶	頭部	2.8・2.7・1.9・—	顔面は扁平となり脣、目、口などは沈板で表現する。要是アーチ状に表現され、一部擦みを施す。後頭部には頭状に孔が孕たれる。	褐色	黒	
佐倉城	293	85	土偶	胸部	6.0・8.3・2.6・—	胸部には沈板の正中綱が垂下し、乳房が貼付される。腹部には胸みの深い凹痕が施され、先端は鉈尖状となる。	褐色	黒(素面)	
佐倉城	293	86	土偶	頭部	4.5・4.9・3.0・—	沈板が指文される。	褐色	黒	
佐倉城	294	87	土偶?	頭部	3.6・4.5・2.3・—	眉を隆起で表現し、鼻の部分が膨らむ。土器に付された人面表情の可能性を有す。	黒褐色	黒	
佐倉城	294	88	土偶	頭部	4.0・3.5・2.7・—	胸部上面に乳房が描き出る。	褐色	黒	
佐倉城	294	89	土偶	足部	3.0・5.8・1.8・—	足部先端には沈板を施す。	褐色	黒	
佐倉城	294	90	土偶	足部	3.1・3.2・2.2・—	無文。	赤褐色	黒(素面)	
幾島	294	91	土偶	頭部	6.2・6.1・4.5・—	中実となり、眉は隆起で表現する。目の方には杏仁沈板が斜行し、下方には毛孔を穿つ。後頭部には隆起の胸落ち筋が確認でき、何らかの胸筋が強調されていたと思われる。	褐色	黒	
幾島	294	92	土偶	胸部~腹部	8.0・4.0・2.5・—	胸部から腹部にかけて逆剥刺突変による正中綱が垂下し、下端には横一部が剥離する。乳房は貼付されるが、一方を欠損する。脇部は剥離し出し、下端には沈板で頭状のモチーフを施す。側部も同様の模様で逆剥刺突変などが施される。杏核接合痕。	褐色	黒	
9往	295	1	土製円盤	土器胴部	3.5・3.5・1.8・18	顔面全周を研磨。押捺痕を施す。	褐色	黒	
9往	295	2	土製円盤	土器胴部	2.3・2.3・1.0・8	顔面全周を研磨。手捺印文を施す。	暗褐色	黒	
9往	295	3	土製円盤	土器胴部	4.0・4.2・0.8・18	顔面全周を研磨。キヨタビラムを施す。	褐色	黒	
9往	295	4	土製円盤	土器胴部	2.7・2.5・1.0・14	顔面全周を研磨。三角彎文を施す。	黒褐色	黒	
9往	295	5	土製円盤	土器胴部	2.5・2.7・1.2・13	顔面全周を研磨。半周彎文を施す。	褐色	黒	
9往	295	6	土製円盤	土器胴部	2.0・2.5・1.0・9	顔面全周を研磨。三角彎文を施す。	褐色	黒	
10往	295	7	土製円盤	土器胴部	2.5・2.8・1.2・13	顔面に研磨部と打ち込み部がある。沈板を施す。	赤褐色	黒	赤色重彩
10往	295	8	土製円盤	土器胴部	4.0・3.8・0.8・21	顔面に研磨部と打ち込み部がある。單沿繩文を施す。	赤褐色	黒	
10往	295	9	土製円盤	土器胴部	3.5・3.5・1.8・13	顔面に研磨部と打ち込み部がある。隆起とせりぞく文を施す。	黒褐色	黒	
10往	295	10	土製円盤	土器胴部	3.5・3.5・1.0・17	顔面に研磨部と打ち込み部がある。單沿繩文を施す。	黒褐色	黒	
12往	295	11	土製円盤	土器胴部	4.8・5.2・0.8・29	顔面に打ち込み調整が施る。單沿繩文を施す。	黒褐色	黒	(素面)
17往	295	12	土製円盤	土器胴部	4.2・4.2・1.0・25	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	褐色	黒	
18往	295	13	土製円盤	土器胴部	3.3・2.5・1.0・12	顔面全周を研磨。無文の上部片を利局。	褐色	黒(素面)	
19往	295	14	土製円盤	土器胴部	2.6・2.5・0.9・10	顔面全周を研磨。半周彎文を施す。	褐色	黒	
19往	295	15	土製円盤	土器胴部	2.6・2.5・0.8・7	顔面に研磨部と打ち込み部がある。無文の土器片を利用。	黒褐色	黒	
19往	295	16	土製円盤	土器胴部	2.0・1.7・1.2・7	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	黑褐色	黒	
20往	295	17	土製円盤	土器胴部	4.0・4.0・1.2・24	顔面全周を研磨。隆起、せりぞく文、波紋文を施す。	黒褐色	黒	
22往	295	18	土製円盤	土器胴部	2.2・2.6・1.8・9	顔面に研磨部と打ち込み部がある。逆剥刺突変を施す。	褐色	黒	
22往	295	19	土製円盤	土器胴部	3.0・2.8・1.0・13	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	褐色	黒	
26往	295	20	土製円盤	土器胴部	3.0・3.0・1.0・15	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	褐色	黒(素面)	
28往	295	21	土製円盤	土器胴部	3.0・2.8・1.2・15	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	褐色	黒	
29往	295	22	土製円盤	土器胴部	3.3・3.2・1.6・14	顔面全周を研磨。沈板文を施す。	褐色	黒	
31往	295	23	土製円盤	土器胴部	3.1・3.2・0.7・9	顔面全周を研磨。萬文文を施す。	褐色	黒(素面)	
32往	295	24	土製円盤	土器胴部	4.0・4.2・1.0・29	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	黒褐色	黒	
36往	295	25	土製円盤	土器胴部	4.6・4.5・1.0・29	顔面全周を研磨。斜行比縫を施す。	小赤褐色	黒	
39往	295	26	土製円盤	土器胴部	2.9・2.5・1.0・10	顔面全周を研磨。三角彎文を施す。	黒褐色	黒	
44往	295	27	土製円盤	土器底部	3.1・2.6・1.3・18	顔面全周を研磨。	褐色	黒	
49往	295	28	土製円盤	土器底部	4.0・4.0・1.0・27	顔面に打ち込み調整が開裂する。	黒褐色	黒	
49往	295	29	土製円盤	土器底部	2.8・2.5・1.5・18	口唇部を除き、顔面は研磨される。逆剥刺突変を施す。	黒褐色	黒	
49往	295	30	土製円盤	土器底部	3.0・2.4・1.5・17	顔面全周を研磨。無文の土器片を利局。	黒褐色	黒	
52往	295	31	土製円盤	土器底部	2.0・2.3・0.8・6	顔面全周を研磨。比縫を施す。	褐色	黒	
61往	295	32	土製円盤	土器底部	3.0・3.2・2.2・12	顔面に研磨部と打ち込み部がある。二叉文などを施す。	赤褐色	黒	
47往	295	33	土製円盤	土器底部	3.1・2.8・1.0・13	顔面全周を研磨。無文の土器片を利用。	黒褐色	黒	
70往	295	34	土製円盤	土器底部	5.0・5.0・1.3・36	顔面に研磨部と打ち込み部がある。隆起、三角彎文などを施す。	褐色	黒(素面)	
70往	295	35	土製円盤	土器底部	2.8・3.5・1.5・23	顔面に研磨部と打ち込み部がある。逆剥刺突変を施す。	褐色	黒	
73往	295	36	土製円盤	土器底部	4.2・3.0・0.8・15	顔面に研磨部と打ち込み部がある。三角彎文などを施す。	黒褐色	黒	
74往	295	37	土製円盤	土器底部	4.0・5.0・1.1・29	顔面全周を研磨。	黒褐色	黒	
82往	295	38	土製円盤	土器底部	4.8・4.3・0.8・17	顔面に研磨部と打ち込み部がある。無文の土器片を利用。	褐色	黒	
95往	295	39	土製円盤	土器底部	3.5・3.3・1.0・15	顔面全周を研磨。輪積痕がみられる。	黒褐色	黒	
97往	295	40	土製円盤	土器底部	3.6・5.3・1.0・28	顔面全周を研磨。波状比縫を施す。	褐色	黒	
305上	295	41	土製円盤	土器底部	1.6・1.7・1.0・3	顔面全周を研磨。無文の土器片を利用。	褐色	黒	
307上	295	42	土製円盤	土器底部	2.6・3.0・1.0・8	顔面全周を研磨。無文の土器片を利用。	黒褐色	黒	
353上	295	43	土製円盤	土器底部	3.0・3.0・1.0・14	顔面全周を研磨。半周彎文を施す。	黒褐色	黒	
412上	295	44	土製円盤	土器底部	3.0・3.3・1.0・10	顔面全周を研磨。無文の土器片を利用。	褐色	黒	
45往	295	45	土製円盤	土器底部	3.1・3.2・1.0・15	顔面全周を研磨。	赤褐色	黒	
幾島	295	46	土製円盤	土器底部	4.3・4.5・1.0・25	顔面全周を研磨。無文の土器片を利用。	黒褐色	黒(素面)	

第3-1表 小型剥片石器類觀察表

遺跡 番号	遺構 番号	固 定 番 号	縮尺	器 種	形 態	残 存 率	石 材	所 見	長 さ (mm)	幅 (mm)	厚 さ (mm)	重 量 (g)	
1 住	有	297	67%	石磨	通用外	刃部欠損	黑曜石	刃部の両側面に微細な剥離	30.1	12.5	8.4	2.5	
2 住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黑曜石	横縫は削痕状	25.3	14.6	5.5	1.0	
3 住	有	297	67%	石磨	円盤無底	両側部欠損	黑曜石	基部は削痕面に古い凹状か	13.0	10.0	2.0	0.2	
4 1住				楔形石器	通用外	定形	黑曜石	上・下両面に両側打痕	17.5	18.5	5.0	1.3	
5 2住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	ホルンフェルス		21.5	14.7	4.1	0.8	
6 2住	有	297	67%	石磨	手盤無底	定形	黑曜石		13.8	12.0	4.0	0.5	
7 2住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黑曜石		13.3	12.5	2.3	0.2	
8 2住				楔形石器・剥片	通用外	定形	水晶	楔形石器にみられる打面あり	16.5	12.5	1.0	2.3	
9 2住				石核	円盤無底	左脚部欠損	黑曜石	横縫は削痕状	30.0	14.5	3.0	0.7	
10 2住				石核	通用外	定形	黒曜石	上・下両面を正面に地図	28.0	24.5	14.0	7.7	
11 2住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	16.0	11.0	8.5	1.6	
12 2住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	17.6	17.0	6.5	1.8	
13 3住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石	横縫は削痕状	16.0	11.6	3.1	0.3	
14 3住	有	297	67%	刮削器	拂拭	定形	黒曜石	横縫は使用感明瞭	34.0	18.7	6.9	4.1	
15 3住	有	297	67%	石磨	手盤無底	先端部欠損	黒曜石		17.9	14.5	3.1	0.5	
16 3住				石磨	通用外	刃部欠損	黒曜石	打面部に刃部をつくる	22.5	15.5	5.5	1.5	
17 3住				石磨	RF?	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	23.0	20.0	8.0	3.1
18 3住				刮削器	拂拭	定形	黒曜石	小形な剥片の両面に調整あり	29.0	16.0	6.0	2.3	
19 5住	有	297	67%	石磨	通用外	定形	黒曜石	厚壁な剥片の一端を刃部に用いる	33.0	25.6	9.2	5.2	
20 5住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	鉢貝殻		26.5	17.6	4.3	1.6	
21 5住	有	297	67%	石磨	円盤無底	先端部欠損	黒曜石		37.6	26.9	4.0	2.5	
22 5住	有	297	67%	石磨	横	定形	黒質貝殻	横長の大剥片を使用	36.3	60.2	7.0	9.9	
23 5住				石核	通用外	—	黒曜石	右横貫孔が一部にみられるが剥片作成には至っていない	80.0	58.0	42.5	149.3	
24 5住				刮削器	拂拭	定形	黒曜石	全周縁に纏綿な剥離	28.0	18.0	9.0	4.0	
25 5住				石磨	円盤無底	左脚部欠損	黒曜石		24.5	15.0	4.0	0.9	
26 5住				石磨	円盤無底	定形	チャート		17.5	14.0	3.0	0.3	
27 5住				不明	通用外	剥片	黒曜石	尖端部の形状が不明で器種認定が不可能	30.5	28.5	11.0	8.3	
28 5住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	裏面に上下から剥離が卯眼にのこる	24.5	19.0	9.5	3.5	
29 5住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石		14.3	10.4	6.0	1.0	
30 5住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石		17.0	11.0	4.5	0.8	
31 6住	有	297	67%	石磨	円盤無底	両側部欠損	黒曜石	横縫は削痕状	18.1	14.1	5.7	1.1	
32 6住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石		23.0	18.2	6.0	1.2	
33 6住	有	297	67%	石磨	通用外	定形	黒曜石	打点部を基部。剥片の末端に刃部	24.5	16.0	5.0	1.0	
34 6住	有	297	67%	石核	円盤無底	先端部欠損	黒曜石		23.3	16.0	5.0	1.3	
35 6住				UF・剥片	通用外	定形	黒曜石	両側縁に纏綿な使用痕	44.5	25.5	12.0	11.9	
36 6住				石核	通用外	—	黒曜石	打点の「90°」軸がみられる	45.5	30.5	21.0	21.1	
37 6住				石核	通用外	—	黒曜石	打点の「90°」軸がみられる	30.5	40.0	30.1	39.5	
38 6住				RF?	通用外	定形	黒曜石	両側縁に調整と使用痕あり	28.2	18.4	9.5	3.4	
39 6住				石核	通用外	刃部欠損	黒曜石	横長の剥片の一端に刃部作成	29.5	23.5	8.5	4.5	
40 6住				石核	通用外	—	黒曜石		22.0	18.5	1.0	2.3	
41 6住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	22.5	15.0	7.5	2.1	
42 6住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕、両側縁に使用痕	27.6	11.8	6.5	1.3	
43 7住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石	両側縁は直線的に削痕状	23.4	15.6	4.7	1.0	
44 7住	有	297	67%	石磨	円盤無底	右脚部欠損	黒曜石		16.0	13.2	2.7	0.3	
45 7住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石	両側縁の調整はフランディングに近い	20.9	13.0	6.8	1.8	
46 7住				原石?	通用外	—	黒曜石	一部にわずかな剥離あり	41.5	26.0	35.0	24.4	
47 7住				石核	通用外	—	黒曜石		36.5	48.5	14.5	31.5	
48 7住				石核	円盤無底	先端・右脚部欠損	黒曜石		19.0	18.0	4.5	1.0	
49 7住				剥片	通用外	—	水晶	折れあり	14.0	12.5	6.0	0.9	
50 7住				石磨	円盤無底	右脚部欠損	黒曜石		10.5	12.0	3.0	0.3	
51 7住				廢石?	通用外	—	黒曜石	剥離面観察できず	43.0	40.0	30.5	43.2	
52 8住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石		14.0	16.3	2.6	0.3	
53 8住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石		24.0	15.0	3.9	0.7	
54 8住	有	297	67%	石磨	円盤無底	定形	黒曜石		22.5	16.1	3.6	0.8	
55 8住	有	297	67%	石磨	通用外	定形	黒曜石	棒状の剥片にフランディング状の調整	26.8	7.3	6.2	0.9	
56 8住	有	297	67%	石核	通用外	—	黒曜石	一部に二次調整あり	52.5	22.5	24.5	22.0	
57 8住	有	297	67%	石核	通用外	—	黒曜石	裏面面多い	38.0	42.0	30.0	43.6	
58 8住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	右側縁に両側打痕	39.5	23.0	11.0	8.0	
59 8住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	20.0	20.0	7.5	3.2	
60 8住				器皿	全周刃	定形	黒曜石	ほぼ全面に微細な剥離(ラウンド・スクレイバー)	28.0	31.8	6.0	5.1	
61 8住				石核	通用外	—	黒曜石	多面体な剥離がみられる	43.0	30.5	26.0	32.8	
62 8住				石核未製品	通用外	定形	黒曜石	他の石との比較から未製品とした	21.0	15.0	5.5	1.6	
63 8住				石核	通用外	—	黒曜石	裏面面多い	63.5	56.5	33.5	136.7	
64 8住				石磨	通用外	基部・刃部欠損	黒曜石	棒状の剥片を利用	21.0	8.0	8.5	1.1	
65 8住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	16.5	12.0	5.0	1.0	
66 10住	有	297	67%	石磨	円盤無底	左脚部欠損	黒曜石		26.1	13.8	4.5	0.8	
67 10住				石核	円盤無底	先端部欠損	黒曜石		17.0	15.5	4.0	1.0	
68 11住	有	298	67%	石磨	通用外	定形	黒曜石	両面三角形の剥片の末端に刃部を作出	36.0	17.9	10.9	3.4	
69 11住	有	298	67%	石磨	円盤無底	先端部欠損	黒曜石	裏面に第一次剥離面が残る	15.4	16.1	5.0	1.0	
70 11住	有	298	67%	石核	通用外	—	黒曜石	上面の刃部部に両側打痕調査あり	41.0	33.0	20.0	29.6	
71 11住				UF	通用外	定形	黒曜石	左側縁に使用痕	33.0	30.5	9.0	10.1	

番号	機種	国際番号	規格	寸法	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
72	13 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	左脚部欠損	黒曜石		21.0	14.0	3.0	0.5
73	13 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	22.5	15.5	7.0	2.3
74	13 住				石鑿?	通用外	左脚部のみ	黒曜石	(部分的にあるため石鑿かどうか不明)	16.0	7.5	3.5	0.5
75	14 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	23.5	23.0	1.0	4.4
76	16 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	左端、右脚部欠損	黒曜石		20.9	14.2	4.1	1.0
77	16 住	有	298	67%	猿轡?	通用外	定形	黒曜石	頭部はつまみ状	26.0	19.5	8.0	3.4
78	16 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	20.0	12.0	6.0	1.4
79	16 住				石鑿	円盤無条	左脚部欠損	黒曜石	裏面に第一次磨削面あり	19.0	13.0	4.0	0.7
80	16 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	15.5	12.5	9.0	1.9
81	17 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石	縫隙は直角状	44.2	17.9	4.6	1.8
82	17 住	有	298	67%	石鑿末點品	通用外	定形	黒曜石	他の石器の形状から末製品とした	26.3	21.1	6.9	3.2
83	17 住				石核	通用外	—	黒曜石	左脚部の一部に微調整あり	54.0	40.0	22.0	33.5
84	17 住				石核	通用外	—	黒曜石		39.0	33.0	17.0	16.9
85	17 住				楔形石器	通用外	下端部欠損	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	20.5	16.0	6.5	2.0
86	17 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	18.0	14.5	4.0	1.0
87	17 住				削器	通用外	定形	黒曜石	右側面に抉入	16.0	20.5	7.0	2.2
88	17 住				石鑿	通用外	定形?	黒曜石	月の満ち欠けはプランティングに近い	21.0	11.5	6.0	1.1
89	17 住				猿轡?	通用外	約1/2欠損	黒曜石	下端に急角度な刃部作出	18.5	16.0	6.0	1.4
90	18 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	左端部欠損	黒曜石		21.9	16.7	6.0	1.3
91	18 住	有	298	67%	猿轡?	通用外	定形	黒曜石	下端に刃部作成	40.7	30.8	12.0	13.6
92	18 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石	右側縫合入り込む分钟左右軸ではない	18.6	14.2	4.0	0.6
93	18 住	有	298	67%	猿轡?	通用外	上端部欠損	黒曜石	ティアドロップ形に整形、下端に刃部	23.0	21.0	6.6	2.7
94	18 住	有	298	67%	削器	通用外	定形	黒曜石	左脚部の中心に調整を加える	39.0	15.0	9.1	3.7
95	18 住	有	298	67%	削器	通用外	定形	黒曜石	左・右・下端に刃部作出	20.0	20.6	9.1	3.0
96	18 住				石核	通用外	—	黒曜石		45.0	40.0	37.0	37.7
97	18 住				削器? 刃器?	通用外	定形	黒曜石	(削器? 石器?)	55.0	36.4	17.5	34.1
98	18 住				R.F.	通用外	定形	黒曜石	右側縫合箇所に集中的な調整を加える	28.5	14.5	8.0	3.3
99	18 住				楔形石器	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕、一部に使用痕	24.5	16.7	1.0	4.0
100	18 住				猿轡?	通用外	定形	黒曜石	上端に急角度調整、一部に使用痕	29.0	24.0	9.5	4.3
101	18 住				石鑿	円盤無条	右脚部欠損	黒曜石	調整が異なり、一部は調査面をそのまま使用	26.0	17.5	6.0	1.8
102	18 住				猿轡?	通用外	定形	黒曜石	全周縫合、裏面からの調整	29.0	30.0	8.0	3.3
103	18 住				石鑿末點品	通用外	定形	黒曜石	製作過程に破損?	19.5	15.5	4.0	1.0
104	18 住				石鑿	通用外	刀部欠損	黒曜石	前面に角形容形の石材を使用	22.0	9.5	6.5	1.2
105	18 住				R.F.	通用外	定形	黒曜石	正三角形状に整形	16.5	16.5	5.0	1.3
106	18 住				楔形石器?	通用外	上端部欠損	黒曜石	上・下両端に拘束打能りか?	18.0	11.0	5.0	0.9
107	18 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	19.0	8.0	5.5	1.0
108	19 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	17.5	13.9	2.9	0.4
109	19 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石		22.0	14.0	4.1	0.8
110	19 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石		16.1	14.9	3.0	0.3
111	19 住	有	298	67%	石鑿	通用外	定形	黒曜石	調査の末端に向かって刃部作出	25.5	16.9	8.0	2.3
112	19 住				石核	通用外	—	黒曜石	既刊判一削除に調整あり	29.5	31.0	21.5	16.6
113	19 住				石鑿	円盤無条	定形	黒曜石	長脚側面に右脚のみが並びる	22.5	14.5	3.5	0.9
114	19 住				石鑿	円盤無条	右脚部欠損	黒曜石		26.5	17.0	6.0	1.4
115	19 住				石鑿	円盤無条	左端、左脚部欠損	黒曜石		22.5	13.5	5.0	1.1
116	19 住				石鑿	円盤無条	定形	黒曜石		17.0	14.0	3.0	0.6
117	19 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	23.0	25.0	8.6	4.3
118	19 住				石核?	通用外	—	黒曜石	縫辺の一部に調査あり	47.0	32.0	25.0	41.8
119	19 住				石核	通用外	—	黒曜石	縫辺の一部に使用痕あり	31.0	60.0	23.0	32.6
120	19 住				石核	通用外	—	黒曜石	縫辺の一部に調査あり	30.0	50.0	26.0	32.2
121	19 住				石核	通用外	—	黒曜石	縫辺の一部に使用痕あり	40.5	41.0	20.0	24.9
122	19 住				石核	通用外	—	黒曜石	縫辺の一部に調査あり	21.0	33.2	33.8	22.9
123	19 住				R.F.?	通用外	定形	黒曜石	使用痕も一部あり	22.5	19.5	5.5	2.7
124	19 住				U.F.	通用外	定形	黒曜石	左脚側面に刃部作成	25.0	11.0	5.5	1.4
125	19 住				石鑿	通用外	刀部・隼部欠損	黒曜石	調整はフランティングに近い。断面三角形に整形	18.0	9.5	5.0	1.0
126	20 住	有	298	67%	石鑿	通用外	定形	黒曜石	石材の形状を生かし刃部を作成	51.1	21.6	11.0	3.6
127	20 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	左端部欠損	黒曜石	縫隙は直角状	13.0	16.0	2.5	0.4
128	20 住				失調器の一部?	通用外	削片	黒曜石	先端部の舟欠損に再調査?	24.5	12.0	3.5	1.3
129	20 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	17.0	15.5	5.5	1.2
130	20 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	14.4	11.0	6.0	0.9
131	21 住				R.F.	通用外	定形	黒曜石	全周縫合に一次調査あり	23.0	31.5	7.0	4.0
132	21 住				R.F.	通用外	定形	黒曜石	全周縫合に二次調査あり	20.0	18.0	7.5	2.1
133	22 住	有	298	67%	石鑿	円盤無条	定形	黒曜石		25.0	19.6	5.0	1.7
134	22 住	有	298	67%	粗粒石器	棒	定形	ホルンフェルス (富士岩)	研削剤を横形石器として整形	26.5	55.0	8.2	9.4
135	22 住	有	298	67%	石鑿	通用外	刀部欠損	黒曜石		24.8	9.0	4.0	0.8
136	22 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石		25.0	14.0	4.5	1.2
137	22 住				石鑿	円盤無条	右脚部欠損	黒曜石		29.0	15.5	5.0	1.2
138	22 住				石鑿	円盤無条	右脚部欠損	黒曜石		22.4	10.0	3.0	0.6
139	22 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕があり。これによる調査が大きい。	21.0	12.0	6.0	1.6
140	22 住				削器?	通用外	定形	黒曜石	周辺全体の表面調査	25.5	13.0	7.5	2.5
141	22 住				削器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	19.5	16.0	5.0	1.1
142	22 住				楔形石器?	通用外	定形	黒曜石	上・下両端に拘束打痕	31.5	19.0	7.0	4.0
143	22 住				石核	通用外	—	黒曜石	多面体に剥片剥離	23.0	22.5	19.0	12.2

番号	機種	国際番号	幅尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
144	22往			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	左側縁にそって両側打抜による剥離がある	20.4	16.2	3.5	0.9
145	22往			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	12.5	13.5	6.0	1.0
146	22往			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	19.0	16.0	9.0	2.6
147	22往			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	19.4	18.0	7.5	2.5
148	22往			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	23.5	15.0	12.0	3.4
149	22往			測片	通用外	—	水晶	—	20.8	14.1	7.0	2.3
150	24往	有 298	67%	石器	通用外	完形	珪質頁岩	刃部断面三角形に調整	46.9	18.0	11.8	4.6
151	24往	有 298	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	黒曜石	裏面に第一次剥離面をさくぎ残す	25.0	14.3	5.0	0.9
152	24往			削器?	通用外	上・下端部欠損	黒曜石	裏面に調整面がある	20.0	22.5	9.0	3.8
153	24往			削器?	通用外	完形	黒曜石	既利化刃部縁に調整を施す	33.8	16.0	7.5	2.3
154	24往			削器?	通用外	刀部欠損	黒曜石	厚壁な刃片の一端に刃部作成	28.8	21.0	9.0	3.9
155	24往			RF?	通用外	完形	黒曜石	裏面に剥離縁から剥離度がわかる	41.6	22.2	15.0	16.0
156	24往			測片	通用外	完形	黒曜石	刃部製作にかかわる調整測片か	14.6	11.6	5.6	0.8
157	25往	有 298	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	—	26.5	19.9	4.0	1.1
158	25往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	チャート(赤)	機縫は衝撃面	26.9	16.6	4.0	1.3
159	25往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	—	19.9	16.2	3.0	0.5
160	25往			石器	通用外	左脚部欠損	黒曜石	肥厚な削片の一端に刃部作成	26.2	14.2	10.0	2.5
161	25往			測片	通用外	完形	黒曜石	自然面あり	25.0	18.0	9.0	4.2
162	25往			削器?	通用外	完形	黒曜石	下端に重要な両側調整	32.4	24.5	11.6	7.6
163	25往			RF-楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	二箇所の表裏面から丁寧な剥離	19.9	15.2	6.5	1.8
164	25往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	29.6	14.2	9.2	3.6
165	25往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	21.5	15.8	5.2	1.7
166	25往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	18.8	12.8	6.5	1.4
167	25往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	21.5	8.8	7.5	1.3
168	30往	有 299	67%	削器?	通用外	完形	黒曜石	—	39.0	16.4	8.1	4.0
169	30往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	12.0	12.0	5.5	1.3
170	31往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	23.0	26.0	6.5	3.2
171	31往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	20.2	8.5	4.0	0.7
172	31往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	21.8	10.0	9.5	1.8
173	31往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	17.2	17.5	9.0	2.2
174	32往	有 299	67%	石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石	機縫は直角状	21.0	15.0	4.9	0.9
175	32往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	右脚部の削片から両側打抜	52.0	17.6	14.0	9.3
176	32往			石器	通用外	刀部欠損	黒曜石	欠損後の刃部に再加工?	17.0	8.3	3.8	0.5
177	33往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	チャート	—	28.9	19.0	5.0	1.5
178	33往	有 299	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	チャート	—	28.6	15.3	4.0	1.1
179	33往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	—	20.4	14.5	3.9	0.6
180	33往			RF-楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	両側打抜に近い剥離がある	28.6	22.2	9.5	4.6
181	33往			堅石?	通用外	—	黒曜石	もともと薄い堅石の一部に調整面に調整を施す	34.0	45.8	9.0	14.7
182	34往	有 299	67%	RF?石器?	通用外	完形	黒曜石	—	31.5	10.5	8.2	7.2
183	35往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	—	20.1	15.5	4.6	0.9
184	35往			石器未製品	円基無系	先端・右脚部欠損	黒曜石	—	18.8	19.5	3.6	1.1
185	37往	有 299	67%	石器	通用外	完形	黒曜石	素材の形状をつかず	25.9	13.4	5.6	1.4
186	37往			石器	通用外	刀部欠損	黒曜石	—	26.6	12.4	6.3	1.7
187	37往			UF	通用外	完形	黒曜石	表面に繊細な使用痕あり	29.2	29.6	15.0	10.0
188	37往			欠量?	—	—	黒曜石	—	—	—	—	—
189	37往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	13.6	13.6	7.0	1.2
190	37往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	19.0	15.0	7.5	1.6
191	37往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	20.0	15.0	5.0	1.4
192	38往			石器	通用外	刀部欠損	黒曜石	厚い側面を素材にし、その先端に刃部をもうける	46.8	17.2	14.8	12.8
193	39往	有 299	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	黒曜石	—	24.0	17.0	5.2	1.1
194	39往	有 299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	機縫は衝撃面	23.5	16.9	4.0	1.0
195	39往	有 299	67%	石器	通用外	刀部欠損	黒曜石	—	31.6	19.1	11.9	5.5
196	39往			削器?	通用外	横刃	黒曜石	下端欠損後、再調整か?	29.0	16.8	8.0	3.5
197	39往			削器?	通用外	下端部欠損	黒曜石	下端欠損後、再調整か?	26.4	24.6	9.0	4.9
198	39往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	19.0	21.0	6.0	2.2
199	39往			測片	通用外	—	黒曜石	—	32.4	11.0	7.0	2.4
200	39往			RF	通用外	完形	黒曜石	下端に使用痕あり	19.5	17.5	9.0	2.4
201	41往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	22.2	12.5	8.4	1.6
202	41往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	25.0	22.2	8.0	4.0
203	41往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	26.5	13.6	5.4	1.8
204	41往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	19.6	11.2	5.2	1.2
205	41往			石核	通用外	—	黒曜石	—	32.5	36.2	26.2	25.6
206	41往			石核	通用外	—	黒曜石	—	36.8	59.6	40.0	104.8
207	41往			石核	通用外	—	黒曜石	縫辺部の一部に使用痕あり	68.5	72.0	33.2	156.0
208	44往			UF	通用外	完形	黒曜石	ほぼ全機縫に使用痕あり	62.5	36.0	10.8	12.2
209	44往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	—	28.2	13.8	7.5	2.9
210	45往	有 299	67%	石器	標	完形	黒曜石	—	53.8	47.9	19.0	23.9
211	46往	有 299	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	黒曜石	—	34.9	13.5	2.4	0.5
212	46往	有 299	67%	石器	標	完形	ホルンフェルス	機縫の大型測片を使用	47.7	69.1	10.5	22.9
213	46往			石器	円基無系	先端部欠損	黒曜石	機縫衝撃状	15.8	14.6	2.8	0.5
214	46往			石器	通用外	完形	黒曜石	測片の末端を刃部にもちいる	21.8	8.2	4.5	0.7
215	46往			楔形石器?	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打抜	21.5	20.4	8.8	3.4
216	46往			石核?	通用外	—	黒曜石	残核に調整	12.5	30.0	11.5	5.4

造物番号	造様	国際番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
217	47住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	28.8	23.8	11.0	6.1	
218	48住	有	299	67%	石器	円基無系	先端部欠損	黒曜石		19.2	14.1	5.3	0.9
219	48住	有	299	67%	石器	円基無系	先端・左脚跡	黒曜石		17.2	13.5	4.4	0.6
220	48住	有	299	67%	猿形?	通用外	完形	黒曜石	刃縁を裏面から調整する	32.1	22.0	9.4	5.5
221	48住			石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		26.8	20.2	6.0	2.8	
222	48住			石器	通用外	—	黒曜石		44.0	43.5	34.0	63.3	
223	48住			石器	通用外	—	黒曜石					27.5	
224	48住			R.F.	通用外	完形?	黒曜石	表面を中心に調整あり	48.0	27.2	15.4	14.2	
225	48住			石器	通用外	刀脚部欠損	黒曜石	調片の左端部に刀脚部作	17.2	12.6	5.4	1.0	
226	48住			R.F.	通用外	完形	黒曜石	左右両縁の一部に調整あり	19.2	17.4	4.5	1.5	
227	48住			石器	通用外	—	黒曜石	裏面は裏面のままである	44.6	48.0	1.9	38.6	
228	48住			石器	通用外	—	黒曜石	研磨痕を得ていると思われる	64.2	27.5	2.3	42.8	
229	48住			石器	通用外	—	黒曜石	サイコロ状に残るが、裏面部分が多い	35.8	28.2	27.0	35.7	
230	49住	有	299	67%	石器	通用外	完形	黒曜石		35.3	11.5	7.5	1.7
231	49住			G.F.	円基無系	左脚部欠損	黒曜石	機縫は崩壊状	22.0	13.5	3.5	0.7	
232	49住	有	299	67%	石器	通用外	基部・刀脚部欠損	註置貝岩(白)	刀脚部を削り直角形状に調整	31.5	16.0	9.0	2.9
233	49住	有	299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石		23.0	19.3	4.8	1.0
234	49住	有	299	67%	G.F.	円基無系	完形	黒曜石		14.8	16.6	2.6	0.3
235	49住			石器	円基無系	先端・左脚部欠損	黒曜石		22.0	13.2	4.8	0.9	
236	49住			石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		15.8	14.8	4.0	0.6	
237	49住			楔形石器	通用外	下端部欠損	黒曜石	上・下両面に両側打痕	25.4	19.5	5.2	2.4	
238	49住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	16.4	16.5	4.5	1.3	
239	49住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	34.0	30.2	8.8	6.7	
240	49住			石器	通用外	—	黒曜石	裏面は薄く扁平なもの。裏面面を多く残す	65.5	59.0	16.4	58.0	
241	51住	有	299	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石		21.9	13.2	4.9	0.8
242	52住			袋形石器	通用外	上端部欠損	黒曜石	右側縫にノット状の調整あり	26.8	21.0	5.4	2.2	
243	52住			袋形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	25.8	19.0	4.2	2.5	
244	53住	有	300	67%	石器	円基無系	先端部欠損	黒曜石	裏面は半円状に突出する	26.1	19.1	7.0	2.6
245	53住			滑石	機縫	約1・2次強	黒曜石		29.5	16.2	6.4	2.8	
246	54住	有	300	67%	石器	通用外	完形	下凹石(ガラス質ダイサイン)	43.8	47.5	7.5	8.2	
247	54住			石器	平基無系	右約1・3次強	黒曜石		23.5	14.2	3.2	0.9	
248	60住			石器	円基無系	先端・左脚部欠損	黒曜石		17.0	12.2	5.0	0.9	
249	61住	有	300	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石	機縫は崩壊状	25.5	16.5	3.5	0.7
250	61住	有	300	67%	粗削石器	横	完形	註置貝岩(白)		54.6	51.0	11.0	24.3
251	61住			粗削石器	縦	完形	貝殻		73.4	30.2	6.2	12.3	
252	61住			粗削石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	22.8	18.2	6.2	2.7	
253	61住			R.F.	通用外	完形	黒曜石		30.5	26.6	8.2	6.9	
254	61住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	23.8	13.0	5.6	1.8	
255	64住	有	200	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	黒曜石		25.6	17.1	5.9	1.4
256	67住	有	300	67%	石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		17.2	14.3	5.0	0.8
257	67住			楔形石器	通用外	—	黒曜石	上・下両面に両側打痕	15.5	13.6	7.0	1.8	
258	70住	有	300	67%	石器	円基無系	先端・右脚部欠損	黒曜石	機縫は崩壊状	21.0	14.1	3.6	0.6
259	72住	有	300	67%	石器	円基無系	先端部欠損	黒曜石		21.1	18.9	4.0	0.9
260	75住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕あり。右側縫に調整なし	32.8	19.0	8.0	4.1	
261	76住	有	300	67%	石器	円基無系	完形	チャート		24.3	19.6	6.0	1.7
262	76住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	下邊のつぶれは両側打痕によるものか。	19.8	16.5	11.0	3.7	
263	76住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石		27.1	19.2	8.0	3.6	
264	76住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上下及び左右に両側打痕あり	31.0	24.0	12.0	8.0	
265	77住	有	300	67%	石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		30.0	16.0	5.0	1.4
266	77住	有	300	67%	石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		24.1	14.8	5.0	1.6
267	82住	有	300	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石		29.5	13.4	4.1	0.7
268	82住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	16.5	11.5	5.0	1.0	
269	82住			滑石	通用外	完形	黒曜石		22.8	13.2	4.6	0.8	
270	83住	有	300	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石		19.0	15.0	3.2	0.6
271	83住			石器	通用外	刀脚部欠損	黒曜石		16.6	26.8	5.8	2.0	
272	83住			U.F.	通用外	下端部欠損	黒曜石	先端部欠損の刀脚の可能性もある。右側縫に調整なし	33.2	13.2	5.0	2.5	
273	83住			縫器	通用外	完形	黒曜石	左右には両側打痕にちかい削離あり	23.1	28.2	13.5	8.4	
274	83住			石器	通用外	—	黒曜石	裏面面を多く残す	65.4	53.0	43.5	140.0	
275	88住	有	300	67%	石器	円基無系	右脚部欠損	チャート		21.8	17.9	3.4	0.8
276	89住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	20.8	24.0	5.8	2.5	
277	89住			楔形石器	通用外	完形	黒曜石	上・下両面に両側打痕	19.6	21.0	8.0	2.6	
278	89住			縫器	通用外	完形	黒曜石	下邊に裏面からの調節。左側縫に使用痕	26.2	26.0	8.5	5.4	
279	91住			石器	通用外	—	黒曜石	裏面と左側縫は黒曜石面	34.1	24.6	12.0	12.1	
280	92住			石器	通用外	刀脚部欠損	黒曜石	調片の一端に集中的な調節	14.0	15.5	5.0	0.7	
281	93住	有	300	67%	石器	円基無系	左脚部欠損	ホルンフェルス (富士岩)		47.2	17.9	5.0	2.6
282	95住	有	300	67%	石器	円基無系	完形	黒曜石		25.0	19.9	6.5	3.4
283	95住			石器	円基無系	左脚部欠損	黒曜石	表面面に上要削離面を残す	28.2	13.5	5.0	1.1	
284	95住			G.F.	円基無系	上半部欠損	黒曜石		18.0	22.0	4.4	0.9	
285	95住			石器	通用外	—	黒曜石	上面に刃面として調片を作出	31.5	51.0	46.0	67.8	
286	97住	有	300	67%	G.F.	円基無系	左脚部欠損	黒曜石		23.5	16.9	5.1	1.0
287	97住			石器	円基無系	右脚部欠損	黒曜石		26.6	16.0	3.8	0.9	

番号	遺構	前面	背面	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
288	97住				石劍	円弧無条		右脚部欠損	黒曜石	23.6	14.0	5.0	0.7
289	102住	有	300	67%	石劍	円弧無条		右脚部欠損	黒曜石	27.4	16.5	5.0	1.1
290	102住	有	300	67%	石劍	円弧無条		右脚部欠損	黒曜石	36.8	17.9	4.6	2.0
291	102住	有	300	67%	石劍	円弧無条		定形	黒曜石	25.5	15.6	4.2	1.0
292	102住				石劍	円弧無条		先端から左側脚欠損	黒曜石	22.6	12.0	5.0	1.1
293	247土	有	300	67%	石劍	円弧無条		先端、右脚部欠損	黒曜石	27.4	17.5	4.3	1.4
294	247土	有	300	67%	石劍	円弧無条		右脚部欠損	黒曜石	20.0	18.0	4.1	0.7
295	336土	有	300	67%	石劍	円弧無条		先端、左脚部欠損	黒曜石	17.9	11.9	3.0	0.4
296	108土	有	300	67%	石劍	円弧無条		定形?	黒曜石	27.2	9.0	8.0	1.7
297	116土	有	301	67%	石劍	通用外		定形	黒曜石	21.5	10.2	6.0	1.1
298	209土	有	301	67%	石劍	通用外		刀部欠損	黒曜石	39.1	16.1	9.9	4.4
299	114土	有	301	67%	石核	通用外		—	黒曜石	55.0	52.1	34.0	53.9
300	2土	有	301	67%	石核	通用外		先端・基部欠損	黒曜石	53.5	68.8	59.0	178.1
301	8土				石劍	通用外		先端・基部欠損	黒曜石	21.8	11.0	6.5	1.6

第3-4表 打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石等觀察表

番号	遺構	前面	背面	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
1	2往	有	302	25%	粗製石匙	横		左脚欠	カルンフュルス	56.8	58.0	13.0	39.0
2	2往	有	302	25%	削器	横刃		定形	砂岩	56.4	98.5	11.4	60.7
3	2往	有	302	25%	削器	横刃		刃部欠	カルンフュルス	47.9	104.7	12.6	44.6
4	2往	有	302	25%	部分削製石匙	通用外		定形	砂岩	113.1	71.9	21.1	120.7
5	2往	有	302	25%	削器	横刃		左脚欠	砂岩	53.0	157.0	19.7	129.1
6	2往	有	302	25%	削器?	通用外		定形	砂岩	65.3	64.0	13.5	68.5
7	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	砂岩	90.6	52.4	16.9	85.6
8	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	104.5	48.8	15.1	104.9
9	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	103.6	49.5	14.3	87.6
10	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	125.4	38.9	20.4	100.7
11	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	135.9	50.4	31.2	217.2
12	2往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	184.1	51.1	23.4	244.9
13	2往				打製石斧	通用外		刃部欠	カルンフュルス	—	—	—	—
14	2往				刮片	通用外		定形	砂岩	—	—	—	—
15	2往				刮片	通用外		定形	カルンフュルス	—	—	—	—
16	2往				刮片	通用外		定形	カルンフュルス	—	—	—	—
17	2往				往上砾	通用外		刃部欠	凝灰岩	—	—	—	—
18	3往	有	302	25%	粗製石匙	横		定形	カルンフュルス	99.8	53.4	16.8	84.4
19	3往				刮器	横刃		泥岩	—	—	—	—	
20	3往				打製石斧	通用外		基部断片	砂岩	—	—	—	—
21	3往				往上砾	手持ち		凝灰岩	中空骨の遺物	—	—	—	—
22	4往	有	302	50%	粗製石匙	横		定形	凝灰岩	49.7	49.0	7.3	13.6
23	4往	有	302	25%	粗製石匙	横		定形	カルンフュルス	56.6	73.2	8.8	21.5
24	4往	有	302	25%	粗製石匙	横		定形	カルンフュルス	78.2	85.2	12.2	69.5
25	4往	有	302	25%	刮器	横刃		定形	カルンフュルス	81.1	105.8	12.5	68.7
26	4往	有	302	25%	粗製石匙	横		定形	砂岩	141.6	57.4	14.0	105.4
27	4往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	98.5	43.5	19.6	71.3
28	4往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	93.6	58.8	13.8	56.4
29	4往	有	302	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	117.4	52.5	15.4	82.0
30	4往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	114.5	52.3	20.6	116.2
31	4往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	105.5	47.1	18.3	112.7
32	4往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	131.6	57.7	15.5	129.0
33	4往	有	303	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	砂岩	115.7	59.1	12.5	86.6
34	4往	有	303	25%	打製石斧	通用外		基部断片	砂岩	74.4	54.8	25.2	121.0
35	4往	有	303	25%	砾石	通用外		定形	砂岩	56.2	56.7	19.3	67.9
36	4往	有	303	25%	骨質石斧	乳棒狀		刃部欠	緑色凝灰岩	193.4	36.6	32.5	362.8
37	5往	有	303	25%	粗製石匙	横		定形	凝灰岩	51.1	62.4	9.9	27.4
38	5往	有	303	25%	粗製石匙	横		定形	カルンフュルス	73.9	63.8	12.1	51.8
39	5往	有	303	25%	骨體不明	通用外		定形	砂岩	54.4	53.4	11.6	39.5
40	5往	有	303	25%	粗製石匙	横		右脚欠	凝灰岩	59.5	93.9	12.1	48.3
41	5往	有	303	25%	粗製石匙	横		定形	砂岩	56.0	91.4	8.8	36.6
42	5往	有	303	25%	刮器	横刃		カルンフュルス	—	44.5	167.2	14.6	53.9
43	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	泥岩	59.7	46.1	10.6	28.4
44	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	砂岩	83.5	44.3	11.6	48.1
45	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	泥岩	84.8	56.7	19.4	90.7
46	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	90.3	53.8	16.7	104.6
47	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		基部断片	砂岩	74.2	51.8	20.9	102.2
48	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	砂岩	88.7	56.8	19.9	116.8
49	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	131.5	38.2	12.7	61.5
50	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	砂岩	116.8	51.4	9.7	71.5
51	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		定形	カルンフュルス	116.8	46.6	13.8	74.4
52	5往	有	303	25%	打製石斧	通用外		刃部欠	カルンフュルス	116.5	54.8	20.6	118.6

物 品 番 号	造 機	固 形 番 号	規 格	尺 寸	器 種	形 態	残 存 率	石 材	所 見	長 さ (m)	幅 (m)	厚 さ (m)	重 量 (g)
53	5往	有	363	25%	打製石斧	通用外	定形	泥岩		124.7	50.5	14.2	80.4
54	5往	有	363	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		113.1	48.5	19.8	111.1
55	5往	有	363	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		161.0	49.7	24.6	221.9
56	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		113.5	62.2	22.6	134.0
57	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		131.7	47.6	21.4	130.5
58	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		131.0	54.0	15.8	130.7
59	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		119.1	63.1	15.9	139.3
60	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		115.8	63.8	17.8	156.8
61	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		127.5	55.4	22.4	175.3
62	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		140.6	54.1	25.9	207.7
63	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		117.2	58.1	27.8	163.9
64	5往	有	364	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		119.5	79.6	26.3	250.3
65	5往	有	364	25%	磨製石斧	乳状狀	刃部断片	綠色岩	磨製石斧の断片を再加工して磨製石斧にしている。	54.9	33.7	16.7	39.5
66	5往	有	364	25%	磨製石斧-直轄	乳状狀	定形	綠色岩	磨製石斧の断片を再加工して直轄にしている。	76.7	33.6	16.2	56.2
67	5往	有	364	25%	磨製石斧	乳状狀	基部断片	綠色岩	熱による破損斑	88.5	45.7	32.1	140.1
68	6往				二次加工片	通用外	定形	ホルンフェルス		—	—	—	—
69	6往				粗製石砲	縦	定形	泥岩		—	—	—	—
70	6往				磨器	横方	定形	泥岩		—	—	—	—
71	6往				打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		—	—	—	—
72	6往				打製石斧	通用外	定形	砂岩		—	—	—	—
73	6往				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
74	6往				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
75	6往				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
76	6往				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
77	6往				打製石斧-直轄	通用外	定形	ホルンフェルス		—	—	—	—
78	6往				磨片	通用外	定形	砂岩		—	—	—	—
79	6往				磨製石斧	定角式	刃部断片	乾燥砂岩		—	—	—	—
80	7往	有	364	25%	粗製石砲	横	定形	ホルンフェルス		69.3	81.6	14.6	70.2
81	7往	有	364	25%	粗製石砲	横	定形	泥岩		58.4	132.8	9.3	50.5
82	7往	有	364	25%	粗製石砲	縦	定形	泥岩		116.9	38.4	9.8	33.4
83	7往	有	364	25%	粗製石砲	縦	定形	ホルンフェルス		89.6	48.8	12.0	51.3
84	7往	有	364	25%	磨器	通用外	定形	泥岩		72.7	44.9	16.6	44.4
85	7往	有	364	25%	粗製石砲	横	定形	砂岩		89.7	98.0	14.3	90.4
86	7往	有	364	25%	粗製石砲	縦	定形	ホルンフェルス		68.3	41.6	11.9	32.6
87	7往	有	364	25%	磨器	横方	定形	泥岩		96.7	38.9	10.2	36.2
88	7往	有	364	25%	磨器	横方	定形	泥岩		52.9	85.4	14.6	74.4
89	7往	有	364	25%	磨器	横方	定形	砂岩		59.0	70.8	13.6	53.5
90	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	砂岩		44.2	89.5	12.3	48.4
91	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	砂岩		81.9	46.5	17.0	71.2
92	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	砂岩		42.3	90.1	16.0	51.3
93	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	砂岩		65.8	80.5	12.2	68.6
94	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	ホルンフェルス		59.4	83.7	14.3	87.4
95	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	泥岩		40.3	81.8	9.3	31.1
96	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	砂岩		69.6	77.2	12.2	43.7
97	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	泥岩		57.5	83.0	9.7	52.7
98	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	泥岩		53.7	85.6	9.6	49.9
99	7往	有	365	25%	磨器	横方	定形	ホルンフェルス		67.6	116.0	24.5	159.8
100	7往	有	365	25%	打製石斧- (刃部磨削)	通用外	定形	砂岩		84.9	54.4	10.4	58.5
101	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		105.0	45.6	16.5	78.3
102	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		101.0	39.5	8.6	39.2
103	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		90.2	46.9	12.2	53.4
104	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		116.7	39.4	13.9	66.8
105	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		90.7	62.0	16.6	99.4
106	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		104.9	48.6	15.9	88.6
107	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		108.9	52.6	20.0	130.5
108	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		112.6	65.5	22.1	121.2
109	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		122.0	55.1	16.6	114.5
110	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		104.7	54.0	24.4	144.9
111	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		134.7	58.5	25.6	173.2
112	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		140.9	51.5	20.8	138.8
113	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩		125.3	51.3	20.7	148.9
114	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		108.9	56.1	11.9	72.3
115	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		107.0	47.4	25.9	158.5
116	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス		99.6	53.6	15.0	96.2
117	7往	有	365	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		89.2	57.2	27.7	113.0
118	7往	有	366	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		85.3	53.1	18.2	100.4
119	7往	有	366	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		75.5	53.4	19.9	102.2
120	7往	有	366	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		89.8	51.1	14.9	80.9
121	7往				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—

遺物 番号	遺構	画面 番号	国版 番号	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
122	7住	有	306	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	99.3	65.3	27.4	226.1
123	7住	有	306	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	62.3	58.7	13.0	62.2
124	7住	有	306	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	98.4	55.8	14.2	74.0
125	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	76.0	52.2	17.0	95.8
126	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	79.0	46.8	14.6	60.6
127	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	82.6	54.9	20.1	85.0
128	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	59.9	51.2	15.5	71.5
129	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	88.8	44.0	11.5	41.0
130	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	—	102.4	57.0	16.5	88.4
131	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	103.7	48.8	17.2	91.3
132	7住	右	306	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	93.9	44.5	16.8	81.0
133	7住				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—
134	7住				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—
135	7住	有	306	25%	打製石斧等製品	通用外	定形	ホルンフェルス	—	101.3	43.8	11.6	47.5
136	7住	有	306	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	79.6	40.3	17.7	62.5
137	7住	有	306	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	98.3	47.4	19.8	99.3
138	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
139	7住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
140	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
141	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
142	7住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
143	7住				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—
144	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—	—
145	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
146	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
147	7住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
148	7住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
149	7住	有	306	25%	燧石	通用外	定形	砂岩	打製石斧刃部断片を燧石に転用している。	66.7	55.8	19.0	89.3
150	7住				燧石	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
151	7住				燧石	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
152	7住	有	306	25%	燧石	通用外	定形	砂岩	—	84.0	75.8	26.7	202.1
153	7住	有	306	25%	燧石	通用外	定形	砂岩	打製石斧断片を燧石に再利用、下端部に磨面がある。	66.4	56.5	15.7	73.0
154	7住	有	306	25%	燧石	通用外	定形	砂岩	—	83.1	48.9	22.7	109.6
155	7住	有	306	25%	磨製石斧→燧石	乳棒状	刃部断片	緑色岩	刃部に敲打痕、破壊後燧石に転用。	60.4	52.4	27.9	82.6
156	7住	有	306	25%	磨製石斧→燧石	乳棒状	刃部断片	緑色岩	刃部に敲打痕、破壊後燧石に転用。	127.3	52.1	19.5	161.0
157	7住	有	306	25%	磨製石斧	乳棒状	定形	緑色岩	刃部2片刃部。	124.5	42.9	30.1	228.2
158	7住	有	306	25%	磨製石斧→燧石	乳棒状	定形	緑色岩	磨製石斧破損後燧石に転用。	118.2	54.2	41.2	468.2
159	7住	有	307	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部欠	緑色岩	—	191.2	53.2	37.1	588.9
160	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	50.9	55.6	8.5	18.7
161	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	40.0	72.3	12.9	31.5
162	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	63.1	90.0	11.5	54.7
163	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	泥岩	—	77.1	114.3	13.6	92.0
164	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	泥岩	—	133.7	45.0	19.6	108.1
165	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	83.6	49.6	12.0	48.0
166	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	61.5	49.7	10.7	27.1
167	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	88.8	48.6	18.2	56.2
168	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	泥岩	—	89.6	47.4	12.8	42.4
169	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	ホルンフェルス	—	98.3	67.9	15.7	88.6
170	8住	右	307	25%	粗製石器	粗	定形	砂岩	—	92.3	51.1	12.9	59.9
171	8住	右	307	25%	刮削器	廣刃	定形	砂岩	—	52.2	96.4	10.3	38.0
172	8住	右	307	25%	刮削器	廣刃	定形	泥岩	—	72.0	85.8	8.4	44.9
173	8住	右	307	25%	刮削器	廣刃	定形	泥岩	—	63.5	96.4	11.9	69.8
174	8住	右	307	25%	刮削器	廣刃	定形	ホルンフェルス	—	65.5	94.2	16.0	112.2
175	8住	右	307	25%	刮削器	廣刃	定形	泥岩	—	40.6	119.5	9.4	45.3
176	8住	右	307	25%	刮削器	通用外	定形	頁岩	—	93.2	53.0	25.4	107.3
177	8住	右	307	25%	刮削器	通用外	定形	頁岩	—	106.6	65.8	22.3	161.5
178	8住	右	307	25%	刮削器	通用外	定形	ホルンフェルス	—	94.4	50.6	20.0	90.3
179	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	泥岩	—	86.9	54.3	16.6	71.6
180	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	82.8	43.0	10.3	37.8
181	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	緑色頁岩	—	65.6	30.9	12.3	34.6
182	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	泥岩	—	97.5	45.2	12.5	59.8
183	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	泥岩	—	86.3	46.6	13.8	72.7
184	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	泥岩	—	83.3	49.5	22.2	89.8
185	8住	右	307	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	103.7	46.3	15.9	79.2
186	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	103.1	56.6	16.2	97.3
187	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	110.6	55.5	20.4	122.6
188	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	基・刃部欠	砂岩	—	109.7	62.3	18.8	111.4
189	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	115.1	51.2	19.9	136.5
190	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	106.9	60.5	15.1	99.6
191	8住	右	308	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	98.6	63.3	21.8	145.1

物 品 番 号	造 機	固 定 番 号	規 格	尺 寸	器 種	形 態	残 存 率	石 材	所 見	長 さ (m)	幅 (m)	厚 さ (m)	重 量 (g)
192	8往	有	308	25%	打製石斧	通用外	完形	燧灰岩	—	126.0	50.6	19.4	115.4
193	8往	有	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	107.5	57.5	18.6	115.7
194	8往	有	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	103.0	54.5	16.3	109.6
195	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	119.7	52.8	16.4	134.1
196	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	118.6	61.2	10.5	71.7
197	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	94.9	68.1	15.7	95.0
198	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	115.7	45.2	23.3	131.8
199	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	111.5	51.5	16.9	98.8
200	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	102.7	48.3	19.4	104.4
201	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	121.7	61.2	21.4	168.9
202	8往	右	308	25%	抛光石器	通用外	完形	ホルンフェルス	—	123.4	65.2	32.6	233.3
203	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	月部欠	砂岩	—	118.5	52.5	21.9	156.1
204	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	124.6	68.8	18.9	198.2
205	8往	右	308	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	131.5	51.2	16.8	123.1
206	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	106.8	65.9	21.8	174.4
207	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	133.0	70.0	29.5	298.0
208	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	127.1	69.7	23.5	218.2
209	8往	右	308	25%	画片(打字素材)	通用外	完形	ホルンフェルス	—	158.6	93.4	26.0	352.5
210	8往	右	308	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	70.2	58.0	17.5	84.5
211	8往	右	308	25%	二次加工画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	59.3	32.4	8.9	19.1
212	8往	右	308	25%	二次加工画片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	92.3	47.5	26.5	115.3
213	8往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	頁岩	—	49.0	51.5	19.0	40.5
214	8往	右	309	25%	打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	68.6	42.5	8.6	28.7
215	8往	右	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
216	8往	右	画片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
217	8往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
218	8往	右	画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
219	8往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
220	8往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
221	8往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
222	8往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
223	8往	右	309	25%	打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	70.8	43.2	14.8	40.5
224	8往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	燧灰岩	—	82.6	41.6	11.1	30.9
225	8往	右	画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
226	8往	右	画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
227	8往	右	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
228	8往	右	309	25%	岩壁不明	通用外	完形	ホルンフェルス	—	108.1	31.1	24.1	94.4
229	8往	右	309	25%	磨製石器	通用外	完形	ホルンフェルス	—	108.3	47.9	29.8	121.3
230	8往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	89.6	40.5	12.0	45.7
231	8往	右	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
232	8往	右	二次加工画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
233	8往	右	309	25%	燧石	通用外	完形	燧岩	—	56.3	65.6	24.9	85.9
234	8往	右	309	25%	磨製石斧	定角式	基部断片	燧石	—	66.4	51.0	31.9	189.7
235	8往	右	309	25%	磨製石斧	小明	刃部断片	燧石	—	47.0	41.9	11.2	27.5
236	8往	右	309	25%	有鑽	通用外	完形	砂岩	—	59.3	62.5	13.1	46.5
237	9往	右	打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—	—	—
238	9往	右	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—	—	—	—
239	9往	右	画片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
240	10往	右	309	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	65.7	57.3	14.4	43.3
241	10往	右	309	25%	粗製石砲	横	完形	燧岩	—	83.3	52.0	11.2	41.2
242	10往	右	309	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	63.3	72.3	13.8	49.4
243	10往	右	309	25%	粗製石砲	横	木板欠	燧灰岩	—	92.5	53.0	10.7	56.7
244	10往	右	309	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	95.4	38.6	12.9	51.8
245	10往	右	309	25%	磨器	横刀	完形	砂岩	—	48.7	90.2	12.0	55.8
246	10往	右	309	25%	磨器	横刀	完形	砂岩	—	57.0	101.7	11.1	70.8
247	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	88.1	44.5	16.1	75.5
248	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	94.4	45.3	16.9	94.3
249	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	107.5	48.7	12.6	76.0
250	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	121.9	58.2	18.9	163.2
251	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	114.5	50.1	22.9	135.8
252	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	91.7	56.0	17.8	92.1
253	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	93.2	61.9	27.8	190.5
254	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	64.6	51.7	16.5	66.3
255	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	—	78.4	53.0	20.5	102.6
256	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—	—
257	10往	右	309	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	56.3	49.3	13.3	45.8
258	10往	右	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
259	10往	右	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	—	—
260	10往	右	打製石斧未製品	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	107.3	68.7	24.8	171.5
261	10往	右	打製石斧未製品	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	101.8	64.9	27.1	160.6

物 品 番 号	造 機	固 面 番 号	規 格 寸 寸	器 種	形 態	残存率	石 材	所 見	長 さ (mm)	幅 (mm)	厚 さ (mm)	重 量 (g)	
282	10往	有	309	25%	磨片	通用外	磨片	ホルンフェルス	素材磨片	82.1	56.9	13.8	71.2
283	10往	有	310	25%	磨削石斧→敲石	乳棒状	磨片	緑色岩	面部に敲打痕	107.4	35.3	32.5	174.3
284	10往	有	310	25%	磨削石斧	乳棒状	刃部斧	緑色岩		132.9	56.5	35.2	276.6
285	11往	有	310	25%	敲石	通用外	完形	緑色岩灰岩	碧玉斧未製品を再利用、上下端部に敲打痕	136.3	56.8	36.5	539.3
286	11往	有	310	25%	粗製石砲	横	左側欠	ホルンフェルス		65.5	40.7	8.9	17.7
287	11往	有	310	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		57.6	74.3	12.0	44.9
288	11往	有	310	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩		46.6	83.5	8.5	25.1
289	11往	有	310	25%	粗製石砲	横	換み部欠	砂岩		61.9	89.4	12.6	52.9
290	11往	有	310	25%	磨器	横刃	完形	砂岩		54.2	95.0	14.6	56.1
291	11往	有	310	25%	磨器?	通用外	完形	ホルンフェルス		73.0	84.7	13.6	90.3
292	11往	有	310	25%	磨器	横刃	完形	ホルンフェルス		87.2	103.7	13.8	147.3
293	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		81.2	44.2	15.0	62.4
294	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		100.8	52.2	17.6	111.8
295	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		110.6	0.3	15.2	95.4
296	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		119.0	48.9	14.7	99.4
297	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		100.4	33.3	10.6	81.7
298	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		134.1	50.8	21.7	162.7
299	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		117.8	59.0	27.9	180.8
300	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		140.0	58.7	22.7	190.0
301	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		126.3	67.7	22.4	180.1
302	11往	有	310	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		120.7	64.7	33.5	236.8
303	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
304	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
305	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	泥灰岩		—	—	—	—
306	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	砂岩		—	—	—	—
307	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
308	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
309	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
310	11往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
311	11往	—	—	—	磨片	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
312	15往	有	311	50%	磨削石斧	定角式(片刃)	完形	緑色岩灰岩	剥離で整形したのち横面を研磨。	109.1	52.1	16.7	144.2
313	12往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	泥灰岩	刃部が崩壊状になる	82.8	49.1	20.2	122.7
314	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		40.2	89.7	23.7	81.6
315	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		69.6	114.6	23.2	158.4
316	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		58.2	44.0	18.6	54.9
317	12往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		91.9	51.6	23.0	153.2
318	12往	有	311	25%	粗製石砲	通用外	完形	泥岩		66.7	33.5	14.5	55.0
319	14往	有	311	25%	使用前断片	通用外	完形	頁岩		44.5	41.3	13.6	20.4
320	14往	有	311	25%	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		64.9	36.5	16.9	40.3
300	14往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		114.9	42.7	24.5	101.8
301	15往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		56.1	57.0	9.9	23.3
302	15往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		111.3	45.2	13.3	83.2
303	15往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		118.3	50.5	16.9	97.6
304	15往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		133.0	43.2	14.2	99.1
305	15往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		150.1	63.1	15.4	151.0
306	15往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		107.4	50.7	16.0	84.0
307	15往	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
308	15往	—	—	—	打製石斧	通用外	刃部	ホルンフェルス		—	—	—	—
309	15往	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
310	15往	—	—	—	打製石斧	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
311	15往	—	—	—	磨片	通用外	磨片	ホルンフェルス		—	—	—	—
312	15往	有	311	50%	磨削石斧	横	完形	緑色岩灰岩	剥離で整形したのち横面を研磨。	109.1	52.1	16.7	144.2
313	12往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	泥灰岩	刃部が崩壊状になる	54.6	73.7	7.9	21.0
314	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		86.1	56.4	17.8	74.2
315	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		79.1	111.5	17.3	140.6
316	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		93.2	57.1	18.0	77.4
317	13往	有	311	25%	粗製石砲	横	换み部欠	泥岩		78.8	50.2	9.5	35.3
318	13往	有	311	25%	粗製石砲?	通用外	上海灘欠	泥灰岩	素材剥片は被熱を受けており、二次加工の剥離面には被熱は見られない。	99.6	54.0	13.8	71.0
319	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	下瀬灘欠	ホルンフェルス		109.2	33.5	13.0	50.4
320	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		123.4	35.8	13.9	61.2
321	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		118.1	39.0	14.8	53.9
322	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		93.2	44.4	13.1	53.7
323	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		86.4	41.9	18.1	67.4
324	13往	有	311	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		113.9	44.5	14.9	90.7
325	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		116.8	48.7	16.8	113.5
326	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		91.5	55.1	19.8	118.1
327	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		108.1	56.4	14.2	90.1
328	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		101.4	53.2	14.5	64.0
329	13往	有	312	25%	打製石斧	研磨?	完形	泥岩	輪郭邊の最打痕箇所で刃部は、刃流れ	104.8	47.8	17.9	110.0
330	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		122.8	55.8	21.1	146.1
331	13往	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		119.4	61.9	17.3	135.6

遺物 番号	遺構	画面 番号	国版 番号	幅寸	器種	形 態	残存率	石 材	所 見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
332	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	147.8	48.9	27.0	205.8
333	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	149.0	52.8	18.6	157.1
334	13住	有	312	25%	打製石斧	縦	完形	砂岩	—	146.8	52.1	32.0	237.9
335	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	86.5	59.3	16.3	72.4
336	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	83.7	54.8	24.3	103.2
337	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	66.9	55.0	21.5	100.3
338	13住	有	312	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	88.7	47.5	19.1	78.9
339	13住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
340	13住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
341	13住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—	—
342	13住	有	312	25%	砾石	通用外	完形	砂岩	—	117.4	62.0	33.1	303.4
343	16住	有	312	50%	石器不明	通用外	—	貝殻	不整な押印面離で整形	40.6	32.1	9.8	11.8
344	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	刃部欠	緑色の板状岩	48.4	45.2	7.0	10.4	
345	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	刃部欠	泥岩	39.6	55.0	9.1	20.9	
346	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	左端欠	ホルンフェルス	刀部がやや齧歛状になる。	57.5	56.8	14.9	23.6
347	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	完形	青母岩片	風化剥落	75.9	55.0	10.3	48.4
348	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩	—	97.6	52.0	11.2	48.3
349	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩	左側方に掌状剥離	91.5	31.6	6.6	23.8
350	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	93.4	84.3	14.5	82.2
351	16住	有	312	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	89.4	69.4	15.7	78.9
352	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	55.5	73.4	11.2	49.4
353	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩	刀部が齧歛状になる。	51.1	81.5	12.0	34.0
354	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩	左側刀部欠損、刃部強健鋭鋸	61.7	87.2	12.5	52.7
355	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	完形	泥岩	刃部が齧歛状になる。刃部掌状剥離。	43.2	73.7	8.3	21.3
356	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	36.7	78.7	8.6	25.6
357	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	右端欠	ホルンフェルス	刃部に微細剥離。	66.5	81.5	14.7	75.8
358	16住	有	313	25%	粗製石砲	横	右端欠	ホルンフェルス	—	63.7	88.7	18.1	140.3
359	16住	有	313	25%	粗製石砲	縦	筋部欠	砂岩	—	106.3	70.7	20.2	127.6
360	16住	有	313	25%	粗製石砲	縦	筋部欠	砂岩	—	102.9	41.8	22.5	121.6
361	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	92.8	53.9	13.3	70.0
362	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	94.6	39.6	7.3	28.6
363	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	116.7	46.6	15.5	77.3
364	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	107.6	39.2	16.4	63.3
365	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	96.2	49.1	21.6	113.6
366	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	—	92.0	41.6	19.8	86.8
367	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	91.6	43.3	18.2	74.7
368	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	103.8	56.3	16.3	81.2
369	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	113.4	53.0	17.8	110.6
370	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	114.6	52.2	20.2	131.3
371	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	105.6	45.3	13.2	77.3
372	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	—	114.9	53.3	13.1	81.0
373	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	118.7	54.6	21.8	168.4
374	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	125.1	66.3	22.5	147.9
375	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	64.5	50.5	19.0	72.8
376	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	—
377	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
378	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
379	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
380	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
381	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
382	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
383	16住	—	—	—	砾石	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
384	16住	有	313	25%	打製石斧	分脚型?	基部断片	砂岩	—	75.5	88.5	18.2	147.0
385	16住	有	313	25%	石器不明	通用外	筋部欠	ホルンフェルス	—	85.2	106.6	19.4	157.7
386	16住	有	313	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	127.3	48.4	21.2	135.9
387	16住	—	—	—	打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	—
388	16住	有	314	25%	重鎌形石斧	乳棒狀	基部断片	凝灰岩	—	52.4	31.8	25.4	52.0
389	16住	有	314	25%	陶器	通用外	完形	凝灰岩	—	48.8	80.1	11.8	52.4
390	17住	有	314	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	123.2	49.4	20.2	150.3
391	17住	有	314	25%	打製石斧	通用外	筋部欠	ホルンフェルス	—	88.3	54.6	12.7	74.3
392	17住	有	314	25%	打製石斧	通用外	筋部欠	砂岩	—	86.1	53.4	21.8	130.8
393	17住	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	91.0	56.6	18.0	83.0
394	17住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
395	17住	—	—	—	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—
396	17住	—	—	—	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
397	17住	—	—	—	打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—
398	17住	—	—	—	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
399	18住	有	314	50%	二次加工剥片	通用外	完形	貝殻	—	44.2	32.1	14.3	18.3
400	18住	有	314	50%	粗製石砲	横	完形	砂岩	—	71.8	33.9	13.3	30.6
401	18住	有	314	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	—	63.3	74.7	14.3	62.7

遺物 番号	遺構 名	画面 番号	国版 番号	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
402	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	黒色頁岩		53.8	71.7	14.9	43.1
403	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	ホルンフェルス		63.6	87.8	16.6	72.2
404	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	ホルンフェルス		66.0	57.2	24.0	63.9
405	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	砂岩		106.7	52.7	15.4	80.6
406	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	砂岩		94.6	38.1	9.9	38.3
407	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	ホルンフェルス		118.3	46.2	15.7	79.7
408	18柱	有	314	25%	粗製石砲	橋	完形	泥岩		90.6	47.9	13.1	59.0
409	18柱	有	314	25%	尖頭劍器	通用外	完形	頁岩		67.6	53.3	13.8	46.6
410	18柱	有	314	25%	二次加工片肉	通用外	完形	頁岩		76.2	37.2	20.3	55.7
411	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	左側刃に掌脱顯著	83.3	42.1	17.3	62.3
412	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		92.5	41.6	8.8	34.7
413	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		104.9	53.0	17.6	120.1
414	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩		114.4	49.7	19.4	118.8
415	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		124.5	48.3	21.6	142.7
416	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		142.8	55.8	26.0	226.0
417	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		118.8	61.4	19.6	115.0
418	18柱	有	314	25%	打製石斧?	通用外	完形	花崗岩	未製品?	113.4	74.3	30.0	329.2
419	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		79.1	43.6	16.8	65.4
420	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
421	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
422	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
423	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
424	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	断片	砂岩	被熱	—	—	—	—
425	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
426	18柱	有	314	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
427	18柱	有	314	25%	断片	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
428	18柱	有	314	25%	磨制石斧	通用外	基部断片	緑色岩		72.4	58.3	29.1	141.1
429	18柱	有	315	25%	磨石	通用外	完形	砂岩	上面部と端部、舞面に敲打痕	167.6	55.4	34.7	437.1
430	19柱	有	315	25%	粗製石砲	橋	完形	砂岩		41.1	59.1	7.7	13.9
431	19柱	有	315	25%	粗製石砲	通用外	完形	泥岩		60.5	51.8	9.7	34.1
432	19柱	有	315	25%	粗製石砲	橋	完形	ホルンフェルス		51.7	77.1	13.0	34.7
433	19柱	有	315	25%	粗製石砲	橋	完形	砂岩		64.8	86.8	14.1	75.2
434	19柱	有	315	25%	粗製石砲	橋	完形	泥岩		99.0	31.5	11.4	30.7
435	19柱	有	315	25%	粗製石砲?	通用外	完形	ホルンフェルス		96.8	35.8	11.1	37.7
436	19柱	有	315	25%	粗製石砲?	通用外	完形	粘土岩		88.6	30.0	7.6	19.9
437	19柱	有	315	25%	粗製石砲?	通用外	完形	砂岩		103.9	40.5	18.2	66.3
438	19柱	有	315	25%	粗製石砲?	通用外	完形	泥岩		107.3	42.6	20.7	104.1
439	19柱	有	315	25%	磨制不明	通用外	完形	泥岩	石碑?	131.9	66.8	11.0	69.2
440	19柱	有	315	25%	擦器	擦器	完形	泥岩		69.4	88.7	19.9	104.3
441	19柱	有	315	25%	二次加工片肉	通用外	完形	砂岩	ガジアリあり	76.1	62.1	17.8	85.9
442	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		89.8	44.3	16.5	59.9
443	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		82.4	36.0	13.6	49.3
444	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		83.7	38.2	16.7	50.3
445	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		91.8	46.8	14.5	56.4
446	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		81.3	51.8	16.5	73.8
447	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		69.7	46.7	11.6	42.4
448	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		101.9	55.8	14.0	92.4
449	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		119.2	6.3	12.7	73.6
450	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		124.2	52.5	23.4	154.0
451	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		112.4	54.9	24.4	131.7
452	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		96.9	48.6	9.2	48.3
453	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		114.8	46.7	15.6	93.1
454	19柱	有	315	25%	打製石斧木製品	通用外	完形	ホルンフェルス		116.7	63.5	15.1	83.4
455	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		113.7	55.2	19.9	116.4
456	19柱	有	315	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		113.9	54.2	21.9	145.6
457	19柱	有	316	25%	粗製石砲	橋	完形	砂岩		58.4	107.1	17.1	98.5
458	19柱	有	316	25%	粗製石砲?	橋	断片	砂岩		73.2	38.7	10.4	32.6
459	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		152.5	52.6	24.1	184.3
460	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩		134.6	57.6	26.5	200.2
461	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部断片	泥岩		—	—	—	—
462	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
463	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
464	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
465	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
466	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
467	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
468	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
469	19柱	有	316	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
470	19柱	有	316	25%	断片	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
471	19柱	有	316	25%	断片	通用外	断片	泥岩		—	—	—	—

番号	造構	画面番号	国版番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
472	19住				打製石斧素材	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
473	19住	有	316	25%	磨石	通用外	完形	砂岩		85.3	67.8	21.3	166.6
474	19住	有	316	50%	磨製石斧	定角式	基部欠	蛇紋岩		61.1	37.2	15.2	53.2
475	19住	有	316	25%	磨製石斧	乳棒状	断片	綠色岩		62.5	40.3	18.4	58.8
476	19住	有	316	25%	磨製石斧	乳棒状	断片	綠色岩		97.5	32.8	24.2	118.6
477	19住	有	316	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部欠	綠色岩		106.6	42.9	31.4	228.3
478	19住	有	316	25%	磨製石斧	乳棒状	断片	綠色凝灰岩	破損面に縦打痕がみられ、再加工の跡跡がある。	79.2	56.6	38.6	225.0
479	20住	有	316	25%	器器	横刃	完形	ホルンフェルス		46.2	75.1	16.9	53.4
480	20住	有	316	25%	器器	横刃	完形	砂岩		56.6	94.3	16.7	100.3
481	20住	有	316	25%	二次加工片	通用外	完形	砂岩		72.4	56.4	18.7	62.9
482	20住	有	316	25%	粗製石砲	縦	完形	砂岩	刃部等耗耗者	118.9	59.9	24.2	144.7
483	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		84.8	49.6	14.5	57.8
484	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		120.0	62.8	16.6	138.5
485	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		94.2	53.9	22.1	104.1
486	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		116.3	54.9	17.4	122.1
487	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		101.4	42.5	15.9	74.8
488	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		125.0	48.7	31.3	197.0
489	20住	有	316	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		124.2	59.2	26.8	195.0
490	20住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
491	20住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
492	20住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
493	20住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
494	20住				打製石斧	通用外	刃部欠	凝灰岩		—	—	—	—
495	20住				剥片	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
496	20住				剥片	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
497	20住	有	316	25%	磨製石斧	乳棒状	断片	緑色岩	被焼	91.3	50.1	45.3	269.0
498	20住	有	316	25%	特殊磨石	通用外	刃部欠	砂岩		102.0	72.8	54.5	387.1
499	21住	有	316	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		79.3	99.5	14.4	80.6
500	21住	有	317	25%	粗製石砲	縦	完形	砂岩		120.6	43.6	13.6	84.8
501	21住	有	317	25%	磨器	横刃	刃部欠	砂岩		103.1	59.4	12.1	77.4
502	22住	有	317	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		56.4	76.9	12.1	34.8
503	22住	有	317	50%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		57.9	80.1	17.4	48.4
504	22住	有	317	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		67.7	102.3	32.9	77.6
505	22住	有	317	25%	削器?	通用外	完形	砂岩	楕円石器の未製品?	110.9	43.8	18.7	89.0
506	22住	有	317	25%	削器	横刃	完形	砂岩		64.5	91.6	12.7	61.7
507	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		85.8	49.2	18.2	63.8
508	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		69.8	42.1	33.3	39.6
509	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		86.2	6.3	19.1	95.1
510	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		100.3	53.8	21.6	135.2
511	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		131.0	42.5	12.7	62.5
512	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		85.2	39.5	14.6	46.6
513	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		121.0	49.6	17.8	115.4
514	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		115.6	51.8	25.1	140.9
515	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		116.0	55.5	17.5	109.7
516	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		131.7	62.8	24.6	169.8
517	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		115.6	55.4	15.6	94.4
518	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		104.2	53.4	15.3	101.0
519	22住	有	317	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		116.6	62.6	13.6	85.0
520	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		149.4	47.2	13.9	118.8
521	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		129.3	50.5	25.3	202.7
522	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		132.3	48.5	19.3	165.9
523	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		118.1	49.3	18.3	130.0
524	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		93.2	53.8	18.4	109.2
525	22住	有	318	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		101.6	64.1	27.2	170.5
526	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
527	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	凝灰岩		—	—	—	—
528	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
529	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
530	22住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
531	22住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—
532	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
533	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
534	22住				剥片	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
535	22住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
536	22住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
537	22住				打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
538	22住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
539	22住	有	318	25%	磨製石斧-敲石	乳棒状	完形	緑色岩	両端部に敲打痕、敲石に使用	119.1	52.3	31.7	348.4
540	24住	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		98.7	49.4	11.3	66.3
541	24住	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		117.6	41.2	16.7	103.5

物 品 番 号	造 機	固 定 番 号	幅 寸	器 種	形 態	残 存 率	石 材	所 見	長 さ (mm)	幅 (mm)	厚 さ (mm)	重 量 (g)
542	26往	有	318	25%	粗製石鉋	横	完形	ホルンフェルス	143.6	48.6	19.5	111.6
543	26往	有	318	25%	粗製石鉋	横	完形	ホルンフェルス	104.5	35.1	8.8	25.2
544	26往	有	318	25%	粗製石鉋	横刃	完形	ホルンフェルス	36.4	82.6	16.1	34.3
545	26往	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	84.4	40.8	11.1	42.4
546	26往	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	133.3	49.1	20.2	114.2
547	26往	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	155.4	54.0	20.1	204.2
548	26往	有	318	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	123.6	47.6	17.4	113.2
549	26往				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
550	26往	有	318	25%	粗製石斧	乳棒状	刃部欠	緑色岩	154.6	52.2	36.4	445.6
551	27往	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	80.0	41.5	10.1	35.0
552	27往	有	318	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	105.9	56.8	9.7	57.9
553	27往	有	318	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	128.1	57.8	31.6	263.8
554	27往				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—
555	27往				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—
556	28往	有	318	25%	粗製石鉋	横	完形	ホルンフェルス	49.8	96.6	8.0	37.2
557	28往	有	319	25%	粗製石鉋	横	完形	ホルンフェルス	55.3	93.5	13.9	81.1
558	28往	有	319	25%	粗製石鉋	横	完形	ホルンフェルス	114.9	56.5	20.0	90.2
559	28往	有	319	25%	削器	横刃	完形	砂岩	55.0	115.0	17.7	104.6
560	28往	有	319	25%	削器	横刃	完形	ホルンフェルス	69.0	100.2	13.8	73.5
561	28往	有	319	25%	削器	横刃	右側欠	砂岩	66.2	69.0	7.9	31.9
562	28往	有	319	25%	削器	横刃	完形	砂岩	61.5	73.9	12.7	60.6
563	28往	有	319	25%	削器	横刃	右側欠	砂岩	61.0	94.0	14.9	80.7
564	28往	有	319	25%	削器	横刃	完形	泥岩	51.0	85.4	15.1	49.6
565	28往	有	319	25%	牙弓刮器	横刃	完形	凝灰岩	36.8	94.7	9.0	27.9
566	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	107.6	38.5	10.8	52.1
567	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	120.1	44.2	15.8	87.4
568	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	113.3	31.7	13.2	52.6
569	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	73.7	28.0	9.3	25.3
570	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	82.9	48.9	13.0	52.1
571	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	91.2	42.4	11.1	49.6
572	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	84.4	49.2	11.8	42.6
573	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	105.6	49.8	9.8	55.0
574	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	97.1	47.0	10.9	0.3
575	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	110.9	51.6	16.6	86.9
576	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	109.1	55.8	16.3	105.5
577	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.2	65.3	16.8	101.4
578	28往	有	319	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	122.4	53.9	21.1	132.6
579	28往	有	320	25%	打製石斧+鉛品	通用外	完形	ホルンフェルス	122.4	52.1	12.5	64.1
580	28往	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	102.2	64.2	14.6	101.8
581	28往	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	68.6	71.5	16.4	122.0
582	28往	有	320	25%	打製石斧+鉛品	通用外	完形	ホルンフェルス	110.5	63.4	15.2	107.7
583	28往	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	142.4	49.3	24.9	207.3
584	28往	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	141.3	56.8	29.1	203.5
585	28往	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	170.2	65.4	27.9	318.4
586	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—
587	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—
588	28往				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—
589	28往				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—
590	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—
591	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—
592	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—
593	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—
594	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—
595	28往				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—
596	28往				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
597	28往				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
598	28往				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
599	28往				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—
600	28往				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—
601	28往				打製石斧	通用外	刃部断片	凝灰岩	—	—	—	—
602	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
603	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
604	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
605	28往				打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—
606	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
607	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
608	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
609	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
610	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—
611	28往				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—

番号	造形	画面 番号	国版 番号	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
612	28住	有	320	25%	直製石斧	不明	断片	緑色麻灰岩	—	25.5	44.8	19.4	18.0
613	29住	有	320	25%	直製石匙	直形	断片	緑色片岩	—	81.5	41.5	16.6	60.2
614	29住	有	320	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
615	29住	有	320	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
616	29住	有	320	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
617	30住	有	320	25%	削器	横刃	完形	滑岩	刃部に摩耗跡有	49.0	77.4	8.2	27.9
618	30住	有	320	50%	研器	通用外	完形	滑灰岩	押圧痕様で刃口状の刀部を整形	72.4	48.7	10.4	46.1
619	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	84.3	62.4	14.5	99.6
620	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	95.5	40.5	14.1	60.1
621	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	106.3	46.4	20.6	114.1
622	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	102.5	55.1	22.8	147.7
623	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	151.6	56.9	24.6	218.4
624	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	169.5	60.3	22.9	280.9
625	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
626	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	—	—	—	—	—
627	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	—	—	—	—	—
628	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
629	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	—	—	—	—	—
630	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
631	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	挫歯	—	—	—	—
632	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
633	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
634	30住	有	320	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
635	30住	有	320	25%	刮削器	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
636	30住	有	320	25%	刮削器	通用外	完形	滑岩	—	—	—	—	—
637	30住	有	320	25%	砾石	通用外	完形	ホルンフェルス	両端部に鋸歯	151.3	43.6	36.5	341.8
638	31住	有	321	50%	直製石匙	横	完形	緑色麻灰岩	—	—	—	—	—
639	31住	有	321	50%	直製石匙	横刃	完形	滑岩	—	—	—	—	—
640	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
641	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
642	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
643	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
644	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	刃部摩耗	—	—	—	—
645	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
646	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
647	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
648	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
649	31住	有	321	50%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
650	31住	有	321	50%	直製石匙	横刃	刃部欠	刃部断片	滑岩	—	—	—	—
651	32住	有	321	50%	刮削器	通用外	完形	ホルンフェルス	—	70.2	35.6	12.4	27.7
652	32住	有	321	50%	刮削器	横	完形	ホルンフェルス	—	41.3	40.3	7.3	9.7
653	32住	有	321	50%	刮削器	横	完形	ホルンフェルス	—	52.3	77.3	15.6	43.9
654	32住	有	321	50%	刮削器	横	完形	ホルンフェルス	—	58.3	79.1	15.6	58.0
655	32住	有	321	25%	直製石匙	横刃	横断片	ホルンフェルス	—	51.9	59.7	12.4	33.6
656	32住	有	321	25%	刮削器	横刃	完形	ホルンフェルス	—	69.1	85.9	19.9	83.9
657	32住	有	321	25%	刮削器	横刃	完形	滑岩	—	45.7	68.2	15.6	47.2
658	32住	有	321	25%	刮削器	横刃	完形	滑岩	—	53.9	85.4	13.4	57.9
659	32住	有	321	25%	刮削器	横刃	完形	滑岩	—	136.7	42.4	13.1	77.0
660	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	113.8	42.4	12.2	61.3
661	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	74.4	44.9	19.8	68.7
662	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	95.2	46.7	23.8	90.3
663	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	98.1	56.4	19.3	101.7
664	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	103.2	53.1	20.1	136.8
665	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	95.1	51.9	21.5	103.1
666	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	91.1	58.7	15.6	70.9
667	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	109.0	47.6	21.9	110.3
668	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	106.8	54.9	20.1	123.0
669	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	120.0	55.9	17.4	109.5
670	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	完形	滑岩	—	132.1	54.5	21.1	163.9
671	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
672	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	—	—	—	—	—
673	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	滑岩	—	—	—	—	—
674	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
675	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
676	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	刃部断片	滑岩	—	—	—	—	—
677	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部断片	滑岩	—	—	—	—	—
678	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	断片	滑岩	—	—	—	—	—
679	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	断片	滑岩	—	—	—	—	—
680	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—
681	32住	有	321	25%	打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—

重物 番号	造構	画面 番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
682	32住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
683	32住			打製石斧	通用外	断片	凝灰岩	—	—	—	—		
684	32住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
685	32住			打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	—	—	—	—		
686	32住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
687	32住			断片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
688	32住			打製石斧	通用外	断片	凝灰岩	—	—	—	—		
689	32住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
690	32住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
691	32住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
692	32住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—		
693	32住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—		
694	32住			断片	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
695	32住			断片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
696	32住			断片	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—		
697	32住			磨製石斧→断片	乳棒状	完形	凝灰岩	磨製石斧刃部断片を断片に再判別	—	—	—	—	
698	33住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
699	33住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
700	33住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—		
701	33住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
702	33住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—		
703	33住			打製石斧	通用外	完形	砂岩	刃部削刮面	—	—	—	—	
704	33住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
705	33住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
706	33住			断片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
707	33住			断片	通用外	断片	砂岩	抗熱	—	—	—	—	
708	33住			断片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
709	33住			磨製石斧	乳棒状	绿色凝灰岩	—	—	—	—	—	—	
710	33住			磨製石斧	乳棒状	完形	绿色凝灰岩	刃部破損後も破損面を研磨して磨製石斧として再生	—	—	—	—	
711	34住	有	322	25%	粗製石砲	横	袖み部欠	ホルンフェルス	74.7	88.8	12.8	67.0	
712	34住	有	322	25%	粗製石砲?	縱	端部欠	砂岩	113.0	42.8	8.6	42.0	
713	34住	有	322	25%	鏡	横刃	完形	頁岩	91.4	45.1	13.7	39.7	
714	34住	有	322	25%	鏡	横刃	完形	ホルンフェルス	53.5	75.0	16.9	55.9	
715	34住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	81.0	38.1	9.2	24.3	
716	34住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	118.8	41.4	15.9	77.0	
717	34住	有	322	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	125.0	51.1	14.6	90.9	
718	34住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	146.6	51.5	26.2	210.6	
719	34住	有	322	25%	打製石斧未製品?	通用外	完形	ホルンフェルス	165.4	96.6	19.4	399.5	
720	34住			打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	—	—	—	—		
721	34住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—		
722	34住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—		
723	34住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—		
724	34住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
725	34住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
726	34住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—		
727	34住			打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
728	34住			打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—		
729	34住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	質熱	—	—	—	—	
730	34住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—		
731	34住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
732	34住			断片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
733	34住			断片	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
734	34住			磨製石斧	通用外	刃部断片	绿色凝灰岩	—	—	—	—		
735	34住	有	322	25%	磨製石斧	定角式	基部欠	绿色岩	定角式になっているが、作り方は最打整形と研磨である。	119.4	40.0	26.6	213.4
736	34住	有	322	25%	磨製石斧	乳棒状	完形	绿色岩	114.1	42.1	29.8	209.5	
737	34住	有	322	25%	鏡	通用外	完形	砂岩	155.6	61.8	36.5	510.3	
738	34住	有	322	25%	断片	通用外	断片	砂岩	打製石斧素材断片	—	—	—	—
739	39住	有	322	25%	粗製石砲	横	右側欠	ホルンフェルス	54.8	51.2	7.0	16.3	
740	39住	有	322	25%	粗製石砲	横	袖み部欠	ホルンフェルス	43.0	69.9	9.0	25.3	
741	39住	有	322	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	53.7	73.7	9.6	33.8	
742	39住	有	322	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス	60.3	65.6	15.0	40.2	
743	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	研磨されている。	75.2	47.2	9.5	43.6
744	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	95.2	44.0	10.6	51.0	
745	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	95.3	32.5	11.1	37.3	
746	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	頁岩	刃部削刮面	99.5	58.4	14.1	87.4
747	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	106.0	61.9	11.8	100.8	
748	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	101.3	48.7	13.1	70.0	
749	39住	有	322	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	107.3	45.9	15.1	65.6	
750	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	118.4	43.3	16.8	73.6	

遺物 番号	遺構	画面 番号	規格 寸法	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
751	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	93.5	62.7	13.9	90.1	
752	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.4	48.0	21.8	119.8	
753	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	緑色岩	102.8	40.9	20.9	94.5	
754	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	97.1	51.7	19.7	113.1	
755	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	97.1	55.3	11.7	69.1	
756	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	94.6	46.7	12.0	62.1	
757	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	117.2	43.4	16.9	108.3	
758	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	116.9	42.6	17.7	117.0	
759	39住	有	323	25%	打製石斧木柄留	通用外	完形	ホルンフェルス	134.8	53.5	14.8	0.5	
760	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	132.5	58.8	14.4	103.1	
761	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	137.9	55.9	19.1	153.3	
762	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	151.5	59.7	23.6	223.6	
763	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	148.3	57.0	23.5	209.9	
764	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	158.1	51.1	16.8	114.0	
765	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	145.2	54.2	20.5	212.2	
766	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	153.9	49.9	26.0	214.9	
767	39住	有	323	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	210.3	73.8	26.5	367.7	
768	39住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
769	39住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
770	39住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
771	39住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
772	39住	有	323	25%	磨製石斧・鐵石	通用外	完形	褐色岩	95.6	44.8	26.2	156.7	
773	39住	有	323	25%	磨製石斧	通用外	基部欠	綠色岩	122.3	58.2	35.5	376.0	
774	35住				打製石斧	通用外	断片	—	—	—	—	—	
775	35住				打製石斧	通用外	完形	—	—	—	—	—	
776	35住				打製石斧	通用外	完形	—	—	—	—	—	
777	35住				打製石斧	通用外	刃部欠	—	—	—	—	—	
778	36住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
779	36住	有	323	25%	骨製石匙	横	完形	砂岩	90.5	150.8	17.8	213.7	
780	37住				打製石斧?	通用外	断片	—	—	—	—	—	
781	37住				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—	
782	37住				打製石斧	通用外	基部断片	凝灰岩	—	—	—	—	
783	37住	有	324	56%	骨製石匙	定角式	完形	緑色岩	74.3	35.2	15.1	57.6	
784	38住				刮器	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	
785	38住				刮器	横刃	完形	砂岩	—	—	—	—	
786	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
787	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
788	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
789	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
790	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
791	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
792	38住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
793	38住				打製石斧	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—	
794	38住				刮片	通用外	完形	ひじ岩	—	—	—	—	
795	38住				打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	
796	38住				骨製石匙	通用外	断片	凝灰岩	—	—	—	—	
797	40住				打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	—	—	—	—	
798	40住				粗製石匙	縦	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
799	40住				燧石	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	
800	41住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
801	41住				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—	
802	41住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
803	41住				燧石	通用外	完形	凝灰岩	—	—	—	—	
804	41住				骨製石斧	柳柳状	刃部断片	緑色岩	—	—	—	—	
805	42住	有	324	50%	石器	縦刃	完形	貝殻?	89.2	26.1	7.4	15.4	
806	42住	有	324	25%	粗製石匙	縦	完形	ホルンフェルス	109.3	40.8	11.6	47.2	
807	42住				刮器	横刃	完形	泥岩	—	—	—	—	
808	42住				打製石斧	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—	
809	42住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
810	42住				打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—	
811	42住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
812	42住				打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	
813	42住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
814	42住	有	324	50%	磨製石斧・鐵石	定角式	完形	蛇紋岩	刀部に範打痕がみられ、鐵石として使用。	103.1	58.1	26.9	255.2
815	43住	有	324	50%	圓錐石器	外刃	完形	黒鉄石	—	25.9	15.1	10.8	3.3
816	43住	有	324	25%	石器	縦	右側欠	寶石岩	62.3	59.6	13.2	31.7	
817	43住	有	324	25%	素刃器	横刃	定形	砂岩	48.5	77.5	12.5	45.2	
818	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	86.0	42.7	12.0	54.0	
819	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	101.8	44.0	18.1	97.6	
820	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	101.9	42.9	15.2	63.8	

遺物 番号	遺構	画面 番号	国版 番号	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
821	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		83.2	54.4	11.4	72.4	
822	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		109.6	59.0	13.4	104.4	
823	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	右側刃部近に抉り有り	108.8	59.7	10.1	67.2	
824	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		134.4	52.1	15.7	85.3	
825	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		141.0	61.1	22.8	228.4	
826	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		109.9	42.4	24.3	137.9	
827	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		100.8	53.0	19.9	121.3	
828	43住	有	324	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		99.3	49.5	18.7	106.9	
829	43住				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩		—	—	—	—	
830	43住				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—	
831	43住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
832	43住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
833	43住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—	
834	43住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	
835	43住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—	
836	43住				打製石斧	通用外	左側欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	
837	43住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	
838	43住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
839	43住				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩		—	—	—	—	
840	43住				打製石斧等散品	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—	
841	43住	有	324	25%	禮性石器	通用外	完形	ホルンフェルス		100.9	130.7	60.0	618.5	
842	43住	有	324	25%	禮性石器	乳棒状	刃部断片	緑色凝灰岩	被熱	87.2	39.0	41.6	148.3	
843	43住	有	324	25%	禮性石器	乳棒状	刃部欠	緑色凝灰岩		170.7	53.7	42.3	585.6	
844	44住				磨器	横刃直刃	完形	泥岩	やや斷面の刃部	—	—	—	—	
845	44住				磨器	横刃直刃	完形	泥岩		—	—	—	—	
846	44住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—	
847	44住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—	
848	44住				打製石斧	通用外	完形	砂岩	基部欠後再刃利痕	—	—	—	—	
849	44住				打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	
850	44住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
851	44住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
852	44住				磨石	通用外	完形	砂岩	周辺部に敲打痕	—	—	—	—	
853	45住				磨器	横刃直刃	完形	砂岩		—	—	—	—	
854	45住				打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—	
855	45住				磨器	打製石斧	通用外	完形	緑色凝灰岩	破損した磨製石斧を再加工してもう一度磨製石斧にしている。	—	—	—	—
856	46住				粗製石器	横	完形	砂岩		—	—	—	—	
857	46住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	
858	46住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—	
859	46住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—	
860	46住				磨器	横刃直刃	完形	砂岩		—	—	—	—	
861	46住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—	
862	47住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
863	47住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	被熱	—	—	—	—	
864	47住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
865	47住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	被熱	—	—	—	—	
866	47住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—	
867	48住	有	325	50%	石器	横	完形	ホルンフェルス		48.5	69.0	10.2	24.3	
868	48住	有	325	25%	粗製石器	横	完形	泥岩		59.6	96.5	16.2	67.9	
869	48住	有	325	25%	粗製石器	横	左側欠	ホルンフェルス		79.9	81.3	16.6	77.8	
870	48住	有	325	25%	粗製石器	横	完形	砂岩		70.4	92.4	20.2	120.4	
871	48住	有	325	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス		96.7	44.4	11.3	45.9	
872	48住	有	325	25%	粗製石器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		80.2	125.6	13.6	104.1	
873	48住	有	325	25%	磨器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		84.2	79.5	10.5	70.1	
874	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		101.1	44.1	9.5	49.9	
875	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		125.3	49.4	14.6	76.8	
876	48住	有	325	25%	磨器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		41.2	88.9	17.7	68.2	
877	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		90.1	48.6	13.4	56.5	
878	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		89.7	54.7	20.2	108.0	
879	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		120.9	52.8	22.0	150.4	
880	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		111.4	51.7	20.9	152.0	
881	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		112.9	57.8	22.7	121.7	
882	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		118.6	53.2	19.6	129.8	
883	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		120.5	54.1	20.3	131.1	
884	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		118.8	55.2	19.3	150.1	
885	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		128.5	68.6	24.0	225.9	
886	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		146.1	55.2	19.8	169.5	
887	48住	有	325	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		128.0	60.9	21.0	137.5	
888	48住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—	
889	48住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—	
890	48住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—	

遺物 番号	遺構 名	画面 番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
891	48住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
892	48住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
893	48住			打製石斧	通用外	端部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
894	48住			二次加工片	通用外	端部	砂岩	—	—	—	—	
895	48住	有	326	50%	小型磨製石斧	定角式	完形	緑色風灰岩	57.0	22.4	9.3	19.7
896	48住	有	326	25%	磨製石斧	乳棒状	断片	緑色岩	59.2	41.5	15.1	54.1
897	49住	有	326	50%	石耙	横	完形	ホルンフェルス	40.3	43.0	9.2	11.6
898	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	緑色風灰岩	55.9	67.6	11.7	46.7
899	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	砂岩	90.6	37.1	10.3	34.6
900	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	ホルンフェルス	115.2	32.4	12.0	29.0
901	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	ホルンフェルス	105.0	45.6	17.7	52.9
902	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	緑色風灰岩	96.5	48.8	9.4	37.2
903	49住	有	326	25%	石耙	横	完形	砂岩	107.7	45.8	12.7	45.2
904	49住	有	326	25%	刮削器	通用外	完形	ホルンフェルス	114.9	43.2	13.2	63.5
905	49住	有	326	25%	石耙?	横	完形	ホルンフェルス	109.2	35.9	8.0	33.8
906	49住	有	326	25%	石耙?	横	完形	ホルンフェルス	127.4	41.5	14.2	70.4
907	49住	有	326	25%	刮削器	横刃凹刃	完形	砂岩	109.6	64.5	8.4	47.0
908	49住	有	326	25%	刮削器	横刃直刃	完形	砂岩	52.2	122.3	17.3	78.7
909	49住	有	326	25%	刮削器	横刃直刃	完形	砂岩	56.7	111.4	13.0	80.6
910	49住	有	326	25%	刮削器	横刃直刃	完形	砂岩	51.0	111.6	11.9	65.7
911	49住	有	326	25%	刮削器	横刃直刃	完形	砂岩	51.7	95.7	13.6	74.3
912	49住	有	326	25%	刮削器	横刃直刃	完形	砂岩	50.3	109.9	13.3	55.0
913	49住	有	326	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	101.7	45.0	21.7	106.5
914	49住	有	326	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	110.2	58.1	16.9	123.1
915	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	緑色風灰岩	122.4	52.3	14.9	105.5
916	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	113.1	47.8	13.9	89.1
917	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	110.5	51.7	18.5	121.7
918	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.9	47.8	13.6	73.7
919	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	112.2	47.4	16.5	100.4
920	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	112.4	47.5	23.0	129.1
921	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	98.1	43.0	19.3	86.6
922	49住	有	327	25%	彫刻石器?	通用外	完形	砂岩	104.2	50.9	24.5	125.0
923	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	113.6	55.0	19.1	142.6
924	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	92.8	52.9	10.7	60.5
925	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	117.6	56.8	20.4	117.1
926	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	107.6	51.2	17.0	106.8
927	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	111.0	60.3	21.7	149.3
928	49住	有	327	25%	打製石斧?	乳状	完形	ホルンフェルス	94.4	54.7	15.1	87.9
929	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	97.7	48.5	24.8	120.0
930	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	113.4	47.0	23.8	143.4
931	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	110.9	41.2	18.1	92.6
932	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	116.9	49.9	19.3	131.9
933	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	121.8	53.0	11.0	69.8
934	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	96.5	55.1	18.4	91.3
935	49住	有	327	25%	打製石斧	刃部欠	ホルンフェルス	126.6	57.6	15.3	117.2	
936	49住	有	327	25%	打製石斧-木製品	通用外	完形	ホルンフェルス	121.1	69.1	20.6	191.1
937	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	99.2	54.6	22.1	131.6
938	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ひらび	106.1	58.3	26.2	167.1
939	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	113.8	58.9	21.6	129.7
940	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	130.9	59.3	23.6	154.3
941	49住	有	327	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	143.3	53.2	17.2	163.1
942	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	117.4	65.8	23.2	193.3
943	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	137.6	58.0	23.2	198.5
944	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	140.4	58.8	23.2	155.5
945	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	134.4	54.0	21.3	168.2
946	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	117.1	53.1	25.9	198.4
947	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	161.1	55.6	27.5	241.2
948	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	145.8	49.7	25.3	224.0
949	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	151.1	59.2	28.3	276.5
950	49住	有	328	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	101.1	68.4	19.7	183.3
951	49住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
952	49住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
953	49住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
954	49住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
955	49住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
956	49住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
957	49住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
958	49住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
959	49住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
960	49住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—	

遺物 番号	遺構 番号	画面 番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
961	49住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—		
962	49住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—		
963	49住			打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—		
964	49住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
965	49住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
966	49住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—		
967	49住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
968	49住			打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—		
969	49住			打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
970	49住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—		
971	49住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
972	49住	有	328	25%	磨石	通用外	定形	緑色灰岩	鏡面に磨打痕	110.5	33.8	35.8	152.5
973	49住	有	328	50%	磨製石斧	通用外	定形	緑色岩	若製石斧の断片を再利用	63.4	25.5	10.7	26.0
974	49住	有	328	25%	磨製石斧	通用外	定形	緑色灰岩	刃部破損した磨製石斧を再利用	99.3	41.1	23.4	129.1
975	50住	有	328	25%	粗製石砲	縦	定形	ホルンフェルス	—	125.4	53.0	22.3	132.8
976	50住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	小型	—	—	—	—	
977	50住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
978	50住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
979	50住			打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—	—	
980	50住	有	328	25%	大型刃器	通用外	定形	砂岩	—	100.5	107.5	27.8	335.3
981	50住	有	328	50%	磨製石斧	定角式	定形	蛇紋岩	小型	51.4	27.5	9.8	26.1
982	51住			断片	通用外	定形	砂岩	—	—	—	—	—	
983	51住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
984	51住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	—	
985	51住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—	—	
986	51住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—	
987	51住	有	328	25%	打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	138.1	33.5	18.6	120.2
988	51住	有	328	25%	打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	120.4	52.1	22.4	156.9
989	51住	有	328	50%	磨製石斧	定角式	定形	蛇紋岩	—	43.0	17.6	8.8	11.8
990	51住	有	328	50%	磨製石斧	定角式	定形	蛇紋岩	—	49.6	33.1	12.3	30.9
991	51住	有	328	50%	磨製石斧	定角式	定形	蛇紋岩	—	81.4	37.5	12.9	71.8
992	51住	有	329	50%	磨製石斧	定角式	定形	蛇紋岩	—	88.8	38.1	14.9	86.1
993	51住	有	329	25%	磨製石斧	乳棒状	定形	緑色岩	—	103.8	30.2	14.5	64.0
994	51住	有	329	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部欠	緑色岩	—	112.0	32.5	17.6	103.1
995	51住	有	329	25%	粗製石砲	縦	定形	砂岩	—	95.9	51.7	12.7	75.1
996	52住			打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	—	—	—	—	
997	52住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
998	52住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
999	52住			打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	—	—	—	—	
1000	52住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1001	52住			打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—	—	
1002	52住	有	329	25%	研器	横刃	定形	砂岩	—	77.0	96.0	19.3	158.4
1003	52住	有	329	50%	磨製石斧	定角式	基部欠	蛇紋岩	—	29.3	28.7	8.2	11.6
1004	52住	有	329	25%	磨製石斧	乳棒状	基部欠	緑色灰岩	—	115.3	43.8	28.0	240.9
1005	53住			粗製石砲	縦	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1006	53住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1007	53住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1008	53住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1009	53住			打製石斧	通用外	定形	泥岩	—	—	—	—	—	
1010	53住			打製石斧	通用外	定形	砂岩	—	—	—	—	—	
1011	53住			打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	—	—	—	—	—	
1012	53住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—	
1013	53住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1014	53住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	—	
1015	53住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—	—	
1016	53住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩	—	—	—	—	—	
1017	53住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1018	54住			粗製石砲	横	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1019	54住			打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—	—	
1020	54住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1021	54住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1022	54住			研挫	通用外	定形	砂岩	—	—	—	—	—	
1023	55住			打製石斧	通用外	刃部断片	ひじ岩	—	—	—	—	—	
1024	55住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	—	
1025	56住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1026	56住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1027	56住			打製石斧	通用外	定形	ホルンフェルス	—	—	—	—	—	
1028	58住	有	329	25%	粗製石砲	横	定形	ホルンフェルス	—	55.7	105.5	17.9	64.2
1029	58住			打製石斧	通用外	断片	泥灰岩	—	—	—	—	—	
1030	58住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	—	

番号	造構	画面 番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
1031	58住			打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—		
1032	58住			打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—		
1033	60住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1034	60住			打製石斧	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—		
1035	62住			粗製石砲	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1036	62住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—		
1037	62住			打製石斧	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—		
1038	62住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1039	62住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1040	62住			素面削器	通用外	完形	ホルンフェルス	刃部に微細剥離	—	—	—	—	
1041	63住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1042	63住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	刃部に微細剥離	—	—	—	—	
1043	63住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	刃部縁辺が彫り込んでいる。	—	—	—	—	
1044	64住	有	329	25%	削器	横刃直刃	完形	砂岩	65.7	109.6	14.8	101.1	
1045	64住	有	329	25%	刮削器	横刃凹刃	完形	砂岩	86.7	125.5	17.6	167.3	
1046	64住	有	329	25%	打製石斧?	通用外	下履部欠	砂岩	113.9	39.0	10.9	44.9	
1047	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	102.4	41.4	10.2	44.8	
1048	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	基部欠	凝灰岩	101.1	70.4	22.8	123.1	
1049	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	86.4	49.7	15.2	69.8	
1050	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	93.6	48.5	15.5	83.8	
1051	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	100.9	52.6	12.9	88.8	
1052	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	87.2	45.9	16.2	61.0	
1053	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	96.0	49.6	13.8	74.5	
1054	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	109.1	69.6	25.1	232.4	
1055	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	119.1	51.5	17.5	117.8	
1056	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	112.6	45.9	14.7	89.6	
1057	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	125.8	54.7	28.1	254.5	
1058	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	134.3	64.7	20.8	138.5	
1059	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	146.3	62.4	19.2	172.5	
1060	64住	有	329	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	148.1	58.5	18.7	189.6	
1061	64住	有	330	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	132.1	49.0	13.8	89.9	
1062	64住	有	330	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	112.9	54.9	14.8	99.6	
1063	64住	有	330	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	90.5	56.8	13.2	77.0	
1064	64住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—		
1065	64住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1066	64住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1067	64住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—		
1068	64住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1069	64住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1070	64住	有	330	25%	削製石斧	通用外	完形	綠色顕灰岩	破損した削製石斧を再利用	98.3	40.0	19.5	106.6
1071	64住	有	330	50%	磨製石斧	片刃	完形	綠色顕灰岩	破損した磨製石斧を再利用	74.0	36.1	16.8	62.4
1072	64住			粗製石砲	横	刃部欠	砂岩	—	—	—	—		
1073	64住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1074	64住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1075	64住			器蓋不明	通用外	断片	砂岩	打製石斧の断片を再利用	—	—	—	—	
1076	64住	有	330	25%	粗製石砲	横(内凹刃)	完形	砂岩	154.2	158.5	34.6	521.7	
1077	64住	有	330	25%	磨製石斧	乳棒状	基部欠	緑色顕灰岩	105.5	55.6	41.8	385.5	
1078	64住			磨製石斧	定角式?	真面欠	鰐鱗岩	被熱による破損剥離	—	—	—	—	
1079	65住			石砲	縦	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1080	65住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1081	65住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1082	65住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1083	65住			打製石斧未製作?	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1084	65住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1085	65住			磨石	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—		
1086	66住			剥片	通用外	完形	砂岩	邊部に敲打痕	—	—	—	—	
1087	67住			削器	横刃	完形	泥岩	打製石斧製作時の剥片か?	—	—	—	—	
1088	67住			二次加工剥片	通用外	完形	ホルンフェルス	打製石斧の剥片を再加工	—	—	—	—	
1089	67住			打製石斧	通用外	端部欠	砂岩	—	—	—	—		
1090	67住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1091	67住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1092	67住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1093	67住			磨石	通用外	完形	ホルンフェルス	邊部に敲打痕	—	—	—	—	
1094	67住			磨製石斧	乳棒状	断片	緑色顕灰岩	被熱	—	—	—	—	
1095	67住			磨製石斧	乳棒状	基部欠	緑色顕灰岩	被熱	—	—	—	—	
1096	68住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1097	68住			打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—		
1098	68住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—		
1099	68住			打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—		
1100	68住			打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—		

重物 番号	造構	画面 番号	幅尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
1101	68住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
1102	68住			磨製石斧	乳棒状	刃部欠	緑色岩	刃部被削後再加工して再利用している。	—	—	—	—
1103	68住			磨石	通用外	端部欠	砂岩	上面部と側面に磨打痕集中	—	—	—	—
1104	69住	右 330	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		52.1	82.3	10.8	33.0
1105	69住	右 330	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		68.6	94.8	12.1	37.9
1106	69住			削器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1107	69住			削器	横刃内刃	完形	砂岩		—	—	—	—
1108	69住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1109	69住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1110	69住			打製石斧	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
1111	69住			单角锥	通用外	完形	花崗岩	自然端	—	—	—	—
1112	71住			削器	横刃	完形	砂岩		—	—	—	—
1113	71住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1114	71住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1115	72住			打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1116	72住			打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1117	72住			打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1118	72住			礪画片	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1119	73住			打製石斧	通用外	完形	砂岩	刃部鋸刃に刃溶れ剥離	—	—	—	—
1120	73住			打製石斧	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
1121	73住			打製石斧未製品?	通用外	断片	ホルンフェルス	礪器の可能性あり	—	—	—	—
1122	70住	右 330	25%	削器	横刃	完形	砂岩		60.5	90.2	15.4	75.6
1123	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		84.5	43.7	9.8	41.2
1124	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		97.5	53.2	25.0	124.1
1125	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		103.8	56.4	21.7	107.3
1126	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩		109.4	43.2	11.0	57.0
1127	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		133.5	66.6	21.3	207.8
1128	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		162.2	70.8	16.8	241.9
1129	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		166.5	68.1	14.2	185.9
1130	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		176.8	75.1	28.0	347.9
1131	70住	右 330	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		133.3	61.6	24.7	218.1
1132	70住	右 330	25%	削器	通用外	上端部欠	泥岩	右端部が礪曲状。打製石斧の破損品を再加上している一部に被熱の前跡あり。下端部無。	96.2	58.6	12.2	79.9
1133	70住			打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1134	70住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1135	70住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1136	70住			打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
1137	70住			打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1138	74住	右 331	25%	粗製石砲	横	刃部欠	ホルンフェルス		73.3	69.8	14.3	81.1
1139	74住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	砂岩		53.9	90.1	13.5	51.7
1140	74住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	砂岩		66.2	78.7	15.4	69.6
1141	74住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	砂岩		76.4	93.0	12.8	103.2
1142	75住	右 331	25%	削器	横刃直刃	右側欠	砂岩		49.8	69.3	10.2	42.0
1143	75住	右 331	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		125.7	44.9	13.2	80.5
1144	75住	右 331	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部欠	緑色斑状岩	基部欠後も再利用	131.0	49.6	36.6	362.4
1145	76住	右 331	25%	粗製石砲	横	完形	凝灰岩		62.2	75.9	10.7	40.7
1146	76住	右 331	25%	粗製石砲	横	完形	砂岩		53.9	75.7	15.3	59.1
1147	76住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		48.3	65.4	22.1	72.4
1148	76住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	砂岩		49.5	119.9	7.0	52.6
1149	76住	右 331	25%	削器	横刃直刃	完形	泥岩		102.4	51.5	15.0	75.3
1150	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		120.6	48.3	13.0	77.3
1151	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		108.4	54.2	20.9	133.8
1152	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		127.6	61.9	17.7	144.5
1153	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩		143.0	53.7	22.6	191.9
1154	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩		71.1	43.0	21.6	69.2
1155	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		69.6	48.5	16.2	62.2
1156	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		84.0	50.6	24.6	116.7
1157	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		75.2	51.3	20.1	67.6
1158	76住	右 331	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩		89.9	56.0	17.0	82.1
1159	76住	右 331	25%	磨石	通用外	完形	砂岩	明神部に鉛打痕あり	70.3	74.4	22.6	145.3
1160	77住	右 331	25%	石墨	通用外	完形	ホルンフェルス		64.7	35.5	9.3	19.2
1161	77住	右 331	25%	粗製石砲	横	完形	ホルンフェルス		111.8	43.4	8.4	37.7
1162	77住			削器	横刃直刃	完形	泥岩		—	—	—	—
1163	77住			打製石斧	通用外	完形	泥岩	断片を再利用	—	—	—	—
1164	77住			打製石斧	通用外	基部断片	泥岩		—	—	—	—
1165	77住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1166	77住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1167	77住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1168	77住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1169	77住			打製石斧	通用外	完形	砂岩	刃部欠後、再加工して再利用	—	—	—	—
1170	77住			打製石斧	通用外	完形	泥岩		—	—	—	—

番号	遺構	画面	国版番号	縮尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
1171	77住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1172	77住				磨石？	通用外	完形	緑色岩	両側刃に截打痕明瞭	—	—	—	—
1173	77住				磨製石斧	乳棒状	完形	緑色岩		—	—	—	—
1174	78住	右	332	25%	粗製石器	横	完形	砂岩	刃部断面状	56.0	92.4	11.8	47.0
1175	78住				打製石斧	通用外	刃部外	ホルンフェルス		—	—	—	—
1176	78住				打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1177	78住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1178	79住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—
1179	79住				打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1180	80住				打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1181	81住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1182	82住				刮器	横刃直刃	完形	砂岩	刃部擦耗著		—	—	—
1183	82住				刮器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1184	82住				打製石斧	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
1185	82住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1186	82住				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
1187	82住				刮片	通用外	左側欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
1188	82住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1189	82住				磨製石斧	角点式	断片	蛇紋岩	破損跡著		—	—	—
1190	83住	右	332	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス		105.4	88.4	14.0	136.4
1191	83住	右	332	25%	刮器	横刃直刃	完形	砂岩		76.6	112.3	26.4	179.8
1192	83住				打製石斧	通用外	断片	砂岩		—	—	—	—
1193	83住				打製石斧	通用外	断片	緑色斑状岩		—	—	—	—
1194	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	刮器の可能性あり	131.8	58.6	10.4	68.9
1195	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		78.9	43.4	11.1	41.7
1196	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		92.8	58.6	20.6	111.6
1197	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	黒灰岩		89.1	36.0	17.0	65.0
1198	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		100.5	56.9	16.6	89.0
1199	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		126.7	48.9	14.9	99.9
1200	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		105.6	51.4	39.4	94.0
1201	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		104.9	32.7	14.7	65.8
1202	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		99.2	42.5	14.9	67.8
1203	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	黒灰岩		99.1	41.2	18.1	81.3
1204	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		112.5	46.7	18.0	108.5
1205	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		106.4	61.2	20.7	145.7
1206	83住	右	332	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩		167.1	79.2	30.0	400.1
1207	83住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1208	83住				打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩		—	—	—	—
1209	83住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1210	83住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1211	83住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1212	83住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1213	83住				打製石斧	通用外	基部断片	黒灰岩		—	—	—	—
1214	83住				打製石斧	通用外	基部断片	緑色片岩		—	—	—	—
1215	83住				打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1216	83住				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
1217	84住	右	332	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス		39.9	76.6	7.1	19.6
1218	84住	右	332	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス		136.5	47.4	13.8	70.7
1219	84住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1220	84住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—
1221	84住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1222	84住				打製石斧	通用外	刃部断片	砂岩		—	—	—	—
1223	84住				打製石斧	通用外	完形	砂岩	刃端剥落著		—	—	—
1224	84住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1225	84住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1226	84住				打製石斧	通用外	刃部外	ホルンフェルス		—	—	—	—
1227	84住				打製石斧未製品？	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
1228	84住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1229	84住				磨製石斧	片刃状	完形	緑色斑状岩	小型	—	—	—	—
1230	85住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1231	85住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1232	85住				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩		—	—	—	—
1233	85住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1234	86住				打製石斧	通用外	基部断片	緑色片岩		—	—	—	—
1235	86住				打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス		—	—	—	—
1236	87住				刮器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス		—	—	—	—
1237	87住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—
1238	87住				打製石斧	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—
1239	87住				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩		—	—	—	—
1240	87住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス		—	—	—	—

遺物 番号	遺構 名	画面 番号	幅尺	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)		
1241	87住			打製石斧	通用外	完形	砂岩		—	—	—	—		
1242	87住			磨製石斧	乳棒状	刃部断片	褐色麻灰岩	破損した磨製石斧を再研磨している。	—	—	—	—		
1243	88住			石器	通用外	完形	ホルンフェルス	打製石斧の断片を再加工。	—	—	—	—		
1244	88住			石器	通用外	断片	褐色麻灰岩	主面部に打撲痕が集中	—	—	—	—		
1245	89住	有	332	25%	粗製石器	縦	完形	砂岩	130.5	48.4	13.8	63.9		
1246	89住	有	332	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス	110.9	45.2	9.9	45.3		
1247	89住	有	332	25%	粗製	通用外	完形	砂岩	66.7	46.6	13.9	73.6		
1248	89住	有	332	25%	粗製	通用外	完形	砂岩	49.2	103.3	17.6	84.6		
1249	89住	有	333	25%	粗製石器	縦	完形	ホルンフェルス	85.6	48.0	20.0	60.9		
1250	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	91.4	57.2	25.4	147.5		
1251	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	124.8	55.8	22.9	144.6		
1252	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	111.0	44.5	11.7	68.9		
1253	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	107.1	47.2	13.3	80.3		
1254	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	117.1	44.4	14.2	73.5		
1255	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	88.6	37.7	16.8	67.8		
1256	89住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	103.4	41.1	16.1	71.2		
1257	89住			打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1258	89住			打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1259	90住	有	333	25%	打製石斧	部分破損	完形	砂岩	刃部表面に研磨跡あり		114.6	43.4	23.1	125.9
1260	90住			打製石斧	通用外	刃部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1261	90住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1262	92住			刮削器	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—			
1263	92住			打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	—	—	—	—			
1264	92住			打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1265	93住			刮削器	通用外	完形	泥岩	—	—	—	—			
1266	93住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1267	95住	有	333	25%	粗製石器	縦	完形	ホルンフェルス	108.9	41.2	12.3	61.6		
1268	95住	有	333	25%	粗製石器	横	完形	ホルンフェルス	89.7	66.8	15.3	76.7		
1269	95住	有	333	25%	磨製石器	通用外	完形	ホルンフェルス	100.7	49.9	21.1	122.4		
1270	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	103.2	32.9	10.3	40.0		
1271	95住	有	333	25%	刮削器?	通用外	基部欠	ホルンフェルス	106.2	37.8	10.8	50.8		
1272	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	小型	ホルンフェルス	81.3	35.7	11.1	33.6		
1273	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	97.6	77.0	17.6	123.7		
1274	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	92.9	55.6	19.3	108.4		
1275	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	102.7	52.5	11.5	75.8		
1276	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	砂岩	—	—	—	—			
1277	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	91.6	50.6	9.6	46.3		
1278	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	113.3	38.1	19.7	103.2		
1279	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	87.2	40.0	16.8	66.3		
1280	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	84.9	47.9	17.5	71.0		
1281	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	112.4	49.9	12.3	70.8		
1282	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	115.4	6.3	18.6	114.2		
1283	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	132.6	56.0	19.4	145.2		
1284	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	111.8	56.4	15.4	102.8		
1285	95住	有	333	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	119.2	44.0	17.2	79.3		
1286	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.6	56.4	20.9	127.1		
1287	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	132.5	49.1	17.1	138.0		
1288	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	120.3	59.8	20.0	153.0		
1289	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	128.7	54.4	21.0	140.4		
1290	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	119.6	68.9	16.8	156.0		
1291	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	114.0	62.4	11.6	95.3		
1292	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	142.7	60.7	27.7	216.6		
1293	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	140.7	53.2	13.4	117.0		
1294	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	砂岩	146.5	54.2	23.4	151.6		
1295	95住	有	334	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	ホルンフェルス	124.6	62.1	24.1	215.3		
1296	95住			打製石斧	通用外	基部欠	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1297	95住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1298	95住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1299	95住			打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—			
1300	95住	有	334	25%	磨製石斧	乳棒状	基部断片	緑色岩	48.8	30.2	23.6	43.7		
1301	95住	有	334	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部断片	緑色岩	68.2	45.8	29.4	117.9		
1302	95住	有	334	25%	磨製石斧	乳棒状	刃部断片	緑色岩	39.0	41.7	23.6	24.3		
1303	96住			刮削器	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—			
1304	96住			打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—			
1305	96住			打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1306	96住			打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—			
1307	96住			敲石	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—			
1308	96住			敲石	通用外	完形	緑色麻灰岩	—	—	—	—			
1309	97住	有	334	50%	剥片	通用外	完形	珪質貝殻	33.6	16.6	7.5	3.7		
1310	97住	有	334	25%	剥片	通用外	完形	ホルンフェルス	0.5	45.4	18.5	77.4		

遺物 番号	遺構	画面 番号	幅寸	器種	形態	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
1311	97住	有	334	25%	粗製石鉈	横	完形	泥岩	82.5	59.8	11.7	68.4	
1312	97住	有	334	25%	粗製石鉈	横	完形	泥岩	40.0	57.1	10.8	19.9	
1313	97住	有	334	25%	粗製石鉈	縦	基部欠	砂岩	115.5	40.2	22.6	85.2	
1314	97住	有	334	25%	石器	横刃直刃	左側欠	砂岩	55.5	93.4	12.0	61.3	
1315	97住	有	334	25%	素面磨器	通用外	完形	ホルンフェルス	64.4	56.2	9.3	36.3	
1316	97住	有	334	25%	磨石？	通用外	完形	泥岩	64.8	72.7	13.2	82.0	
1317	97住	有	334	25%	磨狀石器	通用外		ホルンフェルス	92.7	69.3	27.4	154.2	
1318	97住	有	334	25%	磨狀石器	通用外		ホルンフェルス	98.6	65.3	23.5	115.3	
1319	97住	有	334	25%	磨狀石器	通用外		ホルンフェルス	111.6	63.6	28.2	181.0	
1320	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	74.8	43.6	11.4	41.5	
1321	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	94.4	48.0	14.5	84.4	
1322	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	114.4	46.2	20.0	104.1	
1323	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	119.5	53.9	17.9	142.0	
1324	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	98.2	62.7	20.1	145.9	
1325	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	143.6	64.3	15.7	174.2	
1326	97住	有	335	25%	打製石斧	通用外	基部欠	泥岩	109.4	53.9	16.3	94.2	
1327	97住				打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—	
1328	97住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1329	97住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1330	97住				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1331	97住				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	
1332	97住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1333	97住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1334	97住				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	
1335	98住				打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—	
1336	98住				打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1337	100住	有	335	25%	粗製石鉈	横	完形	泥岩	59.0	95.2	11.3	54.0	
1338	100住				打製石斧	通用外	刃部欠	綠色片岩	風化調査	—	—	—	—
1339	102住	有	335	25%	石器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス	73.1	100.5	24.2	182.5	
1340	102住	有	335	25%	洗狀石器	通用外	完形	ホルンフェルス	92.6	50.5	17.7	77.0	
1341	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	泥岩	—	—	—	60.5	
1342	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.4	52.6	12.8	63.2	
1343	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	136.1	49.7	17.4	161.7	
1344	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	157.9	55.2	23.5	217.9	
1345	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	109.1	51.5	14.3	90.4	
1346	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	118.2	53.3	27.9	186.3	
1347	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	133.5	57.4	25.2	185.2	
1348	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	142.6	52.7	19.3	177.3	
1349	102住	有	335	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	155.4	60.3	16.6	178.1	
1350	102住				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1351	166土	有	335	25%	粗製石鉈	横	左側欠	泥岩	62.0	48.6	11.3	35.2	
1352	250土	有	336	25%	粗製石鉈	横	完形	砂岩	92.8	114.7	17.5	171.5	
1353	50土	有	336	25%	粗製石鉈	縦	完形	砂岩	124.8	58.8	18.9	97.5	
1354	108土	有	336	25%	粗製石鉈	縦	完形	ホルンフェルス	81.0	38.5	16.1	38.7	
1355	48土	有	336	25%	粗製石鉈	縦	完形	ホルンフェルス	106.7	48.0	10.0	48.4	
1356	96土	有	336	25%	粗製石鉈？	縦	左側欠	砂岩	滑部欠剥離しているが、両側面に押圧痕があり 縦状刃部の断片と推定される。	47.4	73.0	15.1	45.6
1357	359土	有	336	25%	粗製石鉈	横	完形	ホルンフェルス	74.2	73.4	16.6	61.8	
1358	181土	右	336	25%	石器	通用外	完形	泥岩	76.3	41.4	17.4	36.3	
1359	181土	右	336	25%	石器	横刃直刃	完形	ホルンフェルス	84.3	42.6	10.8	35.8	
1360	9土	右	336	25%	石器	円刃	完形	泥岩	59.1	60.2	9.9	36.6	
1361	101土	右	336	25%	石器	横刃直刃	完形	泥岩	76.0	97.3	19.7	126.9	
1362	19土	右	336	25%	石器	横刃直刃	完形	砂岩	52.5	94.0	19.4	84.3	
1363	361土	右	336	25%	粗製石鉈	横	刃部剥落	ホルンフェルス	49.1	101.9	10.6	53.7	
1364	105土	右	336	25%	洗狀石器	通用外	完形	砂岩	84.3	56.7	24.2	104.6	
1365	291土				打製石斧	通用外	断片	砂岩	—	—	—	—	
1366	190土				打製石斧？	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	
1367	191土	右	336	25%	抉入器	横刃直刃	完形	砂岩	61.4	111.3	8.9	54.9	
1368	269土				打製石斧	通用外	断片	泥岩	—	—	—	—	
1369	28土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	106.3	53.9	20.0	120.3	
1370	209土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	97.0	56.0	12.6	82.8	
1371	147土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	103.9	41.6	17.5	78.4	
1372	163土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	121.9	44.8	15.8	117.3	
1373	116土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	111.2	60.0	19.0	138.6	
1374	166土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	132.3	56.6	24.2	197.2	
1375	116土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	106.2	54.5	19.7	125.7	
1376	190土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	127.2	46.8	11.4	62.0	
1377	125土	右	336	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	97.9	43.9	9.4	35.4	
1378	173土	右	336	25%	打製石斧	通用外	刃部欠	頁岩	—	—	—	—	
1379	330土	右	337	25%	打製石斧	抉入	完形	泥岩	111.0	59.7	15.3	125.1	
1380	368土	右	337	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	140.1	47.4	18.6	134.3	

遺物 番号	遺構	固版 番号	縮尺	器種	形 態	残存率	石 材	所 見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
1581	330土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	159.8	62.2	23.8	234.9	
1582	181土	有	337	25%	刮器	横刃直刃	完形	砂岩	204.2	41.3	27.9	184.6	
1583	330土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	黑色頁岩	96.3	53.7	15.8	112.2	
1584	359土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	116.4	60.4	22.1	118.6	
1585	362土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	142.2	51.7	18.6	161.3	
1586	125土				打製石斧	通用外	基部欠	砂岩	—	—	—	—	
1587	91土				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1588	85土				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1589	147土				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—	
1590	42土				打製石斧	通用外	刃部断片	泥岩	—	—	—	—	
1591	88土				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1592	370土				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1593	370土				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1594	370土				打製石斧	通用外	基部断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1595	370土				打製石斧	通用外	断片	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1596	370土				打製石斧	通用外	基部断片	泥岩	—	—	—	—	
1597	403土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	ホルンフェルス	130.3	50.9	26.5	183.8	
1598	421土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	砂岩	120.7	49.5	18.3	116.5	
1599	125土	有	337	25%	打製石斧	通用外	完形	泥岩	内部破壊びに使用痕がみられない。未使用品の可能性もある。	126.1	55.6	14.6	102.6
1600	60土	有	337	25%	粗製石鉈	棍	砂岩	注記不明瞭。未製作の可能性あり。	99.6	41.5	11.7	43.3	
1601	107土	有	337	25%	磨製石斧-最底	乳棒状	基部断片	緑色頁岩	着製石斧頭部後、頭部に敲打痕	75.2	43.8	22.7	91.9
1602	346土	有	337	25%	磨製石斧	乳棒状	基部断片	緑色礫灰岩	—	87.5	48.7	39.8	214.0
1603	418土	有	337	25%	磨製石斧-最底	乳棒状	完形	緑色岩	刀部被破後被損面を敲打面にしている。敲打面は、美しいではなく平滑である。	112.6	55.4	41.8	377.9
1604	延舌骨	有	337	25%	尖頭削器	通用外	完形	砂岩	—	80.4	48.2	17.6	46.3
1605	包含層				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
1606	延舌骨				打製石斧	通用外	左側欠	ホルンフェルス	—	—	—	—	
1607	包含層				打製石斧	通用外	基部断片	砂岩	—	—	—	—	
1608	表探				打製石斧	通用外	完形	砂岩	—	—	—	—	

第3-5表 小型礫石器類観察表

遺物 番号	遺構	固版 番号	縮尺	器種	残存率	石 材	所 見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	
1	1住			磨石	完形	安山岩	表面に敲打痕、表面及び全側縁に磨り痕	77.0	70.5	38.5	192.1	
2	1住	有	338	25%	磨石	完形	安山岩	全面に敲打痕、表面及び肉側縁に磨り痕	106.0	80.0	51.0	548.0
3	1住			円石	完形	安山岩	表面全面に凹み	106.1	65.0	47.2	396.6	
4	2住	有	338	25%	磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕	93.1	106.0	36.0	460.3
5	2住			磨石	完形	安山岩	表面及び全側縁に敲打痕、表面全面に磨り痕	110.5	80.5	54.5	702.4	
6	2住			磨石	完形	安山岩	全面に敲打痕、表面全面に磨り痕	100.0	86.5	56.0	606.7	
7	2住	有	338	25%	磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、上端に磨り痕	87.5	82.0	48.5	439.0
8	2住			磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	98.5	77.5	42.5	491.0	
9	2住			磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕、全面に磨り痕	106.5	70.5	44.5	464.9	
10	2住			磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕、及び磨り痕	135.0	82.5	51.5	759.6	
11	2住			磨石	完形	安山岩	表面及び左側縁に磨り痕	82.1	60.0	58.0	352.1	
12	3住			磨石	2/3丸	安山岩	表面全面に磨り痕、上端に磨り痕、表面及び肉側縁に磨り痕	109.5	68.0	56.5	637.0	
13	4住			磨石	完形	安山岩	表面全面及び肉側縁に磨り痕、全面に磨り痕	89.0	78.5	44.0	481.2	
14	4住			磨石	完形	安山岩	表面及び肉側縁に磨り痕、上端に磨り痕	111.0	79.0	50.5	568.2	
15	4住			円石	完形	安山岩	表面全面及び肉側縁に凹み	97.1	90.5	50.5	453.1	
16	4住			磨石	完形	安山岩	下端に磨り痕、表面全面に磨り痕	78.5	88.5	40.0	385.2	
17	4住			円石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	83.5	70.0	46.0	305.0	
18	4住	有	338	25%	円石	完形	安山岩	表面全面及び左端に凹み、左側縁に磨り痕	69.2	79.5	49.5	254.3
19	4住			磨石	完形	安山岩	表面全面、裏面及び肉側縁に磨り痕、上端に磨り痕	92.5	73.5	41.5	362.2	
20	4住			磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	94.5	80.0	52.5	523.5	
21	5住			磨石	完形	安山岩	表面及び肉側縁に磨り痕、全面に磨り痕	95.0	74.5	46.0	372.6	
22	5住			円石	完形	多孔質安山岩	表面全面及び肉側縁に凹み、全面に磨り痕、全側縁に磨り痕	66.5	54.5	45.0	142.0	
23	5住			磨石	完形	多孔質安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	111.5	75.0	58.0	667.5	
24	5住			磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕、表面及び肉側縁に磨り痕	91.5	68.0	61.0	471.7	
25	5住	有	338	25%	磨石	完形	安山岩	表面全面及び左端に凹み、左側縁に磨り痕	93.5	81.0	45.0	466.6
26	5住			磨石	完形	安山岩	表面及び肉側縁に磨り痕、裏面全面に磨り痕	100.0	76.5	38.0	38.6	
27	6住			磨石	完形	多孔質安山岩	表面及び左側縁、肉側縁に磨り痕、表面全面に磨り痕	84.0	63.0	51.0	291.3	
28	6住	有	338	25%	石棒	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	125.0	77.0	75.0	1049.5
29	6住			円石	一部欠損	安山岩	表面全面に凹み、裏面全面に磨り痕	117.0	88.0	65.0	557.5	
30	6住			磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、全面に磨り痕	142.5	70.0	45.0	659.0	
31	6住			磨石	完形	多孔質安山岩	表面全面に凹み、全面に磨り痕、表面全面に磨り痕	110.0	79.0	52.0	513.1	
32	7住			円石	完形	多孔質安山岩	表面全面に凹み及び磨り痕	97.0	70.0	55.0	359.8	
33	7住			磨石	完形	多孔質安山岩	表面全面に凹み、右側縁に磨り痕、表面全面に磨り痕	91.0	73.0	56.5	441.6	
34	7住			磨石	完形	安山岩	表面全面に凹み、右側縁に磨り痕、全面に磨り痕	113.0	53.0	85.0	656.8	
35	7住	有	338	25%	磨石	完形	安山岩	表面全面に磨り痕、表面全面に磨り痕	84.0	66.0	44.0	267.3
36	7住			磨石	一部欠損	安山岩	腐食有。表面全面及び右側縁、右端に磨り痕、裏面全面に磨り痕、裏面全面に磨り痕	90.0	71.0	48.0	388.2	

地物 番号	造構	国版 番号	幅尺	器種	残存率	石 材	所 見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
37 8住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に磨打痕、表裏面及び下端に磨り痕	97.5	76.5	42.5	445.3
38 8住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面及び内側に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	74.0	53.0	44.0	215.3
39 8住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁、上端に磨打痕、表裏面及び両端に磨り痕	106.1	75.0	45.0	525.3
40 10住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁に磨打痕、右側縁及び下端に磨り痕	100.5	66.0	69.0	511.4
41 10住				磨石	約1/2残	安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	77.0	68.0	33.5	245.3
42 10住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	108.0	73.0	46.0	589.1
43 11住 有 338	25%			磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	90.3	76.0	62.0	570.0
44 11住				鐵石	完形	多孔質安山岩	全面上に磨打痕	117.0	87.5	58.0	629.8
45 11住				磨石?	完形	安山岩		112.0	89.5	43.0	617.4
46 12住				門石	完形	多孔質安山岩	表裏面及び右側縁に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	102.5	71.0	32.5	250.7
47 12住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び内側に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	95.0	77.0	59.0	650.0
48 13住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面及び左側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	109.0	77.0	42.5	428.6
49 13住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	110.5	72.0	45.0	478.6
50 14住				磨石	一部欠損	安山岩	表裏面に凹み、左側縁及び両端に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	109.2	99.0	54.0	718.4
51 14住				磨石	完形	安山岩	全面上に磨り痕	89.0	64.0	66.0	388.8
52 14住 有 338	25%			磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	149.0	70.0	46.0	766.0
53 16住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	105.0	93.0	72.0	928.4
54 16住				門石	約1/2残	多孔質安山岩	表裏面に凹み及び右側縁に磨打痕、上端に磨打痕	85.0	84.0	30.5	256.4
55 16住				磨石	一部欠損	安山岩	裏面及び左側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	129.5	80.0	77.0	1181.7
56 16住				磨石	完形	安山岩	上端に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	98.0	75.0	34.0	359.1
57 16住 有 338	25%			磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	123.0	56.0	49.0	437.2
58 16住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	89.0	76.0	53.5	510.7
59 16住				磨石	完形	多孔質安山岩	肉厚に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	104.0	69.0	51.0	571.0
60 16住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	56.0	50.0	51.0	183.5
61 16住				磨石	完形	多孔質安山岩	裏面に凹み、裏面及び左側縁に磨打痕、表裏面及び左側縊、両端に磨り痕	108.5	73.0	67.0	524.6
62 16住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁	97.0	75.0	60.0	527.9
63 17住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁、下端に磨打痕、表裏面に磨り痕	115.5	99.0	56.0	733.9
64 17住				門石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に凹み	95.0	83.5	58.0	626.1
65 18住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に磨打痕、右側縁及び下端に磨打痕、表裏面に磨り痕	98.0	85.0	50.0	510.1
66 18住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	97.5	54.0	39.0	274.7
67 18住				磨石	完形	アライト	全面に磨り痕	112.0	83.0	83.0	1143.8
68 18住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	103.5	93.0	61.0	833.3
69 19住 有 338	25%			門石	完形	多孔質安山岩	裏面に凹み、裏面に磨打痕	96.0	92.0	57.0	656.6
70 19住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁	98.0	70.0	47.5	473.1
71 19住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び左側縁、下端に磨打痕、表裏面に磨り痕	109.0	95.0	57.0	858.2
72 20住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	60.0	57.5	38.5	196.2
73 20住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	117.0	78.0	44.0	604.4
74 20住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に凹み及び右側縁、表裏面及び右側縁に磨り痕	69.0	62.5	58.0	216.6
75 21住				磨石	一部欠損	安山岩	被剥離、表裏面及び右側縁に磨り痕	87.5	69.0	32.0	246.1
76 22住				磨石	一部欠損	多孔質安山岩	裏面に凹み、表裏面及び右側縁に磨打痕、表裏面及び左側縁、両端に磨り痕	95.0	79.0	55.0	464.5
77 22住				台石	一部欠損	安山岩	表裏面に磨打痕、裏面は粗面、磨耗	116.5	113.5	90.0	1426.7
78 22住				磨石	一部欠損	安山岩	保付着、表裏面及び右側縁、両端に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	109.5	67.0	41.0	433.1
79 24住				磨石	完形	輝石岩	保付着、裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	98.0	82.5	49.0	568.7
80 27住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	57.5	67.0	40.5	186.6
81 27住				磨石	約1/2残	安山岩	表裏面及び右側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	86.0	96.0	60.5	732.5
82 27住				鐵石	完形	アライト	付付着、表裏面に磨打痕	109.5	68.0	35.0	391.0
83 27住 有 338	25%			磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	126.0	71.0	41.5	530.4
84 28住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	77.0	65.0	56.0	375.8
85 31住				門石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に凹み、右側縁及び上端に磨打痕、表裏面及び下端に磨り痕	103.0	73.0	54.0	524.5
86 32住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	115.0	87.5	55.5	816.3
87 32住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に磨り痕	119.5	66.0	55.0	546.2
88 32住				磨石	約1/2残	安山岩	表裏面及び右側縁に磨り痕	100.5	89.0	75.0	935.3
89 32住 有 338	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	92.0	57.0	49.0	336.9
90 32住				門石	完形	多孔質安山岩	表裏面に凹み、表面及び右側縁に磨打痕	105.5	75.0	54.0	423.3
91 32住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に凹み及び磨り痕	92.0	79.0	46.0	404.5
92 33住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕及び磨り痕	108.0	76.0	57.0	572.6
93 34住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕、全面に磨り痕	108.0	85.0	51.0	582.1
94 34住				磨石	完形	アライト	表面に磨打痕、裏面に磨り痕	81.0	76.5	43.5	404.5
95 34住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	67.5	52.0	44.0	185.6
96 34住 有 338	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	表面に磨打痕、全面に磨り痕	62.0	48.0	32.5	125.4
97 34住				磨石	完形	安山岩	表面に磨打痕、裏面に磨り痕	83.0	69.0	53.0	466.7
98 34住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び下端に磨打痕、全面に磨り痕	87.5	75.0	50.0	464.0
99 34住				磨石	完形	安山岩	右側縁に磨打痕、表裏面に磨り痕	83.0	63.0	56.0	346.9
100 34住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨り痕	93.0	93.0	63.0	754.9
101 38住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に磨り痕	98.0	82.0	50.5	463.4
102 38住				磨石	完形	安山岩	表裏面に磨打痕及び磨り痕	77.0	58.5	41.0	228.2
103 38住				磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面及び右側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	112.5	92.0	54.0	772.6
104 38住				磨石	完形	安山岩	表裏面及び右側縁に磨打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	109.0	92.0	67.0	885.8

地物 番号	構成 層	国版 番号	幅尺	器種	残存率	石 材	所 見	長さ (m)	幅 (m)	厚さ (m)	重量 (g)
105 39 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面及び左側縫隙、両端に断打痕。表面面及び左側縫隙に磨り痕	89.0	83.0	58.0	513.3
106 39 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、全面に磨り痕	86.0	54.0	43.5	319.3
107 39 住 有 338	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	台石？表面に断打痕、全面に磨り痕	130.0	110.0	77.0	1361.2
108 39 住				磨石	約1/2残	多孔質安山岩	全面に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	77.0	78.0	41.0	37.7
109 39 住				門石	完形	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨り痕	103.5	73.0	55.0	471.9
110 40 住 有 338	25%			磨石	一部欠損	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨り痕	123.0	65.0	56.0	627.5
111 41 住				磨石	完形	多孔質安山岩	被熱、表面面及び左側縫隙に磨り痕、表面面及び右側縫隙	87.0	66.5	55.0	408.4
112 41 住				磨石	約1/4残	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨打痕、表面面に磨り痕	112.0	93.0	64.0	818.0
113 41 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙、両端に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	106.0	70.0	43.0	429.3
114 42 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に磨打痕、表面面に磨り痕	111.5	65.0	30.0	359.1
115 43 住				門石	完形	安山岩	表面面に門み	72.0	51.0	49.0	171.8
116 43 住 有 338	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕	91.0	63.0	44.0	347.8
117 43 住				磨石	完形	安山岩	被化付材、表面面に断打痕、全面に磨り痕	10.3	71.5	42.0	429.6
118 43 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	119.0	84.0	44.0	583.7
119 43 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び下端に断打痕、表面面及び左側縫隙に磨り痕	106.5	80.0	46.5	559.4
120 43 住				磨石	完形	安山岩	表面面に磨打痕及び磨り痕	95.0	70.0	41.5	375.2
121 43 住 有 339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨打痕、表面面及び左側縫隙	119.0	84.0	69.0	815.6
122 43 住				磨石	完形	安山岩	表面面に磨打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	108.0	82.0	57.0	704.3
123 43 住 有 339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨り痕	125.0	100.0	67.0	1079.2
124 47 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び左側縫隙、両端に磨り痕	101.0	77.0	35.5	393.3
125 47 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面に磨り痕	94.0	83.0	66.0	587.8
126 48 住				門石	完形	安山岩	表面面に凹み及び断打痕	85.0	62.5	45.0	300.3
127 48 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面及び左側縫隙に磨り痕	103.0	75.0	31.0	356.5
128 48 住 有 339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び左側縫隙に磨り痕	175.0	83.0	58.0	1177.0
129 49 住				磨石	完形	安山岩	表面面に磨打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	125.0	75.0	53.0	693.6
130 49 住 有 339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縫隙に断打痕、全面に磨り痕	93.5	71.0	60.0	558.8
131 49 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	113.0	77.0	49.0	536.9
132 49 住				磨石	完形	安山岩	削付石、表面面に断打痕、全面に磨り痕	97.0	79.0	43.0	445.2
133 49 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、全面に磨り痕	105.0	84.0	51.0	572.0
134 49 住				磨石	約1/4残	多孔質安山岩	被熱、熱はげ、表面面及び左側縫隙に断打痕、表面面及び右側縫隙、両端に磨り痕	104.0	92.0	76.0	672.0
135 49 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	124.0	81.5	54.0	679.4
136 49 住 有 339	25%			門石	完形	安山岩	削付石、表面面に凹み、全面に磨り痕	77.5	59.0	44.0	249.0
137 49 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、全面に磨り痕	109.0	75.0	33.5	368.6
138 50 住				台石	完形	安山岩	全面に磨り痕	121.0	98.0	85.0	1209.3
139 50 住 有 339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に磨り痕	80.0	82.0	23.0	239.9
140 50 住				磨石	約1/2残	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨打痕、全面に磨り痕	63.5	73.0	58.0	326.0
141 50 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕及び左側縫隙	114.0	91.0	53.0	603.3
142 51 住				戴石	完形	安山岩	真円に凹み、表面面及び右側縫隙に磨打痕	132.0	52.0	50.0	350.2
143 53 住				磨石	約1/2残	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	86.0	55.0	52.0	387.2
144 53 住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	125.0	86.0	48.5	647.9
145 53 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、全面に磨り痕	92.0	84.0	64.0	566.3
146 53 住				磨石	完形	安山岩	全面に断打痕及び磨り痕	104.0	77.0	44.0	533.6
147 53 住				磨石	完形	輝石	全面に磨り痕	125.0	89.0	60.0	974.5
148 54 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面に磨り痕	84.0	80.0	61.0	622.5
149 54 住				戴石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕	100.0	71.0	60.0	543.0
150 55 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び右側縫隙、下端に磨り痕	88.0	73.5	53.0	426.6
151 55 住				磨石	完形	多孔質安山岩	上端に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	112.0	56.0	49.0	348.3
152 58 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面に磨り痕	94.0	80.0	42.0	403.7
153 61 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に凹み、表面面及び右側縫隙に磨打痕、全面に磨り痕	85.0	77.1	52.0	398.4
154 61 住				磨石	完形	安山岩	表面面に凹み、表面面及び右側縫隙、上端に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	115.0	85.0	51.0	636.4
155 63 住				磨石	完形	安山岩	全面に磨り痕	114.0	103.0	63.0	1076.7
156 63 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に磨り痕	113.0	91.0	59.0	847.0
157 65 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縫隙に磨り痕	116.0	85.0	52.0	776.0
158 65 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び右側縫隙、下端に磨り痕	98.0	68.0	51.0	514.7
159 67 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、全面に磨り痕	97.0	82.5	41.5	521.9
160 67 住				門石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に凹み、表面面及び右側縫隙に磨打痕、全面に磨り痕	83.0	62.5	53.0	272.9
161 67 住				磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縫隙に磨打痕、全面に磨り痕	82.0	63.0	50.5	308.0
162 69 住				門石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に凹み、表面面及び右側縫隙、両端に断打痕。表面面に磨り痕	102.0	63.0	48.0	394.5
163 70 住				磨石	完形	多孔質安山岩	削付石、表面面及び右側縫隙、下端に断打痕、全面に磨り痕	92.0	84.5	49.5	541.9
164 72 住				門石	完形	多孔質安山岩	表面面に凹み	99.0	83.5	45.0	415.6
165 73 住				磨石	完形	安山岩	被熱、表面面及び上端に断打痕、表面面に磨り痕	69.0	69.0	50.0	306.5
166 74 住				磨石	完形	安山岩	削付石、表面面及び右側縫隙に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	108.0	79.5	46.5	561.1
167 74 住				磨石	完形	安山岩	表面面に断打痕、表面面及び右側縫隙に磨り痕	118.0	65.0	38.0	403.0
168 76 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に凹み、表面面に磨り痕	102.0	80.0	48.0	454.6
169 76 住				磨石?	完形	安山岩	被熱	117.5	93.5	42.5	772.0
170 76 住 有 339	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	削付石、表面面及び右側縫隙に磨り痕、全面に磨り痕	86.0	77.5	44.5	404.5
171 77 住				磨石	完形	多孔質安山岩	表面面に断打痕及び右側縫隙に磨り痕、全面に磨り痕	102.0	96.0	47.0	573.7
172 77 住 有 339	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縫隙に磨打痕、全面に磨り痕	105.0	77.0	49.0	449.7

造物番号	造構	国版番号	国版番号	幅尺	器種	残存率	石材	所見	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)
173 7住					磨石	完形	多孔質安山岩	表面及び上端に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	93.0	68.0	51.0	448.1
174 8住					磨石	完形	多孔質安山岩	表面面に敲打痕、表裏面及び左側縁に磨り痕	119.5	86.0	45.5	649.6
175 83住 有	339	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	保付着。表面及び左側縁に敲打痕、全面上に磨り痕	108.0	68.0	56.5	568.8
176 83住					磨石	完形	安山岩	表面面に敲打痕、表裏面及び左側縁に磨り痕	103.0	73.0	49.0	606.4
177 83住 有	339	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	表面面に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	112.0	50.0	41.0	283.5
178 83住					円石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縁に凹み、左側縁に敲打痕	121.5	69.0	52.5	348.2
179 83住					円石	完形	安山岩	表面面及び左側縁に凹み、表裏面及び右側縁に磨り痕	118.0	88.0	62.0	712.6
180 83住					磨石	完形	安山岩	表裏面に敲打痕、表裏面及び右側縁	123.0	68.0	51.0	562.9
181 48住					台石	完形	多孔質安山岩	表面面及び右側縁に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	122.0	94.0	71.0	807.0
182 85住					門石	完形	多孔質安山岩	表裏面に凹み、表面に磨り痕	102.5	66.0	47.0	361.9
183 89住					磨石	完形	多孔質安山岩	全面上に磨り痕	80.0	71.0	75.0	482.1
184 90住					磨石	完形	安山岩	表裏面に敲打痕及び磨り痕	101.5	67.0	37.5	410.0
185 90住					磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	95.0	63.0	44.0	339.1
186 91住					磨石	完形	安山岩	表裏面に敲打痕及び磨り痕	105.0	76.0	48.0	516.0
187 91住 有	339	25%			磨石	完形	アブライト	全面に磨り痕	126.0	117.0	75.5	1573.9
188 95住					磨石	約2/3残	安山岩	保付着、表裏面及び右側縁に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	102.0	74.0	39.0	396.8
189 95住					磨石	完形	多孔質安山岩	表裏面及び左側縁に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	100.0	55.0	50.5	377.7
190 95住					磨石	完形	安山岩	赤色顔料、表裏面及び上端に敲打痕、表裏面及び下端に磨り痕	82.0	69.0	50.0	392.3
191 96住					磨石	約1/2残	安山岩	表面面に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	71.0	80.5	50.5	367.6
192 98住 有	339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に敲打痕、今端に磨り痕	116.0	66.0	49.0	587.7
193 99住					磨石	完形	安山岩	表面面に敲打痕、表裏面及び右側縁、下端に磨り痕	110.5	69.0	60.0	601.5
194 102住					磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縁に敲打痕、表裏面及び右側縁に磨り痕	85.0	67.0	43.0	289.6
195 102住					磨石	完形	安山岩	表裏面に敲打痕及び右側縁	104.5	79.0	49.0	542.0
196 102住					磨石	完形	安山岩	保付着、表裏面に敲打痕及び磨り痕	100.0	78.0	42.0	511.6
197 102住					磨石	完形	多孔質安山岩	表面面に磨り痕	96.5	92.0	33.0	337.4
198 102住					門石	完形	安山岩	表面面及び右側縁に凹み、左側縁に磨り痕、全面に磨り痕	75.0	77.5	61.0	362.4
199 102住					磨石	完形	安山岩	表面面及び右側縁に凹み、左側縁に磨り痕	110.0	67.0	46.0	469.9
200 102住					磨石	完形	多孔質安山岩	全面に磨り痕	56.5	53.0	44.0	154.1
201 34住 有	339	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、表面面に磨り痕	75.0	52.0	30.0	80.0
202 61住 有	339	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、表面面に磨り痕	98.0	84.0	48.0	480.0
203 28住 有	339	25%			磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縁に磨り痕	36.0	36.0	37.0	20.0
204 53住 有	339	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、左側縁に磨り痕	38.0	39.0	27.0	21.0
205 96住 有	339	25%			石頭	完形	安山岩	表面面に磨り痕	12.8	90.0	37.0	360.0
206 96住 有	339	25%			石頭	完形	安山岩	表面面に磨り痕	126.0	86.0	36.0	376.0
207 10住 有	339	25%			磨石	完形	アブライト	表面面及び右側縁に磨り痕	95.0	74.0	18.0	118.0
208 4土 有	340	25%			磨石	約1/2残	花崗岩	表面面に磨り痕	90.0	72.0	38.0	220.0
209 34土 有	340	25%			磨石	完形	多孔質安山岩	全面に磨り痕	135.0	67.0	54.0	580.0
210 210土 有	340	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に磨り痕	97.0	77.0	51.0	510.0
211 111土 有	340	25%			門石	完形	花崗岩	表面面に凹み、両端に敲打痕、表裏面に磨り痕	98.0	56.0	33.0	210.0
212 112土 有	340	25%			門石	完形	多孔質安山岩	表面面に凹み、両端に敲打痕、表裏面に磨り痕	151.0	65.0	38.0	420.0
213 213土 有	340	25%			門石	完形	安山岩	表裏面に凹み、両端に敲打痕、表裏面に磨り痕	143.0	61.0	30.0	300.0
214 124土 有	340	25%			磨石	約1/2残	多孔質安山岩	表面面に磨打痕、表面面及び右側縁に磨り痕	48.0	83.0	58.0	230.0
215 150土 有	340	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に磨打痕、表面面及び右側縁に磨り痕	70.0	62.0	49.0	200.0
216 301土 有	340	25%			磨石	完形	安山岩	表面面及び左側縁に磨り痕、表面面及び右側縁に磨り痕	88.0	81.0	58.0	395.0
217 346土 有	340	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	114.0	80.0	56.0	410.0
218 256土 有	340	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	90.0	69.0	61.0	400.0
219 357土 有	340	25%			門石	約2/3残	安山岩	表面面に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	123.0	80.0	32.0	300.0
220 359土 有	340	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に磨打痕、表裏面に磨り痕	110.0	90.0	62.0	800.0
221 403土 有	340	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	107.0	97.0	43.0	540.0
222 357土 有	340	25%			門石	完形	安山岩	表面面に凹み、両端に磨打痕、表裏面に磨り痕	102.0	70.0	43.0	540.0
223 405土 有	340	25%			磨石	完形	安山岩	表面面に磨り痕	97.0	85.0	68.0	550.0

第3-16表 大型礫石器類観察表

造物番号	造構	国版番号	国版番号	幅尺	器種	残存率	石材	所見	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)
1 1住	有	341	25%		石頭	完	多孔質安山岩	被熱、表側縁及び裏面に凹み	33.9	24.8	9.2	5.75
2 2住	有	341	25%		台石	完	多孔質安山岩	表面に敲打痕、表面に裂付着、表面に凹み	27.9	19.8	6.2	4.06
3 2住	有	341	25%		台石	完	安山岩	煤付着	35.8	28.0	11.1	17.87
4 2住	有	341	25%		台石	完	安山岩	煤付着	34.7	15.5	9.3	7.36
5 6住	有	342	25%		石頭	約1/2残	安山岩	表面に凹み	20.2	25.2	7.7	5.15
6 6住	有	342	25%		門石	完	多孔質安山岩	表面面に凹み	15.5	15.0	12.6	3.3
7 7住	有	342	25%		台石	尚端欠	安山岩	被熱	18.0	11.5	10.2	3.35
8 11住	有	342	25%		石頭	約1/2残	安山岩	被熱、熱はげ、煤付着	19.8	22.8	8.5	4.33
9 11住	有	342	25%		石頭	約1/3残	安山岩	被熱、煤付着	21.2	30.2	10.3	7.55
10 14住	有	342	25%		台石	完	花崗岩	被熱、表面面に凹み	33.7	25.3	14.7	17.0
11 14住	有	343	25%		台石	尚端欠	安山岩	被熱	13.5	15.9	10.5	4.05
12 16住	有	343	25%		台石	完	安山岩	被熱	30.5	9.9	10.0	2.9

遺物 番号	遺構 名	同 組 分	同 組 分	組 合	器種	残存率	石材	所 見	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)
13 19 住 有 343 25% 多孔石 完 安山岩 表裏面に凹み 21.6 15.5 13.4 3.32												
14 28 住 有 343 25% 石皿 圓錐破片 多孔質安山岩 被熱、煤付着 19.0 13.5 9.8 2.01												
15 28 住 有 343 25% 磁石 完 多孔質安山岩 14.9 13.6 11.9 2.9												
16 33 住 有 343 25% 石皿 圓錐破片 安山岩 裏間に凹み 17.2 14.9 9.5 2.96												
17 33 住 有 343 25% 台石 約1/3残 安山岩 被熱、裏面に凹み 21.0 30.0 8.4 6.47												
18 34 住 有 343 25% 台石 圓錐破片 安山岩 被熱、煤付着 10.9 21.5 5.0 1.79												
19 34 住 有 343 25% 石皿 約1/2残 安山岩 被熱、全体に煤付着 19.5 23.8 11.5 7.13												
20 34 住 有 344 25% 石皿 約1/4残 安山岩 被熱、煤付着 26.3 17.8 9.2 5.53												
21 35 住 有 344 25% 石皿 圓錐破片 多孔質安山岩 14.0 12.5 12.6 2.22												
22 38 住 有 344 25% 石皿 圓錐破片 安山岩 被熱、煤付着 13.5 15.7 7.6 1.53												
23 39 住 有 344 25% 石皿 約1/2残 安山岩 被熱、煤付着 24.0 30.9 11.2 9.58												
24 39 住 有 344 25% 多孔石 完 安山岩 表裏面に凹みあり 18.8 16.8 7.8 2.28												
25 41 住 有 344 25% 台石 約1/2残 安山岩 22.4 26.0 10.5 7.92												
26 41 住 有 344 25% 台石 完 安山岩 被熱、熱はげ 28.8 12.5 8.0 4.64												
27 42 住 有 345 25% 石皿 約1/3残 多孔質安山岩 被熱 26.2 18.8 9.7 4.9												
28 43 住 有 345 25% 台石 両端欠 安山岩 29.9 17.7 12.3 11.24												
29 43 住 有 345 25% 石皿 約2/3残 花崗岩 被熱 31.5 22.8 13.1 7.35												
30 46 住 有 345 25% 石皿 完 多孔質安山岩 裏間に凹み 25.5 21.5 6.9 4.1												
31 47 住 有 345 25% 石皿 完 多孔質安山岩 裏間に凹み 32.2 23.6 10.1 12.09												
32 47 住 有 346 25% 台石 完 安山岩 煤付着 41.5 15.8 13.3 12.54												
33 54 住 有 346 25% 台石 約1/3残 安山岩 裏間に凹み 18.5 28.2 11.3 7.54												
34 61 住 有 346 25% 石皿 約1/3残 安山岩 被熱、煤付着 22.6 31.4 15.8 11.58												
35 67 住 有 346 25% 台石 完 安山岩 被熱、熱はげ 36.5 11.8 13.2 8.96												
36 70 住 有 346 25% 台石? 両端欠 流紋岩 被熱、石棒の軸用か 15.7 16.3 13.1 4.1												
37 80 住 有 346 25% 台石 完 安山岩 22.4 21.2 14.9 8.74												
38 76 住 有 347 25% 石皿 圓錐破片 多孔質安山岩 被熱 18.4 12.7 9.9 2.38												
39 77 住 有 347 25% 石皿 完 安山岩 裏間に凹み 25.7 19.8 8.7 5.2												
40 77 住 有 347 25% 台石 完 安山岩 35.1 15.8 7.2 5.6												
41 80 住 有 347 25% 石皿 約1/6残 多孔質安山岩 裏間に凹み、No42に接合 19.3 26.9 9.8 4.72												
42 80 住 有 347 25% 石皿 約1/6残 多孔質安山岩 裏間に凹み、No41に接合 19.3 26.9 9.8 4.72												
43 83 住 有 347 25% 石棒 雜定1/2残 流紋岩 被熱 27.2 14.5 12.5 6.78												
44 90 住 有 347 25% 石皿 圓錐破片 安山岩 被熱 16.0 14.8 9.6 2.55												
45 90 住 有 347 25% 磁石 完 安山岩 表裏面に磨り痕。下端に砸打痕 17.3 13.5 10.9 3.8												
46 95 住 有 348 25% 石皿 約1/4残 多孔質安山岩 被熱、裏面に凹み 23.0 22.2 10.9 7.0												
47 102 住 有 348 25% 石皿 蒜臼口破片 安山岩 被熱 15.0 21.8 9.1 2.63												
48 21 土 有 348 25% (多孔石) 台石 完 多孔質安山岩 表裏面に凹み 24.7 23.2 6.8 3.91												
49 7 住 有 348 25% 台石 両端欠 安山岩 被熱 20.2 12.0 10.3 3.8												
50 50 土 有 348 25% 門石 完 安山岩 被熱 14.0 15.5 9.7 2.9												
51 148 土 有 348 25% 石皿 約2/3残 安山岩 被熱、裏面に凹み 40.0 27.9 10.6 11.5												
52 158 土 有 349 25% 台石 完 売質安山岩 23.8 32.6 8.5 8.63												
53 158 土 有 349 25% 多孔石 完 安山岩 被熱、表裏面に凹み 32.0 19.4 9.1 5.9												
54 307 土 有 349 25% 石皿 約2/3残 多孔質安山岩 被熱、煤付着、裏面に凹み 25.0 19.5 8.0 3.8												
55 314 土 有 350 25% 石皿 約1/2残 安山岩 被熱、熱はげ。煤付着、裏面に凹み 38.3 15.2 6.9 4.84												
56 353 土 有 349 25% 石皿 約1/3残 安山岩 被熱、煤付着、裏面に凹み 18.0 25.3 7.3 3.27												
57 399 土 有 350 25% 台石 完 安山岩 煤付着、表裏面に凹み 54.0 27.5 11.7 22.4												
58 402 土 有 349 25% 石皿 完 安山岩 裏間に凹み 38.1 23.9 11.5 15.06												
59 119 土 有 350 25% 石皿 圓錐破片 多孔質安山岩 被熱 14.1 12.1 12.3 2.45												
60 表孫 有 350 25% 石皿 完 多孔質安山岩 39.5 27.7 13.5 17.36												
61 6 住 有 351 25% 石皿 完 多孔質安山岩 表裏面に凹み 18.3 12.1 7.3 1.8												
62 7 住 有 351 25% 石皿 約1/3残 多孔質安山岩 表裏面に凹み 11.5 29.0 6.6 2.01												
63 28 住 有 351 25% 石皿 完 安山岩 裏間に凹み 13.9 10.3 5.0 0.8												
64 43 住 有 351 25% 石皿 完 安山岩 裏間に凹み 13.3 18.6 5.1 1.8												
65 39 住 有 351 25% 石皿 完 多孔質安山岩 18.0 17.3 5.3 2.13												
66 28 住 有 351 25% 石皿 完 安山岩 15.5 11.9 5.0 0.9												
67 12 住 有 351 25% 石棒 両端欠 安山岩 表面に凹み 13.3 10.2 8.8 2.05												
68 391 土 有 351 25% 石棒 両端欠 安山岩 被熱、熱はげ、煤付着 8.3 10.2 5.4 0.59												
69 70 土 有 351 25% 台石 完 緑色岩 27.1 7.0 6.5 2.08												

## 第Ⅳ章 考 察

### 第1節 繩文時代の土器様相 (第352・353図)

ここでは、住居跡・土坑から出土した縄文時代中・後期の土器のうち主体となる深鉢形土器を中心に、近年刊行された山梨県史（以下、県史とする）における縄文土器編年（小野・今福・三田村1999）を基軸として検討を加え、各型式毎に段階を設定しその様相を概観したい。なお、文中及び図中の住は住居跡を、土は土坑を示し、住・土の左側の数字は遺構番号を、右側の数次は遺物番号を示す。

#### 第1段階

中期中葉猪沢式に比定される。県史では3細分されるが、今次調査では横帯区画が多段化し区画内に角押文を施文するもの（95住3・102住2・142土178・359土317）が主体となり、猪沢式でも新しい段階に比定されるものが出土している。精円区画内に角押文の代わりに撫糸圧痕文を施すもの（417土354）や、胴部の文様帯を省略するものもみられる（102住7）。

#### 第2段階

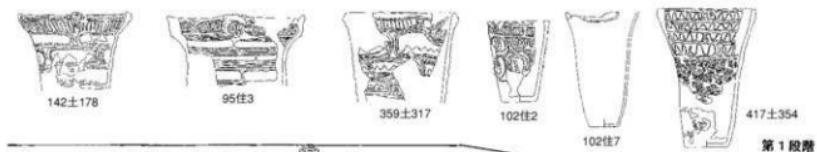
中期中葉新道式に比定される。県史では2細分され、今次調査では各時期の資料が出土している。三角押文が当該期の文様の特徴となり、重三角区画文を施すもの（22住1・4など）、抽象文を施すもの（5住1、8住1、22住5～7など）、パネル文を施すもの（22住11など）がみられる。口縁部の重三角区画文や胴部の精円区画文内に三角押文を充填施文し1段階の施文手法が残る95住2は、猪沢式新段階から新道式古段階の範疇で捉えておきたい。口縁の文様帯に重三角区画文を施し、胴部が縄文のみとなる2住4は、本段階でも古相を示し、人面装飾の付された129土174や22住1は玉抱き三叉文がみられ、本段階でも新しい段階となろう。抽象文は体部が粘土貼付で表出されるものが主体となり、三角押文などが施される。また、26住1のように平出A第3類土器と考えられる異系統の土器がみられる。

#### 第3段階

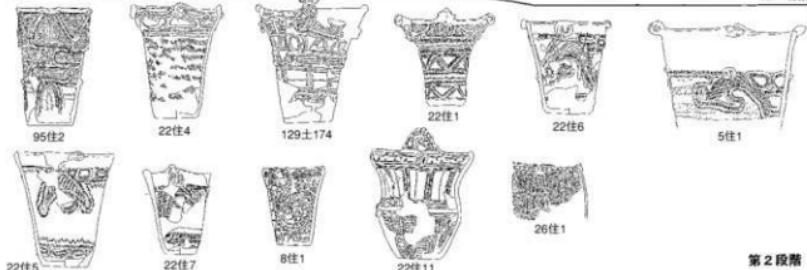
中期中葉藤内式に比定される。県史では4細分され、今次調査では各時期の資料が出土している。重三角区画文は、口縁部に眼鏡状の突起が4単位付され胴部は無文となるものや（49住30）、口縁部はパネル文と重三角区画文が交互に施文され、胴部にはパネル文が施文されるもの（49住6）が本段階でも古相を示す。口縁部に縄文地文で円文などを描き、胴部に重三角区画文が巡るものや（5住9・48住1）、重三角文が崩れて波状を呈するもの（5住4）、口縁が小波状を呈するもの（55住1）もほぼ同時期となり、古相を示す。これに対し、7住1は底部が若干屈曲する器形となり、加飾された隆帶で重三角文を描き、0段多条の単節縄文が継ぎ施文されていることから本段階でも最も新しい段階に比定される。

抽象文はそのモチーフを隆帶で描くものが本段階の主体となろう。このうち、49住15のように抽象文を表出する隆帶に刻文を施文するものは新しい要素といえ、5住3・49住16・52住3など隆帶が加飾されないものが本段階でも最も古い例となろう。76住1はパネル文に抽象文の隆帶によるモチーフが組み込まれているもので、区画内に集合沈線や刺突を伴うキャタピラ文などが施文され、49住15より新しい段階として捉えよう。

パネル文では39住6など縦長の区画内に玉抱三叉文を施し、集合沈線を充填するものが最も古相を示す。49住3は口縁部に縦線沈線を施す文様帯を持つ点や、胴部下端のパネル文が開いたままとなっていることから、39住6より新しい段階といえよう。7住6は加飾された隆帶が垂下し、パネル文内に交互刺突などを施文することから、49住3とはほぼ同時に比定されよう。52住1は加飾された隆帶区画がより複雑化し、区画内の施文も集合沈線、交互刺突、蓮華文などと変化に富むことから、7住6より新しい段階に比定されよう。21住1は区画内のモチーフが次段階の特徴である半肉彫の手法に近似し、底部に僅かにふくらんだ無文帯をもつことか



第1段階



第2段階



第3段階



第4段階

第352図 第1～4段階の土器

ら、パネル文で最も新しい段階に比定される。

このほか、小波状隆帯を施すもの（22住17）、楕円区画文を施すものや（48住6）、ワラジ状文を施すもの（67住2）などがみられるが、今次調査ではいずれも古相を示すものが出土している。

#### 第4段階

中期中葉井戸尻式に比定される。県史では3細分され、今次調査では各時期の資料が出土している。第3段階から変遷する重三角区画文をもつ土器は、タマネギ形のモチーフに変化するものや（7住2）、胴部に大柄な重三角区画文を施すものがみられる（19住1）。パネル文土器は底部が屈曲し口縁が内湾する器形となり、頸部には横に張り出す隆帯が巡り、胴部にはI字の隆帯が施される（16住3・4）などがみられ、これらが本段階でも古相を示すものとなろう。

次の段階では鎖状隆帯（48住2・73住3・77住6・88住1）やベン先状工具による連続刺突文（49住20）が、新たな文様要素として捉えられる。文様の表出も半肉彫的手法が多くなり横帯文の49住1や、ベン先状工具による連続刺突文がみられる人面装飾付深鉢（56住1）はこの段階に比定される。人体文（49住22）、褶曲文（77住1）などのモチーフもこの段階からみられるようになる。

最も新しい段階では人体文（42住1・77住7）、横帯文（42住3）のほか、口縁が内湾し、頸部に交互刺突による波状文が巡る繩文系土器（49住23・77住2）や、胴部に継位条線を施文する多喜窪タイプとされるもの（43住1）がみられる。このうち、繩文系土器にみられる頸部の交互刺突による波状文の表出は曾利I式への変遷を示す好例となろう。また42住1は、口縁部に垂下する隆帯に対応するように単位文が付され、胴部は人体文内に継位沈線を施し2条の有刻隆帯が垂下するものだが、その文様構成は後出的で第5段階に帰属する可能性を有す。

#### 第5段階

中期中葉から後葉にかけての井戸尻式末から曾利I式古段階に比定されるものとして、県史編年以降新たに設定された段階である（今福2003）。この段階では円筒状の器形となる楕円区画文土器（28住11・34住1）や、円筒状、あるいは若干口縁が内湾する器形で、頸部は隆帯による文様が施され、胴部に継位条線を施し、隆帯が垂下する曾利系の土器がみられる。曾利系土器では梨久保B式の系譜と考えられる梯子状沈線が胴部に施されるものや（34住2・62住2）、頸部に隆帯を格子目状に施文するもの（47住2）、胴部の垂下隆帯に対応して口縁部に単位文が付されるもの（69住1）などがみられる。

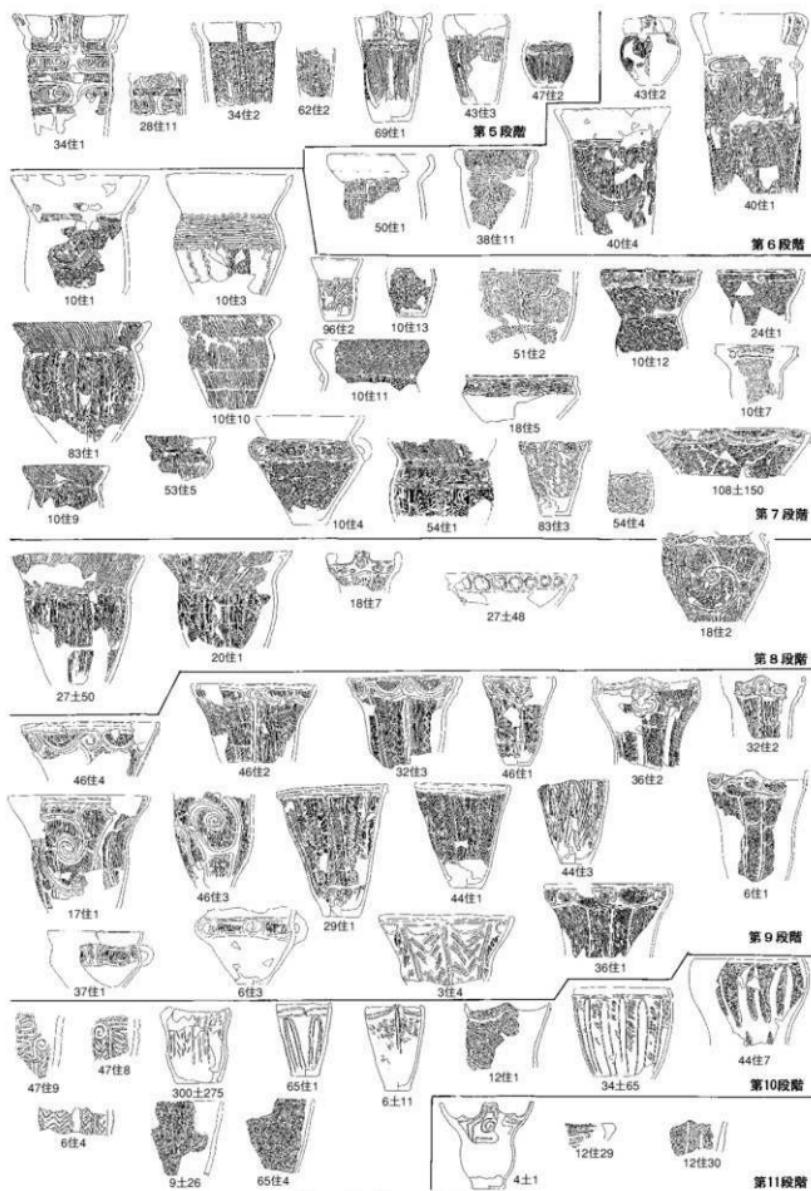
なお、本県における当該期の最新の研究動向では、この段階を井戸尻式3段階として井戸尻式終末に帰属させている（今福・閔問2004）。これに準ずるとこの段階は4段階終末に帰属され、その位置づけには異存はない。ただ、住居跡からの一括資料などの検討より本段階が一時期を画することから、従来どおり本段階を設定することとした。

#### 第6段階

中期後葉曾利I式に比定される。県史では2細分される。口縁部は基本的に無文となるが、単位文が付されるものがみられる（40住1）。頸部には波状隆帯（43住2・50住1）、多条隆帯（38住11）、継位沈線と把手（40住1）などが施され、第5段階より文様帶が幅広となるものが主体となる。胴部には継位条線が地文として施され2～5条単位の隆帯で、人体文（40住1）、U字文（40住4）などが施文される。このうち、40住4は口唇部付近で内湾する器形となり、5条単位の隆帯で文様を表出することから、本段階でも後出的なものである。

#### 第7段階

中期後葉曾利II式に比定される。第6段階から変遷する無文口縁部で頸部に文様帶をもつものは（10住3・13・51住2・96住2）、胴部に波状隆帯が垂下し地文には繩文を施すものが主体となるが、撲糸文を地文とするものもみられる（10住3）。この段階から確立するX字状把手をもつ大甕は（10住1）、地文に繩文をもつ胴部に3本単位の隆帯で渦巻状、M字状のモチーフが表出される。籠目文土器は、口縁部が斜行条線となるもの（10住9・83住1）、条線と隆帯で格子目文を表出するもの（10住10・10住11）、重弧文となるもの（53住



第353図 第5～11段階の土器

5) がみられ、頭部には波状隆帯や有刻隆帯が巡る。地文に縦位条線を施文する胴部には、波状隆帯が垂下し渦巻文（10住9・83住1）や剣先文+渦巻文（10住10）などが施される。関東の加曾利E式の影響を受けたものは、口縁部文様帶に隆帯で長方形区画となるもの（10住12）、窓枠状となるもの（96住1）、窓枠状隆帯間に渦巻文を配すもの（10住7・18住5・24住1・63住1）などがみられ、渦巻つなぎ弧文（108土坑150・83住3）のうち、83住3は弧線文間に縦位の沈線を施しており、新しい段階のものとなろう。（10住7・96住1・83住3）は胴部に結節繩文を施す。このほか、連弧文を施すもの（54住4）も新しい段階となろう。また、口縁が無文となり、頭部が屈曲する把手付鉢形土器もみられるようになり（10住4）、頭部には長方形の区画文が施され、胴部には繩文が施文される。

#### 第8段階

中期後葉曾利III式に比定される。今次の調査で、本段階のX字状把手をもつ大甕の良好な資料は出土していない。籠目文土器は第7段階に比べ頭部の括れが弱くなる（20住1・27土坑50）。加曾利E式の影響を受けた深鉢では、肥厚帶口縁部をもつものがみられる（18住7・27土坑48）。18住2は、口縁部に窓枠状隆帯と渦巻文を配し地文に繩文を施すことから古相を示し、第7段階に帰属する可能性を有す。器形は口縁が内湾し樽形となり、胴部には先端が渦巻状となり横S字文が崩れたモチーフが隆帯で施文されており、唐草文土器の影響がみられる。ただ、地文が繩文となる点は在地的に変容している。

#### 第9段階

中期後葉曾利IV式に比定される。県史では2細分され、今次調査では各時期の資料が出土している。古い段階では口縁部に文様帶を持つものが主体となり、肥厚帶口縁部をもつ32住2は、4単位の突起に穿孔がみられる。この他、渦巻つなぎ弧文を施すもの（32住3・46住2・4）、渦巻文下に環状（36住2）あるいは蕨手状（46住1）のモチーフを施文するものがある。胴部は条線が地文として縦位あるいは、綾杉状に施文されるものがみられる。文様は蛇行沈線が垂下するもの（32住3・46住1・2）、横S字文が施文されるもの（17住1・46住3）がみられ、横S字文は1本の隆帯で表出し、口縁部文様帶が省略されるものがある（17住1）。

新しい段階では口縁部の文様帶がより簡略化の方向へ変化し、楕円区画文が施されるものは（3住4）、胴部の懸垂文が口縁部までせり上がりっている。横位沈線が施文されるものは（44住1）、胴部の懸垂文が省略され縦位条線と蛇行沈線のみ施文される。地文の条線自体が短くなるものや（3住4）、施文がまばらとなるもの（44住3）が多くなるのも新しい段階の指標となろう。

また、頭部に文様帶を持つ把手付鉢形土器や（6住3・37住1）、地文に繩文を施文し、口縁部に楕円区画に渦巻がつく文様を施文する加曾利E3式系の土器（6住1・36住1）もみられる。

#### 第10段階

中期後葉曾利V式に比定される。県史では3細分され、今次調査では各時期の資料が出土しているが、全体として個体となる資料が少ないため、破片資料も充当する。古い段階では口縁部文様帶にハの字文を充填する区画文を施し、胴部は罐部が渦巻文となる沈線や懸垂文が垂下し、地文としてハの字文が施文される（47住8・9）。新段階では区画線が崩れ、ハの字文も沈線が細くなるものや（65住4・300土275）、施文が乱れ列点状となるもの（9土26）がみられる。また、区画文のみ施文されるもの（65住1）や地文に繩文を施文するもの（6土11）がある。終末段階では加曾利E4式（12住1・44住7・34土65）が主体となり、曾利式土器はほとんどみられない。

#### 第11段階

後期初頭称名寺I式に比定される。県史では2細分され、今次調査では古段階に比定されるものが出土している。（4土1）は波頂部が角頭状を呈す4単位の波状口縁となり、沈線で描いた渦巻状のモチーフは横位に連結するものである。本来はJ字状のモチーフが施文されるもので、地域的に若干変容しているが、その器形や文様から称名寺I式古段階に比定される。破片資料も沈線区画内に繩文を充填する手法で文様を表出し（12住29・30）、称名寺I式の範疇で捉えられよう。

以上、今次調査で出土した繩文土器を概観したが、繩文時代中期中葉猪沢式の新段階から後期初頭称名寺I式

古段階までの各型式がほぼ間断なく出土していることが判明した。とりわけ、中期中葉新道式から中期後葉曾利Ⅳ式にかけては住居跡から良好な資料が多数出土しており、八ヶ岳南麓地域における当該期の土器様相を考える上で欠かせない資料となろう。

#### 参考文献

- 小野正文・今福利恵・三田村美彦 1999 「縄文時代の編年」『山梨県史 資料編2 原始・古代』  
柳原功一 2001 「縄文中期の集落変遷と土器様相」『石原田北遺跡』マート地点発掘調査報告書 石原田北遺跡発掘調査会  
今福利恵 2003 「(研究メモ) 山梨県における勝坂式土器後半期の素描」『研究紀要19』山梨県埋蔵文化財センター  
北巨摩市町村文化財担当者会 2003 「北巨摩地域の曾利式土器(前編)」『八ヶ岳考古平成14年度年報』北巨摩市町村文化財担当者会  
今福利恵 2004 「土器からの視点・甲府盆地における様相」『縄文集落研究の新地平』縄文集落研究グループセミナーレポート研究会  
間間俊明 2004 「土器からの視点・八ヶ岳南麓の様相」『縄文集落研究の新地平』縄文集落研究グループセミナーレポート研究会

## 第2節 縄文時代集落の変遷（第354・355図）

今次調査では縄文時代中期に比定される住居跡が99軒検出されている。ここでは、第1節で県史編年（小野・今福・三田村1999）を基軸として設定した各段階ごとに、住居跡の時期と分布を検討し、当該期集落の変遷を検討し、まとめとしたい。

### 第1段階

今次調査では本段階（猪沢式期）から住居跡が検出され、集落の初現期となる。該当するのは95・102号の2軒となろう。出土した土器などからいざれも、県史編年でも新しい段階に比定される住居となり、調査区南東の緩斜面に分布する。また、本段階の土器がまとまって出土した142・417号土坑も住居とはほぼ同様の分布を示す。

### 第2段階

本段階（新道式期）に比定される住居跡は、5・8・9・22・23・26号の6軒となろう。県史編年2細分に対応すると、9・26号が古段階に、5・8・22・23住居は新段階に比定されよう。1号住も出土した有孔鍔付土器（1住1）などを考慮すると、本段階に比定される可能性がある。住居跡はいざれも、調査区北西緩斜面で検出され、第1段階と分布状況が大きく異なる。これに対し、本段階に比定される人面装飾付土器を出土した129号土坑は、第1段階と同様調査区南東側で検出されている。

### 第3段階

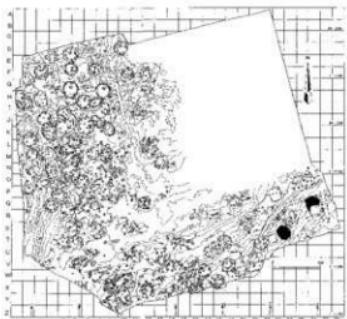
本段階（藤内式期）に比定される住居跡は、7・13・15・21・30・31・39・48・49・52・55・58・61・67・76号の15軒となり、今次調査では最も多くの住居跡が検出された段階となる。県史編年4細分に対応させると、古段階に13・39・48・49・67号、中段階に55・61、新段階に52・76号、最新段階に7・21・30号が比定されよう。

住居跡は調査区西側緩斜面から南側緩斜面にかけて分布し、遺構分布の稀薄な調査区中央から南西方向にのびる小尾根上にも本段階では住居跡が検出されている。このうち、古段階では西側緩斜面から小尾根にかけて、中・新段階では小尾根を経て南側緩斜面にかけて、最新段階では西側緩斜面で検出され、各細別時期によても住居の占地に若干の差異が認められる。

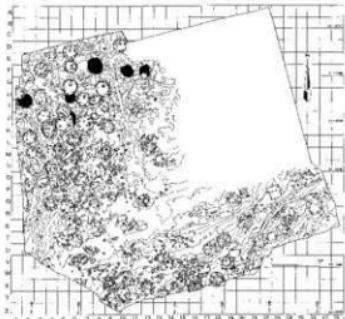
### 第4段階

本段階（戸戸尻式期）に比定される住居跡は、2・4・16・19・28・42・56・64・73・77・84・88号の12軒となり、今次調査では第3段階について多くの住居跡が検出された。県史編年3細分に対応させると、古段階に、2・4・16・19号、中段階に56・73・77・88号、新段階に42・64号が比定されよう。

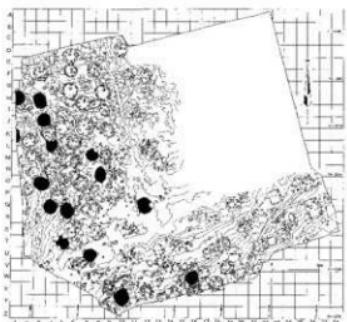
住居跡は調査区中央から南西方向にのびる小尾根を境にして、西側緩斜面と南側緩斜面に分布する。このう



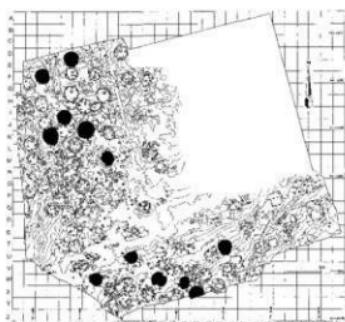
第1段階



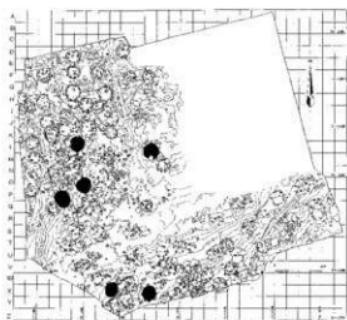
第2段階



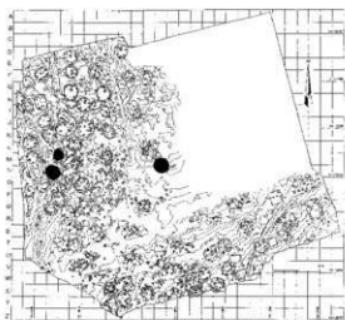
第3段階



第4段階

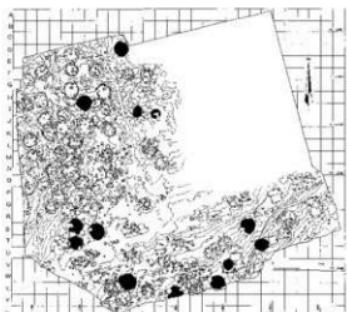


第5段階

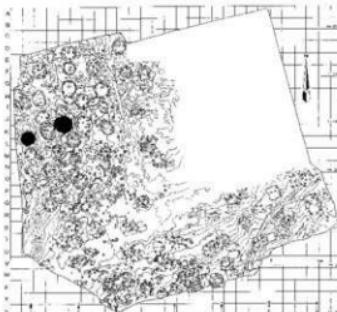


第6段階

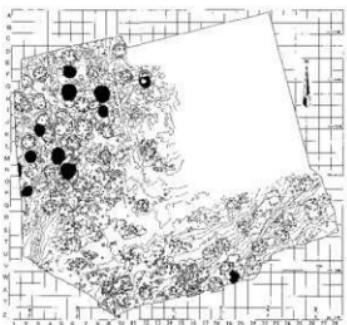
第354図 集落の変遷（1）



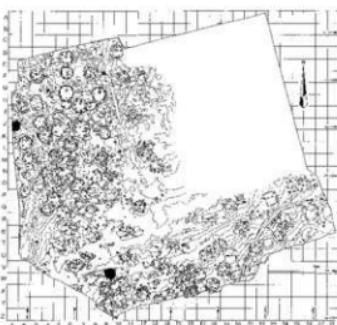
第7段階



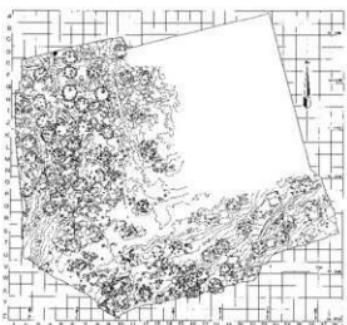
第8段階



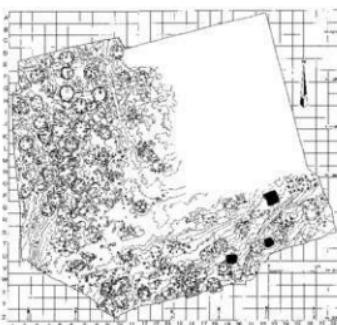
第9段階



第10段階



第11段階



第12段階（平安時代）

ち、古段階では調査区北西側に分布するのに対し、中段階では小尾根を挟んで対称の南側に分布する。新段階では小尾根を挟むように南北に分布する。

#### 第5段階

本段階に比定される住居跡は、33・34・43・62・69・82号の6軒となる。住居跡は第4段階の新段階と同様、調査区中央から南西方向にのびる小尾根の南北両側で検出され、北側が33・34・43・82号の4軒、南側が62・69号の2軒となる。

なお、本段階は従来、井戸尻式末から曾利I式古段階に帰属する段階として捉えられてきたが（今福2003）、最新の研究では本段階を井戸尻式3段階として井戸尻式終末に位置づけている（今福・間間2004）。これに準ずるとこの段階の住居跡は4段階終末とされるが、第1節でも述べたように、住居跡からの一括資料などの検討により本段階が一時期を画することから、従来どおり本段階を設定することとした。

#### 第6段階

本段階（曾利I式期）に比定される住居跡は38・40・93号の3軒となる。住居跡は3軒とも調査区中央から南西方向にのびる小尾根を境に北側で検出されている。ただ、89号など本段階あるいは第5段階に帰属すると考えられる住居が小尾根の南側で検出されていることを考慮すると、第5段階同様、本段階も小尾根を境にした南北両側で住居跡が分布した可能性がある。

#### 第7段階

本段階（曾利II式期）に比定される住居跡は、10・24・27・45・51・53・54・63・75・83・87A・90・96号の13軒となり、4段階に次いで多くの住居跡が検出された。住居跡は、調査区中央から南西方向にのびる小尾根の南北両側で検出され、北側が10・24・27・45・51・53・54号の7軒となり、南側が63・75・83・87A・90・96号の6軒となる。

#### 第8段階

本段階（曾利III式期）に比定される住居跡は、18・20号の2軒となり、前段階から大きく減少する。住居跡は調査区中央から南西方向にのびる小尾根の北側で確認され、現状において南側では確認されていない。

#### 第9段階

本段階（曾利IV式期）に比定される住居跡は、3・6・14・17・25・29・32・36・37・44・46・91号の12軒となり、今次調査では第4・7段階に次いで多くの住居跡が検出された。県史編年2細分に対応させると、古段階に、17・29・32・36・46号、新段階に3・6・14・25・44号が比定されよう。

住居跡は調査区中央から南西方向にのびる小尾根の北側に集中的に分布し、古・新の細別時期が判明した住居はいずれも小尾根の北側で検出されている。これに対し、南側は細別時期の判然としない91号の1軒が確認されたのみとなる。

#### 第10段階

本段階（曾利V式期）に比定される住居跡は、12・65号の2軒となる。県史編年3細別に対応させると、古段階に相当する住居跡はみられず、新段階に65号が、終末段階に12号が比定され、第8段階と同様に本段階で住居軒数が急激に減少する傾向を示す。その分布は調査区中央から南西方向にのびる小尾根の北側で12号が、南側で65号が確認されている。また、本段階の個体資料が出土した6・34・300号土坑は、いずれも小尾根の北側で検出されている。

#### 第11段階

本段階（称名寺I式期）を含め、それ以降の縄文時代住居跡は検出されていない。調査区の北西際で本段階の個体資料を出土した4号土坑が検出されたのみとなる。

以上、今次調査で検出した中期住居跡を中心に、その時期や分布を各段階毎に概観してきた。大局的には中期中葉から終末までの集落となり、大規模な削平により遺構の検出されなかつた調査区北東の空白部を除き、ほぼ全面で住居跡が検出されている。ただ、調査区中央から南西方向にのびる小尾根上は、その分布が稀薄となり、

この小尾根を境に広がる西側緩斜面と南側緩斜面に多くの住居跡が検出される傾向が看取られる。このことは、中期中葉から終末という比較的の長期間にわたり、この小尾根が境界的な機能を有していた可能性を示し、今次調査で検出された縄文中期集落の変遷や構造を考える上で常に意識しておく必要があろう。

各段階での変遷をまとめると、第1段階縄沢式期が集落の初現期となり、第2段階新道式期にかけて立地を変えながら集落は拡大を続け、第3段階藤内式期にピークを迎える。第4段階井戸尻式期から第7段階曾利Ⅱ式期までは、第6段階曾利Ⅰ式期に縮小するものの比較的安定的に集落は継続されるが、第8段階曾利Ⅲ式期に住居軒数が大きく減少する。第9段階曾利Ⅳ式期では、調査区中央から南西方向にのびる小尾根の北側を中心に多くの住居が検出され再び集落は拡大するが、第10段階曾利Ⅴ式期になると、集落規模が縮小し衰退していく。第11段階後期称名寺式期に住居跡はみられず、土坑1基が検出されるのみとなり、第12段階とした平安時代まで今次調査区で住居跡などの遺構は検出されない。なお、平成14年度に行われた第3次調査では、第11段階の称名寺式や今次調査では出土していない堀之内式など後期に比定される土器が出土しており、後期には集落立地が今次調査区の西側（第3次調査区）へ移ったと考えられる。

### 第3節 平安時代集落の変遷（第355図）

第12段階として図示した。本段階に比定される住居跡は、86・92・94号の3軒となり、調査区南東の緩斜面で検出された。このうち、92・94号が出土した土器から9世紀後半、86号が9世紀中葉に比定され、本段階に帰属する可能性のある掘立柱建物跡2棟も住居跡と同様の立地となり、小規模ながら当該期の集落が検出されたこととなる。なお、平成12・14年度に行われた第1・3次調査でも平安時代の住居跡が検出され、その散在的な分布は今次調査と近似する。

#### 参考文献

- 鶴原功一 2001「山梨県における縄文時代集落の諸様相」「列島における縄文時代集落の諸様相」縄文時代文化研究会  
山梨県教育委員会 2003『原町農業高校前（下原）遺跡第1次』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第210集  
今福利恵 2003「（研究メモ）山梨県における勝坂式土器後半期の素描」「研究紀要19』山梨県埋蔵文化財センター  
今福利恵 2004「土器からの視点・甲府盆地における様相」「縄文集落研究の新地平」縄文集落研究グループセツルメント研究会  
間間俊明 2004「土器からの視点・八ヶ岳南麓の様相」「縄文集落研究の新地平」縄文集落研究グループセツルメント研究会  
鶴原功一 2004「堅穴住居跡からの視点・甲府盆地八ヶ岳南麓」「縄文集落研究の新地平」縄文集落研究グループセツルメント研究会  
山梨県教育委員会 2004『原町農業高校前（下原）遺跡第3次』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第219集



# 写 真 図 版





原町農業高校前遺跡遠景（南から八ヶ岳を望む）



原町農業高校前遺跡グランド部分調査区全域



原町農業高校前遺跡グランド部分調査区北側



原町農業高校前遺跡グランド部分調査区南側



調査風景から（東から）

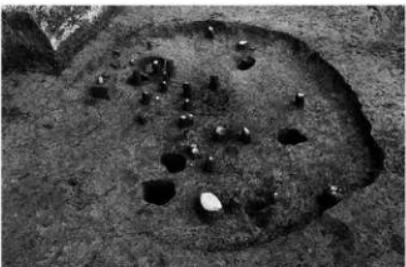


体験学習（昭和町押原中学校）

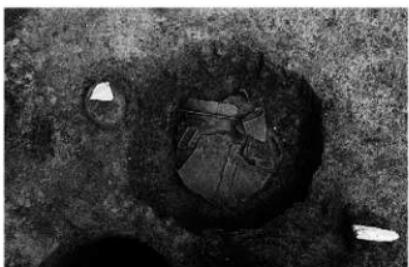
図版 2



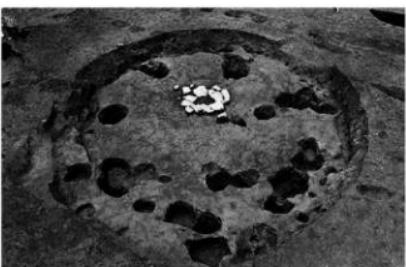
1号住居跡（北から）



1号住居跡遺物出土状況（北から）



1号住居P 9 有孔鉢付土器出土状況



2号住居（南から）



2号住居跡遺物出土状況（南から）



2号住居跡炉



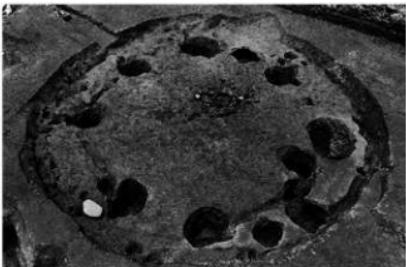
3号住居跡（南から）



3号住居跡埋甕



3号住居跡伏甌



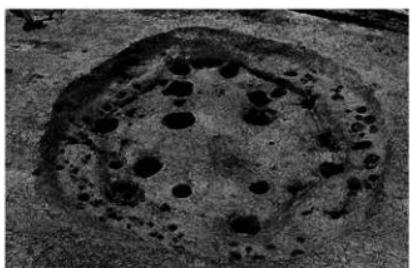
4号住居跡（南から）



4号住居跡遺物出土状況（西から）



4号住居跡P15遺物出土状況



5号住居跡（北から）



5号住居跡炉



5号住居跡遺物出土状況（南から）



5号住居跡炉断面

図版 4



5号住居跡P17有孔鉤付土器出土状況



5号住居跡炉遺物出土状況



6号住居跡（南から）



6号住居跡遺物出土状況（南から）



6号住居跡遺物出土状況



6号住居跡埋甕



7号住居跡（東から）



7号住居跡遺物出土状況（東から）



7号住居跡炉



7号住居跡炉遺物出土状況



7号住居跡炉周辺土器・土偶出土状況



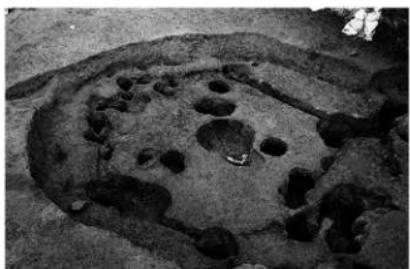
7号住居跡炉周辺遺物出土状況



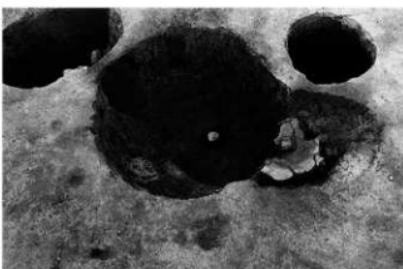
7号住居跡器台出土状況



7号住居跡P7遺物出土状況



8号住居跡（北から）



8号住居跡炉

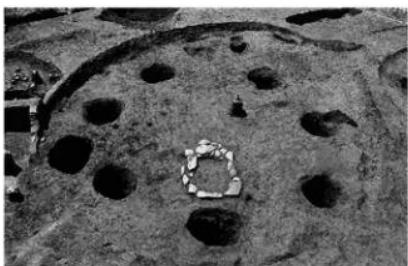
図版 6



8号住居跡深鉢出土状況



9号住居跡（南から）



10号住居跡（北から）



10号住居跡遺物出土状況（北から）



10号住居跡炉



10号住居跡P6土器出土状況



11号住居跡（南から）



11号住居跡遺物出土状況（北から）



12号住居跡（北から）



12号住居跡炉周辺遺物出土状況



12号住居跡炉



13号住居跡（北から）



13号住居跡遺物出土状況（北から）



13号住居跡炉



13号住居跡炉周辺遺物出土状況



14号住居跡（南から）

図版 8



14号住居跡炉周辺遺物出土状況



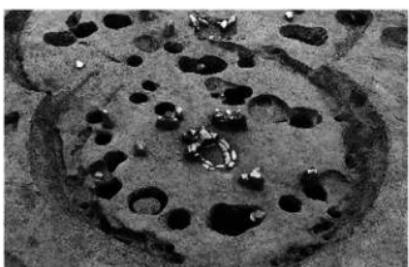
15号住居跡（北から）



15号住居跡炉



16号住居跡（南から）



16号住居跡遺物出土状況（北から）



16号住居跡炉



16号住居跡炉周辺遺物出土状況



16号住居跡炉周辺遺物出土状況



17号住居跡（北から）



17号住居跡遺物出土状況（北から）



17号住居跡炉



17号住居跡埋甕



18号住居跡（南から）



18号住居跡遺物出土状況（南から）



18号住居跡炉



18号住居跡埋甕

図版10



18号住居跡南側埋甕



19号住居跡（南から）



19号住居跡炉



19号住居跡遺物出土状況



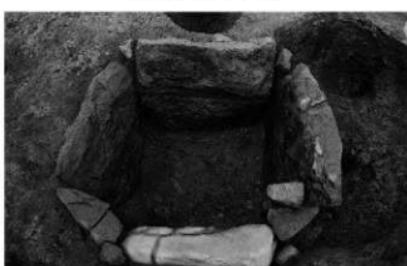
19号住居跡土偶出土状況



20号住居跡（南から）



20号住居跡遺物出土状況（南から）



20号住居跡炉



21号住居跡（西から）



21号住居跡P1深鉢出土状況



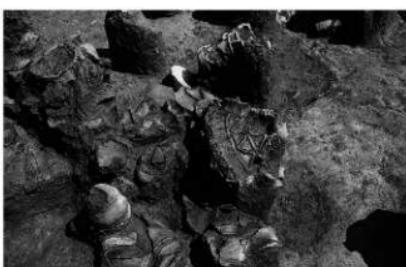
22号住居跡（北から）



22号住居跡遺物出土状況（北から）



22号住居跡炉



22号住居跡遺物出土状況



22号住居跡遺物出土状況



22号住居跡P20遺物出土状況

図版12



22号住居跡深鉢出土状況



18・23号住居跡（南から）



24号住居跡（北から）



26号住居跡（南から）



26号住居跡埋甕



26号住居跡遺物出土状況（南から）



27号住居跡（南から）



27号住居跡炉



27号住居跡埋甕



28号住居跡（南から）



28号住居跡炉



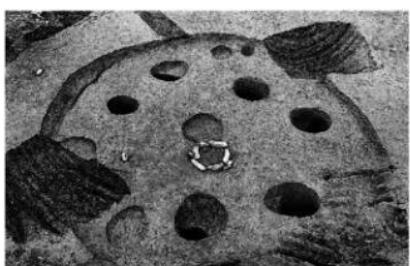
29号住居跡（南から）



29号住居跡遺物出土状況（南から）



29号住居跡埋甕

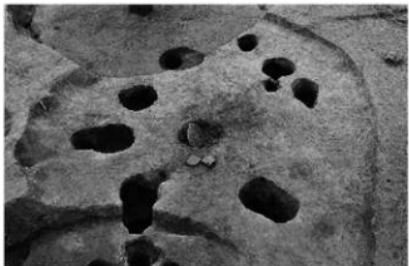


30号住居跡（北から）

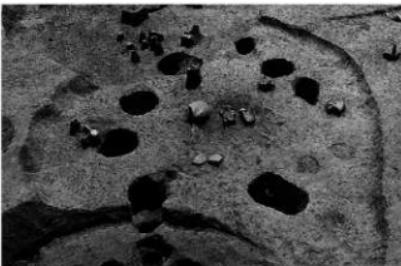


30号住居跡炉

図版14



31号住居跡（北から）



31号住居跡遺物出土状況（北から）



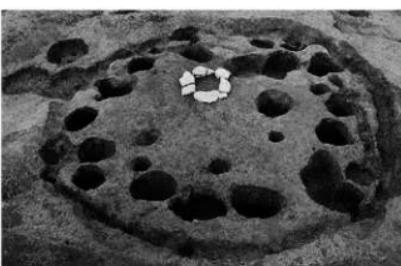
32号住居跡（南から）



32号住居跡炉



32号住居跡埋甕



33号住居跡（南から）



33号住居跡遺物出土状況（南から）



33号住居跡炉



34号住居跡（北から）



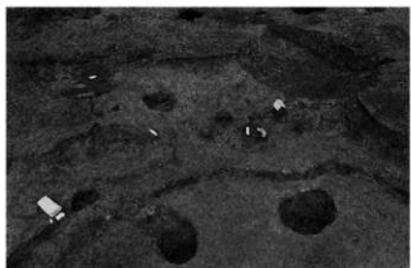
34号住居跡遺物出土状況（北から）



34号住居跡P14遺物出土状況



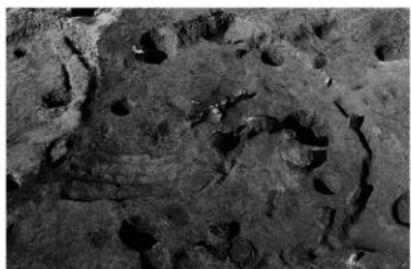
34号住居跡土偶出土状況



35号住居跡（南から）



36号住居跡（南から）



36号住居跡遺物出土状況（南から）



36号住居跡炉粗製石匙出土状況

図版16



36号住居跡埋甕



37号住居跡（西から）



38号住居跡（南から）



39号住居跡（北から）



39号住居跡遺物出土状況（南から）



39号住居跡人面装飾等出土状況



39号住居跡遺物出土状況



39号住居跡炉周辺遺物出土状況



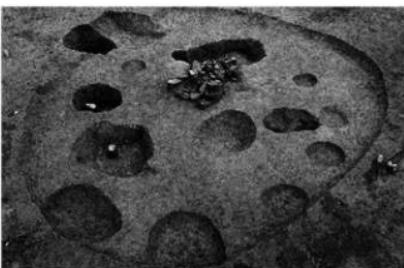
39号住居跡炉



39号住居跡炉断面



40号住居跡（南から）



40号住居跡遺物出土状況（西から）



40号住居跡炉周辺遺物出土状況



40号住居跡炉

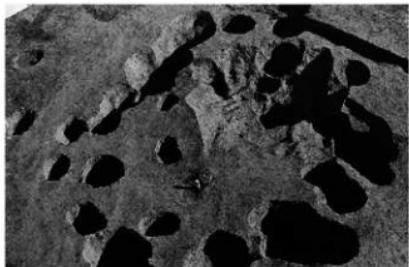


41号住居跡（南から）



41号住居跡P19

図版18



42号住居跡（北から）



42号住居跡炉



42号住居跡P16遺物出土状況



42号住居跡P25石匙出土状況



43号住居跡（南から）



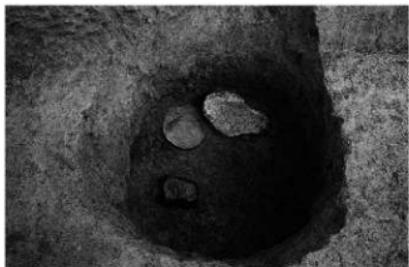
43号住居跡遺物出土状況（北から）



43号住居跡P19遺物出土状況



43号住居跡P7 遺物出土状況



43号住居跡P26遺物出土状況



44号住居跡（北から）



44号住居跡炉



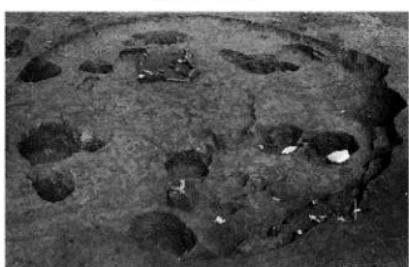
44号住居跡伏甕



44号住居跡埋甕



45号住居跡（南から）



46号住居跡（南から）



46号住居跡炉

图版20



46号住居跡炉周辺遺物出土状況



46号住居跡埋甕



47号住居跡（北から）



47号住居跡炉



47号住居跡P 6 遺物出土状況



48号住居跡遺物出土状況



48号住居跡遺物出土状況



48号住居跡遺物出土状況



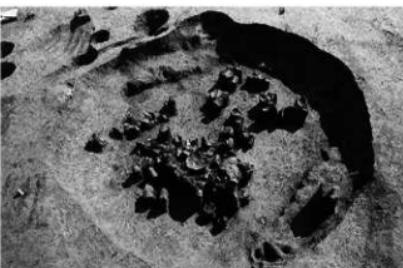
48号住居跡遺物出土状況



49号住居跡（北から）



49号住居跡遺物出土状況（北から）



49号住居跡遺物出土状況（東から）



49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況

図版22



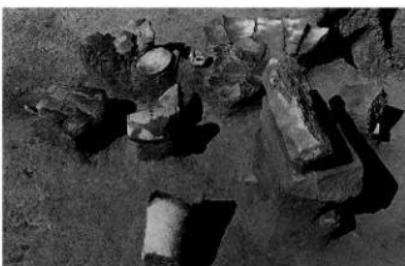
49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況



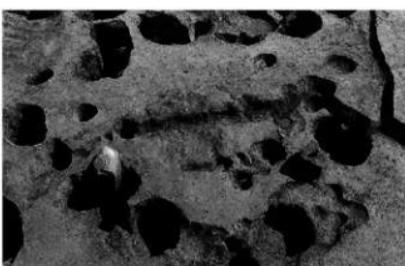
49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況



49号住居跡遺物出土状況



50号住居跡（北から）



51号住居跡（南から）



51号住居跡炉遺物出土状況



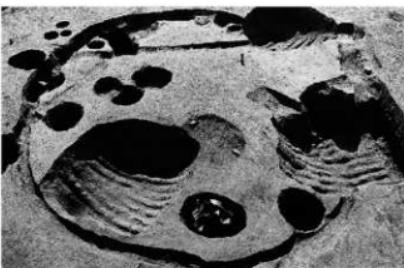
52号住居跡（北から）



52号住居跡遺物出土状況（南から）



52号住居跡炉周辺遺物出土状況



53号住居跡（北から）



53号住居跡P12遺物出土状況



53号住居跡埋甕



54号住居跡（南から）



54号住居跡炉遺物出土状況

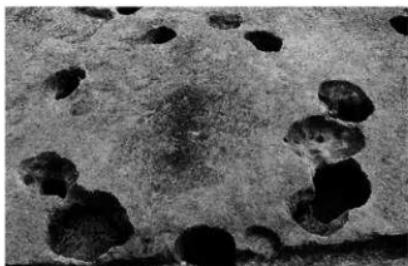
図版24



55号住居跡（北から）



55号住居跡P15深鉢出土状況



56号住居跡（北から）



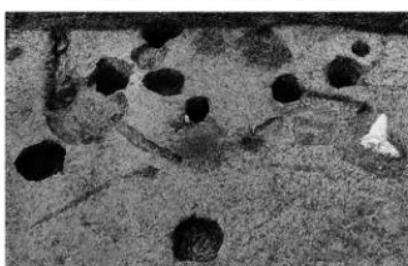
56号住居跡P1 人面装飾付深鉢出土状況



56号住居跡P1 人面装飾付深鉢出土状況



56号住居跡P1 人面装飾付深鉢出土状況



57号住居跡（北から）



58号住居跡（南から）



59号住居跡（北から）



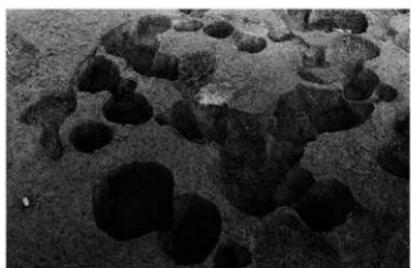
60号住居跡（南から）



61号住居跡（南から）



61号住居跡炉



手前から62・65号住居跡（南から）



63号住居跡（東から）



64号住居跡（東から）



64号住居跡P1 粗製石匙出土状況

図版26



65号住居跡P7 遺物出土状況



66号住居跡（南から）



67号住居跡（南から）



67号住居跡炉



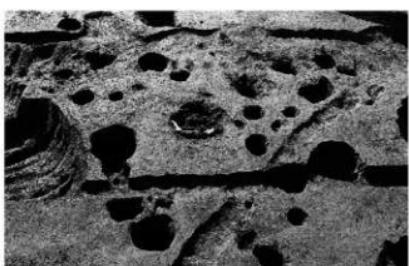
67号住居跡P2 遺物出土状況



67号住居跡P9 遺物出土状況



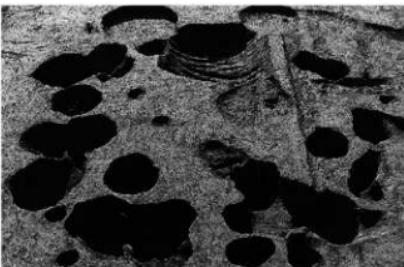
67号住居跡P13遺物出土状況



68号住居跡（北から）



68号住居跡炉



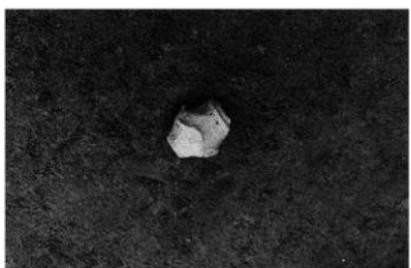
69号住居跡（北から）



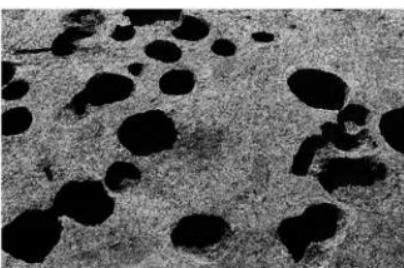
69号住居跡P20器台出土状況



70号住居跡（北から）



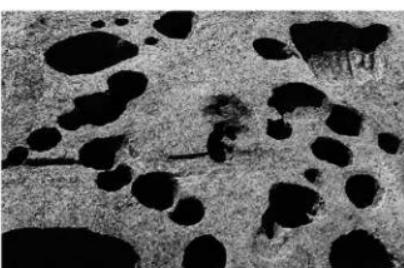
70号住居跡ミニチュア土器出土状況



71号住居跡（北から）



71号住居跡P1 遺物出土状況

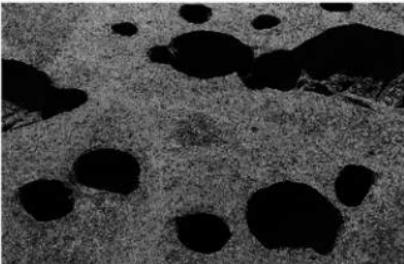


72号住居跡（北から）

図版28



72号住居跡P24遺物出土状況



73号住居跡（北から）



72号住居跡P1 遺物出土状況



74号住居跡（北から）



75号住居跡（北から）



75号住居跡炉



76号住居跡（南から）



76号住居跡炉断面



76号住居跡ミニチュア土器出土状況



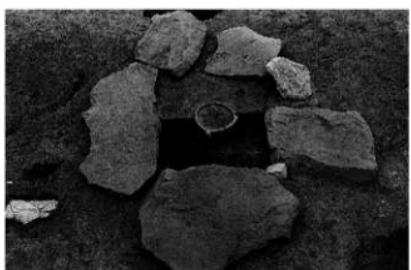
77・81号住居跡（南から）



手前左77・78、後方左から76・78号住居跡（南から）



77号住居跡炉



77号住居跡炉断面



77号住居跡炉P2遺物出土状況



77号住居跡P1遺物出土状況



手前から78・76・77号住居跡（北から）

図版30



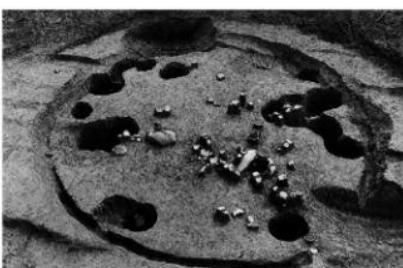
79号住居跡（北から）



80号住居跡（北から）



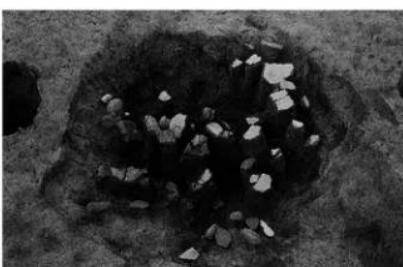
82号住居跡（北から）



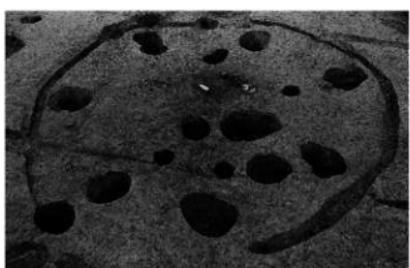
83号住居跡（北から）



83号住居跡炉周辺遺物出土状況



83号住居跡炉遺物出土状況



84号住居跡（南から）



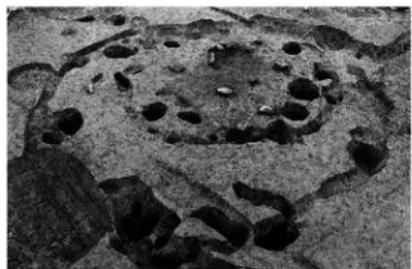
84号住居跡遺物出土状況（北から）



85号住居跡（南から）



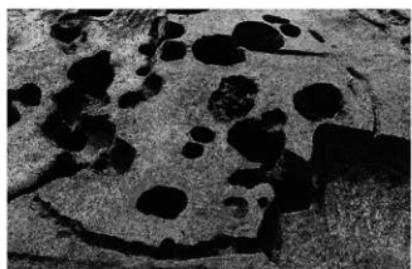
86号住居跡（西から）



87号住居跡（南から）



87号住居跡炉



88号住居跡（南から）



89号住居跡（北から）



89号住居跡土偶出土状況



89号住居跡P 6 土偶出土状況

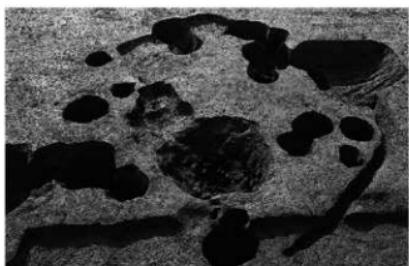
図版32



89号住居跡P 4



89号住居跡P17遺物出土状況



90号住居跡（北から）



90号住居跡P 2 器台出土状況



91号住居跡（北から）



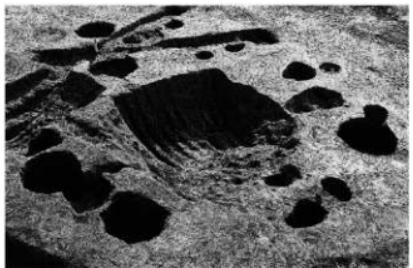
91号住居跡炉



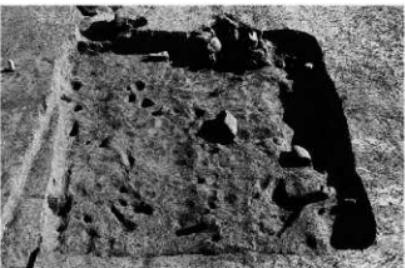
91号住居跡埋甕



92号住居跡（西から）



93号住居跡（北から）



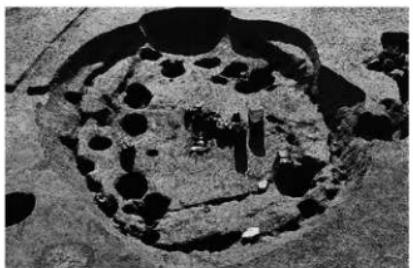
94号住居跡（西から）



94号住居跡カマド



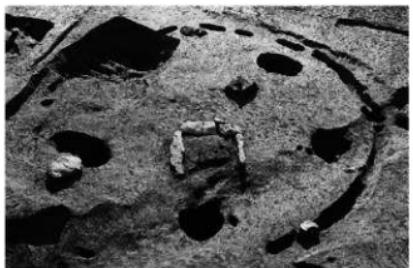
95号住居跡（南から）



95号住居跡遺物出土状況（北から）



95号住居跡炉断面



96号住居跡（北から）



96号住居跡炉

図版34



96号住居埋甕



96号住居跡器台出土状況



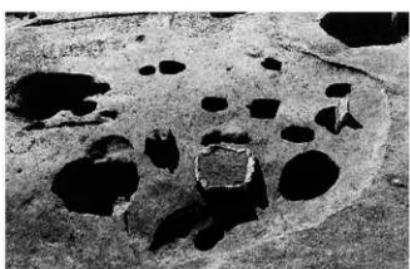
97号住居跡（北から）



97号住居跡炉



97号住居跡炉（石圓下の状況）



98号住居跡（北から）



98号住居跡



100号住居跡（南から）



101号住居跡（北から）



102号住居跡（南から）



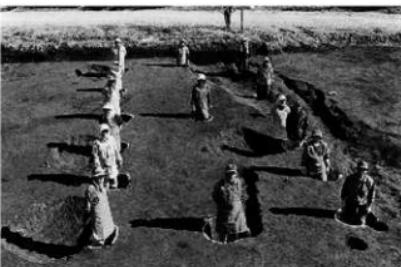
102号住居跡遺物出土状況



1号住居跡調査風景



1号掘立柱建物跡（西から）



1号掘立柱建物跡（西から）



2号掘立柱建物跡（西から）



2号掘立柱建物跡（西から）

图版36



6号土坑遺物出土状況



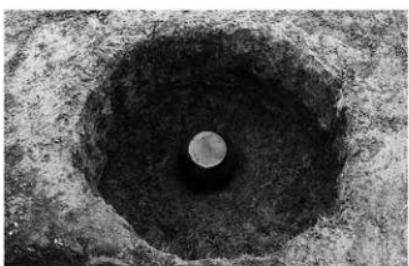
8号土坑遺物出土状況



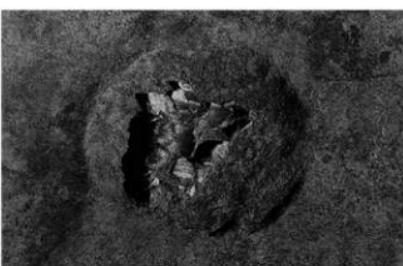
9号土坑遺物出土状況



32号土坑遺物出土状況



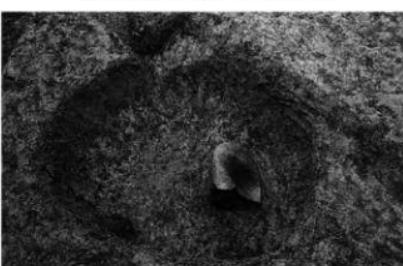
127号土坑遺物出土状況



129号土坑人面裝飾付土器出土状況



142号土坑遺物出土状況



148号土坑石皿出土状況



150号土坑遗物出土状况



158号土坑遗物出土状况



159号土坑遗物出土状况



250号土坑粗制石匙出土状况



357号土坑遗物出土状况



390~393号土坑遗物出土状况



417号土坑遗物出土状况



418号土坑遗物出土状况





18号住居-13



18号住居-11



19号住居-19



19号住居-6



22号住居-7



22号住居-10



22号住居-6



22号住居-4



22号住居-13



22号住居-11



22号住居-5



22号住居-12



22号住居-15



22号住居-16



22号住居-2



22号住居-1



22号住居-19



22号住居-3



28号住居-1



28号住居-2

图版40



28号住居-3



31号住居-8



32号住居-4



32号住居-1



34号住居-1



34号住居-2



34号住居-5



36号住居-2



38号住居-1



39号住居-16



39号住居-23



39号住居-22



39号住居-5



39号住居-15



39号住居-1



39号住居-14



40号住居-1



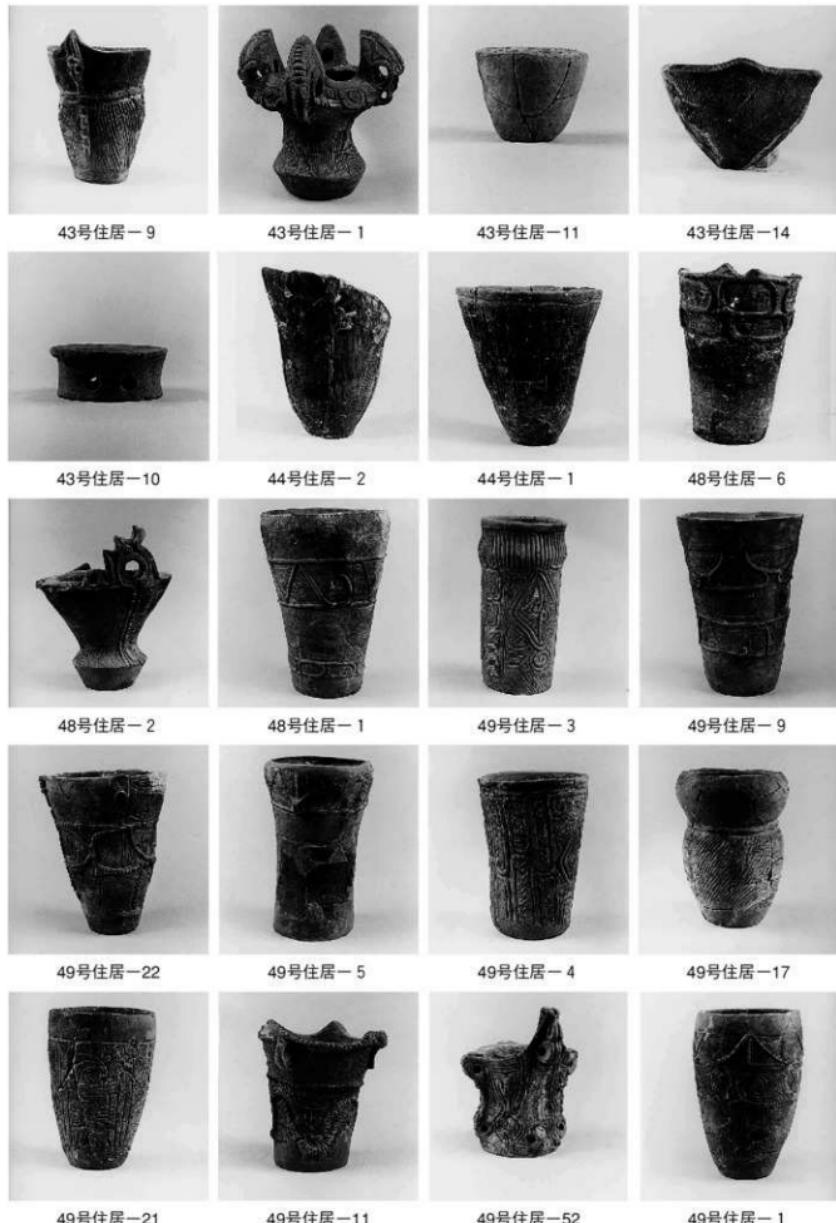
40号住居-4



42号住居-2



42号住居-3



图版42



49号住居-15



49号住居-43



49号住居-35



49号住居-50



49号住居-30



49号住居-27



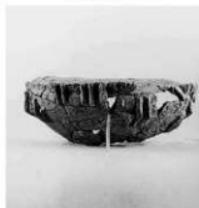
49号住居-20



49号住居-6



49号住居-40



49号住居-32



49号住居-2



52号住居-3



52号住居-1



53号住居-5



54号住居-6



54号住居-4



55号住居-1



55号住居-2



56号住居-1



61号住居-4



61号住居-2



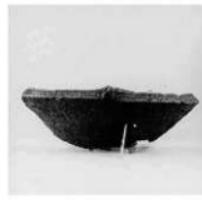
61号住居-1



67号住居-1



67号住居-2



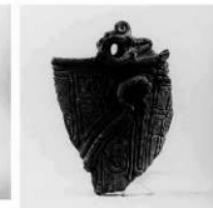
67号住居-3



69号住居-12



70号住居-1



76号住居-11



77号住居-5



77号住居-1



83号住居-6



90号住居-1



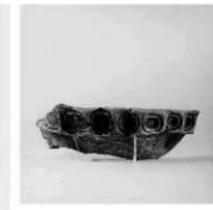
95号住居-6



102号住居-1



102号住居-3



27号土坑-48



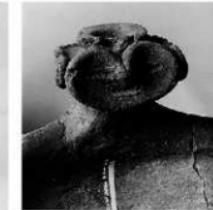
32号土坑-66



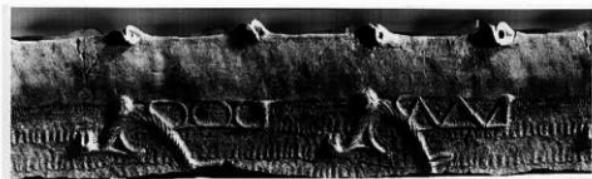
108号土坑-150



129号土坑-174



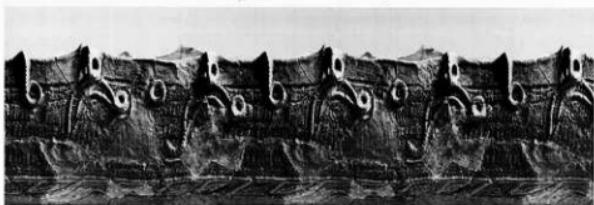
129号土坑-174



5号住居-1



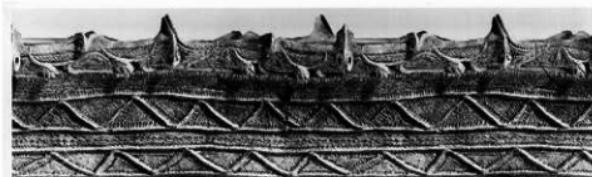
8号住居-1



22号住居-7



22号住居-1

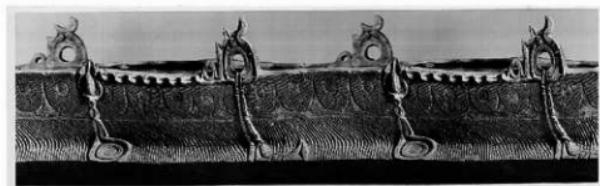




22号住居-6



22号住居-5



48号住居-2



49号住居-1



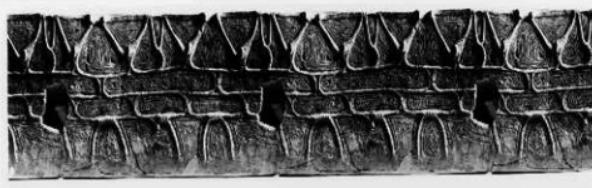
图版46



67号住居-1

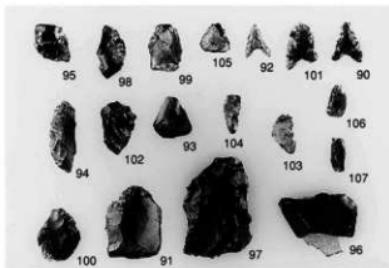
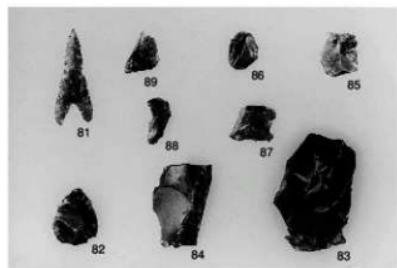
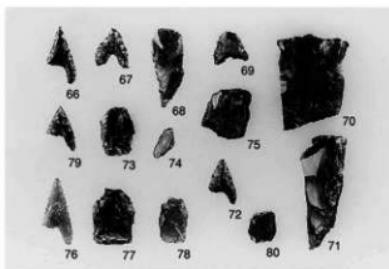
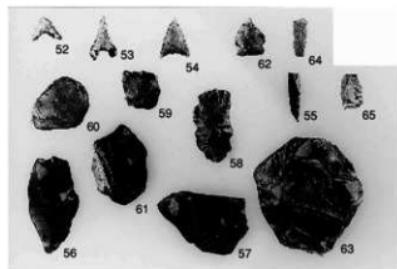
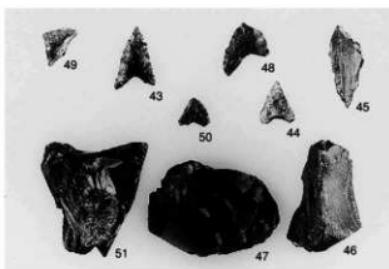
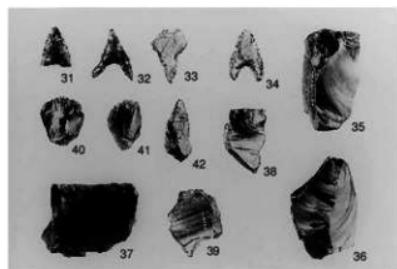
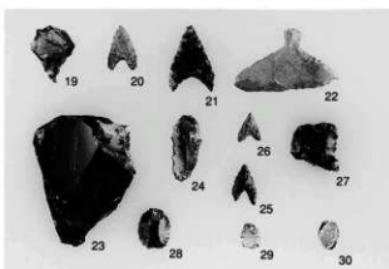


76号住居-1



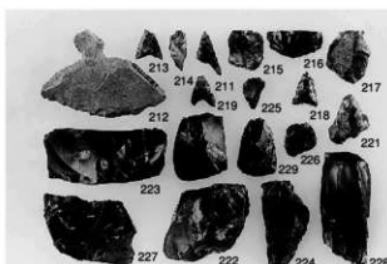
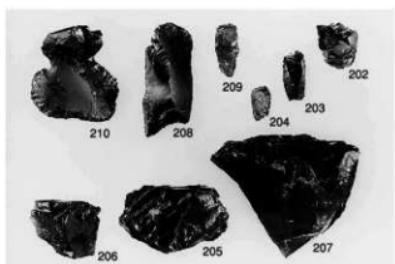
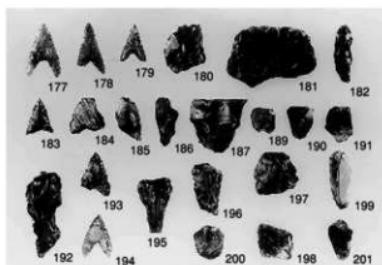
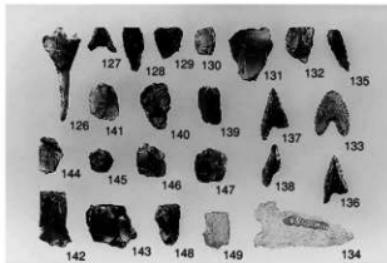
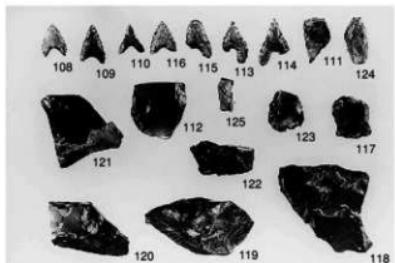
95号住居-2



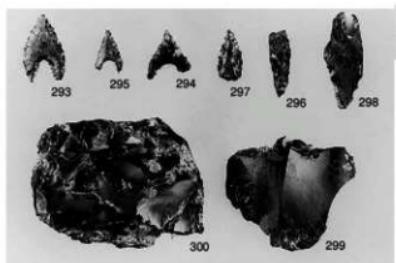
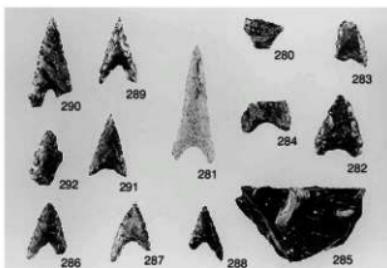
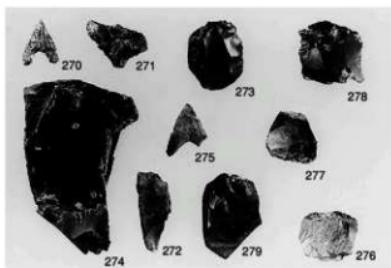


小型剥片石器類

圖版48

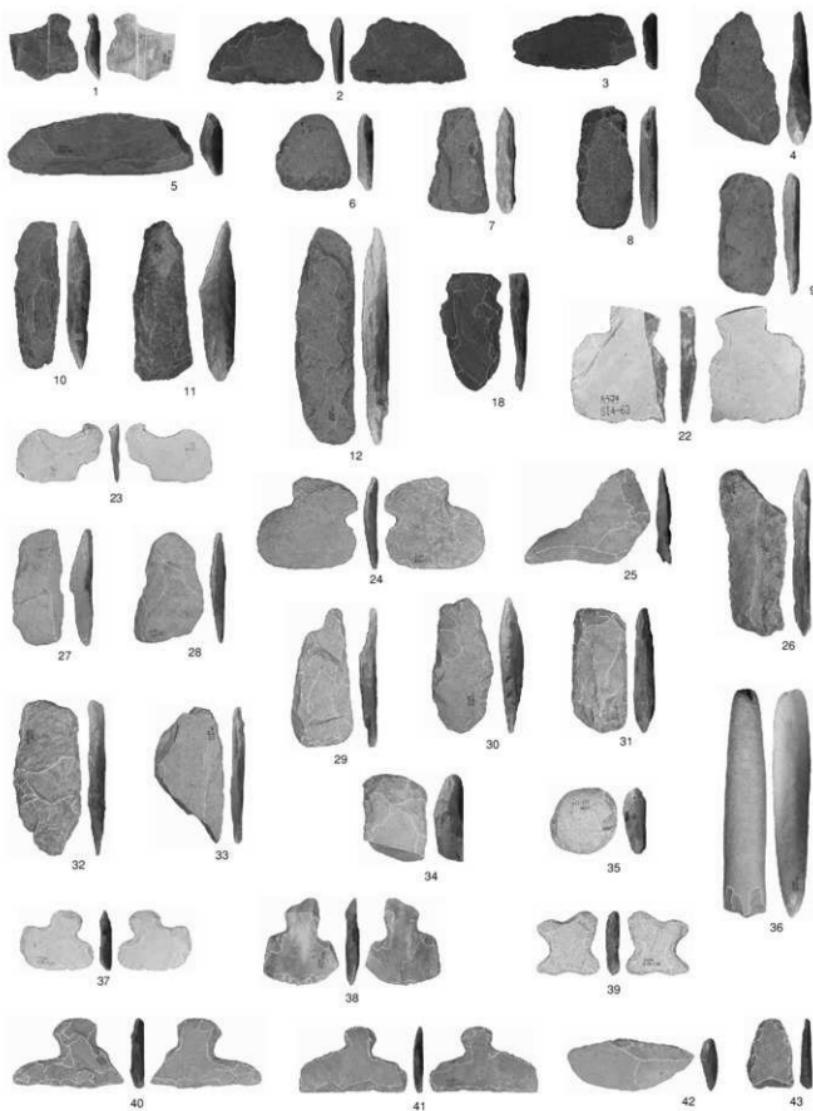


小型剥片石器類

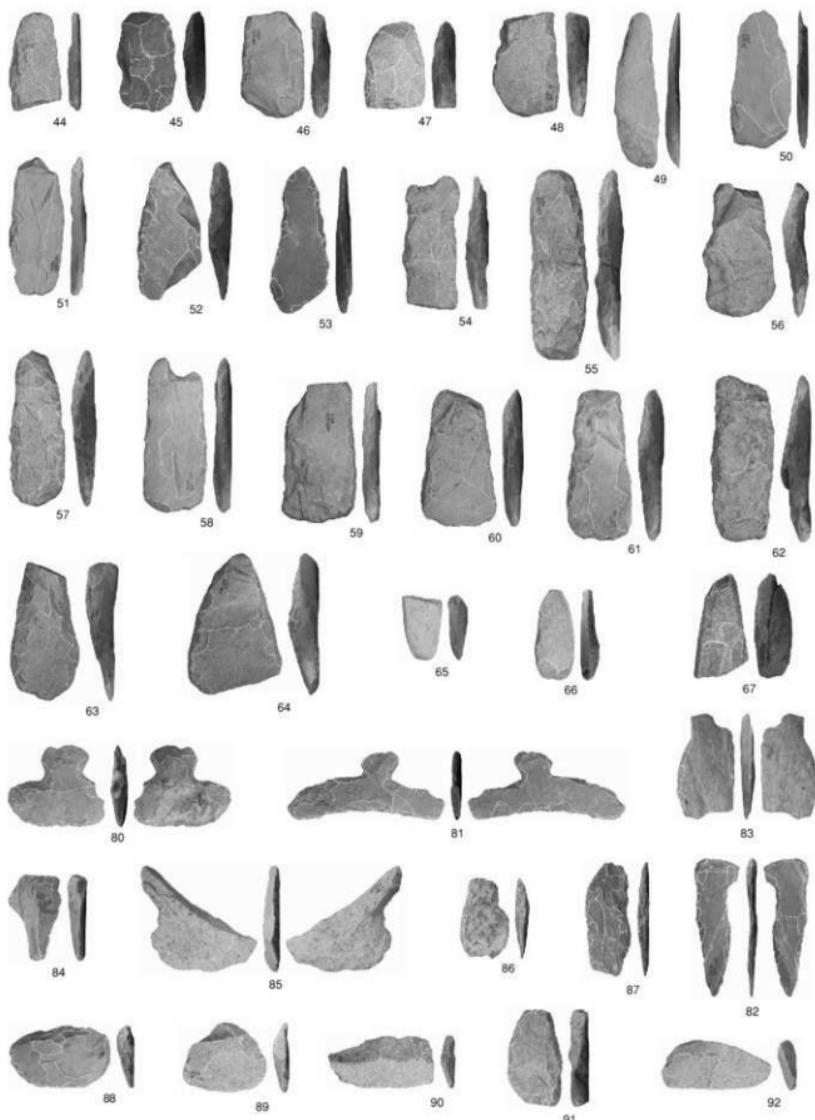


小型剥片石器類

圖版50

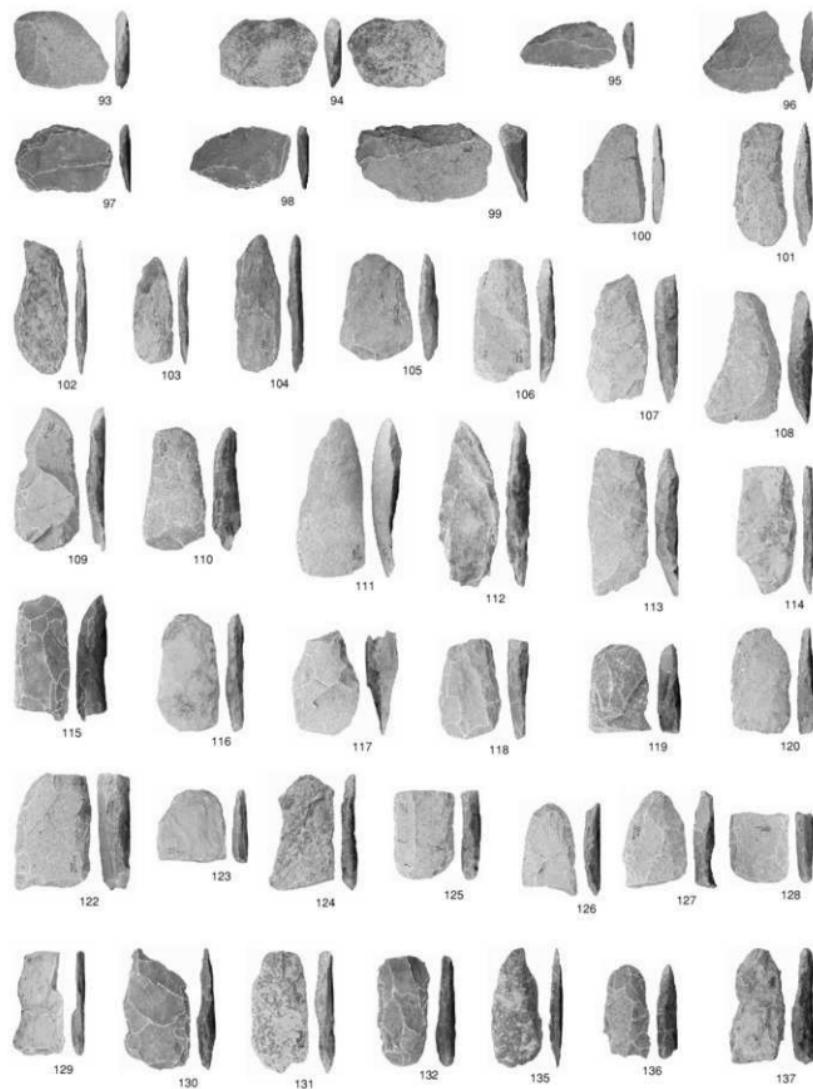


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

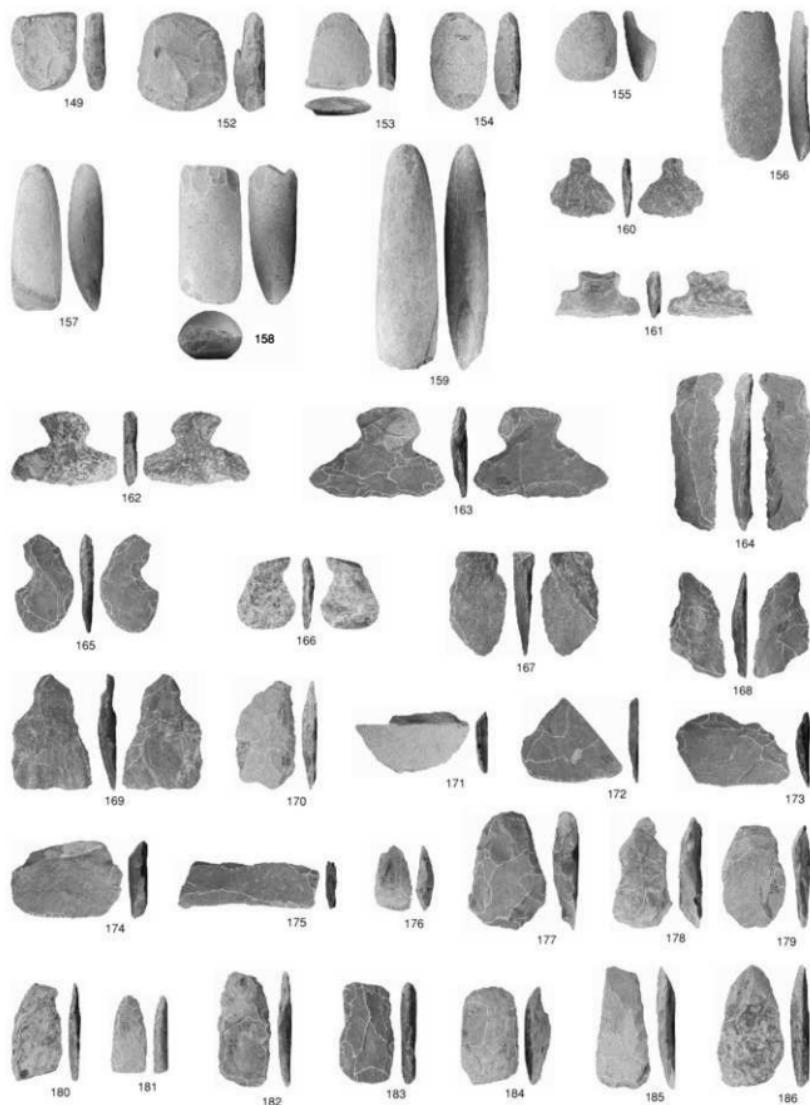


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版52

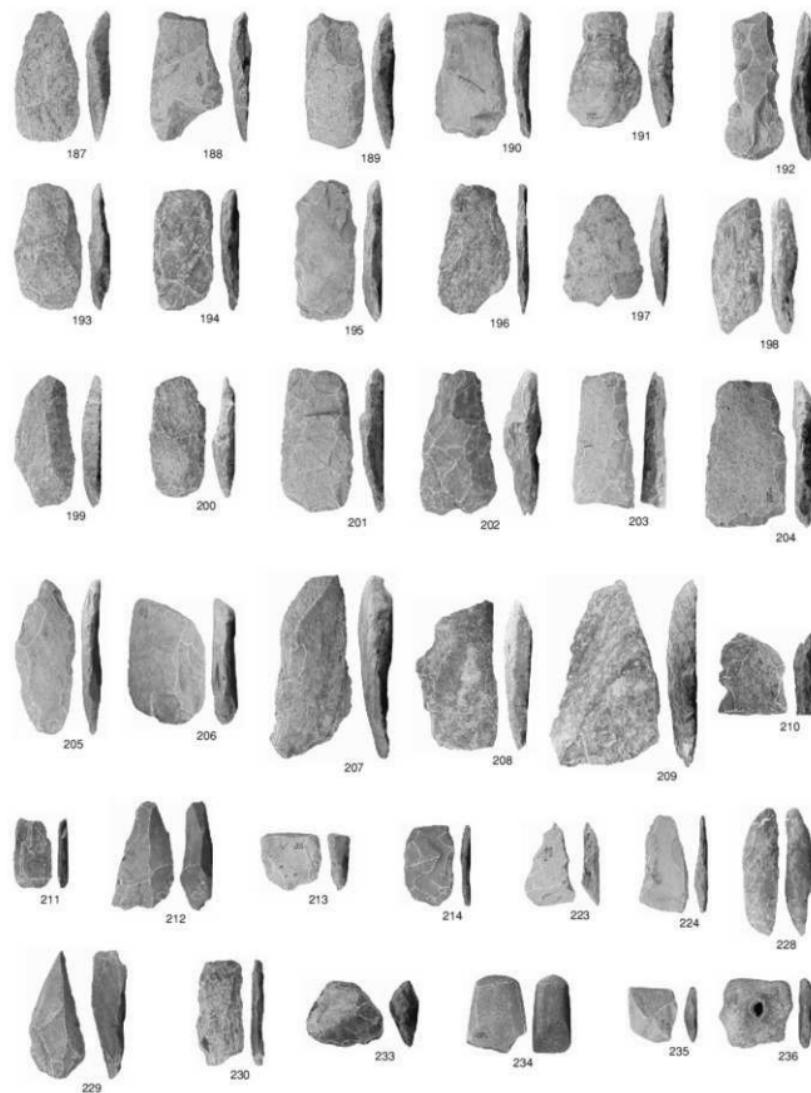


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

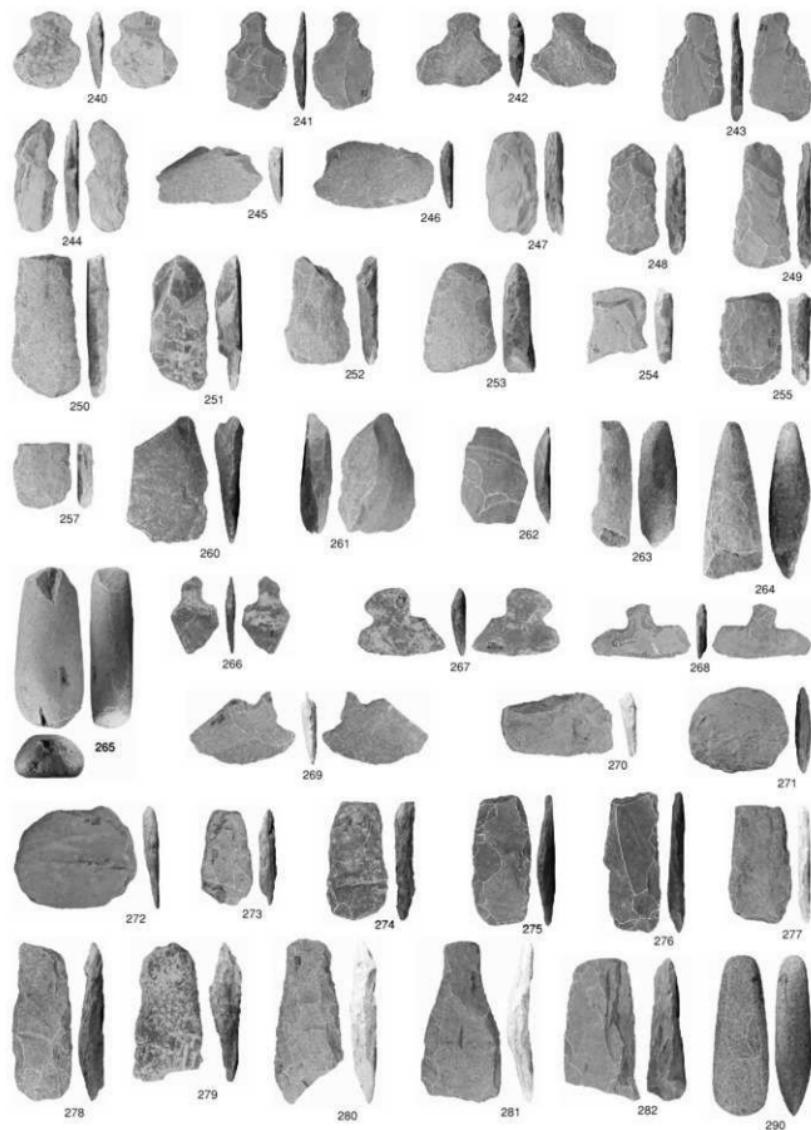


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版54

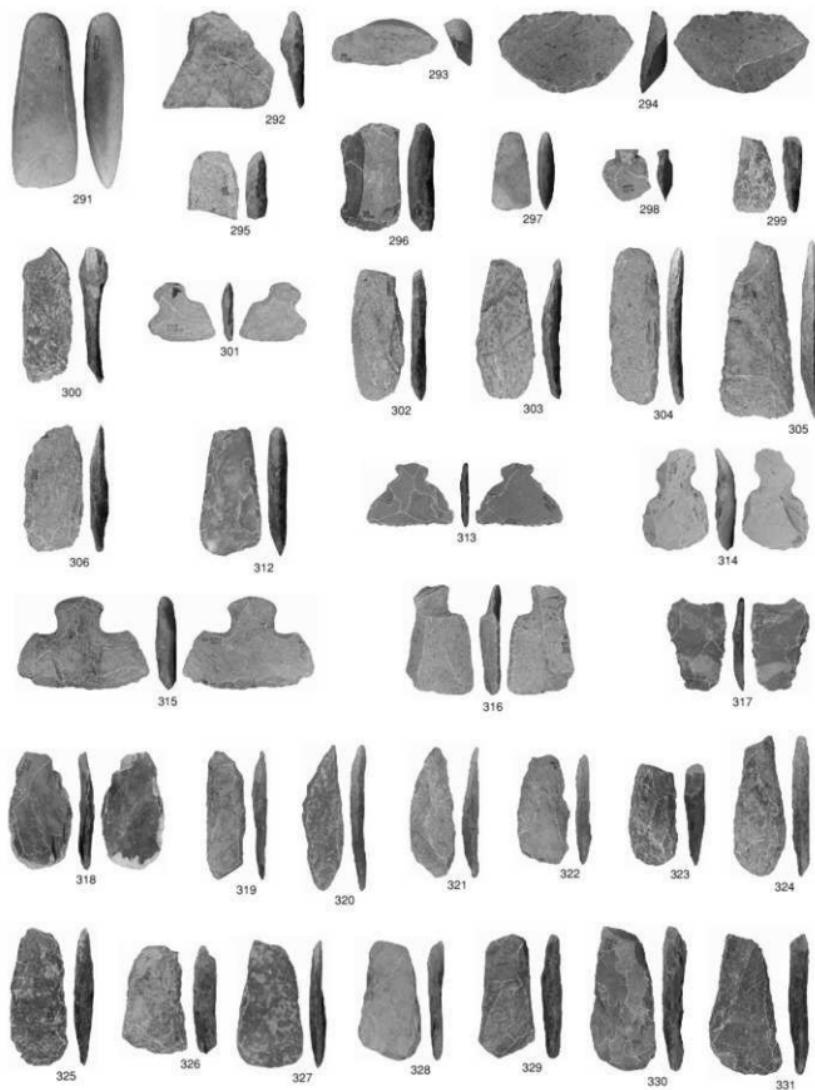


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

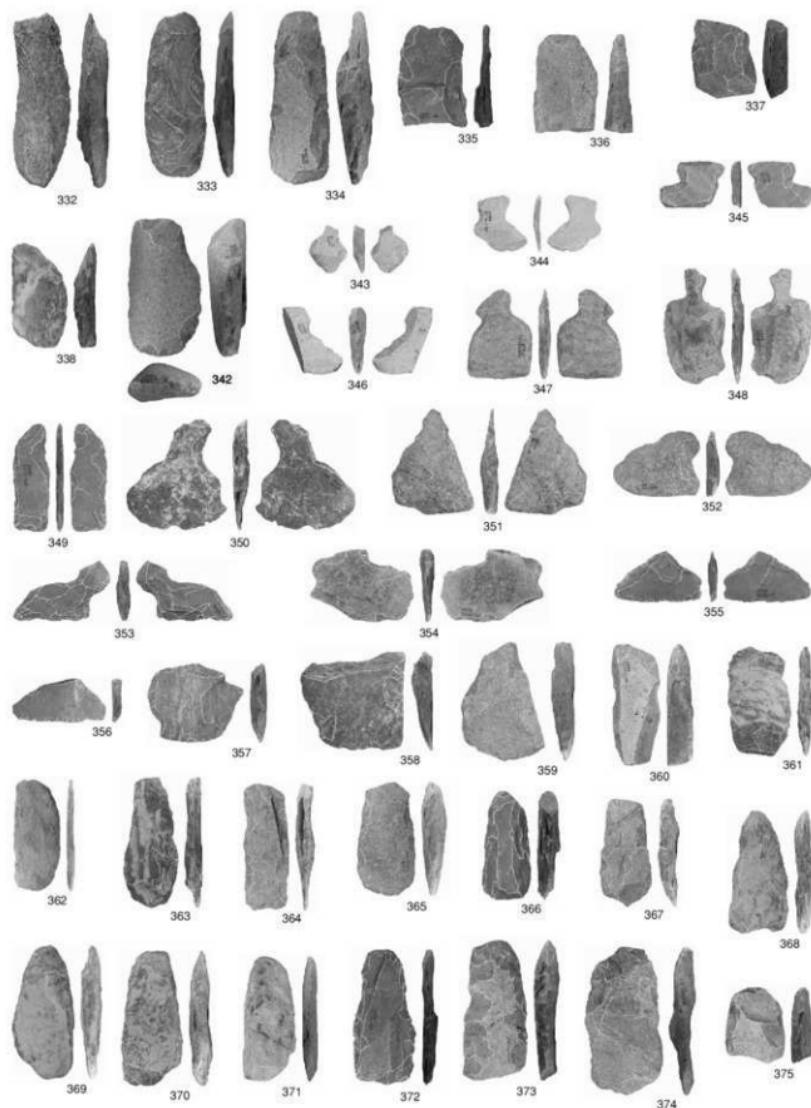


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

図版56

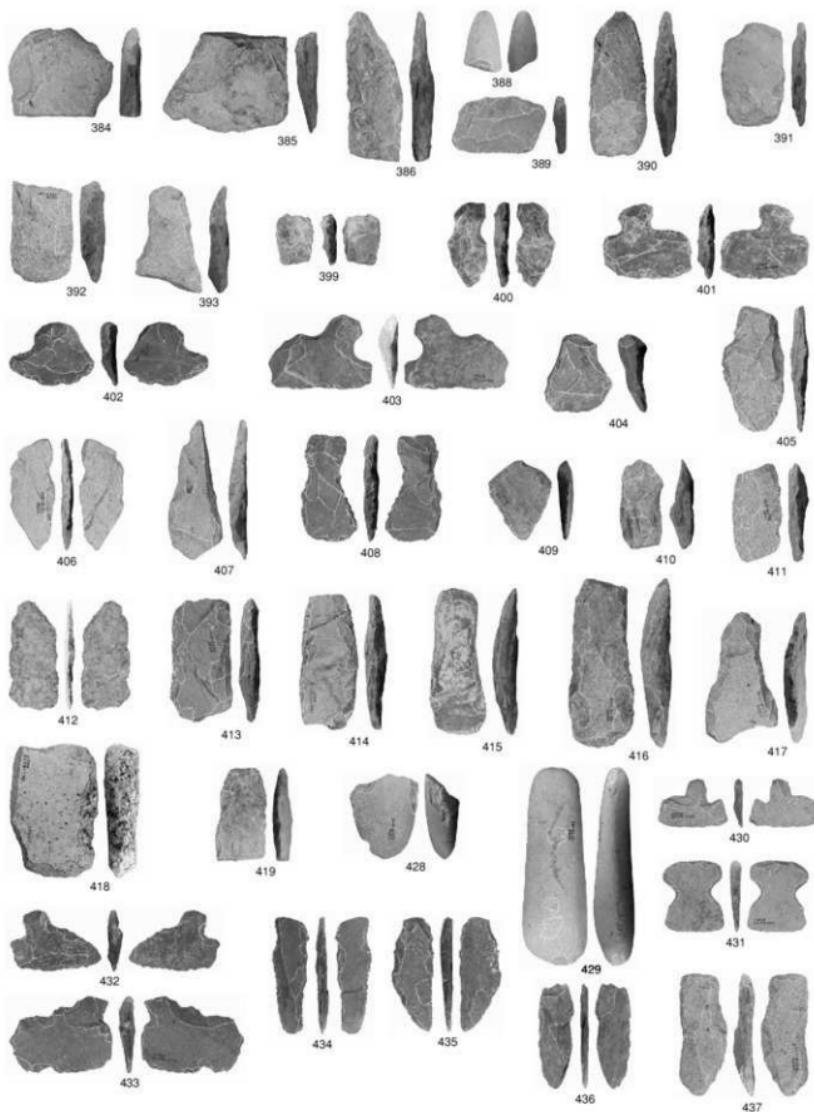


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

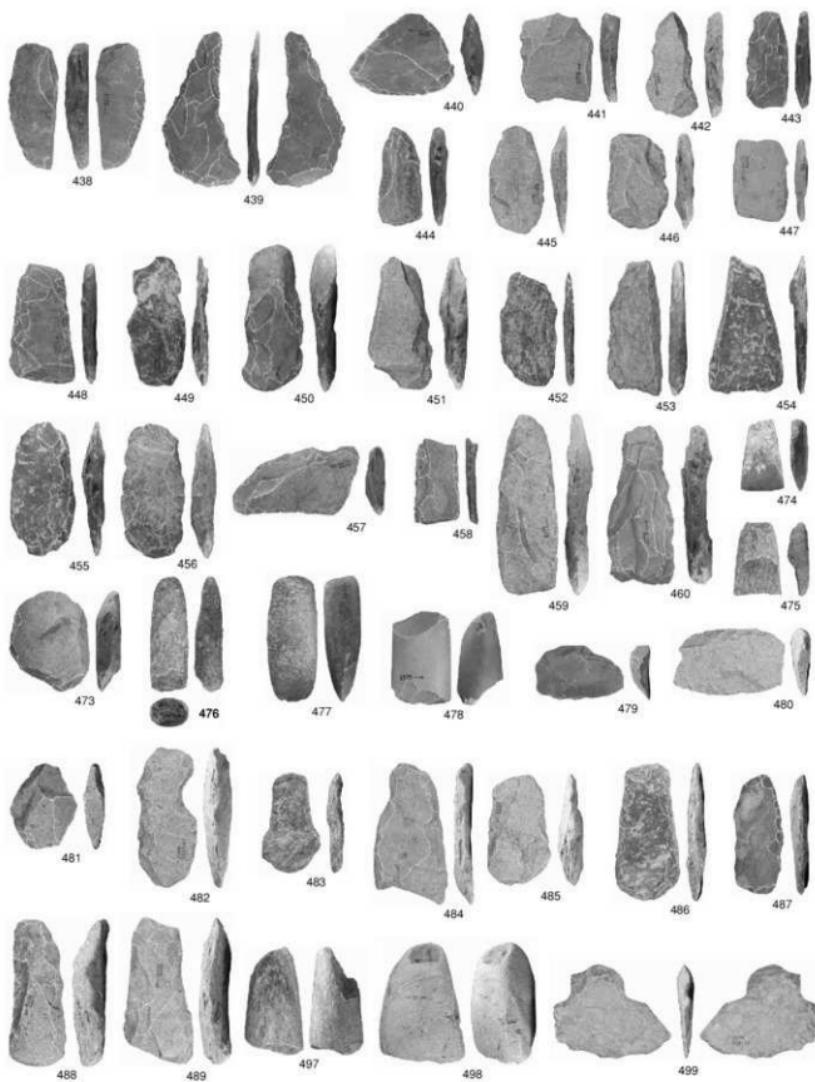


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版58

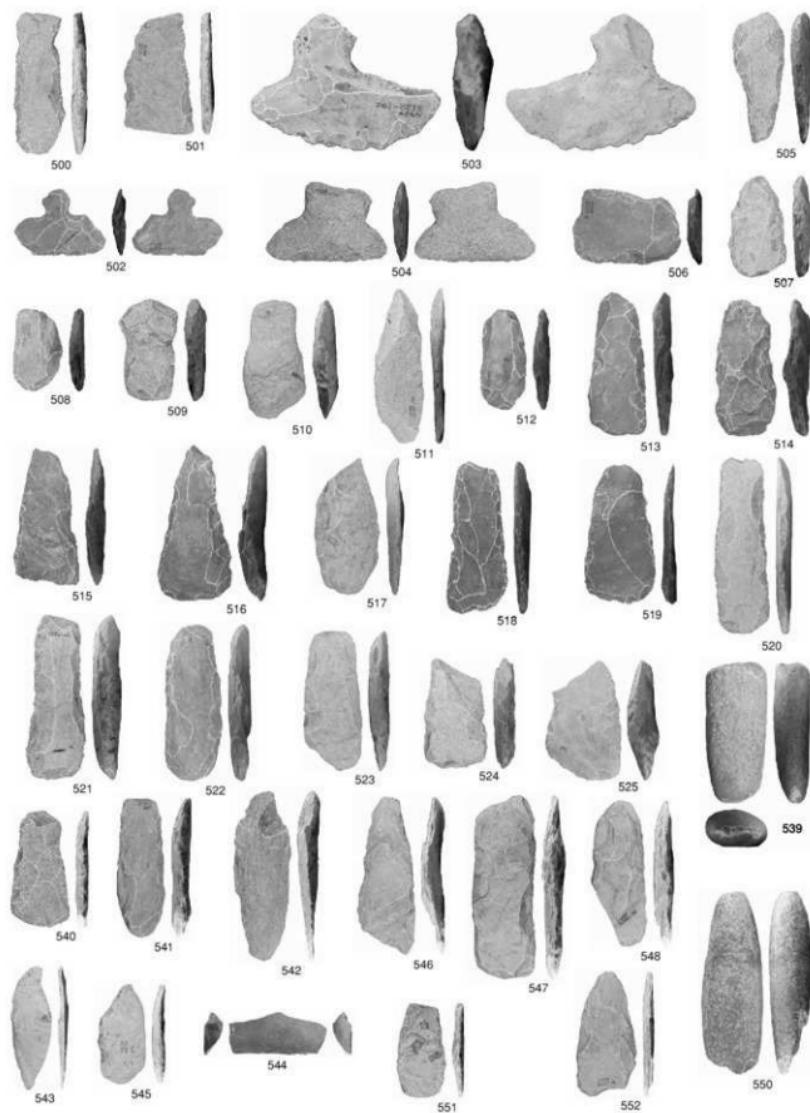


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

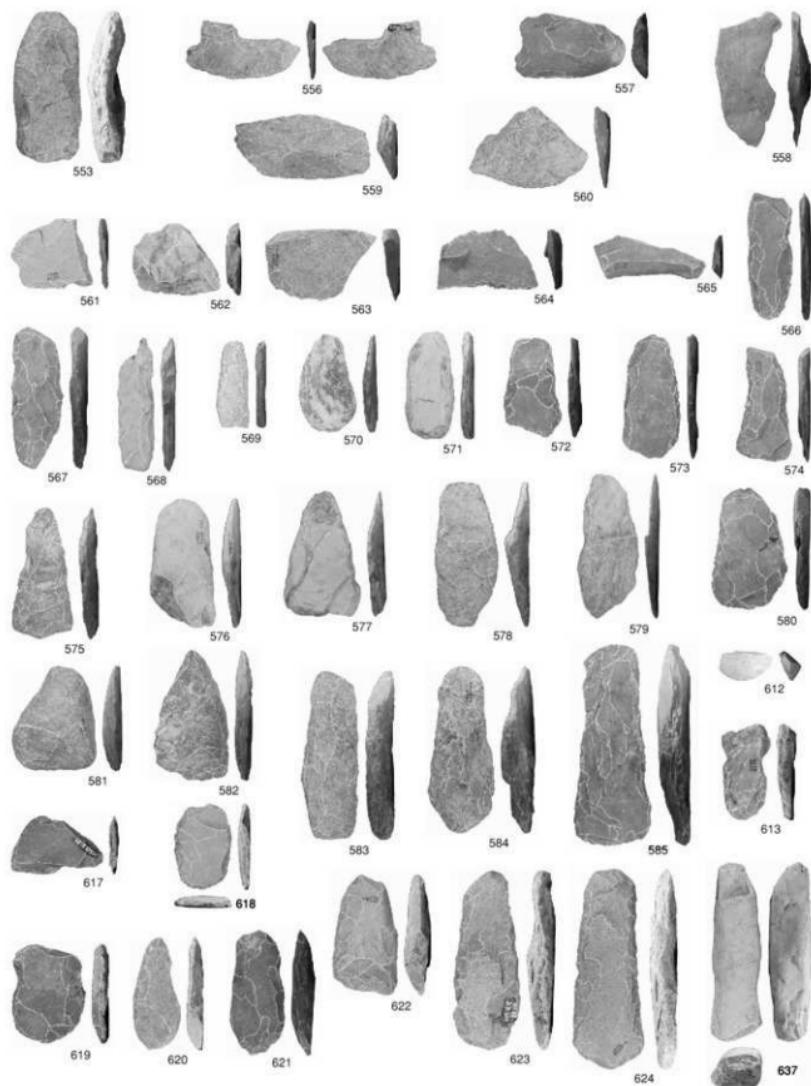


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版60

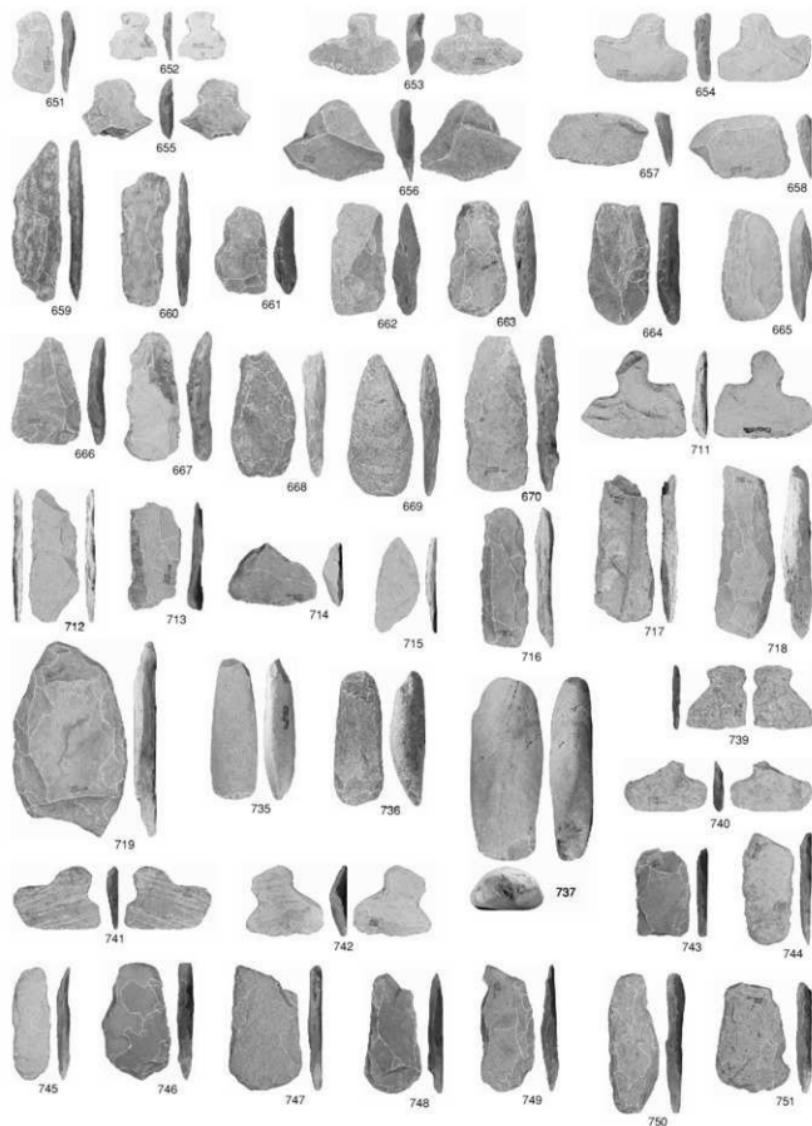


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

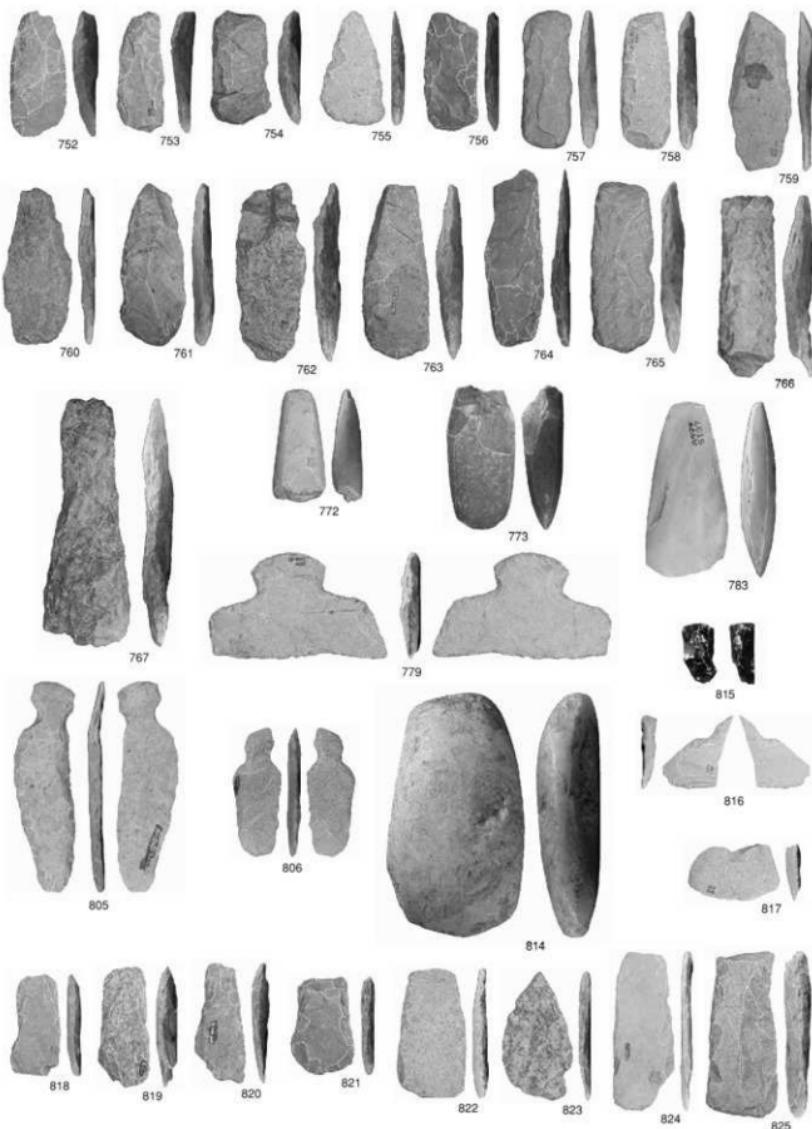


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版62

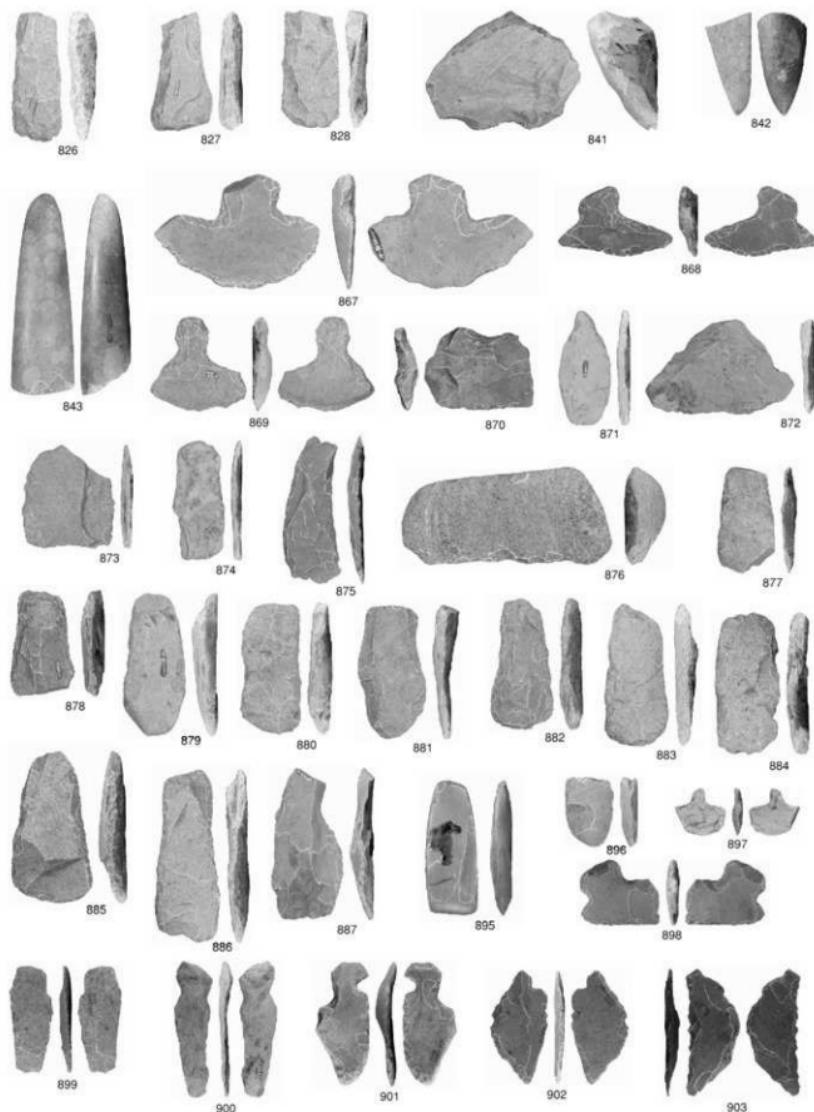


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

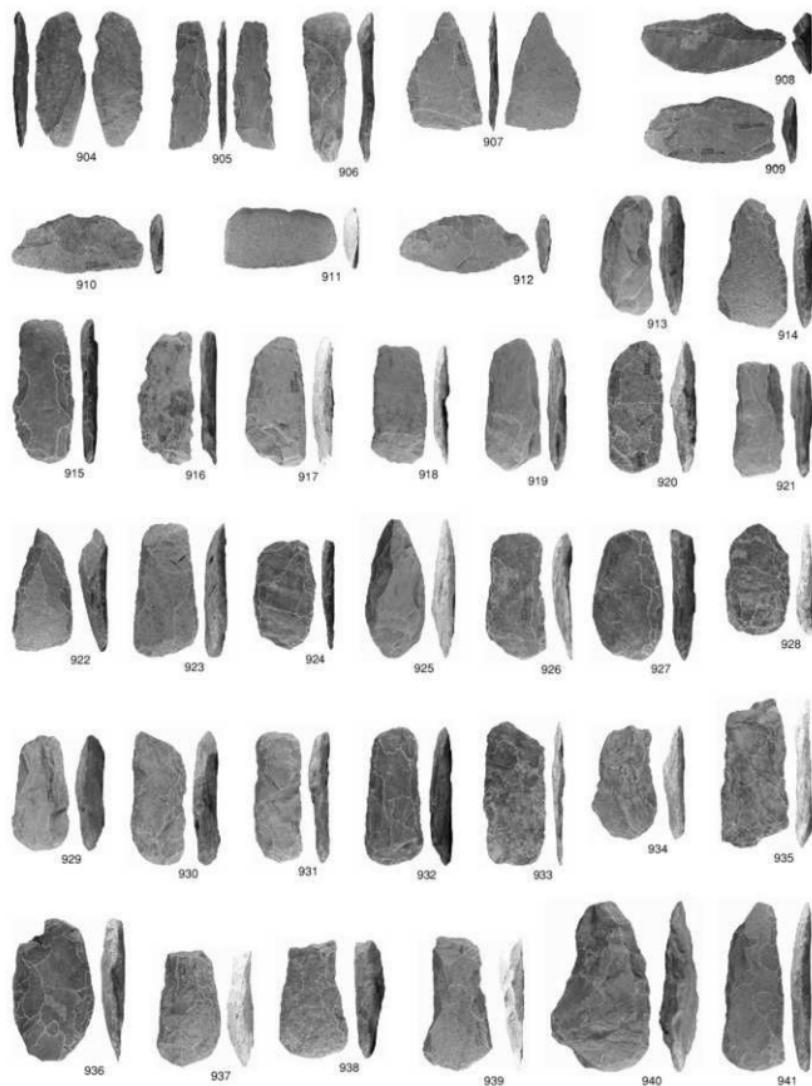


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

图版64

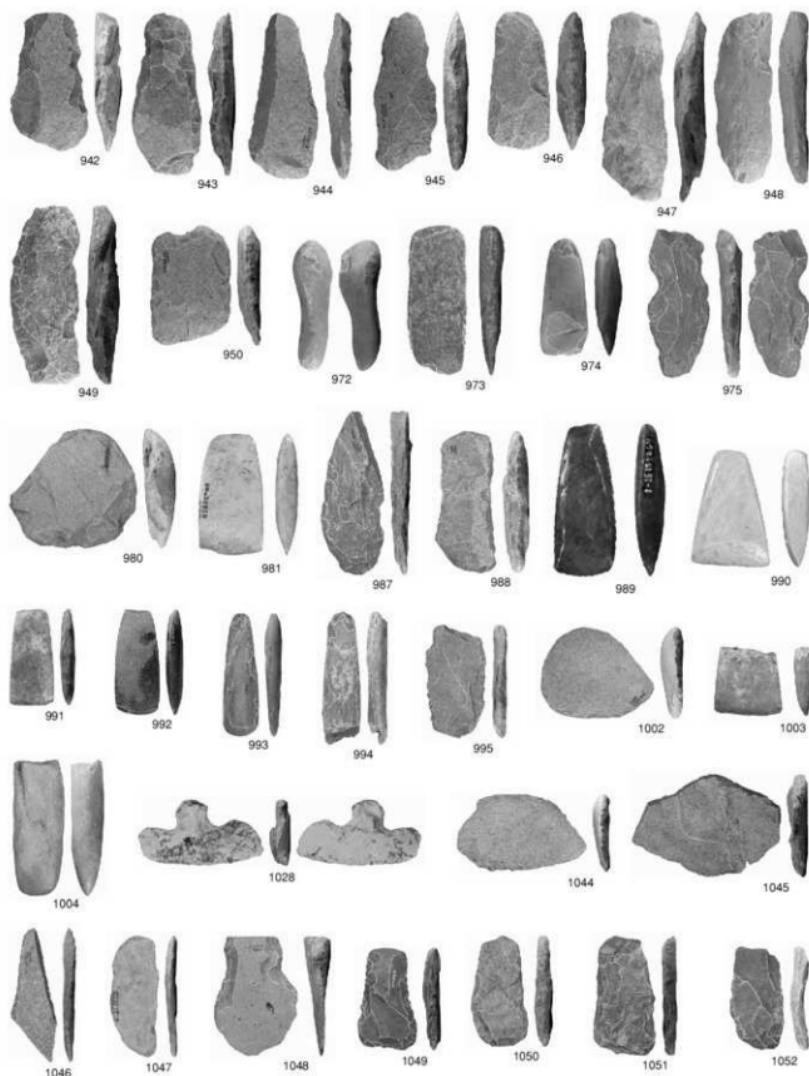


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

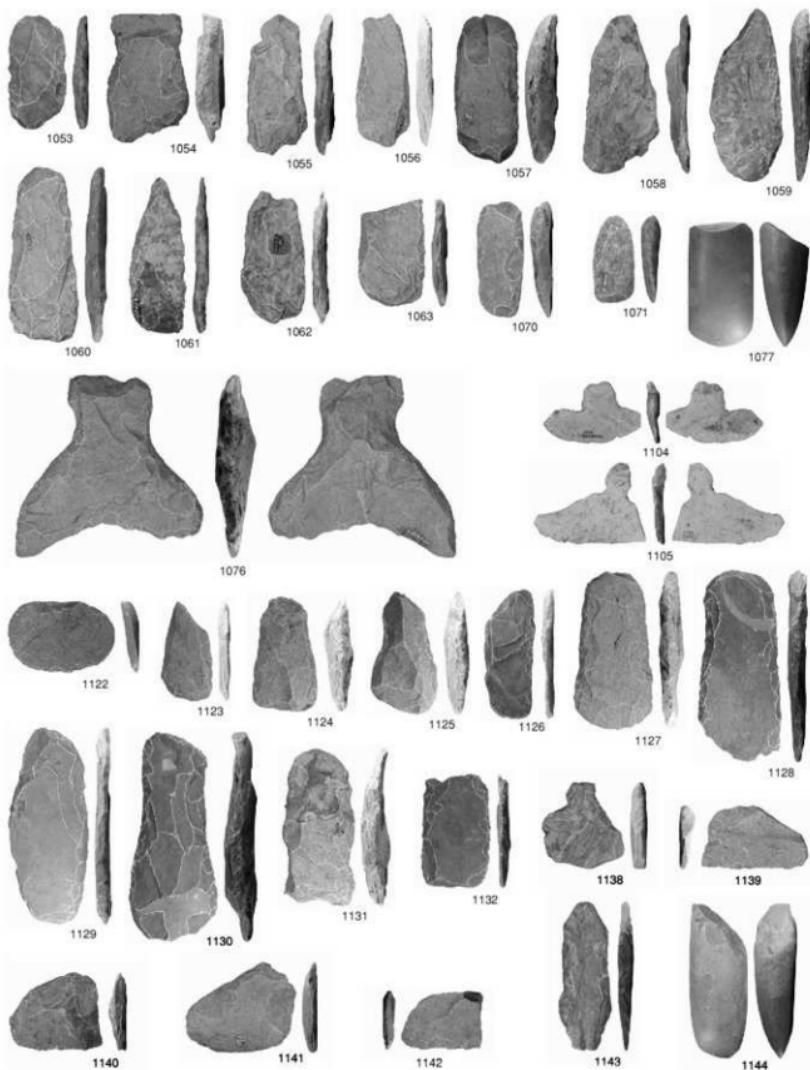


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版66

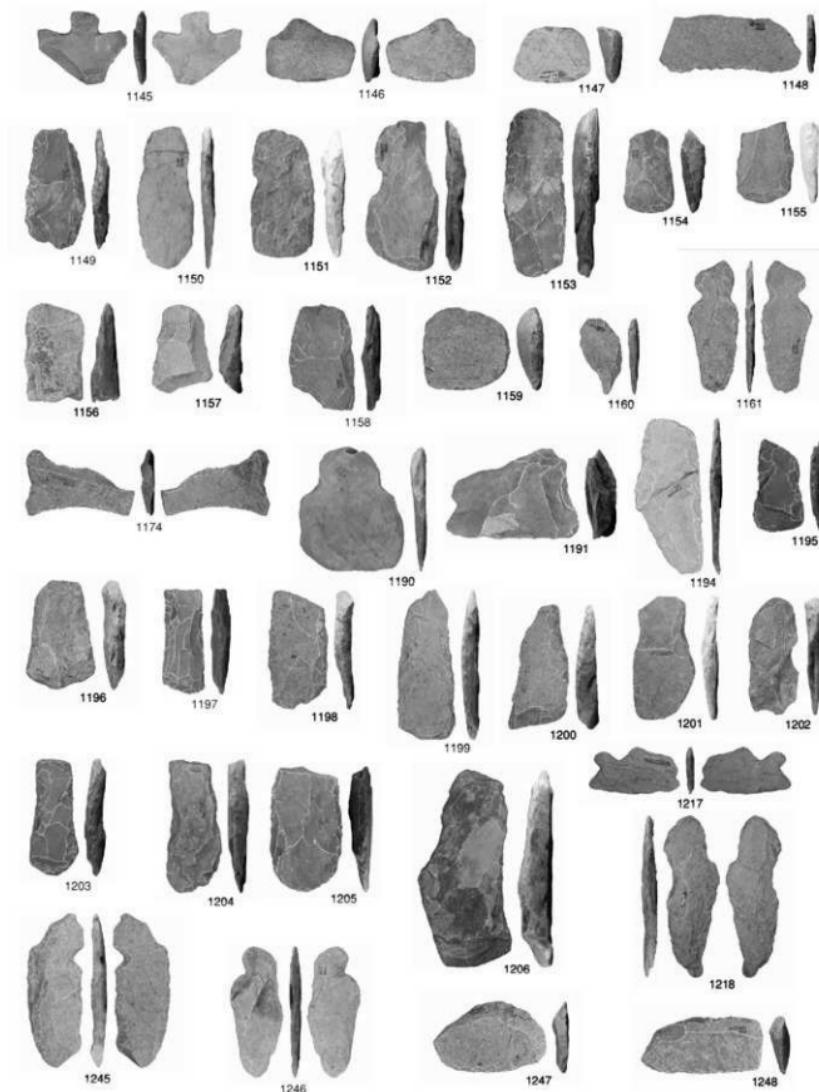


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

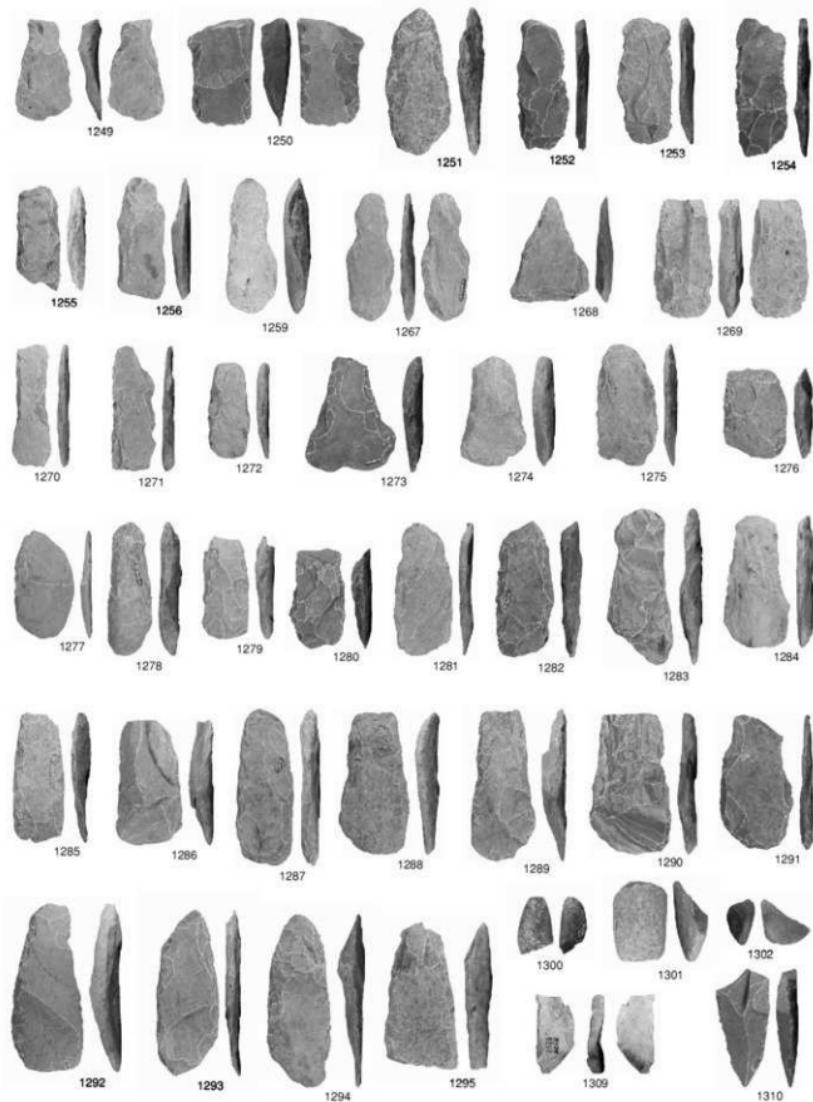


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版68

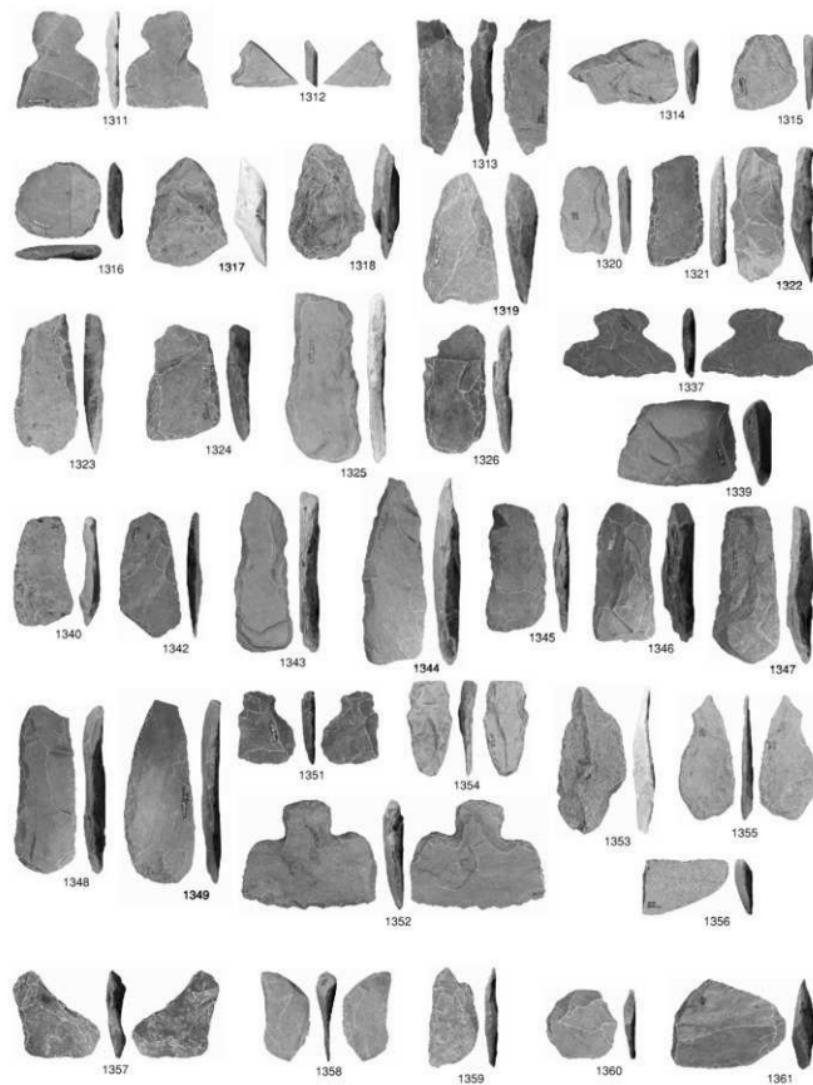


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

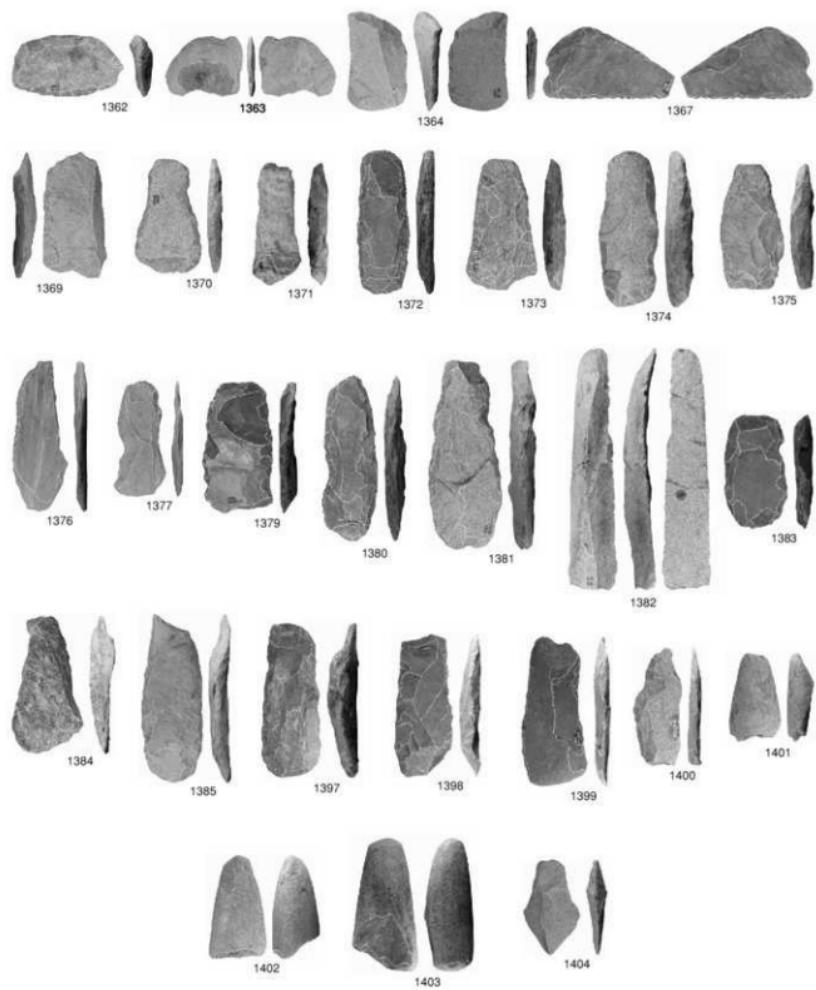


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

圖版70



打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

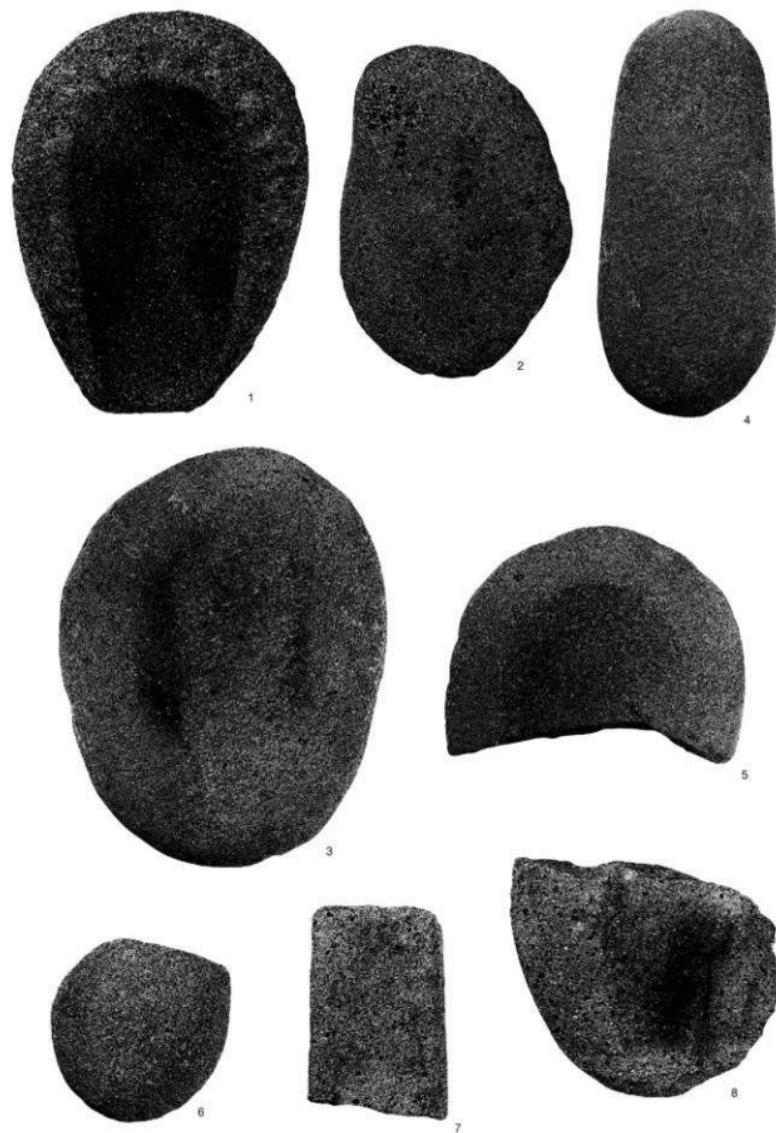


打製石斧・磨製石斧・石匙・粗製石匙・削器・敲石

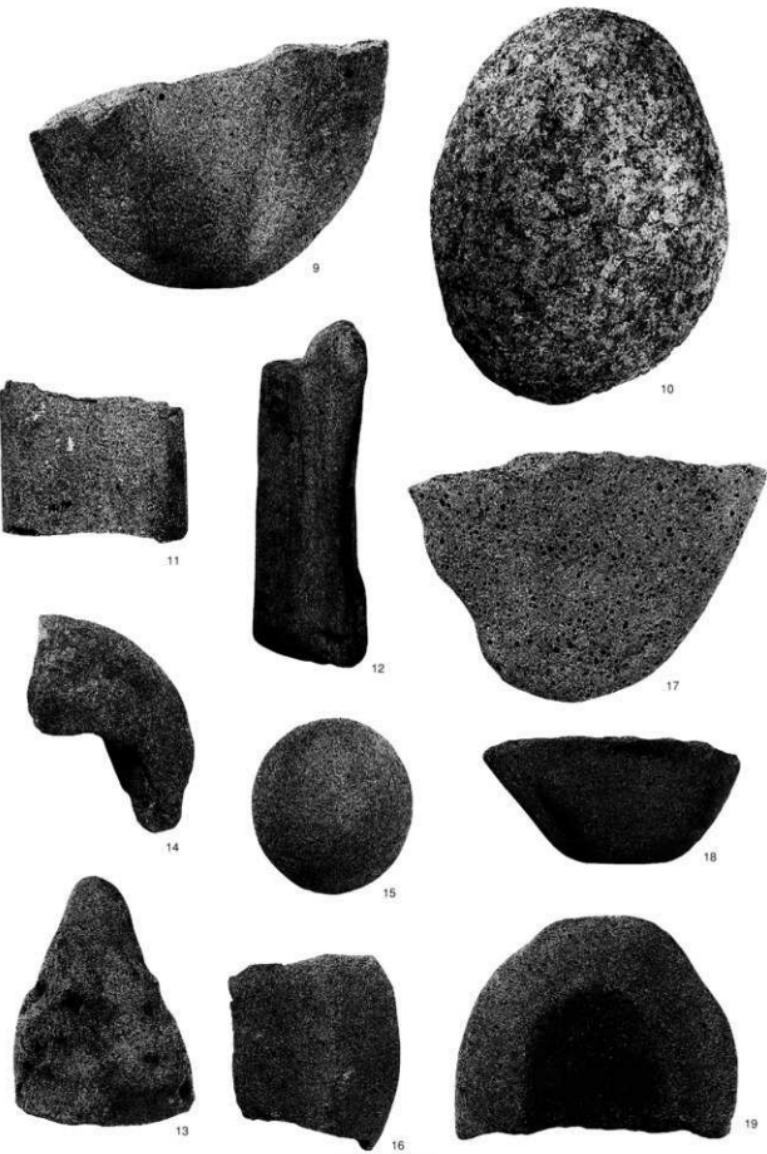
図版72



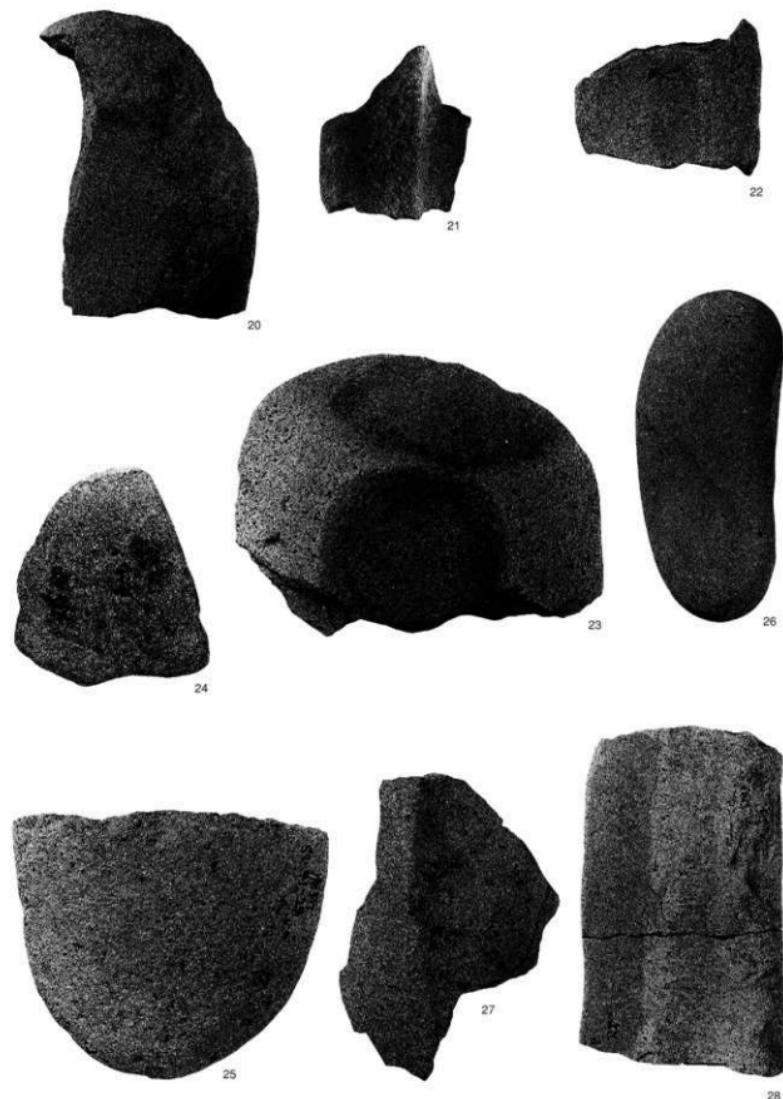
小型礫石器類



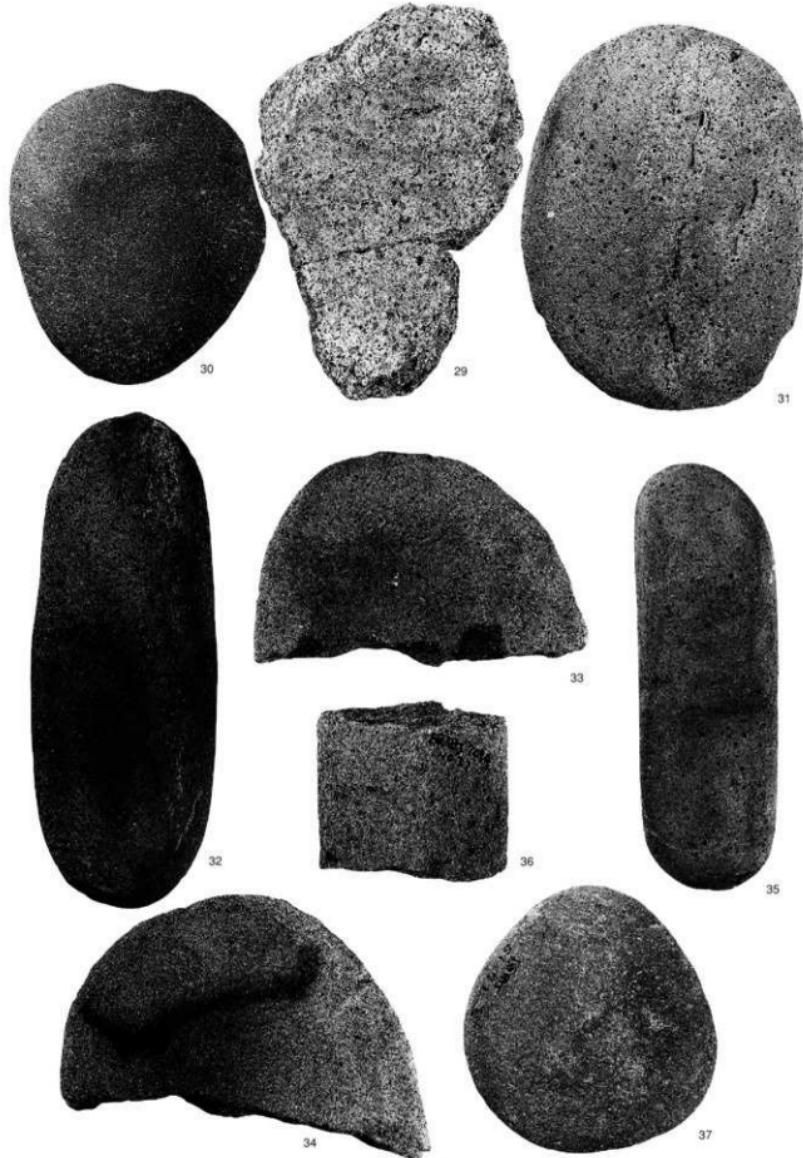
大型砾石器類



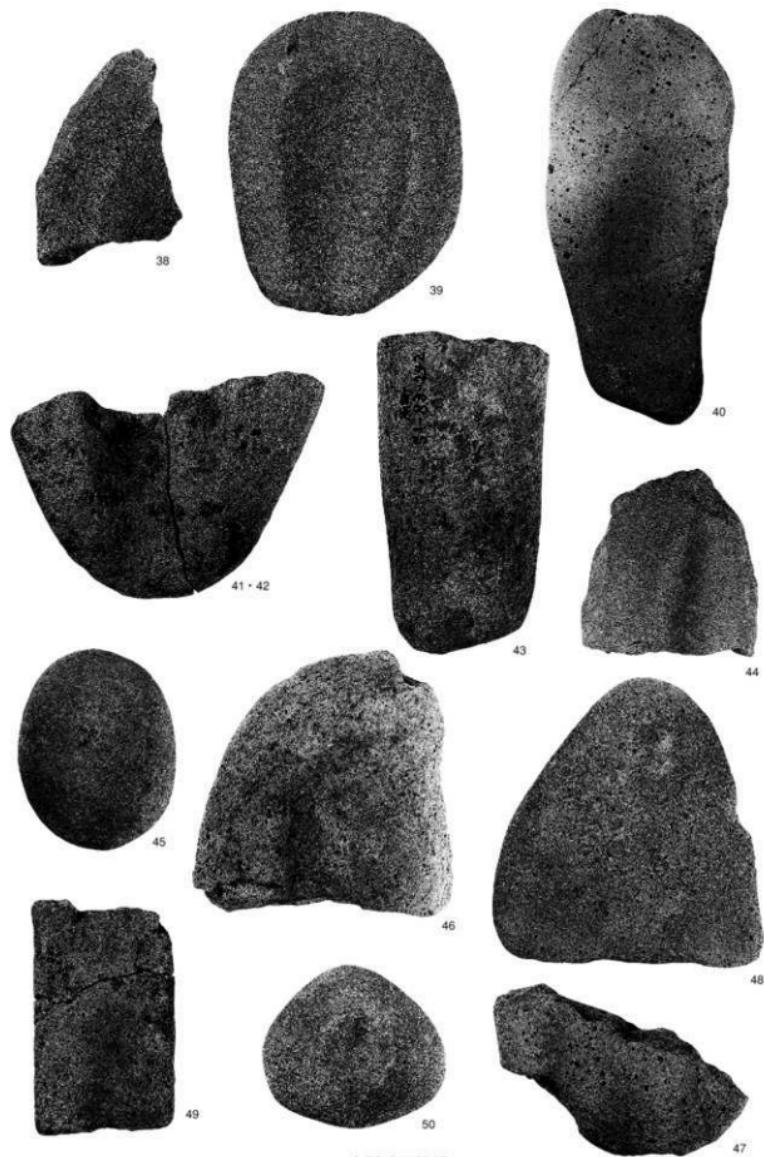
大型砾石器類



大型礫石器類



大型礫石器類





大型礫石器類



57



58



60

大型砾石器類

## 報告書抄録

ふりがな	はらまちのうぎょうこうこううまいせき					
書名	原町農業高校前遺跡（第2次）					
副書名	峡北地区総合学科高校整備（グランド整備）に伴う発掘調査報告書					
シリーズ名・集	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第221集					
著者氏名	三田村 美彦					
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター					
所在地	〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 TEL 055-266-3016					
発行者	山梨県教育委員会					
発行年月日	2005（平成17）年3月31日					
ふりがな所収遺跡名	ふりがな所在地	コード	北緯 (新)	東経 (新)	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>
はらまちのうぎょう こうこううまいせき 原町農業高校前遺跡	山梨県北杜市長坂町塚川 177	19209 147	35° 47° 59°	138° 23° 08"	2001年（平成13年） 5月28日～12月19日	14,000 峡北地区総合学科高校整備 (北杜高校グランド整備)に 伴う発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
原町農業高校前遺跡	集落跡	縄文時代 (中期～後期)	堅穴住居跡9軒 土坑約400基	土器(深鉢形・浅鉢形、有孔跨付土器、ミニチュアなど)、土製品(土偶・匙形土製品・円盤・器合形土器・耳飾・有孔薄円盤など)、石器(石礫・石匙・粗製石匙・石錐・打製石斧・磨製石斧・磨石・凹石・石皿など)	住居跡より、中期中期～後葉にかけての遺物(土器・土製品・石器)が多量に出土。	
		平安時代 (前期)	堅穴住居跡3軒 掘立柱建物跡2棟	土師器、須恵器		

## 山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第221集

### 原町農業高校前遺跡（第2次）

峡北地区総合学科高校整備（北杜高校グランド整備）に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告書

印刷日 2005（平成17）年3月24日

発行日 2005（平成17）年3月31日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

山梨県東八代郡中道町下曾根923

TEL 055（266）3016

発行 山梨県教育委員会

印刷 株式会社少國民社